
加 須 市

長 竹 遺 跡 IV

首都圏氾濫区域堤防強化対策における
埋蔵文化財発掘調査報告
(第3分冊)

2020

国土交通省 関東地方整備局
公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

目次

(第1分冊)

巻頭図版

序

例言

凡例

目次

I	発掘調査の概要	1
1	発掘調査に至る経過	1
2	発掘調査・報告書作成の経過	2
(1)	発掘調査	2
(2)	整理・報告書の作成	2
3	発掘調査・報告書作成の組織	4
II	遺跡の立地と環境	5
1	地理的環境	5
2	歴史的環境	6
III	遺跡の概要	13
IV	出土遺物の分類	25
1	縄文土器の分類	25
2	土製円盤の分類	26
3	耳飾りの分類	27
4	石器の分類	27
V	調査区出土遺物	30
1	F-4グリッド出土遺物	30
2	F-5グリッド出土遺物	39
3	F-6グリッド出土遺物	64
4	G-4グリッド出土遺物	67
5	G-5グリッド出土遺物	75
6	G-6グリッド出土遺物	108
7	G-7グリッド出土遺物	177
8	H-5グリッド出土遺物	182
9	H-6グリッド出土遺物	220

(第2分冊)

10	H-7グリッド出土遺物	345
11	I-5グリッド出土遺物	402
12	I-6グリッド出土遺物	420
13	I-7グリッド出土遺物	583
14	I-8グリッド出土遺物	667

(第3分冊)

15	J-6グリッド出土遺物	675
16	J-7グリッド出土遺物	737
17	J-8グリッド出土遺物	811
18	K-6グリッド出土遺物	825
19	K-7グリッド出土遺物	831
20	K-8グリッド出土遺物	931
21	L-7グリッド出土遺物	963
22	L-8グリッド出土遺物	975
23	B区 (I-8, J-8, K-8グリッド) 出土遺物	979

VI 調査のまとめ

1	環状盛土遺構と出土土器について	1083
2	安行式土器の貼付文(痛)の変遷について	1084
3	土器片利用の土製円盤について	1090
4	長竹遺跡の南盛土における出土石器について	1092

(第4分冊)

写真図版

挿図目次

(第3分冊)

第551図	J-6グリッド検出遺構	676	第585図	J-6グリッド出土遺物(33)	710
第552図	J-6グリッド時期別濃淡図	677	第586図	J-6グリッド出土遺物(34)	711
第553図	J-6グリッド出土遺物(1)	678	第587図	J-6グリッド出土遺物(35)	712
第554図	J-6グリッド出土遺物(2)	679	第588図	J-6グリッド出土遺物(36)	713
第555図	J-6グリッド出土遺物(3)	680	第589図	J-6グリッド出土遺物(37)	714
第556図	J-6グリッド出土遺物(4)	681	第590図	J-6グリッド出土遺物(38)	715
第557図	J-6グリッド出土遺物(5)	682	第591図	J-6グリッド出土遺物(39)	716
第558図	J-6グリッド出土遺物(6)	683	第592図	J-6グリッド出土遺物(40)	717
第559図	J-6グリッド出土遺物(7)	684	第593図	J-6グリッド出土遺物(41)	718
第560図	J-6グリッド出土遺物(8)	685	第594図	J-6グリッド出土遺物(42)	719
第561図	J-6グリッド出土遺物(9)	686	第595図	J-6グリッド出土遺物(43)	720
第562図	J-6グリッド出土遺物(10)	687	第596図	J-6グリッド出土遺物(44)	721
第563図	J-6グリッド出土遺物(11)	688	第597図	J-6グリッド出土遺物(45)	722
第564図	J-6グリッド出土遺物(12)	689	第598図	J-6グリッド出土遺物(46)	723
第565図	J-6グリッド出土遺物(13)	690	第599図	J-6グリッド出土遺物(47)	724
第566図	J-6グリッド出土遺物(14)	691	第600図	J-6グリッド出土遺物(48)	725
第567図	J-6グリッド出土遺物(15)	692	第601図	J-6グリッド出土遺物(49)	726
第568図	J-6グリッド出土遺物(16)	693	第602図	J-6グリッド出土遺物(50)	727
第569図	J-6グリッド出土遺物(17)	694	第603図	J-7グリッド検出遺構	738
第570図	J-6グリッド出土遺物(18)	695	第604図	J-7グリッド時期別濃淡図	739
第571図	J-6グリッド出土遺物(19)	696	第605図	J-7グリッド出土遺物(1)	740
第572図	J-6グリッド出土遺物(20)	697	第606図	J-7グリッド出土遺物(2)	741
第573図	J-6グリッド出土遺物(21)	698	第607図	J-7グリッド出土遺物(3)	742
第574図	J-6グリッド出土遺物(22)	699	第608図	J-7グリッド出土遺物(4)	743
第575図	J-6グリッド出土遺物(23)	700	第609図	J-7グリッド出土遺物(5)	744
第576図	J-6グリッド出土遺物(24)	701	第610図	J-7グリッド出土遺物(6)	745
第577図	J-6グリッド出土遺物(25)	702	第611図	J-7グリッド出土遺物(7)	746
第578図	J-6グリッド出土遺物(26)	703	第612図	J-7グリッド出土遺物(8)	747
第579図	J-6グリッド出土遺物(27)	704	第613図	J-7グリッド出土遺物(9)	748
第580図	J-6グリッド出土遺物(28)	705	第614図	J-7グリッド出土遺物(10)	749
第581図	J-6グリッド出土遺物(29)	706	第615図	J-7グリッド出土遺物(11)	750
第582図	J-6グリッド出土遺物(30)	707	第616図	J-7グリッド出土遺物(12)	751
第583図	J-6グリッド出土遺物(31)	708	第617図	J-7グリッド出土遺物(13)	752
第584図	J-6グリッド出土遺物(32)	709	第618図	J-7グリッド出土遺物(14)	753

第619図	J-7グリッド出土遺物 (15) ..	754	第656図	J-7グリッド出土遺物 (52) ..	791
第620図	J-7グリッド出土遺物 (16) ..	755	第657図	J-7グリッド出土遺物 (53) ..	792
第621図	J-7グリッド出土遺物 (17) ..	756	第658図	J-7グリッド出土遺物 (54) ..	793
第622図	J-7グリッド出土遺物 (18) ..	757	第659図	J-7グリッド出土遺物 (55) ..	794
第623図	J-7グリッド出土遺物 (19) ..	758	第660図	J-7グリッド出土遺物 (56) ..	795
第624図	J-7グリッド出土遺物 (20) ..	759	第661図	J-7グリッド出土遺物 (57) ..	796
第625図	J-7グリッド出土遺物 (21) ..	760	第662図	J-7グリッド出土遺物 (58) ..	797
第626図	J-7グリッド出土遺物 (22) ..	761	第663図	J-7グリッド出土遺物 (59) ..	798
第627図	J-7グリッド出土遺物 (23) ..	762	第664図	J-8グリッド検出遺構	812
第628図	J-7グリッド出土遺物 (24) ..	763	第665図	J-8グリッド時期別濃淡図	813
第629図	J-7グリッド出土遺物 (25) ..	764	第666図	J-8グリッド出土遺物 (1) ..	814
第630図	J-7グリッド出土遺物 (26) ..	765	第667図	J-8グリッド出土遺物 (2) ..	815
第631図	J-7グリッド出土遺物 (27) ..	766	第668図	J-8グリッド出土遺物 (3) ..	816
第632図	J-7グリッド出土遺物 (28) ..	767	第669図	J-8グリッド出土遺物 (4) ..	817
第633図	J-7グリッド出土遺物 (29) ..	768	第670図	J-8グリッド出土遺物 (5) ..	818
第634図	J-7グリッド出土遺物 (30) ..	769	第671図	J-8グリッド出土遺物 (6) ..	819
第635図	J-7グリッド出土遺物 (31) ..	770	第672図	J-8グリッド出土遺物 (7) ..	820
第636図	J-7グリッド出土遺物 (32) ..	771	第673図	J-8グリッド出土遺物 (8) ..	821
第637図	J-7グリッド出土遺物 (33) ..	772	第674図	J-8グリッド出土遺物 (9) ..	822
第638図	J-7グリッド出土遺物 (34) ..	773	第675図	K-6グリッド検出遺構	826
第639図	J-7グリッド出土遺物 (35) ..	774	第676図	K-6グリッド時期別濃淡図	827
第640図	J-7グリッド出土遺物 (36) ..	775	第677図	K-6グリッド出土遺物 (1) ..	828
第641図	J-7グリッド出土遺物 (37) ..	776	第678図	K-6グリッド出土遺物 (2) ..	829
第642図	J-7グリッド出土遺物 (38) ..	777	第679図	K-6グリッド出土遺物 (3) ..	830
第643図	J-7グリッド出土遺物 (39) ..	778	第680図	K-7グリッド検出遺構	832
第644図	J-7グリッド出土遺物 (40) ..	779	第681図	K-7グリッド時期別濃淡図	833
第645図	J-7グリッド出土遺物 (41) ..	780	第682図	K-7グリッド出土遺物 (1) ..	834
第646図	J-7グリッド出土遺物 (42) ..	781	第683図	K-7グリッド出土遺物 (2) ..	835
第647図	J-7グリッド出土遺物 (43) ..	782	第684図	K-7グリッド出土遺物 (3) ..	836
第648図	J-7グリッド出土遺物 (44) ..	783	第685図	K-7グリッド出土遺物 (4) ..	837
第649図	J-7グリッド出土遺物 (45) ..	784	第686図	K-7グリッド出土遺物 (5) ..	838
第650図	J-7グリッド出土遺物 (46) ..	785	第687図	K-7グリッド出土遺物 (6) ..	839
第651図	J-7グリッド出土遺物 (47) ..	786	第688図	K-7グリッド出土遺物 (7) ..	840
第652図	J-7グリッド出土遺物 (48) ..	787	第689図	K-7グリッド出土遺物 (8) ..	841
第653図	J-7グリッド出土遺物 (49) ..	788	第690図	K-7グリッド出土遺物 (9) ..	842
第654図	J-7グリッド出土遺物 (50) ..	789	第691図	K-7グリッド出土遺物 (10) ..	843
第655図	J-7グリッド出土遺物 (51) ..	790	第692図	K-7グリッド出土遺物 (11) ..	844

第 693 図	K-7 グリッド出土遺物 (12) ..	845	第 730 図	K-7 グリッド出土遺物 (49) ..	882
第 694 図	K-7 グリッド出土遺物 (13) ..	846	第 731 図	K-7 グリッド出土遺物 (50) ..	883
第 695 図	K-7 グリッド出土遺物 (14) ..	847	第 732 図	K-7 グリッド出土遺物 (51) ..	884
第 696 図	K-7 グリッド出土遺物 (15) ..	848	第 733 図	K-7 グリッド出土遺物 (52) ..	885
第 697 図	K-7 グリッド出土遺物 (16) ..	849	第 734 図	K-7 グリッド出土遺物 (53) ..	886
第 698 図	K-7 グリッド出土遺物 (17) ..	850	第 735 図	K-7 グリッド出土遺物 (54) ..	887
第 699 図	K-7 グリッド出土遺物 (18) ..	851	第 736 図	K-7 グリッド出土遺物 (55) ..	888
第 700 図	K-7 グリッド出土遺物 (19) ..	852	第 737 図	K-7 グリッド出土遺物 (56) ..	889
第 701 図	K-7 グリッド出土遺物 (20) ..	853	第 738 図	K-7 グリッド出土遺物 (57) ..	890
第 702 図	K-7 グリッド出土遺物 (21) ..	854	第 739 図	K-7 グリッド出土遺物 (58) ..	891
第 703 図	K-7 グリッド出土遺物 (22) ..	855	第 740 図	K-7 グリッド出土遺物 (59) ..	892
第 704 図	K-7 グリッド出土遺物 (23) ..	856	第 741 図	K-7 グリッド出土遺物 (60) ..	893
第 705 図	K-7 グリッド出土遺物 (24) ..	857	第 742 図	K-7 グリッド出土遺物 (61) ..	894
第 706 図	K-7 グリッド出土遺物 (25) ..	858	第 743 図	K-7 グリッド出土遺物 (62) ..	895
第 707 図	K-7 グリッド出土遺物 (26) ..	859	第 744 図	K-7 グリッド出土遺物 (63) ..	896
第 708 図	K-7 グリッド出土遺物 (27) ..	860	第 745 図	K-7 グリッド出土遺物 (64) ..	897
第 709 図	K-7 グリッド出土遺物 (28) ..	861	第 746 図	K-7 グリッド出土遺物 (65) ..	898
第 710 図	K-7 グリッド出土遺物 (29) ..	862	第 747 図	K-7 グリッド出土遺物 (66) ..	899
第 711 図	K-7 グリッド出土遺物 (30) ..	863	第 748 図	K-7 グリッド出土遺物 (67) ..	900
第 712 図	K-7 グリッド出土遺物 (31) ..	864	第 749 図	K-7 グリッド出土遺物 (68) ..	901
第 713 図	K-7 グリッド出土遺物 (32) ..	865	第 750 図	K-7 グリッド出土遺物 (69) ..	902
第 714 図	K-7 グリッド出土遺物 (33) ..	866	第 751 図	K-7 グリッド出土遺物 (70) ..	903
第 715 図	K-7 グリッド出土遺物 (34) ..	867	第 752 図	K-7 グリッド出土遺物 (71) ..	904
第 716 図	K-7 グリッド出土遺物 (35) ..	868	第 753 図	K-7 グリッド出土遺物 (72) ..	905
第 717 図	K-7 グリッド出土遺物 (36) ..	869	第 754 図	K-7 グリッド出土遺物 (73) ..	906
第 718 図	K-7 グリッド出土遺物 (37) ..	870	第 755 図	K-7 グリッド出土遺物 (74) ..	907
第 719 図	K-7 グリッド出土遺物 (38) ..	871	第 756 図	K-7 グリッド出土遺物 (75) ..	908
第 720 図	K-7 グリッド出土遺物 (39) ..	872	第 757 図	K-7 グリッド出土遺物 (76) ..	909
第 721 図	K-7 グリッド出土遺物 (40) ..	873	第 758 図	K-7 グリッド出土遺物 (77) ..	910
第 722 図	K-7 グリッド出土遺物 (41) ..	874	第 759 図	K-7 グリッド出土遺物 (78) ..	911
第 723 図	K-7 グリッド出土遺物 (42) ..	875	第 760 図	K-7 グリッド出土遺物 (79) ..	912
第 724 図	K-7 グリッド出土遺物 (43) ..	876	第 761 図	K-7 グリッド出土遺物 (80) ..	913
第 725 図	K-7 グリッド出土遺物 (44) ..	877	第 762 図	K-7 グリッド出土遺物 (81) ..	914
第 726 図	K-7 グリッド出土遺物 (45) ..	878	第 763 図	K-7 グリッド出土遺物 (82) ..	915
第 727 図	K-7 グリッド出土遺物 (46) ..	879	第 764 図	K-8 グリッド検出遺構	932
第 728 図	K-7 グリッド出土遺物 (47) ..	880	第 765 図	K-8 グリッド時期別濃淡図 ..	933
第 729 図	K-7 グリッド出土遺物 (48) ..	881	第 766 図	K-8 グリッド出土遺物 (1) ..	934

第767図	K-8グリッド出土遺物(2) .. 935	第804図	B区 I-8グリッド 時期別濃淡図 .. 989
第768図	K-8グリッド出土遺物(3) .. 936	第805図	B区 J-8グリッド 時期別濃淡図 .. 990
第769図	K-8グリッド出土遺物(4) .. 937	第806図	B区 K-8グリッド 時期別濃淡図 .. 991
第770図	K-8グリッド出土遺物(5) .. 938	第807図	B区グリッド出土遺物(1) .. 992
第771図	K-8グリッド出土遺物(6) .. 939	第808図	B区グリッド出土遺物(2) .. 993
第772図	K-8グリッド出土遺物(7) .. 940	第809図	B区グリッド出土遺物(3) .. 994
第773図	K-8グリッド出土遺物(8) .. 941	第810図	B区グリッド出土遺物(4) .. 995
第774図	K-8グリッド出土遺物(9) .. 942	第811図	B区グリッド出土遺物(5) .. 996
第775図	K-8グリッド出土遺物(10) .. 943	第812図	B区グリッド出土遺物(6) .. 997
第776図	K-8グリッド出土遺物(11) .. 944	第813図	B区グリッド出土遺物(7) .. 998
第777図	K-8グリッド出土遺物(12) .. 945	第814図	B区グリッド出土遺物(8) .. 999
第778図	K-8グリッド出土遺物(13) .. 946	第815図	B区グリッド出土遺物(9) .. 1000
第779図	K-8グリッド出土遺物(14) .. 947	第816図	B区グリッド出土遺物(10) .. 1001
第780図	K-8グリッド出土遺物(15) .. 948	第817図	B区グリッド出土遺物(11) .. 1002
第781図	K-8グリッド出土遺物(16) .. 949	第818図	B区グリッド出土遺物(12) .. 1003
第782図	K-8グリッド出土遺物(17) .. 950	第819図	B区グリッド出土遺物(13) .. 1004
第783図	K-8グリッド出土遺物(18) .. 951	第820図	B区グリッド出土遺物(14) .. 1005
第784図	K-8グリッド出土遺物(19) .. 952	第821図	B区グリッド出土遺物(15) .. 1006
第785図	K-8グリッド出土遺物(20) .. 953	第822図	B区グリッド出土遺物(16) .. 1007
第786図	K-8グリッド出土遺物(21) .. 954	第823図	B区グリッド出土遺物(17) .. 1008
第787図	K-8グリッド出土遺物(22) .. 955	第824図	B区グリッド出土遺物(18) .. 1009
第788図	K-8グリッド出土遺物(23) .. 956	第825図	B区グリッド出土遺物(19) .. 1010
第789図	K-8グリッド出土遺物(24) .. 957	第826図	B区グリッド出土遺物(20) .. 1011
第790図	K-8グリッド出土遺物(25) .. 958	第827図	B区グリッド出土遺物(21) .. 1012
第791図	L-7グリッド検出遺構 .. 964	第828図	B区グリッド出土遺物(22) .. 1013
第792図	L-7グリッド時期別濃淡図 .. 965	第829図	B区グリッド出土遺物(23) .. 1014
第793図	L-7グリッド出土遺物(1) .. 966	第830図	B区グリッド出土遺物(24) .. 1015
第794図	L-7グリッド出土遺物(2) .. 967	第831図	B区グリッド出土遺物(25) .. 1016
第795図	L-7グリッド出土遺物(3) .. 968	第832図	B区グリッド出土遺物(26) .. 1017
第796図	L-7グリッド出土遺物(4) .. 969	第833図	B区グリッド出土遺物(27) .. 1018
第797図	L-7グリッド出土遺物(5) .. 970	第834図	B区グリッド出土遺物(28) .. 1019
第798図	L-7グリッド出土遺物(6) .. 971	第835図	B区グリッド出土遺物(29) .. 1020
第799図	L-7グリッド出土遺物(7) .. 972	第836図	B区グリッド出土遺物(30) .. 1021
第800図	L-8グリッド検出遺構 .. 976	第837図	B区グリッド出土遺物(31) .. 1022
第801図	L-8グリッド時期別濃淡図 .. 977		
第802図	L-8グリッド出土遺物(1) .. 978		
第803図	L-8グリッド出土遺物(2) .. 979		

第 838 図	B 区グリッド出土遺物 (32) …	1023	第 870 図	B 区グリッド出土遺物 (64) …	1055
第 839 図	B 区グリッド出土遺物 (33) …	1024	第 871 図	B 区グリッド出土遺物 (65) …	1056
第 840 図	B 区グリッド出土遺物 (34) …	1025	第 872 図	B 区グリッド出土遺物 (66) …	1057
第 841 図	B 区グリッド出土遺物 (35) …	1026	第 873 図	B 区グリッド出土遺物 (67) …	1058
第 842 図	B 区グリッド出土遺物 (36) …	1027	第 874 図	B 区グリッド出土遺物 (68) …	1059
第 843 図	B 区グリッド出土遺物 (37) …	1028	第 875 図	B 区グリッド出土遺物 (69) …	1060
第 844 図	B 区グリッド出土遺物 (38) …	1029	第 876 図	B 区グリッド出土遺物 (70) …	1061
第 845 図	B 区グリッド出土遺物 (39) …	1030	第 877 図	B 区グリッド出土遺物 (71) …	1062
第 846 図	B 区グリッド出土遺物 (40) …	1031	第 878 図	B 区グリッド出土遺物 (72) …	1063
第 847 図	B 区グリッド出土遺物 (41) …	1032	第 879 図	B 区グリッド出土遺物 (73) …	1064
第 848 図	B 区グリッド出土遺物 (42) …	1033	第 880 図	B 区グリッド出土遺物 (74) …	1065
第 849 図	B 区グリッド出土遺物 (43) …	1034	第 881 図	B 区グリッド出土遺物 (75) …	1066
第 850 図	B 区グリッド出土遺物 (44) …	1035	第 882 図	B 区グリッド出土遺物 (76) …	1067
第 851 図	B 区グリッド出土遺物 (45) …	1036	第 883 図	B 区グリッド出土遺物 (77) …	1068
第 852 図	B 区グリッド出土遺物 (46) …	1037	第 884 図	B 区グリッド出土遺物 (78) …	1069
第 853 図	B 区グリッド出土遺物 (47) …	1038	第 885 図	B 区グリッド出土遺物 (79) …	1070
第 854 図	B 区グリッド出土遺物 (48) …	1039	第 886 図	B 区グリッド出土遺物 (80) …	1071
第 855 図	B 区グリッド出土遺物 (49) …	1040	第 887 図	安行式土器	
第 856 図	B 区グリッド出土遺物 (50) …	1041		貼付文の変遷図 (1) ……	1086
第 857 図	B 区グリッド出土遺物 (51) …	1042	第 888 図	安行式土器	
第 858 図	B 区グリッド出土遺物 (52) …	1043		貼付文の変遷図 (2) ……	1087
第 859 図	B 区グリッド出土遺物 (53) …	1044	第 889 図	土製円盤小グリッド別分布図 …	1088
第 860 図	B 区グリッド出土遺物 (54) …	1045	第 890 図	安行 1 式、2 式土器	
第 861 図	B 区グリッド出土遺物 (55) …	1046		小グリッド別分布図 ……	1089
第 862 図	B 区グリッド出土遺物 (56) …	1047	第 891 図	土製円盤 I 類の長幅比 ……	1091
第 863 図	B 区グリッド出土遺物 (57) …	1048	第 892 図	土製円盤 II 類の長幅比 ……	1091
第 864 図	B 区グリッド出土遺物 (58) …	1049	第 893 図	土地別器種群組成比 ……	1092
第 865 図	B 区グリッド出土遺物 (59) …	1050	第 894 図	土地別礫石器類組成比 ……	1092
第 866 図	B 区グリッド出土遺物 (60) …	1051	第 895 図	包含層出土石器の器種群分布図 …	1094
第 867 図	B 区グリッド出土遺物 (61) …	1052	第 896 図	包含層出土石器概要 (1) ……	1095
第 868 図	B 区グリッド出土遺物 (62) …	1053	第 897 図	包含層出土石器概要 (2) ……	1096
第 869 図	B 区グリッド出土遺物 (63) …	1054	第 898 図	包含層出土石器概要 (3) ……	1097

表目次

(第3分冊)

第80表	J-6グリッド 出土復元土器観察表	727
第81表	J-6グリッド 出土破片土器観察表	728
第82表	J-6グリッド 出土土製品観察表	731
第83表	J-6グリッド 出土土製円盤観察表	732
第84表	J-6グリッド 出土耳飾り観察表	732
第85表	J-6グリッド 出土石器観察表	732
第86表	J-6グリッド 出土骨製品観察表	733
第87表	J-7グリッド 出土復元土器観察表	799
第88表	J-7グリッド 出土破片土器観察表	800
第89表	J-7グリッド 出土土製品観察表	804
第90表	J-7グリッド 出土土製円盤観察表	804
第91表	J-7グリッド 出土耳飾り観察表	805
第92表	J-7グリッド 出土石器観察表	805
第93表	J-7グリッド 出土骨製品観察表	805
第94表	J-8グリッド 出土復元土器観察表	823
第95表	J-8グリッド 出土破片土器観察表	823
第96表	J-8グリッド	

	出土土製品観察表	823
第97表	J-8グリッド 出土土製円盤観察表	823
第98表	J-8グリッド 出土耳飾り観察表	823
第99表	J-8グリッド 出土石器観察表	824
第100表	K-6グリッド 出土復元土器観察表	830
第101表	K-6グリッド 出土破片土器観察表	830
第102表	K-6グリッド 出土土製品観察表	830
第103表	K-6グリッド 出土耳飾り観察表	830
第104表	K-6グリッド 出土石器観察表	831
第105表	K-7グリッド 出土復元土器観察表	915
第106表	K-7グリッド 出土破片土器観察表	917
第107表	K-7グリッド 出土土製品観察表	922
第108表	K-7グリッド 出土土製円盤観察表	922
第109表	K-7グリッド 出土耳飾り観察表	923
第110表	K-7グリッド 出土石器観察表	923
第111表	K-8グリッド 出土復元土器観察表	958
第112表	K-8グリッド 出土破片土器観察表	958
第113表	K-8グリッド	

	出土土製品観察表	960
第114表	K-8グリッド	
	出土土製円盤観察表	960
第115表	K-8グリッド	
	出土耳飾り観察表	961
第116表	K-8グリッド	
	出土石器観察表	961
第117表	L-7グリッド	
	出土復元土器観察表	973
第118表	L-7グリッド	
	出土破片土器観察表	973
第119表	L-7グリッド	
	出土土製品観察表	973
第120表	L-7グリッド	
	出土土製円盤観察表	973
第121表	L-7グリッド	

	出土耳飾り観察表	973
第122表	L-7グリッド	
	出土石器観察表	973
第123表	L-8グリッド	
	出土復元土器観察表	979
第124表	L-8グリッド	
	出土破片土器観察表	979
第125表	B区出土復元土器観察表	1072
第126表	B区出土破片土器観察表	1072
第127表	B区出土土製品観察表	1078
第128表	B区出土土製円盤観察表	1078
第129表	B区出土耳飾り観察表	1079
第130表	B区出土石器観察表	1079
第131表	B区出土骨製品観察表	1082

15 J-6グリッド出土遺物

概要 (第551図、第552図)

本グリッドは、南盛土で最も後期後葉から晩期前葉にかけての遺構が多く分布する地区の一角に当たり、遺物も相当量出土している。

本グリッド内からは、後期後葉の住居跡2軒 (S J 55、61)、後期後葉から晩期初頭の住居跡3軒 (S J 43 a、43 b、43 c)、晩期前葉の住居跡1軒 (S J 40) と、後期後葉の埋喪2基 (2埋、3埋)、晩期前葉の埋喪1基 (1埋)、後期後葉から晩期前葉の焼土跡2箇所 (9、13) 等が検出されている。

出土土器は後期安行1式、2式を中心として、晩期安行3 a式がそれに次ぐ量である。Ⅲ層からは、晩期中葉の安行3 c式を中心とした土器群が全体的に少量出土している。Ⅳ層は安行3 a式と安行1式、2式が混在しながら、③～⑤⑨⑩小グリッドから集中して多量に出土している。S J 43号大型住居跡を避けるかのように、北西側から出土している。Ⅴ層では後期中葉の加曾利B式、曾谷式が全体的に分布しているが、④小グリッドで特に多く出土している。④小グリッドは、後期中葉以降から晩期中葉に至るまで、土器群の中心的な分布地点となっている。

土製円盤は83点出土している。その殆どが③～⑤、⑧～⑩、⑭⑮⑯小グリッドからであり、安行1式、2式土器の濃密な分布地点と重複して出土している点が目される。

縄文土器 (第553図1～第593図1033)

第566図137～139は、第Ⅱ群第1類の繊維土器である花積下層式土器である。140～142は第2類開山式土器である。143、144は第8類の浮島式土器である。

145、146は第Ⅲ群第5類の加曾利EⅢ式土器である。147は第6類の加曾利EⅣ式土器である。

148は第Ⅳ群第2類の称名寺2式土器である。149～158、191は第3類の堀之内1式土器である。

第553図1、2、第567図159～166は第4類の堀之内2式土器で、167、168は注口土器である。

171～174は第Ⅴ群の加曾利B2式からB3式の3単位把手の付く深鉢の把手で、175～178は胴部の括れる深鉢形土器である。

179～182は胴部が屈曲する大森タイプの深鉢である。184～187は胴部が括れる斜線文土器で、184、186は地文に縄文が施文されており、184は斜格子目文が施文される。

188、189は5単位波状口縁土器で、縄文が施文される。190は刻目隆帯でレンズ状文が施文される。以上、加曾利B2式からB3式にかけての土器群である。190は曾谷式であろうか。

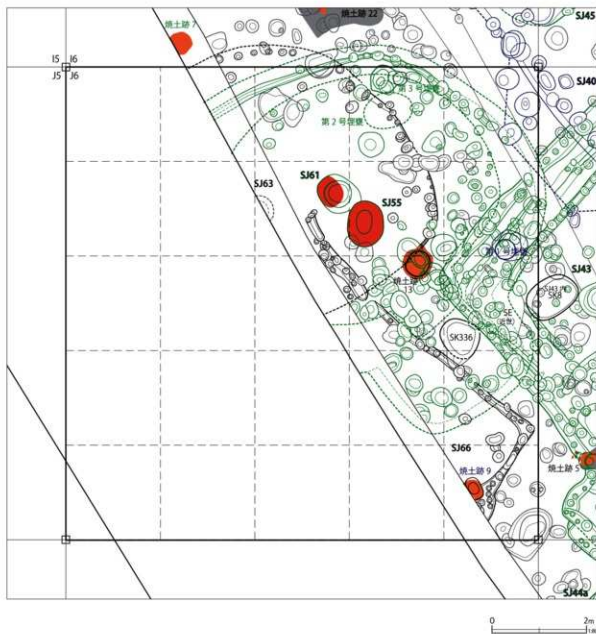
192～195は条線文が施文される粗製深鉢、196～210は地文縄文上に沈線文が施文される紐線文土器、213～215は縄文施文の粗製深鉢形土器である。

216～221は加曾利B式の鉢類で、211は浅鉢、222は注口土器である。217、221は加曾利B1式である。

223～241、245は第Ⅴ群第4類の曾谷式や高井東式の波状口縁深鉢形土器で、242～244、246～251は平口縁深鉢である。波状口縁では把手の先端部が変化に富み、尖るもの、筒形のもの、棒状のものなどがある。平口縁では幅狭な口縁部に耳状貼付文を施すものがある。

3～11、252～309は第Ⅵ群、第Ⅶ群安行式の瘤状貼付文を有する大波状口縁深鉢形土器である。3、4、252～269は第Ⅵ群第1類の安行1式である。252～257は波状部に円窓が空く。5、26、27、270～281は横刻縦瘤+豚鼻瘤を有し、刻目隆帯で区画される第2類安行2式である。

282～291は、縦刻横瘤や横刻縦瘤などの各種の貼付文が施される第Ⅵ群第2類の安行2式から第Ⅶ群第1類の安行3 a式にかけての土器群である。6～11、292～309は2本の背割沈線が施文



遺構	小グリッド	所属時期	遺構	小グリッド	所属時期	遺構	小グリッド	所属時期
S J 40	5	晩期前葉	S J 61	3～5 8～10 14 15	後期後葉	第1号埋室	10 15	晩期前葉
S J 43 a	10 14 15 20	後期後葉から晩期初葉	S J 63	2～4 9 13 14	後期中葉以降	第2号埋室	4	後期後葉
S J 43 b	10 14 15 20	後期後葉から晩期初葉	S J 66	8 13 14 19 20 25	不明	第3号埋室	4	後期後葉から後期末葉
S J 43 c	10 14 15 20	後期後葉から晩期初葉	S K 336	14 15 20	不明	坑土跡 9	25	晩期前葉
S J 55	2～5 8～10 14 15 19 20	後期後葉	SJ43内SK8	15	不明	坑土跡 13	9 14	後期後葉以降

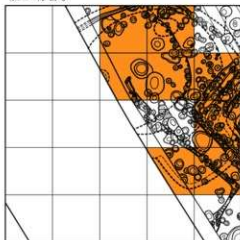
第551図 J-6グリッド検出遺構

される2段の舌状瘤が付く安行3 a式から3 b式にかけての深鉢であるが、安行3 b式を中心とする。7は縦瘤が異なり、安行3 a式であろう。

15、310～362は安行1式を中心とする胴部で

括れて口縁部が外反する平口縁深鉢で、310～336は口縁部に1～3個の縦瘤が施文される。24、363～373は安行2式の口縁部が開く平口縁深鉢で、横刻縦瘤や、刻目隆帯の区画が施される。

加E・称名寺



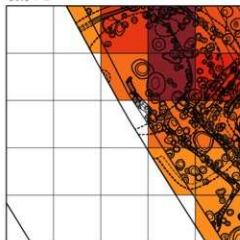
堀之内



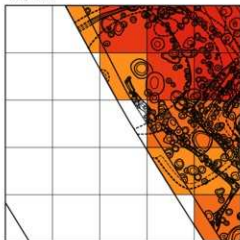
加曾利B



安行 1・2



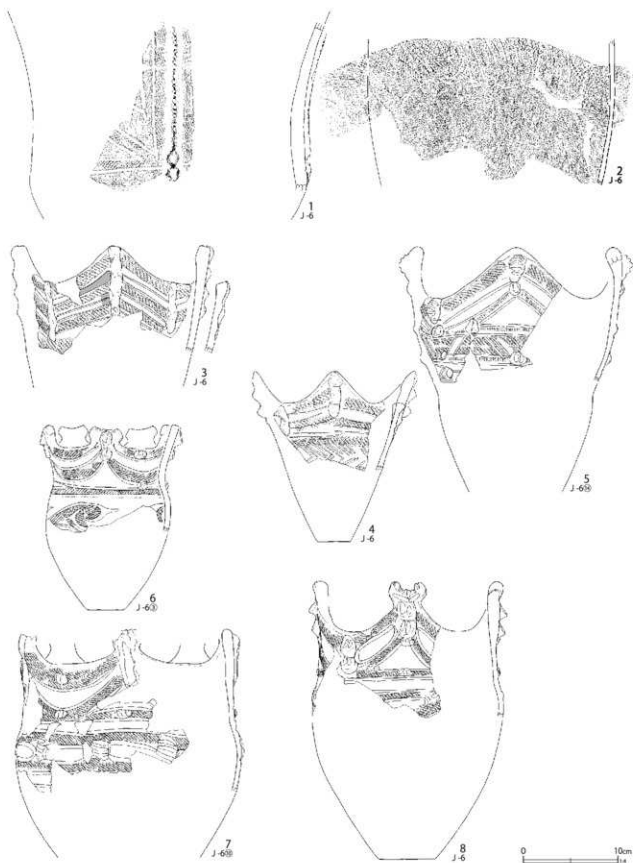
安行 3a・b



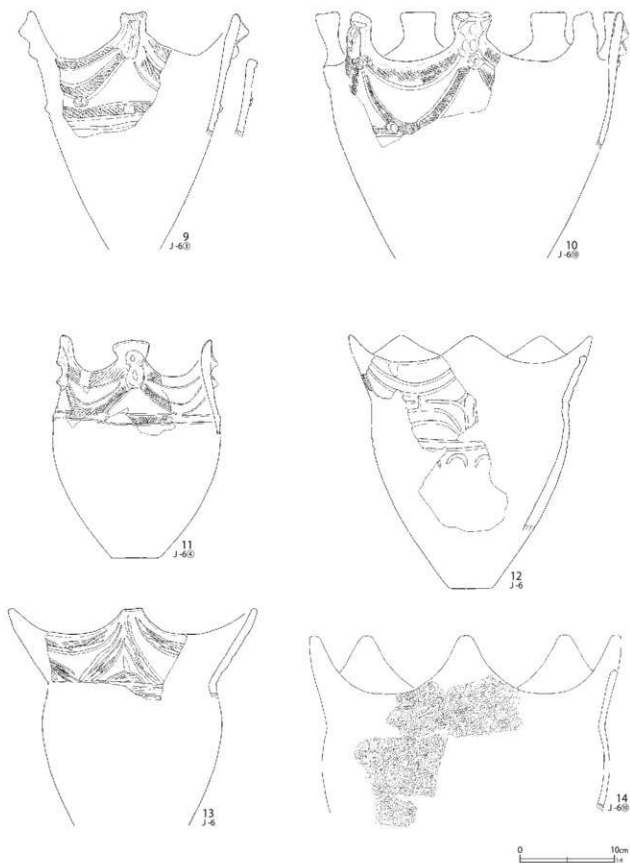
安行 3c・d



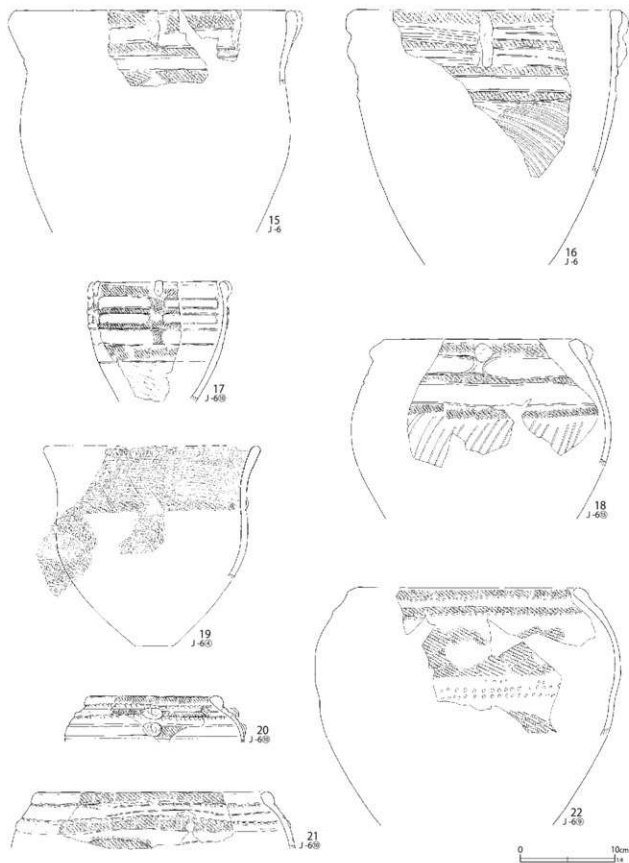
第 552 図 J-6 グリッド時期別濃淡図



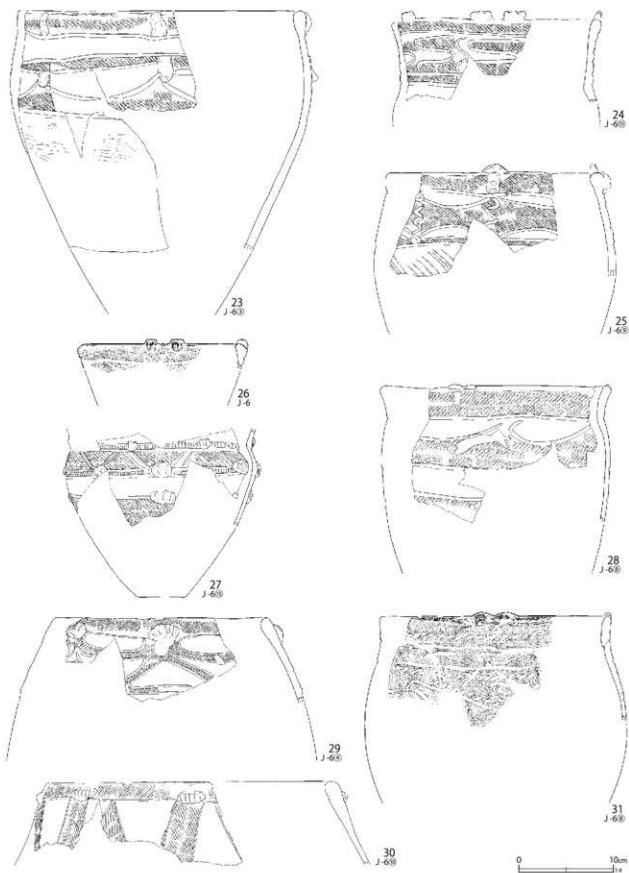
第553図 J-6グリッド出土遺物(1)



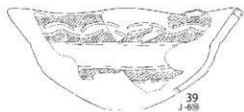
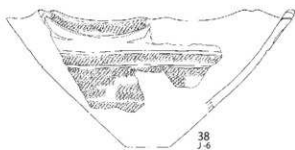
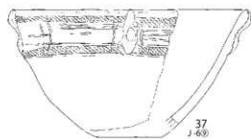
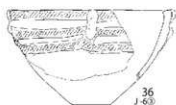
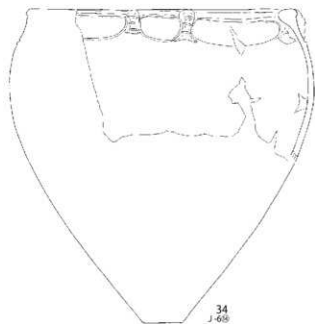
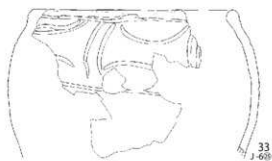
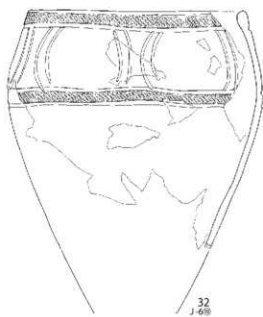
第554図 J-6グリッド出土遺物(2)



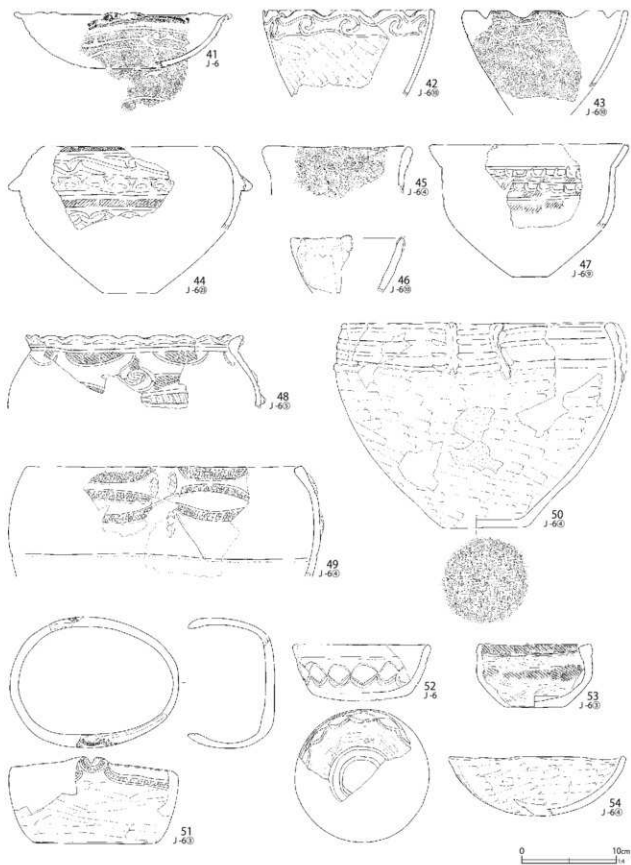
第555図 J-6グリッド出土遺物(3)



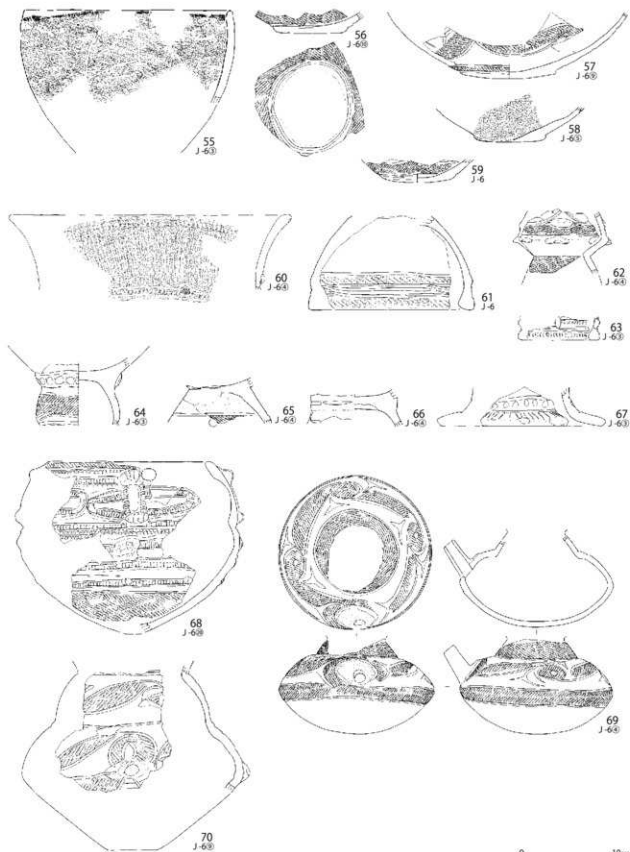
第556図 J-6グリッド出土遺物(4)



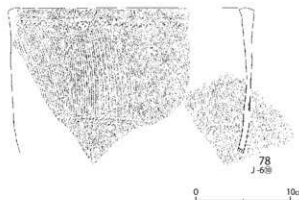
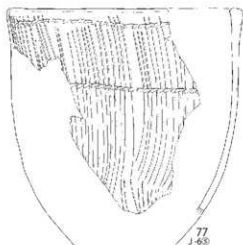
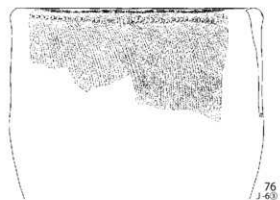
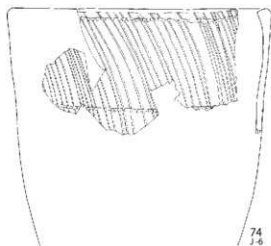
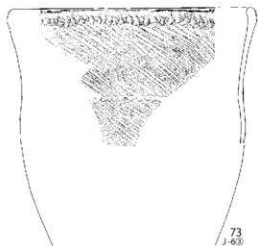
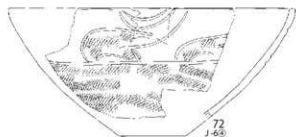
第 557 図 J-6 グリッド出土遺物 (5)



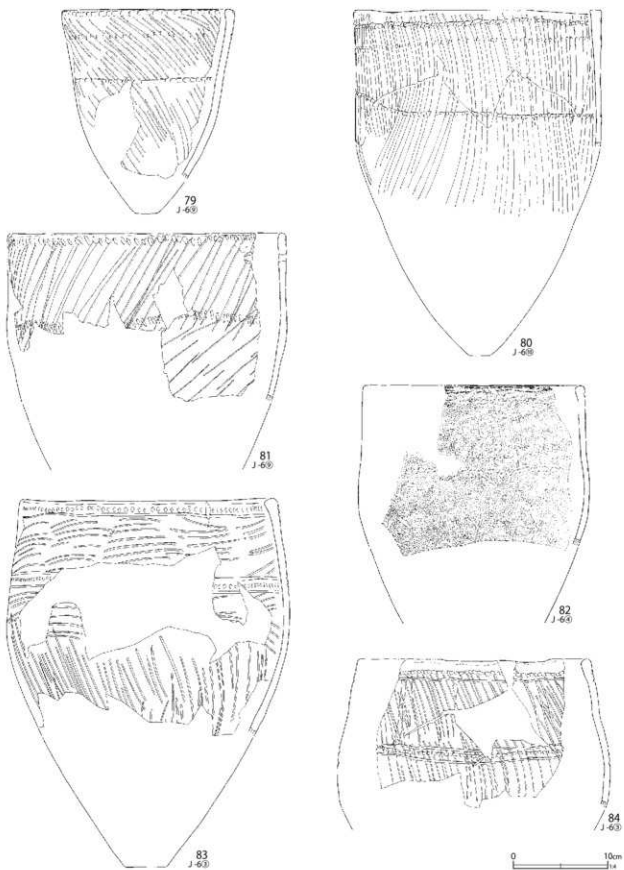
第 558 図 J-6 グリッド出土遺物 (6)



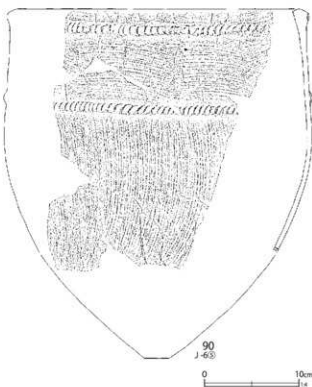
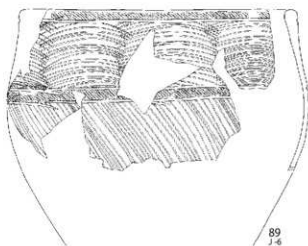
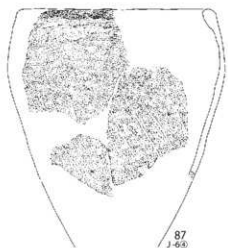
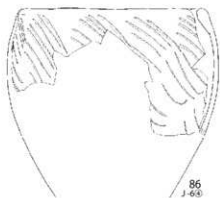
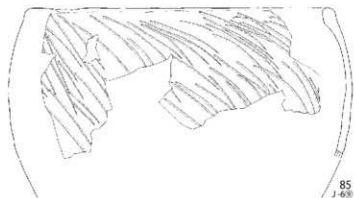
第559図 J-6グリッド出土遺物(7)



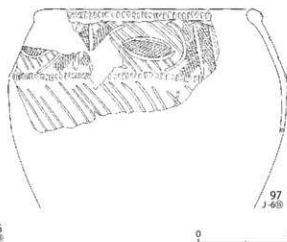
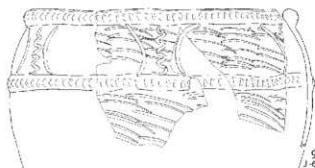
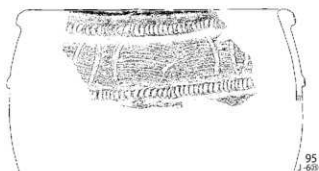
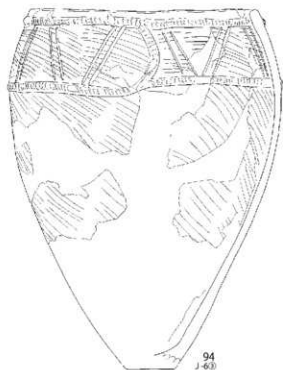
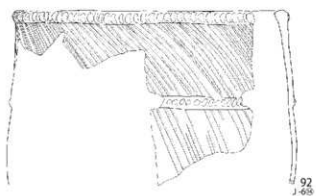
第560図 J-6グリッド出土遺物(8)



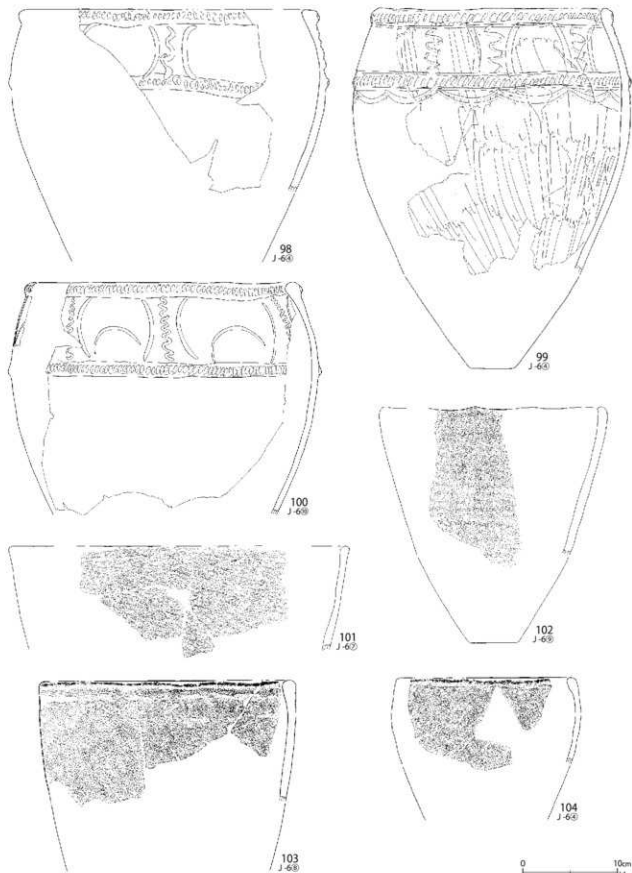
第561図 J-6グリッド出土遺物(9)



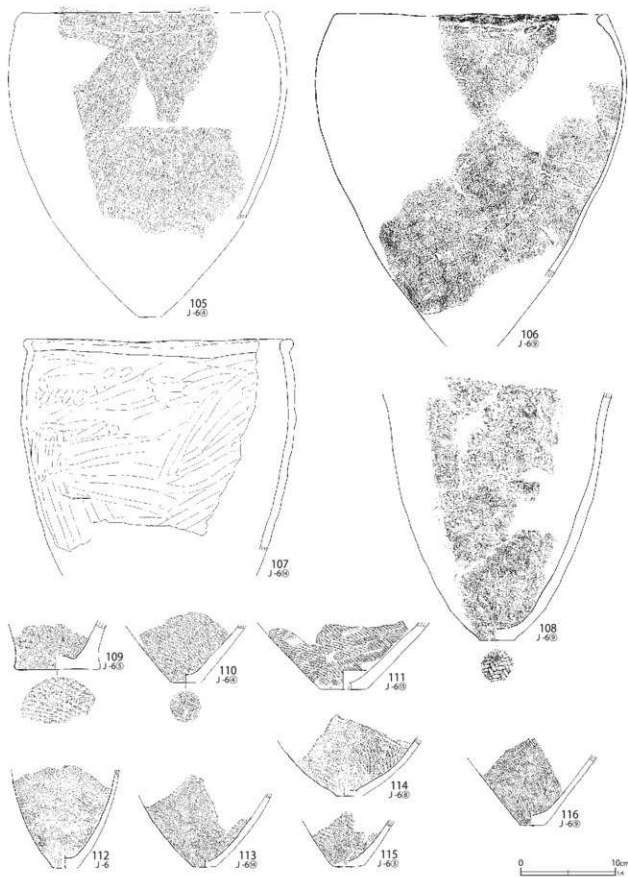
第 562 図 J-6 グリッド出土遺物 (10)



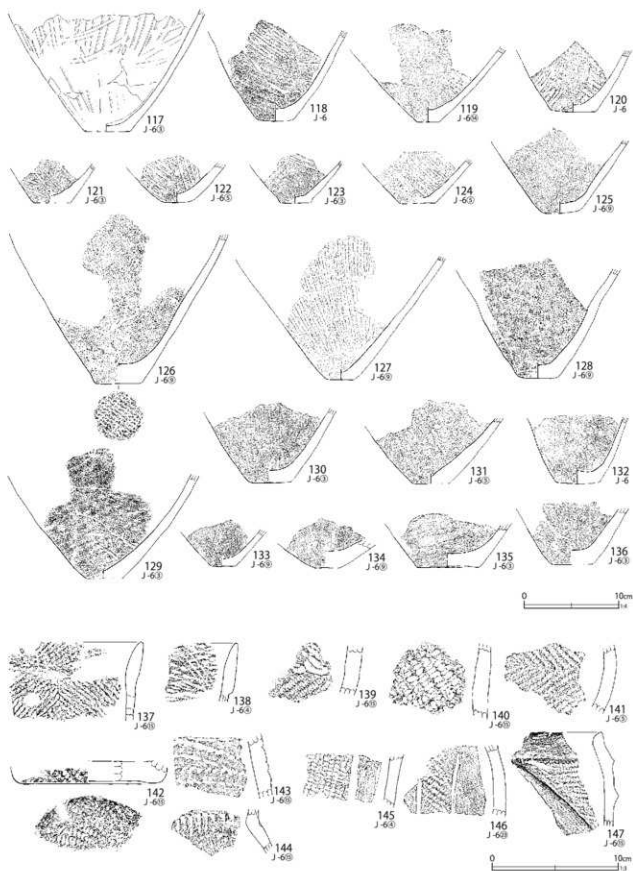
第563図 J-6グリッド出土遺物(11)



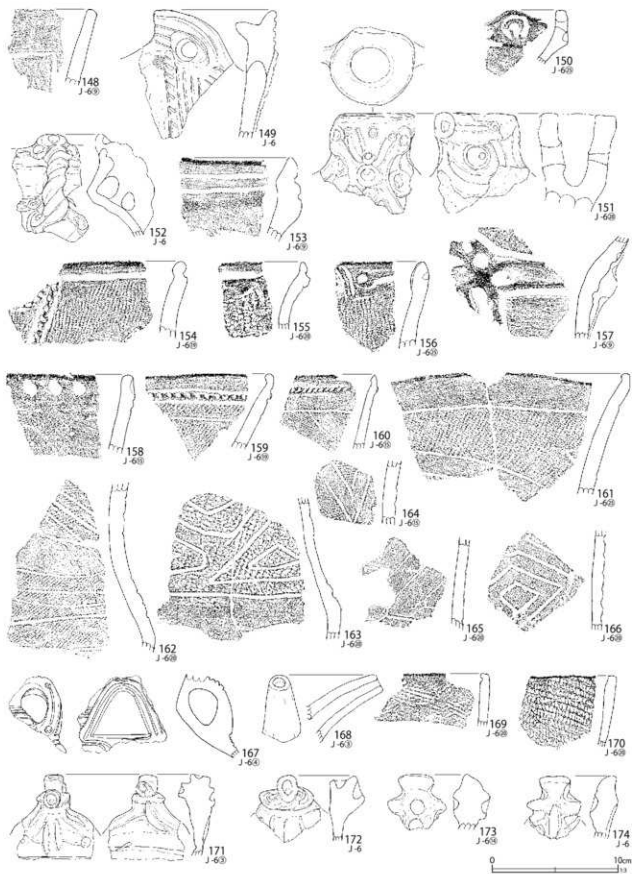
第564図 J-6グリッド出土遺物 (12)



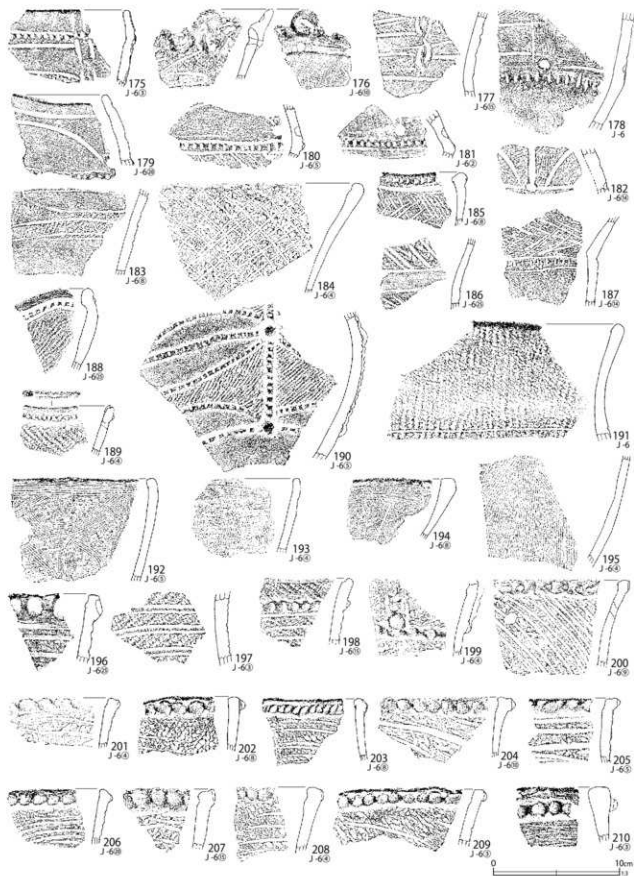
第565図 J-6グリッド出土遺物 (13)



第 566 図 J-6 グリッド出土遺物 (14)



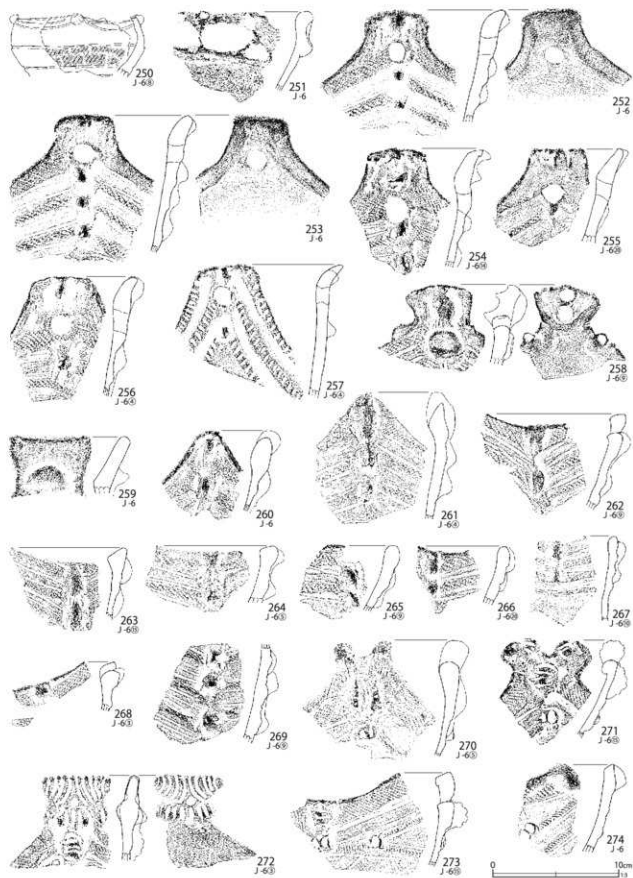
第567図 J-6グリッド出土遺物(15)



第 568 図 J-6 グリッド出土遺物 (16)



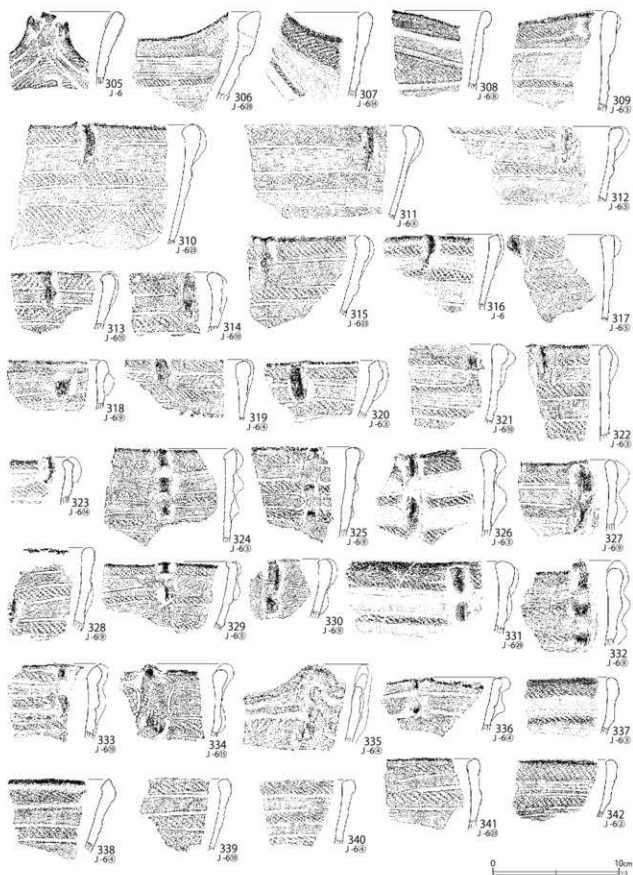
第569図 J-6グリッド出土遺物(17)



第570図 J-6グリッド出土遺物 (18)



第571図 J-6グリッド出土遺物(19)



第572図 J-6グリッド出土遺物(20)



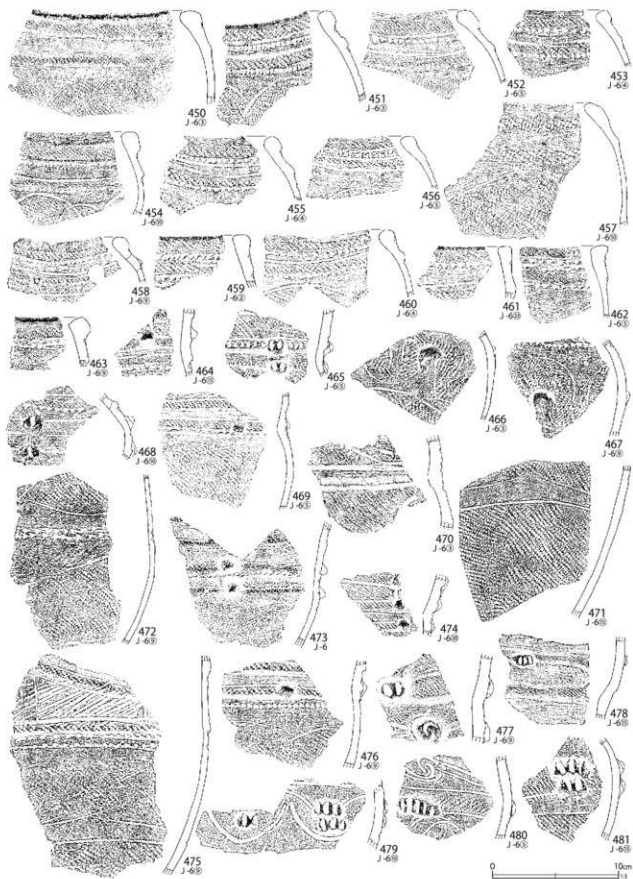
第573図 J-6グリッド出土遺物(21)



第574図 J-6グリッド出土遺物 (22)



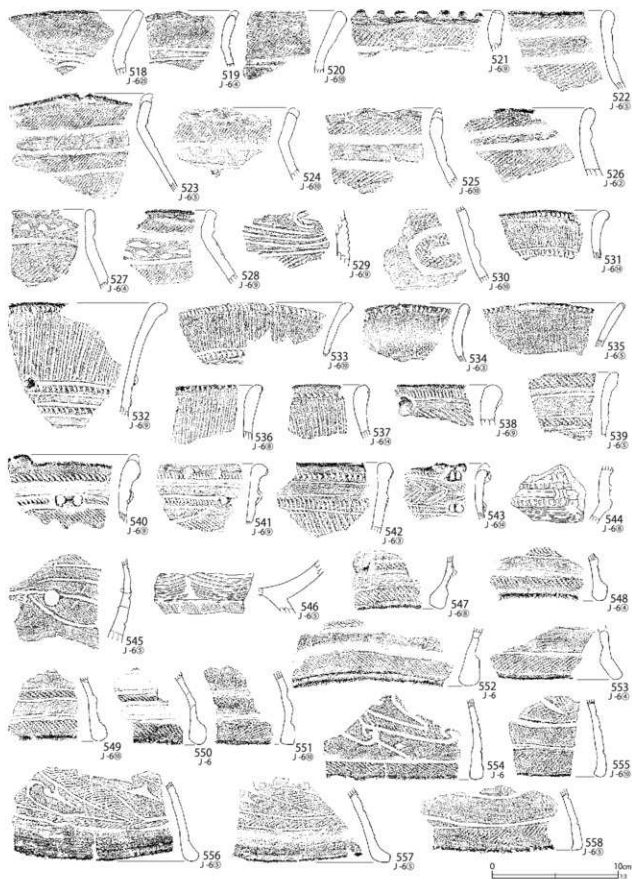
第575図 J-6グリッド出土遺物(23)



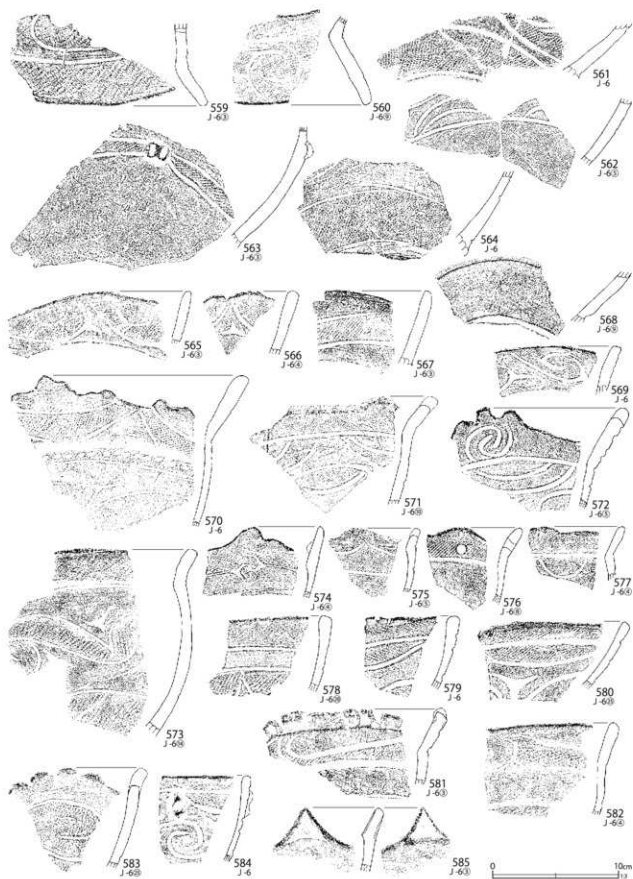
第576図 J-6グリッド出土遺物 (24)



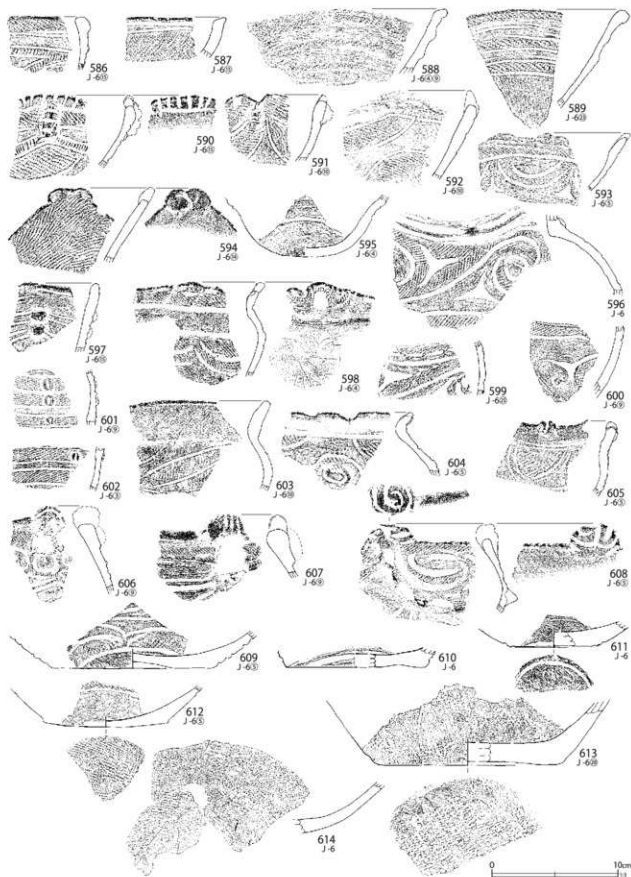
第577図 J-6グリッド出土遺物(25)



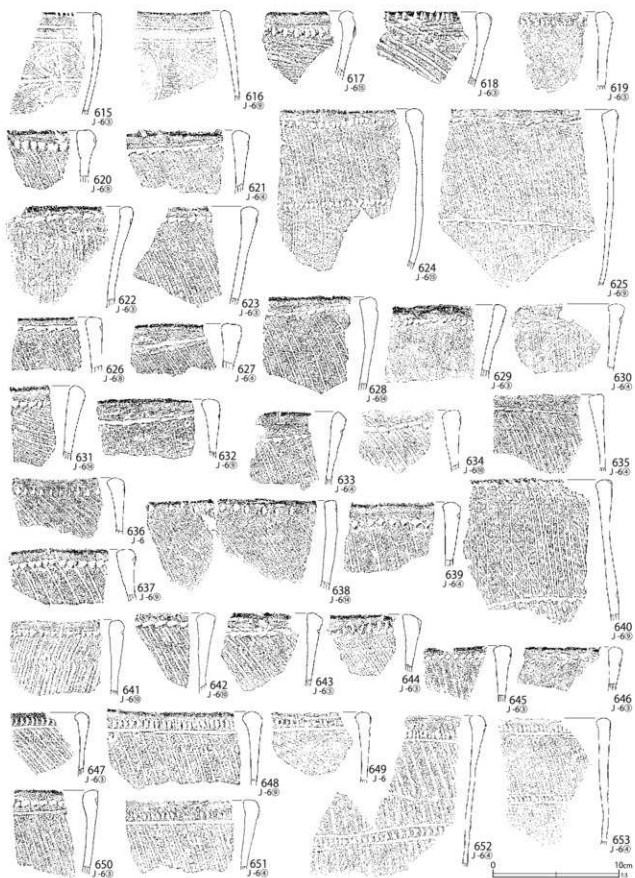
第578図 J-6グリッド出土遺物 (26)



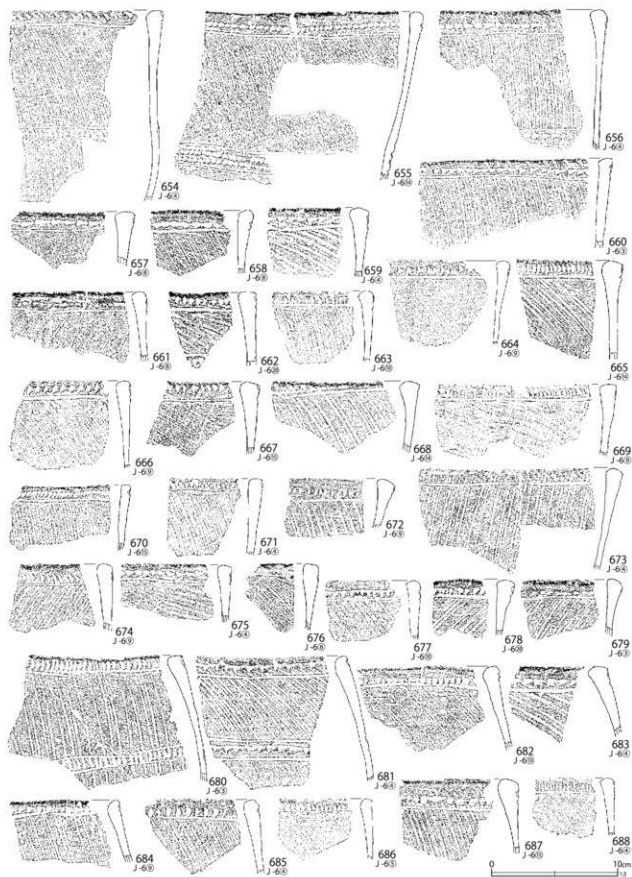
第579図 J-6グリッド出土遺物(27)



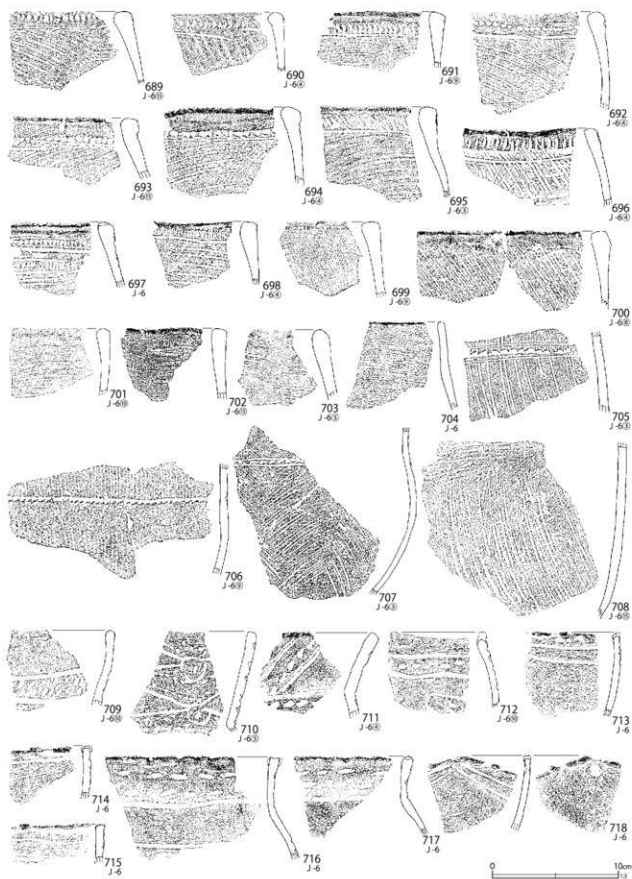
第580図 J-6グリッド出土遺物 (28)



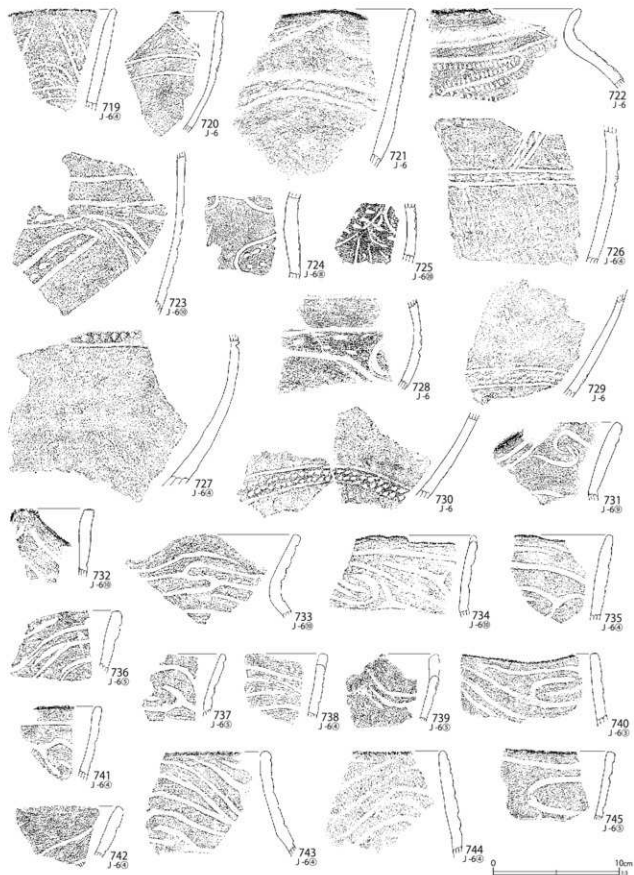
第581図 J-6グリッド出土遺物(29)



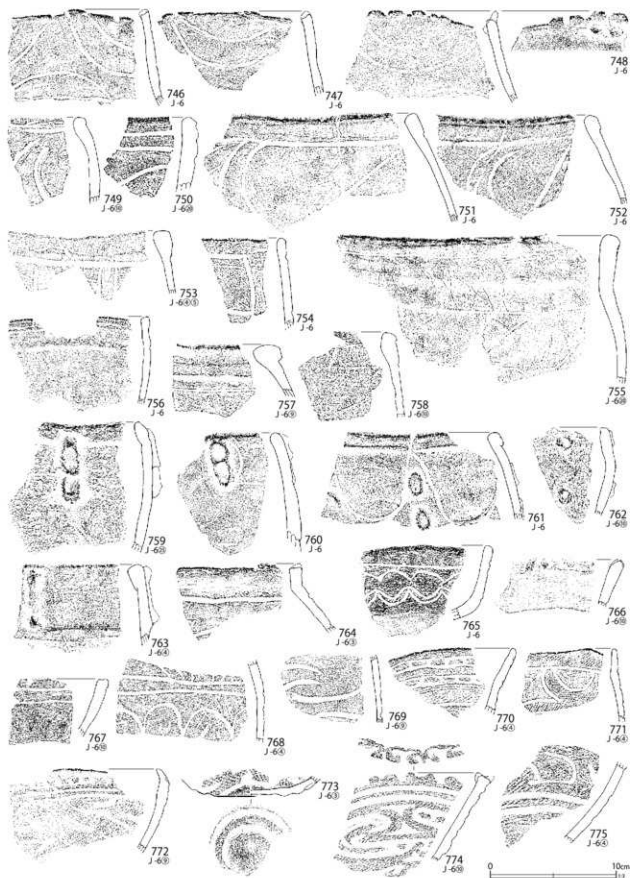
第582図 J-6グリッド出土遺物(30)



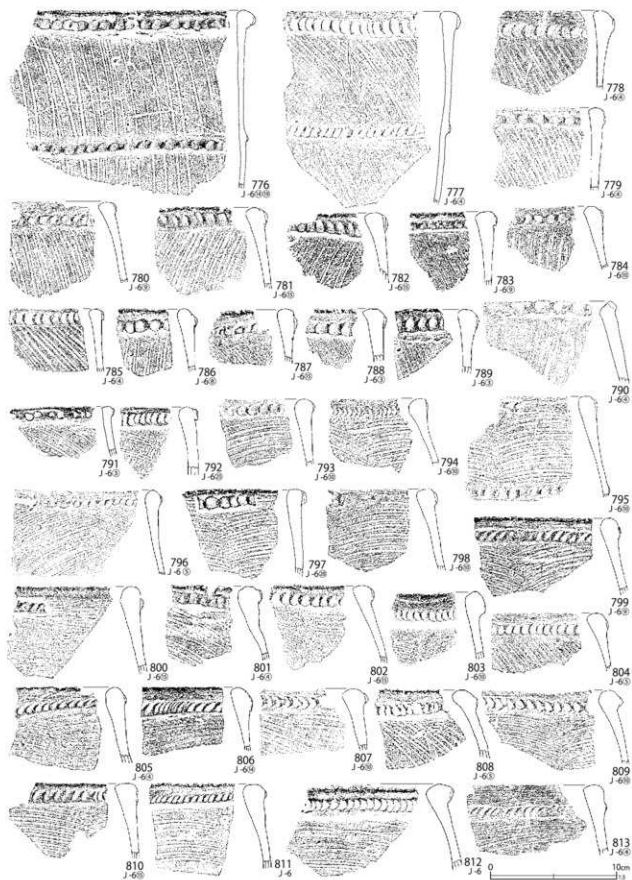
第583図 J-6グリッド出土遺物(31)



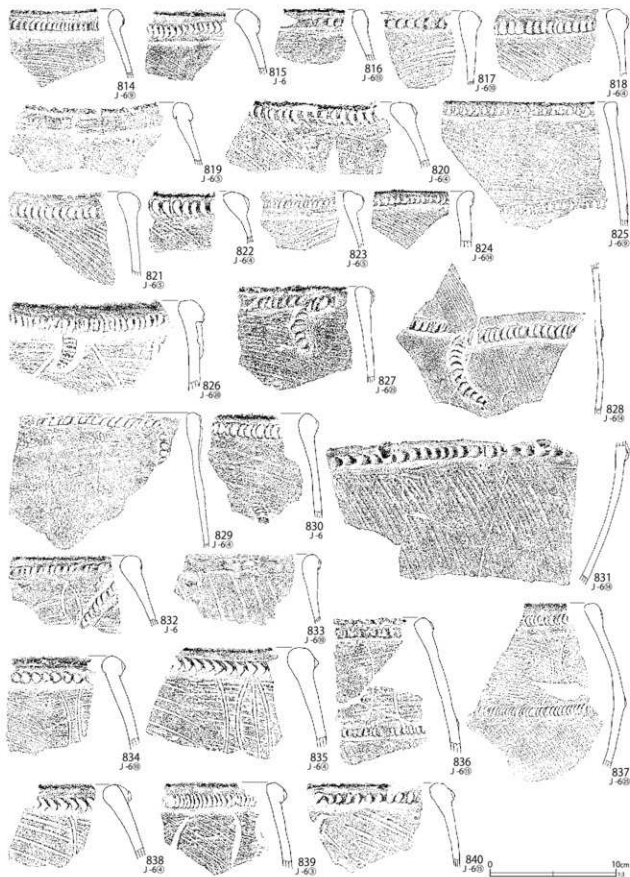
第584図 J-6グリッド出土遺物 (32)



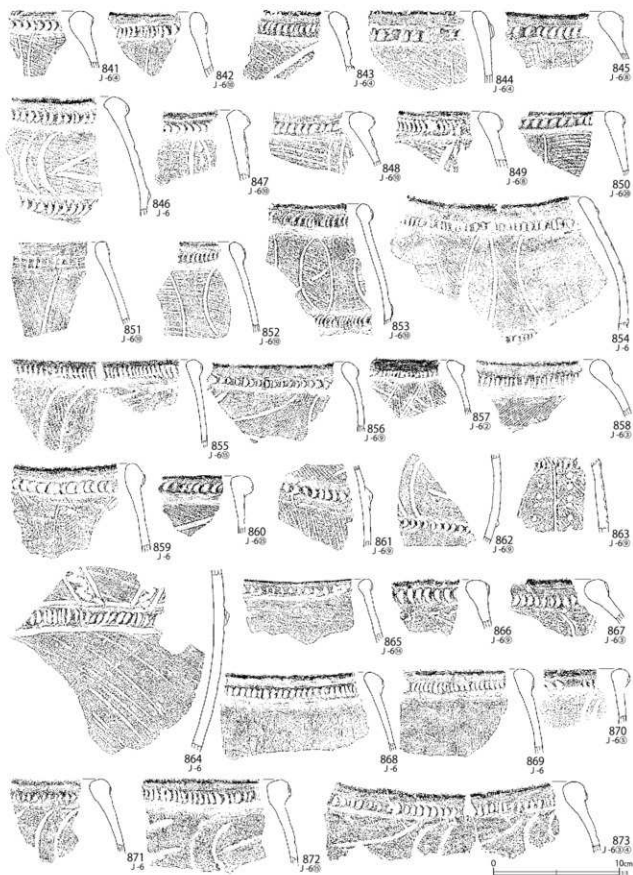
第585図 J-6グリッド出土遺物(33)



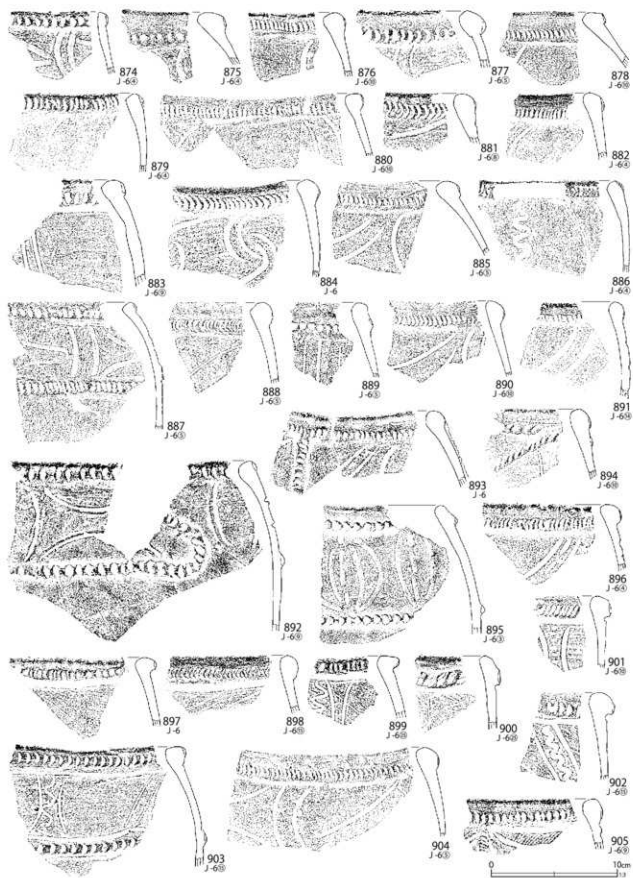
第 586 図 J-6 グリッド出土遺物 (34)



第587図 J-6グリッド出土遺物(35)



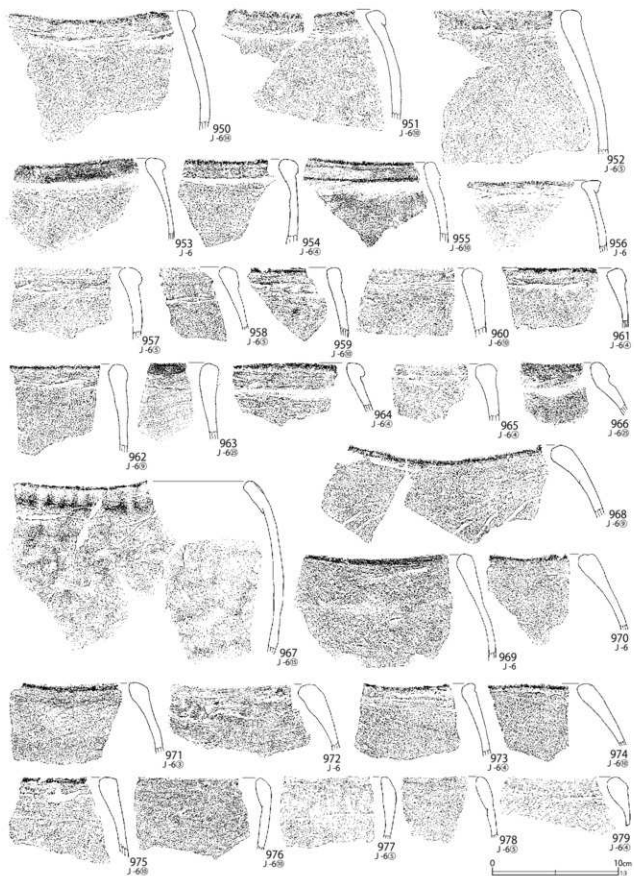
第588図 J-6グリッド出土遺物(36)



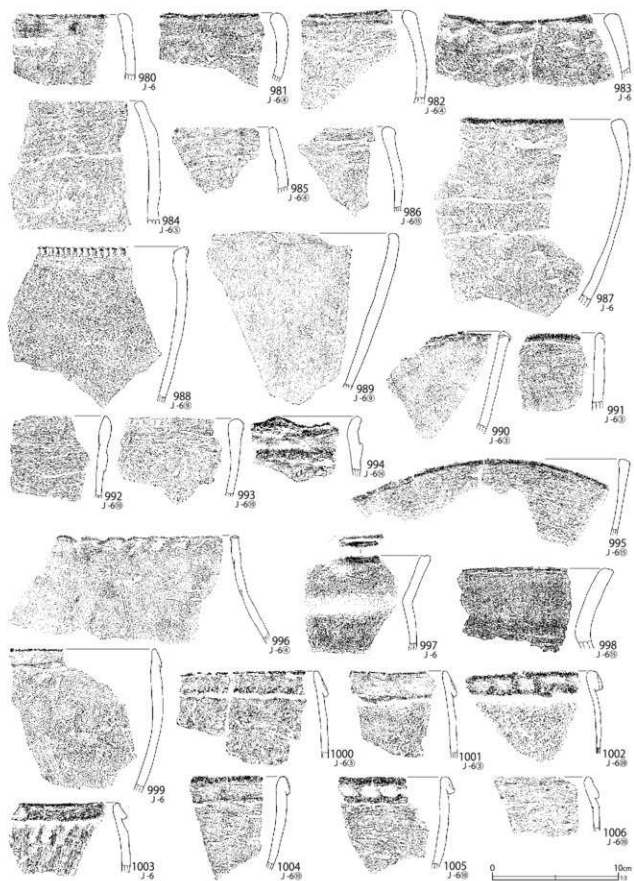
第589図 J-6グリッド出土遺物(37)



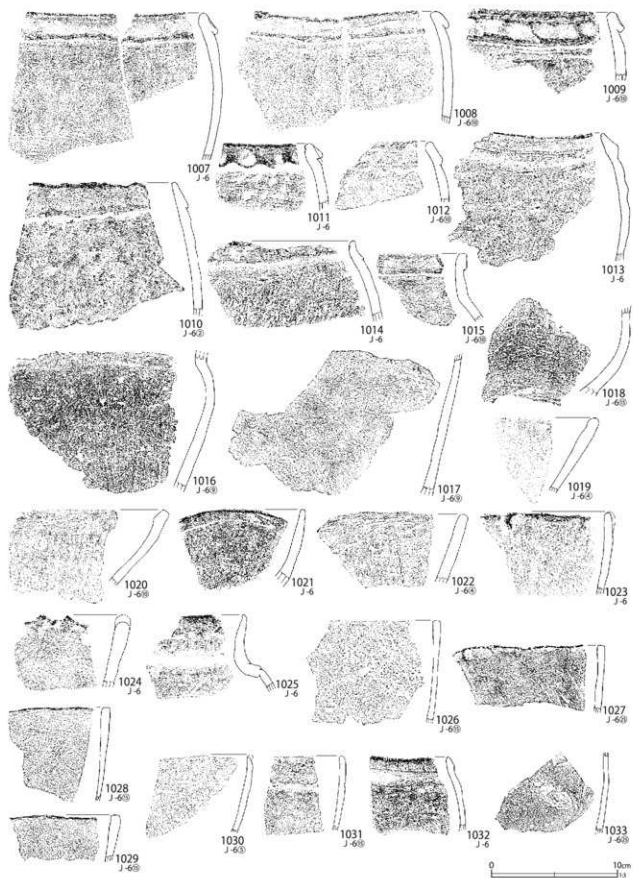
第590図 J-6グリッド出土遺物 (38)



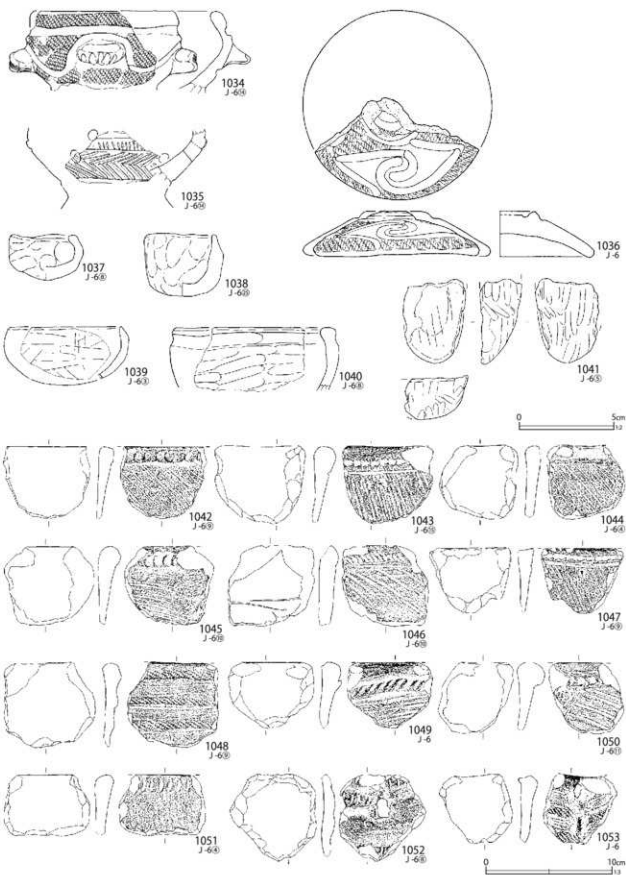
第591図 J-6グリッド出土遺物(39)



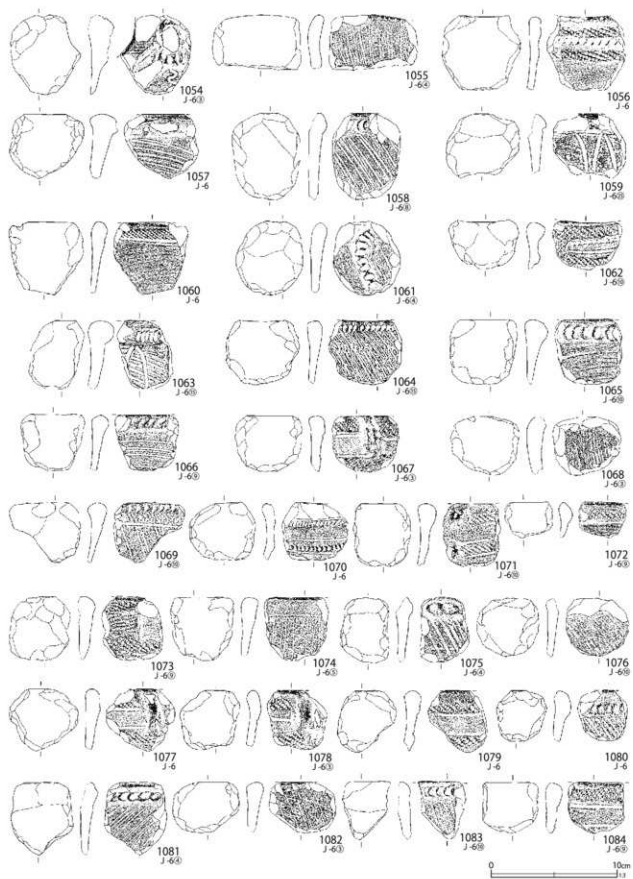
第 592 図 J-6 グリッド出土遺物 (40)



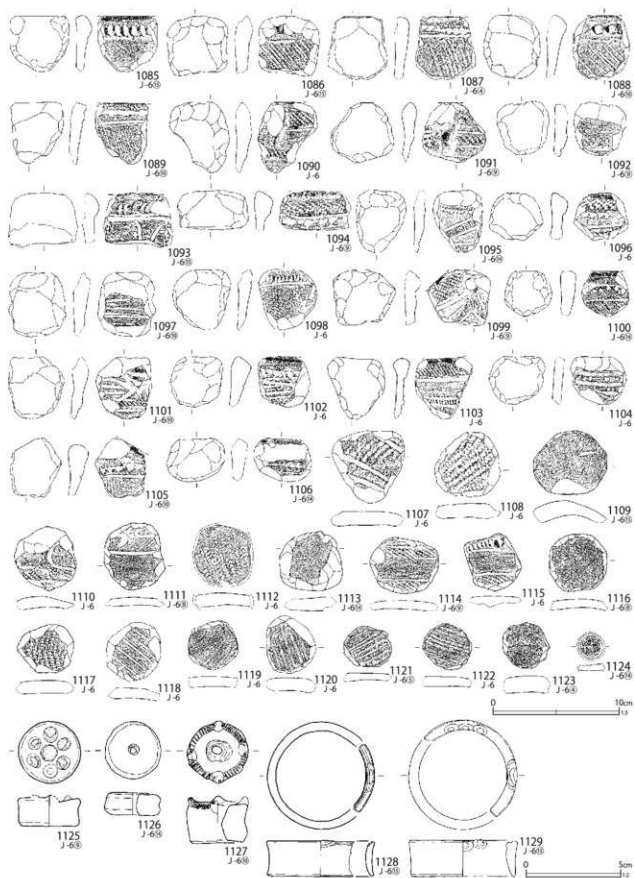
第593図 J-6グリッド出土遺物(41)



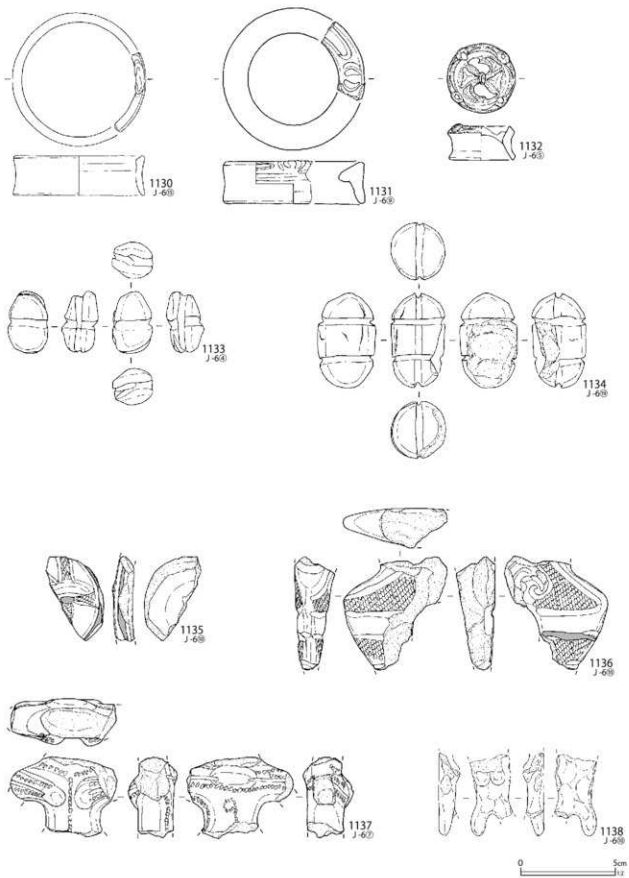
第 594 図 J-6 グリッド出土遺物 (42)



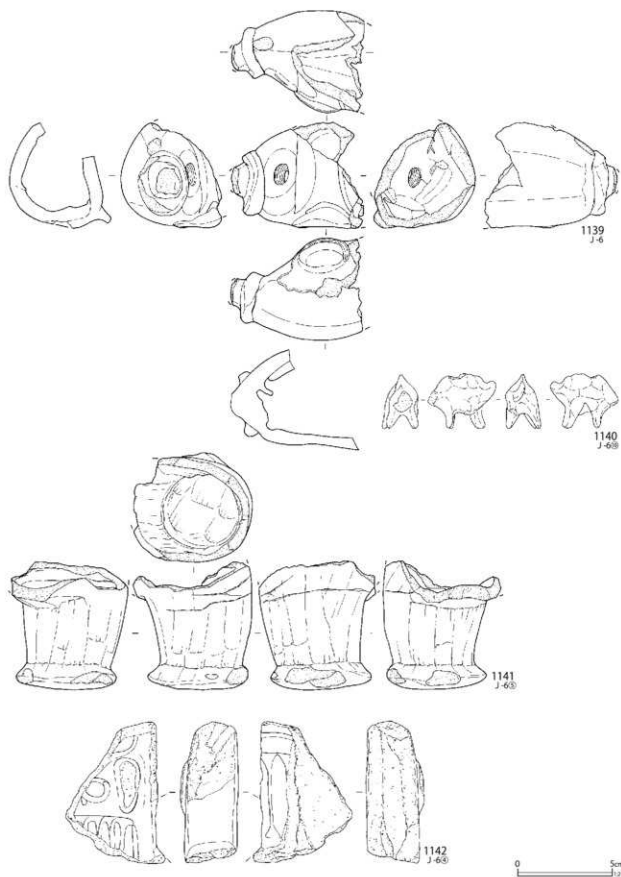
第595図 J-6グリッド出土遺物(43)



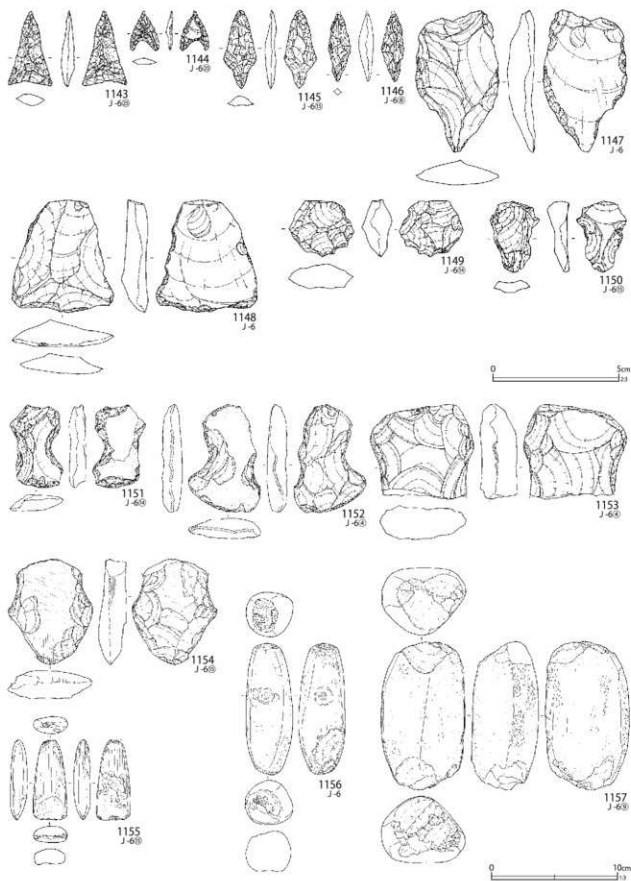
第596図 J-6グリッド出土遺物(44)



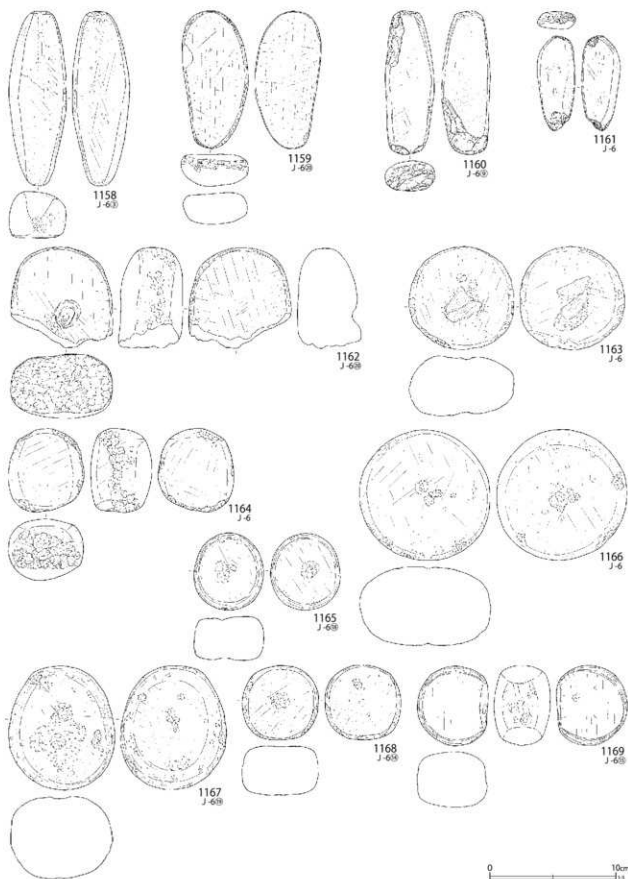
第597図 J-6グリッド出土遺物(45)



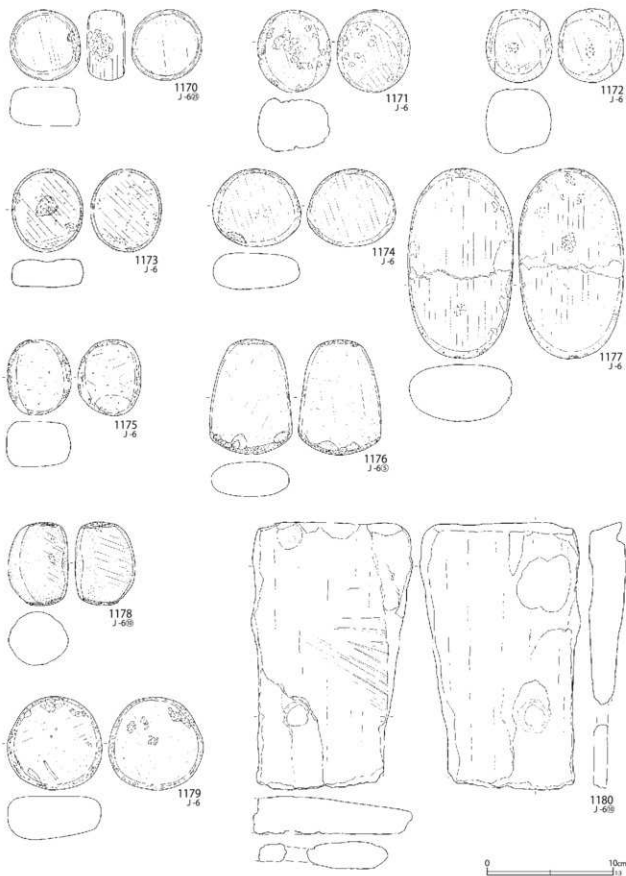
第 598 図 J-6 グリッド出土遺物 (46)



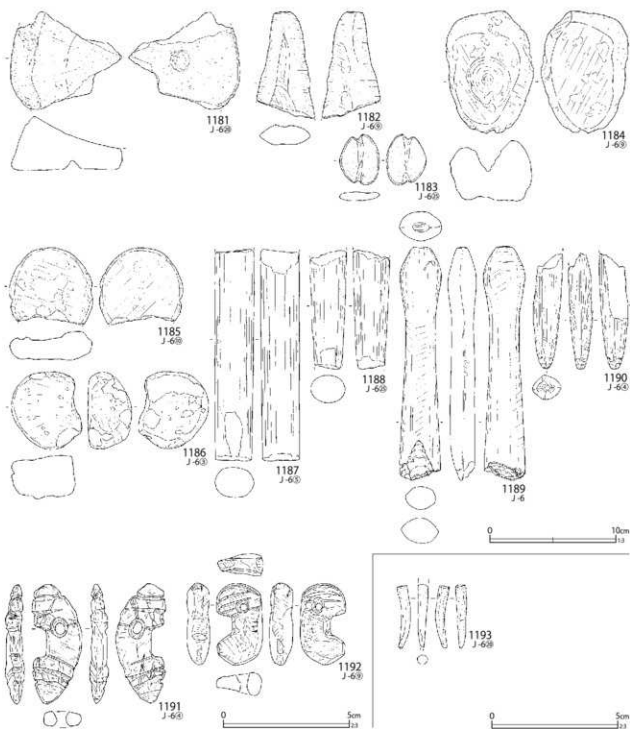
第599図 J-6グリッド出土遺物(47)



第600図 J-6グリッド出土遺物 (48)



第601図 J-6グリッド出土遺物(49)



第602図 J-6グリッド出土遺物 (50)

第80表 J-6グリッド出土復元土器観察表 (第553~第566図)

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類	番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
1	IV	[17.9]	-	(33.0)	-	VI 4-A4	11	III-2	[10.1]	(16.0)	(17.8)	-	VII 1~2-A3
2	IV-3	[15.5]	-	(26.2)	-	VI 4-A4	12	III-2	[18.5]	(24.7)	(24.7)	-	VII 1-A3
3	IV	[11.4]	(20.2)	(20.2)	-	VI 1-A3	13	III-2	[9.7]	(26.4)	(26.4)	-	VII 1-A3
4	IV	[10.5]	(17.1)	(17.1)	-	VI 1-A1	14	II-4	[14.9]	(32.2)	(32.2)	-	VII -A3
5	V-1	[13.4]	(22.0)	(22.6)	-	VI 2-A3	15	IV	[7.9]	(30.0)	(30.0)	-	VI 1-A4
6	II	[11.3]	14.2	14.2	-	VII 2-A3	16	IV	[17.8]	(28.4)	(28.4)	-	VI 1-A4
7	IV	[17.1]	(22.2)	(24.0)	-	VII 1-A3	17	IV-3	[12.8]	(14.2)	(14.7)	-	VI 1-A5
8	IV	[14.5]	(20.1)	(20.1)	-	VII 2-A3	18	IV	[13.5]	(21.0)	(27.4)	-	VI 1-A5
9	III-2	[13.2]	(22.8)	(22.8)	-	VII 2-A1	19	IV-9	[14.1]	(23.0)	(23.0)	-	VI 1-A4
10	VI	[14.3]	(31.8)	(31.8)	-	VII 2-A1	20	IV-3	[4.9]	(14.0)	(18.9)	-	VI 2-A5

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類	番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
21	IV-2	[6.0]	(25.0)	(30.0)	-	VI 1 ~ 2-A5	79	IV	[17.8]	(18.3)	(18.3)	-	VI 1-A6
22	V-1	[15.3]	(25.4)	(32.2)	-	VI 2-A5	80	IV-3	[13.5]	26.1	26.1	-	VI 1-A6
23	II	[25.3]	(30.6)	(32.0)	-	VI 1 ~ 2-A5	81	V-1	[17.8]	(29.3)	(29.5)	-	VI 2-A6
24	IV	[9.7]	(22.2)	(22.2)	-	VI 2-A4	82	V-1	[17.0]	(22.8)	(24.4)	-	VI 2-A6
25	IV	[11.9]	(23.0)	(25.6)	-	VI 2-A5	83	IV	[25.1]	(27.0)	(28.8)	-	VI 2-A6
26	IV	[3.2]	(18.0)	(18.0)	-	VI 2-A2	84	IV	[15.7]	(24.8)	(28.8)	-	VI 2-A6
27	V-1	[10.3]	-	(20.5)	-	VI 2-A3	85	IV	[15.9]	(32.6)	(36.2)	-	VI 2-A6
28	II	[14.6]	(24.4)	(24.4)	-	VI 2-A4	86	IV	[13.5]	(19.2)	(22.2)	-	VI 2-A6
29	II	[8.8]	(22.4)	(30.2)	-	VI 1-A5	87	IV	[18.0]	(19.9)	(23.0)	-	VI 2-A6
30	III	[8.8]	(31.1)	(37.7)	-	VI 1-A5	88	IV	[19.0]	(27.3)	(27.9)	-	VI 1 ~ 2-A6
31	II	[11.1]	(24.5)	(27.7)	-	VI 1-A4	89	IV	[17.1]	(29.2)	(31.8)	-	VI 2-A6
32	IV	[25.2]	(23.1)	(26.9)	-	VI 2-A5	90	-	[25.8]	(30.0)	(32.4)	-	VI 2-A7
33	IV	[15.7]	(22.2)	(26.5)	-	VI 1-A5	91	-	[26.6]	(29.0)	(30.4)	-	V 4 ~ VI 1-A7
34	IV	[16.0]	(28.8)	(32.2)	-	VI 1-A5	92	V-1	[18.5]	(29.2)	(30.6)	-	VI 1-A7
35	IV-3	[5.8]	(16.0)	(16.0)	-	V 4 ~ VI 1-C2	93	IV	[9.6]	(28.8)	(30.0)	-	VI 1-A7
36	VI	[7.5]	(17.1)	(17.1)	-	VI 1-C2	94	IV	[37.5]	(24.4)	(29.1)	-	VI 2 ~ VII 1-A7
37	V-1	[12.8]	(12.8)	(25.2)	-	VI 1-C2	95	I-1	[9.7]	(26.6)	(31.6)	-	VI 2 ~ VII 1-A7
38	IV	[10.9]	(30.6)	(30.6)	-	VI 1 ~ 2-C2	96	IV	[14.7]	(28.5)	(32.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A7
39	II	[8.8]	(24.8)	(24.8)	-	VI 1 ~ 2-C1	97	IV	[13.1]	(24.2)	(29.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A7
40	IV	[9.6]	-	(30.7)	-	VI 1 ~ 2-C2	98	IV	[19.3]	(31.8)	(33.6)	-	VI 1 ~ 2-A7
41	IV	[5.8]	(22.2)	(22.2)	-	VI 1-C1	99	III-4	[28.3]	(24.5)	(29.4)	-	VI 1 ~ 2-A7
42	III	[9.2]	(18.1)	(18.1)	-	VI 1-C2	100	IV	[24.5]	(29.4)	(33.2)	-	VI 1 ~ 2-A7
43	III-2	[8.0]	(17.5)	(17.5)	-	VI 1-C2	101	IV	[10.9]	(36.0)	(36.0)	-	VI-A2
44	I-1	[8.8]	(18.2)	(25.8)	-	VI 2-D3	102	IV	[15.6]	(23.4)	(24.0)	-	VI-A2
45	IV	[5.2]	(16.0)	(16.0)	-	VI 1-A2	103	IV	[12.8]	(26.3)	(27.2)	-	VI-A5
46	IV-3	[6.1]	(11.9)	(11.9)	-	VI-C2	104	IV	[9.1]	(18.0)	(20.0)	-	VI-A5
47	II	[8.9]	(21.2)	(21.2)	-	VI 2-C1	105	III-4	[21.8]	(26.7)	(29.4)	-	VI-A5
48	III-4	[7.7]	(23.0)	(26.6)	-	VI 2-D3	106	IV	[27.8]	(28.0)	(33.0)	-	VI-A5
49	III-4	[11.8]	(29.0)	(33.0)	-	VI 1-C2	107	IV	[22.4]	(28.6)	(29.2)	-	VI-A5
50	IV	21.4	(28.6)	(30.1)	9.2	VI 1-C2	108	V-1	[26.1]	-	(24.0)	3.7	X 3
51	IV	9.2	(17.8 x 13.8)	(17.8)	(13.2 x 9.2)	VI 2-C2	109	IV-9	[4.8]	-	(10.4)	(9.0)	X 3
52	IV	6.0	(14.6)	(14.6)	(10.4)	VI 2-C2	110	IV-3	[6.0]	-	(12.8)	3.4	X 3
53	VI	[6.7]	(12.2)	(12.2)	6.2	VI-C2	111	IV	[7.1]	-	(18.2)	4.8	X 3
54	III-4	[6.3]	18.7	18.7	丸底	VI-C2	112	III-2	[10.4]	-	(11.4)	2.6	X 3
55	V-1	[9.7]	(22.0)	(22.6)	-	VI-C2	113	III-2	[7.8]	-	(14.0)	2.4	X 3
56	IV	[2.6]	-	(11.4)	7.2 x 7.8	VI-VI-C	114	III-2	[5.9]	-	(15.2)	2.8	X 3
57	IV	[7.0]	-	(25.2)	10.2	VI-VI-C	115	III-2	[4.9]	-	(9.8)	3.4	X 3
58	IV-2	[3.6]	-	(15.7)	(7.6)	VI-VI-C	116	IV	[7.2]	-	(13.7)	2.6	X 3
59	III-2	[2.5]	-	(11.4)	7.4	VI-VI-C	117	-	[12.5]	-	(20.7)	4.7	X 3
60	IV	[7.9]	(29.8)	(29.8)	-	VI 1-B	118	III-2	[9.4]	-	(14.6)	3.8	X 3
61	IV	[9.9]	-	(17.6)	(17.6)	VI 1-B	119	III-2	[7.7]	-	(16.4)	4.4	X 3
62	III-2	[6.5]	-	(9.8)	-	VI 1-B	120	III-2	[6.5]	-	(12.1)	4.8	X 3
63	IV	[2.6]	-	(8.6)	(8.6)	VI 1-B	121	III-2	[3.7]	-	(8.8)	3.8	X 3
64	II	[6.5]	-	(11.0)	-	VI-B	122	III-2	[4.1]	-	(10.7)	3.4	X 3
65	III-4	[3.9]	-	(10.8)	-	VI-B	123	III-2	[4.2]	-	(9.7)	3.0	X 3
66	III-2	[3.7]	-	(10.2)	-	VI-VI-B	124	III-2	[4.4]	-	(11.8)	4.0	X 3
67	II	[4.1]	-	(17.8)	(17.8)	VI-VI-B	125	IV-9	[7.5]	-	(14.6)	4.2	X 3
68	V-1	[18.1]	(17.9)	(23.9)	-	VI 2-G	126	IV	[15.8]	-	(23.0)	4.9	X 3
69	II	[9.7]	-	16.4	丸底	VI 1-G	127	IV	[12.7]	-	(22.2)	3.0	X 3
70	II	[12.9]	-	(23.4)	-	VI 2-G	128	IV	[11.4]	-	(17.4)	4.1	X 3
71	III-2	[12.5]	(27.8)	(27.8)	(9.0)	VI 6-C2	129	IV	[10.8]	-	(20.2)	3.9	X 3
72	III-2	[11.7]	(30.2)	(30.2)	-	VI 6-C2	130	IV	[7.6]	-	(14.2)	4.4	X 3
73	V-1	[14.3]	(25.0)	(26.5)	-	V 4 ~ VI 1-A6	131	V-1	[6.9]	-	(15.2)	(4.0)	X 3
74	IV	[13.3]	(28.0)	(28.0)	-	VI 1-A6	132	III-2	[7.0]	-	(10.6)	4.6	X 3
75	IV	[12.0]	(29.5)	(30.0)	-	VI 1-A6	133	IV	[3.6]	-	(9.0)	2.6	X 3
76	IV	[11.5]	(25.6)	(28.8)	-	VI 1-A6	134	IV	[2.6]	-	(10.4)	2.4	X 3
77	IV	[21.7]	(25.0)	(25.0)	-	VI 1-A6	135	III-2	[4.7]	-	(13.5)	6.4	X 3
78	IV-3	[15.5]	(26.0)	(26.0)	-	VI 1-A6	136	III-2	[5.9]	-	(12.0)	4.1	X 3

第81表 J-6 グリッド出土土器観察表 (第566~第593図)

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
137	II	II 1-A2	146	V-1	III 5-A4	155	V-1	IV 3-A4	164	V-1	IV 4-A4
138	II	II 1-A2	147	V-1	III 6-A4	156	V-1	IV 3-A4	165	V-1	IV 4-A4
139	V-1	II 1-A2	148	IV	IV 2-A4	157	IV	IV 3-A4	166	V-1	IV 4-A4
140	V-1	II 2-A4	149	IV	IV 3-A3	158	V-1	IV 3-A4	167	I	IV-G
141	-	II 2-A4	150	IV	IV 3-A3	159	V-1	IV 4-A2	168	V-1	IV-G
142	V-1	II 2-A	151	V-1	IV 3-A3	160	V-1	IV 4-A2	169	V-1	V-A2
143	III	II 8-A4	152	IV	IV 3-A3	161	V-1	IV 4-A4	170	V-1	V-A2
144	V-1	II 8-A4	153	V-1	IV 3-A3	162	V-1	IV 4-A4	171	IV	V 2-A3
145	IV	III 5-A4	154	V-1	IV 3-A4	163	V-1	IV 4-A4	172	IV	V 2-A3

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
173	V-1	V 2-A3	243	V-1	V 4-A4	313	V-1	VI-A4	383	III-2	VI 1-A5
174	IV	V 2-A3	244	V-1	V 4-A4	314	IV-3	VI-A4	384	IV	VI 1-A5
175	IV	V 2 ~ 3-A4	245	V-1	V 4-A3	315	V-1	VI-A4	385	IV	VI 1-A5
176	IV-3	V 2 ~ 3-A4	246	II-5	V 4-A4	316	IV	VI-A4	386	IV-3	VI 1-A5
177	V-1	V 2 ~ 3-A4	247	V-1	V 4-A4	317	IV-2	VI-A4	387	IV	VI 1-A5
178	III-2	V 2 ~ 3-A4	248	V-1	V 4-A4	318	V-1	VI-A4	388	II	VI 1-A5
179	V-1	V 2 ~ 3-A5	249	IV	V 4-A4	319	IV-3	VI-A4	389	III-2	VI 1-A5
180	IV	V 2 ~ 3-A5	250	V-1	V 4-A4	320	V-1	VI-A4	390	III-2	VI 1-A5
181	IV	V 2 ~ 3-A5	251	IV	V 4-A	321	IV-2	VI-A4	391	-	VI 1-A5
182	IV	V 2 ~ 3-A5	252	IV	VI 1-A3	322	V-1	VI-A4	392	III-2	VI 1-A5
183	V-1	V-A	253	IV	VI 1-A3	323	II	VI-A4	393	IV	VI 1-A5
184	IV-3	V 2 ~ 4-A4	254	V-1	VI 1-A3	324	V-1	VI-A4	394	V-1	VI 1-A5
185	V-1	V 2 ~ 4-A4	255	V-1	VI 1-A3	325	V-1	VI-A4	395	IV	VI 1-A5
186	I	V 2 ~ 4-A4	256	IV	VI 1-A3	326	VI	VI-A4	396	IV-3	VI 1-A5
187	V-1	V 2 ~ 4-A4	257	IV	VI 1-A3	327	V-1	VI-A4	397	III-2	VI 1-A5
188	II	V 3-A3	258	V-1	VI 1-A3	328	V-1	VI-A4	398	IV-2	VI 1-A5
189	II	V 3-A3	259	IV	VI 1-A3	329	V-1	VI-A4	399	IV	VI 1-A5
190	V-1	V 3 ~ 4-A4	260	III-2	VI 1-A3	330	V-1	VI-A4	400	IV	VI 1-A5
191	IV	IV 4-A4	261	IV-9	VI 1-A3	331	II-4	VI-A4	401	IV	VI 1-A5
192	V-1	V 2 ~ 4-A2	262	V-1	VI 1-A3	332	V-1	VI-A4	402	IV	VI 1 ~ 2-A5
193	IV	V 2 ~ 4-A2	263	IV-9	VI 1-A3	333	IV	VI-A4	403	-	VI 1 ~ 2-A5
194	V-1	V 2 ~ 4-A2	264	IV-9	VI 1-A3	334	V-1	VI-A4	404	V-1	VI 1 ~ 2-A5
195	II	V 2 ~ 4-A2	265	V-1	VI 1-A3	335	IV	VI-A4	405	V-1	VI 1 ~ 2-A5
196	V-1	V 2 ~ 4-A7	266	V-1	VI 1-A3	336	IV	VI-A4	406	IV	VI 1 ~ 2-A5
197	IV	V 2 ~ 4-A7	267	IV-2	VI 1-A3	337	VI	VI 1 ~ 2-A4	407	IV-2	VI 1 ~ 2-A5
198	-	V 2 ~ 4-A7	268	IV	VI 1-A3	338	IV	VI 1 ~ 2-A4	408	III-4	VI 1 ~ 2-A5
199	IV-9	V 2 ~ 4-A7	269	V-1	VI 1-A3	339	IV-3	VI 1 ~ 2-A4	409	-	VI 1 ~ 2-A5
200	IV	V 2 ~ 4-A7	270	IV-2	VI 2-A3	340	IV	VI 1 ~ 2-A4	410	IV-3	VI 1 ~ 2-A5
201	-	V 2 ~ 4-A7	271	V-1	VI 2-A3	341	V-1	VI 1 ~ 2-A4	411	IV	VI 1 ~ 2-A5
202	V-1	V 2 ~ 4-A7	272	IV	VI 2-A3	342	IV	VI 1 ~ 2-A4	412	IV	VI 1 ~ 2-A5
203	V-1	V 2 ~ 4-A7	273	V-1	VI 2-A3	343	IV-9	VI 1 ~ 2-A4	413	IV	VI 1 ~ 2-A5
204	III	V 2 ~ 4-A7	274	IV	VI 2-A3	344	V-1	VI 1 ~ 2-A4	414	III-4	VI 1 ~ 2-A5
205	II	V 2 ~ 4-A7	275	V-1	VI 2-A3	345	V-1	VI 1 ~ 2-A4	415	III-2	VI 1 ~ 2-A5
206	II	V 2 ~ 4-A7	276	III	VI 2-A3	346	V-1	VI 1 ~ 2-A4	416	III-2	VI 1 ~ 2-A5
207	III-4	V 2 ~ 4-A7	277	IV-3	VI 2-A3	347	-	VI 1 ~ 2-A4	417	II-4	VI 1 ~ 2-A5
208	IV-3	V 2 ~ 4-A7	278	III-2	VI 2-A3	348	IV	VI 1 ~ 2-A4	418	III-4	VI 1 ~ 2-A5
209	V-1	V 2 ~ 4-A7	279	IV-2	VI 2-A3	349	III-4	VI 1 ~ 2-A4	419	IV	VI 1 ~ 2-A5
210	V-1	V 2 ~ 4-A7	280	IV	VI 2-A3	350	V-1	VI 1 ~ 2-A4	420	II	VI 1 ~ 2-A5
211	-	V 2 ~ 7-D	281	IV-2	VI 2-A3	351	II	VI 1 ~ 2-A4	421	V-1	VI 1 ~ 2-A5
212	II	V 2 ~ 7-A7	282	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	352	IV	VI 1 ~ 2-A4	422	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
213	IV-1	V-A	283	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	353	IV	VI 1 ~ 2-A4	423	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
214	IV-1	V-A	284	II-5	VI 2 ~ VII 1-A3	354	V-1	VI 1 ~ 2-A4	424	V-1	VI 2 ~ VII 1-A5
215	IV-1	V-A	285	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	355	IV	VI 1 ~ 2-A4	425	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5
216	IV-1	V-C2	286	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	356	V-1	VI 1 ~ 2-A4	426	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
217	-	V 1-C2	287	V-1	VI 2 ~ VII 1-A3	357	IV	VI 1 ~ 2-A4	427	III-2	VI 2 ~ VII 1-A5
218	V-1	VI 2-C2	288	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	358	V-1	VI 1 ~ 2-A4	428	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
219	II	VI 2-C2	289	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	359	IV	VI 1 ~ 2-A4	429	III-2	VI 2 ~ VII 1-A5
220	IV	VI 3 ~ 4-C2	290	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	360	V-1	VI 1 ~ 2-A4	430	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
221	V-1	V 1-D2	291	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	361	IV-3	VI 1 ~ 2-A4	431	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
222	II	V-G	292	III-2	VI 2-A3	362	V-1	VI 1 ~ 2-A4	432	V-1	VI 2 ~ VII 1-A5
223	V-1	V 4-A3	293	II	VI 2-A3	363	-	VI 2-A4	433	III-2	VI 2 ~ VII 1-A5
224	IV	V 4-A3	294	III-2	VI 2-A3	364	-	VI 2-A4	434	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5
225	V-1	V 4-A3	295	II	VI 2-A3	365	II	VI 2-A4	435	III-2	VI 2 ~ VII 1-A5
226	IV-9	V 4-A3	296	III-2	VI 2-A3	366	IV-2	VI 2-A4	436	III-2	VI 2 ~ VII 1-A5
227	IV	V 4-A3	297	III-2	VI 2-A3	367	IV	VI 2-A4	437	II	VI 2 ~ VII 1-A5
228	V-1	V 4-A3	298	IV	VI 1 ~ 2-A3	368	IV	VI 2-A4	438	IV	VI 2-A5
229	V-1	V 4-A3	299	II	VI 1 ~ 2-A3	369	II-4	VI 2-A4	439	II	VI 2-A5
230	-	V 4-A3	300	II	VI 1 ~ 2-A3	370	V-1	VI 2-A4	440	III-2	VI 2 ~ VII 1-A5
231	IV	V 4-A3	301	IV	VI 1 ~ 2-A3	371	IV-3	VI 2-A4	441	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
232	V-1	V 4-A3	302	IV	VI 1 ~ 2-A3	372	IV	VI 2-A4	442	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
233	V-1	V 4-A3	303	III-4	VI 1 ~ 2-A3	373	III-2	VI 2-A2	443	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
234	V-1	V 4-A3	304	IV	VI 1 ~ 2-A3	374	IV-9	VI 2-A2	444	I	VI 2 ~ VII 1-A5
235	V-1	V 4-A3	305	III-2	VI 1 ~ 2-A3	375	V-1	VI 2-A4	445	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
236	IV-9	V 4-A3	306	V-1	VI 1 ~ 2-A3	376	IV	VI 2-A4	446	IV	VI 1-A5
237	V-1	V 4-A3	307	II	VI 1 ~ 2-A3	377	II-4	VI 1-A4	447	IV	VI 1-A5
238	V-1	V 4-A3	308	IV	VI 1 ~ 2-A3	378	II-4	VI 1-A4	448	V-1	VI 1-A5
239	VI	V 4-A3	309	IV	VI 1 ~ 2-A3	379	VI	VI 1-A5	449	III-2	VI 1-A5
240	V-1	V 4-A3	310	V-1	VI-A4	380	V-1	VI 1-A5	450	IV	VI 1-A5
241	IV-9	V 4-A3	311	IV-9	VI-A4	381	IV	VI 1-A5	451	V-1	VI 1-A5
242	IV-9	V 4-A4	312	-	VI-A4	382	IV	VI 1-A5	452	IV-9	VI 1-A5

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
453	IV-9	VI 1-A5	523	III-2	VI 1 ~ 2-A5	593	II-4	VI 1 ~ 2-C2	663	IV-3	VI 1-A6
454	-	VI 1-A5	524	II-4	VI 1 ~ 2-A5	594	V-1	VI 1 ~ 2-C2	664	IV	VI 1-A6
455	IV-9	VI 1-A5	525	I	VI 1 ~ 2-A5	595	II	VI 1 ~ 2-C2	665	IV	VI 1-A6
456	IV-9	VI 1-A5	526	IV	VI 1 ~ 2-A5	596	III-2	VI 1 ~ 2-F1	666	IV	VI 1-A6
457	IV-2	VI 1-A5	527	I	VI 1 ~ 2-A5	597	V-1	VI 1 ~ 2-F	667	IV	VI 1-A6
458	IV	VI 1-A5	528	II	VI 1 ~ 2-A5	598	II	VI 1 ~ 2-F1	668	IV	VI 1-A6
459	V-1	VI 1-A5	529	IV	VI 1 ~ 2-A5	599	I	VI 1 ~ 2-F	669	IV	VI 1-A6
460	IV	VI 1-A5	530	I	VI 1 ~ 2-A5	600	II	VI 1 ~ 2-F	670	IV	VI 1-A6
461	V-1	VI 1-A5	531	V-1	VI 1-B1	601	IV	VI 1 ~ 2-F	671	-	VI 1-A6
462	IV-9	VI 1-A5	532	V-1	VI 1-B1	602	V-1	VI 1 ~ 2-F	672	IV	VI 1-A6
463	IV	VI 1-A5	533	IV-3	VI 1-B1	603	II	VI 1 ~ 2-F1	673	IV	VI 1-A6
464	IV	VI 1-A	534	VI	VI 1-B1	604	IV	VI 1 ~ 2-F1	674	IV	VI 1-A6
465	IV	VI 1-A	535	IV	VI 1-B1	605	IV	VI 1 ~ 2-C2	675	IV	VI 1-A6
466	V-1	VI 1-A5	536	V-1	VI 1-B1	606	IV	VI 2 ~ VI 1-G	676	IV	VI 1-A6
467	V-1	VI 1-A5	537	V-1	VI 1-B1	607	IV	VI 2 ~ VI 1-G	677	IV-2	VI 1-A6
468	IV-3	VI 1-A5	538	V-1	VI 1-B1	608	IV	VI 2 ~ VI 1-G	678	V-1	VI 1-A6
469	IV-3	VI 1-A	539	IV-9	VI 1-B1	609	II	VI-C	679	IV	VI 1-A6
470	II	VI 1-A	540	IV	VI 1 ~ 2-B1	610	III-2	VI-C	680	IV	VI 1 ~ 2-A6
471	V-1	VI 1-A	541	IV-3	VI 1 ~ 2-B1	611	III-2	VI-C	681	IV-3	VI 1 ~ 2-A6
472	V-1	VI 1-A	542	V-1	VI 1 ~ 2-B1	612	IV-2	VI-C	682	IV	VI 1 ~ 2-A6
473	IV	VI 1-A	543	V-1	VI 1 ~ 2-B1	613	V-1	VI ~ VI-C	683	IV	VI 1 ~ 2-A6
474	V-1	VI 1-A	544	V-1	VI 1 ~ 2-B1	614	III-4	VI ~ VI-C	684	V-1	VI 1 ~ 2-A6
475	V-1	VI 1-A	545	IV	VI 1 ~ 2-B	615	II	VI 2-A2	685	IV-9	VI 1 ~ 2-A6
476	V-1	VI 1-A	546	IV	VI 1 ~ 2-B	616	II	VI 2-A2	686	IV-3	VI 1 ~ 2-A6
477	IV	VI 2 ~ VI 1-A	547	V-1	VI 1 ~ 2-B	617	V-1	V 4-A6	687	IV	VI 1 ~ 2-A6
478	IV	VI 2 ~ VI 1-A	548	IV	VI 1 ~ 2-B	618	IV	V 4-A6	688	IV	VI 1 ~ 2-A6
479	IV	VI 2 ~ VI 1-A	549	III-2	VI 1 ~ 2-B	619	IV-9	VI 1-A6	689	III	VI 2 ~ VI 1-A6
480	IV	VI 2 ~ VI 1-A	550	III-2	VI 1 ~ 2-B	620	V-1	VI 1-A6	690	IV	VI 2 ~ VI 1-A6
481	V-1	VI 2 ~ VI 1-A	551	IV	VI 1 ~ 2-B	621	IV	VI 1-A6	691	IV	VI 2 ~ VI 1-A6
482	V-1	VI-A	552	IV	VI 1 ~ 2-B	622	VI	VI 1-A6	692	III-4	VI 2 ~ VI 1-A6
483	I	VI-A	553	III-2	VI 1 ~ 2-B	623	IV	VI 1-A6	693	IV	VI 2 ~ VI 1-A6
484	II-4	VI-A	554	III-2	VI-B	624	V-1	VI 1-A6	694	IV	VI 2 ~ VI 1-A6
485	IV	VI-A	555	IV	VI-B	625	IV	VI 1-A6	695	IV	VI 2 ~ VI 1-A6
486	II-4	VI-A	556	IV	VI-B	626	V-1	VI 1-A6	696	IV	VI 2 ~ VI 1-A6
487	IV	VI 2-A4	557	IV	VI-B	627	V-1	VI 1-A6	697	III-2	VI 2 ~ VI 1-A6
488	V-1	VI 2-A4	558	IV	VI-B	628	V-1	VI 1-A6	698	IV	VI 2 ~ VI 1-A6
489	II	VI 2-A4	559	II	VI-B	629	VI	VI 1-A6	699	IV	VI 1 ~ 2-A6
490	II	VI 2-A4	560	II	VI-B	630	IV	VI 1-A6	700	V-1	VI 1 ~ 2-A6
491	V-1	VI 2-A4	561	IV	VI ~ VI-B	631	V-1	VI 1-A6	701	I	VI 1 ~ 2-A6
492	IV	VI 2-A4	562	IV	VI ~ VI-B	632	V-1	VI 1-A6	702	V-1	VI 1 ~ 2-A6
493	V-1	VI 2-A4	563	IV	VI ~ VI-B	633	IV	VI 1-A6	703	II-4	VI 1 ~ 2-A6
494	II-2	VI 2-A4	564	IV	VI ~ VI-B	634	IV-2	VI 1-A6	704	III-2	VI 1 ~ 2-A6
495	IV-2	VI 2-A4	565	II	VI 1 ~ 2-C1	635	IV-3	VI 1-A6	705	IV	VI-A
496	IV	VI 2-A4	566	II	VI 1 ~ 2-C1	636	IV-3	VI 1-A6	706	V-1	VI-A
497	I	VI 2-A4	567	II	VI 1 ~ 2-C1	637	V-1	VI 1-A6	707	V-1	VI-A
498	III-2	VI 1-A3	568	II	VI ~ VI-B	638	V-1	VI 1-A6	708	IV	VI-A
499	IV	VI 1-A3	569	III-2	VI 1 ~ 2-C1	639	IV	VI 1-A6	709	I	VI 1-A4
500	IV	VI 1-A3	570	III-2	VI 1 ~ 2-C1	640	V-1	VI 1-A6	710	I	VI 1-A4
501	II-4	VI 2-A3	571	II-4	VI 1 ~ 2-C1	641	IV-3	VI 1-A6	711	II	VI 1-A4
502	II-4	VI 2-A3	572	IV	VI 1 ~ 2-C1	642	IV-2	VI 1-A6	712	I	VI 1-A4
503	II	VI 2-A3	573	II	VI 1 ~ 2-C1	643	IV	VI 1-A6	713	III-2	VI 1-A4
504	I	VI 2-A3	574	III-2	VI 1 ~ 2-C1	644	IV	VI 1-A6	714	III-2	VI 1-A4
505	IV	VI 2-A2	575	II-4	VI 1 ~ 2-C1	645	VI	VI 1-A6	715	III-2	VI 1-A4
506	V-1	VI 2-A2	576	IV	VI 1 ~ 2-C1	646	IV	VI 1-A6	716	III-2	VI 1-A4
507	IV	VI 1-A2	577	II	VI 1 ~ 2-C1	647	VI	VI 1-A6	717	III-2	VI 1-A4
508	IV	VI 1-A2	578	V-1	VI 1 ~ 2-C1	648	V-1	VI 1-A6	718	III-2	VI 1-A2
509	III-2	VI 2-A5	579	III-2	VI 1 ~ 2-C1	649	IV-3	VI 1-A6	719	II	VI 1-C2
510	IV	VI 1 ~ 2-A5	580	I	VI 1 ~ 2-C1	650	IV	VI 1-A6	720	III-2	VI 1-C2
511	III-2	VI 1 ~ 2-A5	581	II	VI 1 ~ 2-C1	651	IV	VI 1-A6	721	III-2	VI 1-C2
512	III-2	VI 1 ~ 2-A5	582	II	VI 1 ~ 2-C1	652	IV	VI 1-A6	722	III-2	VI 1-F1
513	III-4	VI 1 ~ 2-A5	583	II	VI 1 ~ 2-C1	653	-	VI 1-A6	723	I	VI 1-A
514	IV	VI 1 ~ 2-A5	584	III-2	VI 1 ~ 2-C1	654	IV-2	VI 1-A6	724	IV	VI 1-A
515	III-4	VI 1 ~ 2-A4	585	II	VI 1 ~ 2-C1	655	V-1	VI 1-A6	725	V-1	VI 1-A
516	II	VI 1 ~ 2-A4	586	IV	VI 2-C2	656	IV	VI 1-A6	726	III-4	VI 1-A
517	II	VI 1 ~ 2-A3	587	IV	V 4-C2	657	IV	VI 1-A6	727	II	VI 1-A
518	II	VI 1 ~ 2-A4	588	IV	VI-C2	658	V-1	VI 1-A6	728	III-2	VI 1-A
519	III-4	VI 1 ~ 2-A4	589	V-1	VI-C2	659	IV	VI 1-A6	729	III-2	VI 1-A
520	II-4	VI 1 ~ 2-A4	590	IV	VI 2-C2	660	I	VI 1-A6	730	III-2	VI 1-A
521	II	VI 1 ~ 2-A5	591	IV	VI 1 ~ 2-C2	661	V-1	VI 1-A6	731	II	VI 1-A3
522	III-2	VI 1 ~ 2-A5	592	III	VI 1 ~ 2-C2	662	VI	VI 1-A6	732	IV	VI 1-A3

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
733	I	Ⅷ1-A3	803	IV	Ⅷ2-A7	873	IV	Ⅷ1~2-A7	943	I	Ⅷ1~2-A7
734	II	Ⅷ1-A3	804	IV-2	Ⅷ2-A7	874	IV	Ⅷ1~2-A7	944	IV	Ⅷ1~2-A7
735	II	Ⅷ1-A3	805	IV	Ⅷ2-A7	875	IV	Ⅷ1~2-A7	945	V-1	Ⅷ1~2-A7
736	I	Ⅷ1-A3	806	V-1	Ⅷ2-A7	876	IV	Ⅷ1~2-A7	946	V-1	Ⅷ1~2-A7
737	I	Ⅷ1-A3	807	III	Ⅷ2-A7	877	IV	Ⅷ1~2-A7	947	IV	Ⅷ1~2-A7
738	I	Ⅷ1-A3	808	IV	Ⅷ2-A7	878	IV	Ⅷ1~2-A7	948	IV	Ⅷ1~2-A7
739	I	Ⅷ1-A3	809	IV	Ⅷ2-A7	879	II	Ⅷ1~2-A7	949	V-1	Ⅷ1~2-A7
740	II	Ⅷ1~2-A5	810	V-1	Ⅷ2-A7	880	III	Ⅷ1~2-A7	950	IV	Ⅷ-A5
741	II	Ⅷ1-A4	811	III	Ⅷ2-A7	881	IV	Ⅷ1~2-A7	951	II	Ⅷ-A5
742	I	Ⅷ1-A4	812	III-2	Ⅷ2-A7	882	II	Ⅷ1~2-A7	952	IV-2	Ⅷ-A5
743	II	Ⅷ1~2-A5	813	IV-2	Ⅷ2-A7	883	IV	Ⅷ1~2-A7	953	III-2	Ⅷ-A5
744	II	Ⅷ1~2-A5	814	IV	Ⅷ2-A7	884	IV	Ⅷ1~2-A7	954	IV	Ⅷ-A5
745	II	Ⅷ1-A4	815	III-2	Ⅷ2-A7	885	III-4	Ⅷ1~2-A7	955	II	Ⅷ-A5
746	III-2	Ⅷ1-A5	816	IV	Ⅷ2-A7	886	II	Ⅷ1~2-A7	956	IV	Ⅷ-A5
747	III-2	Ⅷ1-A5	817	IV-3	Ⅷ2-A7	887	IV-3	Ⅷ1~2-A7	957	III-4	Ⅷ-A5
748	III-2	Ⅷ1-A5	818	IV-9	Ⅷ2-A7	888	II-4	Ⅷ1~2-A7	958	II-4	Ⅷ-A5
749	III	Ⅷ1-A5	819	II	Ⅷ2-A7	889	II-4	Ⅷ1~2-A7	959	IV	Ⅷ-A5
750	V-1	Ⅷ1-A5	820	IV	Ⅷ2-A7	890	II-4	Ⅷ1~2-A7	960	-	Ⅷ-A5
751	III-2	Ⅷ1-A5	821	IV-9	Ⅷ2-A7	891	II	Ⅷ1~2-A7	961	IV	Ⅷ-A5
752	III-2	Ⅷ1-A5	822	IV	Ⅷ2-A7	892	IV	Ⅷ1~2-A7	962	IV	Ⅷ-A5
753	II-4	Ⅷ1-A5	823	III-4	Ⅷ2-A7	893	III-2	Ⅷ1~2-A7	963	I	Ⅷ-A5
754	III-2	Ⅷ1-A5	824	V-1	Ⅷ2-A7	894	IV	Ⅷ1~2-A7	964	IV	Ⅷ-A5
755	II	Ⅷ1-A5	825	V-1	Ⅷ2-A7	895	IV	Ⅷ1~2-A7	965	III-4	Ⅷ-A5
756	IV	Ⅷ1-A5	826	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	896	IV	Ⅷ1~2-A7	966	I	Ⅷ-A5
757	IV	Ⅷ1-A5	827	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	897	III-2	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	967	II	Ⅷ-A5
758	I	Ⅷ1-A5	828	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	898	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	968	IV	Ⅷ-A5
759	II	Ⅷ4-A5	829	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	899	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	969	III-2	Ⅷ-A5
760	III-2	Ⅷ4-A5	830	III-2	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	900	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	970	III-2	Ⅷ-A5
761	III-2	Ⅷ4-A5	831	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	901	IV-3	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	971	IV	Ⅷ-A5
762	II-4	Ⅷ4-A5	832	III-2	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	902	III	Ⅷ1~2-A7	972	III-4	Ⅷ-A5
763	III-2	Ⅷ4-A5	833	IV-3	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	903	IV	Ⅷ1~2-A7	973	IV	Ⅷ-A5
764	II	Ⅷ1-F1	834	III-2	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	904	III-4	Ⅷ1~2-A7	974	IV	Ⅷ-A5
765	III-2	Ⅷ1-C2	835	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	905	IV	Ⅷ1~2-A7	975	IV	Ⅷ-A5
766	I	Ⅷ1-C2	836	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	906	IV-3	Ⅷ1-A7	976	II-4	Ⅷ-A5
767	I	Ⅷ1-C2	837	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	907	V-1	Ⅷ1-A7	977	II-4	Ⅷ-A5
768	I	Ⅷ1-A	838	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	908	IV-3	Ⅷ1-A7	978	III-4	Ⅷ-A5
769	IV	Ⅷ1-A	839	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	909	III-2	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	979	III-4	Ⅷ-A5
770	II	Ⅷ6-C1	840	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	910	IV-3	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	980	IV	Ⅷ-A5
771	III-2	Ⅷ6-C	841	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	911	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	981	IV	Ⅷ-A5
772	II	Ⅷ6-C2	842	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	912	III	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	982	II	Ⅷ-A5
773	II	Ⅷ6-C2	843	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	913	III-2	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	983	III-2	Ⅷ-A5
774	II-4	Ⅷ6-C2	844	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	914	III	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	984	I	Ⅷ-A5
775	I	Ⅷ6-C2	845	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	915	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	985	III-4	Ⅷ-A5
776	V-1	Ⅷ1-A7	846	III-2	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	916	I	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	986	III	Ⅷ-A5
777	IV	Ⅷ1-A7	847	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	917	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	987	III-2	Ⅷ-A5
778	IV-3	Ⅷ1-A7	848	III	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	918	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	988	IV	Ⅷ-A5
779	IV-9	Ⅷ1-A7	849	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	919	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	989	IV	Ⅷ-A5
780	IV	Ⅷ1-A7	850	V-1	Ⅷ1~2-A7	920	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	990	II	Ⅷ-A5
781	V-1	Ⅷ1-A7	851	II-4	Ⅷ1~2-A7	921	IV-3	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	991	VI	Ⅷ-A5
782	V-1	Ⅷ1-A7	852	IV	Ⅷ1~2-A7	922	III-2	Ⅷ1~2-A7	992	II-4	Ⅷ-A5
783	V-1	Ⅷ1-A7	853	IV	Ⅷ1~2-A7	923	IV	Ⅷ1~2-A7	993	II-4	Ⅷ-A5
784	IV-3	Ⅷ1-A7	854	III-2	Ⅷ1~2-A7	924	IV-3	Ⅷ1~2-A7	994	IV	Ⅷ-A5
785	IV	Ⅷ1-A7	855	II	Ⅷ1~2-A7	925	IV	Ⅷ1~2-A7	995	V-1	Ⅷ-A5
786	V-1	Ⅷ1-A7	856	IV	Ⅷ1~2-A7	926	IV-3	Ⅷ1~2-A7	996	II	Ⅷ-A5
787	V-1	Ⅷ1-A7	857	IV	Ⅷ1~2-A7	927	IV-3	Ⅷ1~2-A7	997	III-2	Ⅷ-A4
788	IV	Ⅷ1-A7	858	III-2	Ⅷ1~2-A7	928	IV	Ⅷ1~2-A7	998	V-1	Ⅷ-A4
789	V-1	Ⅷ1-A7	859	III-2	Ⅷ1~2-A7	929	IV	Ⅷ1~2-A7	999	IV	Ⅷ-A5
790	IV-9	Ⅷ1-A7	860	V-1	Ⅷ1~2-A7	930	II	Ⅷ1~2-A7	1000	II	Ⅷ-A5
791	VI	Ⅷ1-A7	861	IV	Ⅷ1~2-A7	931	II	Ⅷ1~2-A7	1001	II	Ⅷ-A5
792	I	Ⅷ1-A7	862	IV	Ⅷ1~2-A7	932	II	Ⅷ1~2-A7	1002	I	Ⅷ-A5
793	IV-3	Ⅷ1-A7	863	IV	Ⅷ1~2-A7	933	III-2	Ⅷ1~2-A7	1003	III-2	Ⅷ-A5
794	IV-3	Ⅷ1-A7	864	III-2	Ⅷ1~2-A7	934	III	Ⅷ1~2-A7	1004	II	Ⅷ-A5
795	IV-3	Ⅷ1-A7	865	V-1	Ⅷ1~2-A7	935	IV	Ⅷ1~2-A7	1005	II	Ⅷ-A5
796	-	Ⅷ1-A7	866	IV	Ⅷ1~2-A7	936	IV	Ⅷ1~2-A7	1006	II-4	Ⅷ-A5
797	V-1	Ⅷ1-A7	867	IV	Ⅷ1~2-A7	937	II-4	Ⅷ1~2-A7	1007	IV	Ⅷ-A5
798	IV-3	Ⅷ1-A7	868	III-2	Ⅷ1~2-A7	938	I	Ⅷ1~2-A7	1008	II	Ⅷ-A5
799	V-1	Ⅷ1-A7	869	III-2	Ⅷ1~2-A7	939	IV	Ⅷ1~2-A7	1009	II	Ⅷ-A5
800	IV	Ⅷ1-A7	870	II	Ⅷ1~2-A7	940	IV-2	Ⅷ1~2-A7	1010	IV	Ⅷ-A5
801	IV	Ⅷ1-A7	871	III-2	Ⅷ1~2-A7	941	IV	Ⅷ1~2-A7	1011	III-2	Ⅷ-A5
802	V-1	Ⅷ1-A7	872	IV	Ⅷ1~2-A7	942	II	Ⅷ1~2-A7	1012	II-4	Ⅷ-A5

番号	層位	分類
1013	III-2	Ⅷ-A5
1014	III-2	Ⅷ-A5
1015	II-4	Ⅷ-A5
1016	V-1	Ⅷ-A
1017	V-1	Ⅷ-A
1018	V-1	Ⅷ-A

番号	層位	分類
1019	IV	Ⅷ-C2
1020	IV-3	Ⅷ-C2
1021	III-2	Ⅷ-C2
1022	IV	Ⅷ-C2
1023	IV	Ⅷ-C2
1024	IV	Ⅷ-C2

番号	層位	分類
1025	III-2	Ⅷ-F1
1026	-	Ⅷ-A2
1027	V-1	Ⅷ-A2
1028	IV	Ⅷ-A2
1029	IV	Ⅷ-A2
1030	III-4	Ⅷ-A2

番号	層位	分類
1031	-	Ⅷ-A2
1032	III-2	Ⅷ-A2
1033	V-1	Ⅷ-A2

第82表 J-6 グリッド出土土製品観察表 (第594、第597、第598図)

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ
1034	IV	異形台付土器	[4.3]	(8.2)	-
1035	V-1	異形台付土器	[3.0]	(9.6)	-
1036	III-2	ミニチュア	2.4	(10.0)	-
1037	V-1	ミニチュア	2.4	4.0	-
1038	-	ミニチュア	3.3	4.2	-
1039	V-1	ミニチュア	[2.8]	(6.6)	-
1040	V-1	ミニチュア	[3.4]	(9.0)	-
1041	IV-3	舟形土製品	[4.5]	[3.4]	[2.2]
1133	IV-3	土鏃	3.3	2.1	1.9

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ
1134	-	土鏃	5.0	2.9	[5.1]
1135	IV-2	土鏃	[4.1]	[2.5]	[0.4]
1136	IV-3	土鏃	[5.6]	[5.0]	[2.0]
1137	IV	土鏃	[4.3]	[5.6]	[2.6]
1138	III~IV	土鏃	[4.3]	[2.2]	[1.1]
1139	-	動物形土製品	[5.4]	[6.3]	[5.4]
1140	III~IV	動物形土製品	[2.9]	[3.6]	[1.9]
1141	II	土鏃	[6.8]	[6.3]	[6.1]
1142	II	土版	[7.4]	[5.3]	[3.1]

第83表 J-6 グリッド出土土製品観察表 (第594~第596図)

番号	層位	最大径	重量	分類
1042	IV	7.2	51.3	II-Aイ
1043	IV	7.7	66.3	II-Aウ
1044	-	6.9	49.8	II-Aイ
1045	-	7.4	56.9	II-Aイ
1046	-	8.6	64.7	II-Aウ
1047	IV	6.7	43.2	II-Aウ
1048	IV	8.0	64.6	II-Aイ
1049	IV	6.6	55.9	II-Aイ
1050	-	6.9	53.4	II-Aイ
1051	IV-9	6.8	53.4	II-Aウ
1052	V-1	6.9	55.0	II-Aウ
1053	IV	6.1	38.4	II-Aア
1054	IV	6.1	51.5	II-Aア
1055	IV	7.3	40.0	II-Aエ
1056	IV	6.8	40.4	II-Aウ
1057	IV	6.2	63.1	II-Aウ
1058	V-1	6.8	47.3	II-Aイ
1059	V-1	6.3	36.8	II-Aイ
1060	IV	6.5	39.5	II-Aウ
1061	III-2	6.1	40.4	II-Aイ
1062	III-4	5.6	27.8	II-Aイ
1063	-	5.9	36.7	II-Aイ
1064	V-1	5.9	39.7	II-Aウ
1065	IV-3	6.3	47.6	II-Aイ
1066	IV-3	5.7	33.4	II-Aイ
1067	V-1	5.5	35.0	II-Aア
1068	V-1	5.5	38.8	II-Aウ
1069	IV-3	6.2	27.4	II-Aウ

番号	層位	最大径	重量	分類
1070	IV	5.2	25.0	II-Aイ
1071	IV-2	5.5	37.6	II-Aア
1072	IV-3	3.9	12.7	II-Aイ
1073	V-1	5.6	39.1	II-Aウ
1074	-	5.8	32.1	II-Aウ
1075	IV	5.4	24.8	II-Aイ
1076	IV-3	5.0	20.8	II-Aエ
1077	IV	5.4	31.5	II-Aア
1078	III-2	5.4	26.6	II-Aア
1079	IV	5.2	28.1	II-Aイ
1080	-	4.4	19.0	II-Aイ
1081	IV-2	5.8	30.5	II-Aウ
1082	IV	5.5	30.7	II-Aイ
1083	IV-3	5.3	18.4	II-Aウ
1084	IV-3	5.5	27.3	II-Aウ
1085	IV	5.1	28.8	II-Aウ
1086	V-1	5.7	36.2	II-Aウ
1087	IV-2	5.4	33.8	II-Aイ
1088	IV-3	5.4	33.9	II-Aウ
1089	IV-3	5.5	26.3	II-Aイ
1090	IV	5.8	30.7	II-Aア
1091	V-1	4.9	26.2	II-Aア
1092	IV	4.5	20.5	II-Aウ
1093	-	5.9	30.0	II-Aウ
1094	IV-9	5.7	26.9	II-Aイ
1095	V-1	5.0	19.7	II-Aイ
1096	IV	4.2	20.9	II-Aイ
1097	IV-2	5.5	32.3	II-Aエ
1098	IV	4.9	25.3	II-Aウ
1099	V-1	5.0	29.8	II-Aア
1100	V-1	3.7	20.5	II-Aイ
1101	IV-3	5.3	28.7	II-Aア
1102	-	4.6	25.2	II-Aウ
1103	IV	4.8	24.1	II-Aイ
1104	IV	4.6	17.8	II-Bウ
1105	IV-3	4.9	24.2	II-Aウ
1106	V-1	4.6	20.8	II-Aイ
1107	-	5.8	41.5	I-Bウ
1108	IV-2	5.3	35.3	I-Bウ
1109	IV	5.8	43.4	I-C
1110	IV	5.1	23.3	I-Bウ
1111	IV	5.3	23.1	I-Bウ
1112	IV-3	5.0	27.3	I-Bウ
1113	V-1	5.2	28.4	I-Bウ
1114	V-1	5.3	26.1	I-Bウ
1115	IV	4.8	20.6	I-Bア
1116	V-1	4.7	23.2	I-Bウ
1117	IV	4.4	19.3	I-Bウ
1118	IV-3	4.7	21.5	I-Bウ
1119	III-2	4.0	18.3	I-Bウ
1120	IV-9	4.5	22.9	I-Bウ
1121	II	3.8	9.1	I-Bウ
1122	-	3.9	12.9	I-Bウ
1123	II	3.7	20.1	I-C
1124	V-1	2.0	2.8	I-Bウ

第84表 J-6 グリッド出土耳飾り観察表 (第596図、第597図)

番号	層位	柵1	柵2	高さ	重量	分類
1125	-	3.3	3.1	[1.6]	17.4	I-Bイ
1126	V-1	3.0	2.8	1.2	13.6	III-Aア
1127	IV	3.3	3.0	2.4	25.1	III-Aイ
1128	IV	(5.6)	(5.4)	1.9	3.6	III-Aイ

番号	層位	柵1	柵2	高さ	重量	分類
1129	-	(5.7)	(5.5)	1.9	10.8	III-Aイ
1130	III~IV	(7.0)	(6.7)	2.1	5.6	III-Aイ
1131	IV	(7.5)	(7.3)	2.3	12.1	III-Dイ
1132	III-4	3.8	3.1	1.8	14.1	IV-B

第85表 J-6 グリッド出土石器観察表 (第599~第602図)

番号	層位	器種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
1143	V-1	石鏃	I	チャート	3.0	1.8	0.6	1.6
1144	V-1	石鏃	I	チャート	1.6	1.2	0.3	0.3
1145	IV	石鏃	II	チャート	3.1	1.3	0.5	1.2
1146	V-1	石鏃	II	チャート	[2.7]	0.9	0.6	1.1
1147	-	スクレイパー	I	チャート	5.6	3.4	1.1	18.4
1148	IV	スクレイパー	II	チャート	4.5	4.0	1.1	16.0
1149	II	二次加工刮片	-	チャート	2.2	2.6	1.2	6.1
1150	II	二次加工刮片	-	チャート	2.8	2.0	0.9	3.4
1151	V-1	打製石斧	I	チャート	6.5	4.2	1.3	36.0
1152	III-4	打製石斧	-	頁岩	8.5	5.7	1.6	83.2
1153	II	打製石斧	-	安山岩	[7.5]	8.2	3.0	258.1
1154	II	打製石斧	-	安山岩	[8.3]	6.7	2.2	136.1
1155	V-1	磨製石斧	III	流紋岩	6.3	2.7	1.3	32.3
1156	IV	磨石	I	緑色岩	10.4	3.7	3.5	248.5

番号	層位	器種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
1157	V-1	燧石	I	ホルンフェルス	11.7	6.7	5.3	629.7
1158	-	燧石	I	砂岩	13.8	4.5	3.7	341.9
1159	V-1	燧石	I	緑色岩	10.9	5.2	2.6	244.4
1160	IV	燧石	I	緑色岩	11.4	3.9	2.4	176.1
1161	IV	燧石	I	頁岩	7.6	3.0	1.4	51.2
1162	II	燧石	-	安山岩	8.0	8.1	5.1	495.4
1163	IV	同石	-	安山岩	8.2	8.3	4.7	447.7
1164	IV	磨石	I	安山岩	6.6	6.0	4.9	251.7
1165	V-1	磨石	I	安山岩	6.1	5.6	3.5	164.8
1166	IV	磨石	I	安山岩	10.4	10.4	6.3	939.1
1167	V-1	磨石	I	安山岩	9.8	8.4	6.5	677.8
1168	V-1	磨石	I	安山岩	5.9	6.1	4.0	227.0
1169	V-1	磨石	I	安山岩	6.3	5.6	4.5	243.6
1170	I-1	磨石	I	砂岩	5.6	5.6	3.1	162.2
1171	III-2	磨石	I	多孔質安山岩	6.5	5.8	4.2	220.7
1172	III-2	磨石	I	安山岩	5.8	5.2	5.1	206.2
1173	III-4	磨石	I	安山岩	6.6	5.7	2.3	129.3
1174	III-2	磨石	II	閃緑岩	6.2	7.0	3.0	213.2
1175	III-2	磨石	II	安山岩	6.0	5.1	3.6	155.2
1176	III-2	磨石	II	砂岩	9.1	6.5	3.0	260.3
1177	III-2	磨石	II	安山岩	15.1	8.3	4.7	923.7
1178	-	磨石	II	安山岩	6.6	4.8	4.2	158.5
1179	III-2	磨石	II	安山岩	7.4	7.5	3.5	304.8
1180	III	石皿	II	緑泥片岩	[21.2]	[12.8]	3.1	1136.2
1181	V-1	石皿	II	砂岩	[7.8]	[8.8]	4.7	207.7
1182	V-1	砥石	III	砂岩	[8.4]	[4.6]	1.7	53.8
1183	V-1	石錘	I	砂岩	4.0	3.2	0.9	12.1
1184	IV	軽石類	I	軽石	9.8	7.0	5.7	118.5
1185	IV-3	軽石類	-	軽石	[6.1]	6.7	2.3	27.9
1186	IV	軽石類	-	軽石	6.1	5.6	3.5	37.0
1187	IV	石棒類	I	頁岩	[16.7]	3.1	2.5	244.8
1188	V-1	石棒類	I	緑色岩	[9.4]	[2.9]	[2.4]	101.5
1189	III-2	石棒類	II	緑泥片岩	18.5	3.3	2.3	211.5
1190	II	石棒類	II	頁岩	[9.2]	[2.3]	[1.9]	41.5
1191	-	垂飾	-	滑石	4.7	2.0	0.8	8.1
1192	-	垂飾	-	緑色岩	3.3	1.8	0.9	7.8

第86表 J-6グリッド出土骨製品観察表(第602図)

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量
1193	V-1	加工痕のついた骨角	2.5	0.4	0.5	0.5

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量

377、378は安行3 a 式の胴部が括れる平口縁深鉢である。

16~18、20~23、25、379~463は安行式の口縁部が内湾して胴部が膨らむ砲弾形の平口縁深鉢である。16~18、23、379~401は無刻瘤を貼付する安行1式である。23は貼付瘤がやや舌状を呈することから、晩期となる可能性もある。401~421は貼り瘤の見られない、安行1式から2式を中心とする土器群である。

25、422~445は各種の刻みを有する貼り瘤が施される、安行2式から安行3 b 式である。25は横刻縦瘤と弧線文や蛇行沈線が組み合わさる安行2式である。438、439は背割沈線を有する2段の舌状瘤が施文されることから、安行3 a 式から3 b 式であろう。

20~22、446~463、466~468は口縁部が内湾

する瓢形土器である。安行1式を中心とするが、20、468は押圧状の刻みを施す瘤が貼付されており、安行2式となろうか。

464、465、469~485は安行式土器の貼付文を有する胴部破片である。464、465、469~476は安行1式、477~482、484~486は安行2式から安行3 b 式の胴部破片である。

287~297、509は胴部で括れ、口縁部が開く平口縁深鉢で、蛇行沈線や鋸歯状文、弧線文などの磨消縄文を有する安行2式である。

28~30、32、498~528は三叉文や入組文等が施文される第VIII群安行3 a 式から3 b 式の深鉢である。498~500は波状口縁を呈し、波頂下に三叉文と入組三叉文が施文される。28、501~504は頸部が括れる平口縁に小突起が付くもので、三叉文、弧線文、玉抱三叉文等が施文される。28

はステッキ状文が施文される安行3b式であろう。

505～508は口縁部が開く器形、29、30、32、510～514は口縁部が内湾する器形、515～520は頸部が強く括れる器形、521～528は口縁部が短く外折し、胴上半部が内湾する深鉢である。29、30とも縦刻横瘤が付き、29は注口土器の可能性ある。30、32は紐線文土器に系譜を引く土器である。

60～67、532～564は安行式の台付鉢形土器である。60、532～539、544は口縁部が外反する安行1式、540～543は安行2式の台付鉢である。61、63、545～553は安行1式から2式の脚部であり、64～67、554～560は安行3a式から3b式の脚部である。561～564は鉢部である。

62は安行3a式の異形台付土器であろう。565～585は台付鉢の鉢部と思われるもので、径が大きくて口縁部が開く器形のものが多く、三叉文、入組渦巻文、弧線文、帯状入組文などが施文される、安行3a式から3b式土器である。

他の鉢類では、35、587は第V群曾谷式の鉢と思われる。36、37、53、588、589は安行1式、586、590は安行2式である。50は口縁部に対する縦瘤を有し、平行沈線文が施文されるもので、46は縦瘤のみ施文される鉢である。安行1式であろうか。

38～43、591～595、605は三叉文、玉抱三叉文、入組渦巻文、弧線文、帯状入組文などが施文される、安行3a式から3b式の鉢である。44、48は胴部が屈曲する浅鉢である。45、47は口縁部が外反する鉢であるが、胴部に細かな鱗状の連続弧線文が施文されるもので、大洞BC式の羊歯状文の影響を受けているものと思われる。

597、601、602は瘤付土器の影響を受けた壺の口頭部であろう。後期安行式か。596、598、603、604は晩期前葉の広口壺と思われるが、鉢の可能性もある。

68～70、606～608は注口土器である。68、606、607は安行2式の注口土器で、68は瓢形を呈する。69は帯状玉抱入組文が施文される安行3a

式、70は瓢形で帯状入組文が施文される安行3b式の注口土器である。609～613は鉢類の底部破片である。

615、616は、安行3b式並行の第VII群第7類細密沈線文土器である。

19、73～89、617～708は口縁部に刻列が施文される条線文土器である。19は括れ部より上が条線文系土器で、下半部に大森系のモチーフが施文されるハイブリッドな土器である。瘤状の貼付文を有することから曾谷式から安行1式であろう。88、89は刻列のかわりに縄文が施文される。安行1式から2式であろう。

73、617、618は胴部の括れが強く、横位から斜位の条線文が施文されることから、曾谷式段階と思われる。

74、76～80、619～646は口縁部が沈線で区画されない条線文土器で、縦位方向の条線文が施文される安行1式である。75、647～679は口縁部が沈線で区画されるもので、縦位の条線文が施文される安行1式である。

81～84、680～698は口縁部が内湾する砲弾形の器形で、81、82は口縁部が沈線区画されないものであり、83、84、680～698は沈線区画するものである。安行1式から安行3a式と思われるが、条線が縦位で比較的密なものは安行1式、上半部で横位から斜位、下半部で縦位の条線は安行2式、間隔の粗い条線文が施文されるものは安行3a式となろう。85～87、699～704は口唇部に刻みを施文しない条線文土器で、晩期安行式になろうか。705～708は条線文土器の胴部破片である。

13、31、709～730は晩期中葉の安行3c式を中心とした、沈線文と刺突文が併施される土器群である。709～711は胴部で括れて口縁部が開く平口縁深鉢で、口縁部に文様が施文される。712～715は口縁部が内湾気味に立つ器形で、31、716、717は頸部が緩く括れ、口縁部が内湾する深鉢である。13、14、718は波状口縁である。いずれも

沈線に刺突文が沿うものや、平行沈線に刺突文が挟まれている安行3c式である。14は無文の波状口縁深鉢である。723～730は胴部破片である。

12、732～758は沈線のみでモチーフが描かれる第Ⅷ群土器である。12、732～740、745は緩い波状口縁が外反する深鉢で、大柄の人組三叉文等が施文される安行3c式であろう。

12は、菱形モチーフを施文する姥山Ⅲ式系土器である。

740は口縁部が内湾する波状口縁、741、742は口縁部が外反する平口縁、743、744、746～758は口縁部が内湾する深鉢である。安行3c式であろう。743、744は人組三叉文が重層するモチーフで、安行3d式であろう。746～750は弧線文等が施文される安行3c式である。

32～34、751～754、756～758は紐線文土器に系譜する深鉢で、無文の口縁部が沈線で区画される。胴部には弧線文と斜線文を組み合わせたモチーフが施文される。34は対の横刻縦縮間に楕円区画文が施される姥山Ⅲ式系である。755は頭部が括れ、無文の口縁部が開く深鉢である、いずれも安行3c式であろう。768、769は胴部破片である。

55、719～721、766、767は口縁部が内湾して開く鉢、49は口縁部が内湾する大きな鉢、51、52、765は底部の大きな鉢、54は無文丸底の鉢である。722、764は安行3c式の広口壺である。

759～763は内湾する口縁部に円形貼付文が付く、第Ⅷ群第4類天神原式系の深鉢形土器である。

71、72、770～775は第Ⅷ群第6類の大洞C1式の鉢である。770は口縁部の2本沈線間の截痕が丸味を帯びており、大洞B C式の可能性もある。

90、100、776、949は安行式の紐線文土器である。土器群の変化の方向性は条線文土器と同様で、器形及び条線文の施文法の違いで区分される。また、口縁部を沈線区画しないものと、区画するものがある。

90～98、100、776～896は口縁部の押圧隆帯の

みのもの、897～905は押圧隆帯+沈線区画のものである。

押圧隆帯のみのものでは、91は曾谷式から安行1式、92、93、776～789は安行1式、90、790～825は安行2式、94～97、826～849は安行2式から安行3a式、98～100、850～896は安行3a式から安行3b式であろう。

押圧隆帯+沈線区画では、897～901は安行2式から安行3a式、902～905は安行3a式から安行3b式であろう。

他に、906～949は肥厚口縁部を沈線で区画し、口端部に刻列を施文する条線文土器との折衷的な土器群である。押圧隆帯を施文するものと同様な変遷を辿る。

906～908は安行1式、909～921は安行2式から安行3a式、922～939は安行3a式から安行3b式であろう。また、940～949は口縁部の沈線区画のみか縄文を施文するものである。いずれも晩期安行式であろう。

101～107、950～1033は第Ⅷ群の無文土器である。105、107、950～966は口縁部が肥厚する紐線文土器に由来する粗製深鉢である。

103、104、106、967～986は口縁部が内湾する深鉢で、その内104、967～979は口縁部内面が肥厚するものである。101、102、987～995は内湾気味の口縁部が緩く開く器形である。

996は外反りの口縁部が内湾するもので、口唇部に刻みが施される。997、998は頭部が大きく括れて口縁部が開く器形で、997の口唇上には沈線が巡る。

999～1015は口縁部が折返状の段帯部となっているもので、1002、1005、1009、1011の口唇部には指頭圧痕状の整形痕が残る。1016～1018は胴部破片である。

1019～1024は無文の鉢である。1023は耳状の貼付文、1024には山形の双頭突起が付く。1025は無文の口縁部が立つ壺である。

1026～1033は赤褐色に被熱した製塩土器で、口端部が平坦な切り落とし状になっている。

108～116は各時期、各器種の底部である。後期安行式の底部が多い。

土製品類 (第594図1034～第598図1142)

第594図1034は異形台付土器の鉢部であり、1035は異形台付土器の脚部であろう。いずれも安行2式である。1036は蓋で、晩期であろうか。

1037～1040は手捏ねの鉢である。1041は舟形状の土製品である。

土製円盤は83点出土した。小さいもの程円形が多く、断面を研磨されているものがある。

耳飾りは8点出土した。臼形が1点、環状形が6点、台形が1点である。125～127、1132はほぼ完形である。

1133、1134は土錘であり、1133は短軸と長軸に1本の溝が、1134は長軸に1本、短軸に2本の溝が切られている。

土偶は5点出土した。1135は土偶の顔面が付いた手燭であろうか。

1136は中実のみみずく土偶の右脚であり、安行3b式であろう。1137は中実土偶の胸部から腹部で、両乳房が現存し、裏面に刺突文の渦巻文が施文される。安行3b式であろう。

1138は小型の中実土偶である。頭部と左脚を欠損するが、両乳房は現存する。晩期であろう。

1141は中空土偶の左脚であるが、のみみずく土偶ではない。晩期中葉であろう。

1139は海獣形土製品である。頭部を欠損し、胸部に円孔が空いている。晩期の所産であろう。

1140はイノシシ形土製品である。小型で、手捏ねの痕が残る。頭部を欠損している。晩期であろうか。

1142は土版で一部が現存する。表裏面に「I」字文が施文される。安行3d式であろう。

石器 (第599図1143～第602図1192)

第599図1143、1144はともに無茎の石鎌で、

1144には裏面に主要剥離面が残る。1145は有茎の石鎌である。

1146は石錘で、摘まみ部と錘部の区別が不明瞭な点からⅡ類に分類した。

1147は右側面に両面加工の刃部を有するサイドスクレイパーである。1148は末端に片面加工の刃部を有するエンドスクレイパーである。

1151は分銅形を呈する打製石斧で、1152が撥形を呈する打製石斧である。1153は打製石斧の基部片、1154が刃部片である。

1155は小型で定角式の磨製石斧である。

1156～1161は敲石Ⅰ類で、いずれも長楕円形の礫を素材とし、礫の上下端部に敲打痕を有する。1162は凹石が欠損した後、欠損面を使用面に再度利用した敲石で、正面に凹痕を有する。

1163は凹石で、正面と裏面の両面に凹痕を有する。

1164～1173は磨石Ⅰ類で、1174～1179が磨石Ⅱ類である。

1180は石皿Ⅱ類で、正面の上部左隅に凹痕を有する。また、同軸上の中央や下部よりには貫通孔が確認できる。ただし、正面裏面ともに貫通孔周囲の器面が剥落しているため、実際に貫通していたか否かは不明である。1181も石皿Ⅱ類で、裏面に凹痕を有する。

1182は砥ぎ面が不明瞭な砥石である。

1183は石錘Ⅰ類である。

1184は凹痕を有する軽石類で、1185と1186は擦痕を有する軽石類である。

1187、1188は石棒の基部片で、おそらく小型の石棒であろう。1189と1190は石剣で、1189が頭部から基部にかけての破片、1190が基部片である。

1191と1192はともに平面形が勾玉状を呈する垂飾である。

その他、1149、1150は二次加工剥片である。

骨製品 (第602図1193)

骨製品は1点出土した。第602図1193は加工痕のない骨角である。

16 J-7グリッド出土遺物

概要 (第603図、第604図)

本グリッドは、大型住居跡である後期後葉から晩期初頭の住居跡3軒(S J 43 a、43 b、43 c)と晩期前葉の住居跡1軒(S J 40)が重複する場所であり、他に後期後葉の住居跡2軒(S J 44 a、44 b)、晩期前葉以降の住居跡1軒(S J 64)も一部で重複している地区である。S J 43の大半がこのグリッド内に取まる。

S J 43廃絶後、大型住居跡であるS J 40が構築されるが、統一土層断面では両者の関係は把握されていない。しかし、S J 43以外の住居跡も数回にわたる建て替えが行われており、整地における盛土内の土の移動が夥しかったことは、想像に難くない。

S J 43が廃絶された後の住居跡上層の盛土堆積状況(第6図)をみると、住居跡の上に小山のように土が盛られ、その後、小山の裾部分を埋めるように土が盛られて平坦化していく様子が窺われる。出土土器も、上層のⅡ層からは晩期の安行3 c式土器が後・晩期の安行各式と共に出土するが、量的には減少する傾向にある。Ⅱ層以下は複数回にわたる盛土に伴い、後・晩期の安行式が混在しながら出土している。

出土土器は後期安行2式から晩期安行3 b式が中心となっている。安行1式、2式と安行3 c式と3 d式は、グリッド内に満遍なく同等量が分布していた。晩期安行3 a式、3 b式は晩期前葉のS J 40と重複する部分で多出しており、他に①小グリッドを中心として、グリッド南半で多く出土する傾向にあった。②小グリッドには焼土跡5があり、それとの関係も考慮する必要がある。

土製円盤は62点がグリッド南半を中心にして出土しており、安行1式が少ないことも原因するのか、やや出土量が少ない。土製品類も土器の出土量に比してやや少ない傾向にある。

縄文土器 (第605図1～第653図1353)

第605図166は早期第1群第3類の条痕文土器である。繊維を少量含み、内外面に条痕整形が施される。

167～173は前期第Ⅱ群第1類の花積下層式土器である。167は口縁部が折返状に肥厚する。169はやや肥厚する口縁部が外反気味に開く器形で、口唇部に押圧状の刻みが、口唇部直下に口唇部の刻みと合わせて短沈線状の刻みが施される。

174～193は第2類関山式土器である。174は「正反の合」の羽状縄文が施文される。177は節の大きな羽状縄文が施文されており、花積下層式の可能性もある。この類の土器群は非結束の羽状縄文が多い。

194、195は第3類の黒浜式土器であり、195は爪形文で口縁部が区画される。

196は第8類の浮島式土器である。口縁部が外反して大きく開き、胴部で括れる器形である。

197は第5類諸磯b2式土器である。口縁部が内湾して開くキャリパー形の深鉢形土器である。

199は中期第1類の阿玉台式土器である。198は第5類の加曾利EⅢ式土器である。

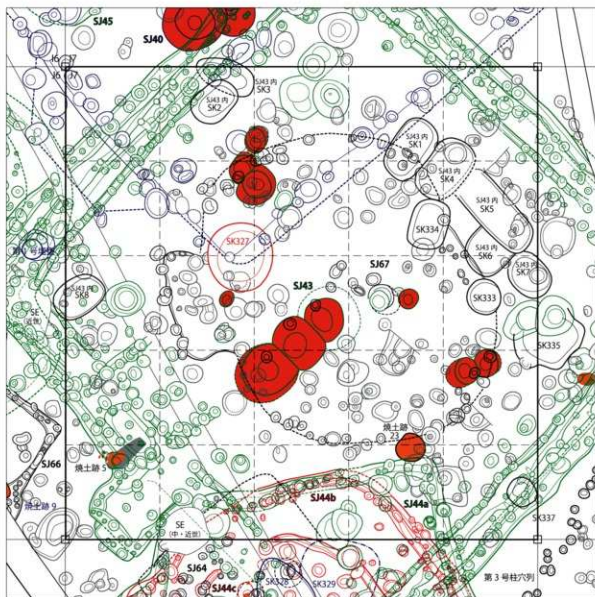
200は後期第Ⅳ群第1類の称名寺1式土器である。磨消縄文の「J」字状文が施文され、縄文LRが充填施文される。

201～210は第3類の堀之内1式土器である。201は円孔の空く把手が付き、204は非貫通孔を対弧線で囲み、口縁部に沈線が巡る。210は壺形土器の頭部付近の橋状把手と思われる。

211～221は第4類の堀之内2式土器である。口縁部が開くバケツ形の器形で、口縁部に213は1本、214は2本の刻みを施した隆帯が巡る。211は口縁部に連鎖状隆帯が垂下する。212は口唇部直下から磨消縄文のモチーフが施文される。

222～266は第Ⅴ群の加曾利B式土器である。

222、223第1類加曾利B1式の深鉢形土器

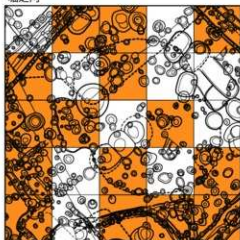


0 2m
1m

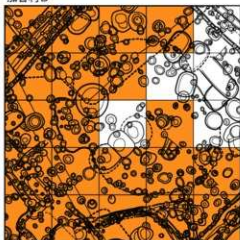
遺構	小グリッド	所属時期	遺構	小グリッド	所属時期	遺構	小グリッド	所属時期
S J40	1~8	晩期前葉	S K327	7 8 12-13	後期後葉以前	SJ43 内 SK4	4 5 9	不明
S J43 a	1~8 10~18 20~25	後期後葉から晩期初葉	S K333	15	不明	SJ43 内 SK5	10	後期後葉以降
S J43 b	1~8 10~18 20~25	後期後葉から晩期初葉	S K334	9 10	不明	SJ43 内 SK6	10 15	不明
S J43 c	1~8 10~18 20~25	後期後葉から晩期初葉	S K335	15 20	不明	SJ43 内 SK7	10 15	不明
S J44 a	21~25	後期後葉	S K337	25	不明	SJ43 内 SK8	11	不明
S J44 b	22~24	後期後葉以前	SJ43 内 SK1	4 9	不明	焼土跡 5	16 21	不明
S J64	22	晩期前葉以降	SJ43 内 SK2	2	不明	焼土跡 23	19 24	晩期前葉以降
S J67	2~4 6~15 17~20	不明	SJ43 内 SK3	2	不明			

第 603 図 J-7 グリッド検出遺構

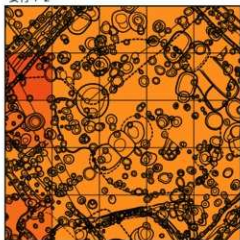
堀之内



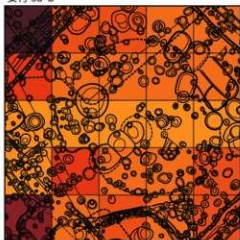
加曾利B



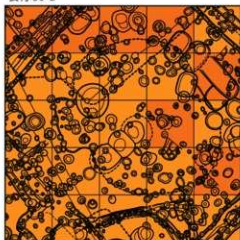
安行 1・2



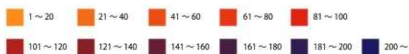
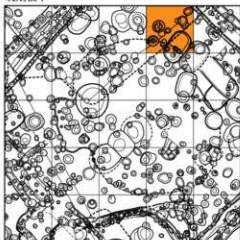
安行 3a・b



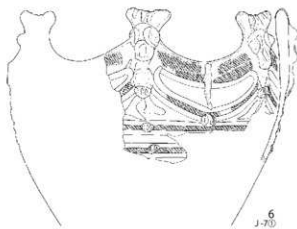
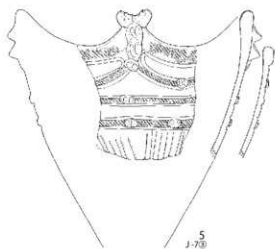
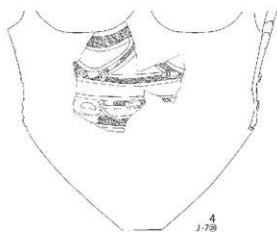
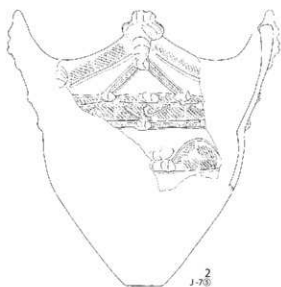
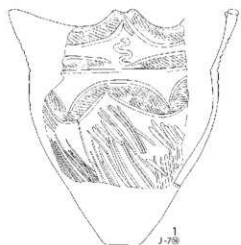
安行 3c・d



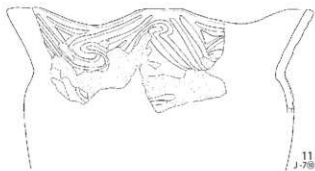
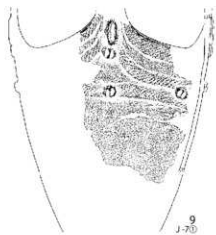
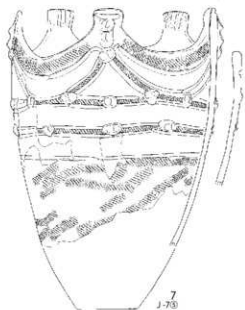
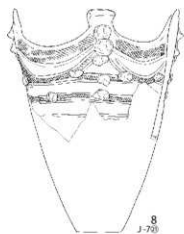
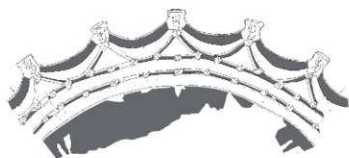
晩期後半



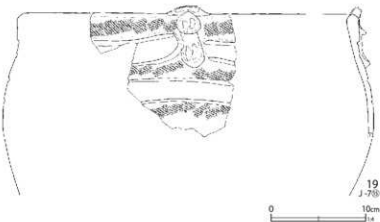
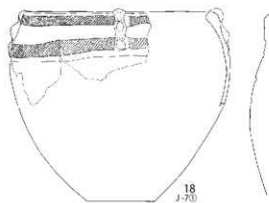
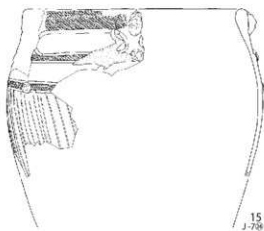
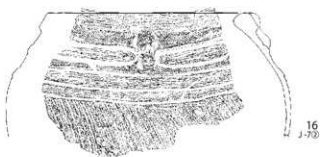
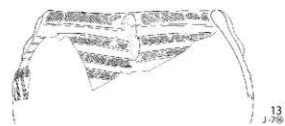
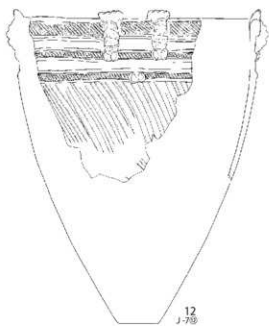
第604図 J-7グリッド時期別濃淡図



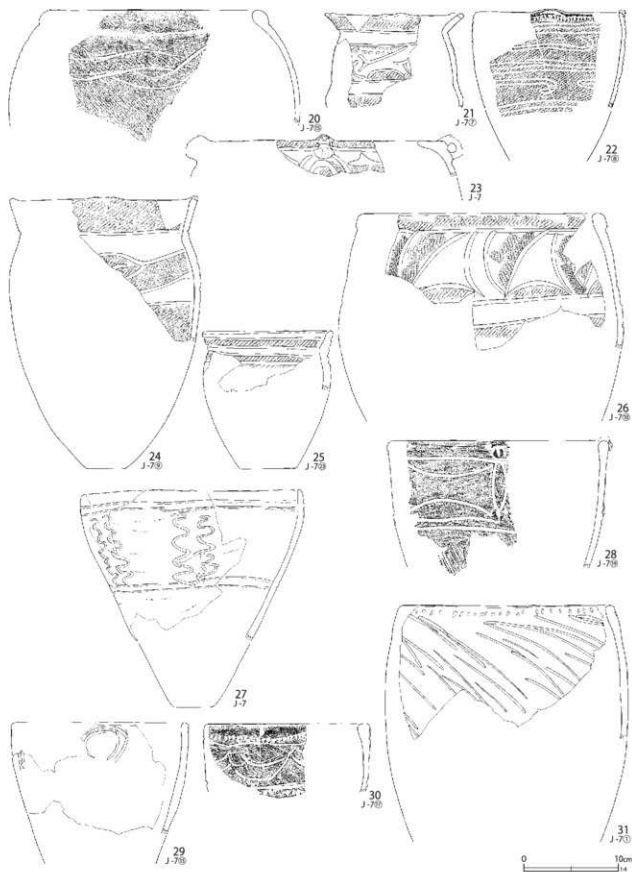
第605図 J-7グリッド出土遺物(1)



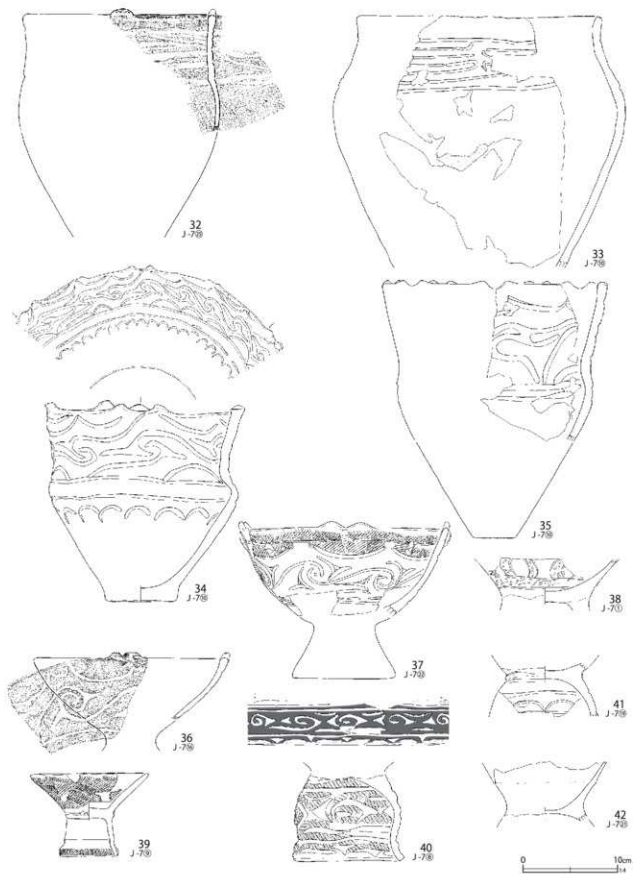
第606図 J-7グリッド出土遺物(2)



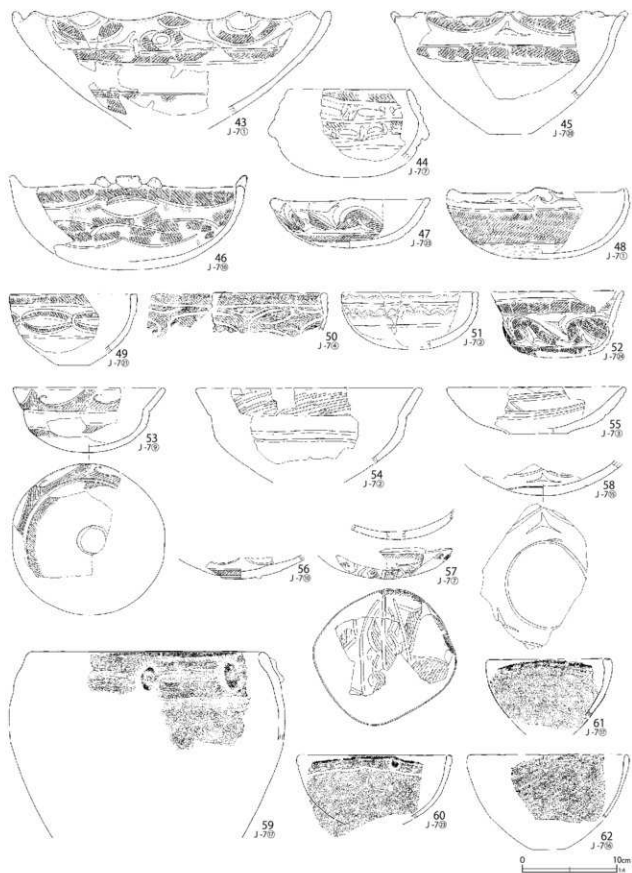
第607図 J-7グリッド出土遺物(3)



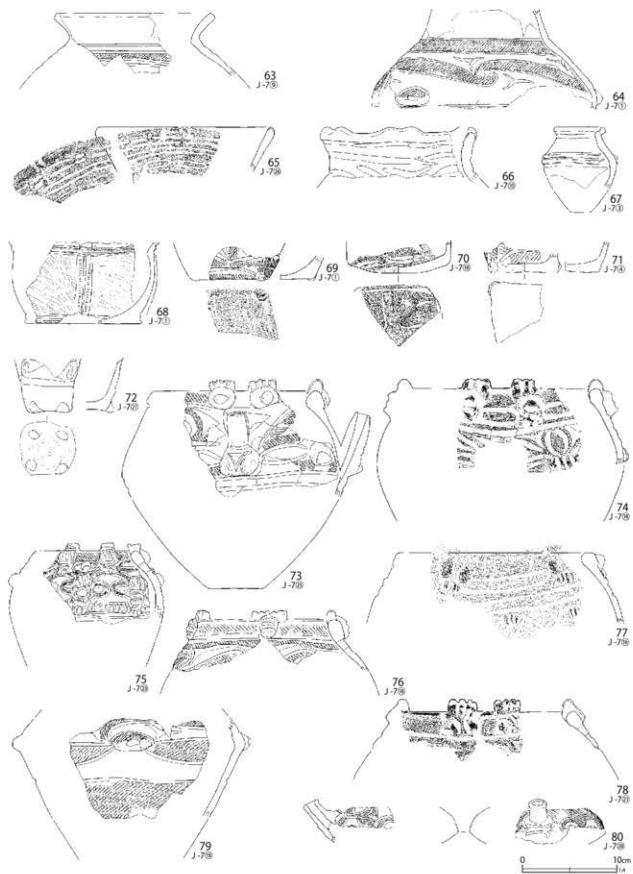
第608図 J-7グリッド出土遺物(4)



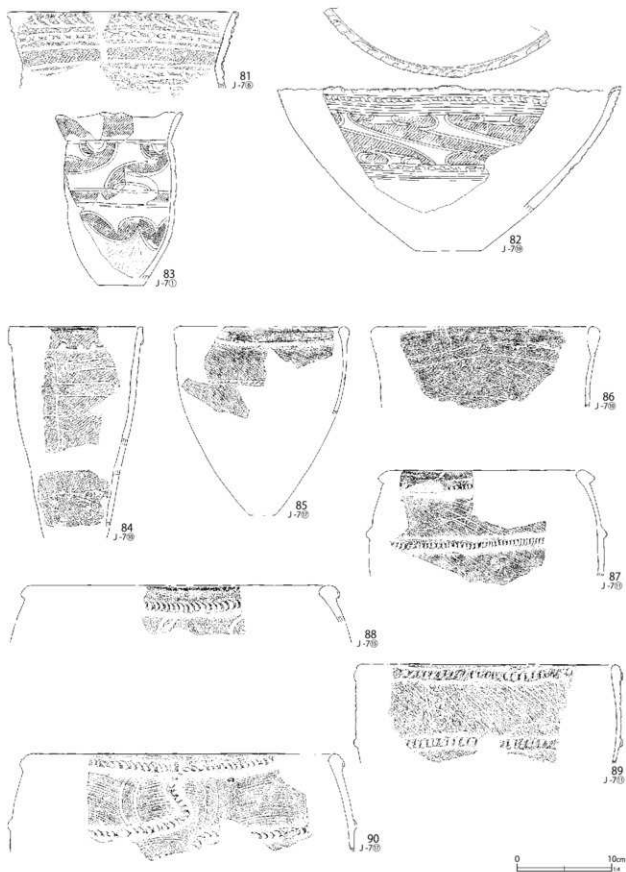
第609図 J-7グリッド出土遺物(5)



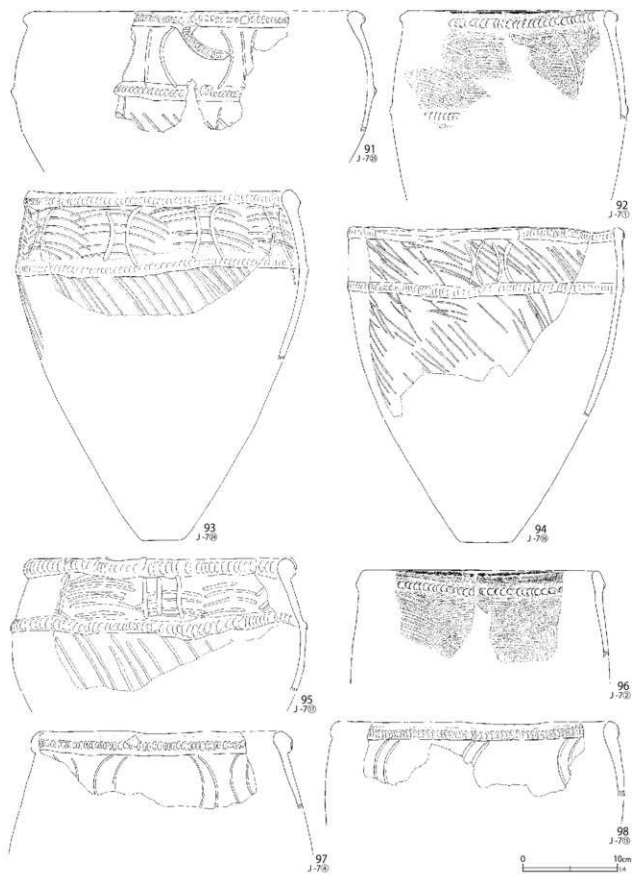
第610図 J-7グリッド出土遺物(6)



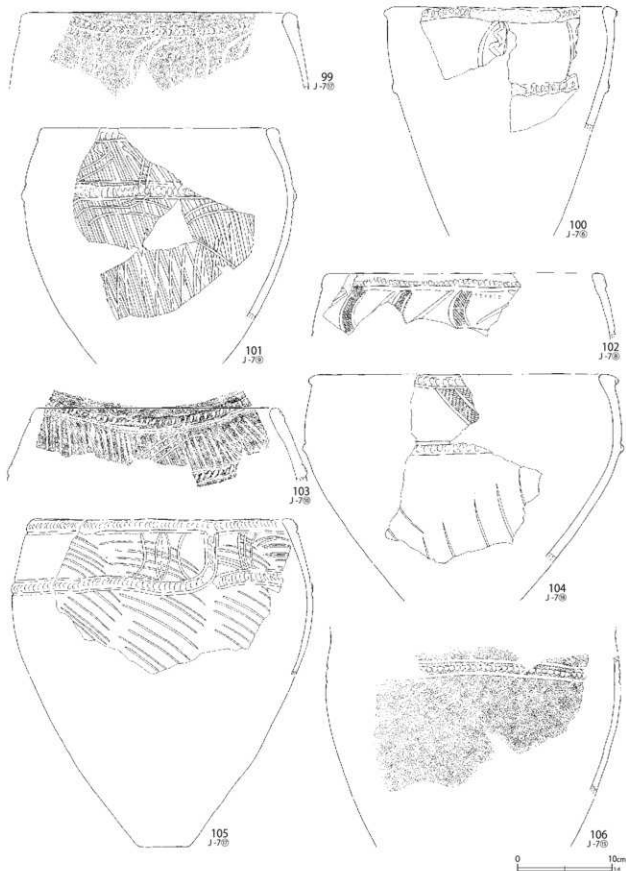
第611図 J-7グリッド出土遺物(7)



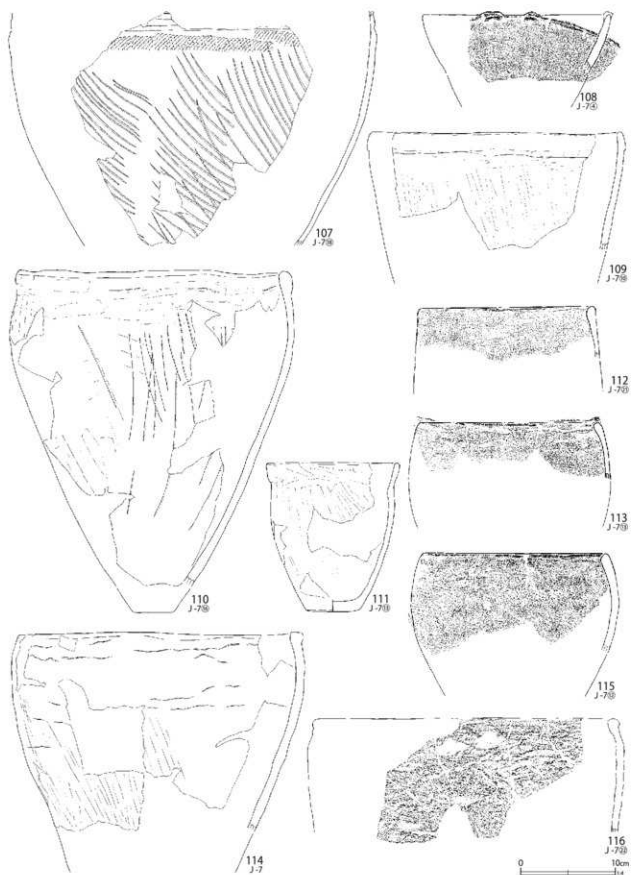
第612図 J-7グリッド出土遺物(8)



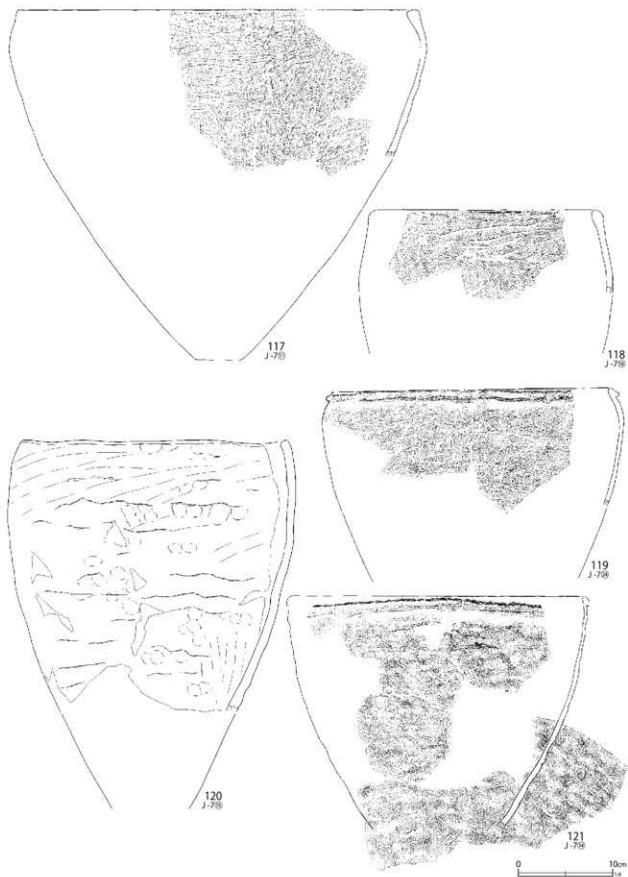
第613図 J-7グリッド出土遺物(9)



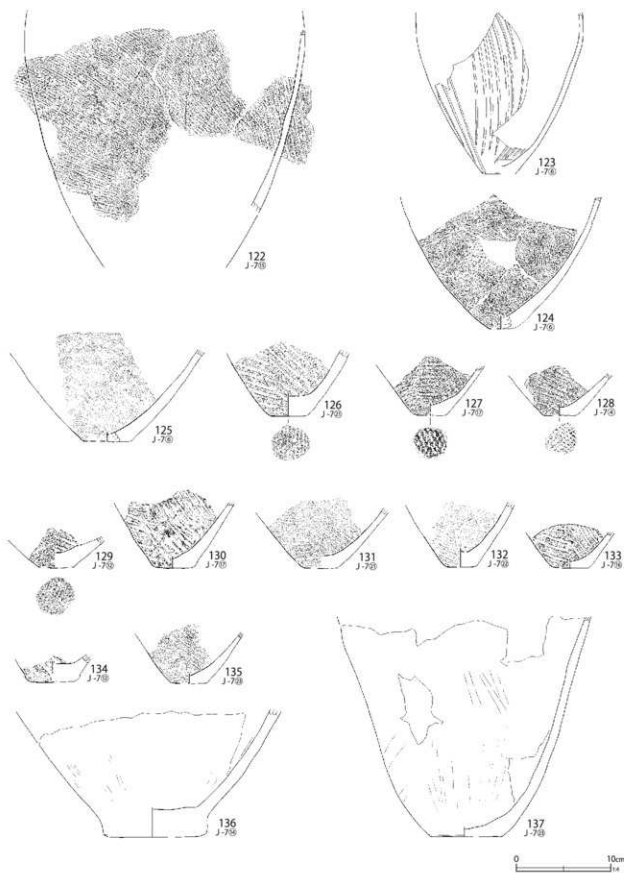
第614図 J-7グリッド出土遺物(10)



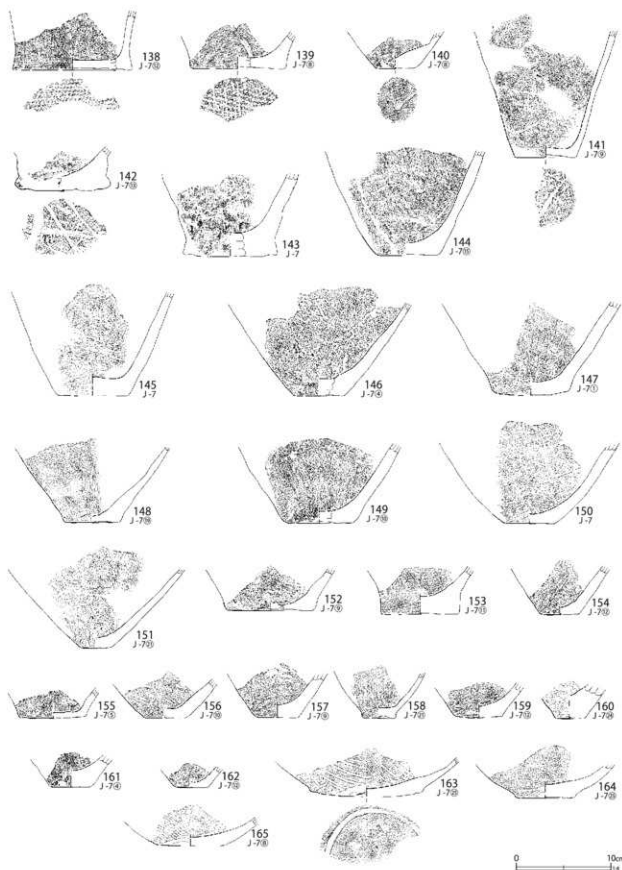
第615図 J-7グリッド出土遺物(11)



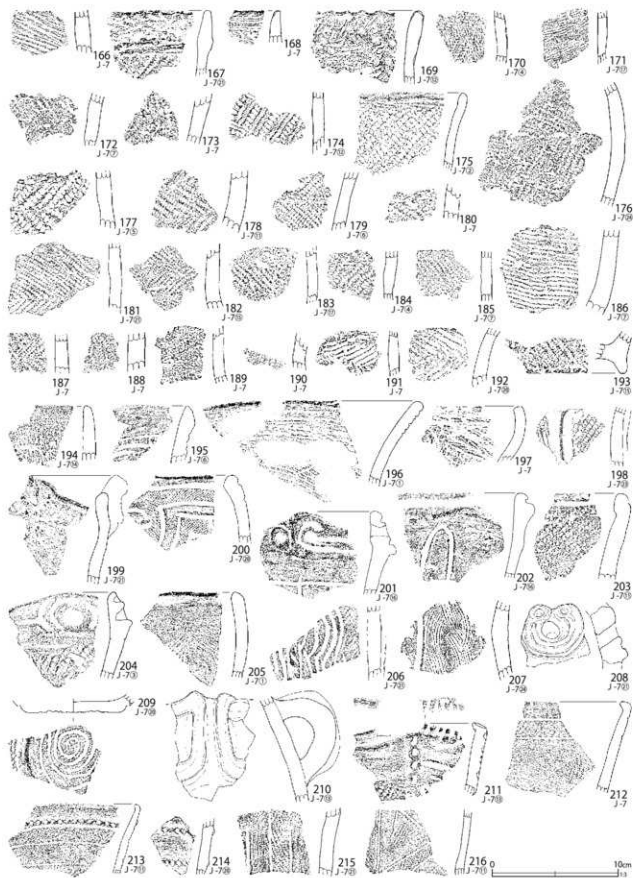
第616図 J-7グリッド出土遺物 (12)



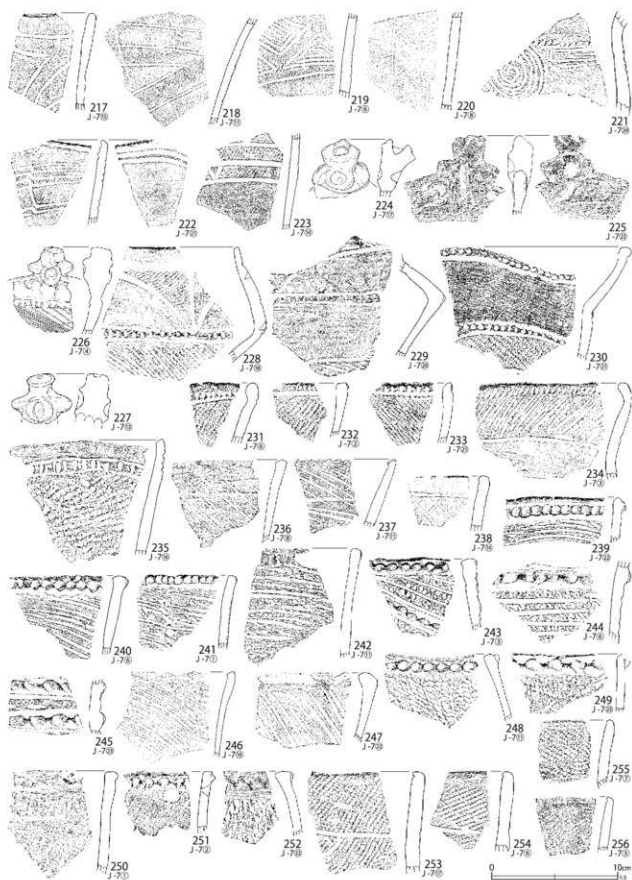
第617図 J-7グリッド出土遺物 (13)



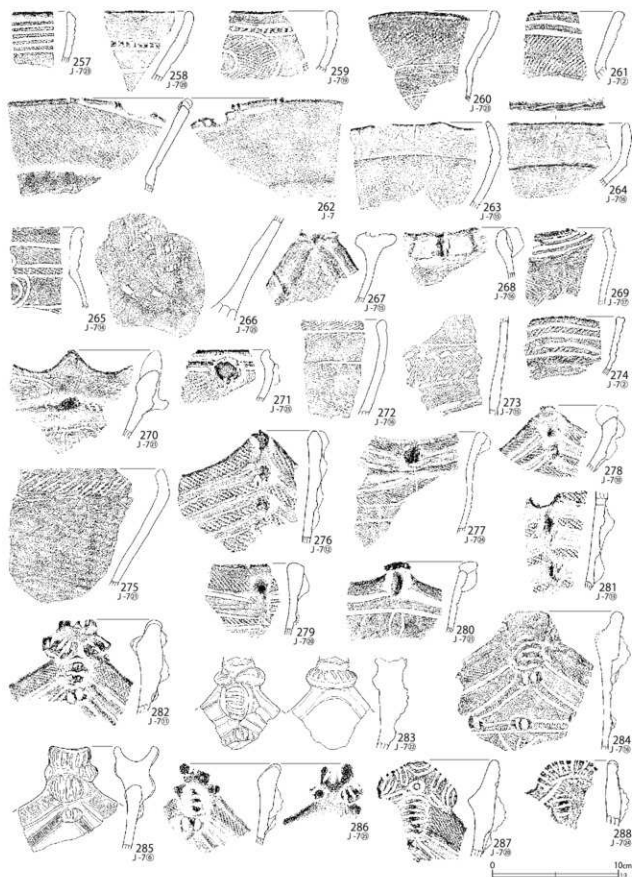
第618図 J-7グリッド出土遺物(14)



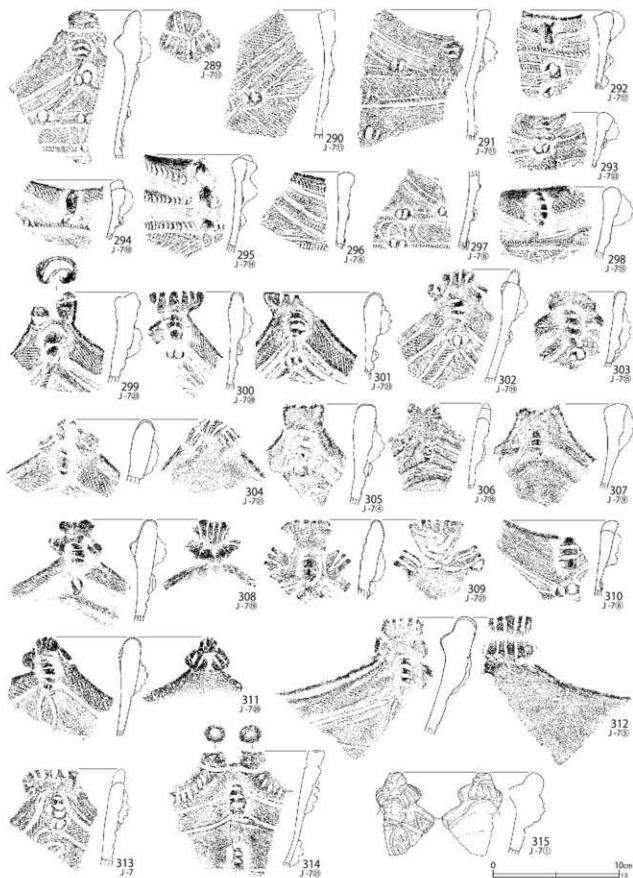
第619図 J-7グリッド出土遺物 (15)



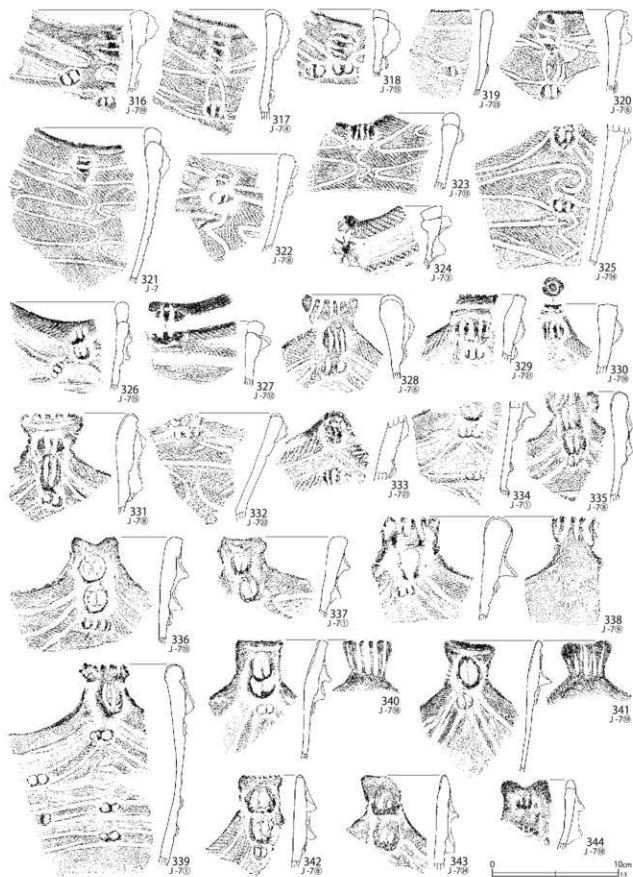
第620図 J-7グリッド出土遺物 (16)



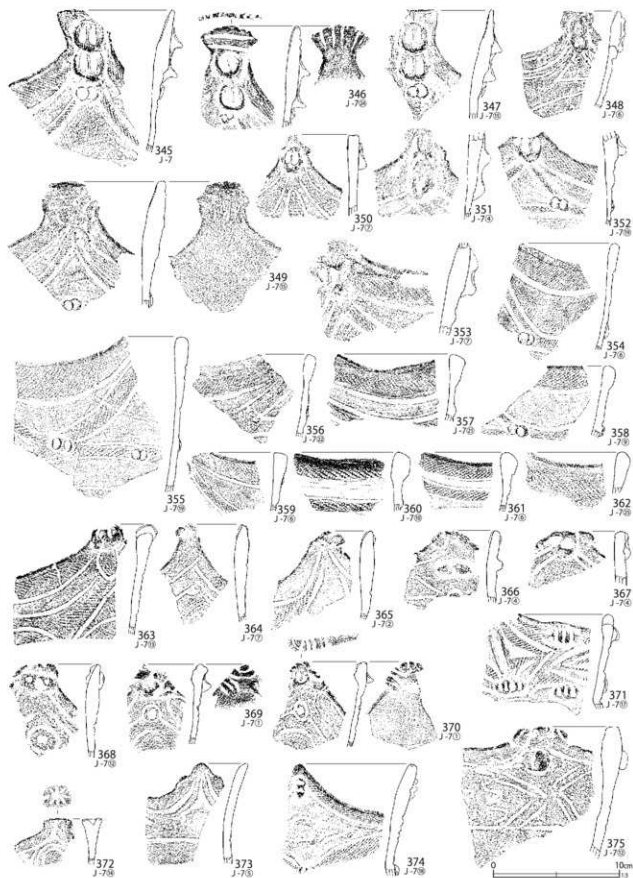
第 621 図 J-7 グリッド出土遺物 (17)



第622図 J-7グリッド出土遺物 (18)



第 623 図 J-7 グリッド出土遺物 (19)



第624図 J-7グリッド出土遺物(20)



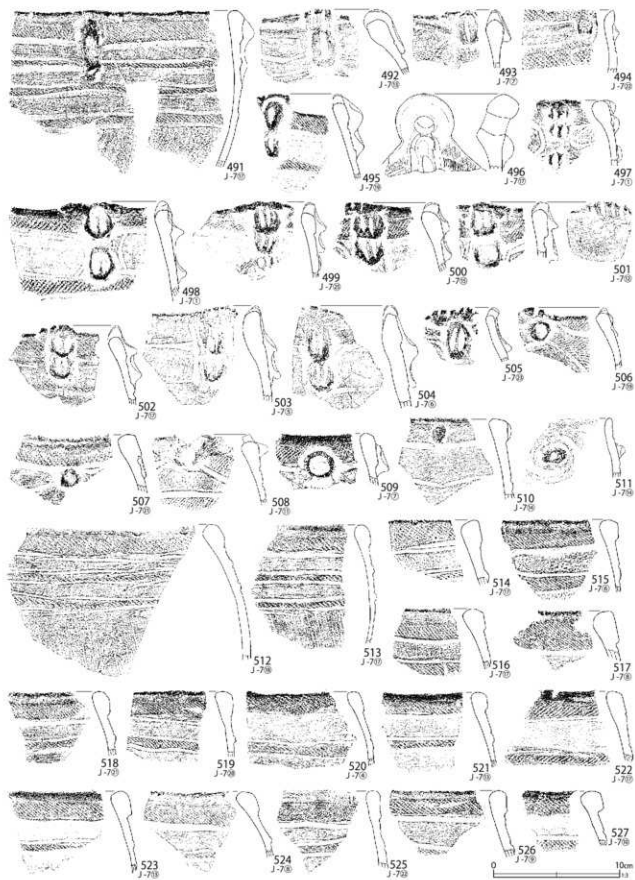
第625図 J-7グリッド出土遺物 (21)



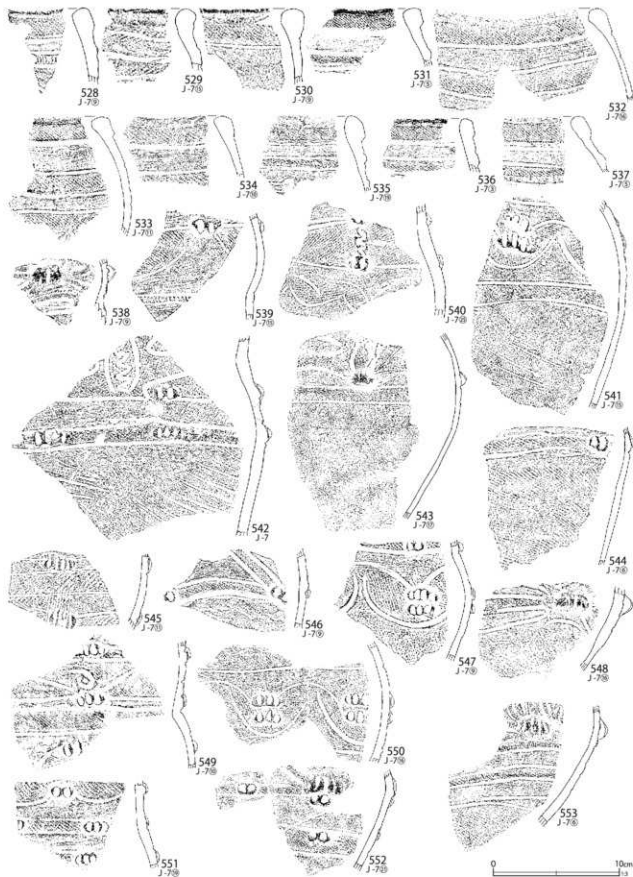
第626図 J-7グリッド出土物(22)



第 627 図 J-7 グリッド出土遺物 (23)



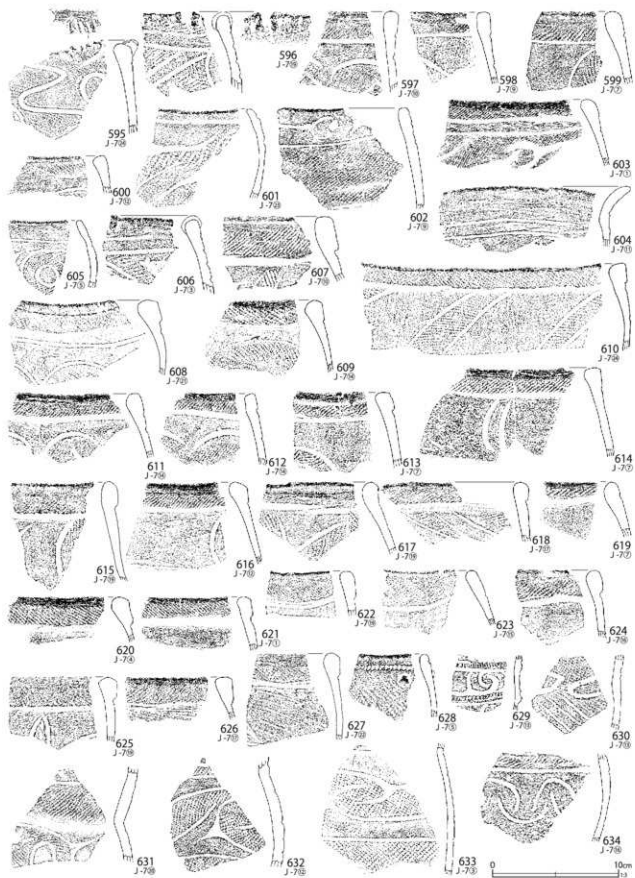
第628図 J-7グリッド出土遺物(24)



第629図 J-7グリッド出土遺物 (25)



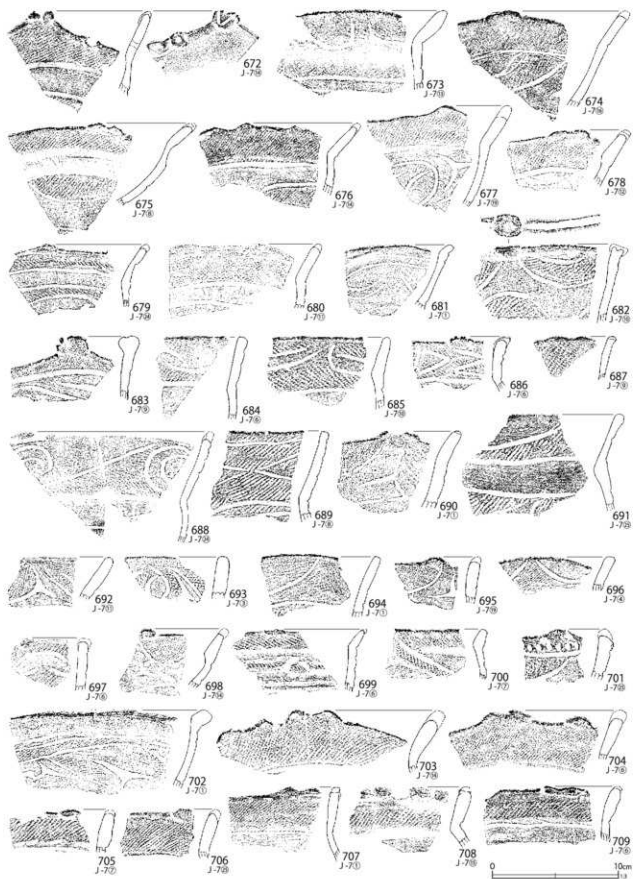
第630図 J-7グリッド出土遺物 (26)



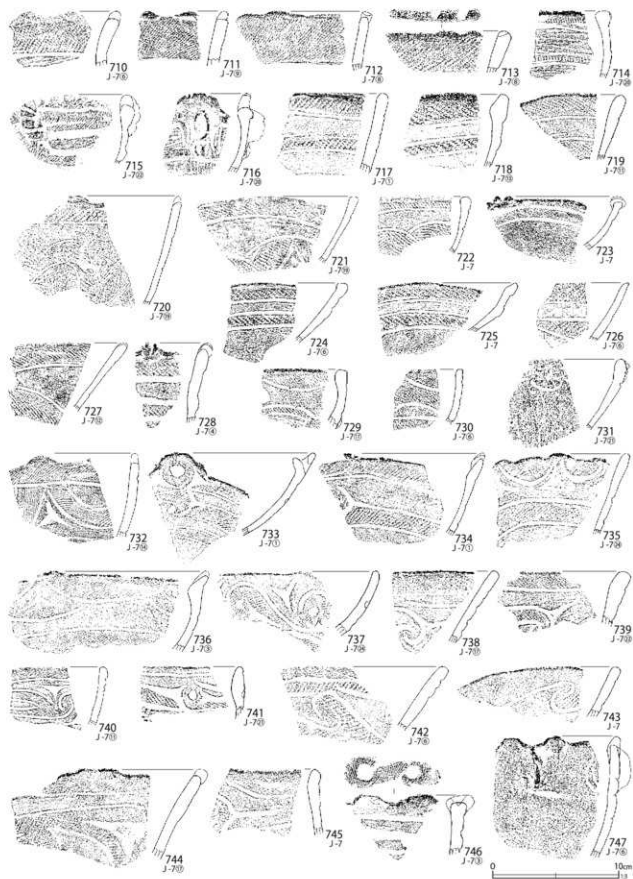
第 631 図 J-7 グリッド出土遺物 (27)



第632図 J-7グリッド出土遺物 (28)



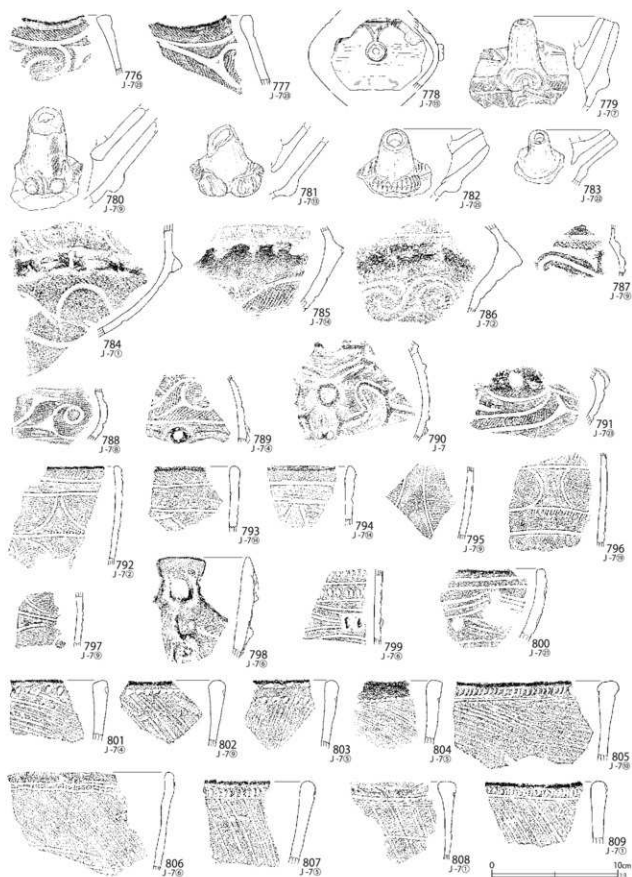
第633図 J-7グリッド出土遺物(29)



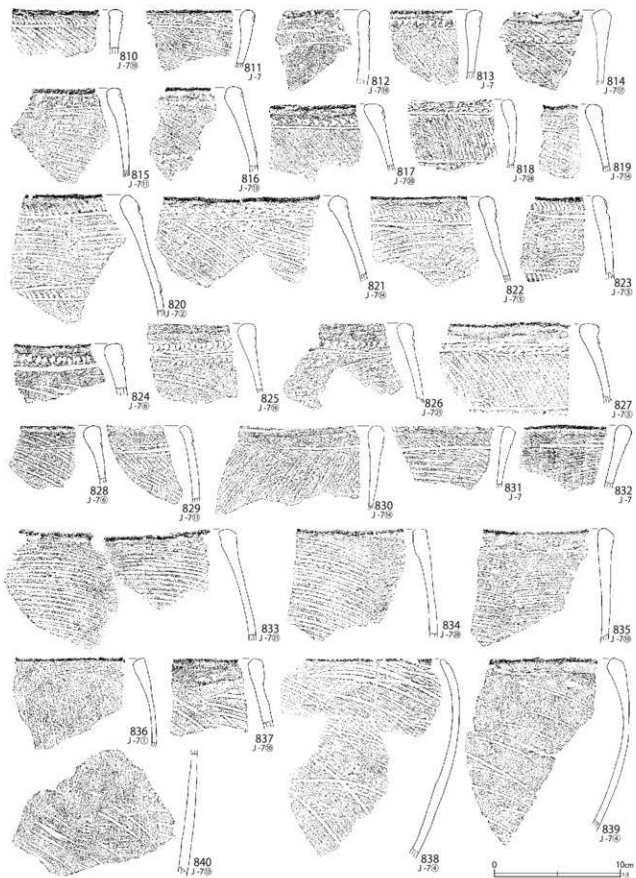
第634図 J-7グリッド出土遺物 (30)



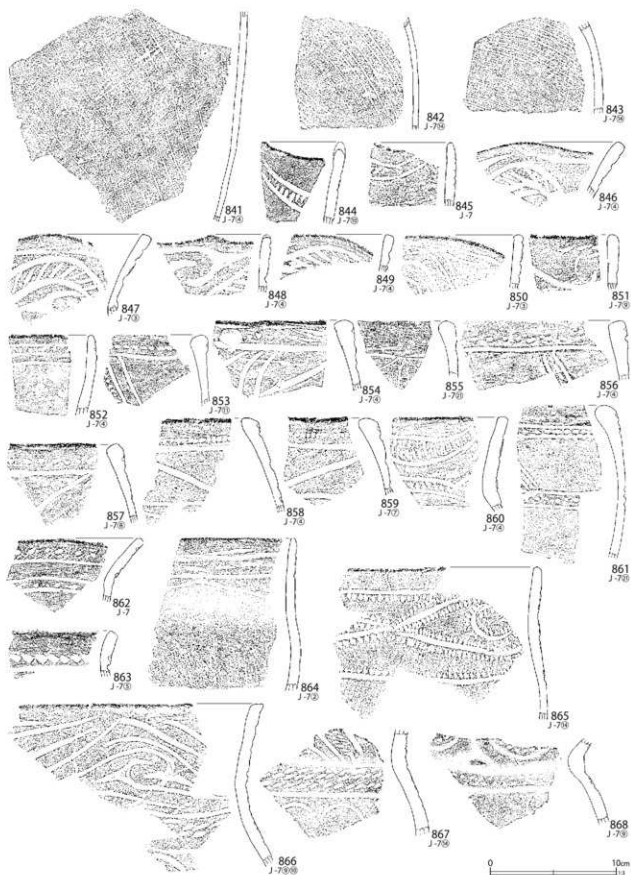
第 635 図 J-7 グリッド出土遺物 (31)



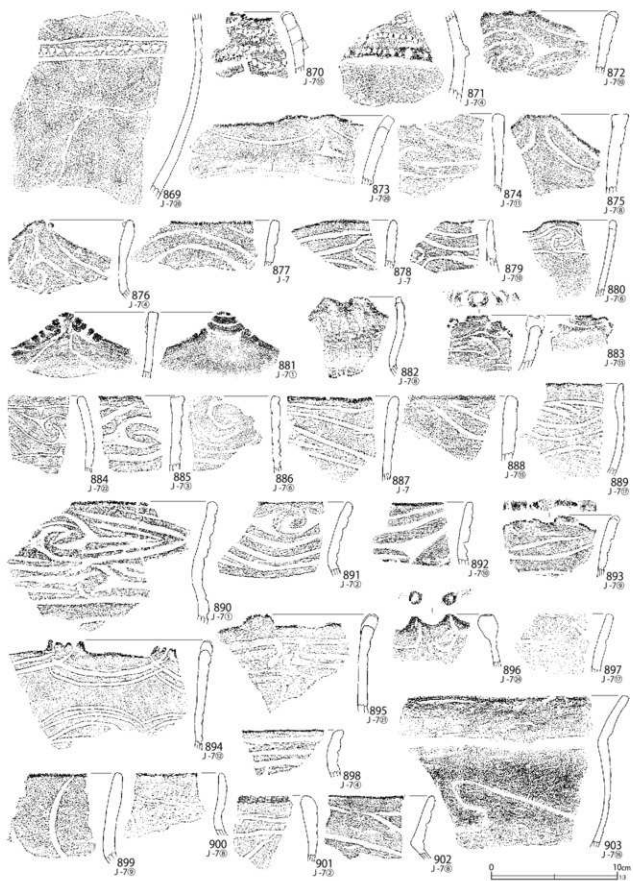
第636図 J-7グリッド出土遺物 (32)



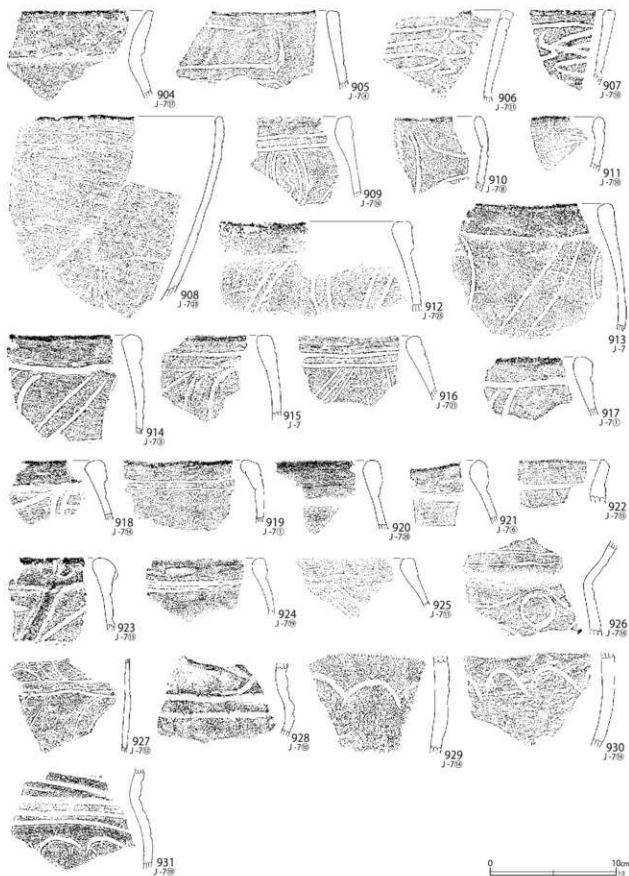
第 637 図 J-7 グリッド出土遺物 (33)



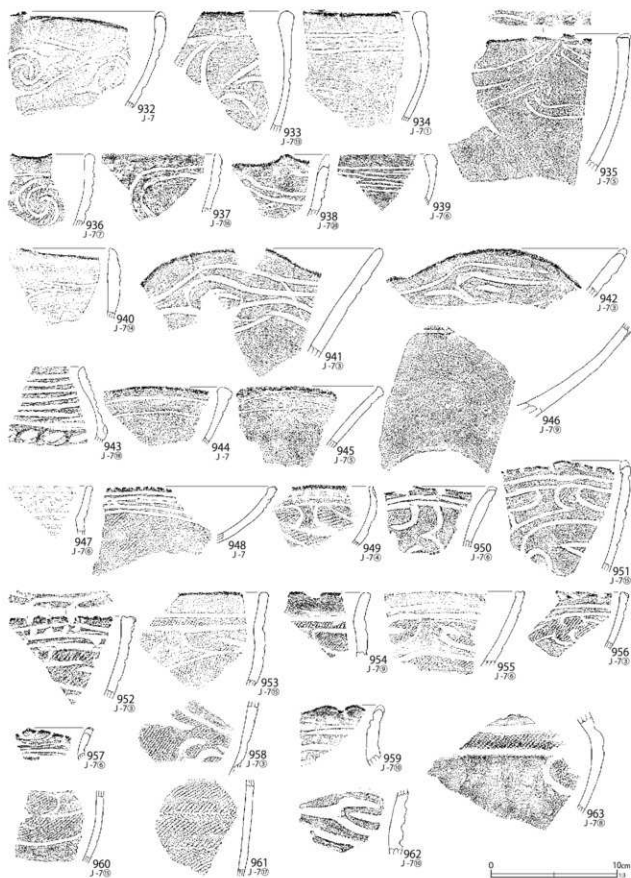
第 638 図 J-7 グリッド出土遺物 (34)



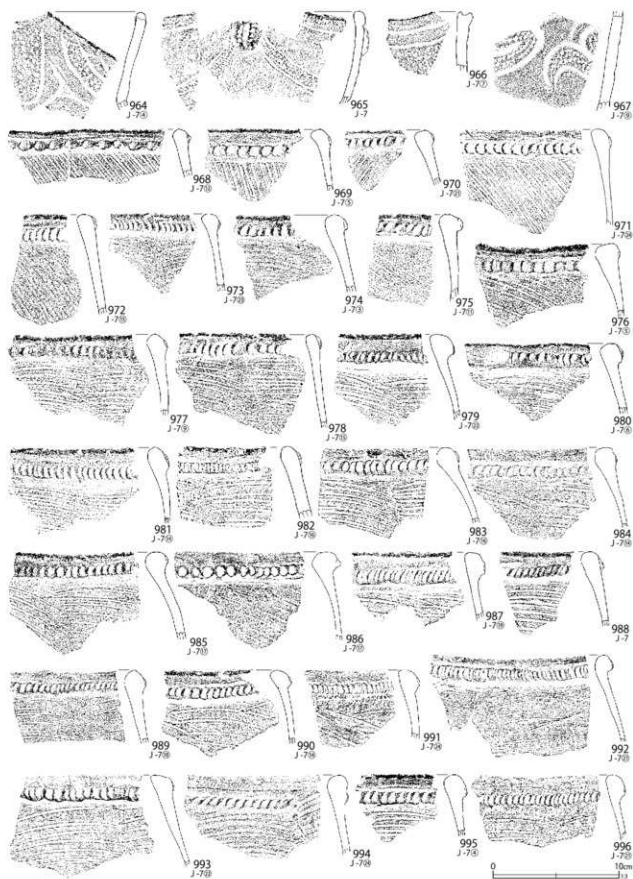
第 639 図 J-7 グリッド出土遺物 (35)



第640図 J-7グリッド出土遺物 (36)



第641図 J-7グリッド出土遺物(37)



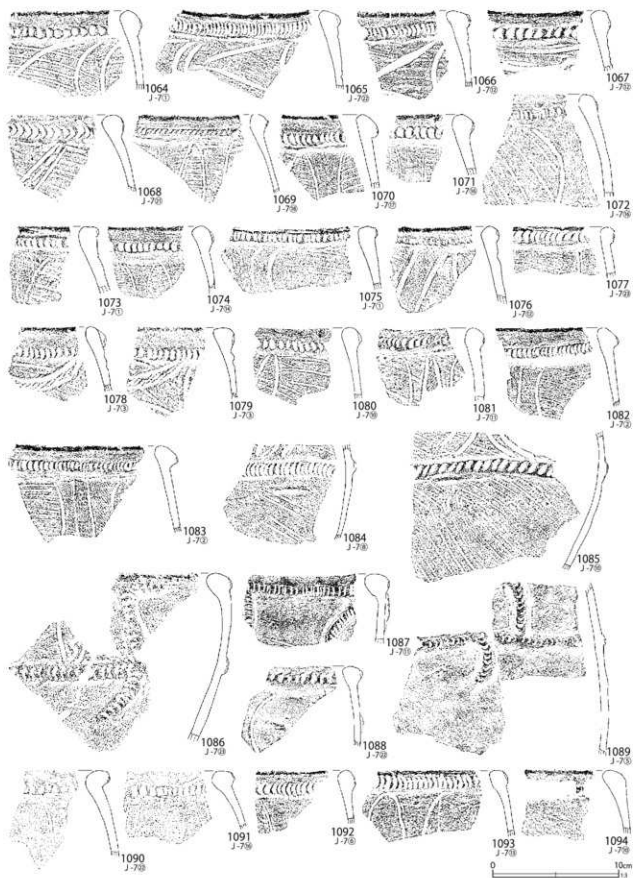
第642図 J-7グリッド出土遺物 (38)



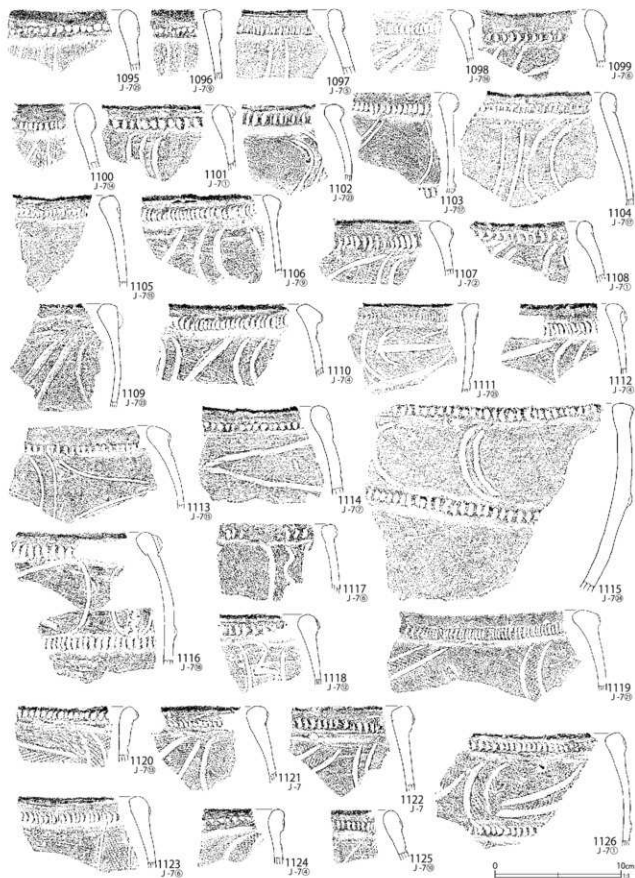
第643図 J-7グリッド出土遺物 (39)



第644図 J-7グリッド出土遺物(40)



第645図 J-7グリッド出土遺物(41)



第646図 J-7グリッド出土遺物 (42)



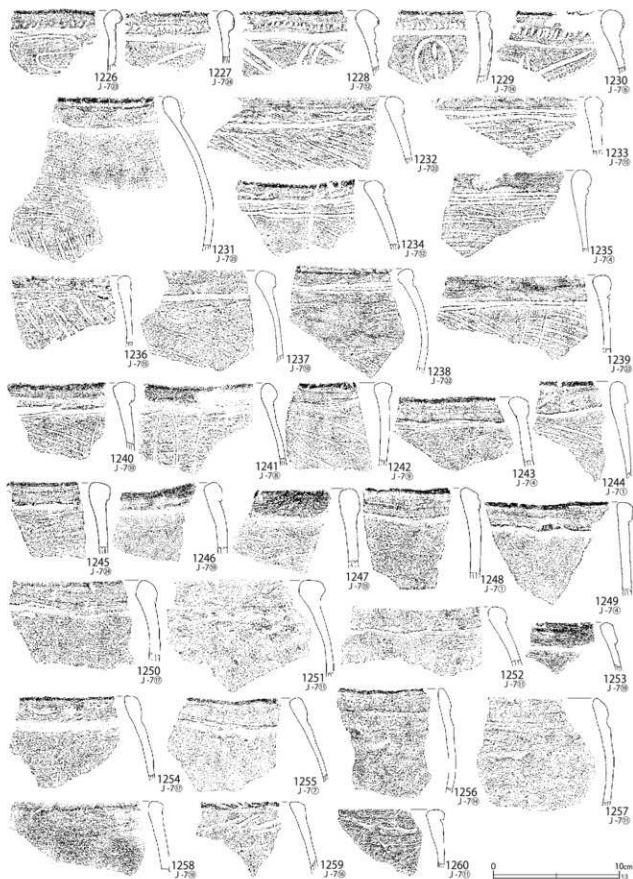
第647図 J-7グリッド出土遺物(43)



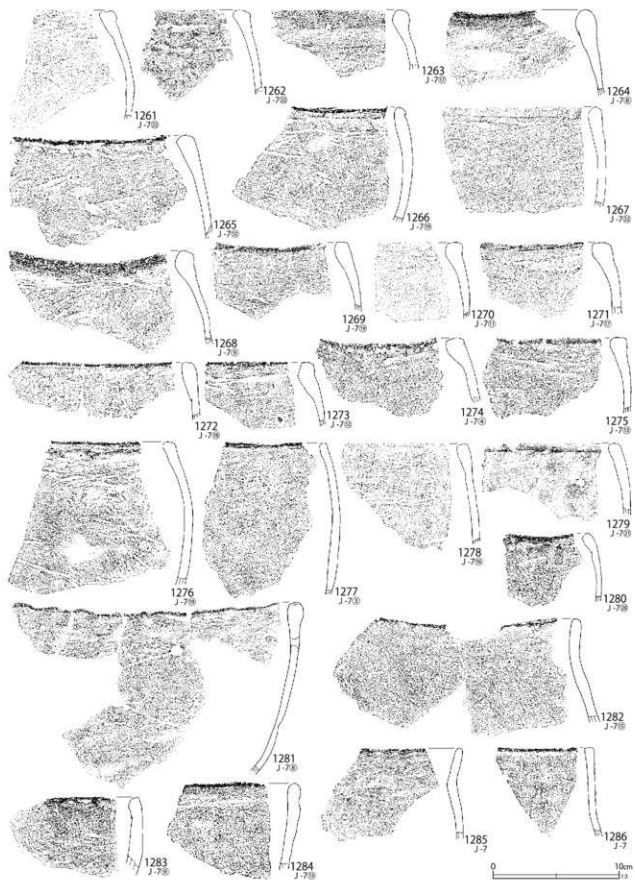
第648図 J-7グリッド出土遺物(44)



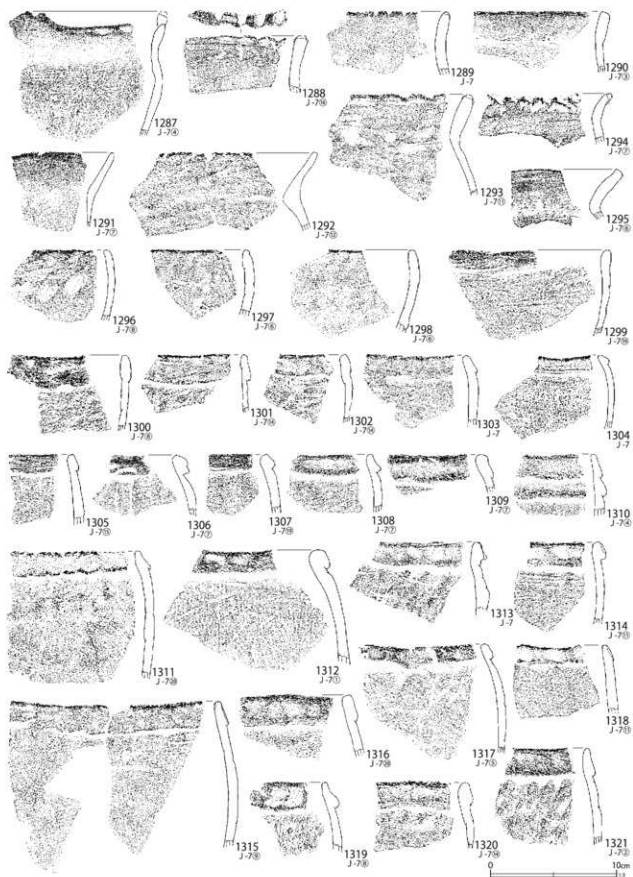
第649図 J-7グリッド出土遺物(45)



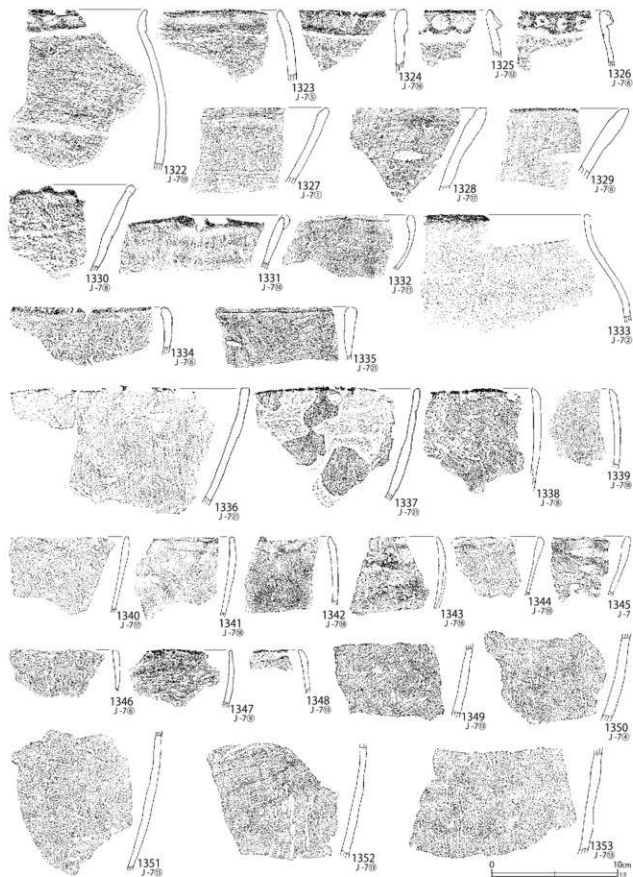
第650図 J-7グリッド出土遺物(46)



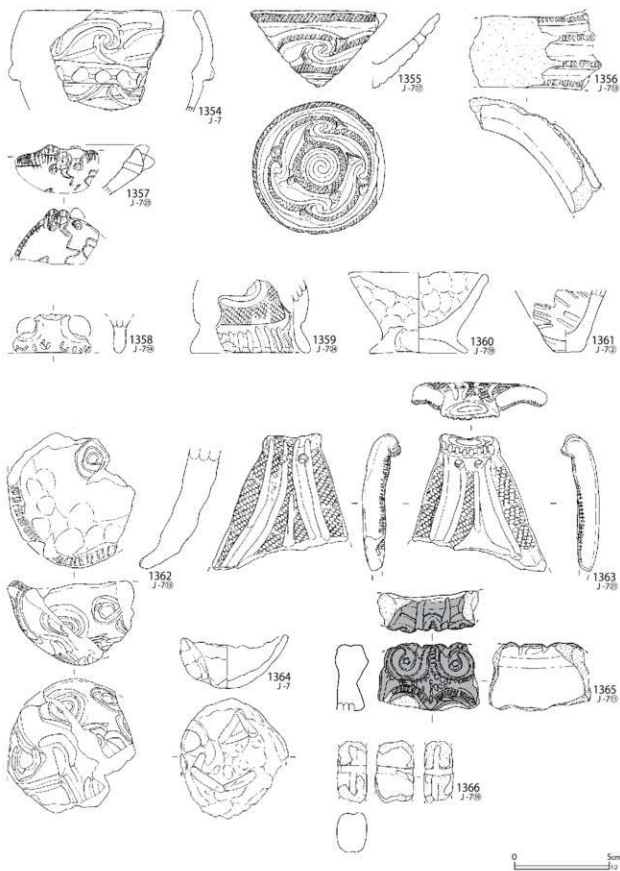
第 651 図 J-7 グリッド出土遺物 (47)



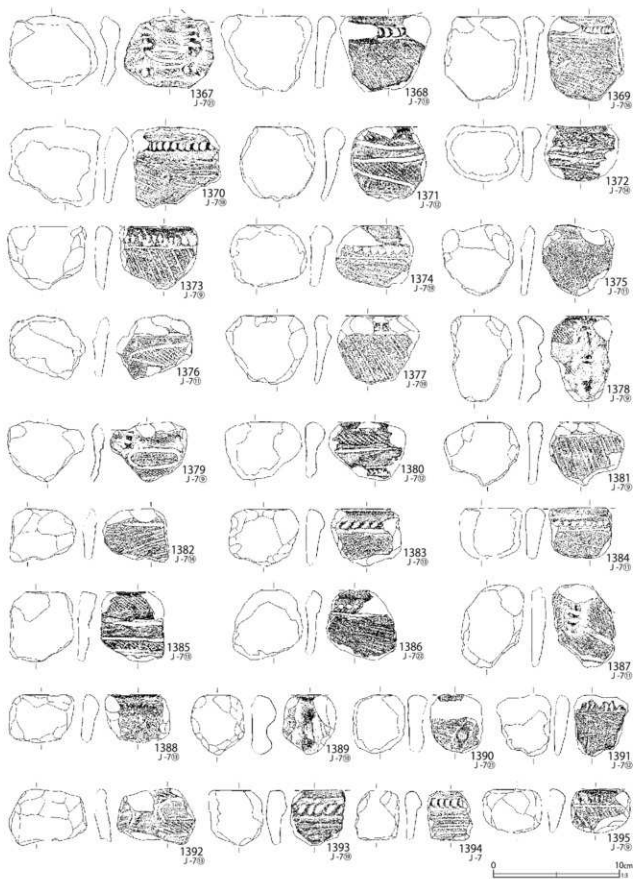
第652図 J-7グリッド出土遺物(48)



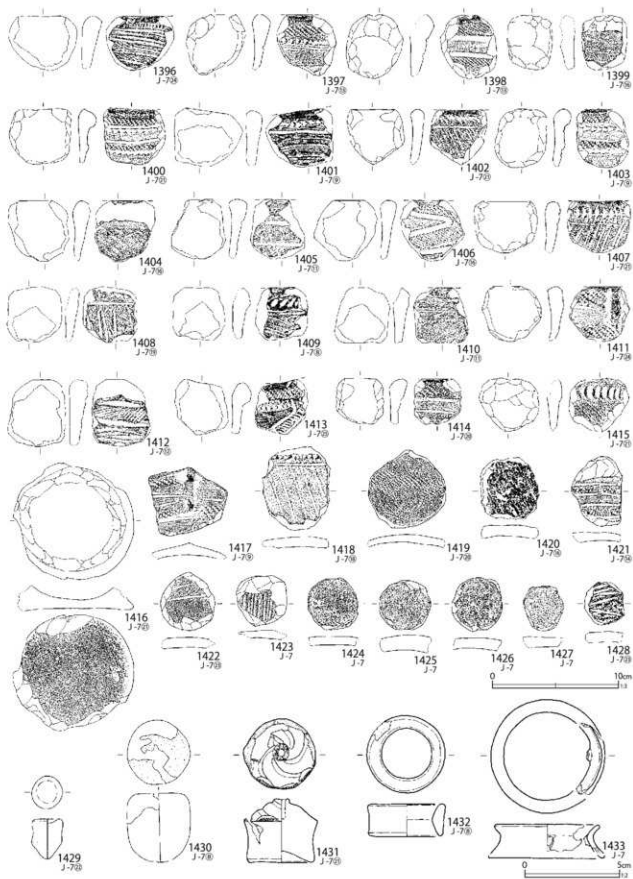
第653図 J-7グリッド出土遺物(49)



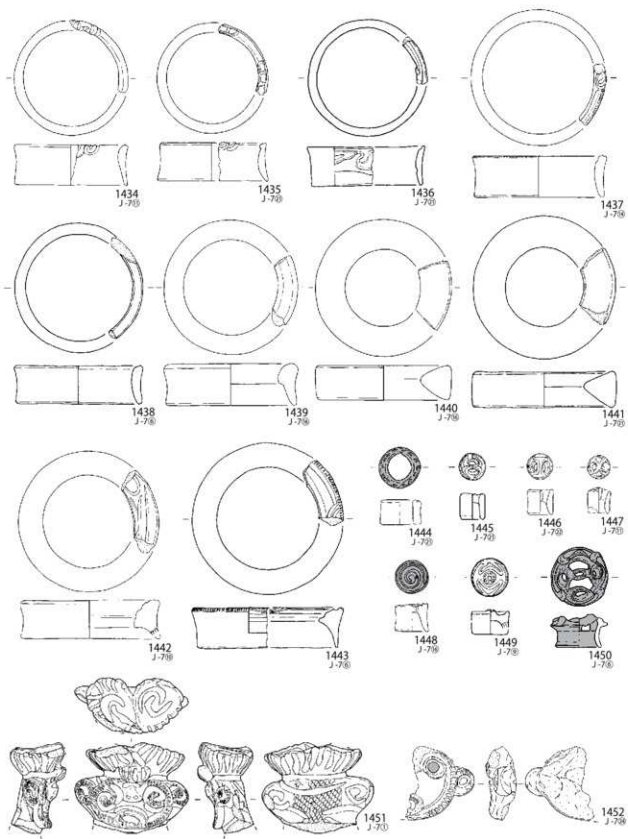
第654図 J-7グリッド出土遺物 (50)



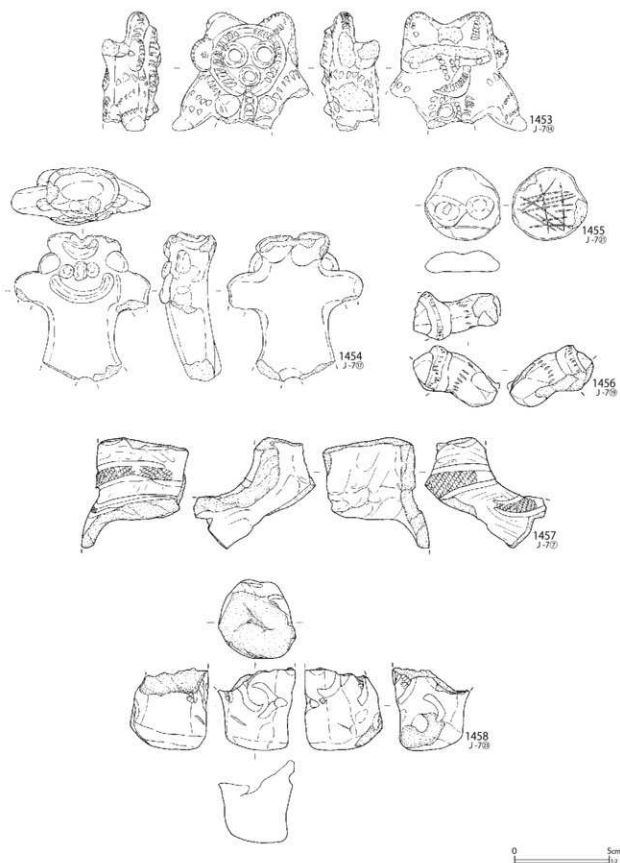
第655図 J-7グリッド出土遺物(51)



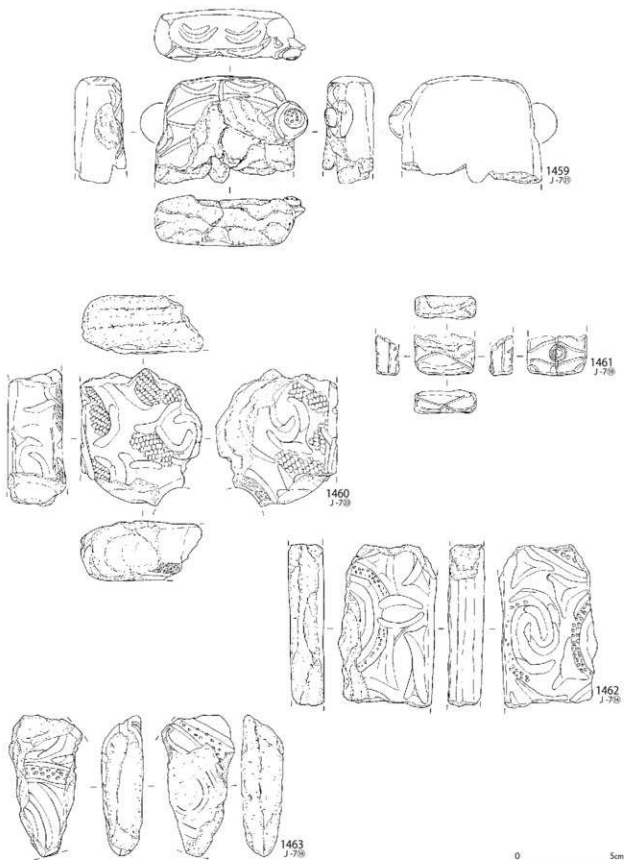
第 656 図 J-7 グリッド出土遺物 (52)



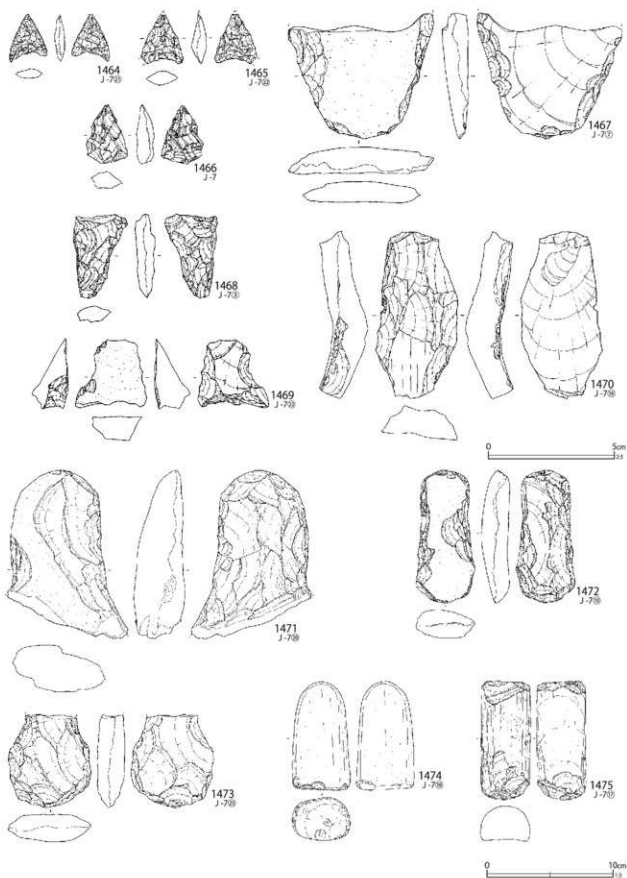
第 657 図 J-7 グリッド出土遺物 (53)



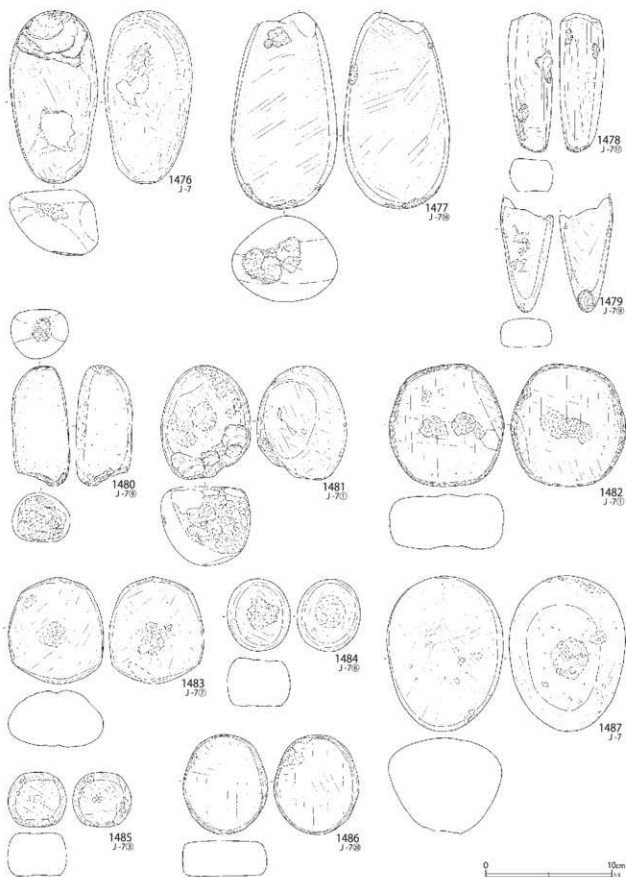
第 658 図 J-7グリッド出土遺物 (54)



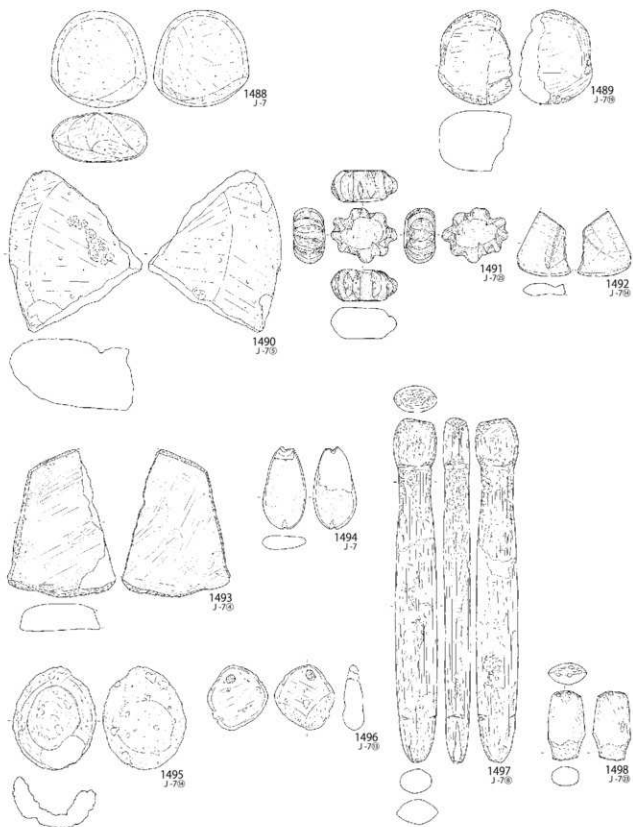
第 659 図 J-7 グリッド出土遺物 (55)



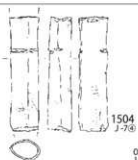
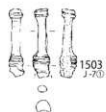
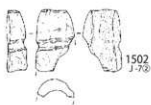
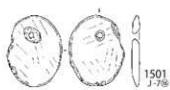
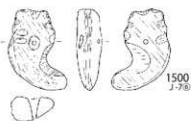
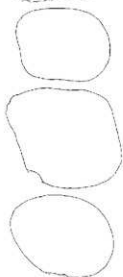
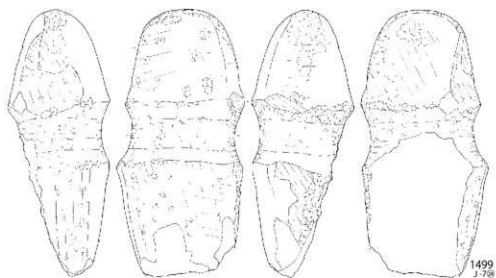
第660図 J-7グリッド出土遺物 (56)



第661図 J-7グリッド出土遺物 (57)



第662図 J-7グリッド出土遺物 (58)



第 663 図 J-7 グリッド出土遺物 (59)

第87表 J-7グリッド出土復元土器観察表 (第605~第618図)

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類	番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
1	IV	[19.0]	(24.3)	(24.3)	-	VI 2-A3	71	II -5	[3.2]	-	(8.0)	(7.2)	VI 2-A
2	IV	[19.2]	(27.4)	(27.4)	-	VI 2-A3	72	V -1	[5.8]	-	(7.0)	3.8 × 4.7	VI 2-A
3	IV	[19.9]	(21.8)	(21.8)	-	VI 1-A1	73	II	[12.4]	(18.7)	(24.0)	-	VI 2-G
4	II-6	[11.7]	(27.5)	(27.5)	-	VI 1-A3	74	II -5	[9.0]	(20.2)	(28.0)	-	VI 1-G
5	II	[15.8]	(24.6)	(25.2)	-	VI 2-A1	75	IV	[8.5]	(10.4)	(16.5)	-	VI 1-G
6	II	[16.4]	(29.0)	(29.0)	-	VI 1-A1	76	II -5	[6.5]	(15.4)	(21.0)	-	VI 1-G
7	II-4	[25.4]	19.8	19.8	-	VI 2-A1	77	II -10	[7.5]	(21.0)	(27.2)	-	VI 1-G
8	II-5	[14.0]	17.6	(18.7)	-	VI 2-A1	78	II	[5.3]	(19.0)	(24.0)	-	VI 2-G
9	II	[16.8]	-	(21.2)	-	VI 2-A1	79	II	[10.6]	-	(25.0)	-	VI 2-G
10	I	[16.8]	(25.0)	(25.0)	-	VI 1-A3	80	I	[3.6]	-	(14.2)	-	VI 6-G
11	I	[11.0]	(32.4)	(32.4)	-	VI 1-A3	81	I	[8.1]	(24.4)	(24.4)	-	VI 5-A4
12	III-2	[18.1]	(26.2)	(26.2)	-	VI 2-A2	82	I	[13.4]	(36.2)	(36.2)	-	VI 6-C1
13	IV	[9.8]	(18.5)	(25.4)	-	VI 1-A5	83	II	[17.7]	(13.5)	(13.5)	-	VI 6-A3
14	IV	[4.4]	(21.0)	(26.1)	-	VI 1-A5	84	I	[12.6]	(14.0)	(14.7)	-	VI 2-中期
15	II-6	[17.7]	(23.6)	(27.1)	-	VI 2-A5	85	IV	[9.2]	(18.6)	(18.6)	-	VI 1-A6
16	III-IV	[13.1]	(21.4)	(30.0)	-	VI 1-A5	86	IV	[8.5]	(24.0)	(24.0)	-	VI 1-A6
17	IV	[8.8]	(20.6)	(21.5)	-	VI 1-A5	87	IV	[11.2]	(22.1)	(25.3)	-	VI 2-VI 1-A7
18	II	[10.4]	(20.6)	(23.4)	-	VI 1-A5	88	II -4	[3.8]	(31.0)	(34.8)	-	VI 2-VI 1-A7
19	II-6	[13.8]	(36.0)	(39.2)	-	VI 2-A5	89	IV	[10.3]	(27.7)	(28.4)	-	VI 2-VI 1-A7
20	IV	[12.2]	(23.9)	(30.8)	-	VI 2-A5	90	IV	[10.4]	(34.3)	(37.0)	-	VI 2-VI 1-A7
21	II	[10.0]	(14.6)	(14.6)	-	VI 2-A5	91	II	[12.8]	(36.0)	(38.4)	-	VI 2-VI 1-A7
22	I	[10.4]	(15.0)	(16.2)	-	V 4-A2	92	II	[11.8]	(21.2)	(25.2)	-	VI 2-VI 1-A7
23	II	[4.4]	(25.2)	(27.9)	-	VI 1-A5	93	IV	[18.0]	(29.2)	(31.1)	-	VI 2-VI 1-A7
24	V-1	[15.3]	(20.0)	(20.2)	-	VI 2-A4	94	IV	[20.0]	(29.3)	(29.3)	-	VI 2-VI 1-A7
25	II	[6.4]	13.9	13.9	-	VI 2-A4	95	IV	[14.2]	(28.0)	(31.2)	-	VI 2-VI 1-A7
26	I	[14.4]	(25.8)	(30.0)	-	VI 1-A5	96	II -4	[9.1]	(24.4)	(27.0)	-	VI 2-VI 1-A7
27	IV	[16.0]	(23.3)	(23.6)	-	VI 1-A2	97	II -4	[8.2]	(27.4)	(29.8)	-	VI 1-2-A7
28	IV	[13.8]	(23.2)	(23.2)	-	VI 1-A2	98	II -5	[7.9]	(29.1)	(31.4)	-	VI 1-2-A7
29	II-4	[11.8]	(18.8)	(18.8)	-	VI 2-A2	99	II -4	[8.0]	(29.0)	(31.4)	-	VI 1-2-A7
30	IV	[7.2]	(17.4)	(17.4)	-	VI 2-VI 1-A2	100	III-2	[13.2]	(23.1)	(24.7)	-	VI 1-2-A7
31	II	[14.2]	(22.8)	(25.8)	-	VI 1-A5	101	II -5	[20.4]	(25.1)	(28.9)	-	VI 2-VI 1-A7
32	II	[12.2]	(19.4)	(21.3)	-	VI 1-A4	102	II	[7.1]	(29.1)	(32.0)	-	VI 1-2-A7
33	I	[26.4]	(26.0)	(31.0)	-	VI 1-A4	103	IV	[7.6]	(25.5)	(31.7)	-	VI 2-VI 1-A7
34	II	21.1	21.1	21.1	7.5	VI 1-A4	104	II -5	[20.0]	(32.6)	(34.0)	-	VI 1-2-A7
35	I	[16.8]	(23.8)	(23.8)	-	VI 1-A4	105	IV	[16.4]	(28.0)	(31.8)	-	VI 2-VI 1-A7
36	IV	[6.9]	(20.4)	(20.4)	-	VI 1-B	106	II -5	[14.9]	-	(31.2)	-	VI 1-2-A7
37	IV	[10.0]	(22.1)	(22.1)	-	VI 1-B1	107	II -5	[24.7]	-	(38.8)	-	VI 2-VI 1-A7
38	II	[4.0]	-	(15.2)	-	VI 1-B	108	I	[6.5]	(19.9)	(19.9)	-	VI 2-A
39	I	8.7	(12.5)	(12.5)	6.2	VI 2-B1	109	I	[12.4]	(26.2)	(27.2)	-	VI 2-A
40	I	[9.2]	-	11.8	11.8	VI 2-B	110	II	[33.3]	29.1	(30.2)	-	VI 2-A
41	II-4	[5.2]	-	(11.6)	-	VI 1-B	111	II	15.8	(14.1)	(14.1)	5.6	VI 2-A
42	IV	[5.8]	-	(13.0)	-	VI 1-B	112	II -5	[5.5]	(18.0)	(19.4)	-	VI 2-A
43	II	[11.0]	(33.2)	(33.6)	-	VI 1-C2	113	II	[6.0]	(18.8)	(21.4)	-	VI 2-A
44	II-4	[7.6]	(13.0)	(17.0)	-	VI 1-C2	114	IV	[21.0]	(30.1)	(31.0)	-	VI 2-A
45	II-6	[9.3]	(24.3)	(24.3)	-	VI 2-C2	115	II	[10.5]	(19.0)	(22.0)	-	VI 2-A
46	IV	10.0	(24.4)	(24.4)	丸底	VI 2-C2	116	IV	[12.0]	(32.5)	(33.4)	-	VI 2-A
47	IV	5.3	17.0	17.0	丸底	VI 1-C2	117	II -4	[15.5]	(42.4)	(44.2)	-	VI 2-A
48	II	7.6	(19.0)	(19.9)	丸底	VI 1-C2	118	II	[8.8]	(23.4)	(26.9)	-	VI 2-A
49	V-1	[6.3]	(13.4)	(13.4)	-	VI 2-C2	119	II	[12.5]	(29.4)	(32.0)	-	VI 2-A
50	IV	[4.0]	(12.2)	(12.2)	-	VI 2-C2	120	II -4	[28.8]	(28.0)	(32.0)	-	VI 2-A
51	II	[6.0]	(14.5)	(14.5)	-	VI 1-C2	121	II -4	[24.5]	(30.8)	(32.0)	-	VI 2-A
52	IV	[6.8]	(14.0)	(14.0)	-	VI 1-C1	122	II -5	[19.3]	-	(29.7)	-	VI 2-VI 1-A
53	I	6.9	(16.2)	(16.2)	丸底	VI 2-C1	123	IV	[17.0]	-	(17.7)	3.4	VI 1-A
54	I	[8.0]	(24.0)	(24.0)	-	VI 7-C1	124	IV	[13.9]	-	(21.2)	(3.1)	X 3
55	I	4.9	(19.0)	(19.0)	(6.6)	VI 1-D2	125	V-1	[9.4]	-	(20.6)	(5.0)	X 3
56	II-5	[2.1]	-	(13.6)	4.4	VI 2-D	126	III-3	[6.7]	-	(13.0)	4.1	X 3
57	II-4	[3.4]	-	(9.2)	丸底	VI 2-D2	127	IV	[5.3]	-	(11.5)	3.2	X 3
58	II-4	[3.3]	-	(16.7)	丸底	VI 1-D2	128	IV	[4.3]	-	(11.0)	3.6	X 3
59	II-5	[9.3]	(24.4)	(29.2)	-	VI 4-C2	129	IV	[2.9]	-	(10.2)	3.8	X 3
60	IV	[6.7]	(16.0)	(16.5)	-	VI -C2	130	IV	[6.9]	-	(12.9)	(4.4)	X 3
61	III-2	[6.2]	(13.2)	(13.4)	-	VI -C2	131	V-1	[5.9]	-	(14.0)	3.4	X 3
62	IV	[6.2]	(16.8)	(16.8)	-	VI -C2	132	-	[6.4]	-	(11.6)	(3.4)	X 3
63	I	[6.4]	(17.0)	(21.6)	-	VI 2-F	133	IV	[3.8]	-	(9.5)	3.9	X 3
64	II	[10.5]	-	(23.8)	-	VI 1-F2	134	IV	[2.5]	-	(8.0)	4.6	X 3
65	IV	[4.7]	(18.3)	(18.8)	-	VI 1-C1	135	V-1	[5.3]	-	(11.4)	3.8	X 3
66	I	[5.2]	(16.0)	(16.5)	-	VI 1-F1	136	I	[13.3]	-	(28.1)	10.9	X 3
67	I	[6.5]	5.4	(8.0)	-	VI -F	137	II -5	[23.3]	-	(27.0)	7.5	X 3
68	II	[8.6]	-	(16.0)	(12.4)	VI 2-A	138	IV	[6.2]	-	(13.3)	(12.6)	X 3
69	II	[2.9]	-	(10.9)	8.3	VI 2-A	139	IV	[3.4]	-	(12.0)	(9.7)	X 3
70	IV	[3.3]	-	(11.0)	(10.2)	VI 2-A	140	IV	[3.9]	-	(10.2)	4.2	X 3

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類	番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
141	I	[13.3]	-	(15.2)	6.6	X 3	154	VI	[4.8]	-	(10.4)	4.2	X 3
142	VI	[4.2]	-	(10.2)	(10.0)	X 3	155	IV	[2.7]	-	(9.6)	7.0	X 3
143	IV	[8.7]	-	(14.4)	(10.0)	X 3	156	VI	[3.6]	-	(11.0)	4.2	X 3
144	III-4	[11.0]	-	(17.0)	6.4	X 3	157	IV	[4.7]	-	(10.6)	4.4	X 3
145	VI	[10.9]	-	(17.2)	7.4	X 3	158	V-1	[4.9]	-	(9.6)	3.6	X 3
146	IV	[9.6]	-	(19.3)	(5.0)	X 3	159	IV	[3.2]	-	(9.4)	4.9	X 3
147	VI	[9.6]	-	(18.8)	8.0	X 3	160	VI	[3.0]	-	(7.4)	3.0	X 3
148	IV	[7.9]	-	(16.4)	5.8	X 3	161	IV	[2.9]	-	(8.6)	4.2	X 3
149	V-1	[8.0]	-	(17.2)	(6.6)	X 3	162	VI	[1.9]	-	(6.6)	3.4	X 3
150	IV	[8.5]	-	(19.0)	5.4	X 3	163	VI	[3.7]	-	(19.4)	(12.0)	X 3
151	IV	[8.3]	-	(18.6)	3.4	X 3	164	VI	[3.6]	-	(14.6)	(6.0)	X 3
152	IV	[4.3]	-	(13.6)	(9.0)	X 3	165	V-1	[2.4]	-	(14.0)	(7.2)	X 3
153	VI	[4.6]	-	(11.2)	(8.0)	X 3							

第88表 J-7グリッド出土破片土器観察表 (第619~第653図)

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
166	II	I 3-A2	221	III	IV 2-A4	276	III-2	VI-A3	331	I	VI 1~2-A3
167	II	II 1-A2	222	II	V 1-A1	277	-	VI-A3	332	-	VI 1~2-A3
168	II	II 1-A2	223	II-4	V 1-A1	278	II-5	VI-A3	333	II-5	VI 1~2-A3
169	II	II 1-A2	224	III-2	V 2~3-A3	279	IV	VI-A3	334	II	VI 1~2-A3
170	II-4	II 1-A2	225	II-10	V 2~3-A3	280	II	VI-A3	335	I	VI 1~2-A3
171	III-2	II 1-A2	226	II-4	V 2~3-A3	281	II-4	VI-A3	336	III-4	VI 1~2-A3
172	III-4	II 1-A2	227	II-4	V 2~3-A3	282	III-2	VI 2-A3	337	II	VI 1~2-A3
173	II	II 1-A2	228	II-5	V 2-A5	283	IV	VI 2-A3	338	III-4	VI 1~2-A3
174	II	II 2-A2	229	I	V 2-A5	284	II	VI 2-A3	339	II	VI 1~2-A3
175	-	II 2-A2	230	III-3	V 2~3-A3	285	IV	VI 2-A3	340	II	VI 1~2-A3
176	VI	II 2-A2	231	III-2	V 2~3-A3	286	II-4	VI 2-A3	341	II-6	VI 1~2-A3
177	II-5	II 2-A2	232	I	V 2~3-A3	287	IV	VI 2-A3	342	I	VI 1~2-A3
178	II-5	II 2-A2	233	II-5	V 2~3-A3	288	VI	VI 2-A3	343	I	VI 1~2-A3
179	II	II 2-A2	234	II	V 2~3-A4	289	II-4	VI 2-A3	344	II	VI 1~2-A3
180	II	II 2-A2	235	II-10	V 2~3-A3	290	-	VI 2-A3	345	IV	VI 1~2-A3
181	III-3	II 2-A2	236	-	V 2~3-A4	291	III	VI 2-A3	346	II-4	VI 1~2-A3
182	II-4	II 2-A2	237	II-4	V 2~3-A4	292	III-2	VI 2-A3	347	II-4	VI 1~2-A3
183	III-2	II 2-A2	238	II-4	V 2~3-A4	293	-	VI 2-A3	348	I	VI 1~2-A3
184	II-4	II 2-A2	239	II	V 2~3-A7	294	II-5	VI 2-A3	349	II-4	VI 1~2-A3
185	II-4	II 2-A2	240	V-1	V 2~3-A7	295	II-4	VI 2-A3	350	I	VI 1~2-A3
186	II-4	II 2-A2	241	II	V 2~3-A7	296	IV	VI 2-A3	351	II-5	VI 1~2-A3
187	II	II 2-A2	242	II-4	V 2~3-A7	297	IV	VI 2-A3	352	I	VI 1~2-A3
188	II	II 2-A2	243	II-4	V 2~3-A7	298	II-5	VI 2-A3	353	II-4	VI 1~2-A3
189	II	II 2-A2	244	I	V 2~3-A7	299	IV	VI 2~VI 1-A3	354	I	VI 1~2-A3
190	II	II 2-A2	245	II-5	V 2~3-A7	300	II-5	VI 2~VI 1-A3	355	I	VI 1~2-A3
191	II	II 2-A2	246	II-10	V 3~4-A6	301	IV	VI 2~VI 1-A3	356	II-6	VI 1~2-A3
192	II-5	II 2-A2	247	II-10	V 3~4-A6	302	V-1	VI 2~VI 1-A3	357	IV	VI 1~2-A3
193	II	II 2-A2	248	-	V 2~3-A7	303	II-5	VI 2~VI 1-A3	358	I	VI 1~2-A3
194	I	II 3-A4	249	II-5	V 2~3-A7	304	V-1	VI 2~VI 1-A3	359	II-2	VI 1~2-A3
195	III	II 3-A4	250	-	V 2~3-A7	305	II-5	VI 2~VI 1-A3	360	II-5	VI 1~2-A3
196	V-1	II 8-A4	251	I	V 2~3-A7	306	-	VI 2~VI 1-A3	361	II	VI 1~2-A3
197	-	II 5-A4	252	II-10	V 2~3-A7	307	II-6	VI 2~VI 1-A3	362	I	VI 1~2-A3
198	-	III 5-A4	253	III-2	V 2~3-A2	308	II-5	VI 2~VI 1-A3	363	II-4	VI 1~2-A3
199	V-1	II 1-A3	254	III-2	V 2~3-A2	309	V-1	VI 2~VI 1-A3	364	I	VI 1~2-A3
200	II-5	IV 1-A4	255	I	V 2~3-A2	310	III-2	VI 2~VI 1-A3	365	I	VI 1~2-A3
201	-	IV 3-A4	256	V-1	V 2~3-A2	311	II-4	VI 2~VI 1-A3	366	I	VI 1~2-A3
202	-	IV 3-A4	257	II-5	V 1-C2	312	II-5	VI 2~VI 1-A3	367	I	VI 1~2-A3
203	I	IV 3-A4	258	I	V 2~3-C2	313	-	VI 2~VI 1-A3	368	I	VI 1~2-A3
204	II-4	IV 3-A4	259	I	V 2~3-C2	314	-	VI 2~VI 1-A3	369	II	VI 1~2-A3
205	II	IV 3-A4	260	IV	V 2~3-C1	315	II	VI 2~VI 1-A3	370	II	VI 1~2-A3
206	III-3	IV 3-A4	261	I	V 2~3-C1	316	-	VI 2~VI 1-A3	371	IV	VI 1~2-A3
207	VI	IV 3-A4	262	IV	V 2~3-C1	317	II-5	VI 2~VI 1-A3	372	II-5	VI 1~2-A3
208	II-5	IV 3-A4	263	II-4	V 2-C2	318	II-4	VI 2~VI 1-A3	373	II-5	VI 1~2-A3
209	I	IV 3-A4	264	I	V 2-C2	319	III-2	VI 2~VI 1-A3	374	II-5	VI 1~2-A3
210	II-4	IV 3-F	265	V-1	V 1-C1	320	III-2	VI 2~VI 1-A3	375	III-2	VI 1~2-A3
211	II-4	IV 4-A2	266	II-5	V-C	321	IV	VI 2~VI 1-A3	376	III-2	VI 1-A4
212	-	IV 4-A2	267	II-4	V 4-A3	322	-	VI 2~VI 1-A3	377	IV	VI 1-A4
213	-	IV 4-A2	268	II-5	V 4-A3	323	II-4	VI 2~VI 1-A3	378	-	VI 1-A4
214	I	IV 4-A2	269	-	V 4-A3	324	II	VI 2~VI 1-A3	379	II-5	VI 1-A4
215	V-1	IV 4-A2	270	V-1	V 4-A3	325	IX	VI 2~VI 1-A3	380	V-1	VI 1-A4
216	V-1	IV 4-A2	271	II-4	V 4-A4	326	II-6	VI 2~VI 1-A3	381	II-5	VI 1-A4
217	I	IV 2-A2	272	II-10	V 4-A4	327	II-5	VI 2~VI 1-A3	382	III-2	VI 1-A4
218	IV	IV 2-A2	273	I	V 4-A4	328	III-2	VI 1~2-A3	383	V-1	VI 2-A4
219	I	IV 2-A2	274	I	V 4-A4	329	II-5	VI 1~2-A3	384	II-10	VI 2-A4
220	I	IV 2-A2	275	III-3	V 4-A4	330	II-5	VI 1~2-A3	385	V-1	VI 2-A4

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
386	V-1	VI 2-A4	456	-	VI 2-A5	526	V-1	VI ~ VII -A5	596	I	VI 2 ~ VII 1-A5
387	-	VI 2-A4	457	-	VI 2 ~ VII 1-A5	527	II-5	VI ~ VII -A5	597	III ~ V	VI 2 ~ VII 1-A5
388	II-5	VI 2-A4	458	II	VI 2 ~ VII 1-A5	528	VI	VI ~ VII -A5	598	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5
389	II-5	VI 2-A4	459	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5	529	-	VI ~ VII -A5	599	I	VI 2 ~ VII 1-A5
390	II	VI 2-A4	460	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5	530	VI	VI ~ VII -A5	600	V-1	VI 2 ~ VII 1-A5
391	II	VI 2-A4	461	I	VI 2 ~ VII 1-A5	531	II-4	VI ~ VII -A5	601	II-5	VI 2 ~ VII 1-A5
392	III-2	VI 2-A4	462	-	VI 2 ~ VII 1-A5	532	-	VI ~ VII -A5	602	II	VI 2 ~ VII 1-A5
393	II	VI 2-A4	463	V-1	VI 2 ~ VII 1-A5	533	-	VI ~ VII -A5	603	II	VI 2 ~ VII 1-A5
394	-	VI 2-A4	464	II-10	VI 2 ~ VII 1-A5	534	III ~ V	VI ~ VII -A5	604	III-2	VI 2-A4
395	II-5	VI 2-A4	465	I	VI 2 ~ VII 1-A5	535	V-1	VI ~ VII -A5	605	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
396	II-4	VI 2-A4	466	II-5	VI 2 ~ VII 1-A5	536	V-1	VI ~ VII -A5	606	I	VI 2 ~ VII 1-A5
397	II	VI 2-A4	467	II-5	VI 2 ~ VII 1-A5	537	III ~ V	VI ~ VII -A5	607	I	VI 2 ~ VII 1-A5
398	I	VI 2-A4	468	-	VI 2 ~ VII 1-A5	538	II-4	VI ~ VII -A	608	V-1	VI 2 ~ VII 1-A5
399	I	VI 2-A4	469	II	VI 2 ~ VII 1-A5	539	II-4	VI ~ VII -A	609	II-5	VI 2 ~ VII 1-A5
400	V-1	VI 2-A4	470	II	VI 2 ~ VII 1-A5	540	II	VI ~ VII -A	610	VI	VI 2 ~ VII 1-A5
401	III-2	VI 2-A4	471	II-5	VI 2 ~ VII 1-A5	541	II	VI ~ VII -A	611	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5
402	IV	VI 1-A5	472	II	VI 2 ~ VII 1-A5	542	-	VI ~ VII -A	612	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5
403	II-4	VI 1-A5	473	IV	VI 2 ~ VII 1-A5	543	IV	VI ~ VII -A	613	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5
404	I	VI 1-A5	474	I	VI 2 ~ VII 1-A5	544	II	VI ~ VII -A	614	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5
405	II-5	VI 1-A5	475	II-5	VI 2 ~ VII 1-A5	545	III	VI ~ VII -A	615	II	VI 2 ~ VII 1-A5
406	II	VI 1-A5	476	II-10	VI 2 ~ VII 1-A5	546	II-6	VI ~ VII -A	616	II	VI 2 ~ VII 1-A5
407	-	VI 1-A5	477	II-5	VI 2 ~ VII 1-A5	547	II-6	VI ~ VII -A	617	II	VI 2 ~ VII 1-A5
408	II-5	VI 1-A5	478	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5	548	IV	VI ~ VII -A	618	III-2	VI 2 ~ VII 1-A5
409	-	VI 1-A5	479	II	VI 2 ~ VI 1-A5	549	III ~ V	VI ~ VII -A	619	I	VI 2 ~ VII 1-A5
410	-	VI 1-A5	480	II	VI 2 ~ VII 1-A5	550	-	VI ~ VII -A	620	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5
411	I	VI 1-A5	481	II	VI 2 ~ VII 1-A5	551	V-1	VI ~ VII -A	621	II	VI 2 ~ VII 1-A5
412	II-5	VI 1-A5	482	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5	552	II-5	VI ~ VII -A	622	I	VI 2 ~ VII 1-A5
413	IV	VI 1-A5	483	I	VI 2 ~ VII 1-A5	553	IV	VI ~ VII -A	623	I	VI 2 ~ VII 1-A5
414	II	VI 1-A5	484	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5	554	-	VI 1 ~ 2-A5	624	I	VI 2 ~ VII 1-A5
415	II	VI 1-A5	485	IV	VI 2 ~ VII 1-A5	555	V-1	VI 1 ~ 2-A5	625	V-1	VI 2 ~ VII 1-A5
416	II-4	VI 1-A5	486	II-6	VI 2 ~ VII 1-A5	556	-	VI 1 ~ 2-A5	626	IV	VI 2 ~ VII 1-A5
417	V-4	VI 1-A5	487	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5	557	II-5	VI 1 ~ 2-A5	627	-	VI 2 ~ VII 1-A5
418	I	VI 1-A5	488	-	VI 2 ~ VII 1-A5	558	III-2	VI 1 ~ 2-A5	628	V-1	VI 2 ~ VII 1-A5
419	IV	VI 1-A5	489	VI	VI 2 ~ VII 1-A5	559	-	VI 1 ~ 2-A5	629	II-4	VI 1-A
420	II-10	VI 1-A5	490	II-10	VI 2 ~ VII 1-A5	560	II-5	VI 1 ~ 2-A5	630	II-4	VI 1-A
421	II-5	VI 1-A5	491	III-2	VI 2 ~ VII 1-A5	561	II	VI 1 ~ 2-A5	631	I	VI 1-A
422	III ~ V	VI 1-A5	492	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5	562	V-1	VI 1 ~ 2-A5	632	II	VI 1-A
423	II-5	VI 1-A5	493	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5	563	IV	VI 1 ~ 2-A5	633	I	VI 1-A
424	II-4	VI 1-A5	494	II-10	VI 2 ~ VII 1-A5	564	II-5	VI 2-A4	634	II-4	VI 1-A
425	II	VI 1-A5	495	II-5	VI 2 ~ VII 1-A5	565	V-1	VI 2-A4	635	III-2	VI 2-A
426	I	VI 1-A5	496	III-2	VI 2 ~ VII 1-A5	566	II	VI 2-A4	636	I	VI 2-A
427	II	VI 1-A5	497	II	VI 1 ~ 2-A5	567	IV	VI 2-A4	637	II	VI 2-A
428	II	VI 1-A5	498	II	VI 1 ~ 2-A5	568	III-2	VI 2-A4	638	II-5	VI 1-B1
429	III-3	VI 1-A5	499	II-4	VI 1 ~ 2-A5	569	III-2	VI 2-A4	639	II-4	VI 1-B1
430	IV	VI 1-A5	500	II-4	VI 1 ~ 2-A5	570	-	VI 2-A4	640	V-1	VI 2-B1
431	V-1	VI 1-A5	501	II	VI 1 ~ 2-A5	571	V-1	VI 2-A4	641	II	VI 2-B1
432	II	VI 1-A5	502	II	VI 1 ~ 2-A5	572	-	VI 2-A4	642	II-5	VI 2-B1
433	III-3	VI 2-A5	503	II	VI 1 ~ 2-A5	573	III ~ V	VI 2-A4	643	-	VI 2-B1
434	V-1	VI 2-A5	504	II	VI 1 ~ 2-A5	574	III-3	VI 2-A4	644	II-4	VI 2-B1
435	II	VI 2-A5	505	II	VI 1 ~ 2-A5	575	III ~ V	VI 2-A4	645	IV	VI 2-B1
436	IV	VI 2-A5	506	II-6	VI 1 ~ 2-A5	576	-	VI 2-A4	646	II-6	VI 2-B1
437	IV	VI 2-A5	507	V-1	VI 1 ~ 2-A5	577	-	VI 2-A4	647	II-4	VI 2-B1
438	IV	VI 2-A5	508	-	VI 1 ~ 2-A5	578	II	VI 2-A4	648	II	VI 2-B1
439	II-4	VI 2-A5	509	II-4	VI 1 ~ 2-A5	579	II	VI 2-A4	649	IV	VI 2-B1
440	-	VI 2-A5	510	I	VI 1 ~ 2-A5	580	II	VI 2-A4	650	II	VI 2-B1
441	-	VI 2-A5	511	II-9	VI 1 ~ 2-A5	581	II-4	VI 1-A4	651	II-5	VI 2-B1
442	-	VI 2-A5	512	-	VI ~ VII -A5	582	-	VI 2-A4	652	V-1	VI 1 ~ 2-B
443	II-5	VI 2-A5	513	-	VI ~ VII -A5	583	-	VI 1-A4	653	II-5	VI 1 ~ 2-B
444	II-4	VI 2-A5	514	III-2	VI ~ VII -A5	584	-	VI 1-A4	654	IV	VI 1 ~ 2-B
445	II-5	VI 2-A5	515	IV	VI ~ VII -A5	585	-	VI 1-A4	655	I	VI 1 ~ 2-B
446	V-1	VI 2-A5	516	III-2	VI ~ VII -A5	586	-	VI 1-A4	656	III-2	VI 1 ~ 2-B
447	II	VI 2-A5	517	I	VI ~ VII -A5	587	II-5	VI 1-A4	657	-	VI 1 ~ 2-B
448	II-5	VI 2-A5	518	V-1	VI ~ VII -A5	588	-	VI 1-A4	658	-	VI 1 ~ 2-B
449	II	VI 2-A5	519	IV	VI ~ VII -A5	589	V-1	VI 1-A4	659	III ~ V	VI 1 ~ 2-B
450	II-5	VI 2-A5	520	II-5	VI ~ VII -A5	590	-	VI 1-A4	660	IV	VI 1 ~ 2-B
451	II	VI 2-A5	521	II-4	VI ~ VII -A5	591	-	VI 1-A4	661	II-5	VI 1 ~ 2-B
452	II	VI 2-A5	522	II	VI ~ VII -A5	592	II-5	VI 1-A4	662	-	VI 1 ~ 2-B
453	-	VI 2-A5	523	II-4	VI ~ VII -A5	593	I	VI 1-A4	663	-	VI 1 ~ 2-B
454	III-2	VI 2-A5	524	I	VI ~ VII -A5	594	I	VI 2-A4	664	II	VI 1 ~ 2-B
455	II-4	VI 2-A5	525	-	VI ~ VII -A5	595	VI	VI 2 ~ VII 1-A5	665	II	VI 1 ~ 2-B

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
666	II	VI 1 ~ 2-B	736	II	VI 1 ~ 2-C2	806	IV-3	VI 1-A6	876	I	VI 1-A3
667	II	VI 1 ~ 2-B	737	VI	VI 1 ~ 2-C2	807	II	VI 1-A6	877	IV	VI 1-A3
668	II-4	VI 1 ~ 2-B	738	IV	VI 1 ~ 2-C2	808	-	VI 1-A6	878	III-2	VI 1-A3
669	II	VI 1 ~ 2-B	739	IV	VI 1 ~ 2-C2	809	II	VI 1-A6	879	I	VI 1-A3
670	I	VI 1 ~ 2-B	740	-	VI 1 ~ 2-C2	810	II-5	VI 1-A6	880	III-2	VI 1-A3
671	I	VI 1 ~ 2-B	741	V-1	VI 1 ~ 2-C2	811	IV	VI 1-A6	881	II	VI 1-A3
672	I	VI 1 ~ 2-C1	742	I	VI 1 ~ 2-C2	812	III	VI 1-A6	882	I	VI 1-A3
673	II	VI 1 ~ 2-C1	743	IV	VI 1 ~ 2-C2	813	V-1	VI 1-A6	883	I	VI 1-A3
674	II	VI 1 ~ 2-C1	744	II	VI 1 ~ 2-C2	814	-	VI 1-A6	884	-	VI 1-A4
675	II	VI 1 ~ 2-C1	745	III-2	VI 1 ~ 2-C2	815	V-1	VI 2 ~ VI 1-A6	885	I	VI 1-A4
676	II	VI 1 ~ 2-C1	746	V-1	VI 1 ~ 2-C2	816	II-4	VI 2 ~ VI 1-A6	886	II	VI 1-A4
677	II-6	VI 1 ~ 2-C1	747	III-2	VI-C2	817	IV	VI 2 ~ VI 1-A6	887	III-2	VI 1-A4
678	II	VI 1 ~ 2-C1	748	II-6	VI 1 ~ 2-D3	818	IX	VI 2 ~ VI 1-A6	888	I	VI 1-A4
679	I	VI 1 ~ 2-C1	749	II-4	VI 1 ~ 2-D3	819	II-4	VI 2 ~ VI 1-A6	889	III-2	VI 1-A4
680	II-4	VI 1 ~ 2-C1	750	-	VI 1 ~ 2-D3	820	II	VI 2 ~ VI 1-A6	890	II	VI 1-A4
681	II	VI 1 ~ 2-C1	751	II-5	VI 1 ~ 2-D3	821	II-4	VI 2 ~ VI 1-A6	891	I	VI 1-A4
682	I	VI 1 ~ 2-C1	752	-	VI 1 ~ 2-D3	822	II-5	VI 2 ~ VI 1-A6	892	I	VI 1-A4
683	III	VI 1 ~ 2-C1	753	II-4	VI 1 ~ 2-D3	823	II-5	VI 2 ~ VI 1-A6	893	I	VI 1-A4
684	II	VI 1 ~ 2-C1	754	III-2	VI 1 ~ 2-D3	824	IV	VI 2 ~ VI 1-A6	894	III-2	VI 1-A4
685	I	VI 1 ~ 2-C1	755	I	VI 1 ~ 2-D3	825	-	VI 2 ~ VI 1-A6	895	V-1	VI 1-A4
686	V-1	VI 1 ~ 2-C1	756	IV	VI 1 ~ 2-D3	826	-	VI 2 ~ VI 1-A6	896	II	VI 1-A4
687	I	VI 1 ~ 2-C1	757	II-5	VI 1 ~ 2-D3	827	II-5	VI 2 ~ VI 1-A6	897	II-4	VI 1-A4
688	II	VI 1 ~ 2-C1	758	III-2	VI 1 ~ 2-D3	828	IV	VI 2 ~ VI 1-A6	898	I	VI 1-A4
689	I	VI 1 ~ 2-C1	759	III-2	VI 1 ~ 2-D3	829	III	VI 2 ~ VI 1-A6	899	I	VI 1-A4
690	II	VI 1 ~ 2-C1	760	II-6	VI 2-A4	830	V-1	VI 2 ~ VI 1-A4	900	I	VI 1-A4
691	I	VI 1 ~ 2-C1	761	I	VI 1-F1	831	-	VI 2 ~ VI 1-A4	901	I	VI 1-A4
692	II-4	VI 1 ~ 2-C1	762	I	VI 2-F1	832	IV	VI 2 ~ VI 1-A4	902	I	VI 1-A4
693	I	VI 1 ~ 2-C1	763	I	VI 2-F1	833	II-5	VI 1 ~ 2-A6	903	I	VI 1-A4
694	II	VI 1 ~ 2-C1	764	III-2	V 3-A5	834	II-5	VI 1 ~ 2-A6	904	II	VI 1-A4
695	I	VI 1 ~ 2-C1	765	IV	VI 2-G	835	II-4	VI 1 ~ 2-A6	905	I	VI 3-A5
696	I	VI 1 ~ 2-C1	766	II-5	VI 2-G	836	II	VI 1 ~ 2-A6	906	-	VI 1-A4
697	I	VI 1 ~ 2-C1	767	II	VI 2-G	837	I	VI 1 ~ 2-A6	907	III ~ V	VI 1-A4
698	II-5	VI 1 ~ 2-C1	768	II-4	VI 1-G	838	I	VI 1 ~ 2-A6	908	V-1	VI 1-A2
699	I	VI 1 ~ 2-C1	769	II-5	VI 1-G	839	II-5	VI 1 ~ 2-A6	909	-	VI 1-A5
700	I	VI 1 ~ 2-C1	770	II-5	VI 1-G	840	II-4	VI 1 ~ 2-A6	910	I	VI 1-A5
701	I	VI 1 ~ 2-C1	771	-	VI 1-G	841	II-5	VI 1 ~ VI 2-A6	911	II-5	VI 1-A5
702	II	VI 1 ~ 2-C1	772	IV	VI 1-G	842	II-5	VI 1 ~ VI 2-A6	912	II-4	VI 1-A5
703	I	VI 1 ~ 2-C1	773	I	VI 1-G	843	II-5	VI 1 ~ VI 2-A6	913	IV	VI 1-A5
704	I	VI 1 ~ 2-C1	774	II	VI 1-G	844	I	VI 1-A3	914	II	VI 1-A5
705	I	VI 1 ~ 2-C1	775	III-2	VI 1-G	845	III-2	VI 1-A3	915	II	VI 1-A5
706	I	VI 1 ~ 2-C1	776	IV	VI 1 ~ 2-D3	846	I	VI 1-A3	916	-	VI 1-A5
707	I	VI 1 ~ 2-C1	777	IV	VI 1 ~ 2-D3	847	I	VI 1-A3	917	II	VI 1-A5
708	I	VI 1 ~ 2-C1	778	II-5	VI ~ VI-G	848	I	VI 1-A3	918	II-4	VI 1-A5
709	I	VI 1 ~ 2-C1	779	II-4	VI ~ VI-G	849	I	VI 1-A3	919	II	VI 1-A5
710	I	VI 1 ~ 2-C1	780	II-5	VI ~ VI-G	850	II	VI 1-A3	920	I	VI 1-A5
711	V-1	VI 1 ~ 2-C1	781	II-4	VI ~ VI-G	851	I	VI 1-A2	921	I	VI 1-A5
712	I	VI 1 ~ 2-C1	782	II-4	VI ~ VI-G	852	I	VI 1-A2	922	I	VI 1-A5
713	I	VI 1 ~ 2-C1	783	III-2	VI ~ VI-G	853	III	VI 1-A5	923	II-4	VI 1-A5
714	II-4	VI 2-C2	784	II	VI ~ VI-G	854	II-4	VI 1-A5	924	IX	VI 1-A5
715	-	VI 1 ~ 2-C2	785	I	VI ~ VI-G	855	III-3	VI 1-A5	925	II-4	VI 1-A5
716	II-4	VI 1 ~ 2-C2	786	I	VI ~ VI-G	856	III ~ V	VI 1-A5	926	I	VI 1-A
717	II	VI 1 ~ 2-C2	787	II-6	VI ~ VI-G	857	II	VI 1-A5	927	II	VI 1-A
718	II-4	VI 1 ~ 2-C2	788	I	VI ~ VI-G	858	II-5	VI 1-A5	928	I	VI 1-A
719	V-1	VI 1 ~ 2-C2	789	II	VI ~ VI-G	859	II-4	VI 1-A5	929	I	VI 1-A
720	IX	VI 1 ~ 2-C2	790	-	VI ~ VI-G	860	II	VI 1-A4	930	I	VI 1-A
721	-	VI 1 ~ 2-C2	791	II	VI ~ VI-G	861	-	VI 1-A5	931	I	VI 1-A
722	-	VI 1 ~ 2-C2	792	I	VI 7-A4	862	IV	VI 1-A4	932	II	VI 1-C2
723	IV	VI 1 ~ 2-C2	793	I	VI 7-A4	863	I	VI 1-A4	933	II	VI 1-C2
724	IV	VI 1 ~ 2-C2	794	I	VI 7-A4	864	I	VI 1-A4	934	II	VI 1-C2
725	IV	VI 1 ~ 2-C2	795	I	VI 7-A4	865	I	VI 1-A4	935	I	VI 1-C2
726	III	VI 1 ~ 2-C2	796	I	VI 7-A4	866	I	VI 1-A4	936	II-4	VI 1-C2
727	III ~ V	VI 1 ~ 2-C2	797	I	VI 7-A4	867	I	VI 1-A4	937	-	VI 1-C2
728	I	VI 1 ~ 2-C2	798	II	VI 7-A4	868	I	VI 1-A4	938	II	VI 1-C2
729	IV	VI 1 ~ 2-C2	799	III-2	VI 3-A	869	II-5	VI 1-A	939	IV-3	VI 1-C2
730	IV-3	VI 1 ~ 2-C2	800	II	VI 6-C2	870	II-4	VI 1-A	940	II-4	VI 1-C2
732	-	VI 1 ~ 2-C2	801	II-5	VI 1-A6	871	II-4	VI 1-A	941	I	VI 1-C2
733	II	VI 1 ~ 2-C2	802	II-5	VI 1-A6	872	I	VI 1-A3	942	I	VI 1-C2
734	II	VI 1 ~ 2-C2	803	II-4	VI 1-A6	873	II	VI 1-A3	943	-	VI 1-D3
735	II	VI 1 ~ 2-C2	804	I	VI 1-A6	874	II-4	VI 1-A3	944	IV	VI 1-C2
			805	II-5	VI 1-A6	875	I	VI 1-A3	945	V-1	VI 1-C2

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
946	II-5	Ⅷ1-C2	1016	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1086	IV	Ⅷ1~2-A7	1156	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
947	II-4	Ⅷ5-A	1017	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1087	-	Ⅷ1~2-A7	1157	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
948	IV	Ⅷ5-D1	1018	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1088	-	Ⅷ1~2-A7	1158	II-6	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
949	I	Ⅷ6-C2	1019	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1089	III~V	Ⅷ1~2-A7	1159	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
950	I	Ⅷ6-C2	1020	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1090	II-10	Ⅷ1~2-A7	1160	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
951	I	Ⅷ6-C2	1021	Ⅷ	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1091	II-10	Ⅷ1~2-A7	1161	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
952	I	Ⅷ6-C2	1022	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1092	II	Ⅷ1~2-A7	1162	III-2	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
953	I	Ⅷ6-C1	1023	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1093	II	Ⅷ1~2-A7	1163	III-2	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
954	V-1	Ⅷ6-C1	1024	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1094	II-5	Ⅷ1~2-A7	1164	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
955	I	Ⅷ6-C2	1025	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1095	V-1	Ⅷ1~2-A7	1165	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
956	I	Ⅷ6-C2	1026	IX	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1096	I	Ⅷ1~2-A7	1166	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
957	II	Ⅷ6-A	1027	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1097	II	Ⅷ1~2-A7	1167	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
958	I	Ⅷ5-A4	1028	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1098	II-10	Ⅷ1~2-A7	1168	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
959	I	Ⅷ5-A4	1029	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1099	III-2	Ⅷ1~2-A7	1169	I	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
960	I	Ⅷ6-A	1030	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1100	I	Ⅷ1~2-A7	1170	I	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
961	III-2	Ⅷ6-A	1031	III-2	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1101	II	Ⅷ1~2-A7	1171	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
962	I	Ⅷ5-A4	1032	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1102	IV	Ⅷ1~2-A7	1172	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
963	I	Ⅷ5-A4	1033	III~V	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1103	-	Ⅷ1~2-A7	1173	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
964	I	Ⅷ4-A3	1034	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1104	II	Ⅷ1~2-A7	1174	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
965	IV	Ⅷ4-A3	1035	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1105	II-6	Ⅷ1~2-A7	1175	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
966	I	Ⅷ4-A3	1036	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1106	II-4	Ⅷ1~2-A7	1176	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
967	I	Ⅷ4-A3	1037	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1107	II	Ⅷ1~2-A7	1177	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
968	II	Ⅷ1-A7	1038	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1108	II	Ⅷ1~2-A7	1178	Ⅷ	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
969	II	Ⅷ1-A7	1039	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1109	IV	Ⅷ1~2-A7	1179	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
970	V-1	Ⅷ1-A7	1040	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1110	II-4	Ⅷ1~2-A7	1180	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
971	IX	Ⅷ1-A7	1041	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1111	II-5	Ⅷ1~2-A7	1181	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
972	II-5	Ⅷ2-A7	1042	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1112	II-5	Ⅷ1~2-A7	1182	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
973	IV	Ⅷ2-A7	1043	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1113	-	Ⅷ1~2-A7	1183	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
974	V-1	Ⅷ2-A7	1044	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1114	II-4	Ⅷ1~2-A7	1184	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
975	III-2	Ⅷ2-A7	1045	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1115	VI	Ⅷ1~2-A7	1185	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
976	II	Ⅷ2-A7	1046	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1116	II-5	Ⅷ1~2-A7	1186	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
977	II-5	Ⅷ2-A7	1047	I	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1117	III	Ⅷ1~2-A7	1187	III~V	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
978	II-5	Ⅷ2-A7	1048	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1118	II-4	Ⅷ1~2-A7	1188	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
979	IV	Ⅷ2-A7	1049	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1119	-	Ⅷ1~2-A7	1189	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
980	IV	Ⅷ2-A7	1050	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1120	II-4	Ⅷ1~2-A7	1190	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
981	II	Ⅷ2-A7	1051	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1121	II	Ⅷ1~2-A7	1191	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
982	II	Ⅷ2-A7	1052	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1122	IV	Ⅷ1~2-A7	1192	III-3	Ⅷ2~Ⅷ1-A7
983	-	Ⅷ2-A7	1053	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1123	II	Ⅷ1~2-A7	1193	I	Ⅷ1~2-A7
984	IX	Ⅷ2-A7	1054	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1124	I	Ⅷ1~2-A7	1194	V-1	Ⅷ1~2-A7
985	IV	Ⅷ2-A7	1055	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1125	I	Ⅷ1~2-A7	1195	I	Ⅷ1~2-A7
986	-	Ⅷ2-A7	1056	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1126	II-5	Ⅷ1~2-A7	1196	III	Ⅷ1~2-A7
987	II-4	Ⅷ2-A7	1057	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1127	II	Ⅷ1~2-A7	1197	Ⅷ	Ⅷ1~2-A7
988	IV	Ⅷ2-A7	1058	III	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1128	III-2	Ⅷ1~2-A7	1198	I	Ⅷ1~2-A7
989	-	Ⅷ2-A7	1059	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1129	-	Ⅷ1~2-A7	1199	I	Ⅷ1~2-A7
990	II-4	Ⅷ2-A7	1060	III-3	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1130	II-10	Ⅷ1~2-A7	1200	II-5	Ⅷ1~2-A7
991	IX	Ⅷ2-A7	1061	III~V	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1131	II	Ⅷ1~2-A7	1201	V-1	Ⅷ1~2-A7
992	-	Ⅷ2-A7	1062	IV	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1132	-	Ⅷ1~2-A7	1202	V-1	Ⅷ1~2-A7
993	-	Ⅷ2-A7	1063	II-10	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1133	-	Ⅷ1~2-A7	1203	IV	Ⅷ1~2-A7
994	-	Ⅷ2-A7	1064	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1134	II	Ⅷ1~2-A7	1204	V-1	Ⅷ1~2-A7
995	II-5	Ⅷ2-A7	1065	II	Ⅷ1-A7	1135	VI	Ⅷ1~2-A7	1205	-	Ⅷ1~2-A7
996	-	Ⅷ2-A7	1066	II-5	Ⅷ1-A7	1136	II-4	Ⅷ1~2-A7	1206	-	Ⅷ1~2-A7
997	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1067	II	Ⅷ1-A7	1137	II	Ⅷ1~2-A7	1207	II-4	Ⅷ1~2-A7
998	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1068	-	Ⅷ1-A7	1138	-	Ⅷ1~2-A7	1208	III-2	Ⅷ1~2-A7
999	IX	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1069	II	Ⅷ1-A7	1139	II	Ⅷ1~2-A7	1209	II	Ⅷ1~2-A7
1000	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1070	II	Ⅷ1-A7	1140	Ⅷ	Ⅷ1~2-A7	1210	I	Ⅷ1~2-A7
1001	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1071	V-1	Ⅷ1-A7	1141	I	Ⅷ1~2-A7	1211	IV	Ⅷ1~2-A7
1002	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1072	II	Ⅷ1-A7	1142	II-4	Ⅷ1~2-A7	1212	IV	Ⅷ1~2-A7
1003	III~V	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1073	II	Ⅷ1-A7	1143	II-10	Ⅷ1~2-A7	1213	-	Ⅷ1~2-A7
1004	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1074	II-5	Ⅷ1-A7	1144	I	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1214	-	Ⅷ1~2-A7
1005	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1075	II	Ⅷ1-A7	1145	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1215	II-5	Ⅷ1~2-A7
1006	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1076	II	Ⅷ1-A7	1146	I	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1216	II	Ⅷ1~2-A7
1007	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1077	II-5	Ⅷ1-A7	1147	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1217	II-5	Ⅷ1~2-A7
1008	III	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1078	II-4	Ⅷ1-A7	1148	III~V	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1218	II-10	Ⅷ1~2-A7
1009	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1079	II-4	Ⅷ1-A7	1149	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1219	V-1	Ⅷ1~2-A7
1010	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1080	III~V	Ⅷ1-A7	1150	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1220	II	Ⅷ1~2-A7
1011	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1081	-	Ⅷ1-A7	1151	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1221	II	Ⅷ1~2-A7
1012	-	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1082	II	Ⅷ1-A7	1152	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1222	II	Ⅷ1~2-A7
1013	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1083	II	Ⅷ1-A7	1153	V-1	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1223	I	Ⅷ1~2-A7
1014	II-4	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1084	II	Ⅷ1-A7	1154	III-2	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1224	II	Ⅷ1~2-A7
1015	II-5	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1085	II-4	Ⅷ1-A7	1155	II	Ⅷ2~Ⅷ1-A7	1225	II-4	Ⅷ1~2-A7

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
1226	V-1	Ⅳ 1～2-A7	1258	-	Ⅳ-A5	1290	I	Ⅳ-A4	1322	I	Ⅳ-A5
1227	Ⅵ	Ⅳ 1～2-A7	1259	Ⅱ	Ⅳ-A5	1291	I	Ⅳ-A4	1323	I	Ⅳ-A5
1228	Ⅱ	Ⅳ 1～2-A7	1260	Ⅲ	Ⅳ-A5	1292	Ⅱ	Ⅳ-A4	1324	I	Ⅳ-A5
1229	Ⅱ-4	Ⅳ 1～2-A7	1261	Ⅱ-4	Ⅳ-A5	1293	Ⅱ	Ⅳ-A4	1325	Ⅱ	Ⅳ-A5
1230	Ⅱ-4	Ⅳ 1～2-A7	1262	-	Ⅳ-A5	1294	I	Ⅳ-A4	1326	I	Ⅳ-A5
1231	Ⅱ-4	Ⅵ 2～Ⅳ 1-A5	1263	-	Ⅳ-A5	1295	I	Ⅳ-A4	1327	-	Ⅳ-C2
1232	-	Ⅵ 2～Ⅳ 1-A5	1264	I	Ⅳ-A5	1296	I	Ⅳ-A2	1328	Ⅲ	Ⅳ-C2
1233	V-1	Ⅵ 2～Ⅳ 1-A5	1265	Ⅱ-5	Ⅳ-A5	1297	Ⅲ-2	Ⅳ-A2	1329	Ⅲ-2	Ⅳ-C2
1234	Ⅱ-5	Ⅵ 2～Ⅳ 1-A5	1266	Ⅱ	Ⅳ-A5	1298	Ⅲ-2	Ⅳ-A2	1330	I	Ⅳ-C2
1235	Ⅲ～V	Ⅵ 2～Ⅳ 1-A5	1267	-	Ⅳ-A5	1299	I	Ⅳ-A2	1331	I	Ⅳ-C2
1236	V-1	Ⅵ 2～Ⅳ 1-A5	1268	I	Ⅳ-A5	1300	I	Ⅳ-A5	1332	-	Ⅳ-C2
1237	Ⅲ～V	Ⅵ 2～Ⅳ 1-A5	1269	I	Ⅳ-A5	1301	Ⅱ	Ⅳ-A5	1333	I	Ⅳ-F
1238	-	Ⅵ 2～Ⅳ 1-A5	1270	Ⅱ-4	Ⅳ-A5	1302	Ⅱ	Ⅳ-A5	1334	Ⅲ-2	Ⅳ-C2
1239	-	Ⅵ 2～Ⅳ 1-A5	1271	Ⅲ-2	Ⅳ-A5	1303	Ⅲ-2	Ⅳ-A5	1335	-	Ⅳ-C2
1240	Ⅱ-5	Ⅵ 2～Ⅳ 1-A5	1272	Ⅱ-5	Ⅳ-A5	1304	Ⅲ-2	Ⅳ-A5	1336	V-1	Ⅳ-A2
1241	I	Ⅵ 2～Ⅳ 1-A5	1273	Ⅱ	Ⅳ-A5	1305	I	Ⅳ-A5	1337	V-1	Ⅳ-A2
1242	Ⅱ-5	Ⅳ-A5	1274	Ⅱ	Ⅳ-A5	1306	V-1	Ⅳ-A5	1338	Ⅲ-4	Ⅳ-A2
1243	Ⅱ-5	Ⅳ-A5	1275	Ⅱ-4	Ⅳ-A5	1307	I	Ⅳ-A5	1339	-	Ⅳ-A2
1244	Ⅱ	Ⅳ-A5	1276	Ⅱ	Ⅳ-A5	1308	I	Ⅳ-A5	1340	-	Ⅳ-A2
1245	Ⅵ	Ⅳ-A5	1277	Ⅱ-5	Ⅳ-A5	1309	I	Ⅳ-A5	1341	-	Ⅳ-A2
1246	I	Ⅳ-A5	1278	Ⅱ	Ⅳ-A5	1310	I	Ⅳ-A5	1342	-	Ⅳ-A2
1247	I	Ⅳ-A5	1279	Ⅱ	Ⅳ-A5	1311	Ⅱ	Ⅳ-A5	1343	-	Ⅳ-A2
1248	Ⅱ	Ⅳ-A5	1280	I	Ⅳ-A5	1312	I	Ⅳ-A5	1344	-	Ⅳ-A2
1249	Ⅱ-4	Ⅳ-A5	1281	I	Ⅳ-A2	1313	Ⅲ-2	Ⅳ-A5	1345	-	Ⅳ-A2
1250	Ⅲ-2	Ⅳ-A5	1282	I	Ⅳ-A4	1314	Ⅱ	Ⅳ-A5	1346	Ⅳ-3	Ⅳ-A2
1251	Ⅱ-4	Ⅳ-A5	1283	I	Ⅳ-A2	1315	I	Ⅳ-A5	1347	I	Ⅳ-A2
1252	Ⅲ	Ⅳ-A5	1284	Ⅱ	Ⅳ-A2	1316	I	Ⅳ-A5	1348	Ⅲ-4	Ⅳ-A2
1253	I	Ⅳ-A5	1285	Ⅲ-2	Ⅳ-A4	1317	I	Ⅳ-A5	1349	Ⅱ	Ⅳ-A2
1254	Ⅱ	Ⅳ-A5	1286	Ⅲ-2	Ⅳ-A4	1318	Ⅱ	Ⅳ-A5	1350	Ⅱ	Ⅳ-A2
1255	Ⅱ-4	Ⅳ-A5	1287	I	Ⅳ-A4	1319	I	Ⅳ-A5	1351	Ⅲ-4	Ⅳ-A2
1256	Ⅱ	Ⅳ-A5	1288	I	Ⅳ-A4	1320	Ⅱ	Ⅳ-A5	1352	Ⅱ	Ⅳ-A2
1257	Ⅱ-4	Ⅳ-A5	1289	Ⅲ-2	Ⅳ-A4	1321	I	Ⅳ-A5	1353	Ⅱ	Ⅳ-A2

第89表 J-7グリッド出土土製品観察表(第654図、第657～659図)

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ
1354	-	ミニチュア	[5.3]	[6.1]	[1.2]	1451	Ⅱ-1	土偶	[4.7]	[5.9]	[2.0]
1355	Ⅲ-2	ミニチュア	4.0	7.2	1.3	1452	Ⅲ	土偶	[4.0]	[3.0]	[1.4]
1356	Ⅲ～Ⅳ	釣手土器	[8.3]	[3.7]	[2.2]	1453	Ⅲ	土偶	[5.7]	[6.5]	[3.1]
1357	Ⅳ	ミニチュア	[2.6]	[4.5]	1.0	1454	Ⅲ～Ⅳ	土偶	[7.8]	7.2	[2.6]
1358	Ⅲ	ミニチュア	[2.1]	[4.2]	[0.7]	1455	Ⅲ～Ⅳ	土偶	[3.9]	[4.0]	[1.1]
1359	Ⅲ～Ⅳ	ミニチュア	[3.9]	[4.0]	[0.8]	1456	Ⅲ～Ⅳ	土偶	[3.3]	[4.4]	[2.5]
1360	Ⅳ	ミニチュア	4.3	7.5	1.0	1457	Ⅱ-4	土偶	[5.8]	[6.4]	[5.6]
1361	Ⅱ-1	ミニチュア	[5.3]	[7.2]	1.0	1458	Ⅱ-1	土偶	[4.2]	[3.9]	[4.0]
1362	Ⅱ-4	ミニチュア	[4.5]	[6.8]	1.7	1459	Ⅱ-5	土版	[5.7]	[8.1]	2.8
1363	V-1	土版	[7.3]	[7.1]	2.0	1460	Ⅱ-1	土版	[7.3]	[6.5]	[3.2]
1364	-	ミニチュア	2.7	5.7	0.6	1461	Ⅱ-1	土版	[2.2]	[3.3]	1.3
1365	Ⅲ-1	人面付土器	[3.6]	[5.4]	[2.3]	1462	I	土版	[8.7]	[5.2]	[1.9]
1366	Ⅲ～Ⅳ	土埴	[3.3]	[1.5]	[2.1]	1463	I	土版	[7.5]	[3.9]	[2.2]

第90表 J-7グリッド出土土製品観察表(第655図、第656図)

番号	層位	最大径	重載	分類	番号	層位	最大径	重載	分類	番号	層位	最大径	重載	分類
1367	-	6.6	56.2	Ⅱ-Aア	1388	Ⅱ-4	5.7	30.5	Ⅱ-Aウ	1409	Ⅲ～V	5.8	22.2	Ⅱ-Aイ
1368	Ⅲ～V	8.5	59.3	Ⅱ-Aイ	1389	Ⅱ-4	4.7	30.9	Ⅱ-Aア	1410	-	5.0	21.4	Ⅱ-Aエ
1369	-	6.9	45.9	Ⅱ-Aイ	1390	-	4.9	30.3	Ⅱ-Aイ	1411	Ⅱ	4.7	27.7	Ⅱ-Aア
1370	Ⅲ～V	7.8	66.7	Ⅱ-Aイ	1391	Ⅲ～V	5.2	23.8	Ⅱ-Aウ	1412	Ⅲ～V	5.7	37.2	Ⅱ-Aウ
1371	I	6.3	57.3	Ⅱ-Aウ	1392	Ⅱ-4	6.1	34.6	Ⅱ-Aエ	1413	Ⅲ～V	5.0	25.5	Ⅱ-Aウ
1372	Ⅲ～V	5.8	37.7	Ⅱ-Aウ	1393	Ⅲ～V	5.1	32.6	Ⅱ-Aエ	1414	Ⅲ～V	4.2	19.1	Ⅱ-Aウ
1373	Ⅱ-5	6.3	43.3	Ⅱ-Aウ	1394	Ⅱ	4.5	19.3	Ⅱ-Aイ	1415	I	4.9	21.7	Ⅱ-Aイ
1374	V-1	6.2	43.1	Ⅱ-Aウ	1395	Ⅱ-5	4.9	24.2	Ⅱ-Aウ	1416	Ⅱ	9.5	160.3	Ⅱ-C
1375	Ⅲ	5.7	32.2	Ⅱ-Aウ	1396	Ⅲ～V	5.3	34.6	Ⅱ-Aウ	1417	Ⅱ-5	6.4	32.3	I-Aア
1376	Ⅲ	6.0	37.4	Ⅱ-Aウ	1397	Ⅱ-4	5.5	30.5	Ⅱ-Aウ	1418	Ⅲ～V	6.5	32.8	I-Aウ
1377	Ⅱ	6.2	41.9	Ⅱ-Aウ	1398	Ⅱ-4	5.1	37.7	Ⅱ-Aウ	1419	Ⅱ-6	6.1	32.5	I-Bウ
1378	Ⅱ-5	6.7	49.1	Ⅱ-Aア	1399	-	4.7	24.4	Ⅱ-Aエ	1420	-	5.2	25.8	I-Bウ
1379	Ⅱ-5	5.7	26.1	Ⅱ-Aア	1400	V-1	5.3	29.2	Ⅱ-Aウ	1421	Ⅱ-4	5.5	18.1	I-Bウ
1380	Ⅲ～V	5.9	36.1	Ⅱ-Aア	1401	Ⅲ～V	5.9	32.4	Ⅱ-Aウ	1422	Ⅲ-2	4.6	20.4	I-Bウ
1381	Ⅱ-5	5.8	36.2	Ⅱ-Aウ	1402	V-1	4.7	23.6	Ⅱ-Aウ	1423	-	4.2	14.7	I-Bウ
1382	Ⅱ-4	5.5	25.0	Ⅱ-Aウ	1403	Ⅱ	5.1	24.0	Ⅱ-Aウ	1424	Ⅲ-2	4.2	16.2	I-Bウ
1383	Ⅱ-4	5.8	39.4	Ⅱ-Aイ	1404	-	4.0	31.9	Ⅱ-Aウ	1425	-	4.1	25.1	I-Bウ
1384	-	5.5	32.4	Ⅱ-Aウ	1405	-	4.9	19.5	Ⅱ-Aウ	1426	-	4.4	20.8	I-Bウ
1385	Ⅲ～V	6.6	37.5	Ⅱ-Aウ	1406	-	5.0	25.6	Ⅱ-Aウ	1427	-	3.6	14.0	I-Bウ
1386	-	6.2	30.0	Ⅱ-Aウ	1407	I	5.3	31.0	Ⅱ-Aウ	1428	Ⅲ～V	3.4	13.6	I-Bウ
1387	Ⅲ	6.7	46.4	Ⅱ-Aア	1408	V-1	5.0	19.4	Ⅱ-Aウ					

第91表 J-7グリッド出土耳飾り観察表 (第656図、第657図)

番号	層位	径 1	径 2	高さ	重量	分類	番号	層位	径 1	径 2	高さ	重量	分類
1429	Ⅲ～Ⅳ	1.6	1.5	2.1	6.0	Ⅱ-A-ア	1440	Ⅲ～Ⅳ	(7.2)	(6.9)	1.8	9.9	Ⅲ-B-ア
1430	-	(3.3)	(2.9)	3.6	42.5	Ⅱ-A-ア	1441	V-1	(7.6)	(7.5)	1.9	11.7	Ⅲ-B-ア
1431	Ⅳ	(3.9)	3.4	3.3	25.9	I-B-イ	1442	-	(7.4)	(7.1)	1.8	12.9	Ⅲ-D-イ
1432	I-1	4.1	3.9	1.7	18.9	Ⅲ-B-ア	1443	Ⅳ	(8.0)	(7.4)	2.1	7.0	Ⅲ-D-イ
1433	-	(6.0)	(4.9)	[1.5]	3.1	Ⅲ-C-ア	1444	Ⅲ～Ⅳ	2.2	2.1	1.3	4.3	Ⅲ-A-イ
1434	Ⅲ～Ⅳ	(6.0)	(5.8)	2.1	6.0	Ⅲ-A-イ	1445	V-1	1.4	1.3	1.4	2.9	Ⅳ-B
1435	Ⅲ～Ⅳ	(5.6)	(5.5)	2.0	5.6	Ⅲ-A-イ	1446	Ⅲ～Ⅳ	1.4	1.3	1.3	2.4	Ⅳ-B
1436	V-1	(6.2)	(5.8)	2.1	3.1	Ⅲ-A-イ	1447	Ⅲ～Ⅳ	4.7	4.6	1.9	22.1	Ⅳ-B
1437	-	(7.1)	(6.8)	2.2	5.8	Ⅲ-A-イ	1448	Ⅲ～Ⅳ	1.8	1.7	1.4	4.1	Ⅳ-A-イ
1438	Ⅳ	(6.8)	(6.5)	2.0	7.9	Ⅲ-A-ア	1449	Ⅱ	2.0	1.9	1.3	3.6	Ⅳ-A-イ
1439	Ⅲ～Ⅳ	(7.1)	(6.8)	2.2	8.1	Ⅲ-D-ア	1450	I-1	3.2	2.2	1.3	6.1	Ⅳ-B

第92表 J-7グリッド出土石器観察表 (第660～第663図)

番号	層位	器種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
1464	Ⅲ-3	石織	I	黒曜石	1.9	1.5	0.4	0.8
1465	-	石織	I	チャート	[1.9]	[1.7]	0.6	1.5
1466	Ⅲ～V	石織	-	黒曜石	2.3	1.7	0.7	2.2
1467	Ⅱ	スクレイパー	I	頁岩	[5.0]	5.8	[1.1]	28.9
1468	Ⅱ	スクレイパー	I	チャート	3.3	2.1	0.9	4.7
1469	Ⅱ	スクレイパー	I	チャート	2.8	2.9	1.4	8.4
1470	Ⅱ-5	スクレイパー	I	チャート	6.6	3.3	1.9	34.6
1471	Ⅱ-3	打製石斧	Ⅱ	頁岩	[13.4]	[9.5]	4.1	438.9
1472	Ⅱ-2	打製石斧	Ⅱ	頁岩	10.5	4.6	2.3	141.3
1473	Ⅱ-2	打製石斧	-	ホルンフェルス	[7.4]	6.5	2.2	136.0
1474	Ⅱ	鉱石	I	砂岩	8.6	4.5	3.4	169.1
1475	Ⅱ-2	鉱石	I	頁岩	9.5	3.9	3.0	170.1
1476	-	鉱石	I	頁岩	13.6	7.0	5.3	679.2
1477	Ⅱ	鉱石	I	安山岩	[15.6]	8.4	6.8	1113.9
1478	Ⅳ	鉱石	I	片岩	11.0	3.6	3.0	216.0
1479	Ⅱ-3	鉱石	I	緑色岩	[9.2]	4.2	2.9	145.1
1480	Ⅳ	鉱石	-	閃緑岩	9.6	4.5	3.9	264.7
1481	V	鉱石	Ⅱ	砂岩	9.1	7.1	6.3	614.6
1482	Ⅱ	同石	I	安山岩	9.7	9.1	4.4	647.7
1483	Ⅱ	同石	Ⅲ	安山岩	8.5	7.5	4.5	389.6
1484	Ⅲ-2	磨石	I	安山岩	5.8	5.0	3.9	164.8
1485	Ⅱ-3	磨石	I	安山岩	4.3	4.7	3.4	110.5
1486	Ⅱ-2	磨石	I	閃緑岩	7.9	6.7	2.8	250.3
1487	Ⅱ-2	磨石	I	安山岩	12.3	9.2	7.7	1065.5
1488	Ⅱ-2	磨石	Ⅱ	閃緑岩	7.7	7.6	3.9	359.7
1489	Ⅱ-3	磨石	Ⅱ	安山岩	7.5	[5.9]	5.0	316.1
1490	Ⅱ-2	石皿	Ⅱ	安山岩	[12.8]	[10.5]	5.7	691.8
1491	-	砥石	I	砂岩	4.4	5.2	2.5	64.5
1492	Ⅲ-2	砥石	Ⅱ	砂岩	[5.1]	[4.2]	1.1	21.5
1493	Ⅱ	砥石	Ⅱ	安山岩	[11.6]	[8.6]	2.6	284.0
1494	Ⅱ	石錘	Ⅱ	頁岩	6.6	3.5	1.1	30.5
1495	Ⅱ	軽石類	I	軽石	8.2	6.6	4.1	40.1
1496	Ⅱ	軽石類	I	軽石	5.2	4.8	1.8	15.0
1497	I-1	石棒類	Ⅱ	緑泥片岩	27.3	3.4	2.1	345.0
1498	Ⅱ-3	石棒類	-	緑泥片岩	[5.5]	3.0	1.7	44.1
1499	Ⅱ-2	独鈷石	-	頁岩	[21.1]	10.1	8.1	1978.5
1500	-	垂飾	-	ヒスイ	3.2	2.4	1.1	9.7
1501	-	垂飾	-	頁岩	2.8	2.2	0.3	2.9

第93表 J-7グリッド出土骨製品観察表 (第663図)

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量
1502	Ⅱ-1	弧形製品	[2.5]	1.6	[0.8]	1.8
1503	-	斧	[2.7]	0.7	0.6	0.7
1504	-	垂飾	[4.6]	1.2	1.1	2.1

で、222はクラック状の区切り文と、内文を有する。

224～227は加曾利B2式からB3式の3単位把手の深鉢の把手である。228、229は胴部が屈曲する大森タイプの深鉢である。234、236～238は胴部が括れる斜線文土器で、234は胴部が無文帯で区画される。238は斜格子目文が施文される。

230～233、235は口縁部に刻みが施文され、胴部が括れる縄文土器で、230は5単位波状口縁土

器である。

239～256は粗製深鉢で、239～245は押圧隆帯と平行沈線文が施文される粗製深鉢土器で、241～245は地文に縄文が施文される。248～252は押圧隆帯の付く縄文土器、253～256は縄文LRが施文される粗製深鉢である。加曾利B2式からB3式である。246、247は胴部が括れる条線文土器で、加曾利B3式から曾谷式であろう。

257～266は鉢類で、257は加曽利B 1式、258、259、263、264は加曽利B 2式からB 3式の口縁部が内湾する鉢である。260～262は口縁部が外反する加曽利B 2式からB 3式の鉢である。265は蓋の可能性もある。266は鉢の底部付近であろうか。

267～275は第4類の曾谷式土器である。267～270は波状口縁深鉢形土器、271は口縁部に円形貼付文を有する平口縁深鉢、274、275は口縁部が内折する深鉢、272、273は斜線土器である。

764は釣手土器で加曽利B 3式あたりであろう。

1～9、276～375は安行式の瘤状貼付文を有する大波状口縁深鉢形土器である。

276～281は安行1式で、無刻の縦瘤が付く。280は晩期か。1、2、282～298は安行2式で、横刻縦瘤+豚鼻瘤が付く、刻目隆帯で区画される。1は、瘤は付かないが、波状口縁に沿った帯縄文と、胴部の弧線文との間の菱形区画に、蛇行沈線が垂下する。2は把手に環状隆帯が巻き付き、頸部には縄文施文の文様帯を有し、鋸歯状文沈線文が施文される。

3、4、6、299～327は安行2式から安行3a式で、横刻縦瘤+豚鼻瘤以外の変形した貼付文が現れ、沈線の入組文や磨消縄文のモチーフ等が施文される。3は胴部が括れない器形で、波頂下に2段の入組文が施文される。安行3a式であろう。6は縦瘤に変化が見られ、背割凹線を有する瘤が現れ、舌状2段瘤への変化の兆しと捉えられる。

5、7～9、328～375は安行3a式から3b式で、背割沈線のある舌状2段瘤を有するものが多くなり、三叉文や入組文等が施文され、帯縄文が低平化する。

376～401は胴部で括れて口縁部が外反する平口縁深鉢で、376～382は無刻の縦瘤が施文される安行1式である。383～401は横刻縦瘤が貼付される安行2式である。

402～537は口縁部が内湾する砲弾形の深鉢である。13、14、16、402～432は無刻の縦瘤が貼

付される安行1式である。12、15、433～456は横刻縦瘤+豚鼻瘤の付く安行2式である。17、18、457～496は横刻縦瘤の他に、縦刻横瘤、背割凹線を有する縦瘤や横刻などと複合した貼付文が出現する、安行2式から安行3a式にかけての土器群である。19、497～511は背割沈線のある舌状2段瘤や円形貼付文を有する、安行3a式から3b式の土器群である。安行3b式が中心となろうか。

512～537は第VI群から第VII群にかけての貼付文のみられない、口縁部が内湾する土器群である。

538～553は第VI群から第VII群の貼付文が施される胴部破片である。

554～563は安行1式から2式の口縁部が内湾する瓢形深鉢である。563には豚鼻瘤が付く。21は入組三叉文や区画内に刺突文が施される、安行3b式の瓢形土器である。

564～580、582は胴部で括れて口縁部が開く平口縁深鉢で、蛇行沈線や鋸歯状文、弧線文等の磨消縄文のモチーフを有する安行2式である。

581、583～593は胴部で括れて口縁部が開き、玉抱三叉文、三叉文、入組文等が施文される安行3a式の深鉢土器である。583、587、594は波状口縁で、594は安行3b式か。

24、35、604は頸部が括れて口縁部が開く平口縁深鉢で、口縁部に縄文が施文され、24は帯状入組文が、25は横位の縄文帯が施文される安行3b式土器である。604は無文の口縁部が開く。

22は内湾気味の口縁部が緩く開く器形で、地文に縄文LRが施文され、胴部が3本沈線2帯に区画される。胴部には両端が鋸状を呈する沈線文が施文されている。第V群第4類の曾谷式の可能性がある。

20、23、26、595～603、605～628は口縁部が内湾する深鉢で、磨消縄文のモチーフ、三叉文、玉抱三叉文、入組文、弧線文等が施文される安行2式から安行3a式の土器群である。20は胴部に縄文が施文される帯状入組文が施文され、下半

部に条線文が施文されている。安行2式であろうか。23は口縁部に橋状の貼付文が付く。26、607～627は紐線文系の土器で、地文の条線文は消失し、弧線文等のモチーフ内に縄文が施文されている。安行3a式であろう。

629～637は第Ⅶ群の深鉢の胴部破片である。629～634は安行3a式、635～637は安行3b式であろう。636は瓢形土器である。

36、37、39、40、638～671は第Ⅵ群、第Ⅶ群の鉢、台付鉢、注口土器等である。

638、639は口縁部が外反する安行1式、640～651は安行2式の台付鉢である。36、37は入組三叉文、玉抱入組文、三叉文等が施文される安行3a式の台付鉢と思われる。40は安行3b式、39も3b式であろうか。652～661は安行1式から2式の脚部である。662～671は安行3a式から3b式の脚部である。

45、52、53、672～713は口縁部が外反する安行3a式から3b式の鉢形土器である。外反する口縁部に、または口縁部に縄文を施文して胴部に、三叉文、玉抱三叉文、弧線文、ステッキ状文などが施文される。安行3b式を中心とするが、口縁部が外反する器形の浅鉢は安行3b式が多く、脚の付くものも含まれている。

715～731は第Ⅵ群の安行1式から2式の口縁部が内湾して開く鉢類である。715、716、728は刻みのある瘤が貼付されている。721、722は連続の弧線文が、727、729、730は対向する弧線文が描かれる安行2式であろう。718、724、725は口縁部に帯縄文を有する安行1式であろう。

43、45～50、732～746は口縁部が内湾して開く第Ⅶ群の安行3a式から3b式の鉢類である。

43、47、48、733、734、737、741は玉抱三叉文が、738、740、745は入組文が施文される安行3a式で、口縁部が内湾して開く鉢は安行3a式が優位のようなのである。744は晩期中葉か。

44、748～759、776、777は胴部が屈曲する浅

鉢で、対向三叉文や2段の舌状貼付文が付くなど、安行3a式から3b式である。776、777は注口土器の可能性もある。

56、57は浅鉢もしくは皿の底部であり、安行3b式と思われる。

69～71は角底である。晩期であろう。

63、64、761～763は壺形土器であり、64、761は安行3a式、他は安行3b式であろう。

73～80、765～775、778～791は注口土器である。765～767は安行2式、74～77、768～775は安行2式から安行3a式、73、78、79は安行3b式であろう。778～791は第Ⅶ群を中心とした注口土器の胴部である。

54、792～798は第Ⅶ群第7類の細密沈線文土器で、798は安行3b式の大波状把手に細密沈線文が施文されている。54は口縁部が外反する鉢で、口縁部に細密沈線文が施文されている。

799は第Ⅵ群第3類の新地系の瘤付土器である。

800は3本の弧線文が山をずらして施文され、楕円文様が施文される第Ⅶ群第6類の滋賀里式系の土器である。

85、86、801～814は口縁部に刻列が施文される条線文土器である。85、86、801～814は胴部が括れて口縁部が開く安行1式の条線文土器である。801～804以外は口縁部が沈線で区画される。

31、815～828は口縁部が内湾する安行2式から安行3a式の条線文土器である。816以外は沈線で口縁部が区画される。829は条線の代わりに縄文が施文される。830～832は胴部が括れて口縁部が開く器形であるが、口縁部に縄文が施文されることから安行2式から安行3a式と思われる。

833～840は口縁部に刻列が施文されない条線文土器で、条線の細かいものと、粗いものがある。第Ⅶ群の安行3a式から3b式あたりに相当しよう。841～843は胴部破片である。

844～871は沈線と刺突文が併施文される安行3c式を中心とした深鉢形土器である。

844～850は胴部で括れて緩い波状口縁が開く深鉢である。851、852は口縁部が開く平口縁深鉢、853～859、861は口縁部が内湾する組線文系の平口縁深鉢、860、862～868は胴部が括れて口縁部が開く平口縁深鉢である。869～871は胴部破片である。安行3c式の古いものから新しいものが含まれている。

10、11、32～35、872～931は沈線文のみでモチーフが描かれるものである。

10、11、34、35、872～883は胴部で括れて口縁部が開く波状口縁深鉢である。入組三叉文、三叉文、入組文などが沈線で施文される安行3c式である。10は渦巻文を中心として文様が上下2帯に分かれている。11は三角入組文が施文されるものであるが、安行3c式段階であろう。

32、33、884～904、906、907は胴部が括れて口縁部が開く平口縁深鉢で、波状口縁深鉢と同様なモチーフが描かれる。33、895は平行沈線の末端を連結するような区画文が施文され、890は入組三叉文が2段に施文されている。安行3c式の中でも新しい部分か、安行3d式になる可能性もあろう。

27～30は内湾気味の口縁部が開く器形の平口縁深鉢で、27は胴部が平行沈線で区画され2本対の蛇行沈線が垂下される。908も同様の器形で、大きな楕円状の区画内に2本対の蛇行沈線が垂下される。28は波状口縁の蛇山系のモチーフが平口縁内に施文されたもので、胴部には条線文が施文されている。29は口縁部に円形モチーフ、30は組線文系土器に帯状入組文を模した沈線文が施文される。

905、909～925は口縁部が内湾する組線文土器の系統上にある深鉢で、肥厚口縁部が沈線で区画されるものが多く、斜線と弧線を組み合わせたモチーフが多い。これらの土器群は安行3c式と思われるが、古い段階のものが多く、安行3b段階のものも含まれる可能性がある。905は口縁部に楕円文が描かれる、蛇山Ⅲ式土器である。926～

931は胴部破片である。

38、41、42、51、55、58、60～62、65～67、72、761は第Ⅷ群の台付鉢、鉢、浅鉢、壺類である。

38、41、42は安行3c式の台付鉢脚部である。

51、65、932～942、944～946は口縁部が内湾して開く鉢である。弧線文や入組三叉文、入組文等が施文される。932、936は第Ⅷ群になる可能性がある。55、58は浅鉢で、943は胴部が屈曲する浅鉢である。60～62は無文の鉢であり、60は沈線で区画された口縁部に貼付文が付いている。安行3c式である。

66、67は広口壺の口縁部であり、67は小型の無頸壺、72は徳利状の壺と思われる。底部の4箇所に張り出し状の貼付文が施文される。

80、81～83、947～957、960、961は大洞系の土器群である。81、83、947は頸部で括れ、口縁部が外反する深鉢形土器で、81、947は羊歯状文が施文される第Ⅷ群第5類の大洞B C式土器である。83は胴部でさらに括れる瓢状を呈し、雲形文が施文される第Ⅷ群第6類の大洞C 1式である。957も深鉢であろうか。961は末端結節の縄文が施文されている。

948は大洞B C式の浅鉢である。82、949～956、960は大洞C 1式の鉢である。

80は大洞C 1式の注口土器である。

59、964～967は第Ⅷ群第4類の天神原式系土器である。59は円形貼付文の付く無文の鉢である。964～967は沈線区画内に細かな刺突文が施文されている。

958、959、962、963は暗橙褐色を呈し、幅広の凹線状沈線でモチーフを描く第5類の前浦式土器である。

87～107、968～1141は口縁部に押圧隆帯を施文するものや、刻列を施文する粗製土器の組線文土器である。口縁部を沈線区画しないものと、区画するものがある。

87～100、968～1143は口縁部を沈線区画しな

いもの、101～105、1144～1241は沈線区画するものである。

968～971はやや内湾する器形であるが、条線文が縦位方向に施文されることから、安行1式段階と思われる。

972～996は頸部に横位の細かな条線文が施文される安行2式であろう。87～96、107、997～1064は安行2式から安行3a式である。条線文上に弧線文、対弧文、直線文蛇行沈線文等が施文される。

1065～1085はモチーフ間の地文条線文が磨消されるもので、安行3a式である。97～100、106、1086～1143は地文の条線文が消失し、隆帯文、沈線文、沈線文間の刺突文、縄文などが施文されるもので、安行3a式の後半段階から安行3b式にかけての土器群である。

101～105、1144～1241は口縁部を沈線区画するものであるが、土器群の変遷は沈線区画しないものと同様である。沈線区画する紐線文土器の中では、口縁部の押圧隆帯文系と、刻列系が分かれて存在している。

101、103、105、1144～1192、1231～1241は安行2式から安行3a式である。100、102、104、1193～1230は安行3a式から安行3b式である。安行3a式以降でも、地文の条線文は若干残るものがある。同時期の条線文土器との関連があろう。

108～121、1142～1353は、粗製土器の無文土器である。

110、1142～1157は、口縁部が肥厚して内湾する紐線文土器に系譜する無文土器である。

112、113、115～118、1158～1280は口縁部が内湾するもので、1268～1275は口縁部内側が肥厚している。108、109、114、1281～1284は内湾気味の口縁部が開く器形である。

111、1282、1285～1295は胴部が括れて口縁部が開く器形である。1282、1285、1286は口縁部が内湾気味であり、1291～1295は口縁部が強く外反する器形である。1287には小突起が付

き、1288、1289、1293は口唇部に刻みが施され、1294は爪で押さえるような強い刻みが施されている。東海地方の土器群の影響であろうか。

120、1296～1299は口縁部が開き気味の器形で、輪積成形痕が残る粗製土器である。

119、121、1300～1309、1311～1326は折返状の1段の段帯部を有する土器群である。多くは輪積成形痕が残るものである。1310は2段構成である。1313、1314、1319、1325、1326の口縁部には指頭整形痕が良く残っている。

1327～1332、1334、1335は無文の鉢である。直線的に開くものが多いが、1332、1334は内湾する器形である。1330、1331は口唇部に突起状の貼付文が付く。

1333は広口の壺である。

1336～1353は製塩土器である。暗橙褐色を呈し、よく被熱している。

122～164は各時期、各器種の底部である。

土製品類 (第654図1354～第659図1463)

第654図1354は安行3c式土器の、1361は深鉢のミニチュアである。1358～1360は台付鉢の、1357は浅鉢のミニチュアである。1360は器台状の形態で、上下逆の可能性もある。1356は釣手土器の把手である。

1355は円錐形の容器で、体部に透かし孔が8箇所空いている。巻貝の土製品のようにも見える。安行3b式であろう。

1362、1364は手捏ねの皿状容器で、安行3c式であろう。

1363は波状口縁の把手のような形で、先端部が反り返っており、2個対の穿孔が見られる。土版の類であろうか。晩期安行式であろう。

1365はみみずく土偶の顔面付土器である。眉毛と頭髮部分が現存する。

1366は長軸の両端が欠損するが、紐かけの溝が彫られる土鉢である。

土製円盤は62点出土した。1416手燭の皿部分

であるが、立ち上がり部分と縁を打ち欠いており、土製円盤としたものと思われる。

耳飾りは、22点出土した。白形が1点、栓形が2点、環状形が13点、台形が6点である。1442、1444～1450は完形である。

土偶は8点出土した。1451はみみずく土偶の頭部である。結髪の一部が欠損するが、遺存状況は良い。安行3b式期である。1452は顔面の左半分が現存する。晩期であろう。

1453は胸部より上が現存するみみずく土偶で、左耳を欠損する。丸い顔、丸い目や口、手首が上がる形状から、安行2式期と思われる。

1454は省略タイプのみみずく土偶と思われる。安行3c式から3d式あたりであろう。

1455も円形の省略タイプの土偶で、両乳房のみ表現されている。晩期であろう。

1456は右腕、1457は中空みみずく土偶の右頭部である。1458は中実土偶の脚で、安行3c式から3d式期であろう。

1459は顔面状の土版であろうか。耳栓を表現していると思われる左耳が現存する。裏面に装飾はない。晩期であろう。

1460は表裏側面に三叉文が描かれる土版で、安行3b式期であろう。

1461は長方形の土版で、正中線を中心に沈線で文様が描かれる。晩期であろう。

1462、1463は沈線間に刺突文を施す土版で、安行3c式か3d式であろう。

石器 (第660図1464～第663図1501)

第660図1464、1465はともに無茎の石鏃で、1465は先端と片脚の先端を欠く。1466は石鏃とほぼ同等の大きさで、かつ平面形がしずく形を呈していることから、石鏃の未成品と判断した。

1467～1470はサイドスクレイパーである。1467と1468は刃部が両面加工によって作り出されており、1469、1470は片面加工によって刃部が作り出されている。

1471は打製石斧の基部片で、欠損部の直上で両側面が括れることから、Ⅱ類と判断した。1472は打製石斧のⅢ類で、片刃の刃部を有する。1473は打製石斧の刃部片である。

1474～1479は敲石Ⅰ類、1480が敲石Ⅱ類である。1481は磨石が欠損した後、欠損面を使用面として再度利用した敲石である。

1482は凹石Ⅰ類、1483が凹石Ⅲ類である。ともに正面と裏面に凹痕を有する。

1484～1487が磨石Ⅰ類で、1484は正面と裏面に、1485が裏面にそれぞれ敲打痕を有する。1488、1489は磨石Ⅱ類である。

1490は石皿Ⅱ類で、正面の皿部に凹痕を有する。

1491は砥石Ⅰ類で、骨角器や貝製品の製作時に使用した砥石であろうか。1492は正面に溝状の擦痕を有する砥石、1493は砥ぎ面が不明瞭な砥石である。

1494は上下両端に抉入を有する石錘で、裏面の上半部を欠く。

1495は凹痕を有する軽石類である。1496は上部に貫通孔を有することから、浮子と判断した。

1497は石剣の略完形品である。身部末端の両側面に刻みを有する。1498は石棒類の頭部片である。

1499は独鈷石で、全体的に製作時の敲打痕を観察することができる。

1500、1501は垂飾で、1500が勾玉形を呈し、1501が円形を呈する。1500は正面から孔を穿っている。

骨製品 (第663図1502～1504)

骨角器は3点出土した。第663図1502は弓形製品である。下部が欠損し、縦に割れている。短型で、中央の穿孔は貫通し、器体中央付近に溝を有す。1503は筭の頂部片で、括れにより頭頂部、棒状部、頭部に区画されている。また、頭頂部と頭部の正面に口唇状の文様を浮き彫りにしている。1504は管状を呈する垂飾で、横位方向の線刻を有する。

17 J-8グリッド出土遺物

概要 (第664図、第665図)

本グリッドは、調査B区と接し、後期後葉から晩期初頭の重複する大形住居跡S J 43 (S J 43 a、43 b、43 c)の北東コーナーが存在する地点である。住居跡の南東辺に沿うように第3号柱穴列が存在し、北東コーナー付近では住居跡とは関わらないと思われる焼土跡3基(24、25、26)が存在していた。

土器群は住居跡と同時期である後期後葉の安行2式から晩期初頭の安行3 a式を中心として、安行3 b式、3 c式が少量出土した。⑩小グリッドは晩期安行3 a式から3 c式までが集中的に出土しており、焼土跡24との関連が想定される。住居廃絶後に焼土跡24とともに廃棄された土器群と思われる。

土製円盤は、安行1式土器が少ないこともあってか、29点と少なかったが、⑪⑫小グリッドから集中的に出土した。この地点にはS J 43の南東辺に沿う第3号柱穴列と、入口施設かと思われる「コ」状のビット列が存在しており、これらが後期後葉の住居跡であった可能性もある。

縄文土器 (第666図1～第671図148)

第667図16は前期第II群第1類の花積下層式土器である。17は第2類開山式土器である。

18は後期第IV群第1類の称名寺1式土器である。19は第4類の堀之内2式土器である。

20～27は第V群土器で、20は第2類加曾利B2式の深鉢形土器である。21は第3類の加曾利B3式の5単位波状口縁土器で、101は平口縁深鉢である。22～24、27は組線文土器で、22はB2式、23、24はB2式からB3式、27はB3式から曾谷式であろう。25はB3式から曾谷式の条線文土器である。26は縄文のみ施文される粗製土器である。

1～3、28～47は安行式の瘤状貼付文を有する大波状口縁深鉢形土器である。

1、28～30は安行1式で、無刻の縦瘤が付く。2、31～38は安行2式で、横刻縦瘤+豚鼻瘤が付き、刻目隆帯で区画される。39～42は安行2式から安行3 a式で、42は縦位2連の横刻縦瘤を2本沈線で円形に囲んでいる。3、43～46は安行3 a式から3 b式で、43は背割凹線を有する舌状2段瘤、3、45は背割2本沈線を有する舌状2段瘤が施文されている。47は波底部に横刻縦瘤が施文され、刺突文を挟む沈線文が施文される安行3 c式である。

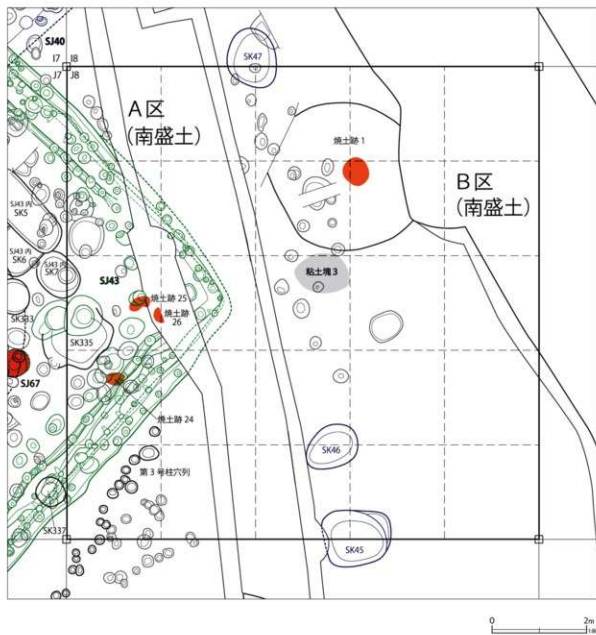
6、48～52は胴部で括れて口縁部が外反する平口縁深鉢形土器で、6、48～50は安行1式、51、52は安行2式である。6は口縁部が直線的に開く器形である。67は安行2式の胴部破片である。

5、53～66、68～76は口縁部が内湾する砲弾形の平口縁深鉢形土器である。53～57は無刻の縦瘤が貼付される安行1式である。58～64は横刻縦瘤+豚鼻瘤の付く安行2式である。65、66は背割凹線を有する縦瘤や、背割2本沈線を有する舌状2段瘤が施される安行3 a式から3 b式の土器群である。

5は口縁部と胴部が刻みを有する隆帯で区画される組線文系の土器と思われるが、口縁部に突起を有し、2本沈線の弧線文を組み合わせて対弧文や半円文等が描かれている。上向きの弧線文には刺突文が施文されている。安行3 b式であろう。

68～76は第VI群から第VII群にかけての貼付文のみられない平口縁内湾土器で、70～76は瓢形土器である。

4、77～81は胴部で括れて口縁部が開く平口縁深鉢形土器で、77～81は鋸歯状文や弧線文等の磨消縄文モチーフを有する安行2式である。81は晩期か。4は胴部が3帯に分割され、口縁部に弧線文と三叉文、頸部に入組三叉文、胴部に口縁部と同様な弧線文と三叉文が施文される。安行3 b式であろう。



遺構	小グリッド	所属時期	遺構	小グリッド	所属時期	遺構	小グリッド	所属時期
S J 43 a	1 6 7 11 12 16 17 21	後期後室から晩期初級	S K 335	11 16	不明	焼土跡 25	11	不明
S J 43 b	1 6 7 11 12 16 17 21	後期後室から晩期初級	SJ43 内 SK7	11	不明	焼土跡 26	11 12	晩期前室以降
S J 43 c	1 6 7 11 12 16 17 21	後期後室から晩期初級	焼土跡 24	16	不明	第3号柱穴列	16 21	不明

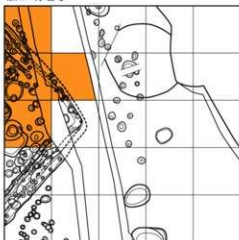
第664図 J-8グリッド検出遺構

7、8、82、83は内湾気味の口縁部が開く器形で、82、83は玉抱三叉文や入組文等が施文される安行3 a式の深鉢土器である。7は口縁部が開く深鉢と鉢の中間的な形態であるが、沈線で胴部が区画され、不明瞭ではあるが中央部に列点文が施文され、それを囲むように沈線で対向弧線文や入

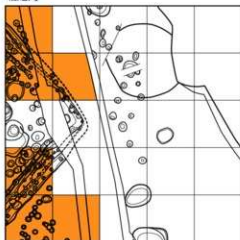
組弧線文状モチーフが施文される。安行3 c式である。8は口縁部と底部を欠損するが、2本沈線を基本とした入組渦巻文が施文され、胴部に連続の弧線文が施文されている。安行3 c式である。

84~87は口縁部が内湾する深鉢で、84、85、87は紐線文系の口縁部が肥厚する土器群である。

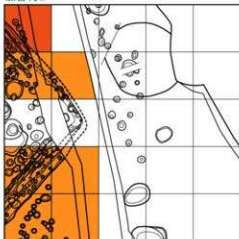
加E・称名寺



堀之内



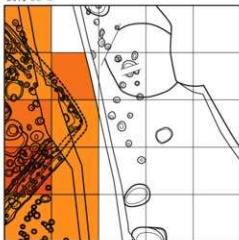
加曾利B



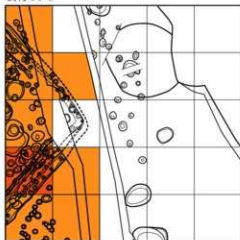
安行1・2



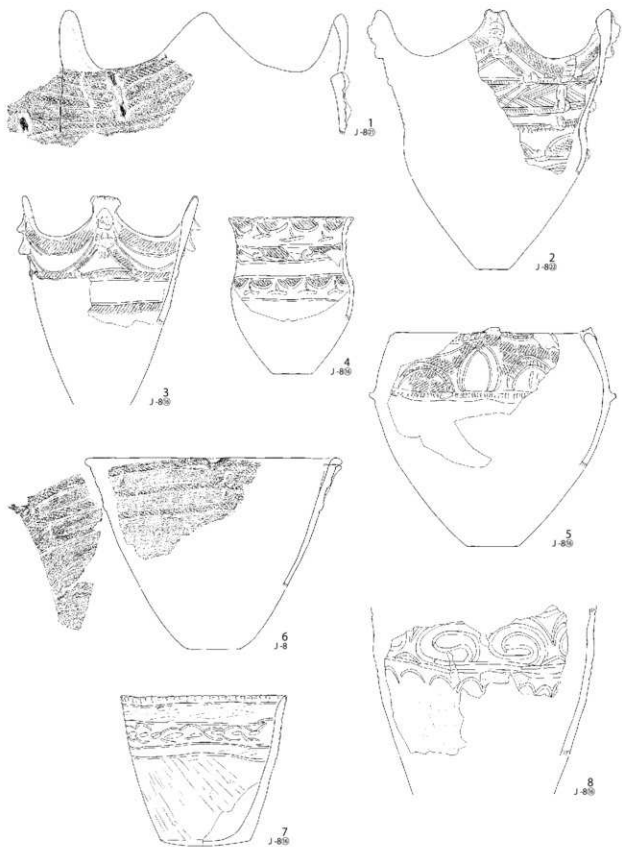
安行3a・b



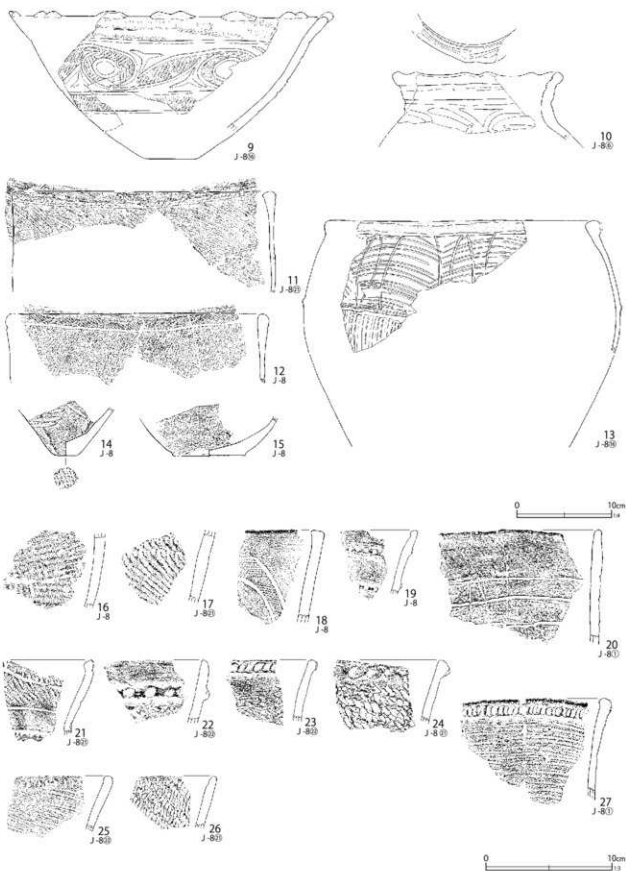
安行3c・d



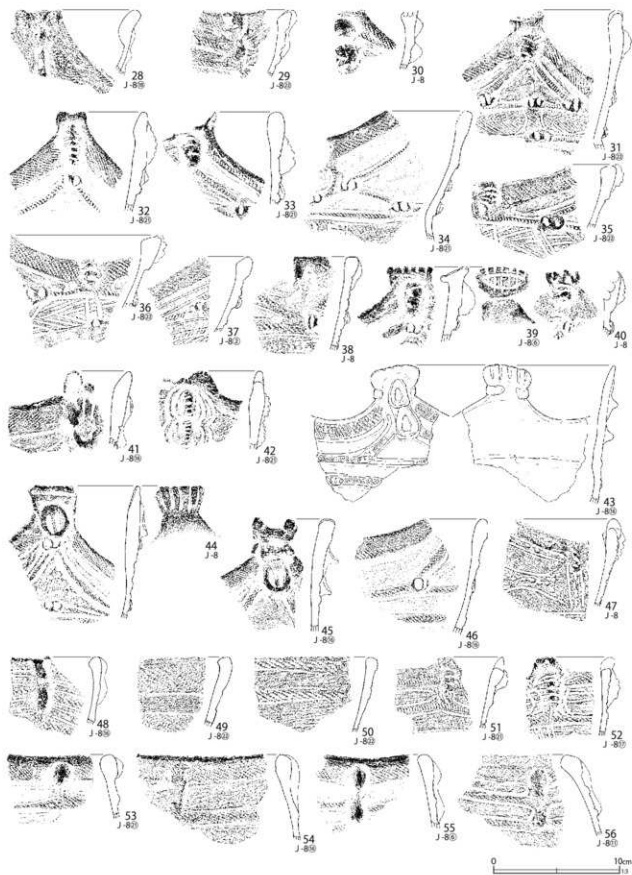
第665図 J-8グリッド時期別濃淡図



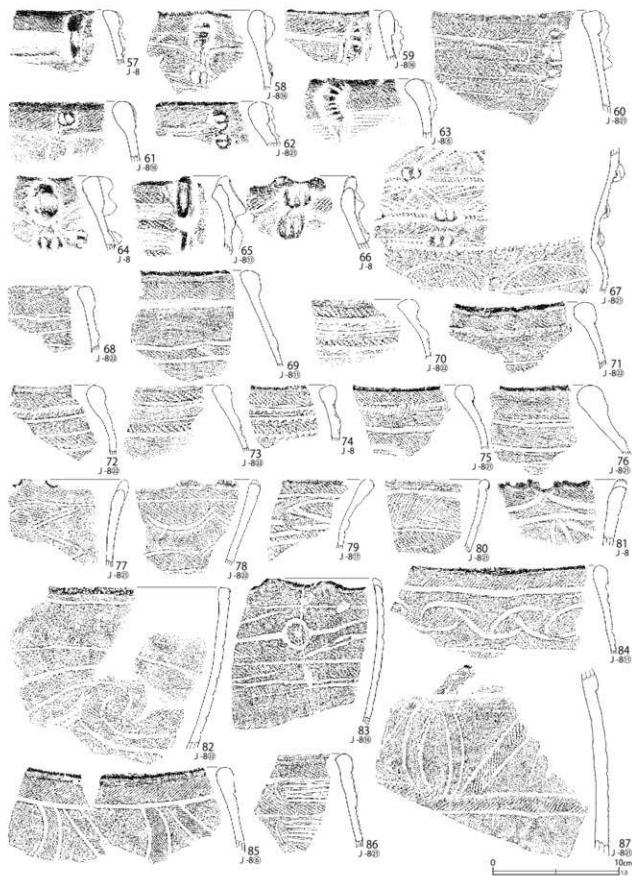
第666図 J-8グリッド出土遺物(1)



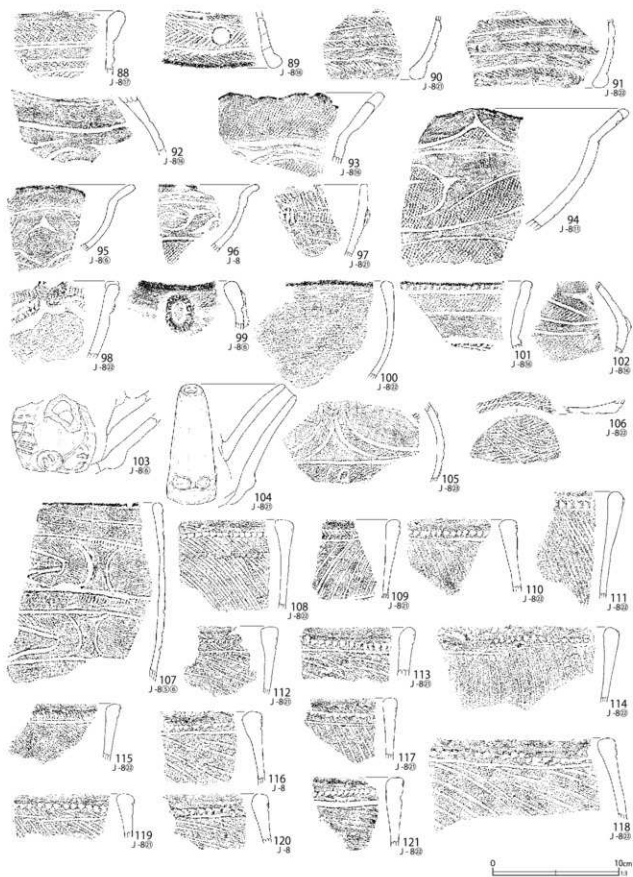
第667図 J-8グリッド出土遺物(2)



第668図 J-8グリッド出土遺物(3)



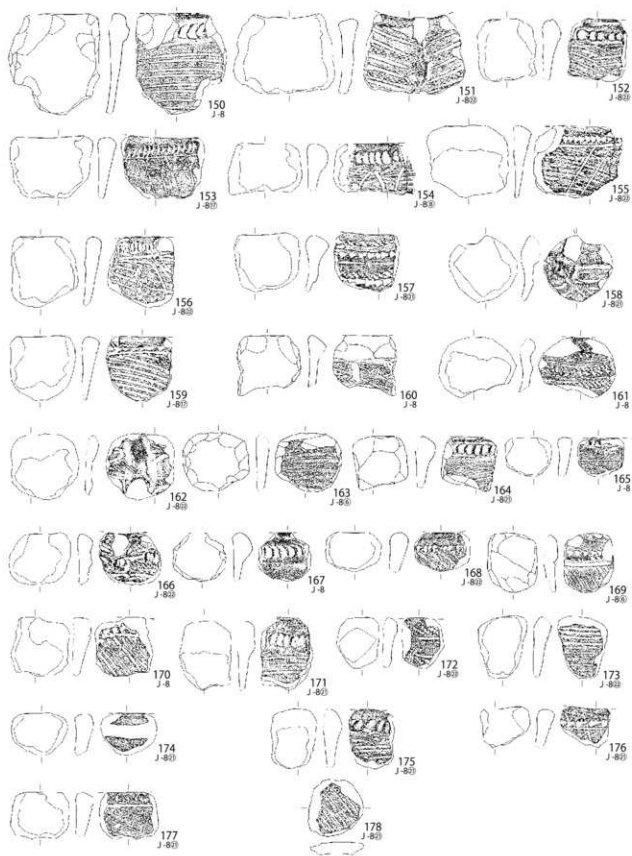
第669図 J-8グリッド出土遺物(4)



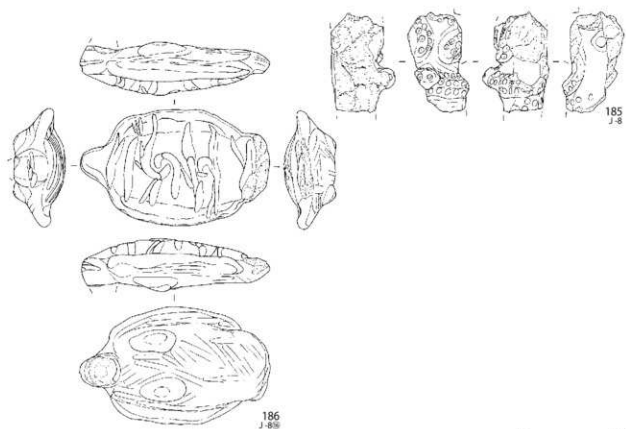
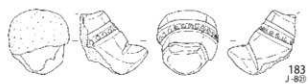
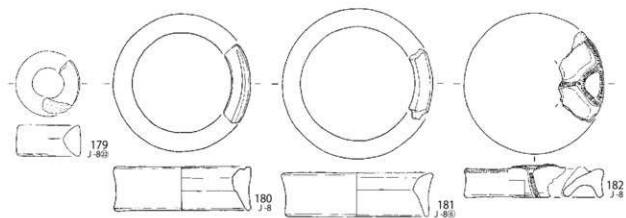
第670図 J-8グリッド出土遺物(5)



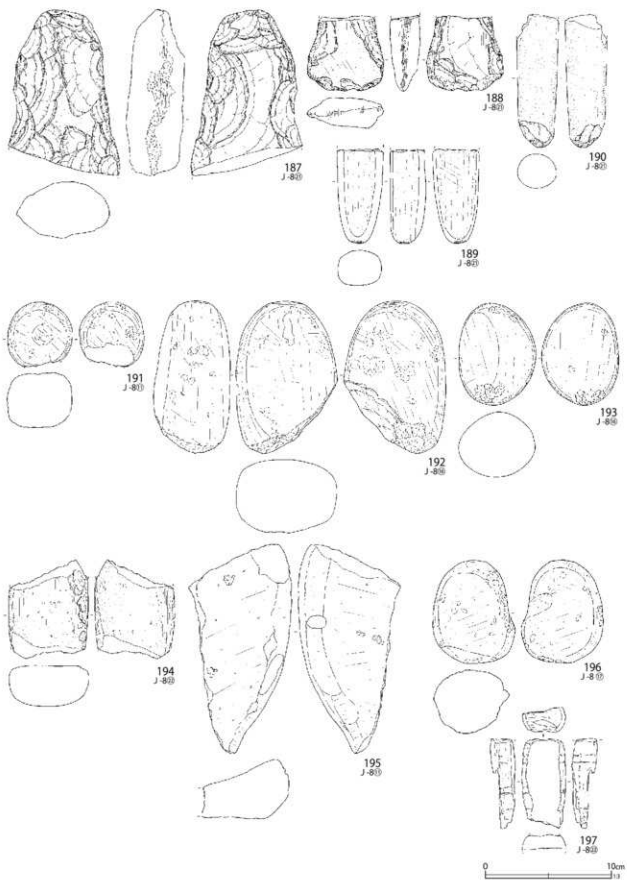
第671図 J-8グリッド出土遺物(6)



第672図 J-8グリッド出土遺物(7)



第673図 J-8グリッド出土遺物(8)



第674図 J-8グリッド出土遺物(9)

第94表 J-8グリッド出土復元土器観察表 (第666図、第667図)

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類	番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
1	IV	[12.7]	(29.0)	(30.1)	-	VI 1-A3	9	II-4	[12.7]	(32.2)	(33.0)	-	VI 1-C1
2	IV	[17.3]	(24.7)	(25.0)	-	VI 2-A3	10	I	[6.6]	(18.0)	(19.6)	-	VI 5-F1
3	II-4	[13.9]	(18.7)	(18.7)	-	VI 2-A1	11	IV	[10.7]	(27.0)	(28.0)	-	VI 1-A6
4	II-4	[10.9]	13.3	13.3	-	VI 2-A4	12	IV	[7.3]	(27.4)	(27.8)	-	VI 1-A6
5	II-5	[14.7]	(20.8)	(26.2)	-	VI 2-A5	13	II-5	[14.0]	(28.8)	(33.7)	-	VI 2-VI 1-A7
6	IV	[13.6]	(26.4)	(27.2)	-	VI 1-A2	14	IV	[4.8]	-	(10.0)	2.4	X 3
7	II-5	15.9	17.6	17.6	9.4	VI 1-A2	15	IV	[4.0]	-	(14.4)	7.6	X 3
8	I	[15.9]	-	(23.8)	-	VI 1-A							

第95表 J-8グリッド出土破片土器観察表 (第667～第671図)

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
16	-	II 1-A	50	-	VI 1-A4	84	II-5	VI 1～2-A5	118	-	VI 2～VI 1-A6
17	-	II 2-A	51	-	VI 2-A4	85	II-4	VI 1～2-A5	119	-	VI 2～VI 1-A6
18	V-1	IV 1-A4	52	-	VI 2-A4	86	-	VI 2-A5	120	-	VI 2～VI 1-A6
19	-	IV 4-A2	53	II	VI 1-A5	87	II	VI 1～2-A5	121	-	VI 2～VI 1-A6
20	I	V 2-A4	54	II-4	VI 1-A5	88	-	VI 1-A5	122	II-5	VI 2～VI 1-A7
21	-	V 3-A3	55	II-5	VI 1-A5	89	II-4	VI 2-B	123	-	VI 2～VI 1-A7
22	-	V 2-A7	56	V-1	VI 1-A5	90	-	VI 1-B	124	-	VI 2～VI 1-A7
23	-	V 2～3-A7	57	V-1	VI 1-A5	91	-	VI 1-B	125	-	VI 2～VI 1-A7
24	-	V 2～3-A7	58	II-4	VI 2-A5	92	II-4	VI 2-B	126	-	VI 2～VI 1-A7
25	V-1	V 3～4-A6	59	II	VI 2-A5	93	II	VI 2-C1	127	-	VI 2～VI 1-A7
26	-	V 2～3-A2	60	-	VI 2-A5	94	I	VI 2-C1	128	-	VI 2～VI 1-A7
27	-	V 3～4-A7	61	I	VI 2-A5	95	I	VI 2-C1	129	II-4	VI 1～2-A7
28	-	VI 1-A3	62	II	VI 2-A5	96	V-1	VI 1-C1	130	II-4	VI 1～2-A7
29	-	VI 1-A3	63	II-5	VI 2-A5	97	-	VI 2-C2	131	-	VI 1～2-A7
30	V-1	VI 1-A3	64	V-1	VI 2-A5	98	-	VI 2-C2	132	V-1	VI 1～2-A7
31	-	VI 2-A3	65	II	VI 1-A5	99	II-5	VI 1-C2	133	II	VI 1～2-A7
32	II	VI 2-A3	66	II	VI 2-A5	100	II-5	VI 1～2-C2	134	II	VI 1～2-A7
33	II-5	VI 2-A3	67	-	VI 2-A3	101	I	V 3-A4	135	-	VI 2～VI 1-A7
34	II-5	VI 2-A3	68	-	V 1～2-A5	102	II	VI 6	136	-	VI 2～VI 1-A7
35	-	VI 2-A3	69	II-5	V 1～2-A5	103	II-5	VI 6	137	-	VI 2～VI 1-A7
36	-	VI 2-A3	70	-	VI 1～2-A5	104	II-4	VI 6	138	-	VI 2～VI 1-A7
37	-	VI 2-A3	71	II-5	VI 1～2-A5	105	-	VI 6	139	-	VI 2～VI 1-A7
38	V-1	VI 2-A3	72	-	VI 1～2-A5	106	-	VI 6	140	-	VI 2～VI 1-A7
39	II-5	VI 1-A3	73	-	VI 1～2-A5	107	II	VI 7-A2	141	-	VI 2～VI 1-A7
40	V-1	VI 1-A3	74	II	VI 1～2-A5	108	-	VI 1-A6	142	-	VI 2～VI 1-A7
41	II	VI 1-A3	75	II	VI 2-A5	109	-	VI 1-A6	143	-	VI 2～VI 1-A7
42	II-4	VI 1-A3	76	II-4	VI 2-A5	110	-	VI 1-A6	144	-	VI 2～VI 1-A7
43	II-4	VI 1～2-A3	77	II-4	VI 2-A4	111	-	VI 1-A6	145	V-1	VI 2～VI 1-A7
44	II	VI 1～2-A3	78	-	VI 2-A4	112	-	VI 1-A6	146	II-5	VI 2～VI 1-A7
45	II-4	VI 1～2-A3	79	-	VI 2-A4	113	-	VI 1-A6	147	II-4	VI 6
46	II-4	VI 1～2-A3	80	-	VI 2～VI 1-A5	114	-	VI 1-A6	148	-	VI 6
47	V-1	VI 1-A3	81	V-1	VI 2～VI 1-A5	115	-	VI 1-A6			
48	II	VI 1-A4	82	-	VI 1-A2	116	-	VI 1-A6			
49	-	VI 1-A4	83	II-5	VI 1-A2	117	-	VI 1-A6			

第96表 J-8グリッド出土土製品観察表 (第671図、第673図)

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ
149	-	ミニチュア	[2.9]	[1.9]	[0.6]	185	V-1	土偶	10.1	6.3	2.8
183	-	土偶	[4.7]	[4.4]	[3.2]	186	I	動物形土製品	[5.3]	[3.3]	[3.5]
184	-	土偶	[3.2]	[2.3]	[2.2]						

第97表 J-8グリッド出土土製円盤観察表 (第672図)

番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類
150	V-1	8.0	69.9	II-Aイ	160	V-1	6.0	30.4	II-Aウ	170	V-1	5.4	28.1	II-Aウ
151	-	8.4	68.6	II-Aア	161	V-1	6.0	26.7	II-Aウ	171	-	5.5	26.2	II-Aイ
152	-	5.8	36.0	II-Aイ	162	-	5.6	33.2	II-Aア	172	-	4.0	16.1	II-Aア
153	-	6.9	48.6	II-Aウ	163	II-5	5.3	30.4	II-Aエ	173	-	5.2	24.2	II-Aウ
154	-	6.4	41.9	II-Aイ	164	II-5	5.0	28.2	II-Aイ	174	-	4.4	23.6	II-Aウ
155	III～V	8.3	41.8	II-Aウ	165	-	3.7	13.7	II-Aウ	175	-	5.9	26.1	II-Aイ
156	-	6.2	40.3	II-Aウ	166	-	5.4	28.8	II-Aア	176	-	4.2	18.9	II-Aウ
157	-	5.8	38.4	II-Aウ	167	V-1	4.1	22.4	II-Aイ	177	-	5.0	28.1	II-Aウ
158	-	5.2	34.5	II-Aア	168	-	4.5	24.2	II-Aウ	178	-	4.8	18.4	I-Bウ
159	-	5.8	36.1	II-Aウ	169	II-5	5.0	26.6	II-Aウ					

第98表 J-8グリッド出土土飾り観察表 (第673図)

番号	層位	径1	径2	高さ	重量	分類	番号	層位	径1	径2	高さ	重量	分類
179	III～IV	(3.4)	(3.3)	1.6	5.5	III-B-ア	181	II	(8.0)	(7.5)	2.3	10.2	III-D-ア
180	V-1	(7.3)	(7.0)	2.3	10.6	III-D-イ	182	V-1	(7.4)	(7.2)	1.8	12.5	III-D-イ

第99表 J-8グリッド出土石器観察表(第674図)

番号	層位	器種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
187	II	打製石斧	II	頁岩	[13.1]	8.9	4.6	594.6
188	-	打製石斧	-	ホルンフェルス	[6.0]	6.1	2.4	107.3
189	-	敲石	I	緑色岩	[7.6]	3.7	2.9	140.4
190	-	敲石	I	頁岩	[10.6]	3.3	3.0	165.0
191	II	磨石	I	安山岩	[5.2]	5.2	4.5	158.4
192	II-3	磨石	I	安山岩	12.1	8.1	6.1	878.2
193	II-3	磨石	I	安山岩	8.1	6.1	5.2	375.6
194	-	磨石	I	安山岩	[7.8]	6.4	3.3	240.4
195	I-1	石皿	III	安山岩	[16.5]	[8.2]	5.0	569.3
196	II-3	軽石類	III	軽石	8.2	6.6	5.1	110.4
197	-	石棒類	-	凝灰岩	[7.1]	3.5	[2.0]	46.3

安行3 a式から3 b式であろう。86は瓢形土器の可能性もある。安行2式か。

9、10、88~100は鉢、壺類である。90、91は安行1式、88、89は安行2式、92は安行3 a式の台付鉢である。

9は口縁部が緩く外反する鉢で、胴部に円形文を巻き込む帯状入組文が施文され、間に三叉文が施文されている。安行3 a式である。93~96は口縁部が外反する鉢で、96は安行3 a式、他は3 b式であろう。97~100は口縁部が内湾する鉢である。102~105は晩期の注口土器、106は皿の底部である。10は凹線状の太沈線でモチーフが描かれ、口縁部裏面に沈線が巡る晩期中葉前浦式の広口壺である。

107は第VII群第7類の細密沈線文土器である。

11、12、108~121は後期後葉から晩期初頭の条線土器で、11、12、108~117は安行1式、118~121は安行2式から3 a式であろう。

13、122~145は後期後葉から晩期前葉の紐線土器である。13、122~128、135~145は安行2式から3 a式、129~134は安行3 a式から3 b式であろう。

147、148は無文の鉢で、147は口唇部に突起が付く。晩期であろう。

14、15、146は底部であり、14、146は後期末葉で、15は鉢類の底部か。

土製品類(第671図149~第673図186)

第671図149は安行3 c式台付鉢の脚部のミニチュアである。

土製円盤は29点出土した。大半は長方形から

四角形に成形されているが、158、161は円形に近い形状である。

耳飾りは4点出土した。環状形の破片である。

土偶は3点出土した。いずれも後期中葉の所産であり、183は加曾利B式期の左腕、185は胴部である。いずれも細かな円形刺突文が施される。184は肩から左腕が残存するもので、肩部及び表裏面に沈線文が施文されており、裏面には押し沈線が施文されている。曾谷式期か。

186は動物形土製品で、背中に沈線の入組文が2段に施文されており、腹面には乳房とも脚ともとれる低い瘤が2箇所が付く。顔面と尾の一部を欠損する。亀形土製品と思われ、安行3 c式期であろうか。

石器(第674図187~197)

第674図187は打製石斧の基部片で、欠損部から刃部へと幅が広がっていくと思われることから、II類に分類した。188は打製石斧の刃部片で、刃部に長軸方向の擦痕が認められる。

189と190は敲石I類で、ともに長楕円形の礫を素材としている。191~194は磨石I類で、195は石皿III類である。196は軽石類III類である。

197は石棒類の頭部片で、正面と裏面が剥がれている。両側面には線刻を有しており、本来は線刻が頭部を巡っていたと思われる。

18 K-6グリッド出土遺物

概要 (第675図、第676図)

本グリッドは、⑤小グリッドに一部がかかる程度の狭小な調査区である。S J 66やS J 43の入り口部、S J 44と隣接するが、出土遺物は少ない。

縄文土器 (第677図1～第678図34)

第677図7、8は中期第Ⅲ群の加曽利E式土器で、7は磨消懸垂文が施文される第5類の加曽利EⅢ式土器である。8は地文縦縄文LR上に沈線文が施文されるもので、クランク状に垂下する沈線から、曾利式系か大木式系の影響を受けているものと思われる。加曽利EⅡ式段階であろうか。

9は後期第Ⅳ群第3類の堀之内1式の粗製土器で、縄文LRが横位施文されている。

1、10は胴部が括れて口縁部が開く大波状口縁深鉢形土器で、1は波底部に横刻縦瘤が施文され、波頂下に入組三叉文が施文される。また、波状の口縁部に沿って弧状の沈線が施文され、縄文RLが充填施文されている。安行3a式から3b式であろう。10は安行3a式であろう。

11は胴部が括れて口縁部が開く平口縁深鉢形土器で、口唇部に横刻を施した突起と、その下部に横刻縦瘤が貼付されている。帯縄文は縄文RLが施文されており、安行2式である。

12、13は口縁部が肥厚して内湾する砲弾形の平口縁深鉢形土器で、12は横刻縦瘤が、13は縦刻横瘤が口縁部に貼付される。帯縄文は縄文RLが施文されている。いずれも安行2式であろう。

14は胴部で括れて口縁部が外反する平口縁深鉢形土器で、磨消縄文のモチーフと蛇行沈線が垂下している。安行2式である。

15～18は口縁部が内湾する平口縁深鉢形土器である。15～17は頭部で括れて口縁部が立ち気味に外反する。16、17の口唇部には突起が付く。18は紐線文系の土器で、肥厚する口縁部に縄文RLが施文されている。安行2式から3a式である。

19は胴部で屈曲する浅鉢である。胴部には沈線の入組文が施文される瘤が付き、文様帯全体は菱形状に区画されているようである。菱形文の外側には足の長い三叉文が施文されているようである。安行3a式から3b式であろう。

2は口縁部が内湾する浅鉢で、口縁部が沈線で区画され、胴部に沈線の入組文と三叉文のみが施文されている。安行3c式であろう。

3は胴部が球形状を呈する晩期の壺であろう。地文に縄文LRが施文されている。

4はやや内湾する口縁部が開き気味に立つ器形の条線文土器で、胴上半部に横位弧状の条線文が施文され、胴下半部は粗く条線文が施文されている。安行2式から3a式であろう。

20～27は紐線文系土器で、20、24、25は口縁部に刻列が施文され、23は押圧隆帯、21、22、26、27は刺突状の刻みが施される。地文に条線文が残る20、21、23～25は安行2式から3a式、地文条線の消失する22、26、27は安行3a式から3b式であろう。

28～31は紐線文系土器で、28は口縁部に刺突文が施文される安行3c式、29～31は安行2式から安行3b式であろう。

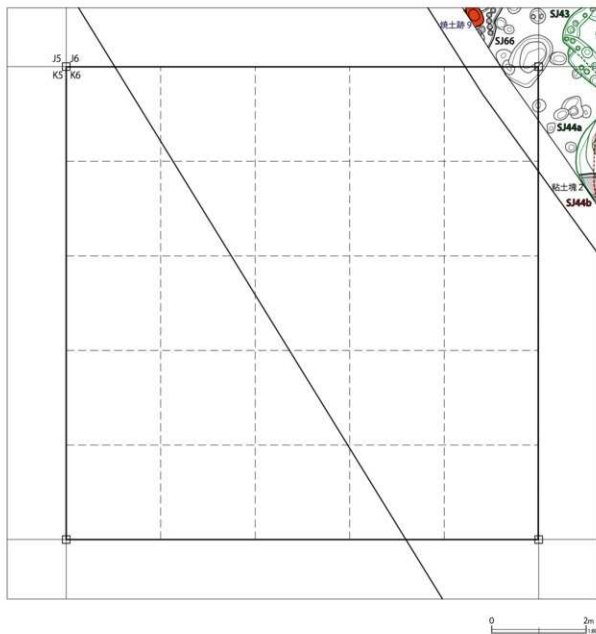
32～34は紐線文土器に系譜する、口縁部が内湾する晩期の無文土器である。

土製品類 (第678図35～37)

耳飾りは、環状形の破片が2点出土した。

第678図37は隅丸長方形を呈する土版である。

頭部の一部を欠損するが、ほぼ完形である。顔の表現があったのであろうか。表面は上部と下部が横位沈線で区画され、さらに中央部よりやや上の円形刺突文を基準にして左傾、右傾する2本沈線が垂下しており、上部区画沈線と、斜行沈線に沿って円形状を呈する刺突文が施文されている。裏面は中央部よりやや下部に沈線の円形文が施文され、それを取り囲むように肩部から両脇にかけ



第675図 K-6 グリッド検出遺構

て低隆帯が施文されている。裏面が腹面になるものと思われるが、表現的には亀などの動物形土製品と共通する部分がある。晩期安行3c式期であろう。

石器 (第679図38～43)

第679図38は玉髓製の有茎石鏃で、平面形が菱

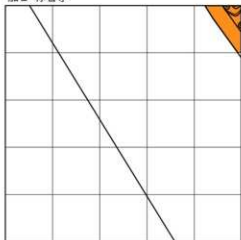
形を呈する。基部の先端が僅かに欠けている。

39は乳棒状の磨製石斧から転用された打製石斧である。

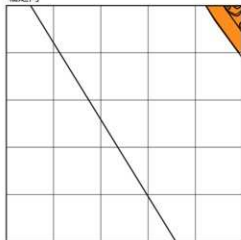
40は凹石Ⅰ類、41と42が磨石Ⅱ類である。

43は白玉状を呈する垂飾である。

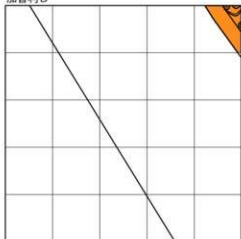
加E・称名寺



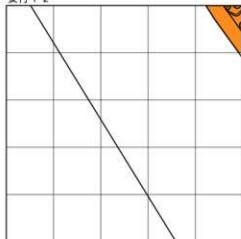
堀之内



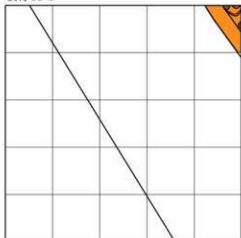
加曾利B



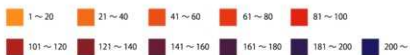
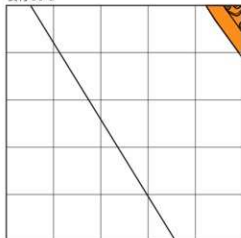
安行 1・2



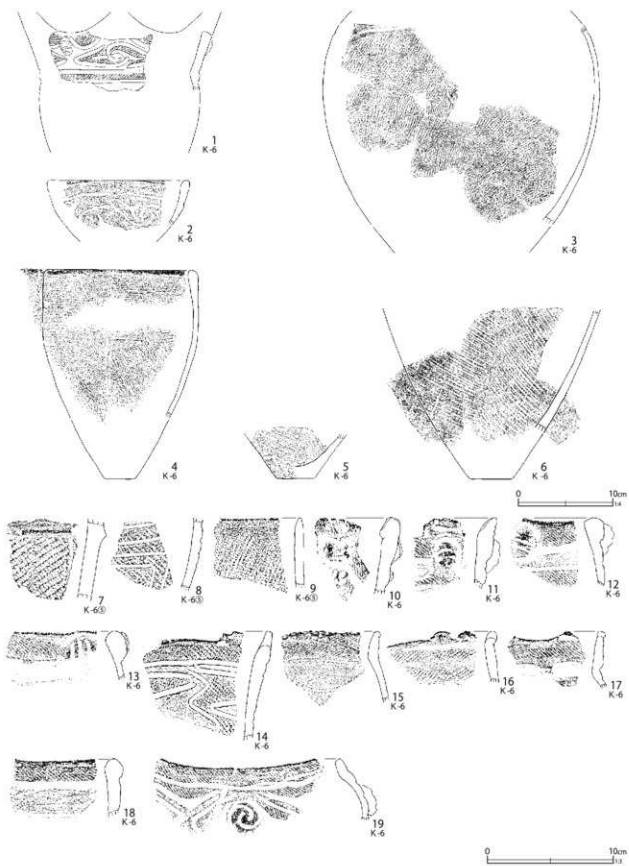
安行 3a・b



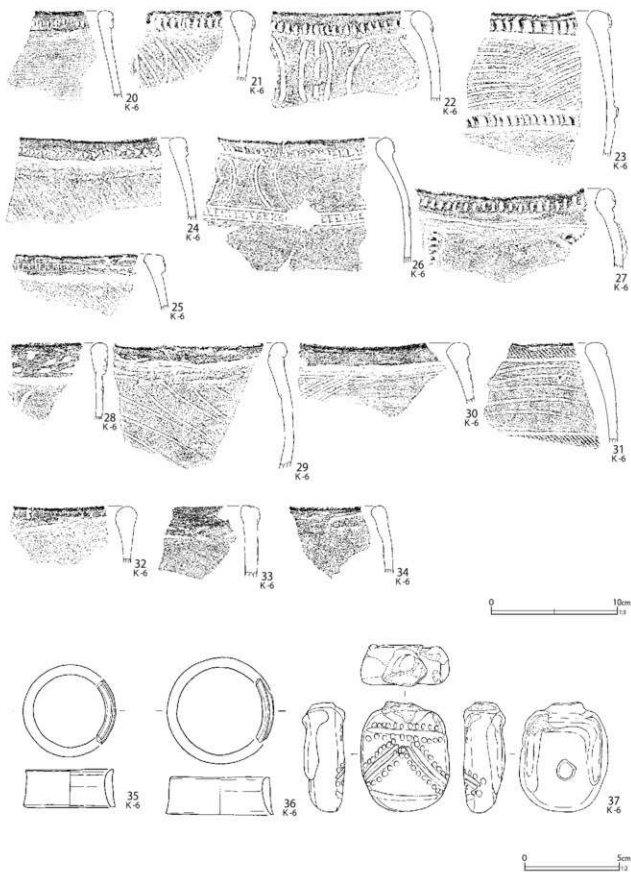
安行 3c・d



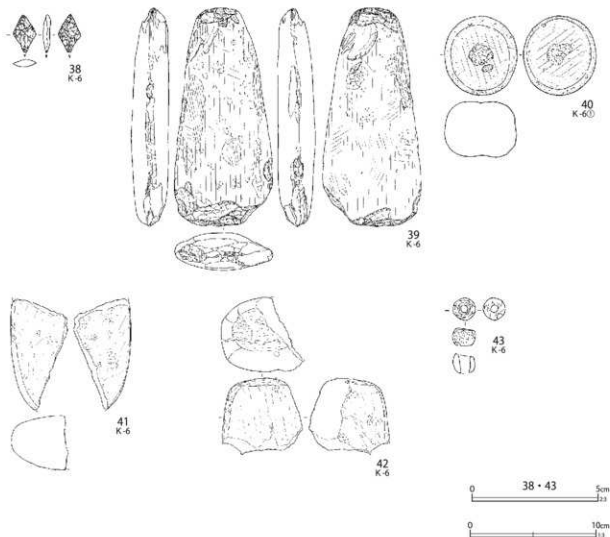
第 676 図 K-6 グリッド時期別濃淡図



第677図 K-6グリッド出土遺物(1)



第678図 K-6グリッド出土遺物(2)



第679図 K-6グリッド出土遺物(3)

第100表 K-6グリッド出土元土器観察表(第677図)

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
1	Ⅲ-2	[6.7]	-	(19.4)	-	Ⅶ1~2-A3
2	Ⅲ-2	[4.7]	(15.0)	(15.0)	-	Ⅶ1-C2
3	Ⅲ-2	[25.0]	-	(29.2)	-	Ⅶ-F

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
4	Ⅲ-2	[15.6]	(16.4)	(16.4)	-	Ⅶ2~Ⅶ1-A6
5	Ⅲ-2	[4.7]	-	(10.8)	4.0	X3
6	Ⅲ-2	[13.1]	-	(23.0)	-	X3

第101表 K-6グリッド出土破片土器観察表(第677図、第678図)

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
7	Ⅳ	Ⅲ5-A4	14	Ⅲ-2	Ⅶ2-A4	21	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A7	28	Ⅲ-2	Ⅶ1-A5
8	V-1	Ⅲ5-A4	15	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A5	22	Ⅲ-2	Ⅶ1~2-A7	29	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A5
9	V-1	Ⅵ3-A	16	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A5	23	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A7	30	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A5
10	Ⅲ-2	Ⅶ1-A3	17	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A5	24	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A7	31	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A5
11	Ⅲ-2	Ⅶ2-A4	18	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A5	25	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A7	32	Ⅲ-2	Ⅶ-A5
12	Ⅲ-2	Ⅶ2-A5	19	Ⅲ-2	Ⅶ1-D	26	Ⅲ-2	Ⅶ1~2-A7	33	Ⅲ-2	Ⅶ-A5
13	Ⅲ-2	Ⅶ2-A5	20	Ⅲ-2	Ⅶ2~Ⅶ1-A7	27	Ⅲ-2	Ⅶ1~2-A7	34	Ⅲ-2	Ⅶ-A5

第102表 K-6グリッド出土土製品観察表(第678図)

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ
37	Ⅲ-2	土版	5.9	4.7	2.3						

第103表 K-6グリッド出土耳飾り観察表(第678図)

番号	層位	径1	径2	高さ	重量	分類	番号	層位	径1	径2	高さ	重量	分類
35	Ⅲ-2	(4.8)	(4.5)	2.0	3.9	Ⅲ-Aイ	36	Ⅲ-2	(5.7)	(5.3)	2.0	3.3	Ⅲ-Aイ

第104表 K-6 グリッド出土石器観察表 (第679図)

番号	層位	器種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
38	-	石鏃	Ⅱ	土鏃	[1.5]	0.9	0.3	0.3
39	-	打製石斧	-	緑色岩	17.3	7.8	3.0	618.1
40	Ⅲ-2	凹石	I	安山岩	6.2	5.7	4.6	193.0
41	Ⅲ-2	磨石	Ⅱ	閃緑岩	[8.8]	[4.5]	4.4	179.1
42	Ⅲ-2	磨石	Ⅱ	閃緑岩	[6.1]	[6.4]	5.9	274.1
43	-	垂飾	-	ヒスイ	0.9	0.9	0.7	0.9

19 K-7 グリッド出土遺物

概要 (第680図、第681図)

本グリッドは、大型住居跡である S J 43 の南東コーナーと後期後葉及びそれ以前の重複する 3 軒の住居跡 (S J 44 a、44 b、44 c) がグリッド中央部より北側で重複する地区である。

また、晩期前葉から中葉にかけての土壌 3 基 (S K 328、329、338)、晩期前葉の遺物集中 1 箇所 (16)、焼土跡 1 箇所 (8) が住居跡などと重複しながら存在する。

第 6 図の土層断面図で明らかのように、S J 43 が新しく、S J 44 の上位に構築されており、S J 43 が埋没した後に、S J 43 の上に盛土が形成される流れの中で S J 44 の上にも盛土が行われている。従って、本グリッドからは各時期の遺物が出土しており、Ⅱ～Ⅲ層からは晩期中葉の安行 3 c 式が出土するが、F～H ラインと比較すると激減している。最下層には後期中葉以前の S J 44 c が存在することから、後期後葉以降の土器群も相当数出土した。

後期安行式の安行 1 式、2 式は、グリッド中央部の⑦～⑨、⑫～⑭、⑰～⑲小グリッドを中心として多く出土している。一方、晩期安行式の安行 3 a 式から 3 b 式は、①②⑦、④、⑱⑲小グリッドの 3 箇所に集中が分かれていた。

また、土製円盤は 130 点出土しており、安行 1 式、2 式が多出する⑦～⑨、⑫～⑭小グリッドを中心にして多く出土する傾向にあった。さらに、グリッド東側の⑩⑮⑲⑳㉑のラインでも多く出土する傾向にある。土偶は中実のみみずく土偶が多く出土している。

縄文土器 (第682図 1～第747図 1708)

第 699 図 182～188 は前期第 II 群第 1 類の花積下層式土器である。182、184 は口縁部に R と L を合わせた側面瓦痕文が施文される。183 は集合沈線の鋸歯状文が施文される。189 は第 4 類諸磯 a 式土器で、条線状の細い平行沈線が施文される。

190～192 は中期第 III 群第 5 類の加曾利 E Ⅲ式土器である。190、191 はキャリバー形土器の口縁部破片である。192 は隆帯の渦巻文が施文される胴部破片である。

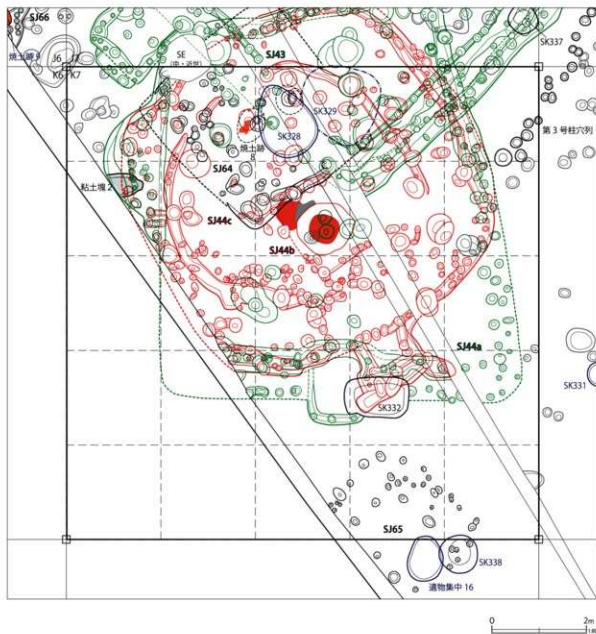
193 は後期第 IV 群第 1 類の称名寺 1 式土器である。194～200 は第 3 類の堀之内 1 式土器で、201～209 は第 4 類の堀之内 2 式土器である。

1、210～291 は第 V 群の加曾利 B 式土器である。1 は 3 単位把手の波状口縁土器で、波頂部に貼付文が施文され、胴部に 3～4 本の並行沈線が螺旋状に施文されている。加曾利 B 1 式である。

2、210～215 は口縁部が開く深鉢形土器で、210、211、213 は 3 単位把手深鉢である。2 は湾曲する縄文帯が口縁部の貼付文下に連続的に垂下する対括弧状区切文で区切られる。212 は把手の付く斜線文土器である。加曾利 B 2 式から B 3 式である。

216～220 は加曾利 B 2 式から B 3 式の胴部が屈曲する大森タイプの深鉢である。216、218、220 は胴部が縄文帯で区画される。217 は刻目隆帯で区画され、胴部に斜線が施文される。

221～223 は平口縁の斜線文土器で、221 は地文に縄文が施文される。224、225 は胴部が括れる 5 単位波状口縁の深鉢形土器で、224 は口縁部を無文にしている。226～228 は斜線文土器の胴部破片である。



遺構	小グリッド	所屬時期	遺構	小グリッド	所屬時期	遺構	小グリッド	所屬時期
S J 43 a	1~5 8 9	後期後葉から晩期初葉	S J 64	1~3 7 8	晩期前葉以降	遺物集中 16	24	晩期初葉
S J 43 b	1~5 8 9	後期後葉から晩期初葉	S J 65	23~25	晩期前葉以降	第3号柱穴列	5 10	不明
S J 43 c	1~5 8 9	後期後葉から晩期初葉	S K 328	3	晩期中葉	粘土埴 2	6	不明
S J 44 a	1~10 12~15 17~20	後期後葉	S K 329	3 4	晩期前葉から晩期中葉	粘土埴 6	2 3	晩期初葉
S J 44 b	1~10 12~15 17~20	後期後葉以前	S K 332	18 19	不明			
S J 44 c	2~4 7~9 12~14	後期中葉以前	S K 338	25	晩期初葉			

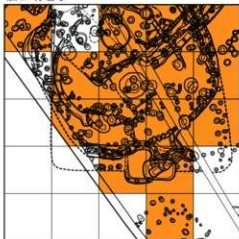
第 680 図 K-7 グリッド検出遺構

229~236は斜格子目文土器である。229、234、235は胴部が無文帯で区画され、229~232、234は地に縄文が施文される遠部第四類系土器である。

237~243は5単位波状口縁土器で、237~240

は口縁部に刻みが施される縄文施文土器である。242、243は口縁部が無文になるものであるが、胴部に縄文か条線文が施文されるものであろう。加曾利B 3式である。

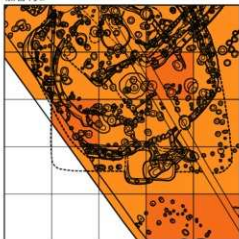
加E・称名寺



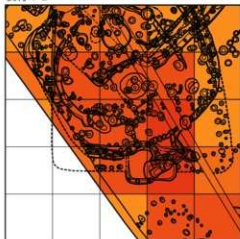
堀之内



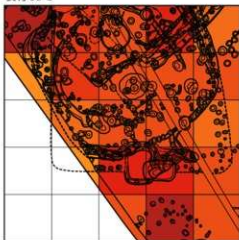
加曾利B



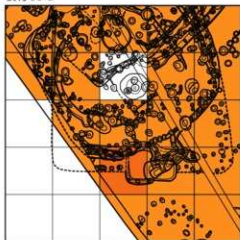
安行 1・2



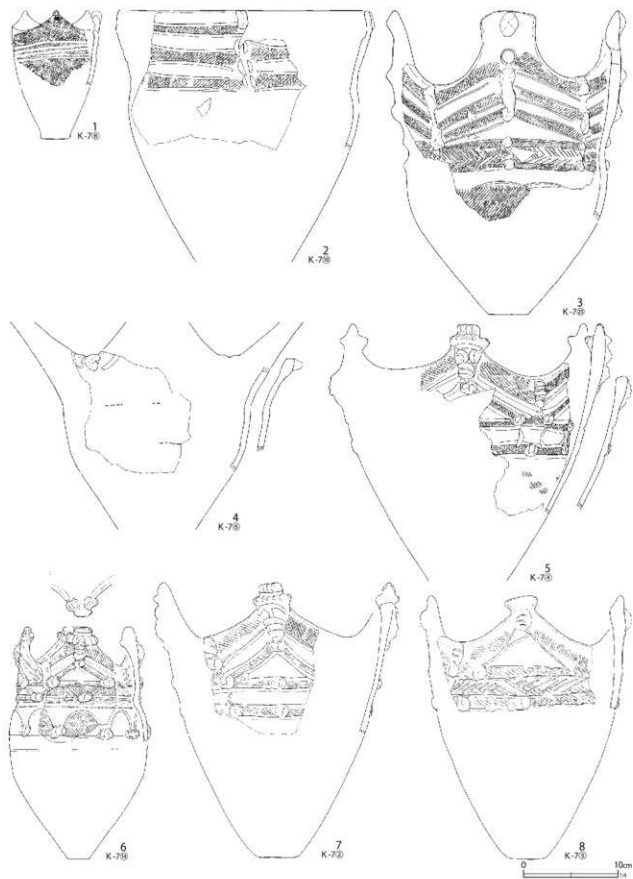
安行 3a・b



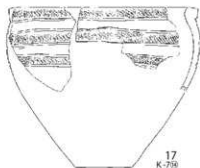
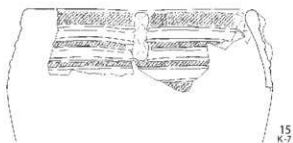
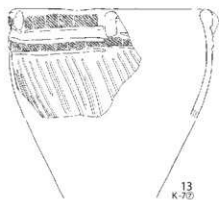
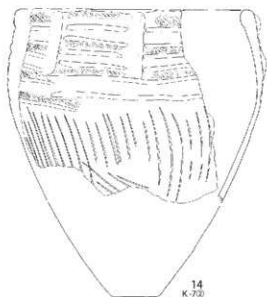
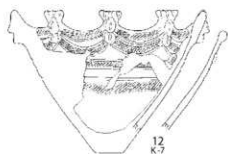
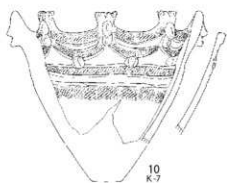
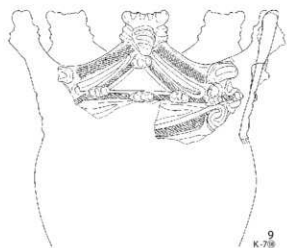
安行 3c・d



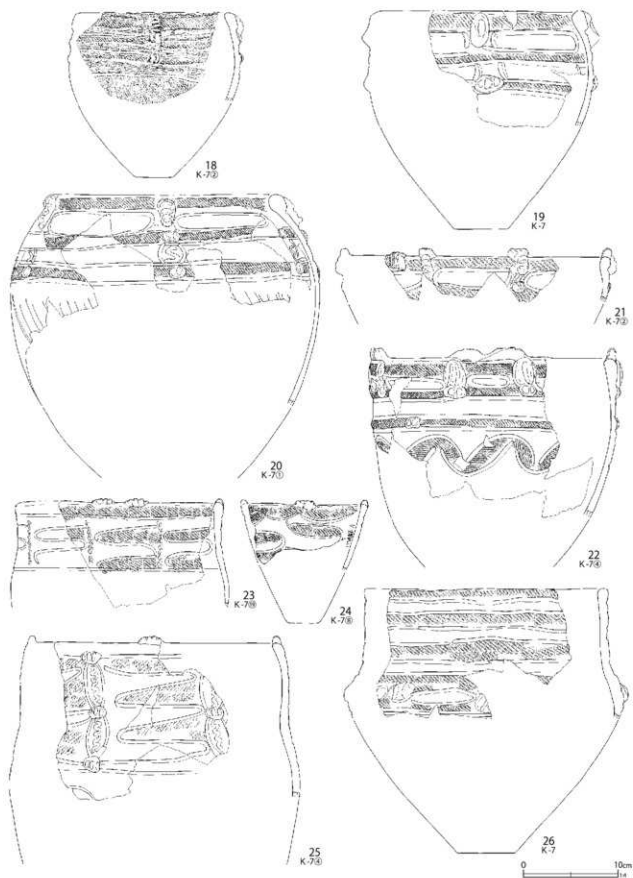
第 681 図 K-7 グリッド 時期別濃淡図



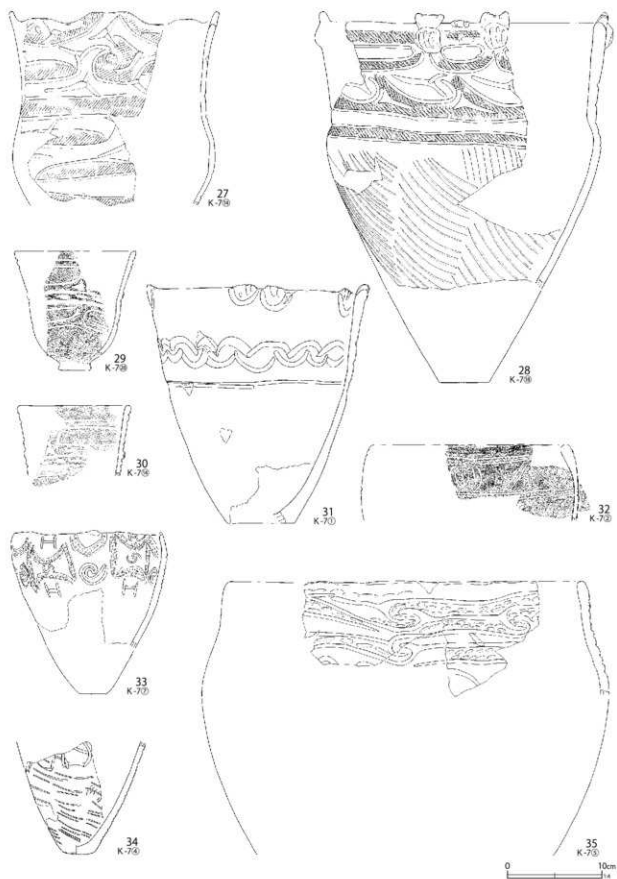
第682図 K-7グリッド出土遺物(1)



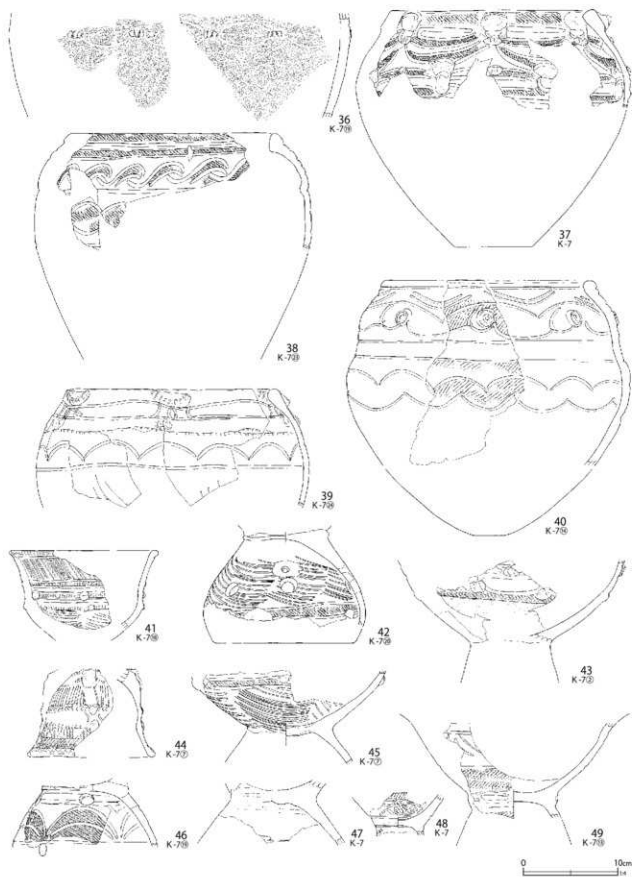
第 683 図 K-7 グリッド出土遺物 (2)



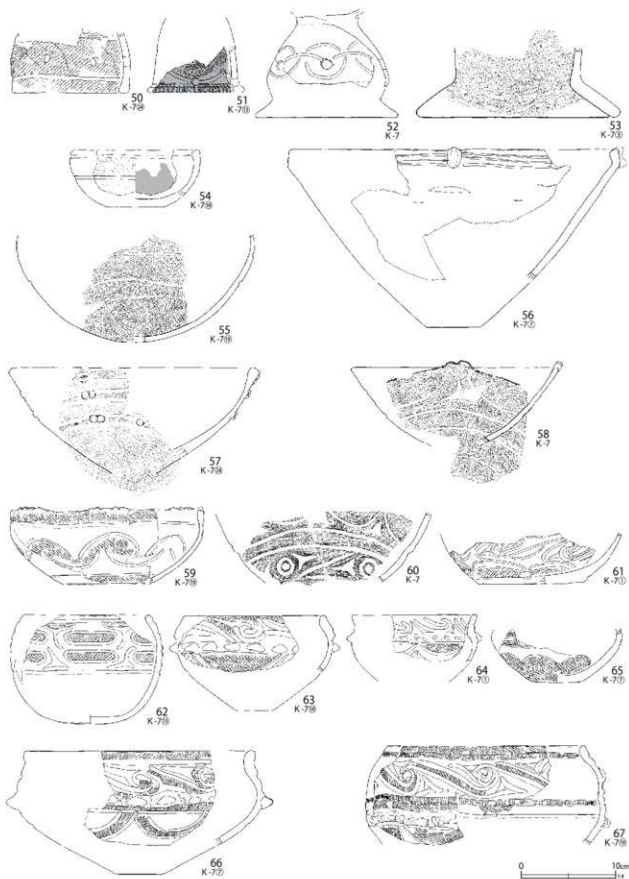
第684図 K-7グリッド出土遺物(3)



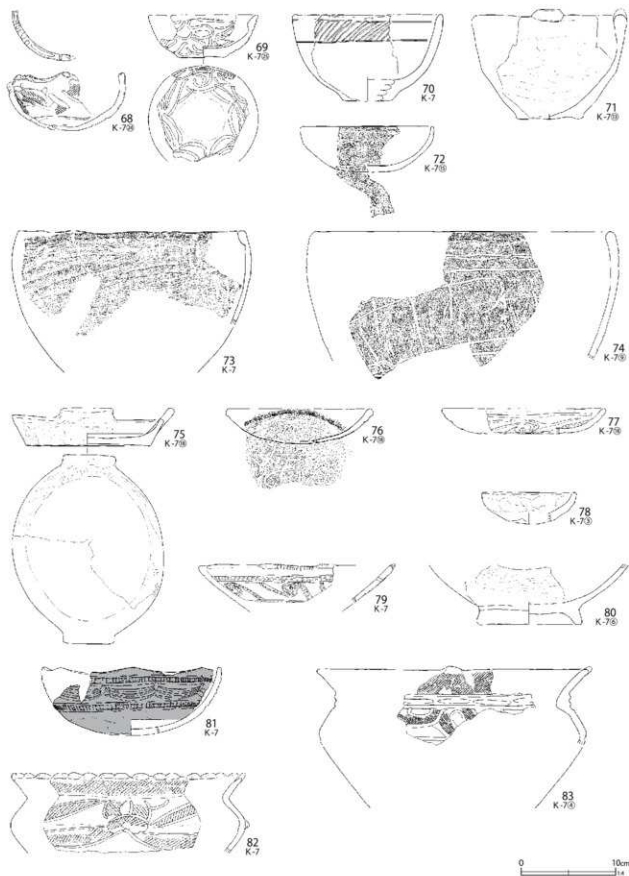
第 685 図 K-7グリッド出土遺物 (4)



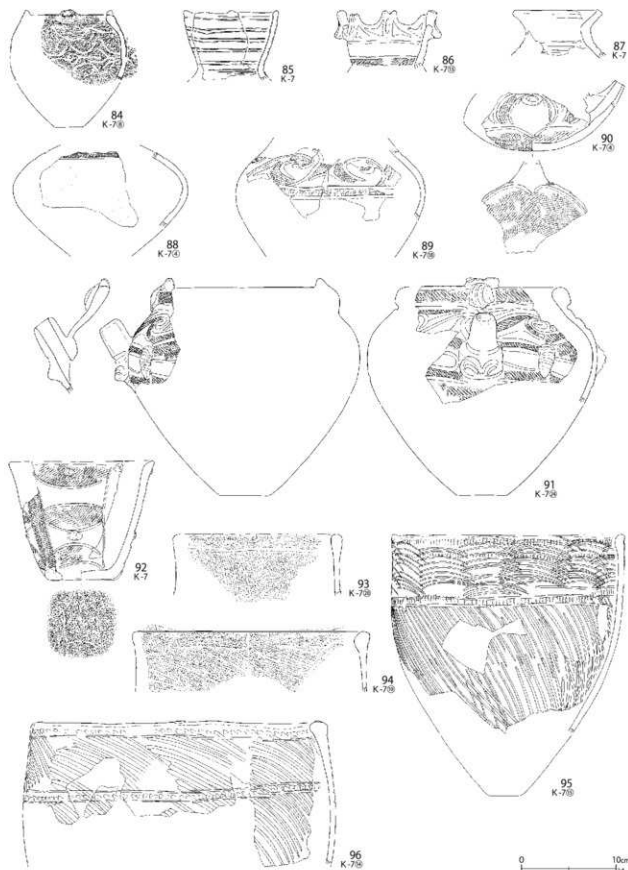
第686図 K-7グリッド出土遺物(5)



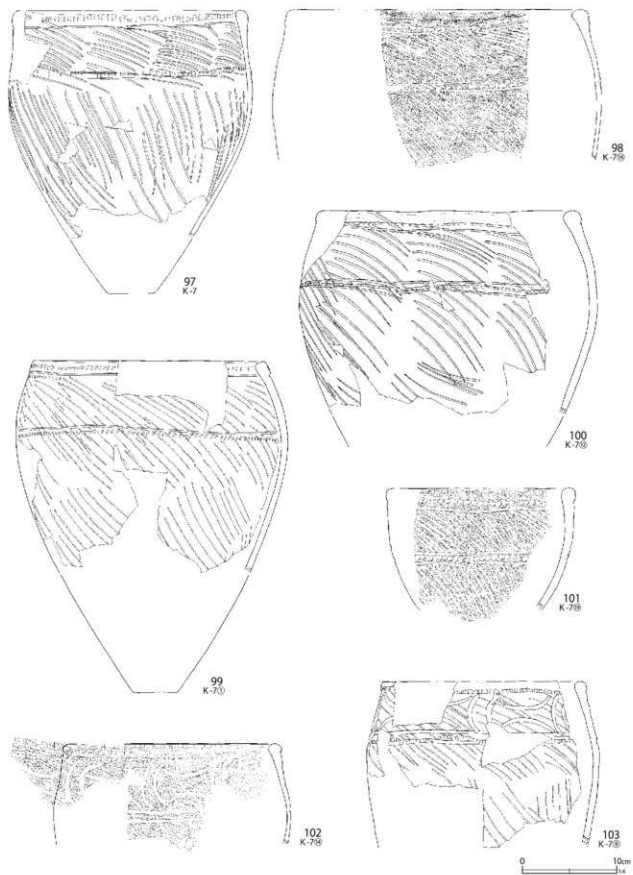
第687図 K-7グリッド出土遺物(6)



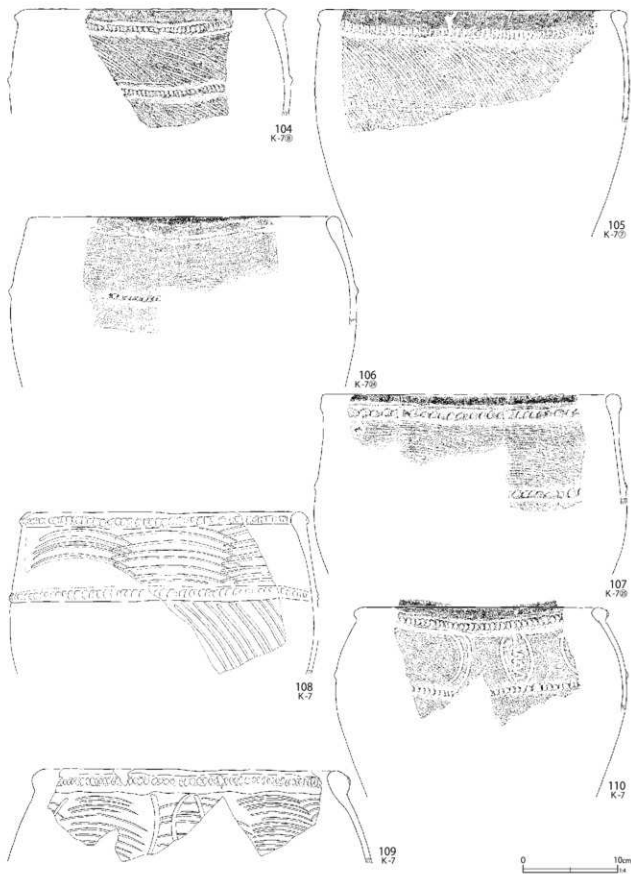
第688図 K-7グリッド出土遺物(7)



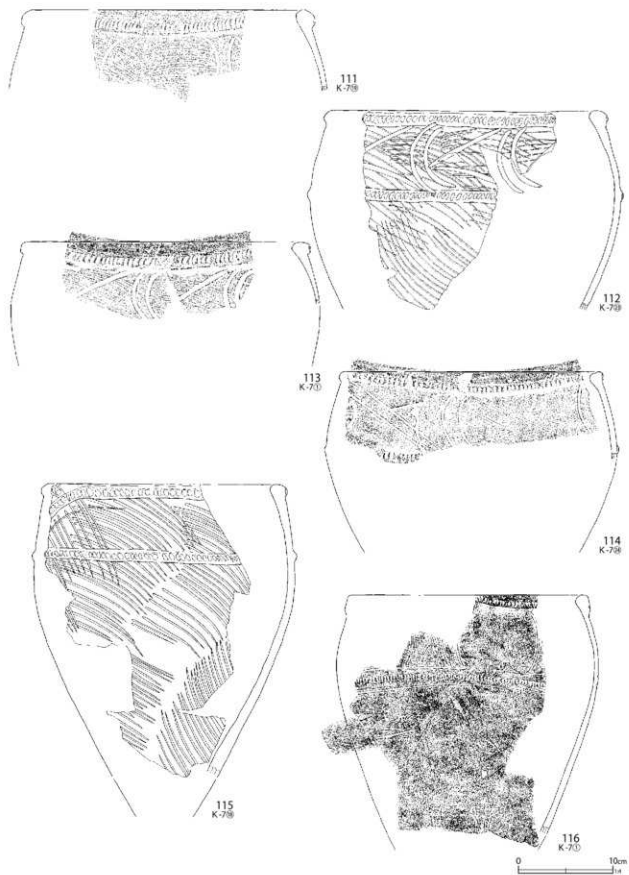
第 689 図 K-7グリッド出土遺物 (8)



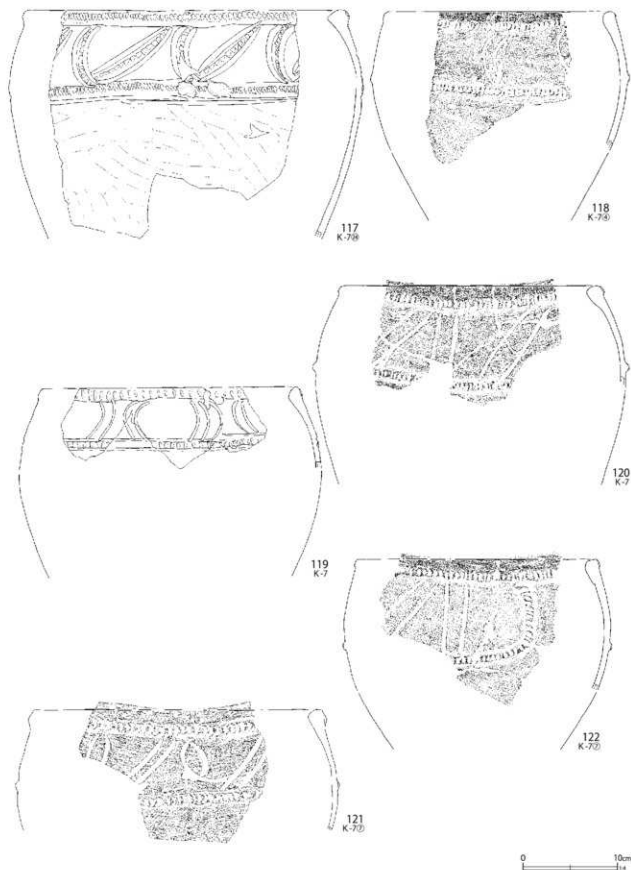
第690図 K-7グリッド出土遺物(9)



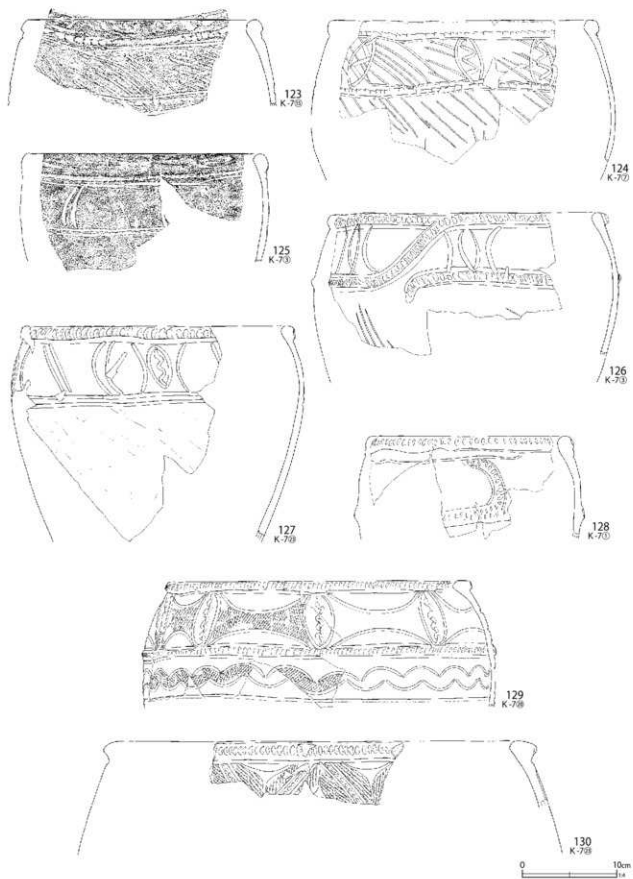
第 691 図 K-7グリッド出土遺物 (10)



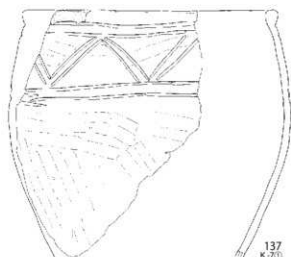
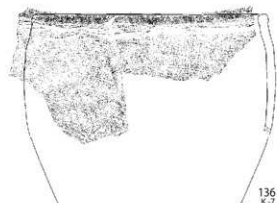
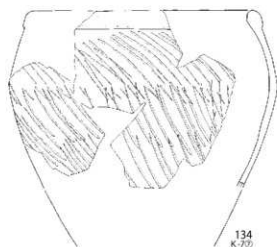
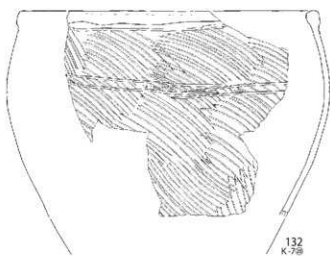
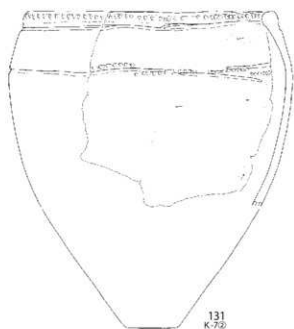
第692図 K-7グリッド出土遺物 (11)



第 693 図 K-7グリッド出土遺物 (12)



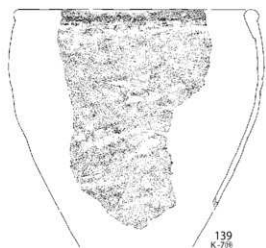
第694図 K-7グリッド出土遺物 (13)



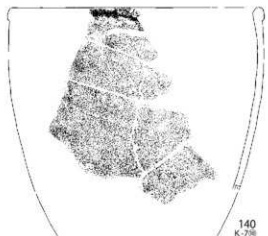
第 695 図 K-7グリッド出土遺物 (14)



138
K-7d



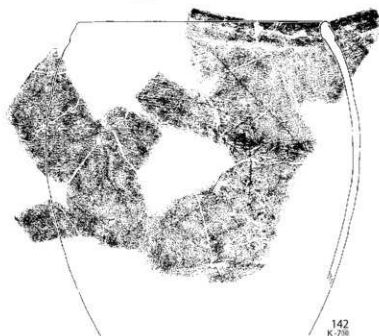
139
K-7b



140
K-7b



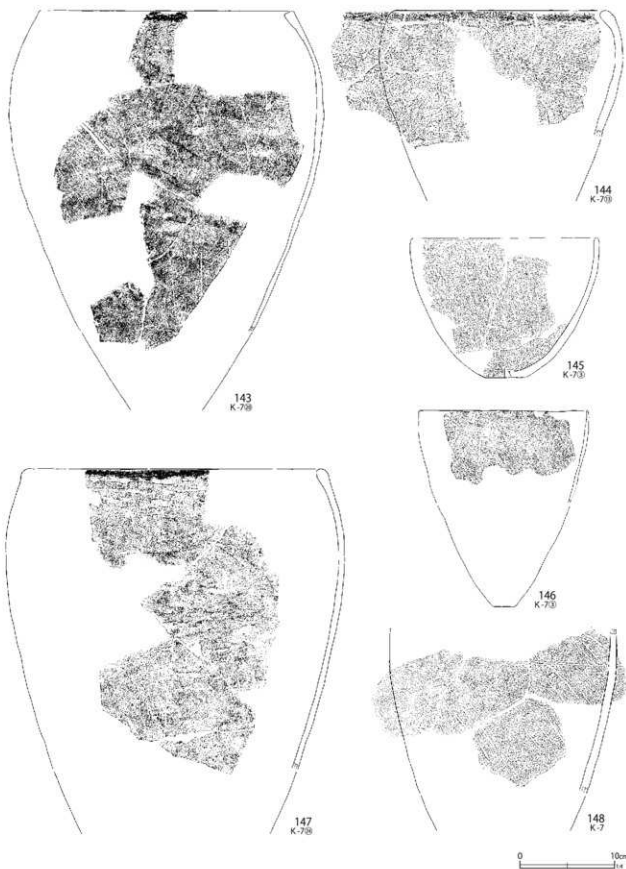
141
K-7



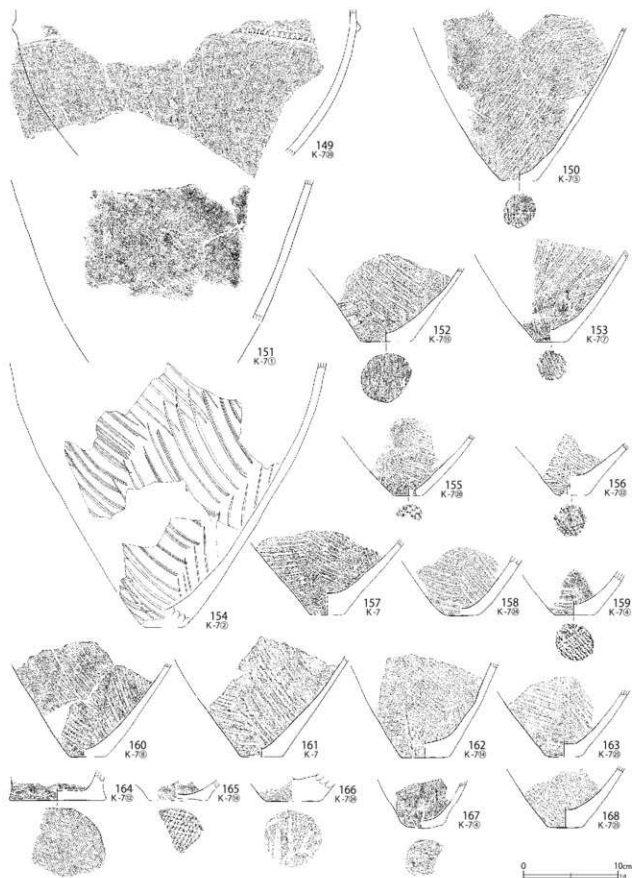
142
K-7b



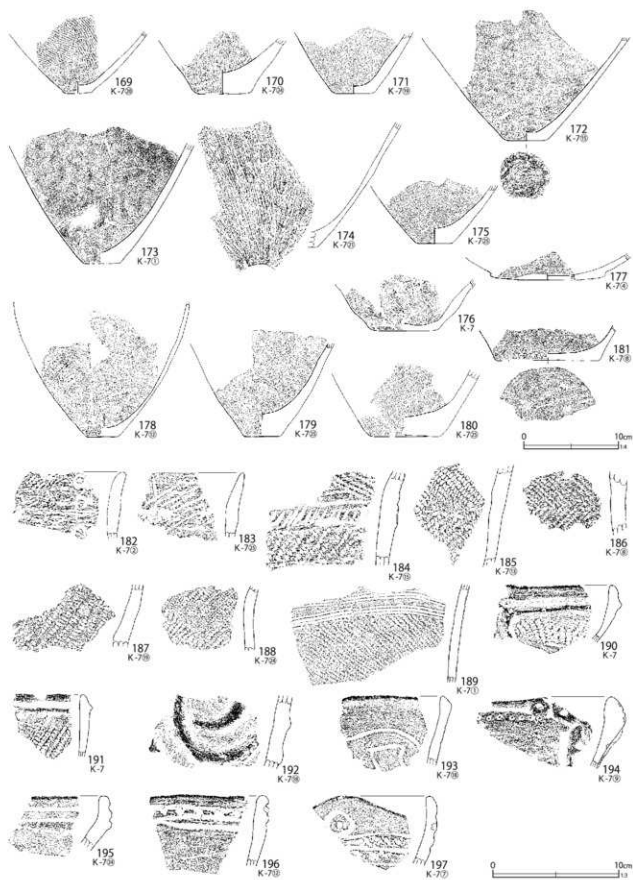
第 696 図 K-7 グリッド出土遺物 (15)



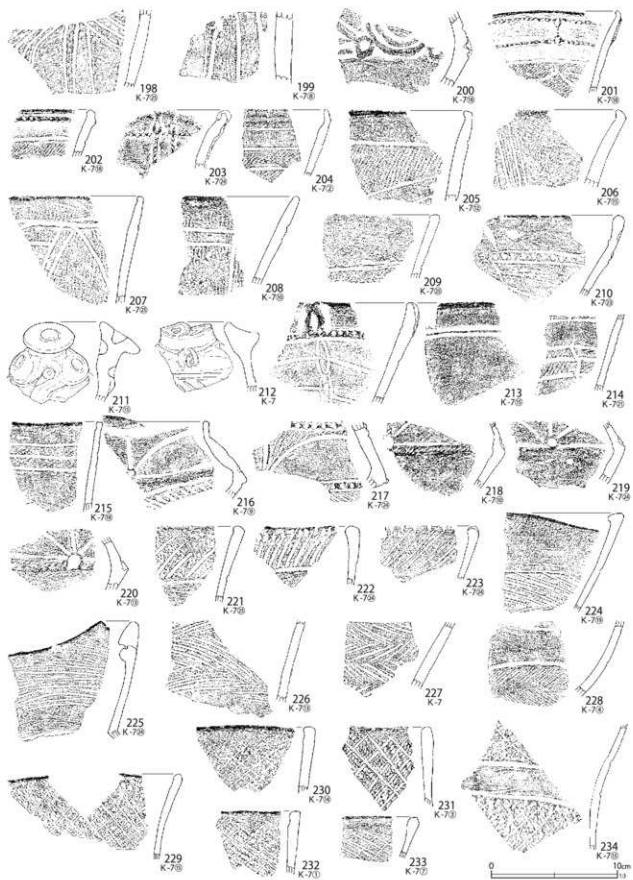
第 697 図 K-7グリッド出土遺物 (16)



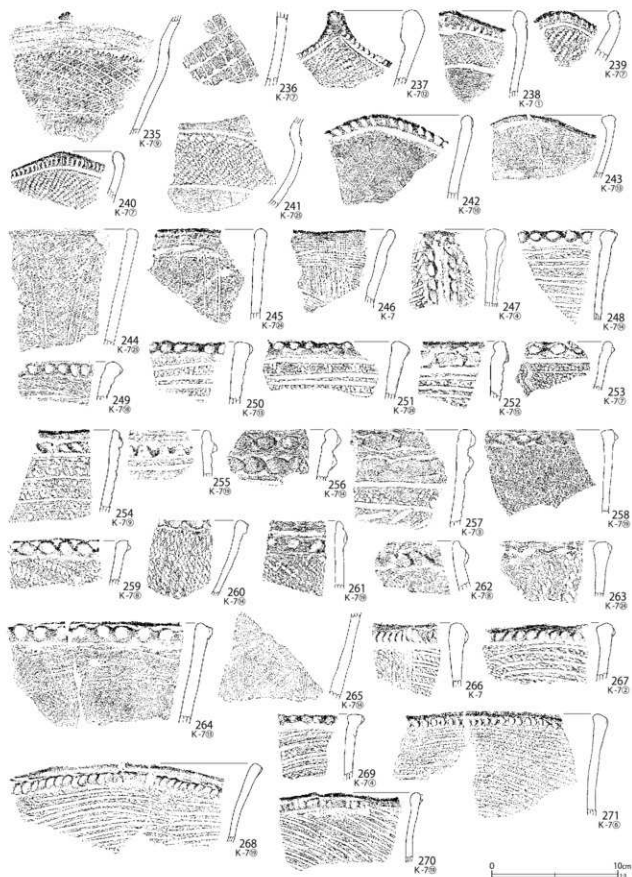
第 698 図 K-7 グリッド出土遺物 (17)



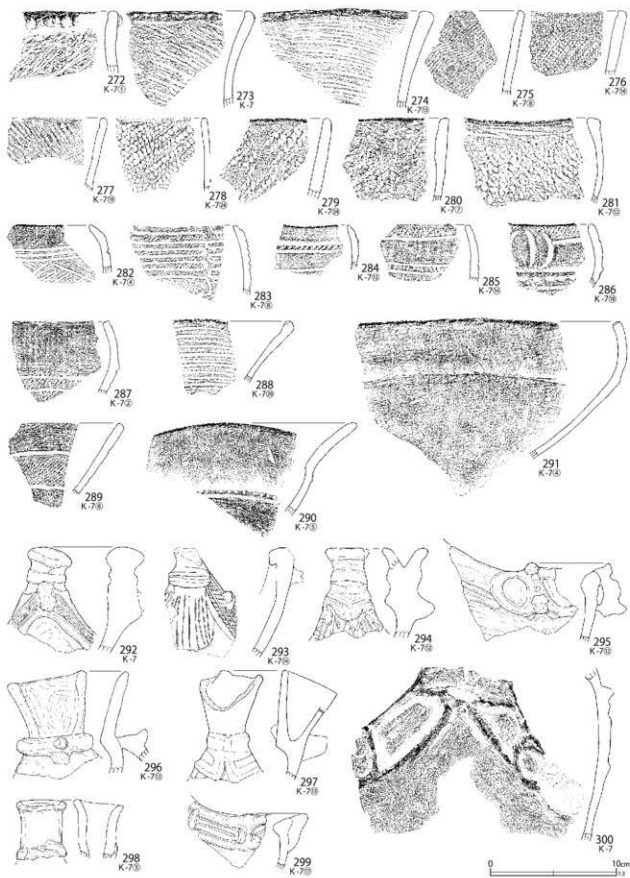
第 699 図 K-7グリッド出土遺物 (18)



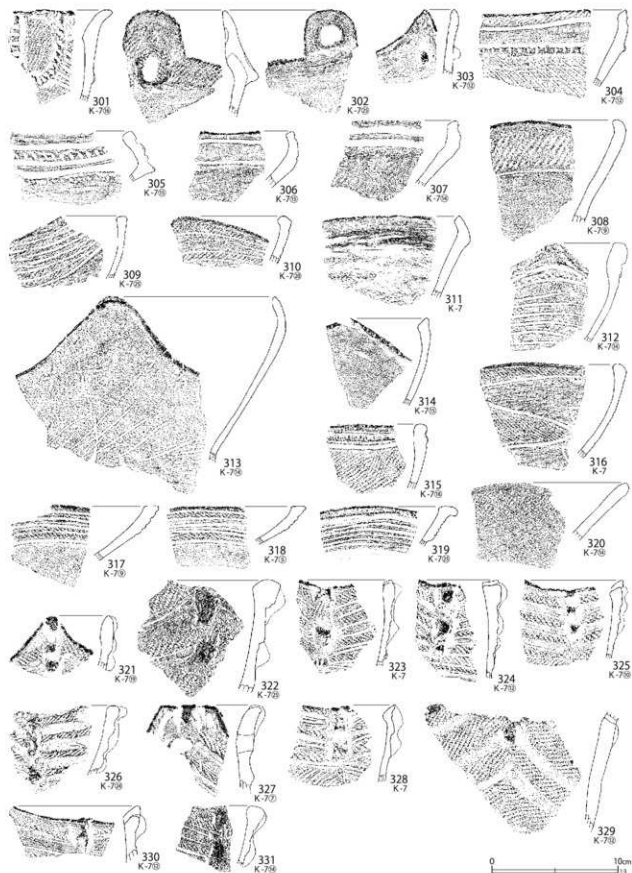
第700図 K-7グリッド出土遺物 (19)



第701図 K-7グリッド出土遺物(20)



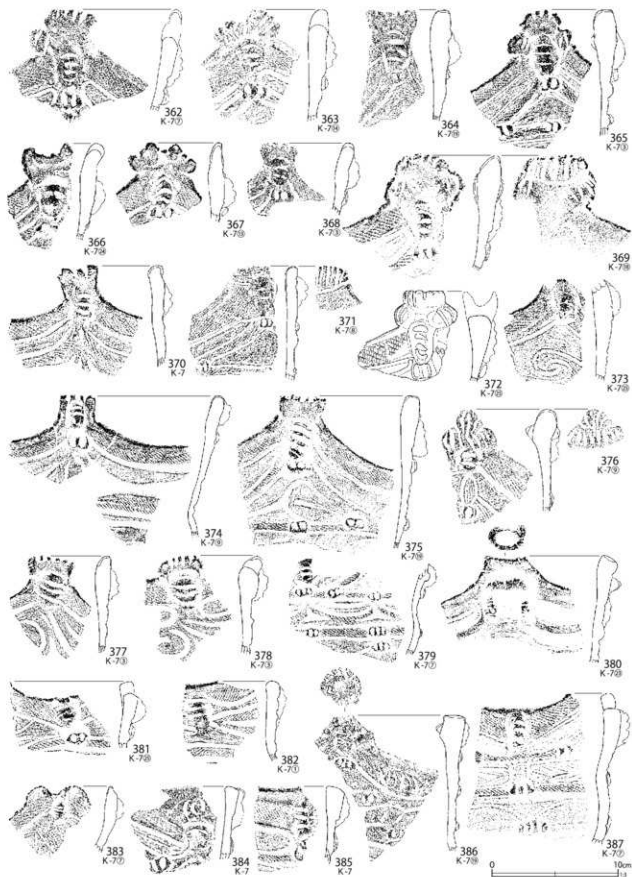
第702図 K-7グリッド出土遺物(21)



第703図 K-7グリッド出土遺物 (22)



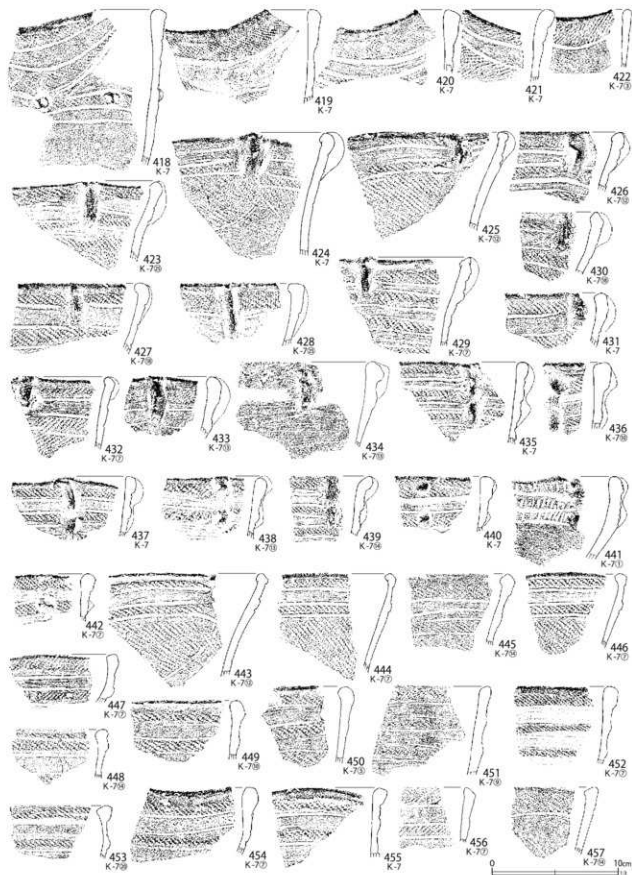
第704図 K-7グリッド出土遺物 (23)



第705図 K-7グリッド出土遺物 (24)



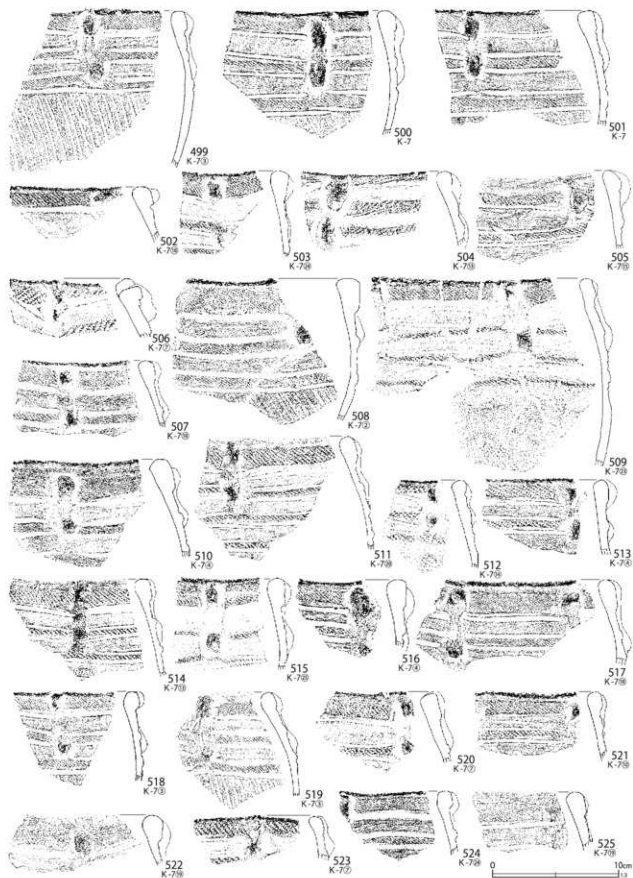
第706図 K-7グリッド出土遺物(25)



第707図 K-7グリッド出土遺物(26)



第708図 K-7グリッド出土遺物(27)



第709図 K-7グリッド出土遺物(28)



第710図 K-7グリッド出土遺物 (29)



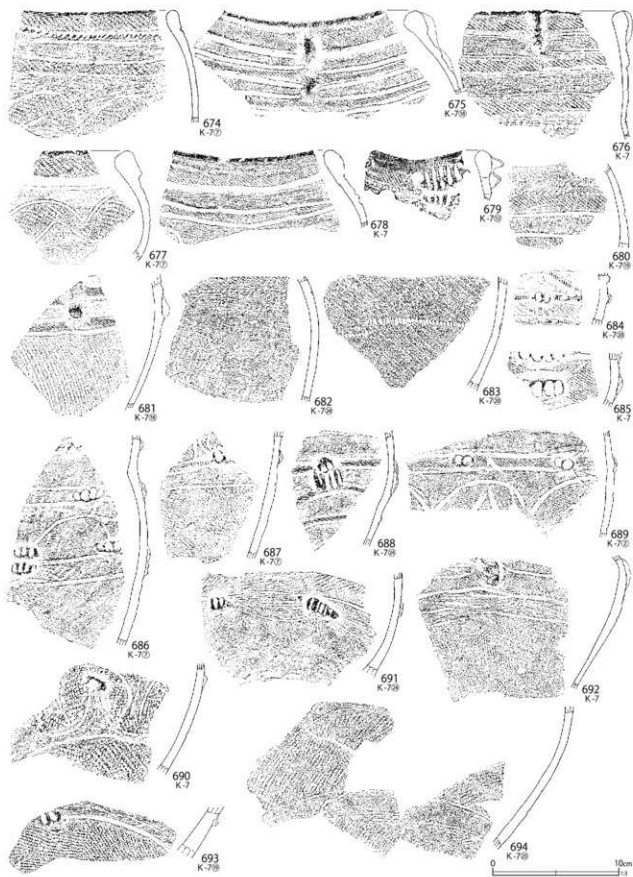
第711図 K-7グリッド出土遺物 (30)



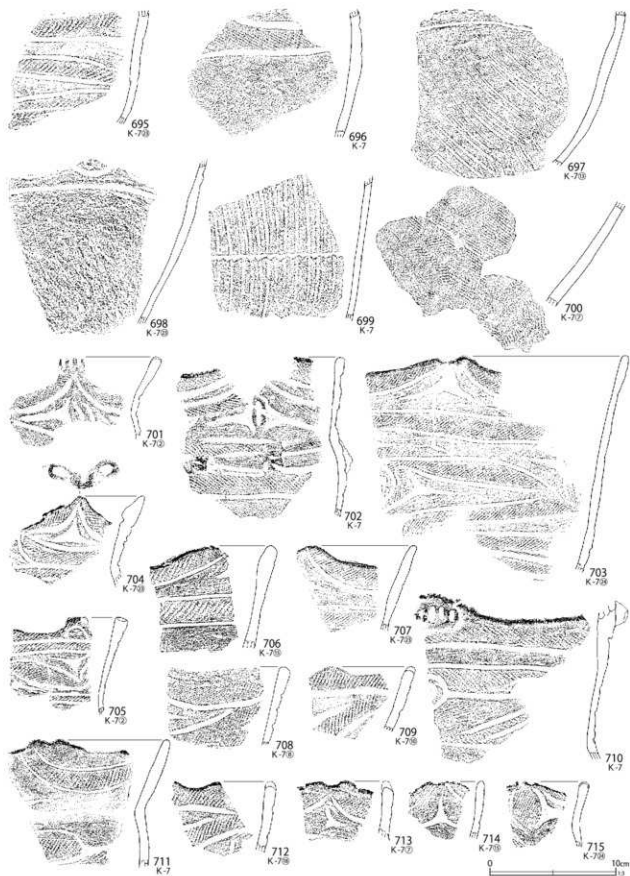
第712図 K-7グリッド出土遺物 (31)



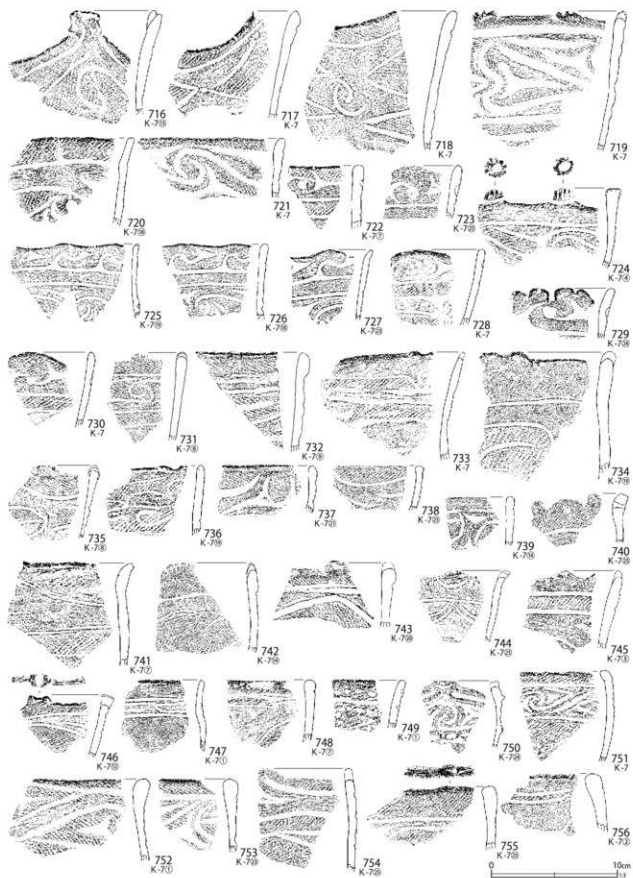
第713図 K-7グリッド出土遺物 (32)



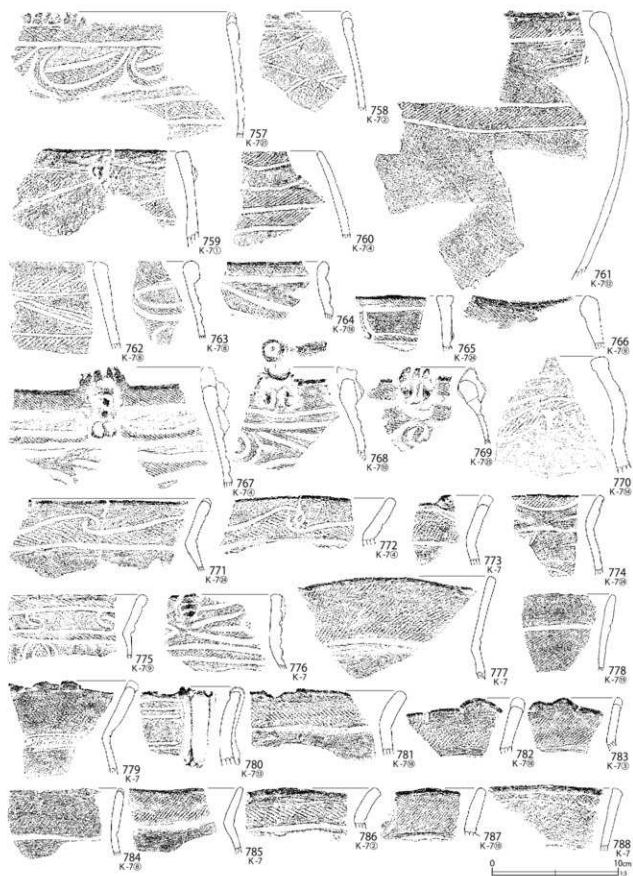
第714図 K-7グリッド出土遺物 (33)



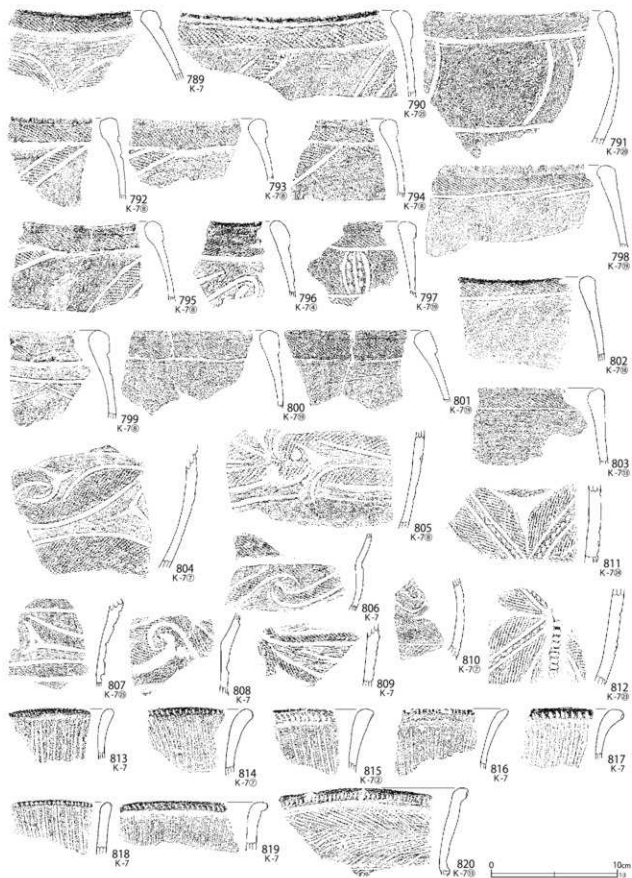
第715図 K-7グリッド出土遺物 (34)



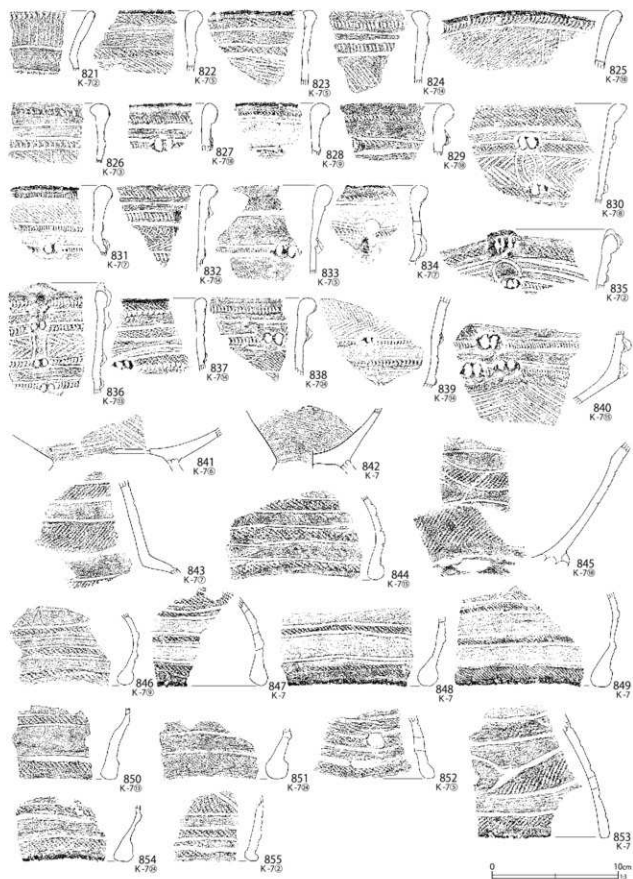
第716図 K-7グリッド出土遺物 (35)



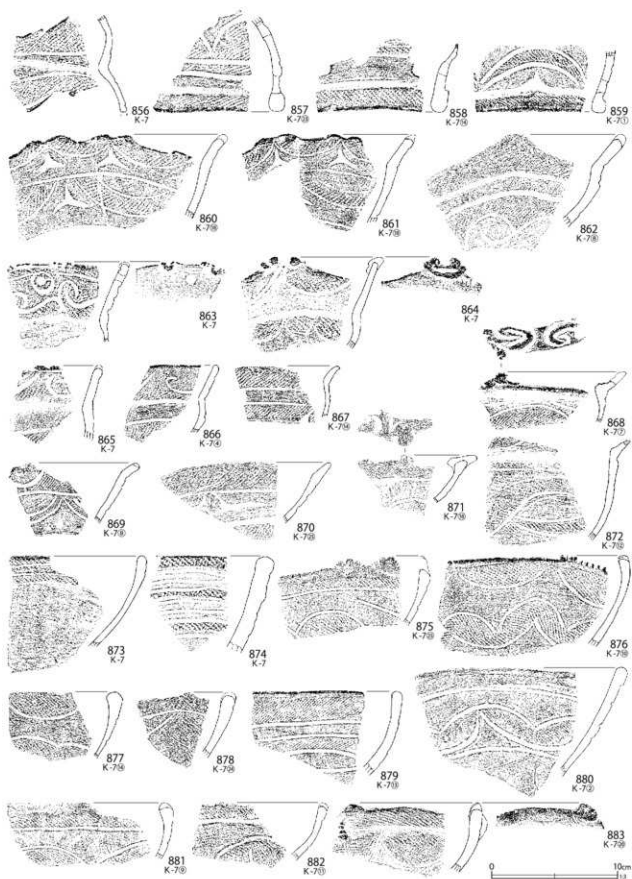
第717図 K-7グリッド出土遺物 (36)



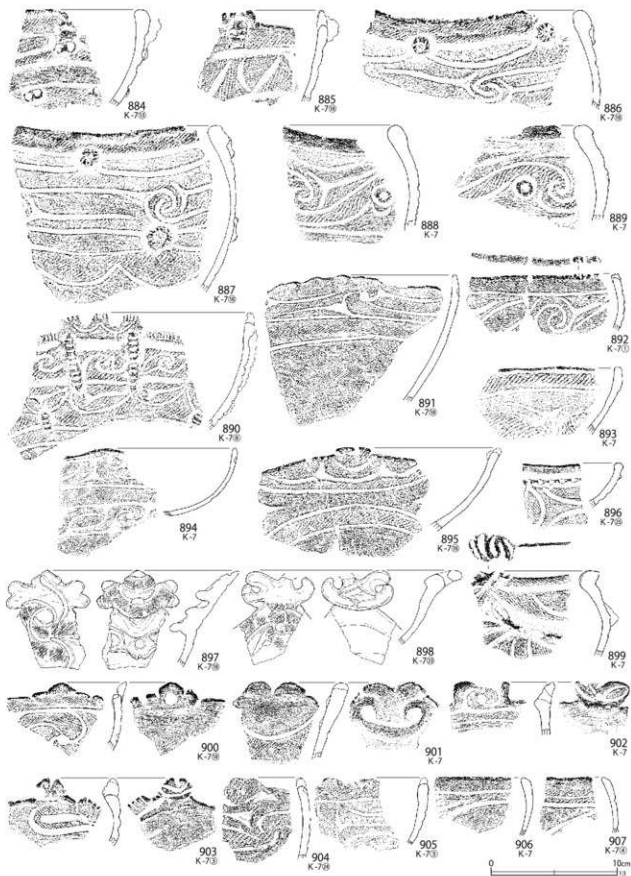
第718図 K-7グリッド出土遺物 (37)



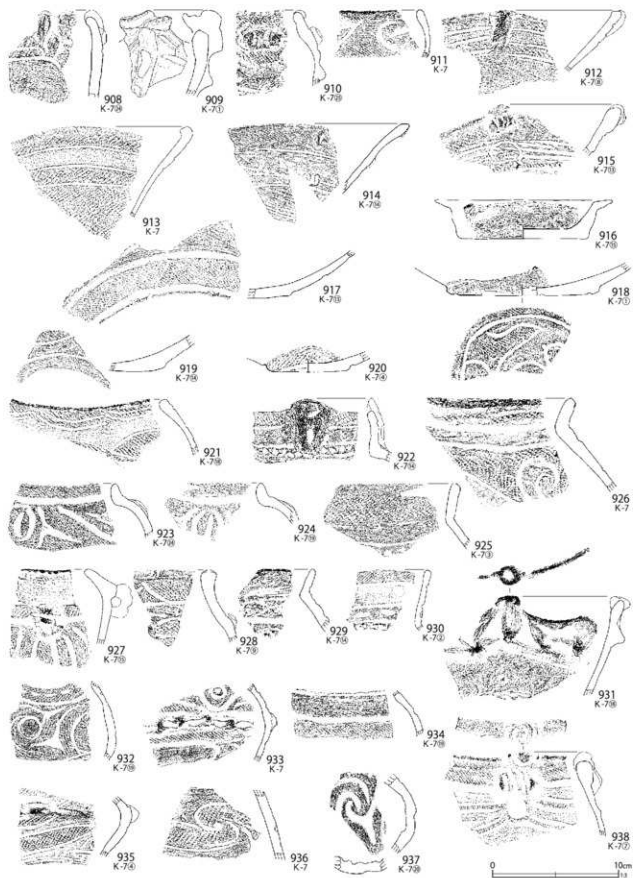
第719図 K-7グリッド出土遺物(38)



第720図 K-7グリッド出土遺物(39)



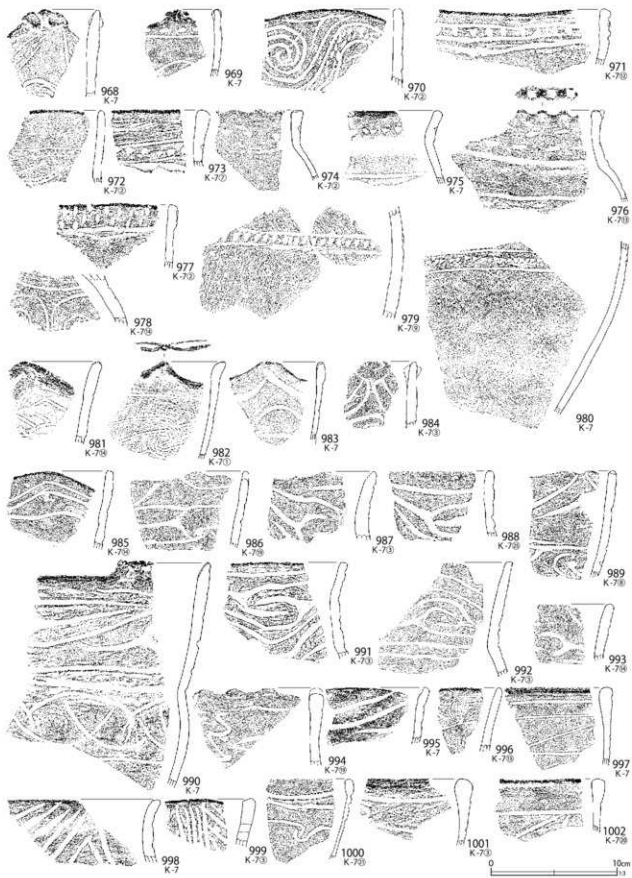
第721図 K-7グリッド出土遺物(40)



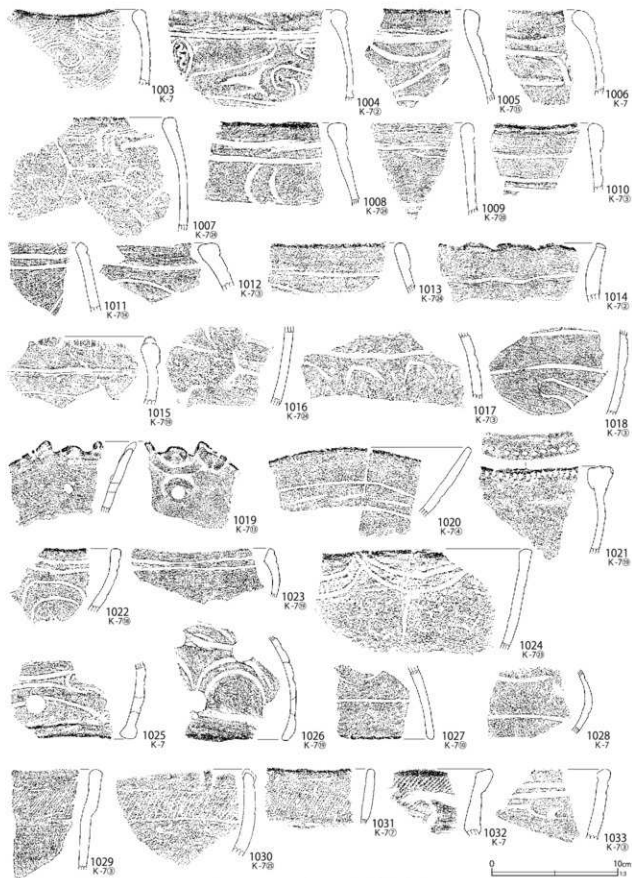
第 722 図 K-7 グリッド出土遺物 (41)



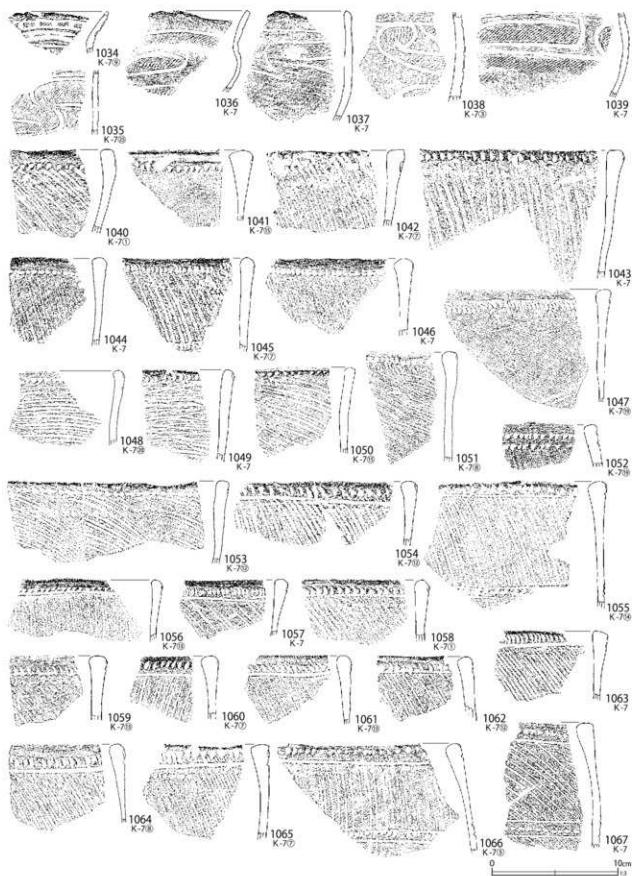
第723図 K-7グリッド出土遺物 (42)



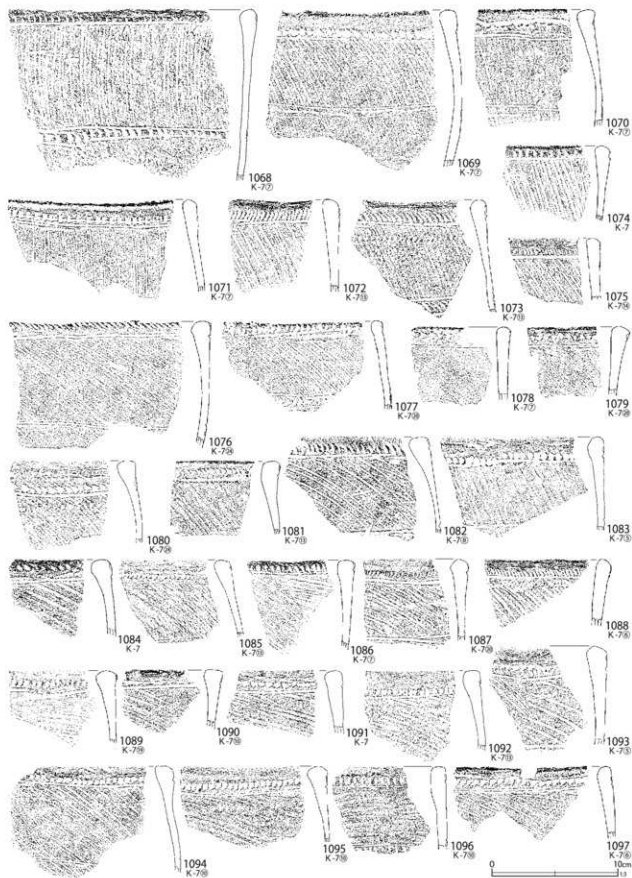
第724図 K-7グリッド出土遺物(43)



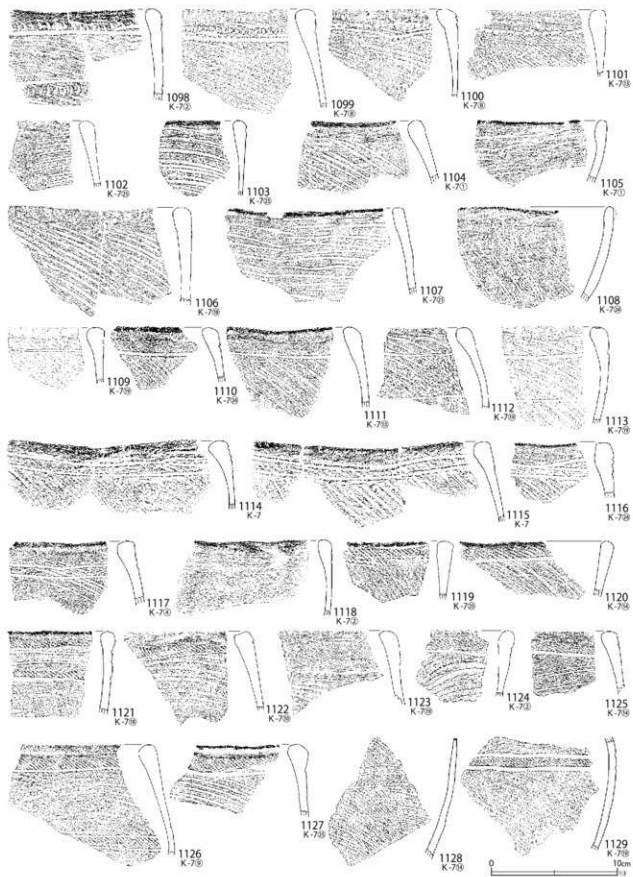
第 725 図 K-7グリッド出土遺物 (44)



第 726 図 K-7 グリッド出土遺物 (45)



第 727 図 K-7 グリッド出土遺物 (46)



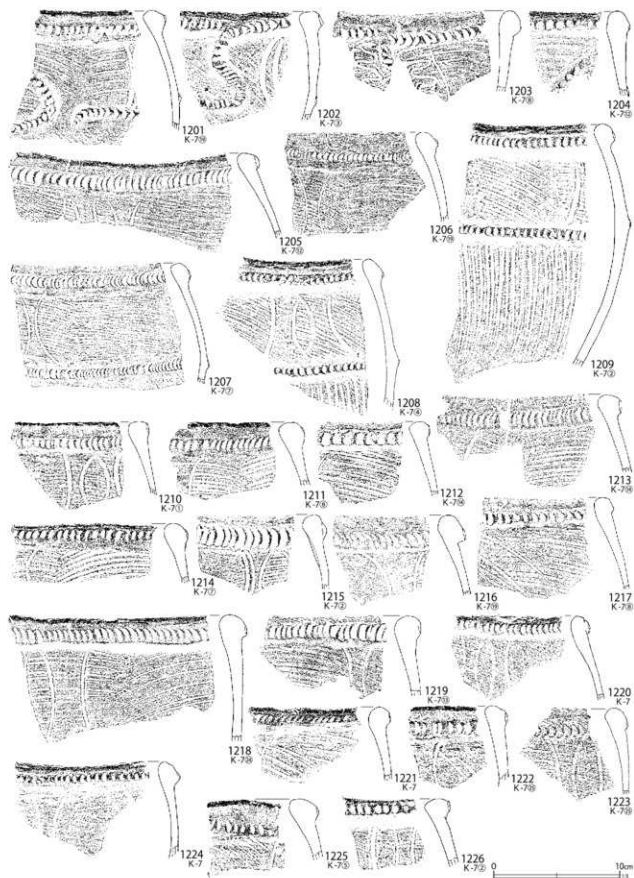
第 728 図 K-7 グリッド出土遺物 (47)



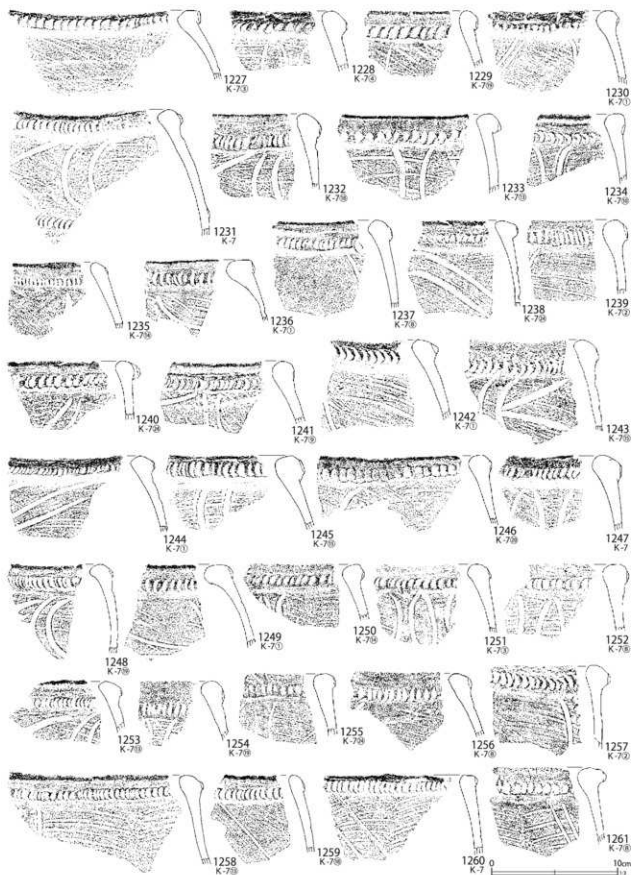
第729図 K-7グリッド出土遺物(48)



第 730 図 K-7 グリッド出土遺物 (49)



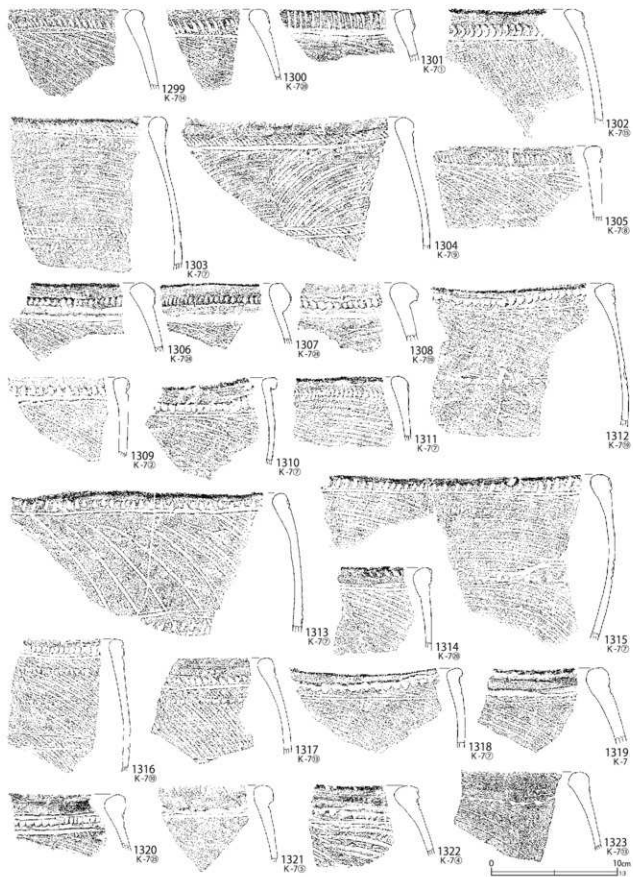
第731図 K-7グリッド出土遺物 (50)



第732図 K-7グリッド出土遺物(51)



第733図 K-7グリッド出土遺物 (52)



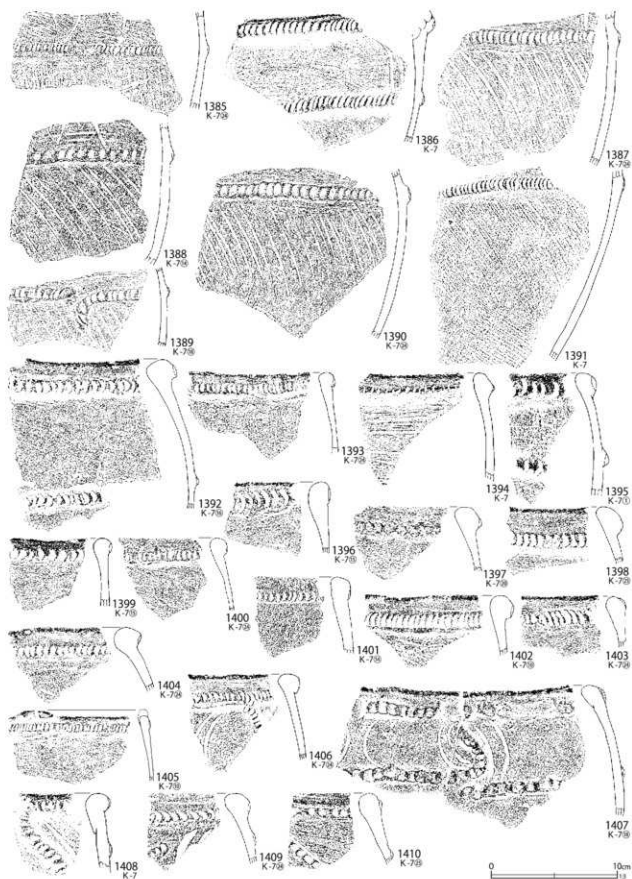
第734図 K-7グリッド出土遺物 (53)



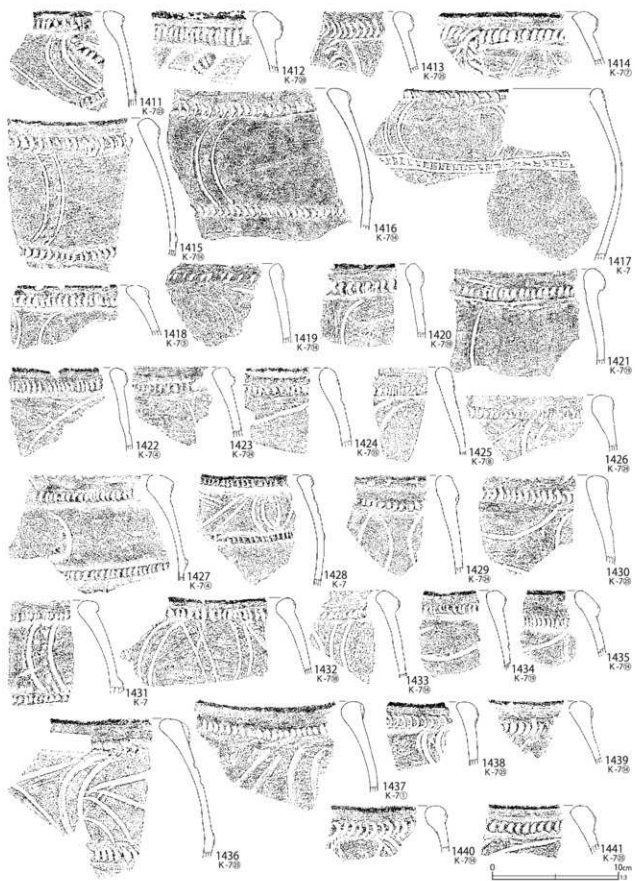
第735図 K-7グリッド出土遺物 (54)



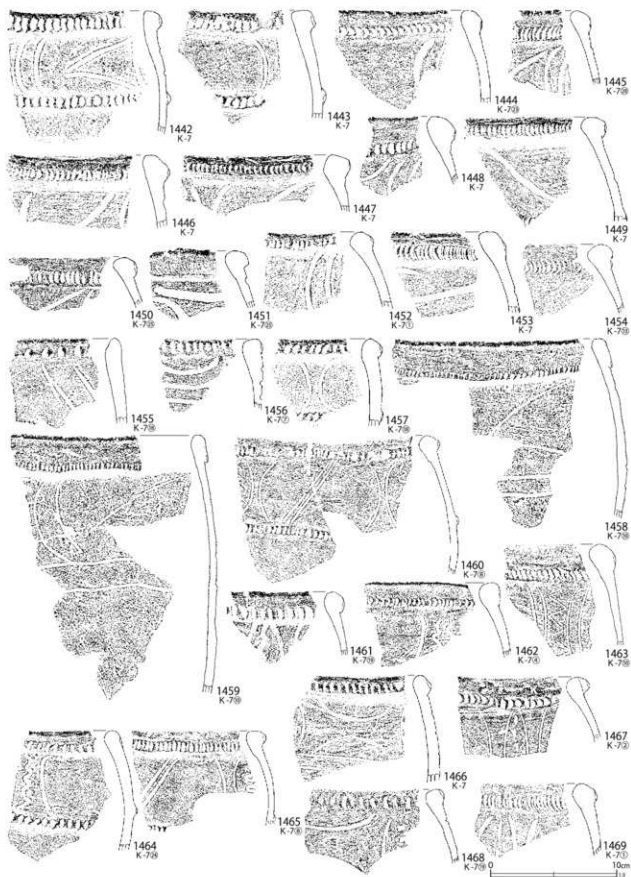
第736図 K-7グリッド出土遺物 (55)



第737図 K-7グリッド出土物(56)



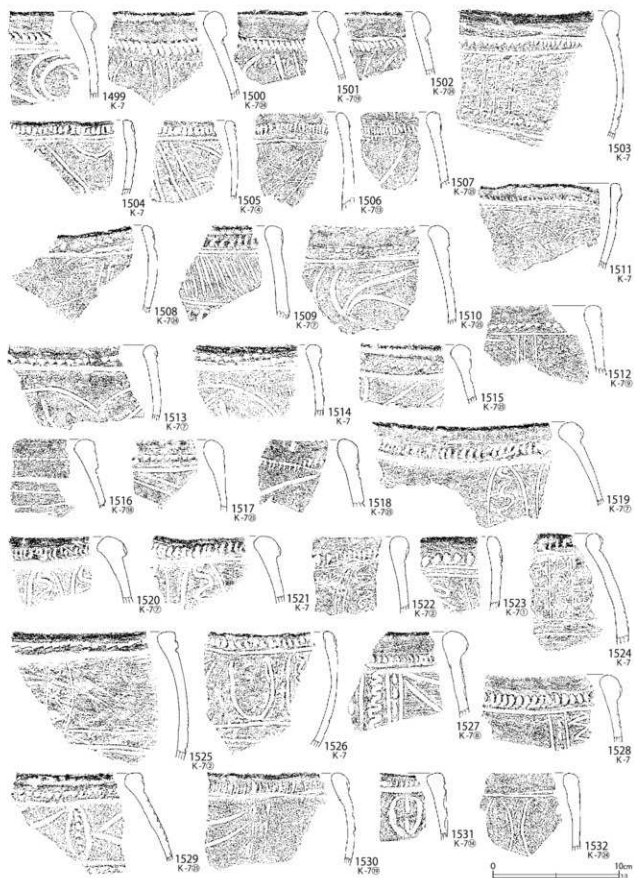
第738図 K-7グリッド出土遺物 (57)



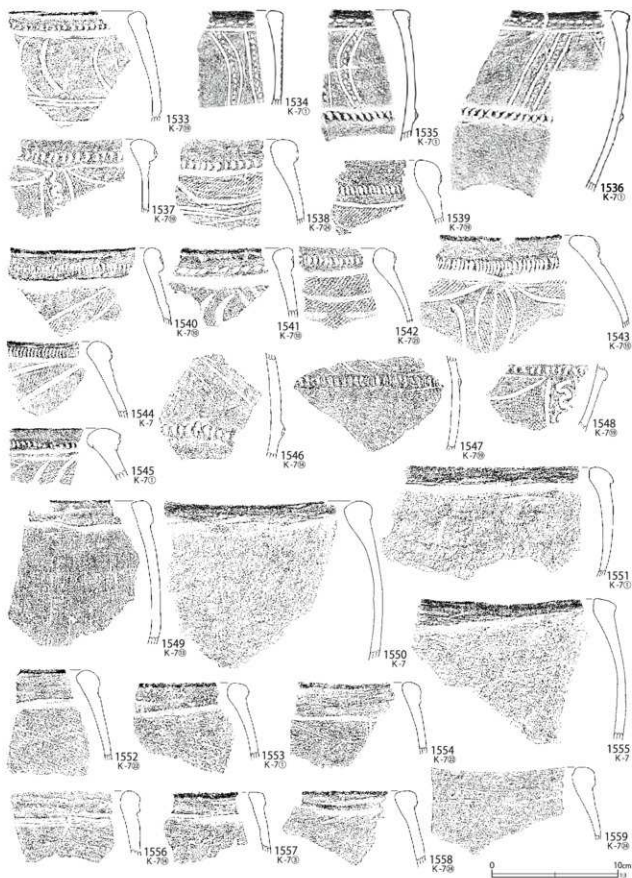
第 739 図 K-7グリッド出土遺物 (58)



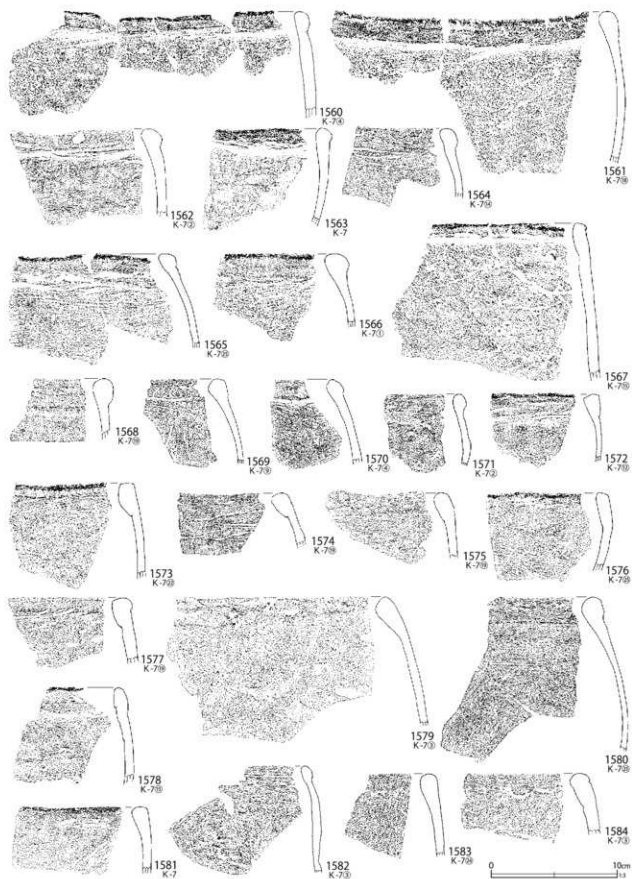
第740図 K-7グリッド出土遺物 (59)



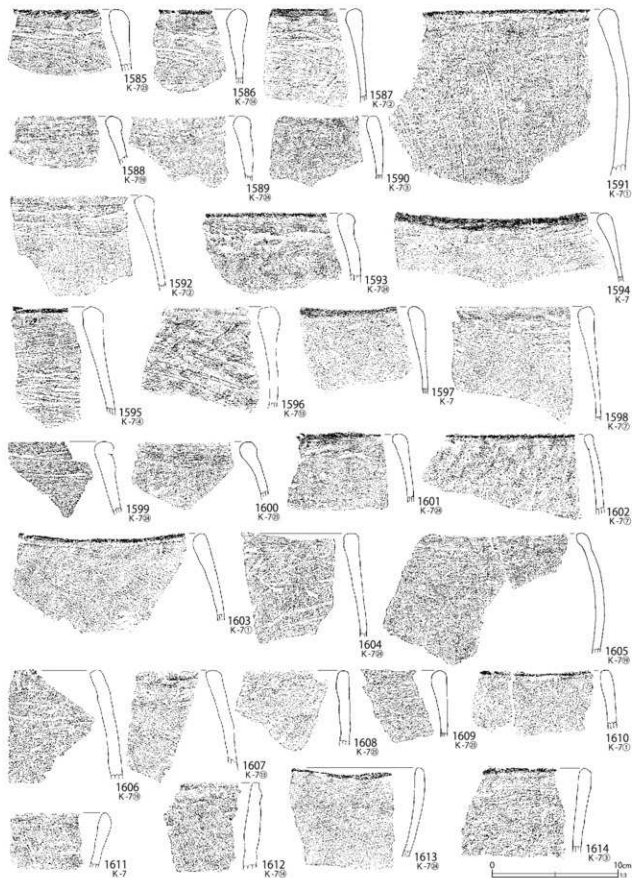
第741図 K-7グリッド出土遺物 (60)



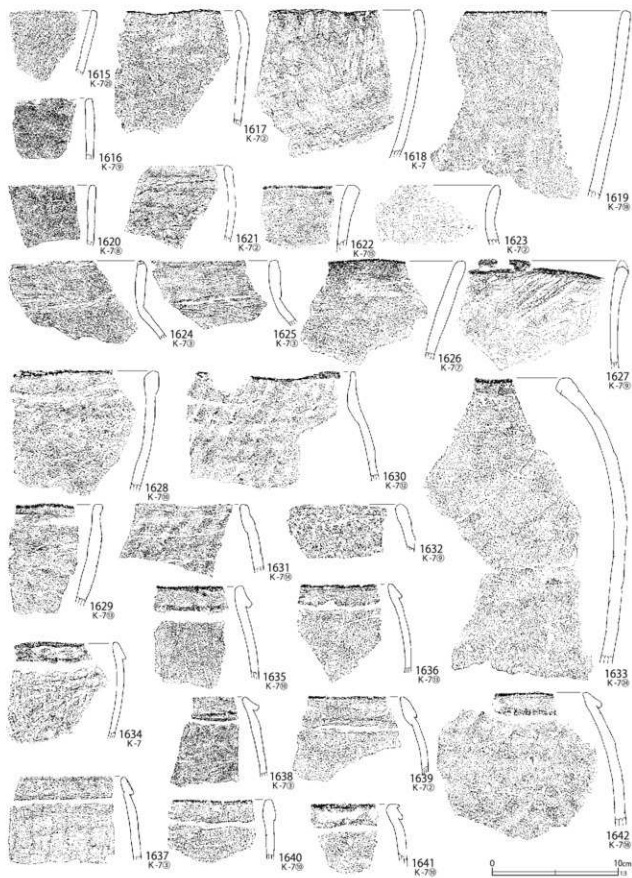
第742図 K-7グリッド出土遺物 (61)



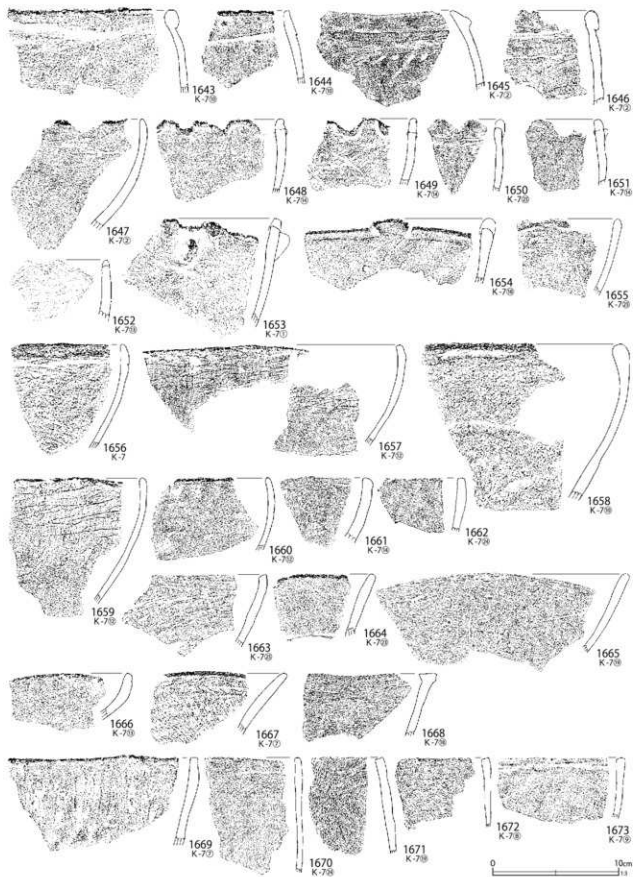
第743図 K-7グリッド出土遺物 (62)



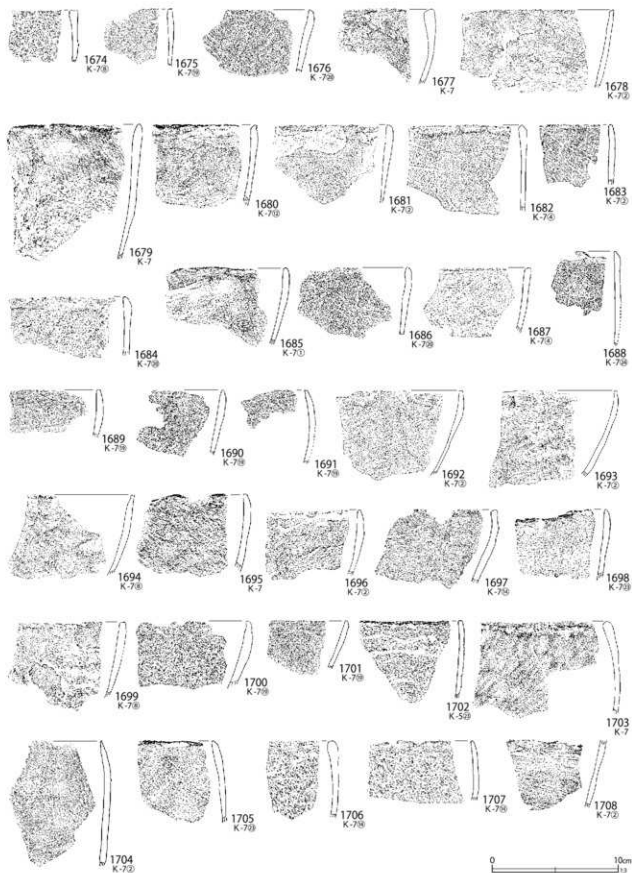
第744図 K-7グリッド出土遺物 (63)



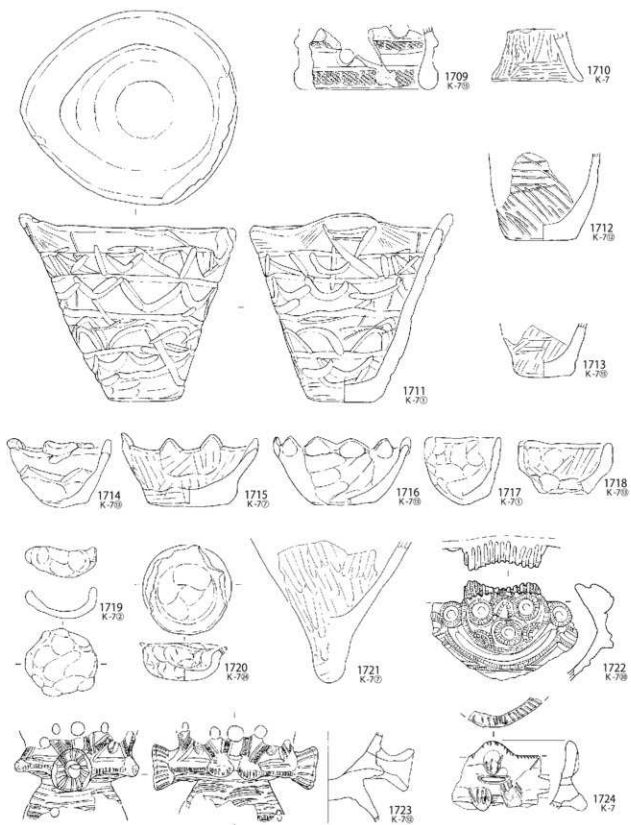
第745図 K-7グリッド出土遺物 (64)



第746図 K-7グリッド出土遺物(65)

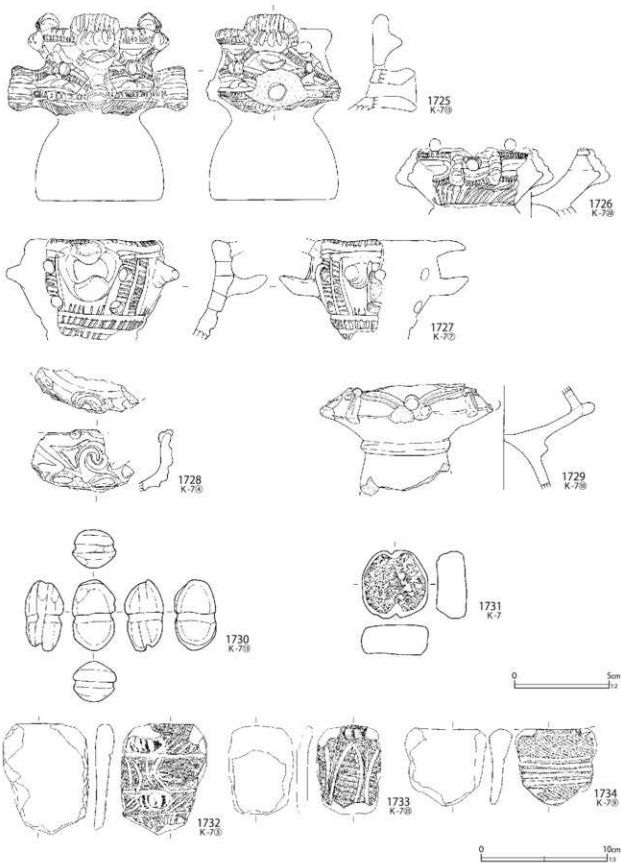


第747図 K-7グリッド出土遺物 (66)

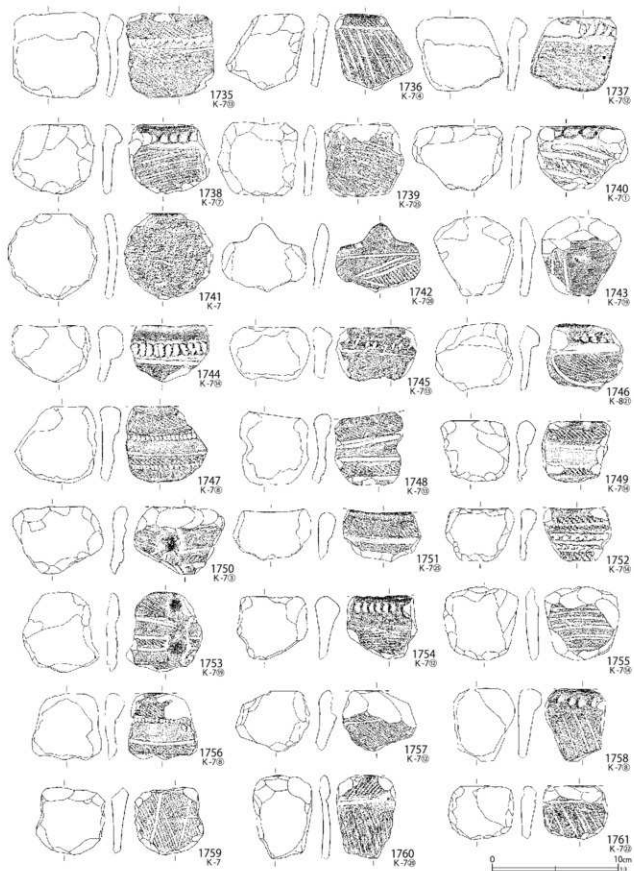


0 5cm
1/2

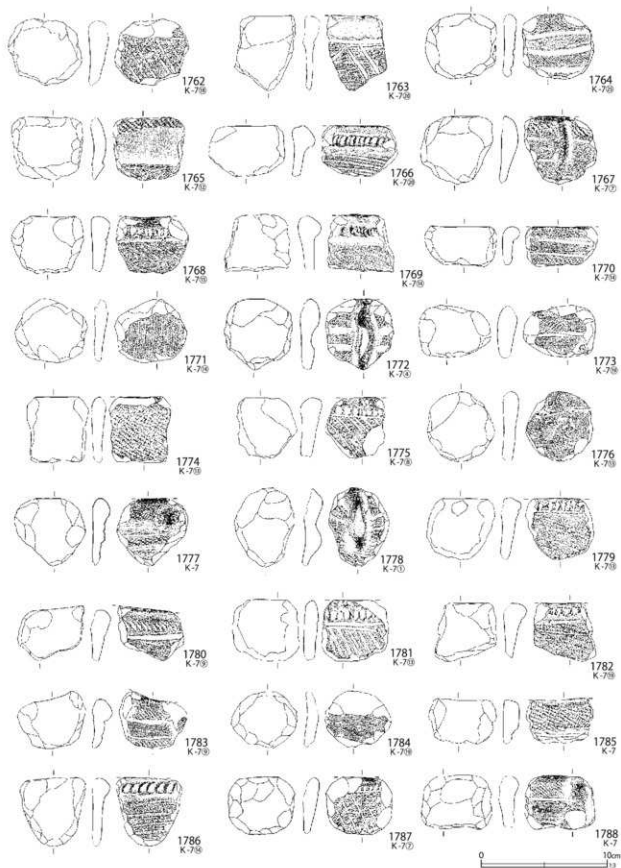
第748図 K-7グリッド出土遺物(67)



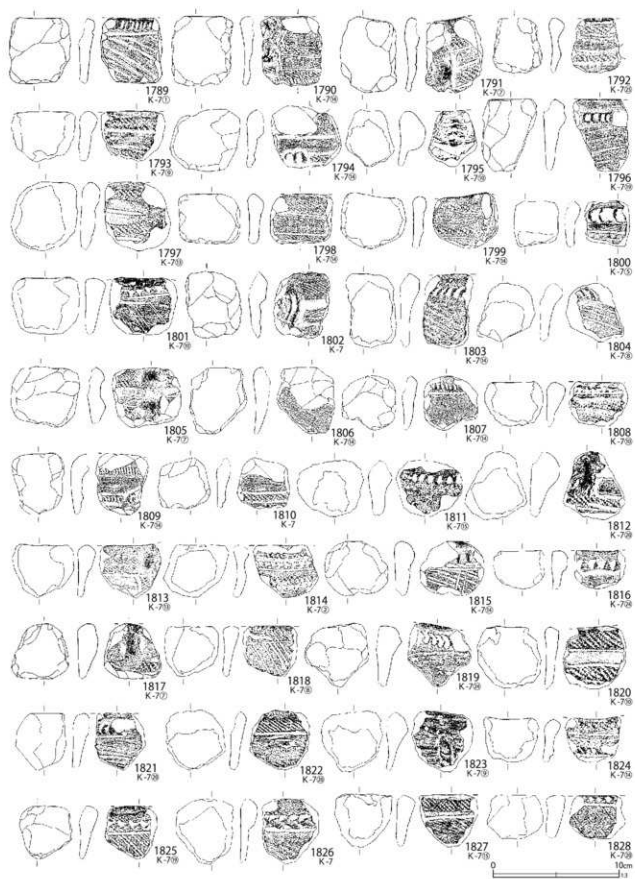
第749図 K-7グリッド出土遺物 (68)



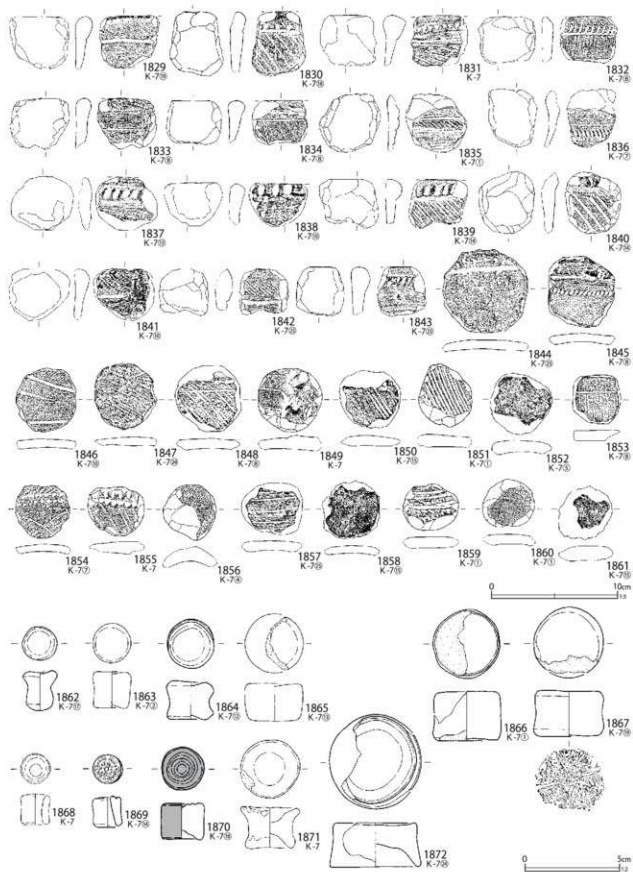
第750図 K-7グリッド出土遺物 (69)



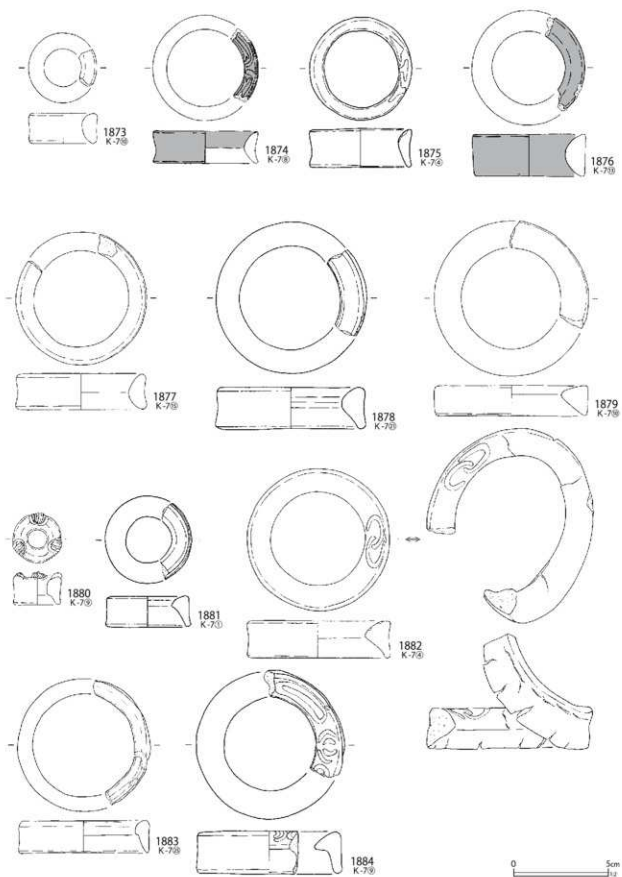
第751図 K-7グリッド出土遺物(70)



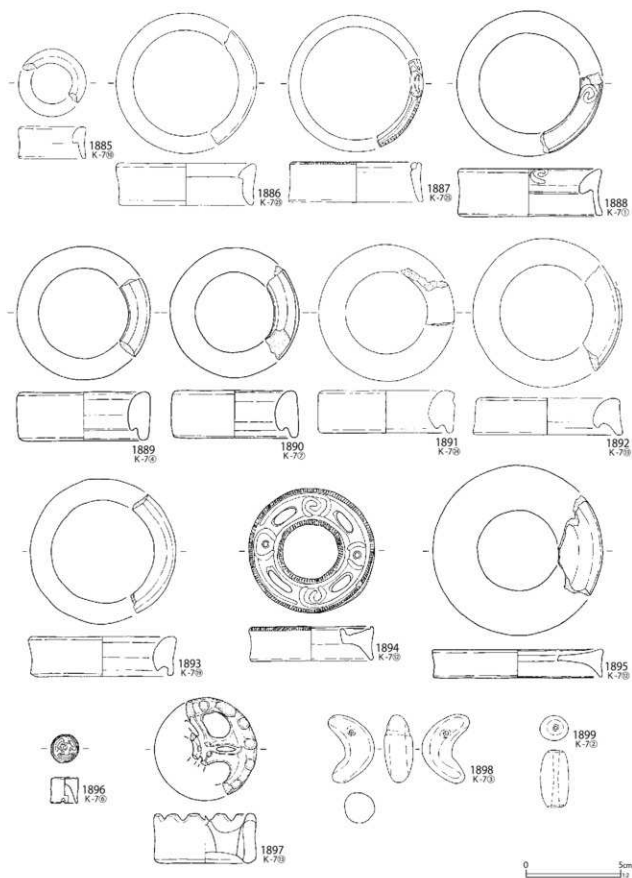
第 752 図 K-7 グリッド出土遺物 (71)



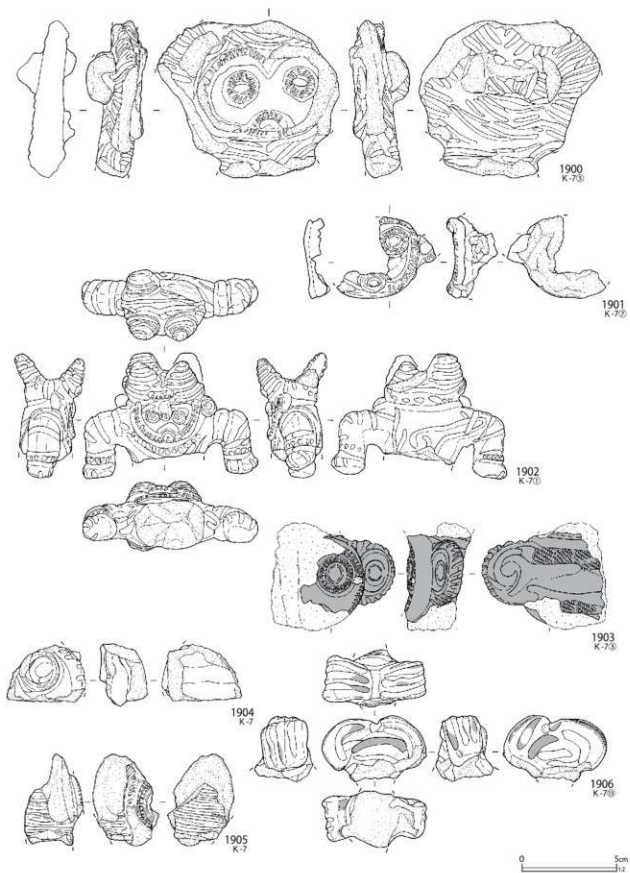
第753図 K-7グリッド出土遺物(72)



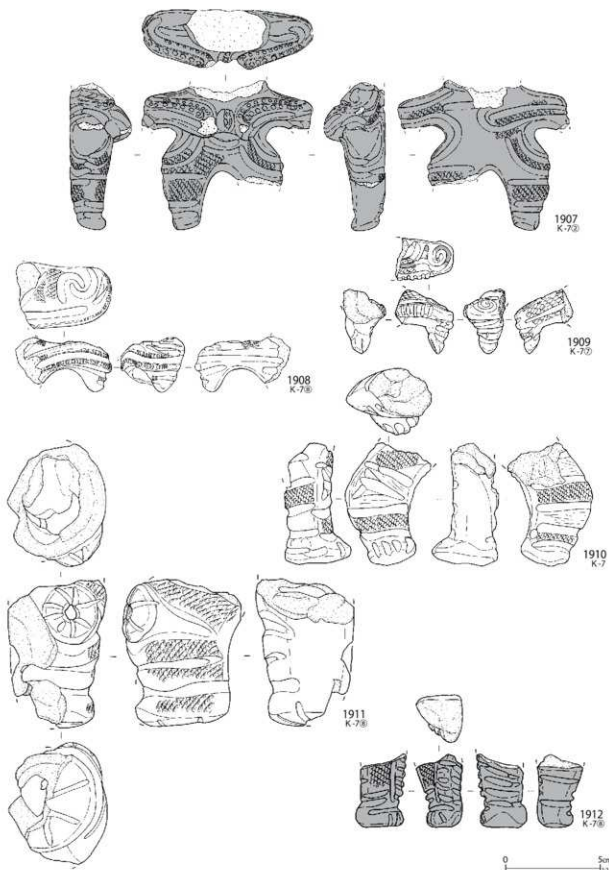
第754図 K-7グリッド出土遺物(73)



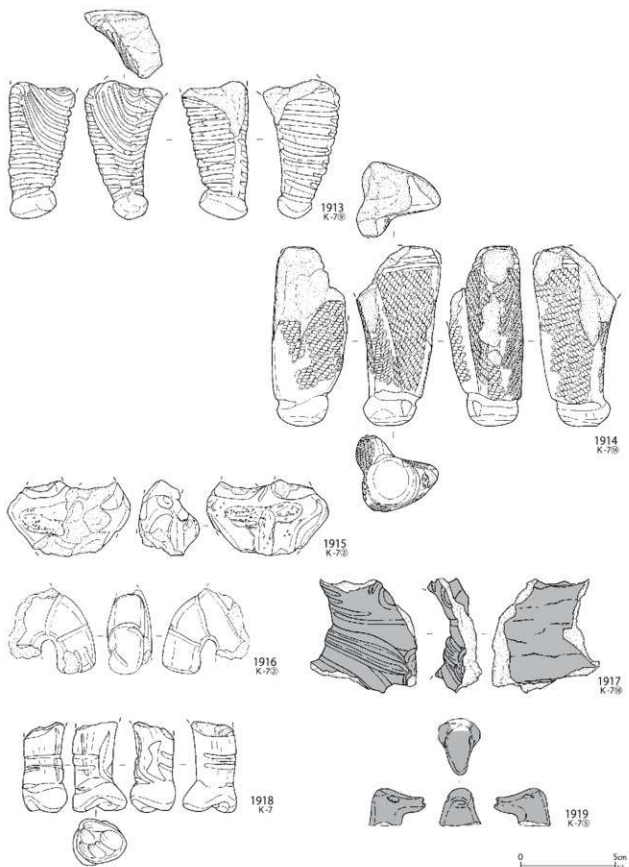
第755図 K-7グリッド出土遺物 (74)



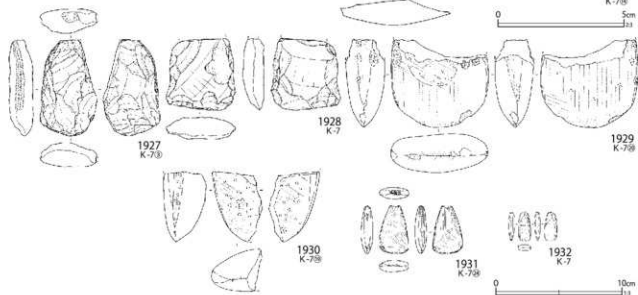
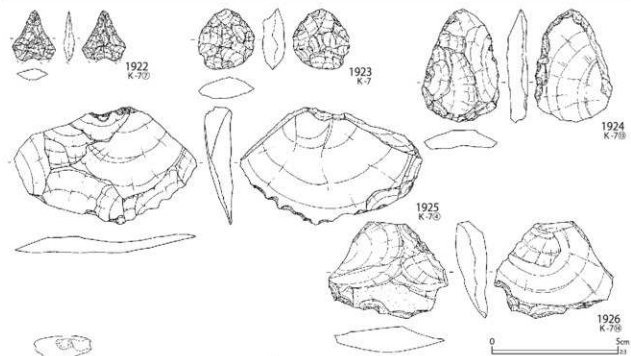
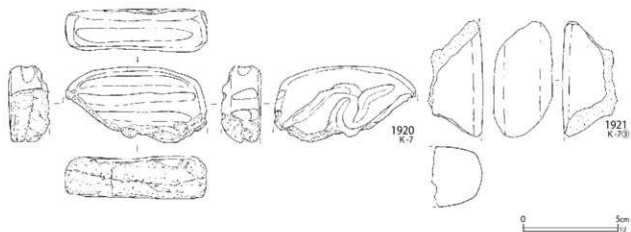
第756図 K-7グリッド出土遺物(75)



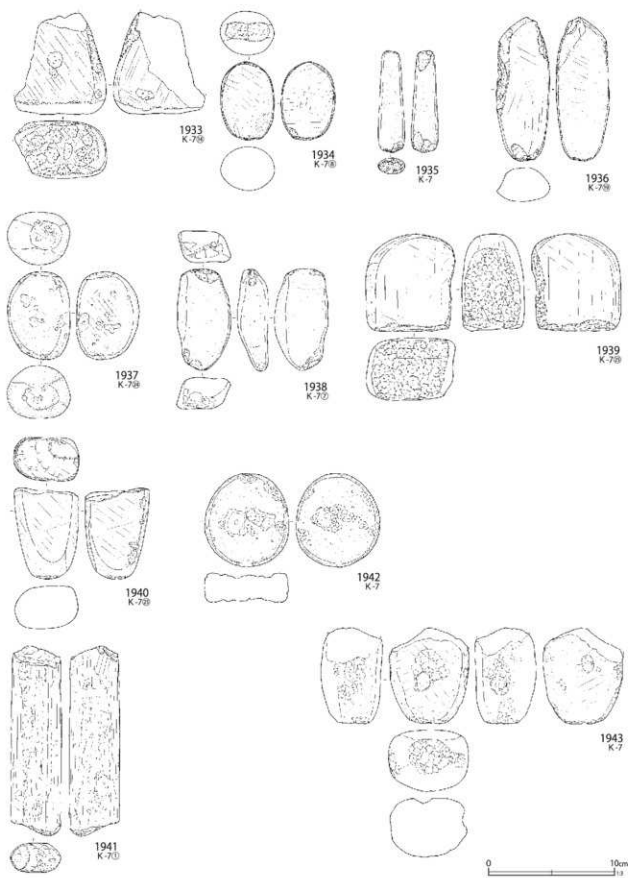
第757図 K-7グリッド出土遺物 (76)



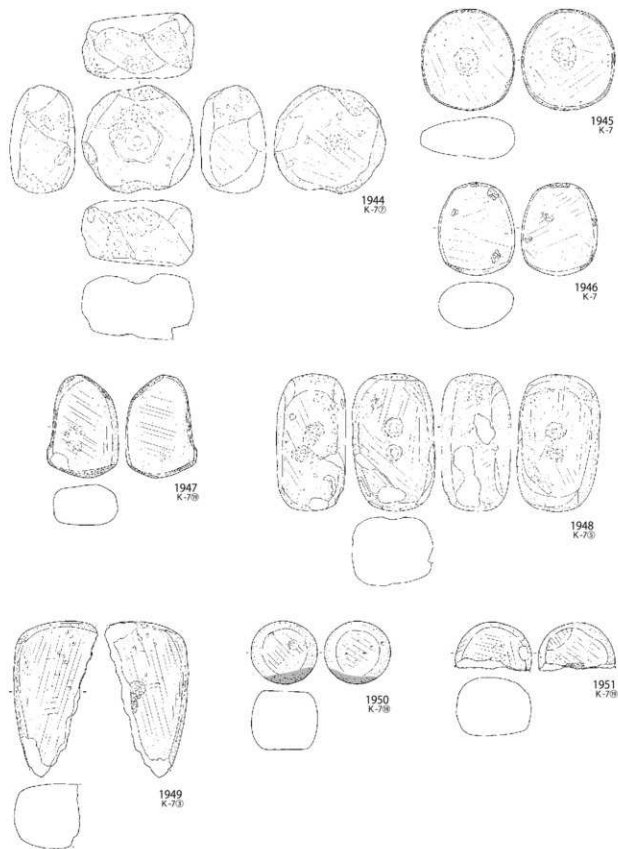
第758図 K-7グリッド出土遺物(77)



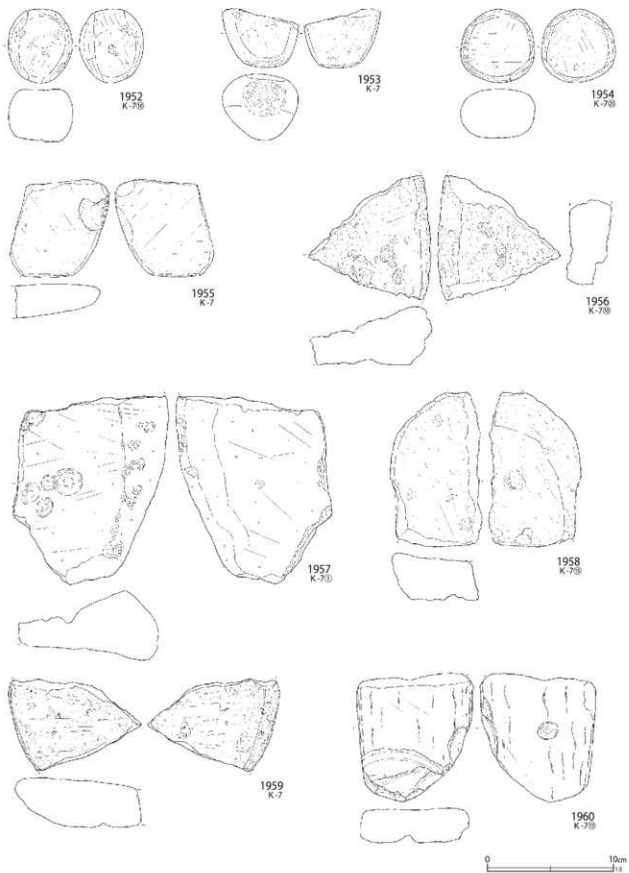
第759図 K-7グリッド出土遺物 (78)



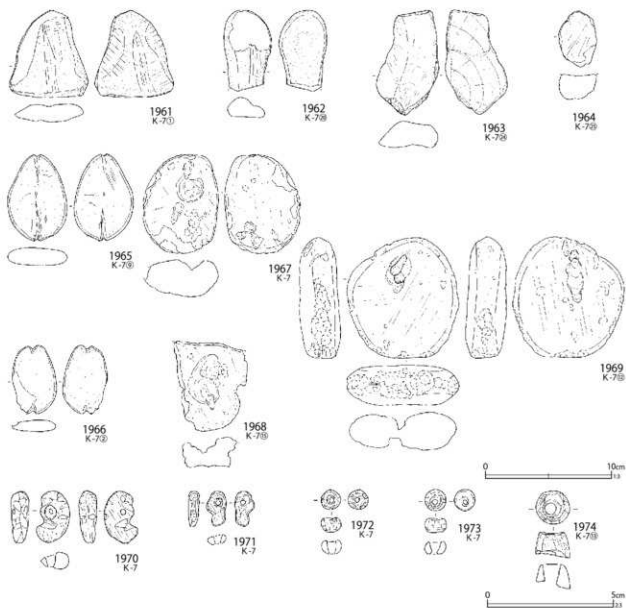
第760図 K-7グリッド出土遺物 (79)



第761図 K-7グリッド出土遺物 (80)



第762図 K-7グリッド出土遺物(81)



第763図 K-7グリッド出土遺物 (82)

第105表 K-7グリッド出土復元土器観察表 (第682～第699図)

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類	番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
1	IV	[7.9]	(9.0)	(9.2)	-	V 1-A1	21	II	[5.7]	(28.2)	(28.2)	-	VI 2～VII 1-A5
2	II-5	[14.7]	(26.4)	(27.1)	-	V 2-A4	22	IV	[18.0]	(26.0)	(26.0)	-	VI 2～VII 1-A5
3	III-6	[22.1]	(24.2)	(24.0)	-	VI 1-A3	23	III-3	[11.5]	(22.0)	(23.1)	-	VI 2-A4
4	IV	[13.0]	-	(24.0)	-	V 4-A3	24	IV	[7.3]	(13.4)	(13.4)	-	VI 2-A4
5	IV	[20.2]	(28.4)	(28.4)	-	VI 2～VII 1-A1	25	IV	[17.3]	(27.1)	(30.8)	-	VI 2-A4
6	IV	[12.1]	(11.4)	(14.7)	-	VI 2-A3	26	III-2	[13.8]	(25.8)	(29.0)	-	VI 2-A4
7	IV	[16.0]	(24.7)	(24.7)	-	VI 2～VII 1-A1	27	III-3	[20.6]	(22.2)	(22.2)	-	VI 1-A3
8	IV	[12.2]	(20.8)	(22.3)	-	VII 1-A1	28	II-5	[29.2]	(30.6)	(30.6)	-	VII 1-A4
9	III-2	[14.1]	(28.0)	(28.0)	-	VII 1-A3	29	IV	[12.9]	(12.8)	(12.8)	-	VI 2-A4
10	III-2	[14.0]	(20.2)	(20.2)	-	VII 2-A1	30	III-3	[7.5]	(11.8)	(12.0)	-	VII 2-A4
11	IV	[6.5]	(25.2)	(25.2)	-	VI 1-A4	31	IV	25.2	22.5	22.8	(6.8)	VII 1-A2
12	IV	[13.0]	(20.7)	(20.7)	-	VII 2-A1	32	IV	[8.0]	(21.2)	(23.0)	-	VII 1-A5
13	III-2	[11.6]	(21.6)	(21.6)	-	VI 1-A5	33	II	[12.4]	(15.8)	16.4	-	VII 1-A2
14	IV	[20.5]	(25.0)	(27.0)	-	VI 1-A5	34	IV	[12.0]	-	(13.8)	3.5	VII 1-A
15	IV	[8.7]	(24.0)	(27.9)	-	VI 1-A5	35	I	[12.2]	(37.7)	(42.8)	-	VII 1-A5
16	-	[6.4]	(23.0)	(28.8)	-	VI 1-A5	36	III-3	[11.0]	-	(36.2)	-	VII 2-A
17	III-2	[9.0]	(20.0)	(20.2)	-	VI 1-A5	37	III-2	[10.5]	(23.8)	(29.0)	-	VII 2-A5
18	IV	[9.4]	(16.8)	(18.6)	-	VI 2-A5	38	III-2	[12.4]	(22.2)	(29.2)	-	VII 2-A5
19	III-2	[12.3]	(22.6)	(24.0)	-	VI 2～VII 1-A5	39	III-6	[12.6]	(22.3)	(28.8)	-	VI 1-A5
20	IV	[22.3]	25.8	(32.8)	-	VI 2-A5	40	-	[19.6]	(22.4)	(30.0)	-	VII 2-A5

序号	部位	器高	口径	最大径	底径	分类	序号	部位	器高	口径	最大径	底径	分类
41	IV	[8.4]	(15.8)	(15.8)	-	VI 1-B	112	I	[21.0]	(30.0)	(33.3)	-	VI 2 ~ VII 1-A7
42	IV	[10.3]	-	(17.0)	-	VI 2-B	113	IV	[6.4]	(30.8)	(32.6)	-	VI 2 ~ VII 1-A7
43	II	[8.9]	-	(24.0)	-	VI 2-B	114	II	[9.0]	(28.0)	(31.2)	-	VI 1 ~ 2-A7
44	III-2	[9.3]	-	(13.6)	(13.6)	VI 1-B	115	III-2	[30.8]	(26.0)	(28.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A7
45	IV	[9.9]	-	(20.3)	-	VI 2-B	116	II	[25.3]	(25.4)	(27.6)	-	VI 1 ~ 2-A7
46	III-6	[6.4]	-	(15.4)	-	VI 1-B	117	III-6	[24.2]	(34.4)	(37.4)	-	VI 1 ~ 2-A7
47	III-2	[6.3]	-	(15.6)	-	VI 1-B	118	IV	[14.6]	(24.6)	(27.4)	-	VI 1 ~ 2-A7
48	III-2	[4.1]	-	(9.7)	-	VI 1-B	119	III-2	[8.6]	(27.8)	(31.8)	-	VI 1 ~ 2-A7
49	II	[10.1]	-	(21.6)	-	VI 1-B	120	IV	[10.8]	(28.0)	(33.4)	-	VI 1 ~ 2-A7
50	III-2	[6.4]	-	(12.6)	(12.4)	VI-B	121	IV	[12.7]	(31.6)	(34.3)	-	VI 1 ~ 2-A7
51	III-2	[5.2]	-	(10.3)	(10.3)	VI-B	122	II-6	[13.8]	(26.0)	(28.4)	-	VI 1 ~ 2-A7
52	IV	[7.5]	-	(13.0)	-	VI-B	123	IV	[9.1]	(25.4)	(28.2)	-	VI 2 ~ VII 1-A7
53	II-5	[7.5]	-	(21.5)	(21.5)	VI-B	124	IV	[15.2]	(28.6)	(32.1)	-	VI 2 ~ VII 1-A7
54	II	[4.9]	(13.6)	(13.8)	-	V 3-C2	125	IV	[11.3]	(25.0)	(28.1)	-	VI 1 ~ 2-A7
55	III-3	[11.4]	-	(25.2)	壳底	V 4-C2	126	IV	[15.2]	(28.4)	(32.1)	-	VI 1 ~ 2-A7
56	IV	[14.0]	(34.8)	(35.0)	-	V 4-C2	127	I	[22.8]	(29.0)	(34.8)	-	VI 1 ~ 2-A7
57	III-2	[9.5]	(26.4)	(26.4)	-	VI 2-C2	128	IV	[16.9]	(22.0)	(20.2)	-	VI 1 ~ 2-A7
58	IV	[8.7]	(21.8)	(21.8)	-	VI 1 ~ 2-C1	129	III-3	[13.4]	(32.1)	(37.4)	-	VI 1 ~ 2-A7
59	III-3	[8.2]	(20.5)	(20.5)	-	VI 2-C2	130	III-2	[6.8]	(45.8)	(48.0)	-	VI 1 ~ 2-A7
60	IV	[7.2]	-	(22.7)	-	VI 1 ~ 2-C2	131	IV	[20.7]	(26.5)	(30.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A6
61	IV	[5.4]	-	(19.1)	(11.1)	VI 1-C	132	III-6	[22.0]	(31.6)	(34.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A6
62	IV	[11.6]	(13.5)	(16.1)	壳底	VI 1 ~ 2-C2	133	IV	[9.8]	(25.4)	(28.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A6
63	II-6	[6.0]	(15.2)	(18.0)	-	VI 1 ~ 2-C2	134	II-6	[18.8]	(24.1)	(27.2)	-	VI ~ VII -A7
64	IV	[5.0]	(13.2)	(14.3)	-	VI 1 ~ 2-C2	135	II-6	[10.1]	(23.8)	(26.6)	-	VI ~ VII -A7
65	III-2	[5.7]	-	(13.9)	5.3	VI 1 ~ 2-C2	136	IV	[12.8]	(25.0)	(26.6)	-	VI ~ VII -A7
66	II-6	[10.0]	(24.4)	(28.2)	-	VI 1 ~ 2-B3	137	IV	[26.2]	(27.0)	(29.8)	-	VI 1 ~ 2-A7
67	III-3	[10.5]	(21.0)	(25.2)	-	VI 1 ~ 2-B3	138	II	[22.1]	(25.4)	(27.8)	-	VI-A5
68	III-6	6.1	(12.5)	(12.6)	(2.8)	VI 1 ~ 2-C2	139	II-5	[21.1]	(26.0)	(27.0)	-	VI-A5
69	II	4.5	(11.6)	(11.6)	4.8	VI 1-C2	140	II	[19.3]	(27.2)	(27.2)	-	VI-A5
70	IV	9.2	(16.0)	(16.0)	(5.2)	VI 7-C2	141	III-2	[8.0]	(23.0)	(25.6)	-	VI-A5
71	III-2	11.6	(16.4)	(16.4)	(7.2)	VI-C2	142	II	[28.1]	(26.8)	(33.2)	-	VI-A5
72	IV	[4.9]	(14.0)	(14.0)	5.0	VI-C2	143	V-1	[33.7]	(27.0)	(33.2)	-	VI-A5
73	IV	[9.9]	(24.0)	(25.2)	-	VI-C2	144	II-6	[13.2]	(22.6)	(25.8)	-	VI-A5
74	IV	[13.6]	(31.5)	(33.0)	-	VI 1-C2	145	II-5	14.7	(14.4)	(20.0)	(5.0)	VI-A2
75	III-2	[4.0]	(16.1 × 15.8)	(19.5)	(13.2 × 15.4)	VI-E	146	IV	[7.8]	(17.7)	(17.8)	-	VI-C2
76	III-2	[3.7]	(15.6)	(15.6)	-	VI 2-D2	147	II	[31.6]	(35.8)	-	VI-A5	
77	III-2	2.7	(17.3)	(17.3)	(8.8)	VI 1-E	148	IV	[17.4]	-	(24.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A6
78	IV	[3.1]	10.0	10.0	-	VI-D2	149	III-3	[15.5]	-	(36.8)	-	VI ~ VII -A
79	III-2	[4.1]	(20.5)	(20.5)	-	VI-D2	150	IV	[16.0]	-	(22.4)	(3.7)	X 3
80	III-2	[6.3]	-	(21.0)	(11.0)	VI-B	151	IV	[14.9]	-	(32.0)	-	VI-A
81	IV	7.0	19.0	-	-	VI 6-C2	152	IV	[7.7]	-	(16.4)	5.0	X 3
82	IV	[8.5]	(24.0)	(24.8)	-	VI 2-D3	153	V-1	[9.3]	-	(16.3)	3.4	X 3
83	II	[8.3]	(28.8)	(28.8)	-	VI 2-D3	154	IV	[28.0]	-	(33.4)	-	X 3
84	IV	[7.4]	(9.6)	(12.2)	-	VI 1-F1	155	III-2	[6.3]	-	(14.0)	(3.0)	X 3
85	IV	[7.0]	(10.0)	(10.0)	-	VI 2 ~ VII 1-F2	156	V-1	[5.2]	-	(12.0)	3.5	X 3
86	III-2	[5.9]	(9.6)	(9.6)	-	VI 1-F2	157	V-6	[7.6]	-	(16.3)	3.6	X 3
87	IV	[5.1]	(9.0)	(10.0)	-	VI ~ VII -F	158	III-6	[5.9]	-	(12.8)	(4.0)	X 3
88	VII	[7.9]	-	(18.6)	-	VI 1 ~ 2-F	159	II-6	[4.2]	-	(10.9)	4.1	X 3
89	III-2	[7.7]	-	(20.0)	-	VI 1-F	160	IV	[9.8]	-	(16.9)	3.7	X 3
90	II	[4.9]	-	(15.6)	(3.8)	VI 1 ~ 2-G	161	IV	[10.1]	-	(16.2)	(4.4)	X 3
91	III-2	[13.4]	(17.9)	(24.2)	-	VI 1 ~ 2-G	162	III-2	[9.8]	-	(15.7)	5.2	X 3
92	III-2	12.6	(15.4)	(15.4)	7.0	VI 1-A2	163	III-6	[7.0]	-	(14.1)	4.0	X 3
93	III-3	[6.5]	(17.6)	(18.4)	-	VI 2 ~ VII 1-A6	164	II	[2.5]	-	(9.9)	(10.0)	X 3
94	III-3	[6.4]	(25.0)	(25.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A6	165	III-2	[1.7]	-	(8.8)	(6.0)	X 3
95	IV	[21.0]	25.2	25.2	-	VI 2 ~ VII 1-A6	166	III-6	[1.9]	-	(9.0)	5.6	X 3
96	IV	[15.4]	(31.2)	(33.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A6	167	IV	[5.1]	-	(9.4)	4.0	X 3
97	IV	[23.9]	(24.0)	(25.8)	-	VI 2 ~ VII 1-A6	168	I	[6.2]	-	(12.6)	(3.4)	X 3
98	IV	[15.9]	(31.8)	(34.8)	-	VI 2 ~ VII 1-A6	169	V-1	[6.3]	-	(14.7)	3.0	X 3
99	IV	[22.4]	(24.9)	(28.8)	-	VI 2 ~ VII 1-A6	170	III-6	[5.6]	-	(12.6)	(6.4)	X 3
100	III-2	[21.6]	(28.0)	(31.4)	-	VI 2 ~ VII 1-A6	171	III-3	[7.0]	-	(12.6)	(4.6)	X 3
101	-	[13.0]	(19.6)	(20.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A6	172	V-1	[10.8]	-	(22.0)	4.6	X 3
102	II-11	[10.7]	(23.0)	(25.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A7	173	IV	[12.4]	-	(19.6)	3.6	X 3
103	II-6	[17.5]	(21.7)	(24.6)	-	VI 2 ~ VII 1-A7	174	II	[12.9]	-	-	-	X 3
104	IV	[11.2]	(28.6)	(30.0)	-	VI 2-A7	175	III-6	[6.1]	-	(13.4)	4.0	X 3
105	III-2	[11.9]	(32.6)	(33.2)	-	VI 2-A7	176	IV	[5.0]	-	(14.9)	(7.0)	X 3
106	III-2	[11.3]	(33.4)	(36.8)	-	VI 2 ~ VII 1-A7	177	IV	[2.4]	-	(17.4)	(12.1)	X 3
107	III-6	[11.5]	(31.6)	(33.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A7	178	II	[14.3]	-	(18.7)	3.2	X 3
108	IV	[17.1]	(30.6)	(32.8)	-	VI 2 ~ VII 1-A7	179	III-6	[9.8]	-	(15.3)	4.0	X 3
109	III-2	[9.8]	(33.4)	(38.4)	-	VI 2 ~ VII 1-A7	180	II-13	[6.5]	-	(15.6)	(7.6)	X 3
110	IV	[10.8]	(27.0)	(31.2)	-	VI 2 ~ VII 1-A7	181	IV	[3.2]	-	(14.4)	11.1	X 3
111	III-3	[8.5]	(31.0)	(33.6)	-	VI 1-A7							

第106表 K-7グリッド出土破片土器観察表 (第699~第747図)

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
182	-	II 1-A2	252	II -5	V 2 ~ 3-A7	322	II -13	VI 1-A3	392	III -2	VII 1-A3
183	I	II 1-A2	253	II -10	V 2 ~ 3-A7	323	II	VI 1-A3	393	IV	VII 1-A3
184	I	II 1-A2	254	II	V 2 ~ 3-A7	324	IV	VI 1-A3	394	IV	VII 1-A3
185	-	II 1-A2	255	III -3	V 2 ~ 3-A7	325	II -6	VI 1-A3	395	-	VII 1-A3
186	II -10	II 1-A2	256	II -11	V 2 ~ 3-A7	326	II -16	VI 1-A3	396	IV	VII 1-A3
187	II -12	II 1-A4	257	II -8	V 2 ~ 3-A7	327	IV	VI 1-A3	397	-	VII 1-A3
188	III -6	II 1-A4	258	I	V 2 ~ 3-A7	328	IV	VI 1-A3	398	-	VII 1-A3
189	III	II 4-A2	259	II	V 2 ~ 3-A7	329	III -2	VI 1-A3	399	-	VII 2-A3
190	IV	III 5-A4	260	II -8	V 2 ~ 3-A7	330	IV	VI 1-A3	400	IV	VII 2-A3
191	V	III 5-A4	261	III -3	V 2 ~ 3-A7	331	IV	VI 1-A3	401	I	VII 2-A3
192	II -5	III 5-A4	262	III -3	V 2 ~ 3-A7	332	-	VI 2-A3	402	II	VII 2-A3
193	IV	III 5-A4	263	III -6	V 2 ~ 3-A7	333	III -2	VI 2-A3	403	I	VII 2-A3
194	II -6	IV 3-A4	264	II	V 2 ~ 3-A7	334	III -2	VI 2-A3	404	II -5	VII 2-A3
195	III -2	IV 3-A4	265	-	V 2 ~ 3-A7	335	V	VI 2-A3	405	II	VII 2-A3
196	II	IV 3-A4	266	IV	V 2 ~ 3-A7	336	-	VI 2-A3	406	III -2	VII 2-A3
197	IV	IV 3-A4	267	IV	V 2 ~ 3-A7	337	-	VI 2-A3	407	II -8	VII 2-A3
198	I	IV 3-A4	268	II	V 3 ~ 4-A7	338	IV	VI 2-A3	408	II	VII 2-A3
199	III -3	IV 3-A4	269	IV	V 3 ~ 4-A7	339	III -3	VI 2-A3	409	II	VII 2-A3
200	IV	IV 3-G	270	II	V 3 ~ 4-A7	340	III -2	VI 2-A3	410	IV	VI 2 ~ VII 2-A3
201	II	IV 4-A2	271	V -1	V 3 ~ 4-A7	341	II -6	VI 2-A3	411	-	VI 2 ~ VII 2-A3
202	II	IV 4-A2	272	IV	V 3 ~ 4-A7	342	III -6	VI 2-A3	412	I	VI 2 ~ VII 2-A3
203	II -16	IV 4-A2	273	IV	V 3 ~ 4-A6	343	-	VI 2-A3	413	IV	VI 2 ~ VII 2-A3
204	II -5	IV 4-A2	274	IV	V 3 ~ 4-A6	344	II -6	VI 2-A3	414	IV	VI 2 ~ VII 2-A3
205	IV	IV 4-A2	275	II -7	V -A2	345	III -3	VI 2-A3	415	-	VI 2 ~ VII 2-A3
206	-	IV 4-A2	276	I	V -A2	346	IV	VI 2-A3	416	II -11	VI 2 ~ VII 2-A3
207	III -2	IV 4-A2	277	III -3	V -A2	347	IV	VI 2-A3	417	II -6	VI 2 ~ VII 2-A3
208	II	IV 4-A2	278	III -6	V -A2	348	IV	VI 2-A3	418	IV	VI 2 ~ VII 2-A3
209	-	IV 4-A2	279	II	V -A2	349	III -2	VI 2-A3	419	III -2	VI 2 ~ VII 2-A3
210	III -2	V 2 ~ 3-A4	280	IV	V -A2	350	III -2	VI 2-A3	420	IV	VI 2 ~ VII 2-A3
211	I	V 2 ~ 3-A4	281	IV	V -A2	351	III -2	VI 2-A3	421	III -2	VI 2 ~ VII 2-A3
212	IV	V 2 ~ 3-A4	282	V	V 1-C2	352	III -2	VI 2-A3	422	II	VI 2 ~ VII 2-A3
213	II -6	V 2 ~ 3-A4	283	-	V 1-C2	353	IV	VI 2-A3	423	III -6	VI 1-A4
214	II	V 2 ~ 3-A4	284	IV	V 2-C2	354	II -6	VI 2 ~ VII 1-A3	424	IV	VI 1-A4
215	IV	V 1 ~ 2-A2	285	III -3	V 2-C2	355	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	425	IV	VI 1-A4
216	II -6	V 2 ~ 3-A5	286	II -5	V 2-C2	356	-	VI 2 ~ VII 1-A3	426	IV	VI 1-A4
217	III -2	V 2 ~ 3-A5	287	II -10	V 2-C2	357	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	427	III -2	VI 1-A4
218	II -6	V 2 ~ 3-A5	288	V -1	V 3 ~ 4-C1	358	III -6	VI 2 ~ VII 1-A3	428	III -6	VI 1-A4
219	II	V 2 ~ 3-A5	289	II -5	V 3 ~ 4-C1	359	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	429	IV	VI 1-A4
220	III -2	V 2 ~ 3-A5	290	II -5	V 3 ~ 4-C1	360	III -2	VI 2 ~ VII 1-A3	430	III -2	VI 1-A4
221	I	V 2 ~ 3-A4	291	II -6	V 2-D	361	III -3	VI 2 ~ VII 1-A3	431	IV	VI 1-A4
222	I	V 2 ~ 3-A4	292	III -2	V 4-A3	362	-	VI 2 ~ VII 1-A3	432	IV	VI 1-A4
223	III -6	V 2 ~ 3-A4	293	-	V 4-A3	363	III -3	VI 2 ~ VII 1-A3	433	IV	VI 1-A4
224	II	V 2 ~ 3-A3	294	IV	V 4-A3	364	III -3	VI 2 ~ VII 1-A3	434	-	VI 1-A4
225	III -2	V 2 ~ 3-A3	295	IV	V 4-A3	365	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	435	IV	VI 1-A4
226	II -7	V 2 ~ 3-A4	296	IV	V 4-A3	366	I	VI 2 ~ VII 1-A3	436	II	VI 1-A4
227	IV	V 2 ~ 3-A4	297	-	V 4-A3	367	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	437	IV	VI 1-A4
228	II	V 2 ~ 3-A4	298	V -1	V 4-A3	368	II -10	VI 2 ~ VII 1-A3	438	III -2	VI 1-A4
229	III -2	V 2 ~ 3-A3	299	IV	V 4-A3	369	III -2	VI 2 ~ VII 1-A3	439	III -5	VI 1-A4
230	II	V 2 ~ 3-A4	300	IV	V 4-A3	370	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	440	IV	VI 1-A4
231	II -8	V 2 ~ 3-A4	301	II	V 4-A3	371	III -3	VI 2 ~ VII 1-A3	441	IV	VI 1-A4
232	IV	V 2 ~ 3-A4	302	II	V 4-A3	372	-	VI 2 ~ VII 1-A3	442	III -2	VI 1-A4
233	IV	V 2 ~ 3-A4	303	III -2	V 4-A3	373	III -6	VI 2 ~ VII 1-A3	443	IV	VI 1-A4
234	-	V 2 ~ 3-A4	304	III -2	V 4-A3	374	II -6	VI 2 ~ VII 1-A3	444	IV	VI 1-A4
235	II -6	V 2 ~ 3-A4	305	-	V 4-A3	375	II -5	VI 2 ~ VII 1-A3	445	I	VI 1-A4
236	III -2	V 2 ~ 3-A4	306	IV	V 4-A4	376	III -3	VI 2 ~ VII 1-A3	446	V -1	VI 1-A4
237	II	V 2 ~ 3-A3	307	III -3	V 4-A4	377	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	447	IV	VI 1-A4
238	II	V 2 ~ 3-A3	308	II	V 4-A4	378	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	448	III -2	VI 1-A4
239	II	V 2 ~ 3-A3	309	III -6	V 4-A3	379	II -5	VI 2 ~ VII 1-A3	449	II -6	VI 1-A4
240	V -1	V 2 ~ 3-A3	310	V -1	V 4-A3	380	III -2	VI 2 ~ VII 1-A3	450	II -6	VI 1-A4
241	III -6	V 2 ~ 3-A3	311	IV	V 4-A4	381	II	VI 2 ~ VII 1-A3	451	III -2	VI 1-A4
242	II	V 2 ~ 3-A3	312	-	V 4-A3	382	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	452	III -2	VI 1-A4
243	I	V 2 ~ 3-A3	313	-	V 4-A3	383	III -2	VI 2 ~ VII 1-A3	453	III	VI 1-A4
244	III +6	V 2 ~ 3-A2	314	I	V 4-A3	384	-	VI 2 ~ VII 1-A3	454	V -1	VI 1-A4
245	II	V 2 ~ 3-A2	315	III -2	V 4-C2	385	IV	VI 2 ~ VII 1-A3	455	IV	VI 1-A4
246	III -2	V 2 ~ 3-A2	316	I	VI 2-C2	386	III -3	VI 2 ~ VII 1-A3	456	-	VI 1-A4
247	-	V 2 ~ 3-A7	317	II	V 4-D2	387	III -2	VI 2 ~ VII 1-A3	457	IV	VI 1-A4
248	-	V 2 ~ 3-A7	318	II -6	V 4-D2	388	II	VII 1-A3	458	IV	VI 2-A4
249	II -10	V 2 ~ 3-A7	319	II	V 4-D2	389	II -5	VII 1-A3	459	-	VI 2-A4
250	IV	V 2 ~ 3-A7	320	I	V 4-C1	390	IV	VII 1-A3	460	IV	VI 2-A4
251	I	V 2 ~ 3-A7	321	II -5	VI 1-A3	391	II -5	VII 1-A3	461	V	VI 2-A4

番号	層位	分類
462	-	VI 2-A4
463	II	VI 2-A4
464	I	VI 2-A4
465	IV	VI 2-A4
466	III-2	VI 2-A4
467	III-3	VI 2-A4
468	III-2	VI 2-A4
469	V-1	VI 2-A4
470	III-2	VI 2-A4
471	III-2	VI 2-A4
472	-	VI 2-A4
473	IV	VI 2-A4
474	III-2	VI 2-A4
475	III-2	VI 2-A4
476	III-2	VI 2-A4
477	II-12	VI 2-A4
478	IV	VI 2-A4
479	-	VI 2-A4
480	V	VI 2-A4
481	III-3	VI 2-A4
482	II-12	VI 2-A4
483	-	VI 2-A4
484	III-2	VI 2-A4
485	II	VI 2-A4
486	IV	VI 2-A4
487	III-2	VI 2-A4
488	II-5	VI 2-A4
489	III-3	VI 1-A5
490	-	VI 1-A5
491	IV	VI 1-A5
492	III-6	VI 1-A5
493	IV	VI 1-A5
494	II-16	VI 1-A5
495	-	VI 1-A5
496	IV	VI 1-A5
497	III-6	VI 1-A5
498	IV	VI 2-A5
499	IV	VI 1-A5
500	IV	VI 1-A5
501	IV	VI 1-A5
502	III-2	VI 1-A5
503	III-2	VI 1-A5
504	III-2	VI 1-A5
505	-	VI 1-A5
506	III-2	VI 1-A5
507	II-5	VI 1-A5
508	II-5	VI 1-A5
509	III-2	VI 1-A5
510	VII	VI 1-A5
511	-	VI 1-A5
512	III-2	VI 1-A5
513	II-6	VI 1-A5
514	-	VI 1-A5
515	III-6	VI 1-A5
516	IV	VI 1-A5
517	II-5	VI 1-A5
518	IV	VI 1-A5
519	-	VI 1-A5
520	III-2	VI 1-A5
521	II-6	VI 1-A5
522	III-3	VI 1-A5
523	III-2	VI 1-A5
524	II-6	VI 1-A5
525	III-3	VI 1-A5
526	III-3	VI 1-A5
527	IV	VI 1-A5
528	IV	VI 1-A5
529	-	VI 1-A5
530	III-3	VI 1-A5
531	-	VI 1-A5

番号	層位	分類
532	III-6	VI 1-A5
533	IV	VI 1-A5
534	II-6	VI 1-A5
535	III-2	VI 2-A5
536	IV	VI 2-A5
537	III-3	VI 2-A5
538	III-3	VI 2-A5
539	III-3	VI 2-A5
540	II-5	VI 2-A5
541	IV	VI 2-A5
542	III-6	VI 2-A5
543	II-7	VI 2-A5
544	II-5	VI 2-A5
545	II-10	VI 2-A5
546	III-2	VI 2-A5
547	II-6	VI 2-A5
548	IV	VI 2-A5
549	-	VI 2-A5
550	III-2	VI 2-A5
551	III-3	VI 2-A5
552	III-6	VI 2-A5
553	II-6	VI 2-A5
554	-	VI 2 ~ VI 1-A5
555	III-6	VI 2-A5
556	II	VI 2-A5
557	II-6	VI 2-A5
558	III	VI 2 ~ VI 1-A5
559	III-3	VI 2 ~ VI 1-A5
560	III-3	VI 2 ~ VI 1-A5
561	IV	VI 2 ~ VI 1-A5
562	III-2	VI 2 ~ VI 1-A5
563	III-6	VI 2 ~ VI 1-A5
564	III-6	VI 2 ~ VI 1-A5
565	IV	VI 2 ~ VI 1-A5
566	II-10	VI 2 ~ VI 1-A5
567	II	VI 2 ~ VI 1-A5
568	IV	VI 2 ~ VI 1-A5
569	I	VI 2 ~ VI 1-A5
570	III-2	VI 2 ~ VI 1-A5
571	III-6	VI 2 ~ VI 1-A5
572	II-6	VI 2 ~ VI 1-A5
573	-	VI 2 ~ VI 1-A5
574	-	VI 2 ~ VI 1-A5
575	-	VI 2 ~ VI 1-A5
576	III-2	VI 2 ~ VI 1-A5
577	II-6	VI 2 ~ VI 1-A5
578	-	VI 2 ~ VI 1-A5
579	III-6	VI 2 ~ VI 1-A5
580	-	VI 2 ~ VI 1-A5
581	II	VI 2 ~ VI 1-A5
582	III-3	VI 2 ~ VI 1-A5
583	II	VI 2 ~ VI 1-A5
584	II-16	VI 2 ~ VI 1-A5
585	V	VI 2 ~ VI 1-A5
586	II-10	VI 2 ~ VI 1-A5
587	-	VI 2 ~ VI 1-A5
588	-	VI 2 ~ VI 1-A5
589	II	VI 2 ~ VI 1-A5
590	II-10	VI 2 ~ VI 1-A5
591	IV	VI 2 ~ VI 1-A5
592	III-3	VI 2 ~ VI 1-A5
593	IV	VI 2 ~ VI 1-A5
594	II	VI 2 ~ VI 1-A5
595	-	VI 2 ~ VI 1-A5
596	III-2	VI 2 ~ VI 1-A5
597	II	VI 2 ~ VI 1-A5
598	-	VI 2 ~ VI 1-A5
599	IV	VI 2 ~ VI 1-A5
600	II-5	VI 2 ~ VI 1-A5
601	II	VI 2 ~ VI 1-A5

番号	層位	分類
602	-	VI 2 ~ VI 1-A5
603	III-3	VI 2 ~ VI 1-A5
604	III-3	VI 2 ~ VI 1-A5
605	II	VI 2 ~ VI 1-A5
606	IV	VI 2 ~ VI 1-A5
607	IV	VI 2 ~ VI 1-A5
608	II-17	VI 2 ~ VI 1-A5
609	III-2	VI 2 ~ VI 1-A5
610	II-6	VI 2 ~ VI 1-A5
611	III-3	VI 2 ~ VI 1-A5
612	II	VI 2 ~ VI 1-A5
613	III-2	VI 2 ~ VI 1-A5
614	-	VI 2 ~ VI 1-A5
615	IV	VI 2 ~ VI 1-A5
616	-	VI 2 ~ VI 1-A5
617	III-2	VI 2 ~ VI 1-A5
618	II	VI 2 ~ VI 1-A5
619	-	VI 2 ~ VI 1-A5
620	II	VI 2 ~ VI 1-A5
621	-	VI 2 ~ VI 1-A5
622	II	VI 2 ~ VI 1-A5
623	II-5	VI 2 ~ VI 1-A5
624	III-2	VII 2-A5
625	II	VII 2-A5
626	II	VII 2-A5
627	II	VII 2-A5
628	II	VII 2-A5
629	IV	VII 2-A5
630	III-6	VII 2-A5
631	III-2	VI ~ VII-A5
632	V	VI ~ VII-A5
633	III-2	VI ~ VII-A5
634	IV	VI ~ VII-A5
635	IV	VI ~ VII-A5
636	IV	VI ~ VII-A5
637	III-3	VI ~ VII-A5
638	II-10	VI ~ VII-A5
639	III-2	VI ~ VII-A5
640	II	VI ~ VII-A5
641	II	VI ~ VII-A5
642	II	VI ~ VII-A5
643	II	VI ~ VII-A5
644	II	VI ~ VII-A5
645	III-3	VI ~ VII-A5
646	II	VI ~ VII-A5
647	II-5	VI ~ VII-A5
648	II	VI ~ VII-A5
649	III-6	VI ~ VII-A5
650	III-2	VI ~ VII-A5
651	IV	VI ~ VII-A5
652	-	VI ~ VII-A5
653	III-2	VI ~ VII-A5
654	II	VI ~ VII-A5
655	III-6	VI ~ VII-A5
656	IV	VI ~ VII-A5
657	V-1	VI ~ VII-A5
658	II	VI ~ VII-A5
659	III-2	VI ~ VII-A5
660	III-3	VI ~ VII-A5
661	IV	VI ~ VII-A5
662	III-2	VI ~ VII-A5
663	II	VI ~ VII-A5
664	II	VI ~ VII-A5
665	II	VI ~ VII-A5
666	IV	VI 1 ~ 2-A5
667	III-6	VI 1 ~ 2-A5
668	IV	VI 1 ~ 2-A5
669	-	VI 1 ~ 2-A5
670	-	VI 1 ~ 2-A5
671	-	VI 1 ~ 2-A5

番号	層位	分類
672	-	VI 1 ~ 2-A5
673	II-10	VI 1 ~ 2-A5
674	IV	VI 1 ~ 2-A5
675	II-6	VI 1 ~ 2-A5
676	IV	VI 1 ~ 2-A5
677	III-2	VI 1 ~ 2-A5
678	IV	VI 1 ~ 2-A5
679	III-2	VI 1 ~ 2-A5
680	III-3	VI ~ VII-A
681	III-2	VI ~ VII-A
682	III-6	VI ~ VII-A
683	III-3	VI ~ VII-A
684	III-2	VI ~ VII-A
685	III-2	VI ~ VII-A
686	III-2	VI ~ VII-A
687	III-2	VI ~ VII-A
688	II	VI ~ VII-A
689	-	VI ~ VII-A
690	IV	VI ~ VII-A
691	II	VI ~ VII-A
692	-	VI ~ VII-A
693	III-3	VI ~ VII-A
694	III-6	VI ~ VII-A
695	III-2	VI ~ VII-A
696	III-2	VI ~ VII-A
697	III-3	VI ~ VII-A
698	III-2	VI ~ VII-A
699	IV	VI ~ VII-A
700	III-2	VI ~ VII-A
701	-	VII 1 ~ 2-A3
702	IV	VII 1 ~ 2-A3
703	III-2	VII 1 ~ 2-A3
704	III-2	VII 1 ~ 2-A3
705	IV	VII 1 ~ 2-A3
706	I	VII 1 ~ 2-A3
707	III-2	VII 1 ~ 2-A3
708	-	VII 1 ~ 2-A3
709	II-11	VII 1 ~ 2-A3
710	IV	VII 1 ~ 2-A3
711	III-2	VII 1 ~ 2-A3
712	II	VII 1 ~ 2-A3
713	II	VII 1 ~ 2-A3
714	I	VII 1 ~ 2-A3
715	I	VII 1 ~ 2-A3
716	II	VII 1 ~ 2-A3
717	III-2	VII 1 ~ 2-A3
718	IV	VII 1 ~ 2-A3
719	IV	VII 1-A4
720	II	VII 1-A4
721	IV	VII 1-A4
722	II	VII 1-A4
723	III-3	VII 1-A4
724	IV	VII 1-A4
725	II-5	VII 1-A4
726	II-6	VII 1-A4
727	I	VII 1-A4
728	III-2	VII 1-A4
729	I	VII 1-A4
730	IV	VII 1-A4
731	III-3	VII 1-A4
732	II-6	VII 1-A4
733	IV	VII 1-A4
734	II	VII 1 ~ 2-A4
735	-	VII 1 ~ 2-A4
736	II	VII 1 ~ 2-A4
737	II	VII 1 ~ 2-A4
738	II-15	VII 1 ~ 2-A4
739	IV	VII 1 ~ 2-A4
740	II-12	VII 1 ~ 2-A4
741	II	VII 1 ~ 2-A4

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
742	III-5	VI 1 ~ 2-A4	812	III-2	VI-A	882	-	VI 2-C2	952	III	VI 1 ~ 2-G
743	-	VI 1 ~ 2-A4	813	IV	VI 1-B1	883	III-6	VI 2-C2	953	III-2	VI 1 ~ 2-G
744	-	VI 1 ~ 2-A4	814	IV	VI 1-B1	884	IV	VI 2-C2	954	IV	VI 1 ~ 2-G
745	-	VI 1 ~ 2-A4	815	II	VI 1-B1	885	II-6	VI 1 ~ 2-C2	955	IV	VI 1 ~ 2-G
746	III-2	VI 1 ~ 2-A4	816	-	VI 1-B1	886	III-2	VI 1 ~ 2-C2	956	-	VI 2-G
747	IV	VI 1 ~ 2-A4	817	IV	VI 1-B1	887	III-2	VI 1 ~ 2-C2	957	III-6	VI 2-G
748	IV	VI 1 ~ 2-A4	818	IV	VI 1-B1	888	IV	VI 1 ~ 2-C2	958	II-6	VI 2-G
749	V-1	VI 1 ~ 2-A4	819	IV	VI 1-B1	889	IV	VI 1 ~ 2-C2	959	III-2	VI ~ VI-G
750	III-6	VI 1 ~ 2-A4	820	IV	VI 1-B1	890	-	VI 1 ~ 2-C2	960	IV	VI ~ VI-G
751	IV	VI 1 ~ 2-A4	821	II-5	V 3-A4	891	II-5	VI 1 ~ 2-C2	961	V-1	VI ~ VI-G
752	IV	VI 1 ~ 2-A4	822	II-5	VI 2-B1	892	V-1	VI 1 ~ 2-C2	962	IV	VI ~ VI-G
753	III-2	VI 1 ~ 2-A4	823	II-6	VI 2-B1	893	IV	VI 1 ~ 2-C2	963	V-1	VI ~ VI-G
754	III-6	VI 1 ~ 2-A4	824	III-5	VI 2-B1	894	IV	VI 1 ~ 2-C2	964	-	VI ~ VI-G
755	III-6	VI 1 ~ 2-A4	825	IV	VI 2-B1	895	II	VI 1 ~ 2-C2	965	IV	VI ~ VI-G
756	II	VI 1 ~ 2-A4	826	II-10	VI 2-B1	896	II	VI 1 ~ 2-C2	966	IV	VI ~ VI-G
757	-	VI 1 ~ 2-A5	827	II-5	VI 2-B1	897	I	VI 1 ~ 2-C2	967	III-2	VI ~ VI-G
758	-	VI 1 ~ 2-A5	828	III-2	VI 2-B1	898	I	VI 1 ~ 2-C2	968	III-2	VI 1-A1
759	IV	VI 1 ~ 2-A5	829	III-3	VI 2-B1	899	IV	VI 1 ~ 2-D3	969	III-2	VI 1-A1
760	VI	VI 1 ~ 2-A5	830	-	VI 2-B1	900	II-5	VI 1 ~ 2-C2	970	II	VI 1-A1
761	I	VI 1 ~ 2-A5	831	III-2	VI 2-B1	901	III-2	VI 1 ~ 2-C2	971	II	VI 1-A4
762	-	VI 1 ~ 2-A5	832	IV	VI 2-B1	902	IV	VI 1 ~ 2-C2	972	II	VI 1-A4
763	II-10	VI 1 ~ 2-A5	833	-	VI 2-B1	903	IV	VI 1 ~ 2-C2	973	II	VI 1-A4
764	II-5	VI 1 ~ 2-A5	834	III-2	VI 2-B1	904	III-6	VI 1 ~ 2-C2	974	II-4	VI 1-A4
765	I	VI 1 ~ 2-A5	835	-	VI 2-B1	905	II-10	VI 1 ~ 2-C2	975	II-2	VI 1-A4
766	III	VI 1 ~ 2-A5	836	-	VI 2-B1	906	IV	VI 1 ~ 2-C2	976	II	VI 1-A4
767	V-1	VI 1 ~ 2-A5	837	IV	VI 2-B1	907	III	VI 1 ~ 2-C2	977	II	VI 1-A4
768	II-6	VI 1 ~ 2-A5	838	III-5	VI 2-B1	908	III-6	VI 1 ~ 2-D3	978	III-11	VI 1-G
769	II	VI 1 ~ 2-A5	839	III-2	VI 2-B1	909	IV	VI 1 ~ 2-D3	979	III-3	VI 1-A
770	-	VI 1 ~ 2-A5	840	-	VI 2-B1	910	-	VI 1 ~ 2-D3	980	IV	VI 1-A
771	II	VI 1 ~ 2-A4	841	III	VI 1 ~ 2-B	911	IV	VI 1 ~ 2-D3	981	III-2	VI 1-A3
772	II	VI 1 ~ 2-A4	842	II-5	VI 1 ~ 2-B	912	-	VI 1-C1	982	IV	VI 1-A3
773	IV	VI 1 ~ 2-A4	843	II	VI 1 ~ 2-B	913	-	VI 1-C1	983	IV	VI 1-A3
774	II	VI 1 ~ 2-A4	844	-	VI 1 ~ 2-B	914	II-8	VI 1-C1	984	II-5	VI 1-A3
775	-	VI 1 ~ 2-A4	845	II	VI 1 ~ 2-B	915	-	VI 2-C1	985	II	VI 1-A3
776	IV	VI 1 ~ 2-A4	846	-	VI 1 ~ 2-B	916	I	VI ~ VI-E	986	II-12	VI 1-A3
777	III	VI 1 ~ 2-A4	847	IV	VI 1 ~ 2-B	917	III-2	VI ~ VI-E	987	II-5	VI 1-A3
778	III-3	VI 1 ~ 2-A4	848	IV	VI 1 ~ 2-B	918	IV	VI ~ VI-E	988	I	VI 1-A4
779	III	VI 1 ~ 2-A4	849	IV	VI 1 ~ 2-B	919	III-5	VI ~ VI-E	989	II	VI 1-A4
780	II	VI 1 ~ 2-A4	850	IV	VI 1 ~ 2-B	920	IV	VI ~ VI-E	990	IV	VI 1-A4
781	II	VI 1 ~ 2-A4	851	III-6	VI 1 ~ 2-B	921	III-2	VI 2-D3	991	II	VI 1-A4
782	II	VI 1 ~ 2-A4	852	-	VI 1 ~ 2-B	922	II-11	VI-F	992	II-5	VI 1-A4
783	II	VI 1 ~ 2-A4	853	IV	VI ~ VI-E	923	III-6	VI 1 ~ 2-D3	993	II-11	VI 1-A4
784	II-5	VI 1 ~ 2-A4	854	III-2	VI 1 ~ 2-B	924	III-3	VI 1 ~ 2-D3	994	III-3	VI 1-A4
785	IV	VI 1 ~ 2-A4	855	-	VI 1 ~ 2-B	925	II-5	VI-F	995	IV	VI 1-A4
786	II	VI 1 ~ 2-A4	856	III-2	VI ~ VI-B	926	IV	VI-F	996	III-2	VI 1-A4
787	II	VI 1 ~ 2-A4	857	I	VI ~ VI-B	927	II-6	VI 1 ~ 2-D3	997	IV	VI 1-A4
788	IV	VI 1 ~ 2-A4	858	III-2	VI ~ VI-B	928	III-3	VI-F	998	III-2	VI 1-A4
789	IV	VI 1 ~ 2-A5	859	IV	VI ~ VI-B	929	II	VI-F	999	II	VI 1-A4
790	II	VI 1 ~ 2-A5	860	II	VI 2-C1	930	-	VI 2-F2	1000	-	VI 1-A4
791	III-3	VI 1 ~ 2-A5	861	II	VI 2-C1	931	II-5	VI-F2	1001	IV	VI 1-A4
792	-	VI 1 ~ 2-A5	862	II-7	VI 2-C1	932	III-3	VI 1 ~ 2-F	1002	II	VI 1-A4
793	III-3	VI 1 ~ 2-A5	863	III-2	VI 2-C1	933	IV	VI 1 ~ 2-F	1003	III-2	VI 1-A5
794	III-3	VI 1 ~ 2-A5	864	III-2	VI 2-C1	934	III-3	VI 1 ~ 2-F	1004	-	VI 1-A5
795	-	VI 1 ~ 2-A5	865	III-2	VI 2-C1	935	II	VI 1 ~ 2-F	1005	I	VI 1-A5
796	III	VI 1 ~ 2-A5	866	II	VI 2-C1	936	III-2	VI 1 ~ 2-F	1006	II-16	VI 1-A5
797	III-3	VI 1 ~ 2-A5	867	II-8	VI 2-C1	937	III-2	VI-F	1007	III-6	VI 1-A5
798	III-3	VI 1 ~ 2-A5	868	III-5	VI 2-C1	938	II-5	VI 2-G	1008	I	VI 1-A5
799	-	VI 1 ~ 2-A5	869	II-8	VI 2-C1	939	III-2	VI 2-G	1009	-	VI 1-A5
800	III-3	VI 1 ~ 2-A5	870	II-13	VI 2-C1	940	II	VI 2-G	1010	II	VI 1-A5
801	III-3	VI 1 ~ 2-A5	871	II-10	VI 2-C1	941	-	VI 2-G	1011	III-3	VI 1-A5
802	III-2	VI 1 ~ 2-A5	872	III-2	VI 2-C1	942	V-1	VI 2-G	1012	II-10	VI 1-A5
803	III-3	VI 1 ~ 2-A5	873	IV	VI 1-C2	943	II	VI 2-G	1013	II	VI 1-A5
804	II	VI-A	874	III-2	VI 1-C2	944	III-2	VI 2-G	1014	II	VI 1-A4
805	II-5	VI-A	875	III-6	VI 2-C2	945	IV	VI 2-G	1015	III-3	VI 1-A5
806	IV	VI-A	876	II-6	VI 2-C2	946	I	VI 1 ~ 2-G	1016	III-6	VI-A
807	III-6	VI-A	877	III-5	VI 2-C2	947	IV	VI 1 ~ 2-G	1017	II-5	VI-A
808	III-2	VI-A	878	III-6	VI 2-C2	948	IV	VI 1 ~ 2-G	1018	II-5	VI-A
809	IV	VI-A	879	II-6	VI 1-C2	949	IV	VI 1 ~ 2-G	1019	II	VI 1-C1
810	III-2	VI-A	880	-	VI 2-C2	950	IV	VI 1 ~ 2-G	1020	II	VI 1-C2
811	III-6	VI-A	881	-	VI 2-C2	951	-	VI 1 ~ 2-G	1021	III-2	VI 1-C2

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
1022	II-5	ⅤB 1-C2	1092	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1162	III-2	ⅤI 2-A7	1232	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1023	III-3	ⅤI 1-C2	1093	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1163	III-3	ⅤI 2-A7	1233	III	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1024	III-2	ⅤB 1-C2	1094	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1164	III-6	ⅤI 2-A7	1234	II-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1025	III-2	ⅤB 1-B	1095	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1165	-	ⅤI 2-A7	1235	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1026	II-5	ⅤB 1-B	1096	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1166	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1236	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1027	I	ⅤB 1-B	1097	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1167	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1237	II-5	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1028	-	ⅤB 1-F	1098	ⅤI	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1168	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1238	III-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1029	II-4	ⅤB 7-A4	1099	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1169	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1239	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1030	III-6	ⅤB 7-C2	1100	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1170	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1240	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1031	II	ⅤB 7-A4	1101	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1171	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1241	II-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1032	III-2	ⅤB 5-A4	1102	III-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1172	ⅤB	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1242	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1033	II-5	ⅤB 5-A4	1103	I	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1173	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1243	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1034	I	ⅤB 5-C1	1104	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1174	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1244	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1035	III-6	ⅤB 4-C	1105	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1175	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1245	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1036	IV	ⅤB 4-C1	1106	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1176	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1246	V-1	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1037	IV	ⅤB 4-C2	1107	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1177	III-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1247	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1038	II-4	ⅤB 6-C	1108	III-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1178	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1248	II-5	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1039	IV	ⅤB 4-C	1109	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1179	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1249	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1040	IV	ⅤI 1-A6	1110	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1180	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1250	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1041	II-6	ⅤI 1-A6	1111	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1181	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1251	II-16	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1042	III-2	ⅤI 1-A6	1112	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1182	II-5	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1252	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1043	IV	ⅤI 1-A6	1113	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1183	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1253	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1044	ⅤI	ⅤI 1-A6	1114	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1184	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1254	I	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1045	IV	ⅤI 1-A6	1115	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1185	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1255	III-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1046	IV	ⅤI 1-A6	1116	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1186	II-5	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1256	II-10	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1047	I	ⅤI 2-A6	1117	II-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1187	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1257	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1048	III-6	ⅤI 2-A6	1118	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1188	II-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1258	II-5	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1049	IV	ⅤI 2-A6	1119	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1189	III-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1259	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1050	-	ⅤI 2-A6	1120	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1190	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1260	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1051	-	ⅤI 2-A6	1121	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1191	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1261	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1052	I	ⅤI 2-A6	1122	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1192	II-8	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1262	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1053	III-2	ⅤI 2-A6	1123	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1193	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1263	II-7	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1054	IV	ⅤI 1-A6	1124	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1194	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1264	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1055	III-2	ⅤI 1-A6	1125	III-5	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1195	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1265	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1056	IV	ⅤI 1-A6	1126	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1196	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1266	II-5	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1057	V	ⅤI 1-A6	1127	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1197	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1267	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1058	IV	ⅤI 1-A6	1128	III-5	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1198	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1268	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1059	II-10	ⅤI 1-A6	1129	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1199	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1269	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1060	IV	ⅤI 1-A6	1130	-	ⅤI 1-A7	1200	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1270	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1061	III-2	ⅤI 1-A6	1131	III-2	ⅤI 1-A7	1201	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1271	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1062	III-2	ⅤI 1-A6	1132	IV	ⅤI 1-A7	1202	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1272	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1063	V	ⅤI 1-A6	1133	III-6	ⅤI 1-A7	1203	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1273	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1064	-	ⅤI 1-A6	1134	III-2	ⅤI 2-A7	1204	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1274	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1065	III-2	ⅤI 1-A6	1135	III-2	ⅤI 2-A7	1205	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1275	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1066	-	ⅤI 1-A6	1136	IV	ⅤI 2-A7	1206	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1276	II-5	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1067	III-3	ⅤI 1-A6	1137	III-2	ⅤI 2-A7	1207	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1277	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1068	IV	ⅤI 1-A6	1138	V	ⅤI 2-A7	1208	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1278	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1069	III-2	ⅤI 1-A6	1139	IV	ⅤI 2-A7	1209	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1279	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1070	III-2	ⅤI 1-A6	1140	III-6	ⅤI 2-A7	1210	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1280	IV	ⅤB 1-A7
1071	II-5	ⅤI 1-A6	1141	II-6	ⅤI 2-A7	1211	II-5	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1281	IV	ⅤB 1-A7
1072	IV	ⅤI 1-A6	1142	III-2	ⅤI 2-A7	1212	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1282	II	ⅤB 1-A7
1073	-	ⅤI 1-A6	1143	III-2	ⅤI 2-A7	1213	III-3	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1283	-	ⅤB 1-A7
1074	IV	ⅤI 1-A6	1144	-	ⅤI 2-A7	1214	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1284	III-3	ⅤB 1-A7
1075	III-3	ⅤI 1-A6	1145	-	ⅤI 2-A7	1215	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1285	-	ⅤB 1-A7
1076	III-6	ⅤI 1-A6	1146	IV	ⅤI 2-A7	1216	II-12	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1286	V-1	ⅤB 1-A7
1077	III-6	ⅤI 1-A6	1147	IV	ⅤI 2-A7	1217	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1287	-	ⅤB 1-A7
1078	III-2	ⅤI 1-A6	1148	IV	ⅤI 2-A7	1218	III-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1288	III-2	ⅤB 1-A7
1079	V-1	ⅤI 1-A6	1149	-	ⅤI 2-A7	1219	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1289	IV	ⅤI 2-A7
1080	III-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1150	IV	ⅤI 2-A7	1220	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1290	IV	ⅤI 2-A7
1081	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1151	II-16	ⅤI 2-A7	1221	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1291	III-2	ⅤI 2-A7
1082	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1152	III-6	ⅤI 2-A7	1222	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1292	IV	ⅤI 2-A7
1083	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1153	-	ⅤI 2-A7	1223	III-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1293	III-3	ⅤI 2-A7
1084	V	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1154	IV	ⅤI 2-A7	1224	III-2	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1294	III-2	ⅤI 2-A7
1085	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1155	IV	ⅤI 2-A7	1225	II-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1295	IV	ⅤI 2-A7
1086	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1156	IV	ⅤI 2-A7	1226	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1296	II-2	ⅤI 2-A7
1087	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1157	III-V	ⅤI 2-A7	1227	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1297	V-1	ⅤI 2-A7
1088	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1158	-	ⅤI 2-A7	1228	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1298	III-3	ⅤI 2-A7
1089	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1159	II-6	ⅤI 2-A7	1229	II	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1299	III-5	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1090	II-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1160	II-12	ⅤI 2-A7	1230	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1300	-	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7
1091	II-6	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A6	1161	ⅤB	ⅤI 2-A7	1231	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7	1301	IV	ⅤI 2 ~ⅤB 1-A7

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
1302	II-6	VI 2 ~ VII 1-A7	1372	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1442	IV	VII 1 ~ 2-A7	1512	III-3	VII 1 ~ 2-A7
1303	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1373	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1443	IV	VII 1 ~ 2-A7	1513	-	VII 1 ~ 2-A7
1304	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1374	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1444	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1514	IV	VII 1 ~ 2-A7
1305	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1375	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1445	I	VII 1 ~ 2-A7	1515	II	VII 1 ~ 2-A7
1306	II	VI 2 ~ VII 1-A7	1376	III-6	VI 2 ~ VII 1-A7	1446	IV	VII 1 ~ 2-A7	1516	II-10	VII 1 ~ 2-A7
1307	II	VI 2 ~ VII 1-A7	1377	III-5	VI 2 ~ VII 1-A7	1447	IV	VII 1 ~ 2-A7	1517	-	VII 1 ~ 2-A7
1308	III-3	VI 2 ~ VII 1-A7	1378	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1448	-	VII 1 ~ 2-A7	1518	III-13	VII 1 ~ 2-A7
1309	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1379	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1449	IV	VII 1 ~ 2-A7	1519	II-5	VII 1 ~ 2-A7
1310	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1380	II	VI 2 ~ VII 1-A7	1450	II	VII 1 ~ 2-A7	1520	III-2	VII 1 ~ 2-A7
1311	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1381	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1451	II	VII 1 ~ 2-A7	1521	IV	VII 1 ~ 2-A7
1312	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1382	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1452	IV	VII 1 ~ 2-A7	1522	-	VII 1 ~ 2-A7
1313	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1383	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1453	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1523	IV	VII 1 ~ 2-A7
1314	V-1	VI 2 ~ VII 1-A7	1384	III-3	VI 2 ~ VII 1-A7	1454	III-3	VII 1 ~ 2-A7	1524	IV	VII 1 ~ 2-A7
1315	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1385	III-6	VI 2 ~ VII 1-A7	1455	II	VII 1 ~ 2-A7	1525	IV	VII 1 ~ 2-A7
1316	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1386	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1456	II	VII 1 ~ 2-A7	1526	III-2	VII 1 ~ 2-A7
1317	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1387	III-6	VI 2 ~ VII 1-A7	1457	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1527	II	VII 1 ~ 2-A7
1318	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1388	III-3	VI 2 ~ VII 1-A7	1458	III-3	VII 1 ~ 2-A7	1528	II-16	VII 1 ~ 2-A7
1319	II	VI 2 ~ VII 1-A7	1389	III-10	VI 2 ~ VII 1-A7	1459	II	VII 1 ~ 2-A7	1529	II	VII 1 ~ 2-A7
1320	III-6	VI 2 ~ VII 1-A7	1390	III-6	VI 2 ~ VII 1-A7	1460	-	VII 1 ~ 2-A7	1530	III-2	VII 1 ~ 2-A7
1321	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1391	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1461	II	VII 1 ~ 2-A7	1531	III-2	VII 1 ~ 2-A7
1322	II-6	VI 2 ~ VII 1-A7	1392	II	VII 1 ~ 2-A7	1462	II-6	VII 1 ~ 2-A7	1532	III-6	VII 1 ~ 2-A7
1323	III-3	VI 2 ~ VII 1-A7	1393	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1463	-	VII 1 ~ 2-A7	1533	II	VII 1 ~ 2-A7
1324	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1394	IV	VII 1 ~ 2-A7	1464	II-6	VII 1 ~ 2-A7	1534	IV	VII 1 ~ 2-A7
1325	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1395	IV	VII 1 ~ 2-A7	1465	-	VII 1 ~ 2-A7	1535	IV	VII 1 ~ 2-A7
1326	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1396	I	VII 1 ~ 2-A7	1466	IV	VII 1 ~ 2-A7	1536	IV	VII 1 ~ 2-A7
1327	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1397	III-6	VII 1 ~ 2-A7	1467	-	VII 1 ~ 2-A7	1537	III-3	VII 1 ~ 2-A7
1328	II-5	VI 2 ~ VII 1-A7	1398	II	VII 1 ~ 2-A7	1468	II	VII 1 ~ 2-A7	1538	III-5	VII 1 ~ 2-A7
1329	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1399	IV	VII 1 ~ 2-A7	1469	III-10	VII 1 ~ 2-A7	1539	I	VII 1 ~ 2-A7
1330	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1400	III-6	VII 1 ~ 2-A7	1470	II	VII 1 ~ 2-A7	1540	II	VII 1 ~ 2-A7
1331	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1401	III-5	VII 1 ~ 2-A7	1471	II	VII 1 ~ 2-A7	1541	II-5	VII 1 ~ 2-A7
1332	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1402	III-4	VII 1 ~ 2-A7	1472	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1542	II-16	VII 1 ~ 2-A7
1333	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1403	II	VII 1 ~ 2-A7	1473	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1543	II-6	VII 1 ~ 2-A7
1334	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1404	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1474	II	VII 1 ~ 2-A7	1544	IV	VII 1 ~ 2-A7
1335	II	VI 2 ~ VII 1-A7	1405	II	VII 1 ~ 2-A7	1475	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1545	II	VII 1 ~ 2-A7
1336	III-3	VI 2 ~ VII 1-A7	1406	II	VII 1 ~ 2-A7	1476	II	VII 1 ~ 2-A7	1546	III-5	VII 1 ~ 2-A7
1337	II	VI 2 ~ VII 1-A7	1407	II	VII 1 ~ 2-A7	1477	IV	VII 1 ~ 2-A7	1547	III-3	VII 1 ~ 2-A7
1338	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1408	IV	VII 1 ~ 2-A7	1478	III-5	VII 1 ~ 2-A7	1548	III-3	VII 1 ~ 2-A7
1339	III-3	VI 2 ~ VII 1-A7	1409	III-6	VII 1 ~ 2-A7	1479	IV	VII 1 ~ 2-A7	1549	III-2	VII 1 ~ 2-A7
1340	III-6	VI 2 ~ VII 1-A7	1410	III-6	VII 1 ~ 2-A7	1480	IV	VII 1 ~ 2-A7	1550	IV	VII 1 ~ 2-A7
1341	II-6	VI 2 ~ VII 1-A7	1411	I	VII 1 ~ 2-A7	1481	II-6	VII 1 ~ 2-A7	1551	IV	VII 1 ~ 2-A7
1342	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1412	V-1	VII 1 ~ 2-A7	1482	III-10	VII 1 ~ 2-A7	1552	II	VII 1 ~ 2-A7
1343	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1413	I	VII 1 ~ 2-A7	1483	III-3	VII 1 ~ 2-A7	1553	II	VII 1 ~ 2-A7
1344	II-5	VI 2 ~ VII 1-A7	1414	II-6	VII 1 ~ 2-A7	1484	II-6	VII 1 ~ 2-A7	1554	II	VII 1 ~ 2-A7
1345	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1415	II	VII 1 ~ 2-A7	1485	III-3	VII 1 ~ 2-A7	1555	IV	VII 1 ~ 2-A7
1346	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1416	II-11	VII 1 ~ 2-A7	1486	II-5	VII 1 ~ 2-A7	1556	III-3	VII 1 ~ 2-A7
1347	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1417	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1487	IV	VII 1 ~ 2-A7	1557	II	VII 1 ~ 2-A7
1348	II	VI 2 ~ VII 1-A7	1418	III-5	VII 1 ~ 2-A7	1488	IV	VII 1 ~ 2-A7	1558	III-2	VII 1 ~ 2-A7
1349	VII	VI 2 ~ VII 1-A7	1419	III-5	VII 1 ~ 2-A7	1489	-	VII 1 ~ 2-A7	1559	II-6	VII 1 ~ 2-A7
1350	V	VI 2 ~ VII 1-A7	1420	II	VII 1 ~ 2-A7	1490	-	VII 1 ~ 2-A7	1560	II	VII 1 ~ 2-A7
1351	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1421	III-12	VII 1 ~ 2-A7	1491	II-4	VII 1 ~ 2-A7	1561	II	VII 1 ~ 2-A7
1352	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1422	II	VII 1 ~ 2-A7	1492	II	VII 1 ~ 2-A7	1562	-	VII 1 ~ 2-A7
1353	II-5	VI 2 ~ VII 1-A7	1423	III-6	VII 1 ~ 2-A7	1493	II-6	VII 1 ~ 2-A7	1563	IV	VII 1 ~ 2-A7
1354	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1424	II-6	VII 1 ~ 2-A7	1494	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1564	III-11	VII 1 ~ 2-A7
1355	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1425	II-5	VII 1 ~ 2-A7	1495	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1565	II	VII 1 ~ 2-A7
1356	III-6	VI 2 ~ VII 1-A7	1426	III-3	VII 1 ~ 2-A7	1496	IV	VII 1 ~ 2-A7	1566	II	VII 1 ~ 2-A7
1357	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1427	-	VII 1 ~ 2-A7	1497	II	VII 1 ~ 2-A7	1567	I	VII 1 ~ 2-A7
1358	III-3	VI 2 ~ VII 1-A7	1428	IV	VII 1 ~ 2-A7	1498	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1568	III-3	VII 1 ~ 2-A7
1359	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1429	II	VII 1 ~ 2-A7	1499	II	VII 1 ~ 2-A7	1569	III-3	VII 1 ~ 2-A7
1360	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1430	III-6	VII 1 ~ 2-A7	1500	II	VII 1 ~ 2-A7	1570	-	VII 1 ~ 2-A7
1361	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1431	-	VII 1 ~ 2-A7	1501	II	VII 1 ~ 2-A7	1571	II-7	VII 1 ~ 2-A7
1362	III-3	VI 2 ~ VII 1-A7	1432	II	VII 1 ~ 2-A7	1502	II	VII 1 ~ 2-A7	1572	II	VII 1 ~ 2-A7
1363	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1433	-	VII 1 ~ 2-A7	1503	IV	VII 1 ~ 2-A7	1573	II	VII 1 ~ 2-A7
1364	III-2	VI 2 ~ VII 1-A7	1434	III-5	VII 1 ~ 2-A7	1504	IV	VII 1 ~ 2-A7	1574	I	VII 1 ~ 2-A7
1365	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1435	II	VII 1 ~ 2-A7	1505	VI	VII 1 ~ 2-A7	1575	III-3	VII 1 ~ 2-A7
1366	II	VI 2 ~ VII 1-A7	1436	II	VII 1 ~ 2-A7	1506	-	VII 1 ~ 2-A7	1576	II	VII 1 ~ 2-A7
1367	II	VI 2 ~ VII 1-A7	1437	II	VII 1 ~ 2-A7	1507	I	VII 1 ~ 2-A7	1577	II-12	VII 1 ~ 2-A7
1368	II-5	VI 2 ~ VII 1-A7	1438	II	VII 1 ~ 2-A7	1508	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1578	-	VII 1 ~ 2-A7
1369	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1439	II	VII 1 ~ 2-A7	1509	II-5	VII 1 ~ 2-A7	1579	-	VII 1 ~ 2-A7
1370	II	VI 2 ~ VII 1-A7	1440	II	VII 1 ~ 2-A7	1510	II-16	VII 1 ~ 2-A7	1580	III-6	VII 1 ~ 2-A7
1371	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1441	II	VII 1 ~ 2-A7	1511	III-2	VII 1 ~ 2-A7	1581	IV	VII 1 ~ 2-A7

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
1582	II-7	Ⅷ-A5	1614	II	Ⅷ-A2	1646	II-10	Ⅷ-A5	1678	-	Ⅷ-A2
1583	II-6	Ⅷ-A5	1615	I	Ⅷ-A2	1647	II	Ⅷ-C2	1679	IV	Ⅷ-A2
1584	II-8	Ⅷ-A5	1616	II-10	Ⅷ-A2	1648	III-2	Ⅷ-C2	1680	III-2	Ⅷ-A2
1585	III-2	Ⅷ-A5	1617	II	Ⅷ-A2	1649	III-2	Ⅷ-C2	1681	-	Ⅷ-A2
1586	II	Ⅷ-A5	1618	IV	Ⅷ-A2	1650	II	Ⅷ-C2	1682	-	Ⅷ-A2
1587	IV	Ⅷ-A5	1619	III-2	Ⅷ-A2	1651	III-3	Ⅷ-C2	1683	II	Ⅷ-A2
1588	II	Ⅷ-A5	1620	II-5	Ⅷ-A2	1652	-	Ⅷ-C2	1684	-	Ⅷ-A2
1589	III-6	Ⅷ-A5	1621	-	Ⅷ-A2	1653	V-1	Ⅷ-C2	1685	IV	Ⅷ-A2
1590	II-7	Ⅷ-A5	1622	I	Ⅷ-A4	1654	III-2	Ⅷ-C2	1686	III	Ⅷ-A2
1591	II	Ⅷ-A5	1623	-	Ⅷ-A4	1655	-	Ⅷ-C2	1687	-	Ⅷ-A2
1592	-	Ⅷ-A5	1624	II-4	Ⅷ-A5	1656	IV	Ⅷ-C2	1688	III-6	Ⅷ-A2
1593	II	Ⅷ-A5	1625	II-4	Ⅷ-A5	1657	III-2	Ⅷ-C2	1689	III-3	Ⅷ-A2
1594	IV	Ⅷ-A5	1626	V-1	Ⅷ-A4	1658	I	Ⅷ-C2	1690	III-3	Ⅷ-A2
1595	II	Ⅷ-A5	1627	IV	Ⅷ-A4	1659	III-2	Ⅷ-C2	1691	III-3	Ⅷ-A2
1596	-	Ⅷ-A5	1628	II	Ⅷ-A2	1660	II	Ⅷ-C2	1692	-	Ⅷ-A2
1597	IV	Ⅷ-A5	1629	II	Ⅷ-A2	1661	III-5	Ⅷ-C2	1693	-	Ⅷ-A2
1598	-	Ⅷ-A5	1630	II	Ⅷ-A5	1662	II-6	Ⅷ-C2	1694	-	Ⅷ-A2
1599	III-6	Ⅷ-A5	1631	II-11	Ⅷ-A5	1663	II-13	Ⅷ-C2	1695	IV	Ⅷ-A2
1600	II-14	Ⅷ-A5	1632	III-3	Ⅷ-A5	1664	III-2	Ⅷ-C2	1696	-	Ⅷ-A2
1601	II	Ⅷ-A5	1633	II	Ⅷ-A5	1665	III-3	Ⅷ-C2	1697	III-5	Ⅷ-A2
1602	II	Ⅷ-A5	1634	IV	Ⅷ-A5	1666	III-2	Ⅷ-C2	1698	I	Ⅷ-A2
1603	II	Ⅷ-A5	1635	II	Ⅷ-A5	1667	IV	V-C1	1699	-	Ⅷ-A2
1604	III-6	Ⅷ-A5	1636	II	Ⅷ-A5	1668	II-7	Ⅷ-C1	1700	III-3	Ⅷ-A2
1605	III-3	Ⅷ-A5	1637	II-5	Ⅷ-A5	1669	II	Ⅷ-A2	1701	I	Ⅷ-A2
1606	III-3	Ⅷ-A5	1638	II-5	Ⅷ-A5	1670	III-6	Ⅷ-A2	1702	-	Ⅷ-A2
1607	-	Ⅷ-A5	1639	II	Ⅷ-A5	1671	III-3	Ⅷ-A2	1703	III-3	Ⅷ-A2
1608	-	Ⅷ-A5	1640	III-2	Ⅷ-A5	1672	III-3	Ⅷ-A2	1704	II	Ⅷ-A2
1609	II-13	Ⅷ-A5	1641	II	Ⅷ-A5	1673	-	Ⅷ-A2	1705	I	Ⅷ-A2
1610	II	Ⅷ-A5	1642	II	Ⅷ-A5	1674	III-3	Ⅷ-A2	1706	III-5	Ⅷ-A2
1611	II-16	Ⅷ-A2	1643	II	Ⅷ-A5	1675	III-3	Ⅷ-A2	1707	II-10	Ⅷ-A2
1612	III-5	Ⅷ-A2	1644	II	Ⅷ-A5	1676	III-3	Ⅷ-A2	1708	-	Ⅷ-A2
1613	III-2	Ⅷ-A2	1645	II-4	Ⅷ-A5	1677	III-3	Ⅷ-A2			

第107表 K-7グリッド出土土製品観察表(第749図、第755～第759図)

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ
1709	III-4	ミニチュア	[7.6]	[3.4]	[1.6]	1899	III-4	土製管玉	3.0	1.5	[0.7]
1710	-	ミニチュア	[2.9]	(4.8)	-	1900	-	土俵	[8.2]	[9.3]	[1.8]
1711	IV	ミニチュア	10.0	11.5	-	1901	IV	土俵	4.3	(3.8)	(1.0)
1712	-	ミニチュア	[4.6]	(5.9)	-	1902	-	土俵	[6.6]	9.3	3.8
1713	I	ミニチュア	[2.9]	(4.6)	-	1903	III-4	土俵	[5.7]	[6.6]	[3.6]
1714	III-4	ミニチュア	3.6	5.6	0.8	1904	IV	土俵	[3.2]	[4.3]	[2.4]
1715	II	ミニチュア	3.9	7.2	-	1905	-	土俵	[4.5]	[3.2]	[2.4]
1716	II-10	ミニチュア	[3.6]	(7.2)	-	1906	III-3	土俵	[3.4]	5.5	[3.0]
1717	IV	ミニチュア	3.6	4.0	-	1907	III-4	土俵	[7.8]	[9.0]	[3.3]
1718	III-2	ミニチュア	2.8	(5.0)	-	1908	III-4	土俵	[2.9]	[5.2]	[3.6]
1719	III-4	ミニチュア	1.7	3.8	0.5	1909	III-2	土俵	[2.8]	(3.1)	(2.2)
1720	V	ミニチュア	2.0	4.3	-	1910	IV	土俵	[6.5]	[4.6]	[3.5]
1721	IV	製塩土器	[7.5]	(8.5)	-	1911	II	土俵	[7.7]	[6.3]	[5.2]
1722	III-6	異形台付土器	(5.3)	(7.8)	(1.6)	1912	III-2	土俵	(3.9)	(2.5)	(2.6)
1723	III-2	異形台付土器	[4.9]	6.0	-	1913	IV	土俵	[7.3]	[4.1]	[3.6]
1724	III-3	異形台付土器	[3.7]	-	-	1914	III-5	土俵	(9.5)	(4.2)	(4.0)
1725	III-4	異形台付土器	(5.4)	9.4	-	1915	III-5	土俵	(4.0)	(6.5)	(3.2)
1726	IV	異形台付土器	[3.7]	(7.2)	-	1916	III-4	土俵	(4.5)	(4.6)	(2.4)
1727	III-2	異形台付土器	[5.3]	(7.2)	-	1917	III-5	土俵	(6.0)	(2.9)	(5.7)
1728	VI	異形台付土器	[3.3]	[5.5]	[0.7]	1918	-	土俵	(4.8)	2.4	2.4
1729	III-4	異形台付土器	[6.0]	[9.2]	[0.5]	1919	III-4	動物形土製品	[3.0]	[2.3]	[1.8]
1730	III-6	土俵	3.7	2.0	2.2	1920	IV	土俵	(4.0)	7.5	2.1
1731	IV	土俵	3.6	3.5	1.6	1921	III-4	土俵	(6.2)	(3.0)	(3.2)
1898	III-4	土製管玉	3.6	1.6	1.5						

第108表 K-7グリッド出土土製品観察表(第749～第753図)

番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類
1732	-	9.0	105.9	II-A-ア	1744	-	6.3	55.5	II-A-イ	1756	-	6.3	35.2	II-A-ウ
1733	-	7.5	41.5	II-A-ウ	1745	-	6.2	41.4	II-A-イ	1757	III-2	5.9	38.4	II-A-ウ
1734	-	7.0	56.3	II-A-イ	1746	V	6.0	40.4	II-A-ウ	1758	-	5.8	42.4	II-A-イ
1735	-	8.2	53.4	II-A-ウ	1747	-	6.8	51.9	II-A-ウ	1759	IV	5.9	36.3	II-A-ウ
1736	IV	6.5	38.4	II-A-ウ	1748	-	6.5	41.1	II-A-ウ	1760	III-6	6.6	29.7	II-A-ウ
1737	-	7.7	42.9	II-A-イ	1749	III-2	6.1	35.3	II-A-ウ	1761	II-1	5.4	31.4	II-A-ウ
1738	III-2	6.6	49.5	II-A-イ	1750	IV	6.5	52.3	II-A-ア	1762	III-3	6.0	50.2	II-A-ア
1739	III-17	7.1	49.2	II-A-ウ	1751	II-14	6.2	37.7	II-A-ウ	1763	III-3	6.0	37.2	II-A-ウ
1740	IV	6.9	45.5	II-A-イ	1752	III-5	5.1	28.6	II-A-ウ	1764	II-1	6.0	35.9	II-A-ウ
1741	III-2	7.0	51.5	II-A-エ	1753	III-IV	6.3	42.9	II-A-ア	1765	III-2	6.2	40.9	II-A-エ
1742	III	6.6	36.9	II-A-エ	1754	III-2	5.7	55.6	II-A-イ	1766	III-3	6.1	42.5	II-A-イ
1743	III-3	6.4	47.6	II-A-ウ	1755	III-2	6.5	41.7	II-A-エ	1767	IV	6.1	36.1	II-A-ア

番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類
1768	V-1	5.7	44.1	II-Aウ	1800	-	4.4	16.9	II-Aイ	1832	III-3	4.9	23.4	II-Aウ
1769	III-5	6.3	36.4	II-Aウ	1801	-	5.8	42.2	II-Aウ	1833	-	5.1	27.4	II-Aウ
1770	IV	5.5	28.8	II-Aウ	1802	-	5.8	34.4	II-Aア	1834	III-3	4.6	21.7	II-Aウ
1771	IV	5.8	32.6	II-Aウ	1803	-	6.3	31.4	II-Aイ	1835	IV	4.9	22.8	II-Aウ
1772	IV	5.6	36.6	II-Aア	1804	-	5.3	23.1	II-Aイ	1836	III~IV	5.3	20.1	II-Aウ
1773	III-3	5.8	40.1	II-Aウ	1805	III-2	5.9	34.0	II-Aア	1837	-	5.1	23.4	II-Aウ
1774	-	6.2	32.1	II-Aウ	1806	III-5	5.2	34.1	II-Aウ	1838	-	4.3	20.8	II-Aウ
1775	-	5.0	34.6	II-Aウ	1807	IV	4.7	23.3	II-Aウ	1839	III-5	5.1	24.9	II-Aウ
1776	II-10	5.6	38.6	II-Aウ	1808	-	4.7	25.5	II-Aウ	1840	IV	5.5	28.2	II-Aイ
1777	IV	5.4	38.7	II-Aア	1809	IV	5.2	25.0	II-Aア	1841	-	4.9	24.1	II-Aイ
1778	IV	6.2	34.7	II-Aア	1810	IV	4.0	18.8	II-Aウ	1842	III-6	4.3	22.7	II-Aウ
1779	-	5.9	41.5	II-Aウ	1811	-	5.0	30.1	II-Aイ	1843	III-13	4.4	26.3	II-Aイ
1780	III-3	5.7	36.0	II-Aウ	1812	-	4.9	35.0	II-Aア	1844	II-1	7.0	41.0	I-Bウ
1781	-	5.8	32.3	II-Aウ	1813	-	4.9	28.5	II-Aア	1845	-	6.1	37.9	I-Aア
1782	III~IV	6.1	37.0	II-Aイ	1814	-	5.5	21.4	II-Aウ	1846	II	5.3	24.9	I-Aア
1783	III-3	5.4	33.1	II-Aウ	1815	IV	5.3	33.0	II-Aイ	1847	II-16	5.2	23.4	I-Bウ
1784	III~IV	5.3	21.5	II-Aウ	1816	III-6	4.1	17.8	II-Aイ	1848	-	5.5	31.0	I-Bウ
1785	IV	5.4	29.5	II-Aウ	1817	IV	4.9	33.4	II-Aア	1849	IV	5.1	36.2	I-Aア
1786	III-3	5.4	32.7	II-Aイ	1818	-	4.6	22.0	II-Aウ	1850	-	5.0	29.5	I-Bウ
1787	V-1	5.4	33.1	II-Aウ	1819	III-6	5.1	38.2	II-Aイ	1851	IV	5.1	22.4	I-Bウ
1788	IV	5.9	33.0	II-Aア	1820	-	5.8	29.2	II-Aウ	1852	-	4.9	26.5	I-Bウ
1789	IV	6.2	36.6	II-Aウ	1821	III-6	4.6	21.8	II-Aイ	1853	-	4.4	18.4	I-Bウ
1790	IV	6.5	33.2	II-Aア	1822	-	5.1	25.9	II-Aウ	1854	III-2	4.4	16.4	I-Bウ
1791	IV	6.2	41.7	II-Aア	1823	-	5.3	33.6	II-Aア	1855	II-1	4.6	18.3	I-Bウ
1792	II-14	4.8	18.9	II-Aウ	1824	-	4.6	19.1	II-Aウ	1856	VI	4.4	24.8	I-Bウ
1793	-	5.2	25.7	II-Aウ	1825	V-1	4.6	24.5	II-Aウ	1857	II-16	4.9	20.8	I-Bウ
1794	III-5	6.0	36.6	II-Aア	1826	-	5.1	28.5	II-Aウ	1858	-	5.0	15.3	I-Bウ
1795	-	4.5	25.4	II-Aア	1827	-	4.9	27.6	II-Aウ	1859	IV	4.4	16.7	I-Bウ
1796	III-3	5.7	36.7	II-Aイ	1828	III-6	4.4	23.0	II-Aウ	1860	IV	4.1	17.6	I-Bウ
1797	-	6.2	42.1	II-Aア	1829	III-3	5.3	28.3	II-Aウ	1861	-	4.6	21.4	I-Bウ
1798	III-5	5.6	26.9	II-Aウ	1830	III-2	5.4	30.5	II-Aウ					
1799	III-3	5.1	28.8	II-Aア	1831	-	5.6	28.3	II-Aウ					

第109表 K-7グリッド出土土師器観察表 (第753~第755区)

番号	層位	径1	径2	高さ	重量	分類	番号	層位	径1	径2	高さ	重量	分類
1862	V-1	1.8	1.2	2.0	5.5	II-Aア	1880	III~IV	2.6	2.4	1.5	9.6	III-Dイ
1863	III~IV	2	1.9	1.9	10.9	I-Aア	1881	V-1	(4.5)	(4.3)	1.6	6.4	III-Dア
1864	III-2	2.5	2.1	2.0	13.3	I-Bア	1882	-	7.5	7.4	2.0	42.7	III-Dイ
1865	III~IV	(3.1)	(2.7)	2.0	11.4	I-Aア	1883	-	(7.0)	(6.9)	1.7	12.5	III-Dア
1866	IV	(3.6)	(3.5)	2.6	34.2	I-Aア	1884	IV	(7.8)	(7.6)	2.2	22.9	III-Dイ
1867	III-3	3.7	3.5	2.4	39.4	I-Aア	1885	-	(3.6)	(3.4)	1.7	6.2	III-Dア
1868	-	1.5	1.4	1.6	3.5	III-Aア	1886	III~IV	(7.4)	(7.0)	2.2	15.6	III-Dア
1869	II-9	1.5	1.4	1.6	4.4	II-Aイ	1887	III~IV	(7.1)	(6.9)	2.1	8.1	III-Aイ
1870	III-2	2.3	2.3	1.9	13.9	I-Aイ	1888	IV	(7.6)	(7.3)	2.5	1.6	III-Dイ
1871	III~IV	3.2	2.3	2.1	14.7	I-Bア	1889	II	(7.0)	(6.9)	2.5	17.1	III-Dア
1872	III-6	(4.8)	(4.4)	2.3	35.2	IV-Aイ	1890	III-2	(6.7)	(6.6)	2.5	19.8	III-Dア
1873	-	(3.7)	(3.6)	1.6	2.9	II-Aア	1891	III~IV	(7.2)	(6.8)	2.2	9.0	III-Dア
1874	III~IV	(5.6)	(5.2)	1.7	6.6	III-Cイ	1892	III~IV	(7.6)	(7.9)	1.9	17.5	III-Dア
1875	VI	5.4	5.2	2.0	26.5	III-Cイ	1893	-	(7.8)	(7.4)	2.1	18.9	III-Dア
1876	III~IV	(6.0)	(5.8)	2.2	14.9	III-Bア	1894	-	6.6	6.4	1.8	40.2	III-Bイ
1877	-	(6.9)	(6.8)	1.9	40.6	III-Bア	1895	III-2	(9.0)	(8.8)	1.5	12.4	III-Bア
1878	II	(8.0)	(7.7)	2.2	15.3	III-Dア	1896	III-2	1.5	1.4	1.4	2.7	IV-B
1879	-	(8.2)	(8.0)	1.6	16.8	III-Bア	1897	IV	(5.4)	(5.2)	2.6	29.5	IV-B

第110表 K-7グリッド出土石器観察表 (第759~第763区)

番号	層位	器種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
1922	-	石鏃	I	チャート	(2.0)	1.7	0.5	0.9
1923	III-2	石鏃	I	チャート	2.4	2.3	0.9	4.8
1924	II	スクレイパー	-	チャート	4.5	3.1	0.9	12.8
1925	II-6	二次加工剥片	-	頁岩	4.7	7.2	1.1	24.4
1926	II-8	二次加工剥片	-	珪質頁岩	3.9	4.7	1.3	18.8
1927	II-7	打製石斧	-	頁岩	7.6	[4.5]	1.9	86.5
1928	III-2	打製石斧	I	ホルンフェルス	[5.7]	5.5	1.8	81.3
1929	III-3	磨製石斧	I	頁岩	[7.0]	7.7	3.1	220.3
1930	III-3	磨製石斧	I	頁岩	[5.6]	[4.0]	[3.4]	86.7
1931	III-6	磨製石斧	III	頁岩	3.8	2.4	1.0	12.4
1932	-	磨製石斧	III	トレモラ閃石岩	2.3	1.0	0.5	1.7
1933	-	スタンプ形石器	-	安山岩	[8.1]	[7.3]	4.6	295.0
1934	II-7	鍛石	I	安山岩	6.2	4.3	3.5	114.4
1935	IV	鍛石	I	緑色岩	8.1	2.1	1.2	38.4
1936	III-3	鍛石	I	頁岩	11.4	4.2	2.8	197.9
1937	III-6	鍛石	I	閃緑岩	7.0	5.0	4.2	209.1
1938	II-3	鍛石	I	頁岩	8.1	4.2	2.5	124.9
1939	III-6	鍛石	-	砂岩	7.7	7.1	5.0	452.2

番号	層位	器種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
1940	II-9	磁石	-	安山岩	[7.2]	5.1	3.4	220.0
1941	IV	磁石	-	緑泥片岩	15.1	4.0	2.4	277.2
1942	III-2	回石	I	安山岩	7.5	6.7	2.3	155.9
1943	III-2	回石	III	砂岩	[7.6]	6.3	4.9	163.7
1944	II	回石	III	安山岩	8.5	8.9	5.2	236.5
1945	IV	磨石	I	閃緑岩	8.0	7.5	3.3	314.3
1946	III-2	磨石	I	閃緑岩	7.4	6.0	3.8	231.1
1947	III-3	磨石	I	安山岩	8.2	5.7	3.4	214.1
1948	V-1	磨石	I	安山岩	11.0	6.6	5.5	648.3
1949	II-7	磨石	I	安山岩	[12.4]	[6.7]	5.3	553.2
1950	III-2	磨石	I	安山岩	5.0	5.3	4.7	171.4
1951	III-3	磨石	I	安山岩	[3.9]	6.1	4.7	163.6
1952	II	磨石	I	安山岩	5.9	5.1	4.2	152.3
1953	III-2	磨石	I	安山岩	[4.7]	[6.0]	[5.2]	177.6
1954	III-6	磨石	II	安山岩	5.9	5.9	3.9	205.9
1955	III-2	磨石	II	閃緑岩	[7.8]	[7.9]	2.7	232.7
1956	II-3	石皿	II	安山岩	[9.9]	[9.7]	4.7	338.7
1957	II	石皿	II	安山岩	[14.9]	[12.4]	6.4	894.7
1958	III-2	石皿	II	安山岩	[12.2]	[7.4]	4.1	404.8
1959	III-2	石皿	II	安山岩	[7.3]	[10.5]	4.2	288.2
1960	-	石皿	II	緑泥片岩	[10.3]	9.2	2.9	373.4
1961	IV	磁石	II	砂岩	[6.9]	6.3	1.5	60.9
1962	II	磁石	III	砂岩	[6.4]	3.8	1.7	47.1
1963	III	磁石	III	砂岩	8.3	5.0	2.2	86.6
1964	III-6	磁石	III	安山岩	[4.5]	[3.1]	[2.0]	26.7
1965	II-12	石鏢	I	安山岩	6.9	4.8	1.4	63.7
1966	II	石鏢	II	頁岩	5.4	3.5	0.9	24.1
1967	IV	軽石類	I	軽石	7.9	6.0	3.1	47.6
1968	II	軽石類	I	軽石	[7.2]	[5.8]	[3.0]	42.4
1969	II	軽石類	II	軽石	9.6	8.9	3.3	142.9
1970	-	垂飾	-	ヒスイ	2.1	1.4	0.7	2.8
1971	-	垂飾	-	ヒスイ	1.4	0.8	0.4	0.7
1972	-	垂飾	-	ヒスイ	0.8	0.8	0.6	0.5
1973	-	垂飾	-	ヒスイ	0.9	0.9	0.5	0.6
1974	-	垂飾	-	滑石	[1.3]	[1.4]	[1.0]	1.9

244~246は沈線文のみ施文される粗製深鉢形土器で、244、245は垂下する平行沈線文、246は条線文が施文される。

247~272は紐線文土器である。247は縄文地上に2本の押圧隆帯が垂下し、弧状の平行沈線が施文される。248~257は口縁部に押圧隆帯が巡り、胴部の地文縄文上に平行沈線文が施文されるものである。256、257は口縁部の押圧隆帯が2本である。258~263は地文縄文のみ、264、265は条線文のみ施文される。266、267は地文縄文上に横位の沈線文が施文されるもので、266は口縁部から磨消文帯が垂下する。以上は加曾利B2式からB3式である。268~272は口縁部に押圧隆帯と、胴部に横位から斜位の条線文が施文されるものである。加曾利B3式から曾谷式であろう。

273、274は条線文土器で、273は口唇部に刻列が施文される。加曾利B3式から曾谷式であろう。

275~281は加曾利B式から曾谷式の縄文施文の粗製深鉢形土器である。

282~291は鉢、浅鉢類である。282、283は加曾利B1式の口縁部が内湾する鉢、284~287は加曾利B2式の口縁部が内湾する鉢、288~290は口縁部が大きく開く鉢で、290は台付鉢になろう。加曾利B3式から曾谷式であろう。291は加曾利B2式の浅鉢である。

4、292~320は第V群第4類の曾谷式及び高井東式土器である。4、292~305、309、310は波状口縁深鉢形土器で、292~302は大型波状把手を有する。292、294は棒状の把手が、297、298は筒状の把手が、296、301、302は板状の把手が付く。

306~308、311は口縁部が内折して大きく開く平口縁深鉢形土器で、306、307は口縁部に沈線文が、308は縄文が施文され、311は無文である。

312~314は5単位波状口縁土器で、312は頭部に横位の沈線、313は粗い斜沈線が施され、314は313と同様に斜沈線が施文されるものであろう。

315は胴部の括れる深鉢形土器で、口縁部に細かな押引状の刻みが施される。

317～319は口縁部に平行沈線が施文される浅鉢で、320は縄文帯が施文される鉢である。54は口縁部に縄文帯が施文され、赤彩された鉢である。55は底部の丸い鉢、56は屈曲する口縁部に沈線を施文する鉢である。いずれも曽谷式であろう。

3、5～10、12、321～422は安行式の瘤状貼付文を有する大波状口縁深鉢形土器である。

3、321～331は無刻の縦瘤が付く安行1式である。3、327は把手に円窓が空く。3、325、328は横羽状沈線文を施文する頸部文様帯を有する。

6、332～353は刻目帯で区画される安行2式で、横刻縦瘤+豚鼻瘤が付く。6は把手に環状の隆帯が巻き付き、縄文地上に平行沈線の鋸歯状文が描かれる頸部文様帯を有する。340は刻目帯が使用されることから安行2式と判断したが、2個対の瘤や刻みを施した円形貼付文等が施文されるなど他と異なり、安行3a式となる可能性もある。

5、7、354～387は安行2式から安行3a式であり、大方は安行3a式であろう。貼付瘤の在り方に大きな違いはないが、三角形文が崩れるものや、三叉文や入組文、渦巻文等が施文されるようになる。8、9、388～398は縦刻横瘤や背割凹線を有する縦瘤が施文されるなど、貼付瘤に多様な変化が現れる。把手の先端がやや扁平状となり、沈線が施文されるものが多くなる。8は頸部文様帯を有するもの、口縁部の三角区画が簡略化している。9は頸部に入組文や三叉文が施文される。安行3a式である。

10、12、399～409は舌状2段瘤を施文するもので、安行3b式である。舌状瘤は背割2本沈線が施文されるものを主とするが、背割凹線状のものもある。把手先端部はほぼ扁平となり、沈線状の刻みが施されている。10、12は鉢形の深鉢であり、背割凹線を有する舌状2段瘤が施文されている。

410～422は、安行2式から安行3b式の波状口縁の破片である。

23～26、423～488は胴部で括れ、口縁部が開

く平口縁深鉢形土器である。

11、423～442は口縁部に無刻の縦長瘤、もしくは円形瘤が付く安行1式の平口縁深鉢形土器である。441は刻目帯が施文されており、安行2式の可能性もある。443～457は安行1式の瘤が付いていない口縁部破片である。

25、26、458～467は横刻縦瘤や豚鼻瘤の付く安行2式である。25は縦刻横瘤を起点にして、蛇行沈線に伴う紡錘文を2段に施文して文様帯を縦位区画し、その間に大振りの蛇行沈線が垂下されて縄文が施文されている。26は口縁部に横位の縄文帯が施文され、張り出した胴部に豚鼻状の縦刻横瘤が施文される。458は細かな刻目帯、462は粗い刺突文状の刻目帯で区画される。

23、24、468～488は安行2式の瘤のない平口縁深鉢形土器で、磨消縄文や弧線文、蛇行沈線文等が施文されるものである。多くの破片の口縁部に小突起が付けられている。23は25と同様な蛇行懸垂文が垂下し、縦位の綾線状の刺突文列で区画されている。24はクラック状の入組文モチーフ内に縄文が施文されるもので、瘤付土器系の文様構成に影響を受けているものと思われる。安行3a式の可能性もある。

13～22、489～679は口縁部が内湾する砲弾形の平口縁深鉢形土器である。

13～17、489～497、499～534は無刻瘤を有する安行1式、18、20、498、535～557は横刻縦瘤を有する安行2式、19、21、22、558～623は安行2式から安行3a式である。624～630は舌状2段瘤を有する安行3b式である。

631～665は第VI群から第VII群にかけての貼付文のみられない、口縁部が内湾する土器群である。

666～679は安行1式から2式の口縁部が内湾する瓢形深鉢である。675、676には無刻の縦瘤が付き、679には縦刻横瘤が付く。

680～700は安行式の瘤の付く土器群の胴部破片であるが、683、699は条線文土器の胴部破片

であろう。

27～30、701～788は三叉文や入組文等を施文する晩期安行式土器の深鉢である。

27、701～718は安行3 a式から3 b式の胴部が括れて、口縁部が開く波状口縁深鉢形土器である。27、701～715は緩い波状口縁、716～718は大きな波状口縁を呈する。波頂下には三叉文や入組文が施文され、口縁部や胴部に瘤状貼付文の付くものもある。701～710は安行3 a式であろう。27は胴の括れが縄文帯で区画され、口縁部に玉抱三叉文、胴上半部に三叉文を伴う玉抱帯状入組文が、胴下半部にはクランク状の入組文が施文される。安行3 a式であろう。716～718は、入組文や姥山Ⅱ式系の菱形文が施文される安行3 b式である。

28～30、719～756は胴部が括れ、口縁部が開く平口縁深鉢形土器である。玉抱三叉文、三叉文、入組文等が施文される安行3 a式から3 b式である。28、719～733は安行3 a式、29、30、734～756は安行3 b式であろう。

36～38、40、757～770は安行3 a式から3 b式の口縁部が内湾する平口縁深鉢で、761、767～769は安行3 a式、36～38、757～760、762～766は安行3 b式であろう。40、770は安行3 b式の瓢形土器である。

771～788は頸部で括れて口縁部が開き、口縁部に入組文や縄文が施文される安行3 a式から3 b式の深鉢である。大半は安行3 b式と思われる。

789～803は、口縁部が肥厚して内湾する第Ⅶ群の紐線文土器に系譜する深鉢である。肥厚する口縁部に縄文が施されるのを特徴とし、紐線文土器と同様なモチーフを磨消縄文で施文する。安行3 a式から3 b式である。

804～812は晩期安行式深鉢土器の胴部破片である。

41～53、813～859は安行式土器の台付鉢である。

41、44、813～820は口縁部が外反する安行1式、822～840は安行2式、48、49、845は安行

3 a式から3 b式であろう。脚部では、42、43、45、841、842、844、846～852、854、855は安行1式から安行2式、46～53、843、853～859は晩期安行式台付鉢の脚部と思われる。

860～872、912～915は口縁部が外反する鉢で、912、913は無刻の縦長瘤が付く安行1式、914、915は豚鼻瘤や縦刻横瘤などが付く安行2式である。860～872は外反する口縁部に三叉文、胴部に入組文等が施文される安行3 b式を中心とした鉢である。

57～65、68、873～898、900～907は内湾する口縁部が開く鉢である。873、874は安行1式、57、59、875～878、880～884は安行2式である。

58、60、62～65、68、879、885～898、900～907は安行3 a式から3 b式である。60は円形文を挟む対向三叉文、886と887、888と889は同一個体で入組三叉文や帯状入組文が施文される。891、894、900は玉抱三叉文が、892、890は入組文が施文される。897、898は土偶状や動物意匠状の把手が付く鉢で、円形刺突文を中心に入組文が構成されている。いずれも安行3 a式であろう。

62は入組文が楕円区画文化し、64は口縁部に沈線のステッキ状文が施文されている。903、905～907は安行3 b式であろう。

66、67、82、83、899、908～911、921、923、924、927は安行3 a式から3 b式の、胴部が屈曲する浅鉢である。66、69は胴部に押圧突帯を巡らせて、胴上半部に入組文、下半部に弧線文が施文されている。67は体部が2段のつづれた瓢状を呈し、帯縄文に沿って幅広の刻目文が施文される。82、83は胴部と頸部が屈曲する浅鉢で、口縁部に小突起が付けられている。安行3 b式であろうか。909は口縁部の突起から押圧突帯が胴部まで垂下して、胴部を巡るものと思われる。923、924は同一個体である。注口土器の可能性もある。

76は底部の地文縄文上に、沈線の弧線文や入組文が施文される浅鉢である。安行3 b式であろう。

922、925、926、928、929は口縁部が外折して開く器形で、広口壺と思われるが浅鉢の可能性もある。安行3 b式であろうか。

85、930は長頸壺と思われる。85は頸部に平行沈線が5段に施文されており、930は縄文帯に刺突文が施されている。85は瘤付土器の影響を受けているものと思われ、後期末から晩期初頭のものであろう。930は安行3 b式か。88、89、932～937は壺か注口土器の胴部である。

90、91、938～967は注口土器である。938～945、956～958は安行2式、90、91、946～955は安行3 a式から3 b式であろう。959～967は注口部である。

92は角底深鉢形土器で、底部に四隅を繋ぐ弧線文が施文される。胴部はコーナーに垂下する縄文帯で区画され、縄文を施文する横位レンズ状文が3段に配される。安行3 a式であろう。

32、33、35、968～977は晩期中葉Ⅷ群第1類の安行3 c式土器で、沈線と刺突文が併施文される深鉢形土器である。

968～970は口縁部が開く波状口縁深鉢形土器である。968、969は波頂部に隆帯が巻かれ、刺突文を挟む並行沈線で区画等が施文される。970は2列の刺突文が施文される褶曲状の区画文内、入組渦巻文や三叉文が施文される。

32、33、35、971～977は平口縁深鉢形土器で、33は口縁部が開く器形で、35、971～973は胴部で緩く括れ、口縁部が開く器形である。33は刺突文を挟む弧線文と垂下する直線文とが組み合わされて鼓状のモチーフが構成され、沈線の入組文や「H」状文が施文される。35は横位水平に展開する入組三叉文が2段に施文され、刺突文が施文される。971～973は刺突文を挟む並行沈線で、口縁部が区画される。974～976は頸部で括れて胴部が膨れる器形で、外反する口縁部に刺突文列が施文される。

32、977は紐線文土器に系譜する土器である。

32は刺突文を挟む並行沈線で鋸歯状文や対弧線文が構成される。977は段帯状の口縁部に2列の刺突文が施文される。

978は壺もしくは注口土器の胴部であろう。979、980は紐線文土器や条線文土器の胴部である。

31、34、981～1018は沈線のみでモチーフが施文される安行3 c式を中心とした土器群である。

981～987は波状口縁で、口縁部が開く深鉢形土器である。入組文や弧線文が施文される。

31、998～1002、1014は口縁部が開く平口縁深鉢形土器である。31は口縁部に2連の突起が付き、胴部が沈線で区画され、上半部にコンパス文状の対弧線が施文される。998～1002は入組三叉文を基本としたモチーフが展開されるが、縦位の蛇行沈線、入組文、縦位区画線等が施文される。

39、1003～1013、1015は口縁部が内湾する深鉢形土器である。39は口縁部に刻みを施した弧状貼付文が付き、沈線で区画された胴上半部がさらに結節沈線で2分割され、2帯の文様帯を有する。結節沈線より上側では楕円区画文、下側では連続弧線文が施文される。胴下半部には粗い条線文が施文されている。他は口縁部が肥厚する紐線文系の土器で、口縁部が区画されるものがほとんどである。胴部には弧線文、入組文、三叉文等とともに、紐線文土器由来のモチーフも施文される。

1016～1018は胴部破片である。

69、74、77、79、1019～1027は鉢類である。1019は口縁部が外反し、波状を呈する鉢で、波頂部に3個の突起を有し、波頂下に円孔が空く。内面の突起及び円孔の周囲に低隆帯が巡る。

69、74、1020～1024は内湾する口縁部が開く浅鉢である。69は壺形の鉢で、入組文や弧線文がランダムに施文されている。74は口縁部と胴部に平行沈線が施文される。1020は胴部に刺突文状の短沈線を挟む並行沈線が施文される。1021は肥厚する口唇部が平坦面を呈し、口端部に刻列、口唇上に刺突文列が施文される。1022は渦巻文、1024

は弧線文が並行沈線で施文されている。

77は皿、79は浅鉢である。77は入組三又文が、79は刺突文を挟み並行沈線で入組文が施文される。

1025～1027は台付鉢の脚部である。

84、86、87は壺である。84は広口の小壺で、口縁部に突起が付き、胴部に弧線文を合わせた連続菱形文状の区画が施され、内部に横位の入組三又文が施文される。86は大洞C式の影響を受けた壺の口縁部であり、87は無文の口縁部が開く壺の口縁部である。1028は壺又は注口土器の胴部破片である。

1034～1039は大洞式系土器である。1034、1036は口縁部の開く鉢で、1036は大洞B式の影響を受けたもの、1034はまだ大洞B式段階であろう。1037は鉢で、1035、1039とともに大洞B式段階であろう。1038は大洞C1である。

81は口縁部が小波状を呈し、内湾する丸底の鉢で、口縁部と胴部が刻文帯で区画され、縦位の刻文を起点に3本の弧線文が連弧文状に施文される。外面は赤彩されている。第Ⅶ群第6類の楓原文様を有する滋賀里式土器である。

70、1029～1031は第Ⅶ群第7類の細密沈線文土器である。1032、1033は第Ⅶ群第5類の前浦式土器である。

93～101、1040～1129は第Ⅵ群から第Ⅶ群の条線文系土器である。1040～1097は胴部が緩く括れ口縁部が開く器形で、1040～1053は口縁部に刻列を施文するものである。条線文は横位から斜位、縦位に施文される。横位弧状で密な条線文は、曾谷式の可能性もある。1054～1079は口縁部が沈線で区画され、刻列が施文されるものである。条線文は縦位を基本にして、斜位に施文されるものがある。以上、安行1式を中心とする条線文土器である。

93～101、131～133、1080～1129は口縁部が内湾する条線文土器で、安行2式から安行3a式を中心とする条線文土器である。沈線で口縁部が区

画され、口縁部に刻列が施文されるものや、口縁部が肥厚する紐線文系の土器、口縁部に刻列が施文されないもの、口縁部に縄文が施文されるものなどが含まれる。96、99、101、131は紐線文土器との折衷的な土器である。口唇部が無刻の条線文土器は、安行3a式以降のものも含まれよう。

102～130、1130～1548は紐線文系土器である。

1130～1133は胴部が緩く括れて口縁部が開く器形で、口縁部に押圧隆帯が巡り、縦位方向の条線が施文される、安行1式土器である。

104、1134～1165は口縁部が内湾する器形で、口縁部に押圧隆帯、胴部に横位及び斜位方向の比較的細かな条線文が施文される安行2式であるが、安行1式も含まれよう。同様な紐線文土器で、105、1289～1298は口縁部が沈線で区画されるものである。

102、103、106～109、112、113、115、1166～1279は、口縁部に強い押圧や刻みを施した隆帯が巡り、胴部にやや間隔の空いた条線が施文される、安行2式から3a式にかけての紐線文土器である。地文条線文のみのもの、口縁部と繋がる押圧隆帯が文様帯内に貫入するもの、斜線と弧線文を組み合わせたモチーフ、対弧文内に蛇行沈線や刺突文を施文するもの、入組文を施文するものなどがある。同様な紐線文土器で、110、123、124、1299～1376は口縁部が沈線で区画されるものである。1364、1366～1368、1373は口縁部に条線文土器と同様な連続刻みが施文されている。

1280～1288は沈線文間に縄文が施文されるものや、沈線間の地文条線文が磨消されるものなどで、安行3a式の紐線文土器である。

134～136、1374～1381、1383、1384は口縁部に押圧隆帯や刻みが施されないもので、1377、1378は沈線区画が施される。1382は口縁部に円形状の押圧が施される。いずれも、地文に条線文が施文される。

148、1385～1391は安行2式から3a式の紐線

文土器の胴部破片である。

114、116～130、1392～1545は地文の条線文が消失した段階の紐線文土器で、安行3 a式の後半から安行3 b式の土器群である。125～130、1477～1545は口縁部が沈線で区画されるものである。胴部の文様等は条線文が施文されるものと大きな違いはないが、沈線間に刺突文や縄文の施文されるものが多くなる。一方、口縁部の押圧隆帯はほぼ使用されなくなり、連続的な刻みへと変化するものが多くなる。一部、条線文土器の口縁部刻列と同様な連続刻みを施文するものもある。

137は口縁部が肥厚する紐線文系土器で、2本沈線で口縁部と胴部が区画され、鋸歯状文が施文される。安行3 a式から3 b式であろう。

149、151は紐線文土器の胴部破片である。

138～146、1549～1708は晩期中葉第Ⅷ群の無文土器である。138～141、1549～1572は肥厚する口縁部が内湾する紐線文系の土器群で、削り出し状に口縁部が作出されるものや、沈線で区画されるものがある。

1573～1581は口縁部が内湾する深鉢で、口縁部の内面が肥厚するものである。143、144、147、1582～1610は口縁部が内湾する器形、1611～1621は緩く内湾する口縁部が開く器形、1624、1625は頸部で括れて口縁部が立ち、胴部が大きく膨れる器形、1622、1623、1626、1627は胴部で括れ、口縁部が開く器形である。

1628～1646は輪積成形痕が残る粗製土器である。1628、1629は口縁部が開く器形、1630～1633は口縁部が内湾する器形である。1634～1646は折返状の口縁部を有する土器群である。

71～73、75、78、80、1647～1666、1668は第Ⅷ群の無文の鉢類である。71、1653、1654は口縁部に貼付文が付く。78は口縁部内面が肥厚する鉢で、外面のケズリ整形が明瞭である。

1647～1652は押圧状の刻みで、口縁部が小波状を呈する。72、1656～1666は口縁部が内湾し

て開く鉢で、1656は折返状口縁を呈する。1668は口縁部が外反する器形となろうか。

78は浅鉢である。80は高台状の脚が付く台付鉢であろう。75は楕円形の平底の皿で、長軸上に四角い板状の把手が付く。

1669～1708は製塩土器で、良く被熱して暗橙褐色を呈し、器壁の薄い深鉢である。

150～181は各時期、各器種の底部である。

土製品類 (第748図1709～第759図1921)

第748図1709～1720はミニチュア土器である。

1709、1710は台付土器の脚部で、1709は後期安行式の異形台付土器の脚部と思われる。1711は把手が1箇所付くコップ形のミニチュア土器で、胴部が沈線で4段に分割され、それぞれに弧線文や鋸歯状文が組み合わさるモチーフが施文されている。安行3 c式であろう。1712は胴部に横位の沈線文が、底部付近に斜位の条線文が施文されている。1713は無文の底部である。

1714～1720は手捏ねの小鉢で、1714～1716は口縁部に突起が付けられる。

1721は底部が鋭角に尖る尖底土器で、良く被熱して暗橙褐色を呈している。ミニチュア土器ではなく、製塩土器の底部である可能性が高い。

1722はみみずく土偶の顔が付いた台付土器と思われる。安行2式であろう。1723～1726は安行2式の異形台付土器で、1727～1729は晩期の異形台付土器の仲間であろう。

1730、1731は土錘である。1730は長軸、短軸方向に紐かけの溝が切つてある。1731は土器片錘で、2箇所スリットが入る。

土製円盤は合計130点出土した。長方形のものが多く、1844～1861は円形に整えられている。

耳飾りは36点出土した。白形7点、栓形1点、環状形25点、台形3点である。白形、栓形はほぼ完形で、台形の1880、1894、1896は完形である。環状の1882は完形であったと思われるが、二次焼成を受けて大きく変形している。

1898は土製勾玉、1899は土製管玉である。

土偶は19点出土した。1900は中実みみずく土偶の頭部である。安行3c式末頃であろうか。1901は土偶付土器の剥落したみみずく土偶の顔面である。晩期であろう。

1902は中実みみずく土偶の胸部より上が現存する。4本の結髪うち1本が欠損するが、両腕から胸までは完形である。顔の輪郭には刻みが施されるが、目、口、耳に刻みは施されない。背中には入組文が施される。安行3c式期であろうか。

1903～1905はみみずく土偶の顔面である。1903は中実土偶の左目と左耳部分が現存するもので、耳には耳栓の表現があり、背面には入組三叉文が施文される。安行3b式期であろう。1904は中空土偶の左目部分である。晩期中葉である。1905は中実土偶の右目部分である。安行3b式期である。

1906は中実土偶の結髪である。晩期中葉か。

1907は中実のみみずく土偶で、頭部と左脚、両手先を欠損する。両肩から胸へのラインに刺突文列が施され、胴部には縄文LRが施文される。安行3b式期であろう。

1908、1909は左肩から手先まで残存し、1908は肩上に入組文が施文される安行3b式期、1909は渦巻文が施文される安行3a式期であろう。

1910は中実みみずく土偶の右脚で、4個の刻みで足の指が表現されている。安行3a式期である。

1911は中空みみずく土偶の右脚である。膝部分に刻みを施す円形の貼付文を有する。安行3c式末であろう。1912は中実土偶の右脚で、安行2式期であろう。1913は中実みみずく土偶の右脚で、安行3a式期、1914は左脚で安行2式であろうか。

1915は晩期土偶の頭部であり、安行3c式期であろう。1916は左腕、1918は左脚である。いずれも晩期である。

1917は中空みみずく土偶の頸部に当たる破片で、晩期中葉であろう。

1919は動物形土製品で、鳥の頭部である。

1920、1921は晩期中葉の土版である。

石器 (第759図1922～第763図1974)

第759図1922は無茎の石鏃で、左右の脚部が欠けている。1923は円形を呈し、正面裏面ともに周縁から器体中央に向けて剥離が施されていることから、石鏃の未成品と判断した。

1924はサイドスクレイパーで、裏面に主要剥離面を残す。

1927は打製石斧で、正面右側の一部を欠く。

1928は打製石斧の刃部片である。

1929と1930は磨製石斧Ⅰ類の刃部片で、ともに刃部に擦痕が認められる。1931、1932は磨製石斧Ⅲ類である。

1933はスタンプ形石器である。

1934～1937は敲石Ⅰ類、1938は敲石Ⅱ類である。1939、1940は磨石から転用された敲石である。1941は石剣が欠損した後、欠損面を使用面として敲石に再利用されている。

1943、1944は凹石Ⅲ類である。

1945～1953が磨石Ⅰ類、1954と1955が磨石Ⅱ類で、1950は下面に赤色顔料が確認できる。

1956～1960が石皿Ⅱ類で、1956は皿部及び底部に凹痕を有する。その他は皿部または底部の一方に凹痕を有する。

1961は砥石Ⅱ類、1962～1964が砥石Ⅲ類である。

1965は石錘Ⅰ類、1966が石錘Ⅱ類である。

1967と1968が凹痕を有する軽石類である。1969は正面と裏面の両面から穿孔を施すも貫通するまでに至っていないことから、浮子の未成品と判断した。

1970～1974が垂飾で、1970と1971は勾玉形を呈する。

その他、1925と1926は二次加工剥片である。

20 K-8グリッド出土遺物

概要 (第764図、第765図)

本グリッドは、調査A区の南東端にあたり、西側半分程が調査B区に当たる。住居跡群の途切れる地区に当たるのか、明瞭な住居跡の痕跡はない。後期末から晩期前葉の土壌が1基(SK331)、①小グリッドを中心として第3号柱穴列が検出されている程度である。

土器は後期の安行2式から安行3a式を中心として、晩期前葉までが少量出土している。中葉の安行3c式、3d式は極少量となっている。後期末から晩期初頭の土器群は、土壌の存在する⑥小グリッドを中心に、西側の小グリッド列で比較的多く出土している。

土製円盤は82点出土している。①小グリッドで23点が纏まって出土しており、第3号柱穴列との関連が想定されよう。土器群と同様に西側の小グリッド列から多く出土している。

縄文土器 (第766図1～第783図516)

第769図50～52は前期第II群第1類の花積下層式土器である。50は折返状口縁部に集合鋸歯状沈線文が施文される。53、54は第2類関山式土器である。53は「正反の合」の羽状縄文が施文される。55は第4類の諸磯a式土器で、56、57は爪形文が施文される第5類の諸磯b式土器である。58は「ハ」字状の刺突文が施文されるもので、胎土から前期と思われるが、型式比定が難しい土器である。前期末葉段階か。

60は後期第IV群第1類の称名寺1式土器で、59は第2類の称名寺2式土器である。61～68は第4類の堀之内2式土器である。61、62、64は口縁部の内面にも刻目隆帯が巡るもので、64では口唇部から垂下する刻目隆帯の内文が施文される。

69～71は第V群加曽利B式の深鉢形土器で、69は捻じれた把手を有する加曽利B2式の波状口縁深鉢、70は波状口縁、71は平口縁深鉢である。

72、73は加曽利B2式からB3式の大森タイ

ブの深鉢、74～76は縄文施文の5単位波状口縁土器、77～79は頸部に無文帯を有するB3式の斜線文土器で、77、78は波状口縁である。80は波状口縁の紐線文土器で、紐線文が剥落している。口縁部には地文縄文上に5本の並行沈線が施文され、円形の入組文状に変形した区切り文が垂下する。B2式であろう。

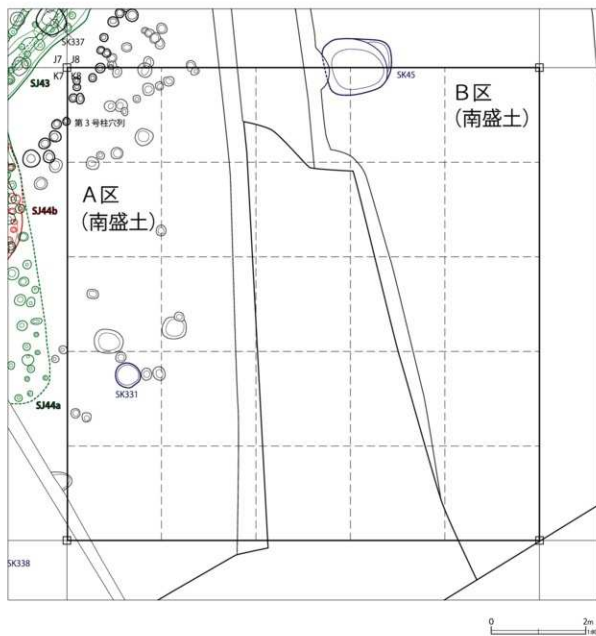
82、83、85は地文縄文上に斜格子目文を施文する遠部第四類系土器で、81は縄文施文のない格子目文、84は縄文地文上に斜沈線が施文される。いずれも頸部に無文帯があることから、加曽利B3式であろう。

1は胴部を無文帯で区画する平口縁深鉢形土器で、器面の荒れが著しく不明瞭であるが、口縁部と胴部に縄文が施文されていたようである。加曽利B3式となろうか。

86、87、95は地文縄文上に沈線の弧線文や平行沈線を施文する加曽利B2式紐線文土器である。94は2本の紐線文が施文され、91～93、96、97は胴部に縄文が施文されるものである。88、89は細かな条線文が施文される加曽利B3式から曾谷式の紐線文土器、90は条線文土器と思われる。98～100は縄文のみ施文される加曽利B式の粗製土器である。

2、101～111は曾谷式及び高井東式土器である。2は縄文LRが施される波状口縁部を刻列で区画し、頸部に多条の平行沈線が施文されるものである。胴部は縦位の条線文が施文される。101、102、104、108～110は波状口縁深鉢で、103は口縁部が内折する深鉢、105、106は口縁部が開く深鉢、106は口縁部が内湾する深鉢で、いずれも口縁部に平行沈線が施文される。111は鉢である。

3、4、112～144は安行式の大波状口縁土器で、3、112～115は安行1式、4、116～127、144は安行2式、128～134は安行2式から安行3a式、135～143は安行3a式から3b式である。



遺構	小グリッド	所属時期	遺構	小グリッド	所属時期	遺構	小グリッド	所属時期
S K 331	16	後期末葉から晩期前葉	第3号柱穴列	1	不明			

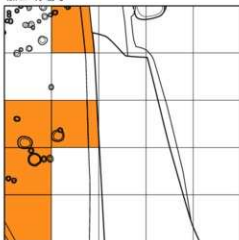
第764図 K-8グリッド検出遺構

6、7、145～173、256は、安行式の胴部で括れ、口縁部が開く平口縁深鉢形土器である。145～149は安行1式、150～155は安行2式の刻み瘤貼付文土器、156～173、256は瘤のない安行2式土器である。6、7はともに縄文施文のある雷文の間に、蛇行沈線文が垂下する。

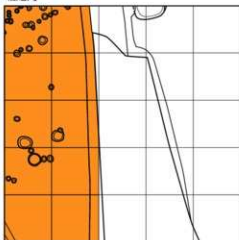
8、174～235は口縁部が内湾する砲弾形の平

口縁深鉢形土器である。8、174～186は安行1式、187～200は安行2式から安行3a式、201～207は安行3a式から3b式で、208～230、232～234は後期末葉から晩期前葉である。227～230、232～234は安行1式から2式、231、235は安行2式の瓢形土器であろう。236～238は安行2式の胴部破片である。

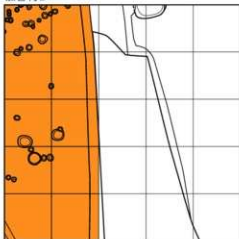
加E・称名寺



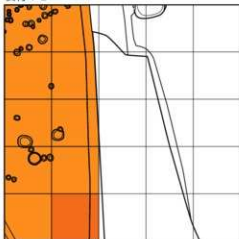
堀之内



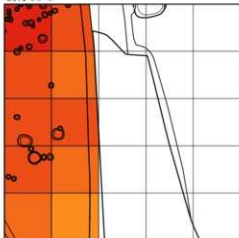
加曾利B



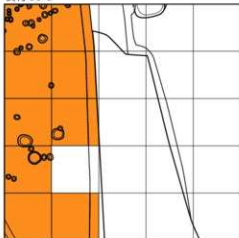
安行1・2



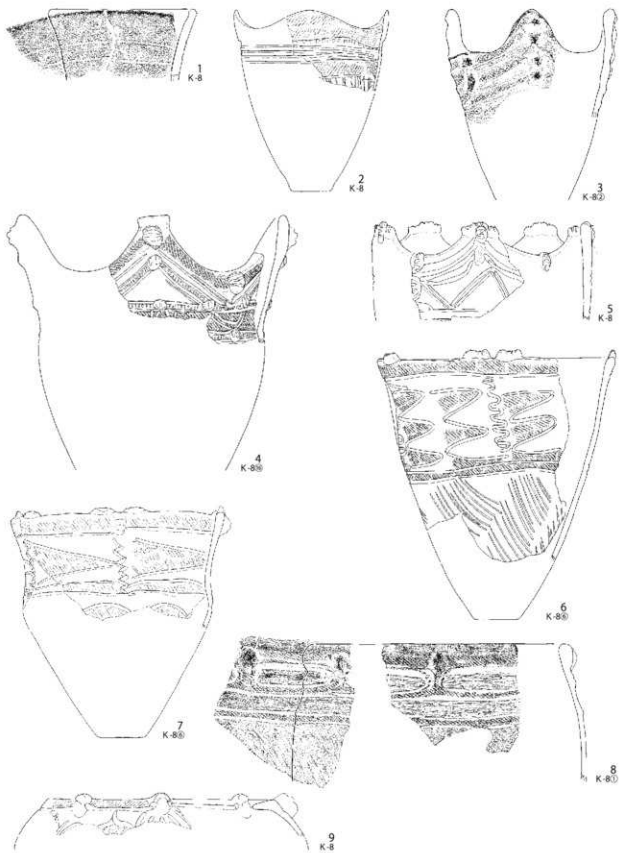
安行3a・b



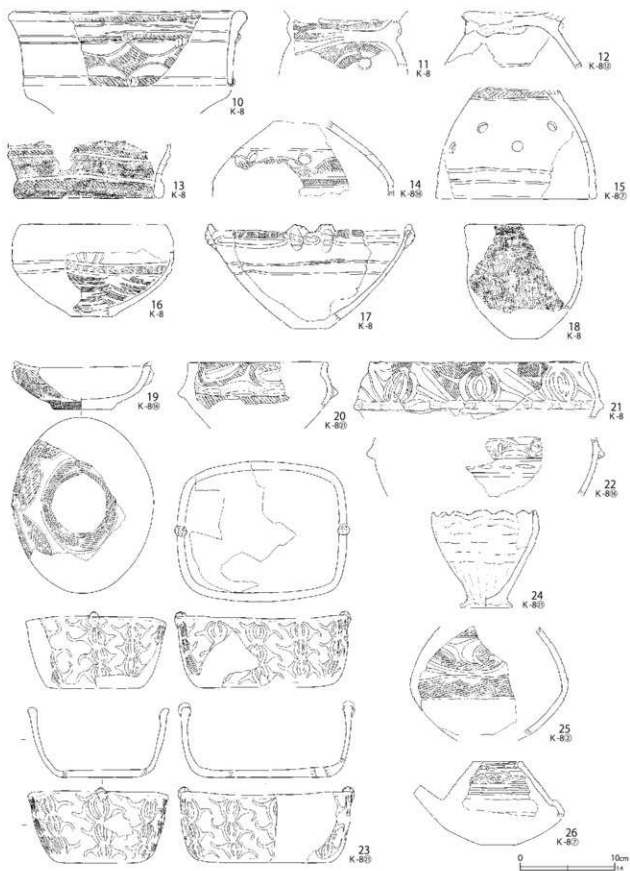
安行3c・d



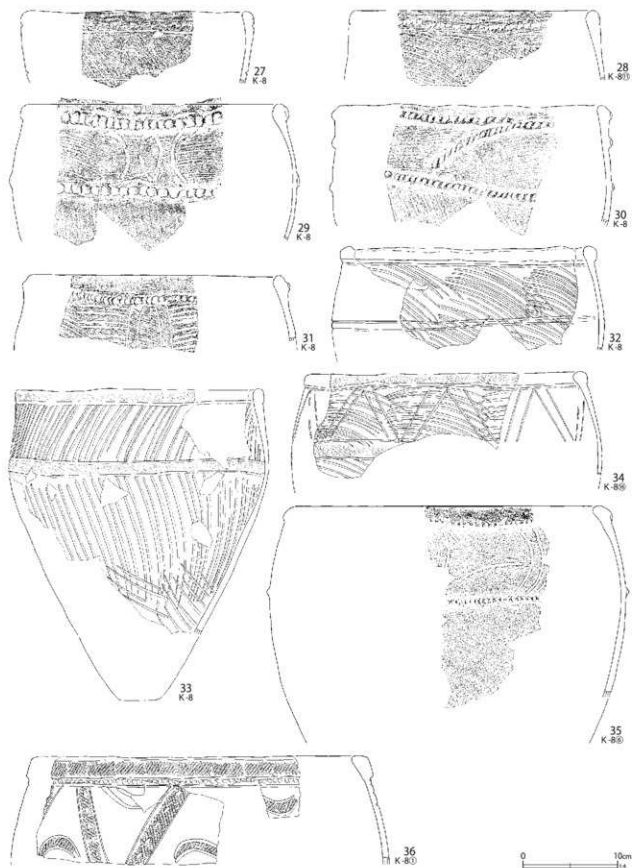
第765図 K-8グリッド時期別濃淡図



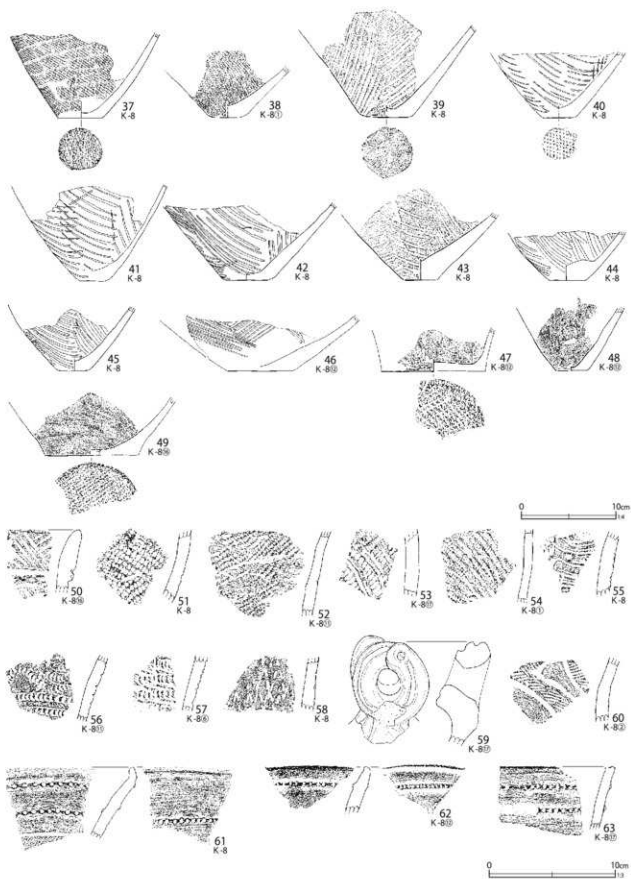
第766図 K-8グリッド出土遺物(1)



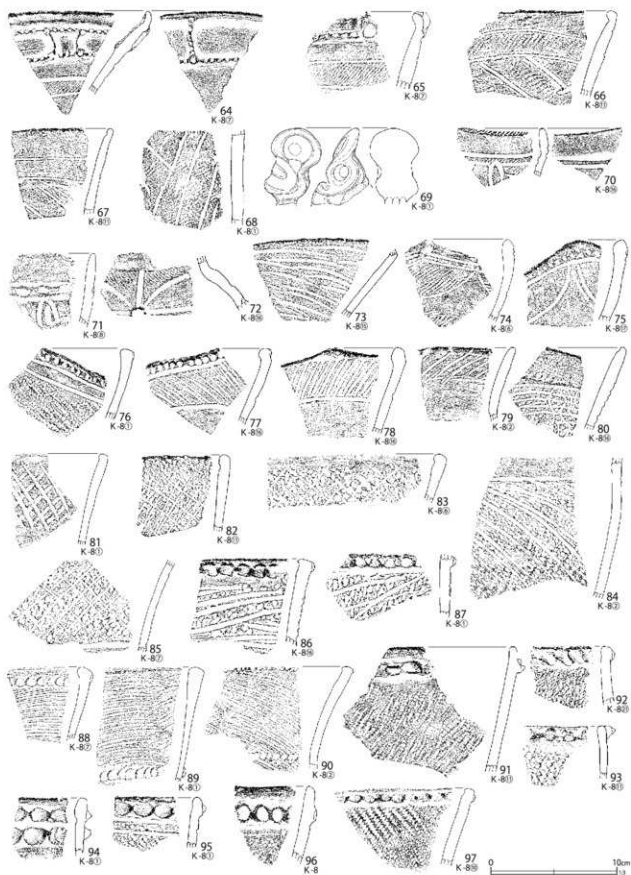
第767図 K-8グリッド出土遺物(2)



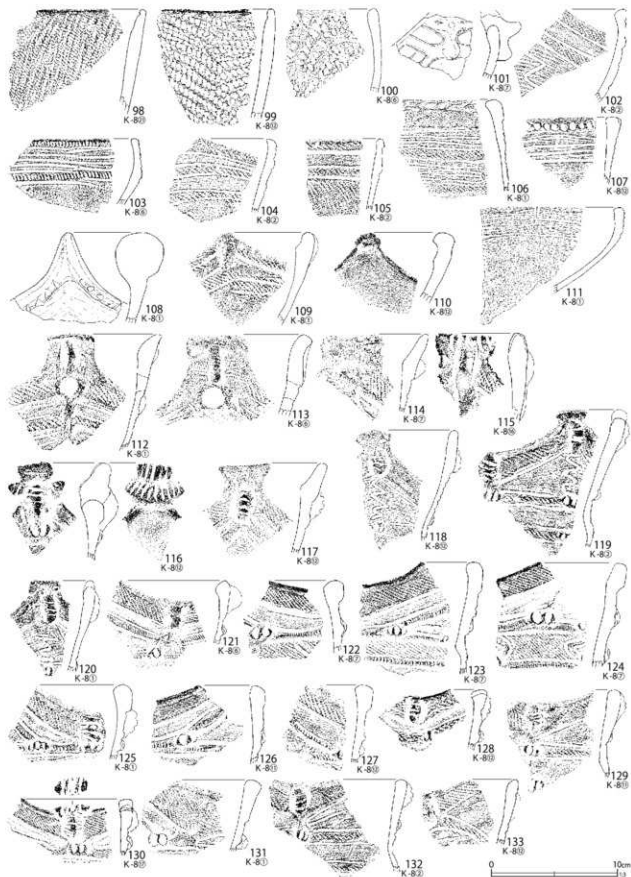
第768図 K-8グリッド出土遺物(3)



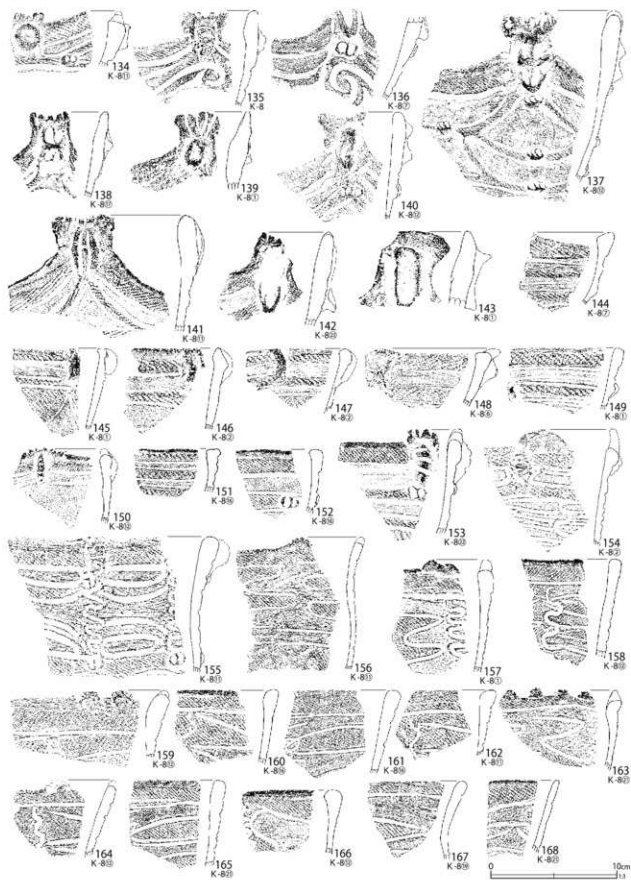
第769図 K-8グリッド出土遺物(4)



第770図 K-8グリッド出土遺物(5)



第771図 K-8グリッド出土遺物(6)



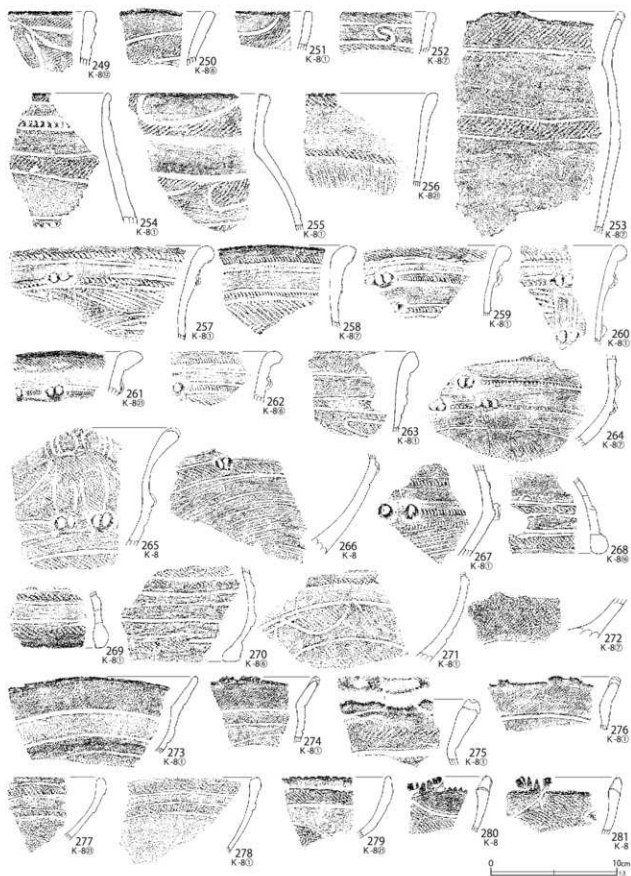
第 772 図 K-8 グリッド出土遺物 (7)



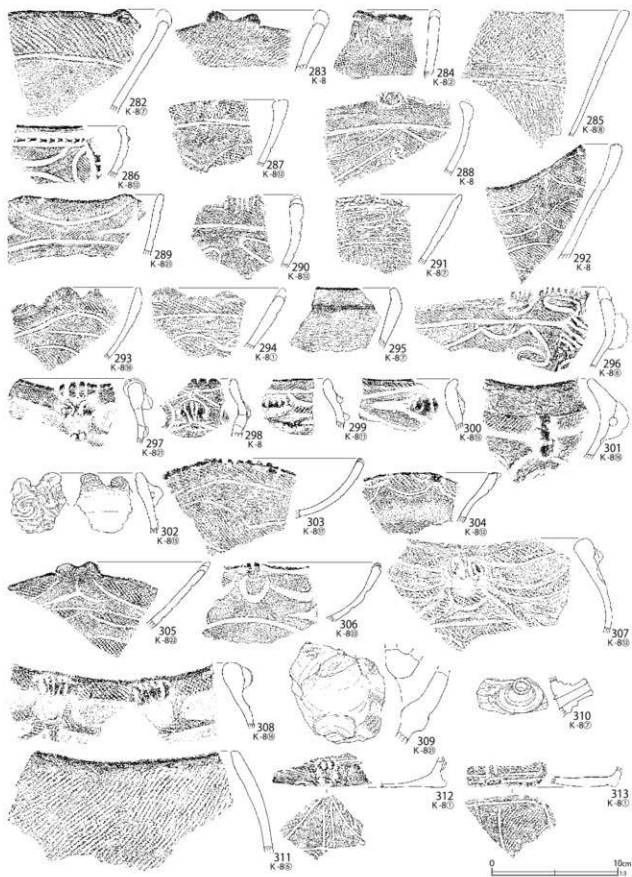
第773図 K-8グリッド出土遺物(8)



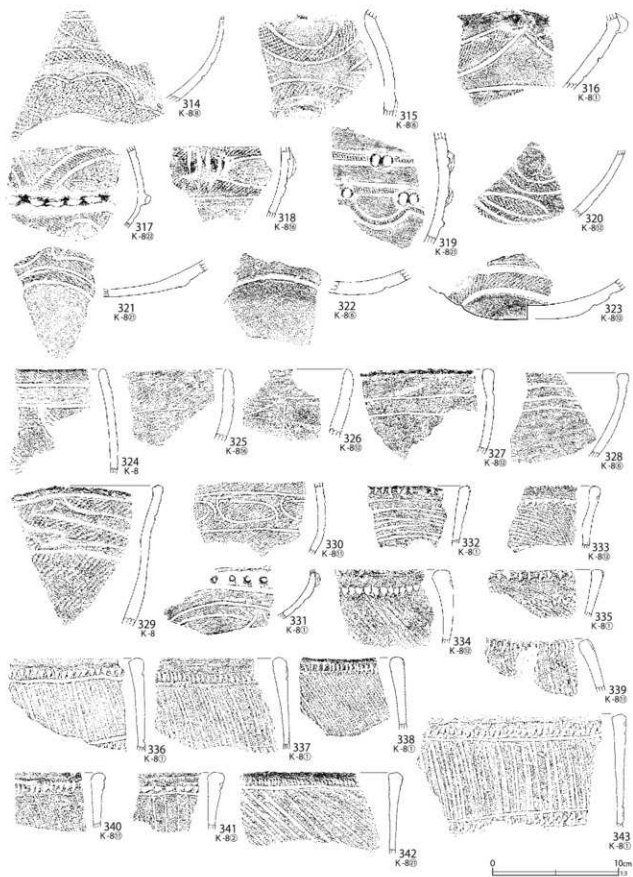
第774図 K-8グリッド出土遺物(9)



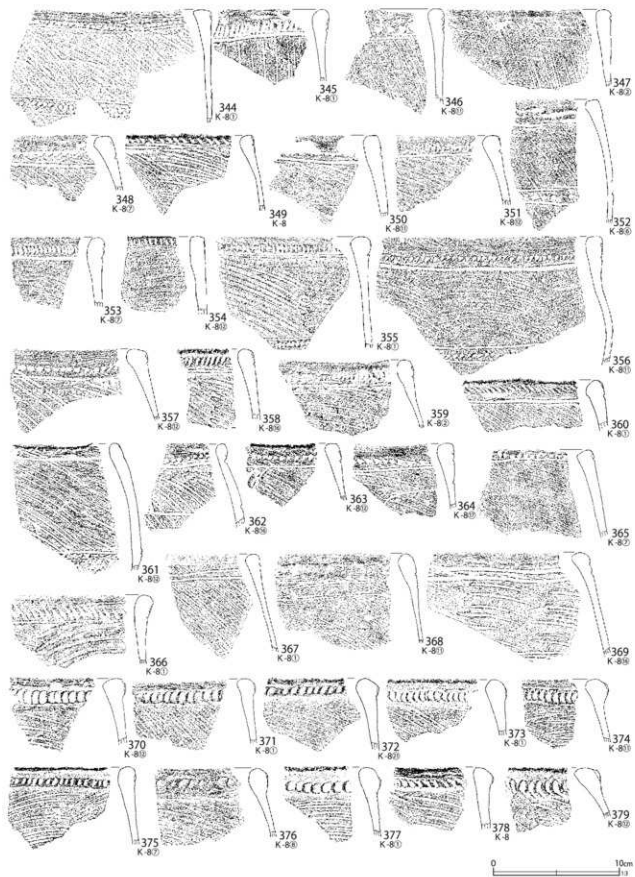
第775図 K-8グリッド出土遺物 (10)



第 776 図 K-8 グリッド出土遺物 (11)



第 777 図 K-8 グリッド出土遺物 (12)



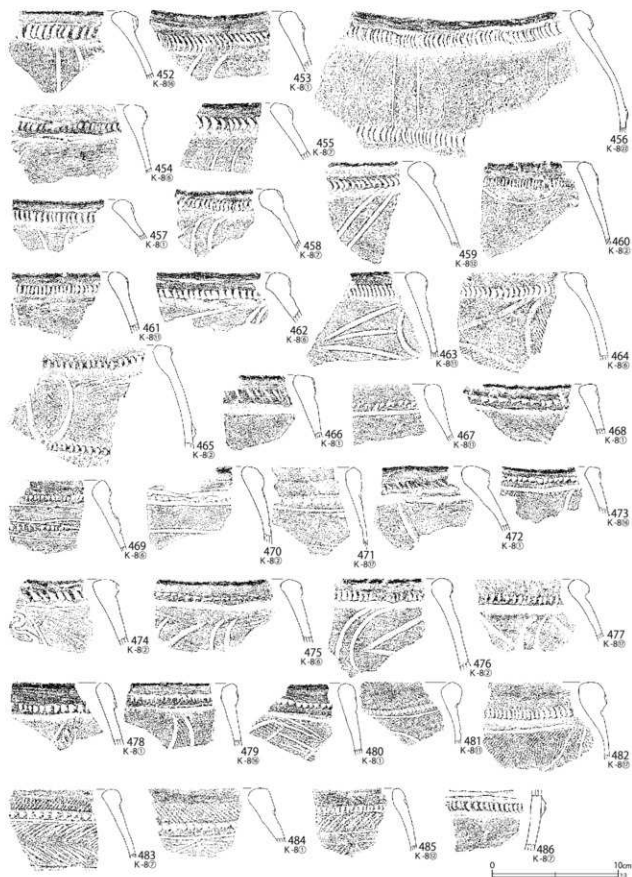
第778図 K-8グリッド出土遺物(13)



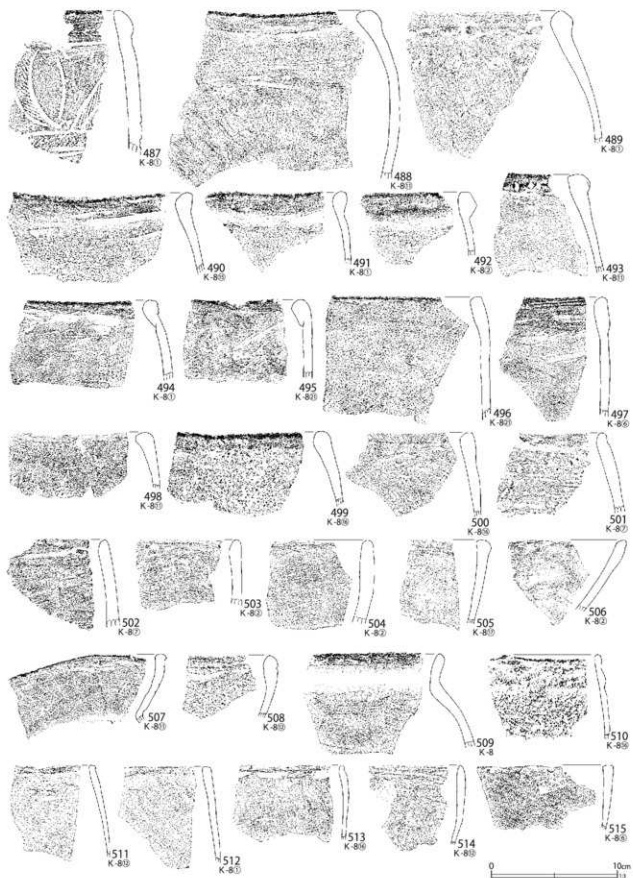
第 779 図 K-8 グリッド出土物 (14)



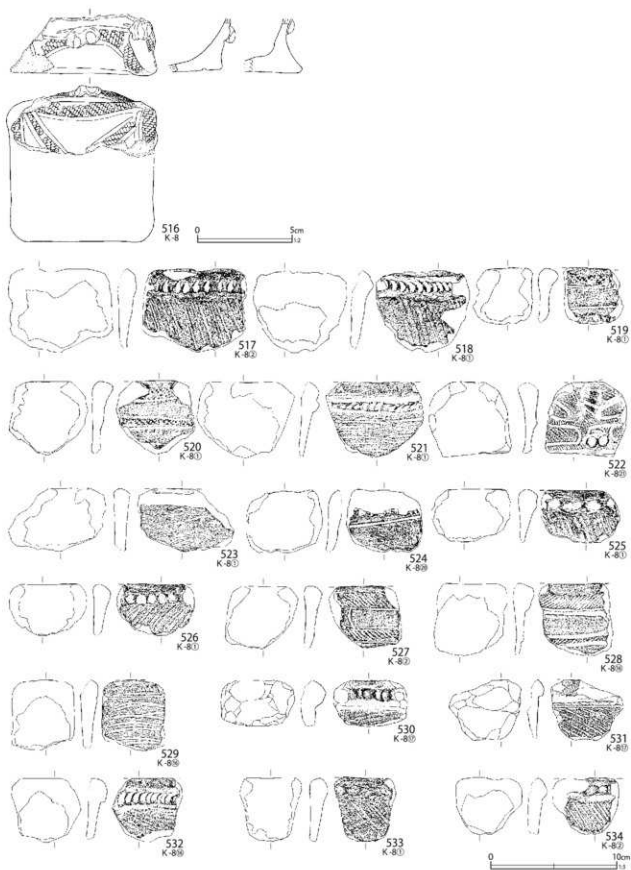
第780図 K-8グリッド出土遺物 (15)



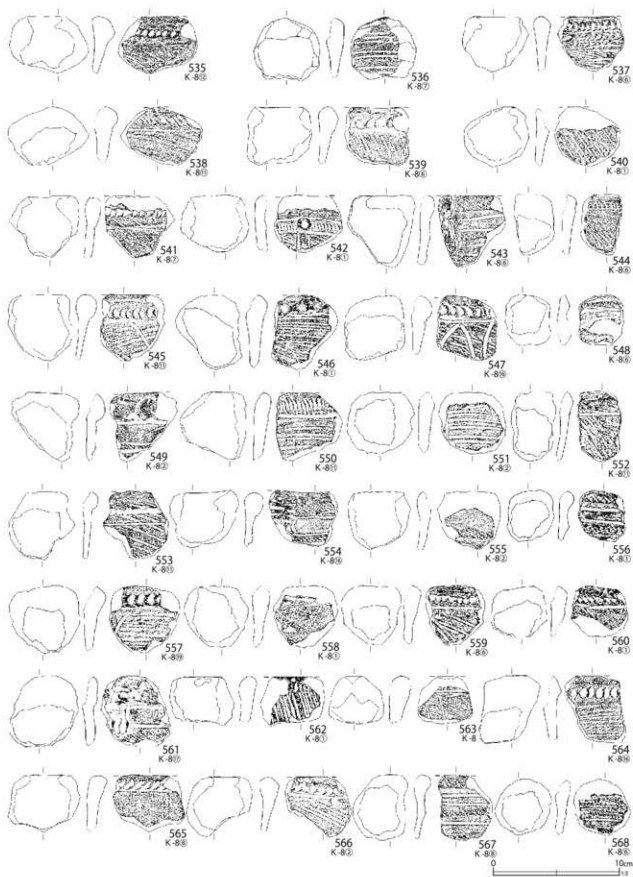
第781図 K-8グリッド出土遺物 (16)



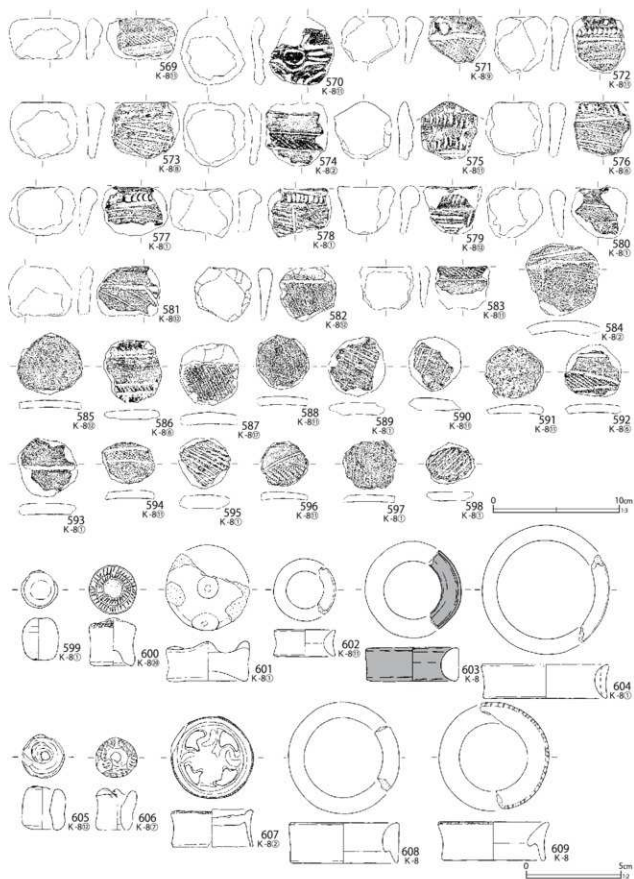
第782図 K-8グリッド出土遺物(17)



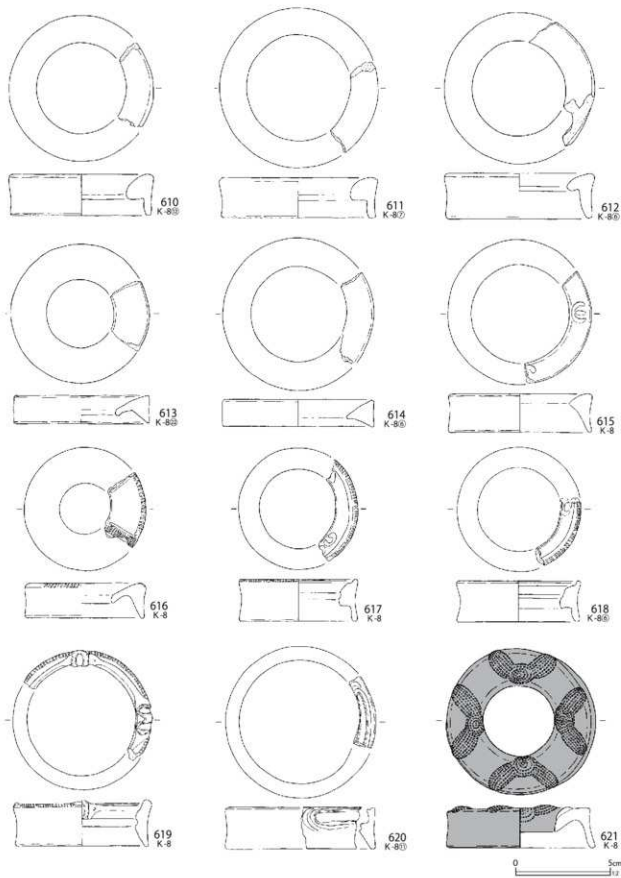
第783図 K-8グリッド出土遺物 (18)



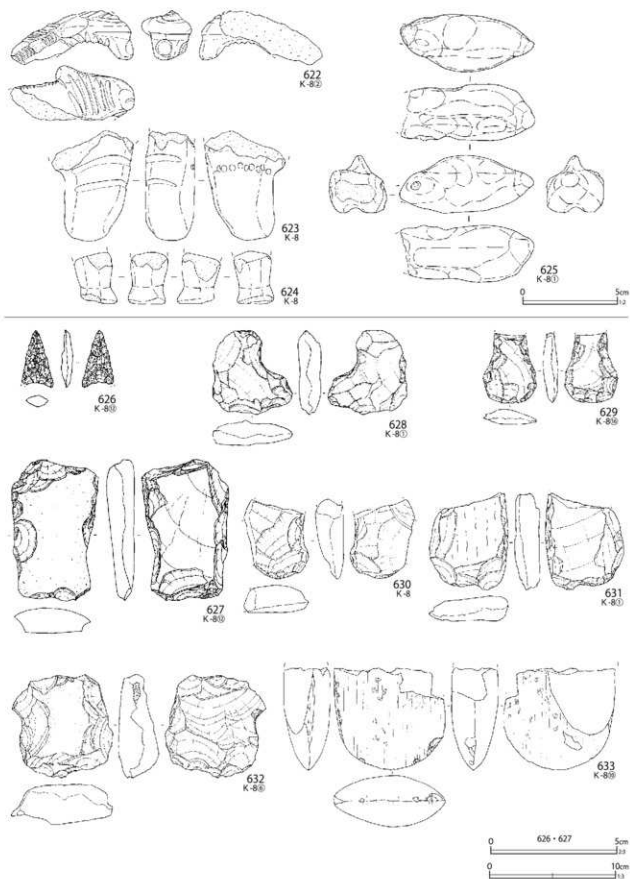
第784図 K-8グリッド出土遺物(19)



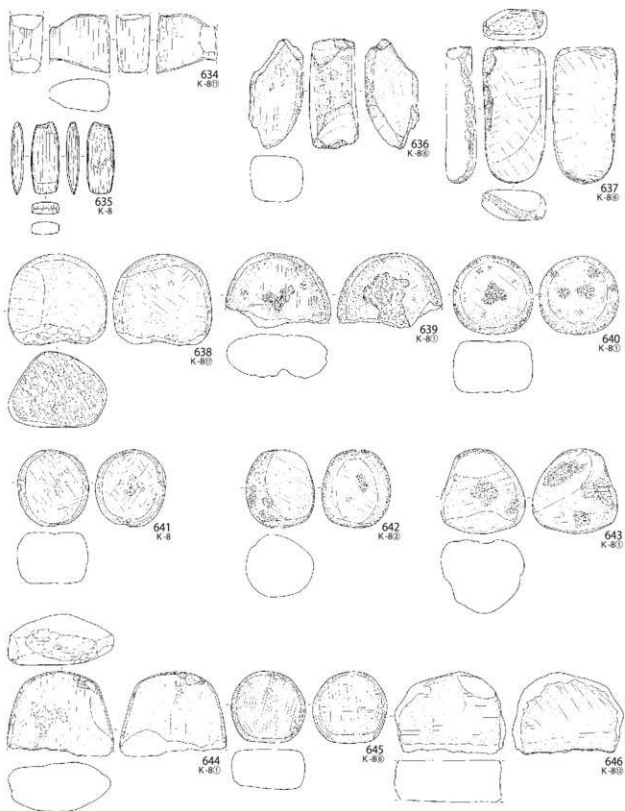
第785図 K-8グリッド出土遺物(20)



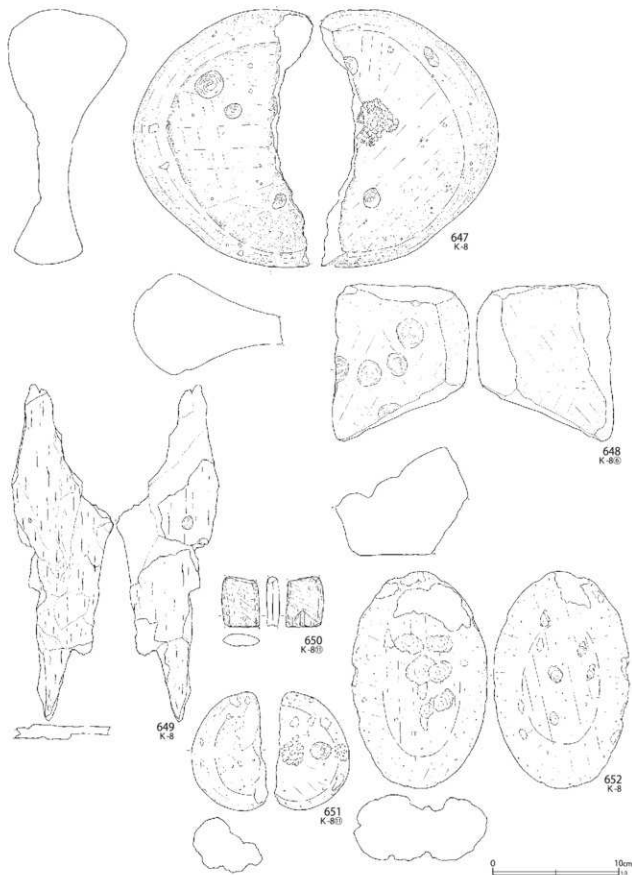
第786図 K-8グリッド出土遺物(21)



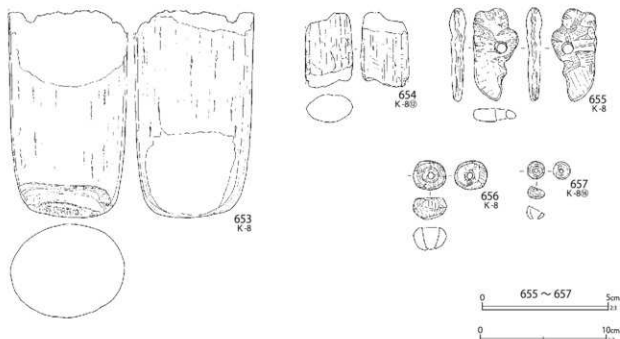
第787図 K-8グリッド出土遺物 (22)



第788図 K-8グリッド出土遺物(23)



第789図 K-8グリッド出土遺物 (24)



第790図 K-8グリッド出土遺物(25)

第111表 K-8グリッド出土復元土器観察表(第766~第769図)

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類	番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
1	VI	[7.5]	(15.6)	(15.6)	-	V 3-A2	26	I-1	[5.8]	(5.2)	(14.2)	-	VI 1-G
2	IV	[8.6]	(16.4)	(16.4)	-	V 4-A2	27	IV	[7.6]	(24.0)	(24.4)	-	VI 1-M6
3	II-4	[11.4]	(17.8)	(17.8)	-	VI 1-A1	28	IV	[7.3]	(26.0)	(27.6)	-	VI 2-M6
4	III-6	[13.6]	(28.2)	(28.8)	-	VI 2-A3	29	IV	[14.3]	(27.0)	(30.0)	-	VI 2~VI 1-A7
5	IV	[10.5]	(22.7)	(22.7)	-	VI 1-A2	30	IV	[12.9]	(28.1)	(30.0)	-	VI 2~VI 1-A7
6	IV	[22.4]	(25.0)	(25.0)	-	VI 2-A2	31	IV	[6.9]	(28.4)	(29.9)	-	VI 1-A7
7	IV	[12.9]	(22.5)	(22.5)	-	VI 2-A4	32	IV	[11.0]	(27.0)	(28.8)	-	VI 2~VI 1-A7
8	IV	[14.6]	(27.5)	(31.2)	-	VI 1-A5	33	IV	[25.9]	(26.3)	27.4	-	VI 2~VI 1-A7
9	IV	[4.5]	(24.0)	(30.2)	-	VI 1-F1	34	IV	[11.0]	(30.0)	(32.8)	-	VI 2~VI 1-A7
10	IV	[7.9]	(25.0)	(25.0)	-	VI 2-B1	35	II	[20.2]	(34.8)	(38.2)	-	VI 1~2-A7
11	-	[5.3]	-	(13.4)	-	VI 1-B	36	II-4	[11.5]	(35.4)	(39.8)	-	VI 1~2-A7
12	II-4	[5.3]	-	(14.8)	-	VI 1-B	37	IV	[8.9]	-	(15.8)	4.7	X 3
13	IV	[5.8]	-	(17.0)	(15.4)	VI 2-B	38	II-5	[5.0]	-	(13.2)	3.9	X 3
14	II-6	[8.0]	-	(19.2)	-	VI 2-B	39	IV	[9.2]	-	(18.8)	5.5	X 3
15	II-4	[11.4]	-	(17.0)	(17.0)	VI 1-B	40	IV	[6.7]	-	(14.2)	3.5	X 3
16	IV	[9.7]	-	(17.0)	(4.3)	VI 2-C2	41	IV	[10.0]	-	(16.4)	2.7	X 3
17	IV	[10.3]	(21.0)	(21.0)	-	VI 1-C2	42	IV	[7.8]	-	(18.2)	4.5	X 3
18	IV	[10.9]	(12.7)	(12.7)	-	VI-C	43	IV	[6.8]	-	(16.6)	3.6	X 3
19	III-6	5.0	(14.9)	(15.0)	6.3	VI 2-C2	44	IV	[5.1]	-	(12.4)	3.7	X 3
20	III-6	[4.9]	(15.0)	(17.0)	-	VI 2-D3	45	IV	[6.5]	-	(13.1)	3.2	X 3
21	IV	[6.0]	(23.2)	(26.4)	-	VI 2-D3	46	IV	[5.3]	-	(21.0)	7.0	X 3
22	II-6	[6.3]	-	(23.8)	-	VI 2-D3	47	V-1	[4.4]	-	(13.0)	(11.0)	X 3
23	II	8.0	(8.1 × 14.8)	(18.1)	(15.2 × 10.0)	VI 1-C2	48	II	[6.6]	-	(11.5)	(3.3)	X 3
24	III-6	[10.4]	(11.3)	(11.9)	5.6	VI-C2	49	V-1	[5.6]	-	(17.8)	(10.0)	X 3
25	I-1	[11.4]	-	(16.8)	-	VI 1-G							

第112表 K-8グリッド出土破片土器観察表(第769~第783図)

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
50	III-6	II 1-A2	61	-	IV 4-A2	72	II	V 2~3-A5	83	III-6	V 3-A4
51	VI	II 1-A2	62	V	IV 4-A2	73	II-6	V 2~3-A5	84	-	V 3-A4
52	II-6	II 1-A2	63	II	IV 4-A2	74	-	V 3-A3	85	V	V 3-A4
53	-	II 2-A4	64	II	IV 4-A2	75	II	V 3-A3	86	II	V 2-A7
54	-	II 2-A4	65	IV-9	IV 4-A2	76	II	V 3-A3	87	II-4	V 2-A7
55	VI	II 4-A4	66	II-6	IV 4-A2	77	II-4	V 3-A3	88	V	V 3~4-A7
56	I	II 5-A4	67	II	IV 4-A2	78	II	V 3-A3	89	-	V 3~4-A7
57	-	II 5-A4	68	-	IV 4-A2	79	I	V 3-A4	90	-	V 3~4-A6
58	V	II-A	69	II-4	V 2-A3	80	II-6	V 2~3-A3	91	II	V 2~3-A7
59	II	IV 2-A3	70	II-4	V 2-A3	81	-	V 3-A4	92	II	V 2~3-A7
60	I	IV 1-A4	71	-	V 2-A2	82	II	V 3-A4	93	I	V 2~3-A7

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
94	II-5	V 2 ~ 3-A7	164	III-6	VI 2-A4	234	-	VI ~ VII-A5	304	II	VI 2-D2
95	I	V 2 ~ 3-A7	165	III-6	VI 2-A4	235	III-6	VI 2-A5	305	I	VII 1 ~ 2-D2
96	VI	V 2-A7	166	V	VI 2-A4	236	II	VI 2-A3	306	III-6	VII 1 ~ 2-D2
97	-	V 2 ~ 3-A7	167	-	VI 2-A4	237	V	VI 2-A3	307	-	VI 2 ~ VII 1-G
98	I	V-A2	168	I	VI 2-A4	238	-	VI 2-A3	308	I	VI 2 ~ VII 1-G
99	II	V-A2	169	-	VI 2-A4	239	II	VII 1 ~ 2-A4	309	I	VI 2 ~ VII 1-G
100	-	V-A2	170	-	VI 2-A4	240	III-6	VII 1 ~ 2-A4	310	I	VII 1-G
101	II	V 4-A3	171	II	VI 2-A4	241	II	VII 1 ~ 2-A4	311	I	V-A5
102	-	V 4-A3	172	-	VI 2-A4	242	I	VII 1 ~ 2-A4	312	-	VII 1-A
103	I	V 4-A4	173	II	VI 2-A4	243	II	VII 1 ~ 2-A4	313	-	VII 1-A
104	-	V 4-A3	174	-	VI 1-A5	244	-	VII 1 ~ 2-A4	314	-	VI 2-C2
105	-	V 4-A4	175	-	VI 1-A5	245	III-6	VII 1 ~ 2-A4	315	I	VII 2-G
106	-	V 4-A4	176	-	VI 1-A5	246	II	VII 1 ~ 2-A4	316	I	VII 2-B3
107	III-6	V 4-A4	177	-	VI 1-A5	247	II-5	VII 1 ~ 2-A4	317	III-6	VII 2-B3
108	V-1	V 4-A3	178	III-4	VI 1-A5	248	III-2	VII 1 ~ 2-A4	318	I	VII-A
109	-	V 4-A3	179	-	VI 1-A5	249	II	VII 1 ~ 2-A4	319	II	VI 2-G
110	II	V 4-A3	180	-	VI 1-A5	250	I	VII 1 ~ 2-A4	320	V	VII 1-C2
111	-	V 4-C2	181	III-6	VI 1-A5	251	II	VII 1 ~ 2-A4	321	III-6	VII-C
112	-	VI 1-A3	182	III-6	VI 1-A5	252	V	VII 1 ~ 2-A4	322	I	VII-C
113	V	VI 1-A3	183	-	VI 1-A5	253	I	VII 1-A4	323	II	VII-C
114	III-6	VI 1-A3	184	I	VI 1-A5	254	I	VII 2-A5	324	-	VII 7-A5
115	II	VI 1-A3	185	-	VI 1-A5	255	III-2	VII 2-A5	325	III-6	VII 7-A2
116	V	VI 2-A3	186	III-6	VI 1-A5	256	III-6	VII 2-A2	326	-	VII 1-C2
117	III-6	VI 2-A3	187	II	VI 2 ~ VII 1-A5	257	-	VI 2-B1	327	II	VII 1-C2
118	III-6	VI 2-A3	188	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5	258	II	VI 2-B1	328	III-6	VII 1-C2
119	-	VI 2-A3	189	I	VI 2 ~ VII 1-A5	259	-	VI 2-B1	329	III-2	VII 2-A4
120	-	VI 2-A3	190	II-4	VI 2 ~ VII 1-A5	260	-	VI 2-B1	330	III-6	VII 2-A4
121	-	VI 2-A3	191	III-6	VI 2 ~ VII 1-A5	261	III-6	VI 2-B1	331	II-4	VII 2-C2
122	II	VI 2-A3	192	II	VI 2 ~ VII 1-A5	262	-	VI 2-B1	332	II-4	VI 1-A6
123	II	VI 2-A3	193	III-6	VI 2 ~ VII 1-A5	263	-	VI 2-B1	333	III-6	VI 1-A6
124	II	VI 2-A3	194	V	VI 2 ~ VII 1-A5	264	-	VI 2-B1	334	III-6	VI 1-A6
125	-	VI 2-A3	195	I	VI 2 ~ VII 1-A5	265	-	VI 2-B1	335	-	VI 1-A6
126	II	VI 2-A3	196	III-6	VI 2 ~ VII 1-A5	266	-	VI 2-B	336	-	VI 1-A6
127	III-6	VI 2-A3	197	II-5	VI 2 ~ VII 1-A5	267	II-5	VI 2-B	337	-	VI 1-A6
128	V	VI 2 ~ VII 1-A3	198	II	VI 2 ~ VII 1-A5	268	III-6	VI 2-B	338	II-4	VI 1-A6
129	-	VI 2 ~ VII 1-A3	199	II	VI 2 ~ VII 1-A5	269	II-4	VI 2-B	339	V	VI 1-A6
130	II	VI 2 ~ VII 1-A3	200	I	VI 2 ~ VII 1-A5	270	V	VI 2-B	340	V	VI 1-A6
131	-	VI 2 ~ VII 1-A3	201	I	VII 1 ~ 2-A5	271	-	VI 2-B	341	V	VI 1-A6
132	-	VI 2 ~ VII 1-A3	202	II-5	VII 1 ~ 2-A5	272	I	VI 2-B	342	III-6	VI 1-A6
133	III-6	VI 2 ~ VII 1-A3	203	III-6	VII 1 ~ 2-A5	273	II	VII 1 ~ 2-C1	343	-	VI 1-A6
134	-	VI 2 ~ VII 1-A3	204	I	VII 1 ~ 2-A5	274	I	VII 1 ~ 2-C1	344	-	VI 2 ~ VII 1-A6
135	-	VII 1 ~ 2-A3	205	II-5	VII 1 ~ 2-A5	275	I	VII 1 ~ 2-C1	345	-	VI 2 ~ VII 1-A6
136	-	VII 1 ~ 2-A3	206	II	VII 1 ~ 2-A5	276	I	VII 1 ~ 2-C1	346	III-6	VI 2 ~ VII 1-A6
137	-	VII 1 ~ 2-A3	207	I	VII 1 ~ 2-A5	277	III-6	VI 1 ~ 2-C2	347	-	VI 2 ~ VII 1-A6
138	I	VII 1 ~ 2-A3	208	II	VI ~ VII-A5	278	-	VI 1 ~ 2-C2	348	V	VI 2 ~ VII 1-A6
139	I	VII 1 ~ 2-A3	209	-	VI ~ VII-A5	279	III-6	VI 1 ~ 2-C2	349	VI	VI 2 ~ VII 1-A6
140	II	VII 1 ~ 2-A3	210	II-4	VI ~ VII-A5	280	V	VI 1 ~ 2-C2	350	-	VI 2 ~ VII 1-A6
141	II-6	VII 1 ~ 2-A3	211	III-4	VI ~ VII-A5	281	V	VI 1 ~ 2-C2	351	III-6	VI 2 ~ VII 1-A6
142	I	VII 1 ~ 2-A3	212	I	VI ~ VII-A5	282	II-4	VII 1 ~ 2-C2	352	-	VI 2 ~ VII 1-A6
143	I	VII 1 ~ 2-A3	213	-	VI ~ VII-A5	283	III-2	VII 1 ~ 2-C2	353	V	VI 2 ~ VII 1-A6
144	-	VI 2-A3	214	III-6	VI ~ VII-A5	284	I	VII 1 ~ 2-C2	354	V	VI 2 ~ VII 1-A6
145	-	VI 1-A4	215	II	VI ~ VII-A5	285	-	V 4 ~ VI-C1	355	-	VI 2 ~ VII 1-A6
146	II-4	VI 1-A4	216	-	VI ~ VII-A5	286	II	VII 1-C2	356	III-6	VI 2 ~ VII 1-A6
147	-	VI 1-A4	217	-	VI ~ VII-A5	287	III-6	VI 1-C2	357	III-6	VI 2 ~ VII 1-A6
148	-	VI 1-A4	218	-	VI ~ VII-A5	288	-	VI 2-C2	358	II	VI 2 ~ VII 1-A6
149	-	VI 1-A4	219	III-6	VI ~ VII-A5	289	II	VII 1-C2	359	-	VI 2 ~ VII 1-A6
150	II	VI 2-A4	220	III-6	VI ~ VII-A5	290	III-6	VI 2-C2	360	II-4	VI 2 ~ VII 1-A6
151	II-6	VI 2-A4	221	II	VI ~ VII-A5	291	III-6	VI 2-C2	361	III-6	VI 2 ~ VII 1-A6
152	II-6	VI 2-A4	222	II	VI ~ VII-A5	292	-	VI 2-C2	362	III-6	VI 2 ~ VII 1-A6
153	III-6	VI 2-A4	223	III-6	VI ~ VII-A5	293	III-6	VI 2-C2	363	II	VI 2 ~ VII 1-A6
154	-	VI 2-A4	224	III-6	VI ~ VII-A5	294	-	VI 2-C2	364	-	VI 2 ~ VII 1-A6
155	-	VI 2-A4	225	I	VI ~ VII-A5	295	II	V 4-C2	365	-	VI 2 ~ VII 1-A6
156	V	VI 2-A4	226	-	VI ~ VII-A5	296	-	VI 2-C2	366	-	VI 2 ~ VII 1-A6
157	II-4	VI 2-A4	227	II-4	VI ~ VII-A5	297	II	VI 2-D3	367	-	VI 2 ~ VII 1-A6
158	II	VI 2-A4	228	II-4	VI ~ VII-A5	298	V	VII 1-D3	368	-	VI 2 ~ VII 1-A6
159	III-6	VI 2-A4	229	V	VI ~ VII-A5	299	II	VII 1-D3	369	III-6	VI 2 ~ VII 1-A6
160	III-6	VI 2-A4	230	I	VI ~ VII-A5	300	II	VII 1-D3	370	III-6	VI 2-A7
161	III-6	VI 2-A4	231	II-6	VI 2-A5	301	III-6	VII 1-D3	371	-	VI 2-A7
162	V	VI 2-A4	232	-	VI ~ VII-A5	302	I	VII 1-D3	372	I	VI 2-A7
163	III-6	VI 2-A4	233	-	VI ~ VII-A5	303	II	VI 2-D2	373	II-4	VI 2-A7

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
374	Ⅱ-6	Ⅵ2-A7	410	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	446	Ⅱ-4	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	482	-	Ⅷ1~2-A7
375	Ⅱ	Ⅵ2-A7	411	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	447	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	483	V	Ⅷ1~2-A7
376	-	Ⅵ2-A7	412	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	448	Ⅲ-6	Ⅷ1-A7	484	-	Ⅷ1~2-A7
377	Ⅱ-5	Ⅵ2-A7	413	V	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	449	Ⅱ-4	Ⅷ1~2-A7	485	Ⅲ-6	Ⅵ2-A7
378	Ⅵ	Ⅵ2-A7	414	Ⅱ-4	Ⅷ1-A7	450	Ⅱ	Ⅷ1~2-A7	486	Ⅱ-4	Ⅷ1~2-A7
379	Ⅱ	Ⅵ2-A7	415	I	Ⅷ1-A7	451	Ⅱ	Ⅷ1~2-A7	487	Ⅱ	Ⅷ1~2-A7
380	-	Ⅵ2-A7	416	I	Ⅷ1-A7	452	Ⅱ	Ⅷ1~2-A7	488	Ⅱ-6	Ⅷ-A5
381	-	Ⅵ2-A7	417	Ⅱ-5	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	453	Ⅱ-5	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	489	-	Ⅷ-A5
382	-	Ⅵ2-A7	418	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	454	-	Ⅷ1~2-A7	490	I	Ⅷ-A5
383	Ⅲ-6	Ⅵ2-A7	419	Ⅱ-4	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	455	Ⅱ-4	Ⅷ1~2-A7	491	I	Ⅷ-A5
384	Ⅲ-6	Ⅵ2-A7	420	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	456	Ⅲ-6	Ⅷ1~2-A7	492	I	Ⅷ-A5
385	-	Ⅵ2-A7	421	Ⅱ-4	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	457	Ⅱ-4	Ⅷ1~2-A7	493	Ⅱ-6	Ⅷ-A5
386	-	Ⅵ2-A7	422	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	458	Ⅱ-4	Ⅷ1~2-A7	494	Ⅱ-4	Ⅷ-A5
387	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	423	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	459	Ⅱ	Ⅷ1~2-A7	495	Ⅲ-2	Ⅷ-A5
388	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	424	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	460	I	Ⅷ1~2-A7	496	I	Ⅷ-A5
389	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	425	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	461	I	Ⅷ1~2-A7	497	I	Ⅷ-A5
390	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	426	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	462	Ⅱ-5	Ⅷ1~2-A7	498	-	Ⅷ-A5
391	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	427	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	463	Ⅱ	Ⅷ1~2-A7	499	Ⅱ-6	Ⅷ-A5
392	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	428	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	464	-	Ⅷ1~2-A7	500	Ⅲ-6	Ⅷ-A5
393	Ⅱ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	429	Ⅱ-4	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	465	-	Ⅷ1~2-A7	501	V	Ⅷ-A5
394	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	430	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	466	Ⅱ-4	Ⅷ1~2-A7	502	V	Ⅷ-A5
395	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	431	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	467	Ⅲ-6	Ⅷ1~2-A7	503	V	Ⅷ-A2
396	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	432	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	468	Ⅱ-4	Ⅷ1~2-A7	504	-	Ⅷ-A2
397	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	433	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	469	V	Ⅷ1~2-A7	505	-	Ⅷ-A2
398	Ⅱ-1	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	434	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	470	I	Ⅷ1~2-A7	506	-	Ⅷ-C2
399	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	435	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	471	-	Ⅷ1~2-A7	507	Ⅱ-6	Ⅷ-A4
400	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	436	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	472	Ⅱ-5	Ⅷ1~2-A7	508	Ⅱ	Ⅷ-A4
401	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	437	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	473	Ⅱ	Ⅷ1~2-A7	509	Ⅲ-2	Ⅷ-A5
402	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	438	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	474	Ⅱ-4	Ⅷ1~2-A7	510	Ⅲ-6	Ⅷ-A5
403	Ⅱ-4	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	439	Ⅲ-6	Ⅷ1-A7	475	Ⅱ-4	Ⅷ1~2-A7	511	Ⅲ-6	Ⅷ-A2
404	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	440	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	476	Ⅱ-4	Ⅷ1~2-A7	512	-	Ⅷ-A2
405	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	441	Ⅱ-4	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	477	-	Ⅷ1~2-A7	513	Ⅲ-6	Ⅷ-A2
406	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	442	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	478	I	Ⅷ1~2-A7	514	Ⅲ-6	Ⅷ-A2
407	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	443	Ⅱ	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	479	Ⅱ-6	Ⅷ1~2-A7	515	-	Ⅷ-A2
408	Ⅱ-4	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	444	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	480	Ⅱ-4	Ⅷ1~2-A7	516	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A
409	Ⅲ-6	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	445	-	Ⅵ2~Ⅷ1-A7	481	Ⅲ-6	Ⅷ1~2-A7			

第113表 K-8グリッド出土土製品観察表 (第787図)

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ
622	Ⅱ-4	土偶	[2.9]	[6.6]	[2.7]	624	-	土偶	[2.8]	[2.0]	[2.1]
623	-	土偶	[5.8]	[4.4]	[2.7]	625	-	動物形土製品	7.1	3.1	3.0

第114表 K-8グリッド出土土製円盤観察表 (第783~第785図)

番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類
517	-	8.7	75.9	Ⅱ-Aイ	545	Ⅲ-6	5.7	42.3	Ⅱ-Aイ	573	-	5.6	36.6	Ⅱ-Aウ
518	-	7.5	56.8	Ⅱ-Aイ	546	-	6.1	45.6	Ⅱ-Aイ	574	-	5.4	25.8	Ⅱ-Aウ
519	-	5.5	31.1	Ⅱ-Aウ	547	Ⅲ-6	6.0	34.8	Ⅱ-Aイ	575	Ⅱ	5.0	31.1	Ⅱ-Aウ
520	-	6.5	43.3	Ⅱ-Aウ	548	-	4.3	16.1	Ⅱ-Aウ	576	-	5.0	30.7	Ⅱ-Aウ
521	-	7.4	58.9	Ⅱ-Aイ	549	V	5.9	34.1	Ⅱ-Aア	577	-	5.2	27.4	Ⅱ-Aイ
522	Ⅱ	7.3	69.1	Ⅱ-Aア	550	Ⅲ-6	5.7	40.4	Ⅱ-Aウ	578	-	5.3	29.6	Ⅱ-Aイ
523	-	8.1	45.9	Ⅱ-Aイ	551	-	5.6	31.4	Ⅱ-Aウ	579	Ⅲ-6	4.8	21.4	Ⅱ-Aイ
524	-	6.7	40.9	Ⅱ-Aウ	552	-	5.6	18.0	Ⅱ-Aウ	580	-	4.7	18.8	Ⅱ-Aウ
525	-	6.3	35.6	Ⅱ-Aイ	553	Ⅲ-6	5.9	25.4	Ⅱ-Aウ	581	Ⅲ-6	5.1	28.3	Ⅱ-Aイ
526	-	6.1	36.9	Ⅱ-Aイ	554	V	5.7	35.0	Ⅱ-Aア	582	Ⅱ	4.6	23.7	Ⅱ-Aウ
527	-	6.5	40.3	Ⅱ-Aウ	555	-	5.2	22.7	Ⅱ-Aウ	583	Ⅷ-3	4.5	14.6	Ⅱ-Aウ
528	V	7.2	50.6	Ⅱ-Aウ	556	-	4.4	15.9	Ⅱ-Aウ	584	Ⅱ-4	6.1	38.1	I-Bウ
529	Ⅲ-6	6.6	44.0	Ⅱ-Aウ	557	-	5.7	36.1	Ⅱ-Aイ	585	Ⅱ	5.1	20.1	I-Bウ
530	V-5	6.0	43.7	Ⅱ-Aイ	558	-	5.2	35.9	Ⅱ-Aウ	586	-	5.1	20.6	I-Aウ
531	V-5	5.7	30.8	Ⅱ-Aイ	559	-	4.9	27.3	Ⅱ-Aウ	587	Ⅱ	5.2	26.8	I-Bウ
532	Ⅲ-6	5.7	42.6	Ⅱ-Aイ	560	-	4.6	21.8	Ⅱ-Aウ	588	I-1	4.3	16.7	I-Bウ
533	-	5.8	32.6	Ⅱ-Aイ	561	-	6.3	38.3	Ⅱ-Aア	589	-	4.9	21.7	I-Bウ
534	-	5.3	31.3	Ⅱ-Aイ	562	-	5.5	28.1	Ⅱ-Aウ	590	V	4.3	20.1	I-Bウ
535	Ⅲ-6	6.3	46.4	Ⅱ-Aイ	563	-	4.5	25.7	Ⅱ-Aウ	591	-	4.6	13.2	I-Bウ
536	Ⅱ	5.4	34.0	Ⅱ-Aウ	564	Ⅲ-6	6.4	31.3	Ⅱ-Aイ	592	-	4.4	18.0	I-Bウ
537	-	5.1	30.6	Ⅱ-Aウ	565	-	5.9	32.4	Ⅱ-Aウ	593	-	4.9	23.6	I-Bウ
538	Ⅲ-6	6.4	36.9	Ⅱ-Aウ	566	-	5.6	31.5	Ⅱ-Aウ	594	V	4.3	11.4	I-Bウ
539	-	6.0	38.7	Ⅱ-Aイ	567	-	5.6	24.4	Ⅱ-Aウ	595	-	4.1	19.4	I-Bウ
540	-	5.1	26.4	Ⅱ-Aウ	568	-	4.5	22.5	Ⅱ-Aエ	596	V	3.7	9.9	I-Bウ
541	V	5.5	36.2	Ⅱ-Aウ	569	Ⅲ-6	5.5	28.3	Ⅱ-Aウ	597	-	4.3	15.1	I-Bウ
542	-	5.3	30.4	Ⅱ-Aア	570	-	5.6	24.5	Ⅱ-Aウ	598	-	3.9	10.0	I-Bウ
543	Ⅷ-3	5.9	32.4	Ⅱ-Aア	571	Ⅲ-6	4.7	25.4	Ⅱ-Aア					
544	Ⅷ-3	4.8	18.0	Ⅱ-Aウ	572	-	5.0	25.2	Ⅱ-Aウ					

第115表 K-8グリッド出土耳飾り観察表 (第785図、第786図)

番号	層位	径 1	径 2	高さ	重量	分類
599	Ⅱ	1.9	1.0	2.2	10.2	Ⅱ-A-ア
600	-	2.5	2.2	[2.4]	16.7	Ⅳ-A-イ
601	Ⅲ-Ⅳ	4.4	4.2	2.1	26.8	Ⅳ-A-イ
602	Ⅲ-Ⅳ	(3.3)	(3.0)	1.4	3.2	Ⅲ-C-ア
603	-	(5.0)	(4.9)	1.8	10.5	Ⅲ-C-ア
604	Ⅲ-Ⅳ	(6.7)	(6.4)	1.8	7.1	Ⅲ-C-ア
605	Ⅲ-2	(2.3)	(2.0)	2.3	12.3	Ⅲ-A-ア
606	Ⅲ-Ⅳ	2.1	1.8	2.1	7.8	Ⅲ-A-イ
607	-	4.4	4.1	2.0	16.5	Ⅳ-B
608	-	5.8	5.7	2.1	7.8	Ⅲ-D-ア
609	-	5.8	5.3	2.0	18.5	Ⅲ-D-イ
610	Ⅲ-6	(7.6)	(7.4)	2.1	14.5	Ⅲ-D-ア

番号	層位	径 1	径 2	高さ	重量	分類
611	Ⅲ-Ⅳ	(8.4)	(8.0)	2.1	14.4	Ⅲ-D-ア
612	-	(8.0)	(7.7)	2.4	18.1	Ⅲ-D-ア
613	Ⅲ	(7.2)	(7.2)	1.5	7.7	Ⅲ-D-ア
614	Ⅲ-Ⅳ	(8.0)	(8.0)	1.4	10.4	Ⅲ-D-ア
615	-	(7.6)	(7.4)	2.0	18.9	Ⅲ-D-イ
616	-	(6.8)	(6.4)	1.8	8.9	Ⅲ-D-イ
617	Ⅲ-Ⅳ	(6.3)	(6.0)	2.2	12.6	Ⅲ-D-イ
618	-	(6.6)	(6.2)	2.2	9.5	Ⅲ-D-イ
619	-	7.4	6.9	2.4	22.4	Ⅲ-C-イ
620	-	(8.0)	(7.8)	2.2	8.2	Ⅲ-B-イ
621	-	7.5	7.4	2.1	63.5	Ⅲ-D-イ

第116表 K-8グリッド出土石器観察表 (第787～第790図)

番号	層位	器 種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
626	Ⅱ	石織	I	チャート	2.3	[1.3]	0.5	0.9
627	Ⅱ-4	二次加工割片	-	黒色頁岩	5.6	3.4	1.2	28.7
628	-	打製石斧	-	ホルンフェルス	6.6	6.3	2.0	87.2
629	Ⅱ-4	打製石斧	-	頁岩	[5.5]	4.2	1.2	30.5
630	-	打製石斧	-	ホルンフェルス	[6.3]	[5.2]	2.2	74.5
631	-	打製石斧	-	緑泥片岩	[7.6]	6.2	2.0	136.1
632	-	礫器	Ⅲ	頁岩	8.2	8.0	3.2	226.6
633	-	磨製石斧	Ⅰ	緑色岩	[8.1]	8.9	3.7	368.6
634	Ⅱ-4	磨製石斧	Ⅰ	閃緑岩	[4.6]	4.8	2.6	106.3
635	-	磨製石斧	Ⅲ	トレモラ閃石岩	2.9	1.1	0.5	3.0
636	-	礫石	I	頁岩	8.8	4.3	3.9	212.6
637	I-1	礫石	I	砂岩	10.8	5.1	2.4	211.3
638	-	礫石	I	安山岩	7.2	7.8	6.0	462.6
639	-	礫石	I	安山岩	[6.0]	8.4	3.5	186.7
640	-	礫石	I	安山岩	6.3	6.3	4.2	240.0
641	-	礫石	I	安山岩	6.1	5.6	4.0	210.1
642	-	礫石	I	安山岩	6.2	5.5	5.1	224.4
643	-	礫石	I	安山岩	6.8	6.8	5.9	240.0
644	-	礫石	I	珪質頁岩	[6.7]	8.4	4.1	298.6
645	-	礫石	Ⅱ	閃緑岩	5.7	5.9	3.2	187.9
646	Ⅲ-2	礫石	Ⅱ	砂岩	[6.5]	[8.9]	3.4	304.9
647	-	石皿	Ⅱ	安山岩	20.4	[14.2]	9.4	1856.3
648	Ⅱ-2	石皿	Ⅱ	砂岩	[12.5]	[10.9]	8.7	1230.4
649	-	石皿	Ⅱ	緑泥片岩	[53.5]	[16.3]	2.5	1784.8
650	Ⅲ-2	礫石	Ⅲ	砂岩	[4.0]	3.0	1.0	16.0
651	Ⅱ-4	軽石類	I	軽石	9.4	[6.0]	4.4	71.8
652	-	軽石類	I	軽石	17.2	10.7	5.5	294.0
653	-	石棒	I	緑泥片岩	[16.4]	9.5	7.5	1832.4
654	Ⅱ	石棒類	I	緑泥片岩	[6.0]	3.9	2.2	69.7
655	-	垂飾	-	ヒスイ	3.7	1.8	0.7	5.8
656	-	垂飾	-	ヒスイ	1.1	1.3	0.9	2.0
657	Ⅱ	垂飾	-	ヒスイ	0.7	0.7	0.5	0.3

239～255は三叉文や入組文等が施文される晚期安行式の深鉢形土器である。239～243は、胴部が括れて口縁部が開く波状口縁深鉢で、口縁部に三叉文や弧線文が施文される安行3a式から3b式土器である。244～246、249～252は胴部で括れ、口縁部が開く平口縁深鉢形土器である。244は口唇部に小突起が付き、小波状口縁状を呈する。いずれも安行3a式から3b式であろう。247、248、254、255は口縁部が内湾する深鉢で、247、248は安行3a式、245、255は間延びした縄文帯やステッキ状文が施文される安行3b式である。

10～15、257～272は安行式の台付鉢である。10、13、14、257～271は安行2式を中心とした

台付鉢である。11、12、15、272は安行3a式であろう。

273～276、283、284は胴部で括れて口縁部が開き、いずれも口縁部に縄文が施文される鉢で、安行3a式から3b式である。282は後期末になる可能性もある。

16、17、19、277～281、286～296は内湾する口縁部が開く鉢である。277～281は安行1式から安行2式、16、19、287、288、290～296は安行2式であろう。19は長楕円形を呈し、長辺上の口縁部中央に刻みを施す円形瘤が貼付され、胴部に縄文施文の弧線文が施文される。295は後期中葉か。17、286、289は安行3a式であろう。

20~22、297~302は胴部が屈曲する浅鉢で、297は安行2式、20~22、298~302は安行3a式から3b式であろう。

326~328は沈線文のみ施文される鉢で、安行3c式であろうか。

303~306は内湾する口縁部が開く浅鉢で、303、304は安行2式、305、306は安行3b式であろうか。311は口縁部が内湾する鉢、もしくは広口壺であり縄文LRのみ施文されている。後期の可能性もある。

9は貼付文に口縁部の沈線と合わせた紐通し状の円孔が空く、広口壺である。

23は長方形のバスケット状を呈する鉢で、両側面の4面に、対弧文を挟む対向三叉文が全面に施文されている。晩期中葉か。

18、24は無文の深身の鉢で、18は器面にケズリ状の整形が、24は口縁部が小波状を呈し、輪積成形痕が残る。晩期中葉であろう。

312、313、516は角底土器で、312、516は底部に対角線上の帯縄文が交差して施文され、313は辺中央を結ぶ十字状の無文帯が施文される。安行2式から安行3a式であろう。

25、26、307~310は注口土器で、307~309は安行2式から安行3a式、25は安行3a式、26、310は安行3c式である。

314~323は鉢や注口土器の胴部破片である。

324、325は第Ⅶ群第7類の細密沈線土器である。324は口縁部がやや内湾する深鉢形土器で、325は内湾する口縁部が開く鉢である。

329~331は大洞C1式の影響を受けている土器群である。329は口縁部が外反する鉢で、胴部に崩れた雲形文が施文され、縄文LRが充填施文される。330は深鉢の胴部で、入り組み部分が楕円区画文化し、区画内に縄文LRが施文される。331は鉢の胴部の屈曲部に吸盤状の貼付文が並び、胴部に雲形文が施文されている。

27、28、332~369は条線文土器である。27、

332~343は胴部が緩く括れ、口縁部が開く器形で、口縁部に刻列を施文する安行1式である。

332~335、339は口縁部に沈線区画のないもので、336~338、340~343は沈線区画があるものである。縦位の条線文が多い。

28、344~369は口縁部が内湾する器形で、胴上半部で横位から斜位、胴部で斜位から縦位方向の条線文を施文するものが多くなる。また、新しくなるに連れて、条線文の間隔が広く、粗くなる。安行2式から安行3a式である。

29~36、370~487は紐線文土器である。

29~34、370~386は口縁部が内湾し、口縁部に押圧隆帯を巡らせて、胴上半部で横位の条線文、下半部で斜位から縦位方向の条線文を施文する安行2式から安行3a式の紐線文土器である。胴上半部に、口縁部から続く押圧隆帯文が貫入するもの、対弧文、平行沈線文、蛇行沈線文等が施文される。32は口縁部に押圧隆帯が施文されず、33、34は縄文が施文されている。414~416は沈線区画文内の地文条線文を磨消すものである。安行3a式である。

紐線文土器においても、条線文土器と同様に口縁部を沈線区画するものがある。417~438、440~447は安行2式から安行3a式で、31、439、448は安行3a式である。

35、36、449~487は地文の条線文が消失する安行3a式後半から安行3c式の紐線文土器である。35、449~465は口縁部の沈線区画がないもので、36、466~487は沈線区画のあるものである。条線文が消失する土器では、口縁部に連続刻目文を施文ものが多くなり、口縁部に縄文施文する土器も増える。

488~515は無文の粗製土器である。口縁部の肥厚する488~493は紐線文系の土器で、494、495は口縁部内面が肥厚する。

496~502、510は口縁部が内湾するもの、503~505は口縁部が開くもの、507~509は胴部で括

れて口縁部が開くものである。

511～515は製塩土器で、器壁が薄く、よく被熱している。

土製品類 (第783図517～第787図625)

土製円盤は82点出土している。

耳飾りは23点出土した。栓形1点、環状形19点、台形3点である。第785図599、600、605～607、621はほぼ完形である。

土偶は3点出土した。622は左肩の破片で、安行3c式である。623は右脚で、安行3d式であろう。624は右脚で、晩期であろう。

625は動物形土製品で、イノシシであろう。

石器 (第787図626～第790図657)

第787図626は無茎の石鏃で、片方の脚部の先端が僅かに欠けている。

628～631は打製石斧で、628が完形品、その他が刃部片である。

632は礮器Ⅲ類で、正面の器体中央に原礮面が

残る。刃部は両面加工によって作り出されている。

633は磨製石斧の刃部片で、刃部には刃こぼれが認められる。634は磨製石斧Ⅰ類の破片で、635が磨製石斧Ⅲ類である。

636、637は礮石Ⅰ類で、ともに長楕円形の礮を素材としている。638は磨石が欠損した後、欠損面を使用面に再利用した礮石である。

639～644は磨石Ⅰ類、645と646が磨石Ⅱ類である。

647～649が石皿Ⅱ類で、647は正面と裏面の両面に凹痕を有する。その他、648が皿部に、649が裏面に凹痕を有する。

650は砥ぎ面が不明瞭な砥石である。

651、652はともに凹痕を有する軽石類である。

653は大型石棒の基部片、654が石棒の破片である。

655～657が垂飾で、655は勾玉形を呈する。

21 L-7グリッド出土遺物

概要 (第791図、第792図)

本グリッドは調査A区の南西端にあたり、北東コーナーの④⑤、⑨⑩小グリッドに調査区がかかる程度の狭小な調査区である。柱穴のみで確認された晩期前葉以降の住居跡1軒(SJ65)、晩期前葉の土壌1基(SK338)、晩期前葉の遺物集中1箇所(16)が検出されている。後期から晩期中葉にかけての土器群が少量出土しているが、特に晩期前葉の土器群が⑤小グリッドで集中的に出土した。SK338との関連であろう。土製品類の出土も少ない。

縄文土器 (第793図1～第798図168)

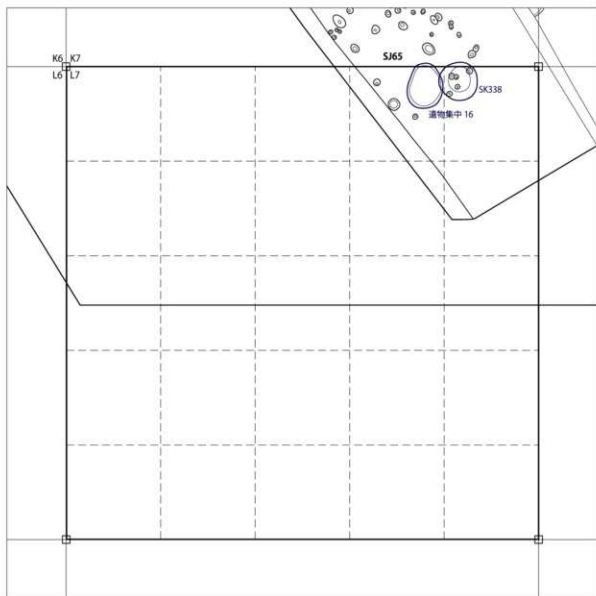
第793図11は前期第Ⅱ群第1類の花積下層式である。刻みを施す2本隆帯で口縁部が区画され、口縁部に蕨手状の側面圧痕文が施文される。12、13は第3類の黒浜式土器で、12は斜縄文を施す波状口縁深鉢形土器、13は非結束異原体で菱形

羽状縄文が構成される。

14は後期第Ⅳ群第2類の称名寺2式土器である。口縁部には非貫通孔を繋ぐ円形沈線が施文される環状突起が付いている。15は第4類の堀之内2式土器である。

16～28は後期第Ⅴ群の加曾利B式土器である。16は加曾利B1式の捻じれた突起の付く、3単位波状口縁深鉢形土器である。17～19は胴部が括れ、口縁部が開く深鉢で、20は縄文のみ施文される深鉢である。加曾利B2式からB3式であろう。21、22は口縁部に押圧隆帯、胴部の地文縄文上に横位弧状の沈線文が施文される紐線文土器である。23は地文縄文上に斜格子目沈線文が施文される。いずれも加曾利B2式からB3式であろう。29は橋状把手の付く深鉢で、後期中葉であろう。

24は加曾利B1式の口縁部が内湾する鉢、25



遺構	小グリッド	所属時期	遺構	小グリッド	所属時期	遺構	小グリッド	所属時期
S J 65	4 5	晩期前室以降	S K 338	4 5	晩期前室	遺物集中 16	4	晩期前室

第 791 図 L-7 グリッド検出遺構

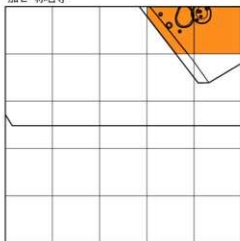
は B 3 式の鉢である。26～28 は同一個体で、長頸壺の口縁部である。球形の胴部が付くものと思われる。

30～39 は第 VI 群から第 VII 群の安行式土器の大波状口縁土器である。30 は安行 1 式、31 は安行 2 式、32、39 は安行 2 式から安行 3 a 式、33～38 は安行 3 a 式から 3 b 式である。

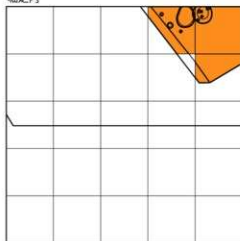
40～42 は安行 1 式の胴部が括れて口縁部が開く平口縁深鉢形土器である。

2、44～70、72 は口縁部が内湾する砲弾形の平口縁深鉢形土器である。2 は口縁部がやや内湾する深鉢で、幅狭の口縁部に横位沈線と蛇行短沈線を組み合わせた 2 段の足長三叉文が施文されている。胴部は沈線で区画され、縄文 L R が施文さ

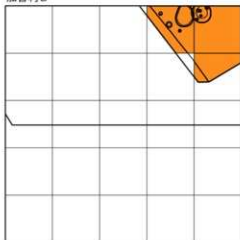
加E・称名寺



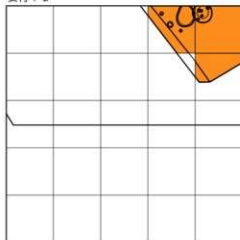
堀之内



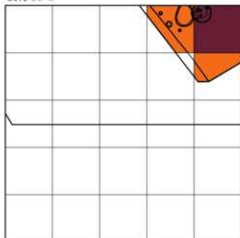
加曾利B



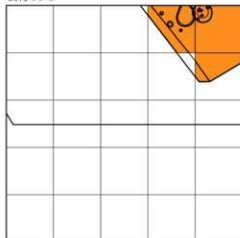
安行1・2



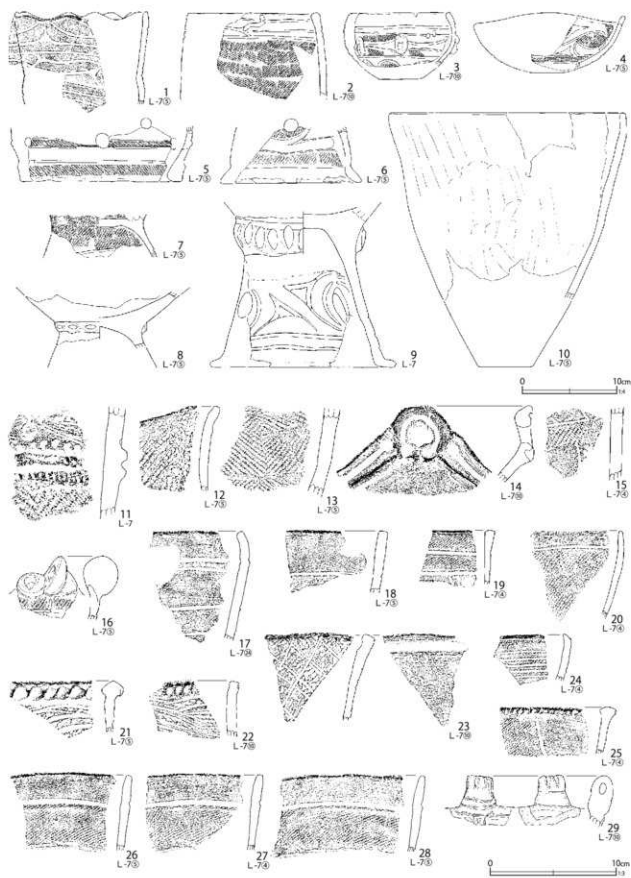
安行3a・b



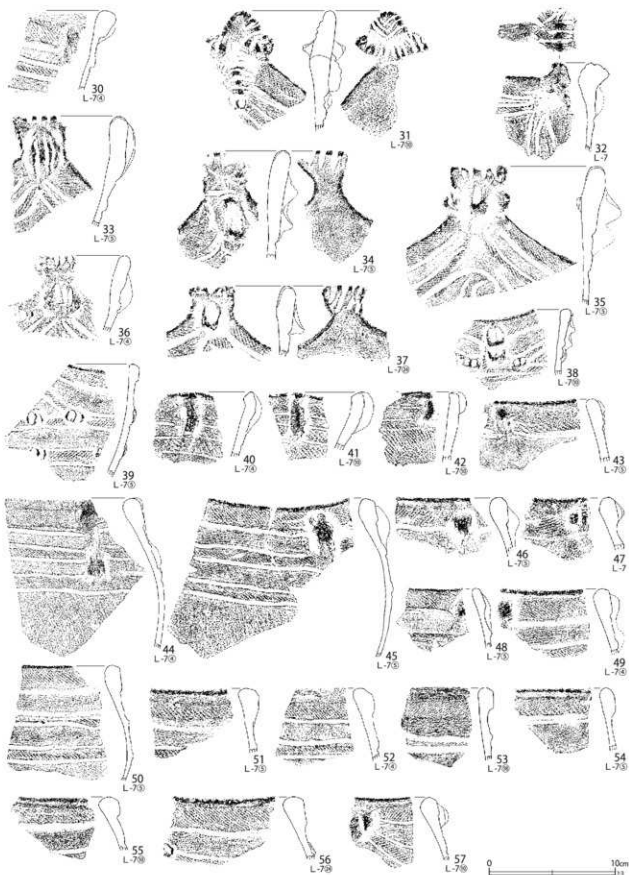
安行3c・d



第792図 L-7グリッド時期別濃淡図



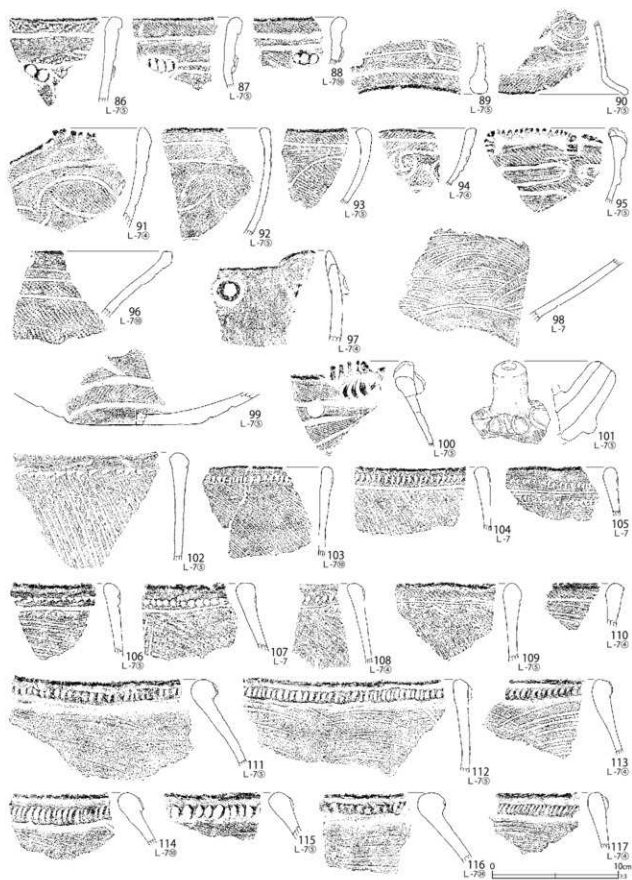
第793図 L-7グリッド出土遺物(1)



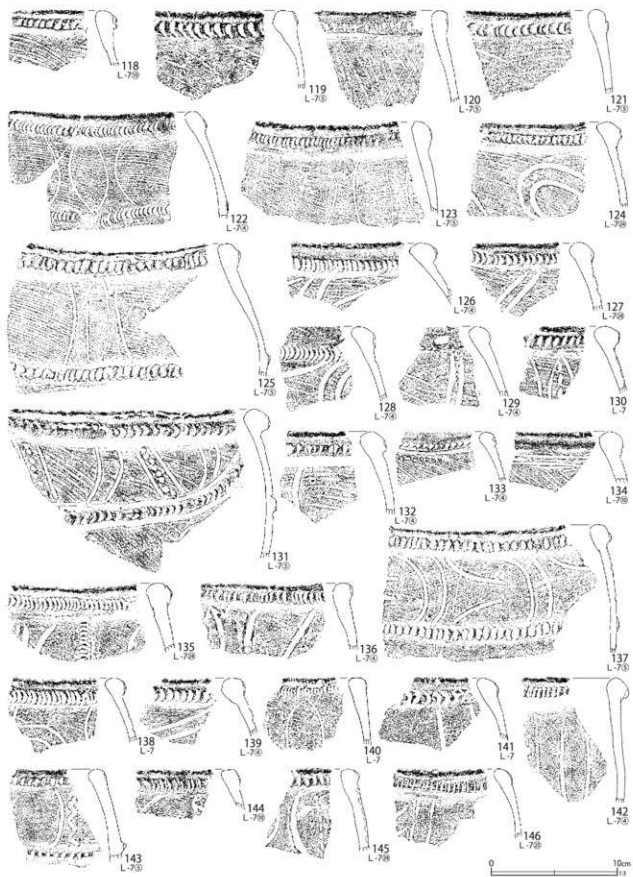
第794図 L-7グリッド出土遺物(2)



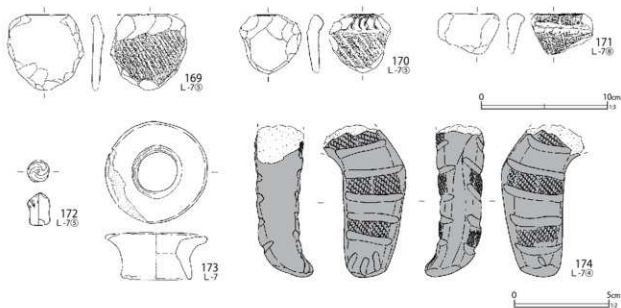
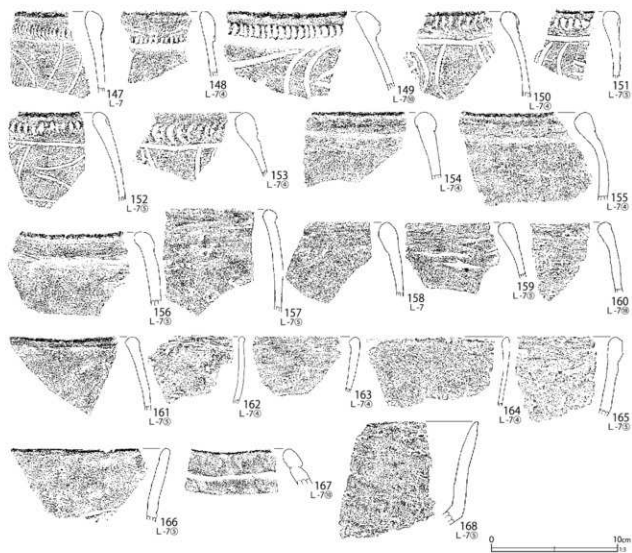
第795図 L-7グリッド出土遺物(3)



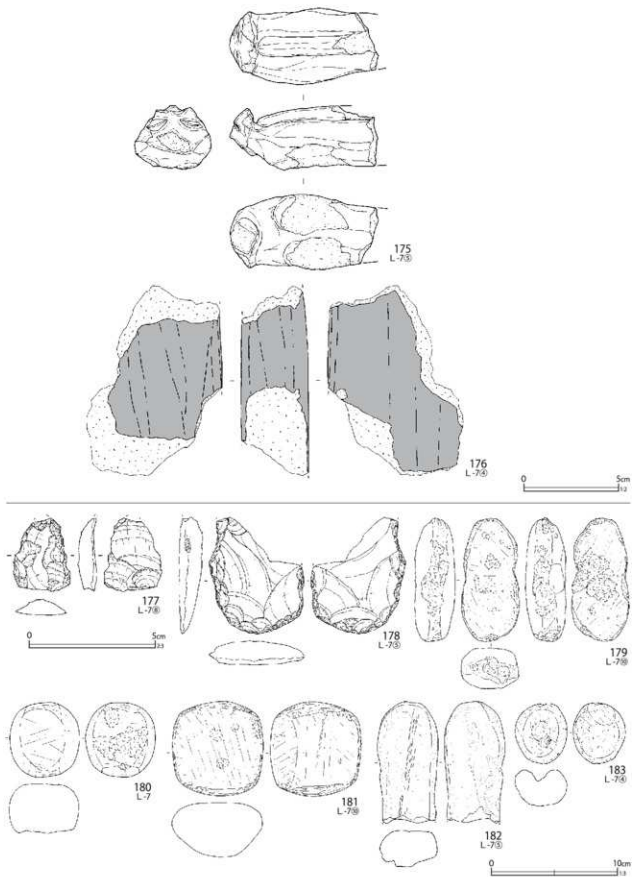
第796図 L-7グリッド出土遺物(4)



第797図 L-7グリッド出土遺物(5)



第798図 L-7グリッド出土遺物(6)



第 799 図 L-7 グリッド出土遺物 (7)

第117表 L-7グリッド出土復元土器観察表 (第793図)

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類	番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
1	Ⅲ-6	[9.7]	(14.0)	(14.2)	-	ⅤB-2-A3	6	Ⅱ-8	[5.9]	-	(15.0)	(15.0)	ⅤB-2-B
2	Ⅱ	[9.2]	(14.0)	(15.6)	-	ⅤB-2-A5	7	Ⅱ	[4.5]	-	(12.0)	-	ⅤB-1-B
3	Ⅱ	[5.8]	(10.4)	(11.8)	-	ⅤI-2-C2	8	Ⅱ-8	[5.2]	-	(16.4)	-	ⅤB-1-B
4	Ⅱ	[5.0]	(15.7)	(15.7)	-	ⅤB-1-C2	9	Ⅱ-6	[15.9]	-	(19.7)	(19.7)	ⅤB-2-B
5	Ⅱ-8	[5.9]	-	(19.4)	(17.2)	ⅤI-2-B	10	Ⅲ-6	[19.4]	(25.1)	(25.1)	-	ⅤB-2-B

第118表 L-7グリッド出土破片土器観察表 (第793~第798図)

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
11	Ⅳ	Ⅱ-1-A2	51	Ⅱ	ⅤI-2-A5	91	Ⅱ	ⅤI-2-C2	131	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7
12	Ⅱ-8	Ⅱ-3-A3	52	Ⅲ-6	ⅤI-2-A5	92	Ⅱ	ⅤI-2-C2	132	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7
13	Ⅲ-6	Ⅱ-3-A4	53	-	ⅤI-2-A5	93	Ⅱ	ⅤI-2-C2	133	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A7
14	Ⅲ	Ⅳ-2-A3	54	Ⅰ	ⅤI-2-A5	94	Ⅰ	ⅤB-1-C2	134	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A7
15	-	Ⅳ-4-A4	55	Ⅲ-6	ⅤI-2-A5	95	Ⅲ-6	ⅤI-2-C2	135	Ⅰ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
16	Ⅱ	Ⅴ-1-A2	56	Ⅰ	ⅤI-2-A5	96	Ⅲ-6	ⅤI-1-C2	136	Ⅰ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
17	Ⅰ	Ⅴ-2-A4	57	ⅤI	ⅤI-2-A5	97	Ⅰ	ⅤB-4-A2	137	Ⅱ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
18	Ⅱ-8	Ⅴ-2-A2	58	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	98	Ⅴ-1	ⅤI-ⅤB-C	138	Ⅴ-1	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
19	-	Ⅴ-2-A2	59	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	99	Ⅲ-6	ⅤB-1-B	139	Ⅱ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
20	Ⅲ-6	Ⅴ-A2	60	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	100	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-G	140	Ⅳ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
21	Ⅱ	Ⅴ-2-3-A7	61	Ⅰ	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	101	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-G	141	Ⅴ-1	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
22	Ⅱ	Ⅴ-2-3-A7	62	Ⅰ	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	102	Ⅱ-15	ⅤI-2-A6	142	Ⅰ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
23	Ⅲ-6	Ⅴ-2-3-A4	63	Ⅱ-10	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	103	Ⅱ	ⅤI-2-A6	143	Ⅰ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
24	-	Ⅴ-1-C2	64	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	104	Ⅳ	ⅤI-2-A6	144	Ⅱ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
25	-	Ⅴ-3-C1	65	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	105	Ⅴ-1	ⅤI-2-ⅤI-1-A6	145	Ⅰ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
26	Ⅱ	Ⅴ-2-3-F2	66	-	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	106	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A6	146	Ⅱ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
27	Ⅱ	Ⅴ-2-3-F2	67	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	107	Ⅳ	ⅤB-1-A6	147	Ⅳ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
28	Ⅲ-6	Ⅴ-2-3-F2	68	-	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	108	Ⅲ-6	ⅤB-1-A6	148	Ⅰ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
29	Ⅲ	Ⅴ-A	69	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	109	Ⅰ	ⅤB-1-A6	149	Ⅱ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
30	Ⅲ-6	ⅤI-1-A3	70	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	110	-	ⅤB-1-A6	150	Ⅰ	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
31	Ⅲ-6	ⅤI-2-A3	71	Ⅱ-6	ⅤB-2-A4	111	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	151	Ⅲ-6	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
32	Ⅳ	ⅤB-1-A3	72	Ⅱ-10	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	112	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	152	Ⅲ-6	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
33	Ⅱ	ⅤB-1-2-A3	73	Ⅲ	ⅤI-2-A3	113	Ⅰ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	153	Ⅲ-6	ⅤB-1-ⅤI-1-A7
34	Ⅱ	ⅤB-1-2-A3	74	Ⅳ	ⅤB-1-A4	114	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	154	Ⅰ	ⅤB-A5
35	Ⅱ	ⅤB-1-2-A3	75	-	ⅤB-1-A3	115	Ⅱ-8	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	155	Ⅱ	ⅤB-A5
36	Ⅲ-6	ⅤB-1-2-A3	76	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	116	Ⅰ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	156	Ⅱ	ⅤB-A5
37	Ⅰ	ⅤB-1-2-A3	77	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	117	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	157	Ⅱ-15	ⅤB-A5
38	Ⅲ	ⅤB-1-2-A3	78	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	118	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	158	Ⅲ-15	ⅤB-A5
39	Ⅱ	ⅤB-1-A3	79	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A5	119	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	159	Ⅲ-15	ⅤB-A5
40	Ⅰ	ⅤI-1-A4	80	Ⅴ-1	ⅤB-1-A4	120	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	160	Ⅱ-10	ⅤB-A5
41	Ⅲ-6	ⅤI-1-A4	81	Ⅱ-8	ⅤB-1-A5	121	Ⅱ-8	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	161	Ⅲ-6	ⅤB-A5
42	Ⅲ-6	ⅤI-1-A4	82	Ⅱ	ⅤB-1-A4	122	-	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	162	Ⅲ-6	ⅤB-A2
43	Ⅱ-8	ⅤI-1-A5	83	Ⅰ	ⅤB-A	123	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	163	Ⅲ-6	ⅤB-A2
44	Ⅲ-6	ⅤI-1-A5	84	Ⅲ-6	ⅤB-1-A3	124	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	164	Ⅲ-6	ⅤB-A2
45	Ⅲ-6	ⅤI-1-A5	85	Ⅱ	ⅤB-A5	125	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	165	Ⅰ	ⅤB-A2
46	Ⅱ	ⅤI-1-A5	86	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-B1	126	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	166	Ⅱ-8	ⅤB-A4
47	Ⅳ	ⅤI-2-A5	87	Ⅱ	ⅤI-2-ⅤI-1-B1	127	Ⅰ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	167	Ⅰ	ⅤB-A6
48	Ⅱ	ⅤI-1-A5	88	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-B1	128	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A7	168	Ⅱ-14	ⅤB-C1
49	Ⅰ	ⅤI-1-A5	89	Ⅱ-8	ⅤI-2-ⅤI-1-B1	129	Ⅲ-6	ⅤI-2-ⅤI-1-A7			
50	Ⅲ-6	ⅤI-1-2-A5	90	Ⅱ	ⅤB-1-2-B	130	Ⅳ	ⅤI-2-ⅤI-1-A7			

第119表 L-7グリッド出土土製品観察表 (第798図、第799図)

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ
174	Ⅲ-6	土俵	[8.0]	[3.3]	[2.6]	176	Ⅲ-6	土版	[10.0]	[7.2]	3.5
175	Ⅲ-2	動物形土製品	3.4	2.9	7.9						

第120表 L-7グリッド出土土製円盤観察表 (第798図)

番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類
169	Ⅲ-2	6.5	38.4	Ⅱ-A-ウ	170	Ⅱ	4.8	28.0	Ⅱ-A-イ	171	Ⅱ	4.9	19.8	Ⅱ-A-ウ

第121表 L-7グリッド出土耳飾り観察表 (第798図)

番号	層位	径1	径2	高さ	重量	分類	番号	層位	径1	径2	高さ	重量	分類
172	ⅤI	1.2	1.0	1.7	2.1	Ⅱ-A-イ	173	-	5.4	3.6	25.0	32.9	Ⅲ-D-ア

第122表 L-7グリッド出土土器観察表 (第799図)

番号	層位	器種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
177	Ⅱ-10	石織	-	チャート	[2.9]	2.3	0.8	4.6
178	Ⅱ	打製石斧	-	頁岩	[9.3]	7.5	1.9	124.4
179	Ⅰ-1	凹石	-	安山岩	9.8	4.6	3.2	124.8
180	Ⅴ-1	磨石	Ⅰ	安山岩	5.9	5.6	4.0	201.4
181	Ⅱ	磨石	Ⅱ	安山岩	7.5	7.2	4.4	373.4
182	Ⅱ	砥石	Ⅱ	頁岩	[9.7]	4.9	3.0	226.2
183	Ⅲ-2	軽石類	Ⅰ	多孔質軽石	[4.8]	4.1	2.9	22.0

れている。大洞式の影響を受けているのか、器面は丁寧に研磨されており、縄文は細かい。晩期前葉であろうか。

43～46、48、49は無刻の貼付文が付く安行1式、47、56、57は刻みを施す瘤を貼付する安行2式、無瘤の50～55は安行1式から2式であろう。58～70、72は横刻縦瘤が施文される安行2式から安行3a式であろう。70は背割沈線が施文される縦瘤が付く。

71は頸部で括れ、口縁部が開く器形の平口縁深鉢形土器で、弧線文と縦刻横瘤が付く。安行3b式であろうか。

1、73～75は胴部が括れ、貼付文のない深鉢形土器である。1は胴部が緩く括れ、口縁部が小波状を呈する深鉢である。胴部が帯縄文で3帯に区画され、沈線の一部が三叉文を構成する。3帯口縁部には波状口縁を縁取る弧線文と、波底部に三叉文が磨消縄文で施文されている。胴中央部は足の長い入組三叉文が横位に施文されている。安行3b式であろう。73は安行2式の波状口縁深鉢、74は安行3a式から3b式の平口縁深鉢、75は波状口縁深鉢である。

76～79は後期末から晩期前葉の口縁部が内湾する瓢形土器である。

80～85は晩期中葉の深鉢形土器である。80は胴部で括れて口縁部が開く深鉢形土器で、刺突文を挟む沈線文でモチーフが施文される。安行3c式である。82、84は胴部が括れて口縁部が開く深鉢で、沈線文のみでモチーフが描かれるものである。82は平口縁深鉢で、口縁部と胴部に入組三叉文が施文される。84は波状口縁で、弧線文が施文されている。いずれも安行3c式である。

81、85は口縁部が内湾する紐線文系の土器で、81は地文に粗い条線文が施文されており、85は条線文が消失している。安行3a式から3b式であろう。83は豚鼻瘤が付く胴部破片である。晩期初頭であろうか。

5～9、86～90は台付鉢である。5、86～89は安行2式、6～9、90は安行3a式から3b式あたりか。

3、4、91～96は内湾する口縁部が開く鉢形土器で、3、91～93、95、96は安行2式、玉抱入組文等が施文される4、94は安行3a式である。98は後期、99は晩期の浅鉢の底部であろう。

100、101は後期末から晩期初頭の注口土器と思われる。

102～110は条線文土器である。102は口縁部が沈線区画されないもので、103～110は沈線区画されるものである。102～104は安行2式、105、106は安行2式から安行3a式、地文条線文が消失する107～110は、安行3a式以降であろう。107は紐線文土器と折衷化した土器である。109、110は刻列の代わりに縄文が施文されている。

111～153は安行式の口縁部が内湾する紐線文土器である。口縁部と胴部が押圧隆帯で区画され、胴上半部に横位弧状の条線文が施文される。条線文は122、123、125のように細かいものから、条間の粗いもの、116、131のようにミガキ状のものもある。文様は細い沈線で弧線文や対弧線文、斜線文が描かれているもの、太い沈線で斜線と弧線文を組み合わせたもの、沈線内に刺突文列を施文するもの、曲線文などがある。安行2式から安行3a式である。

135～153は地文の条線文が消失した紐線文土器である。文様の種類はほぼ同じであるが、口縁部の押圧隆帯が刻列へと変化するものがある。安行3a式の後半以降の土器群であろう。

10、154～168は第Ⅷ群の無文土器で、154～157は口縁部が肥厚する紐線文系土器、158～160は口縁部内面が肥厚するもの、161は口縁部が内湾するもの、162～165は口縁部が開くもの、166は頸部で括れて口縁部が開くもの、167は折返状2段口縁のものである。10、168は口縁部が外反する鉢である。いずれも、晩期中葉であろう。

土製品類 (第610図169～第611図176)

第610図169～171は土製円盤で、3点が出土した。いずれも口縁部破片が使用されており、不整形円形に成形されている。

耳飾りは2点出土した。172は椀形で、巴状の沈線文が施文されており、完形である。173は環状形で、ほぼ完形である。

174はみみずく土偶の左脚で、赤彩されている。安行3 a 式期であろう。

175はイノシシ形土製品である。口縁部と前脚、胴部以下を欠損する。

22 L-8グリッド出土遺物

概要 (第800図、第801図)

本グリッドは、調査A区の最南東端にあたり、調査B区と接しているが、遺構は検出されていない。南盛土範囲の東側限界にあたるものと思われる。遺物は、後晩期を通じて各時期の土器のみが少量出土した。

縄文土器 (第802図1～第803図26)

第802図4は後期第V群第2類加曾利B 2式の、口縁部が内湾する鉢と思われる内折する無文の口縁部と胴部の境目が突帯状に突出し、胴部の縄文LR上に平行沈線が施文されている。

5、6は安行式の大波状口縁深鉢で、5は波頂部に剥落しているが横刻縦縮が付くものと思われる、刻目帯で口縁部の三角区文を区画する安行2式である。6は背割沈線を有する舌状2段階が付く安行3 b 式であろう。

7～10は口縁部が内湾する平口縁深鉢形土器である。7、8は安行1式、9、10は安行2式であろう。9は口縁部に横刻縦縮を有する。

11～15は口縁部が内湾しながら開く緩い波状口縁深鉢形土器である。11～13は同一個体と思われる、双頭の波状口縁を呈し、口縁部の波状に沿って足の長い三叉文、その下部に入組渦巻文を抱く対向三叉文が施文される。地文には縄文RL

176は土版である。赤彩されており、一部が現存する。

石器 (第799図177～183)

第799図177は平面形が二等辺三角形を呈し、両側面に裏面から剥離を加えている。石鏃の未完成品であろうか。

178は打製石斧の刃部片で、刃部は両面加工によって作り出されている。

その他、179が凹石、180が磨石Ⅰ類、181が磨石Ⅱ類、182が砥石Ⅱ類、183が軽石Ⅰ類である。

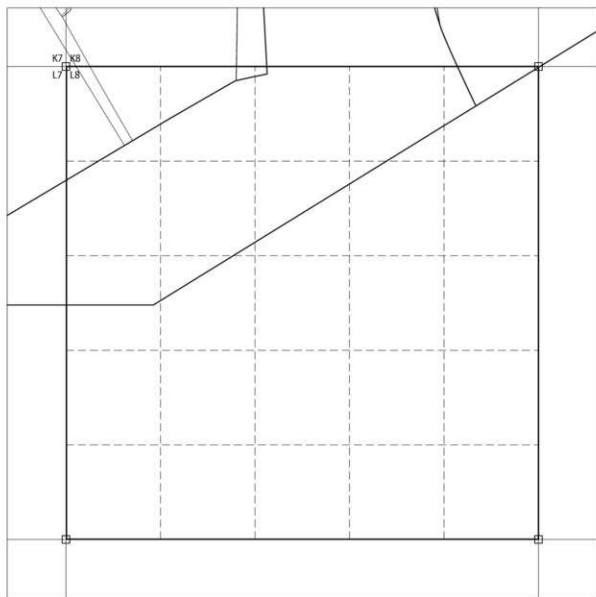
が施文される。

14は双頭の波頂部に三叉文が施文されるもので、15は玉抱三叉文が施文される。15は安行3 a 式、11～14は安行3 a 式から3 b 式であろう。16は平行沈線の弧線文が施文されるもので、後期末葉であろうか。

1はやや内湾する口縁部が大きく開く鉢であり、口唇部に2個対の突起と双頭突起が付く。2個対の突起と双頭突起が交互に付くのか、対突起の間に双頭突起が2箇所が付くか、または対突起の中に1箇所だけ双頭状突起を付けているかのいずれかであろう。この突起間を帯状弧線文で連結している。弧線文の間隔からは、対突起を基本とし、1箇所に双頭突起を付けているものと思われる。胴部は縄文帯と押圧隆帯で区画されている。安行3 b 式であろう。

17、18は台付鉢の脚部で、円形の透かしが施される。後期安行式であろう。

2は口縁部に横刻縦縮が付く注口土器である。貼付文は縦刻横縮と横刻縦縮が「T」字状に組み合わせられたもので、豚鼻縮は貼付されない。口縁部と胴部は平行沈線の無文帯で区画され「の」字状渦巻文が斜沈線で連結され、さらに下部に横刻縦縮を起点にした連結する対向弧線文が施文され



第800図 L-8グリッド検出遺構

る。口縁部やモチーフ間に縄文RLが施文される。安行3 a式から3 b式であろう。19は壺もしくは注口土器の胴部破片であろう。晩期安行式であろう。

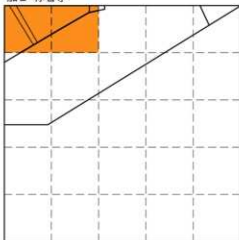
20～23は紐線文土器である。23のみ口縁部が沈線で区画されており、斜行文、曲線文、平行沈線文が施文されている。地文の条線文が消失する

安行3 a式後半以降の紐線文土器である。

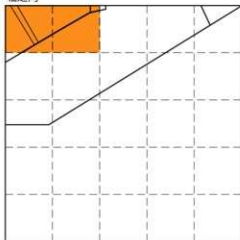
24～26は第Ⅷ群の無文土器である。24、25は口縁部が肥厚して内湾する紐線文系の土器で、肥厚口縁部が削り出されている。26は口縁部が内湾する無文土器である。

3は粗い条線文が施文される底部で、後期末から晩期初頭であろう。

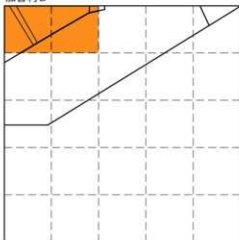
加E・称名寺



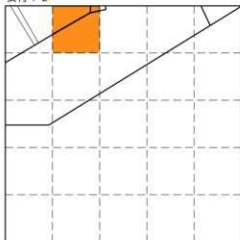
堀之内



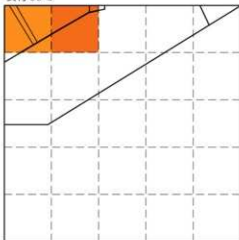
加曾利B



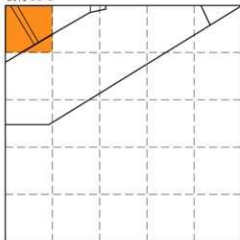
安行 1・2



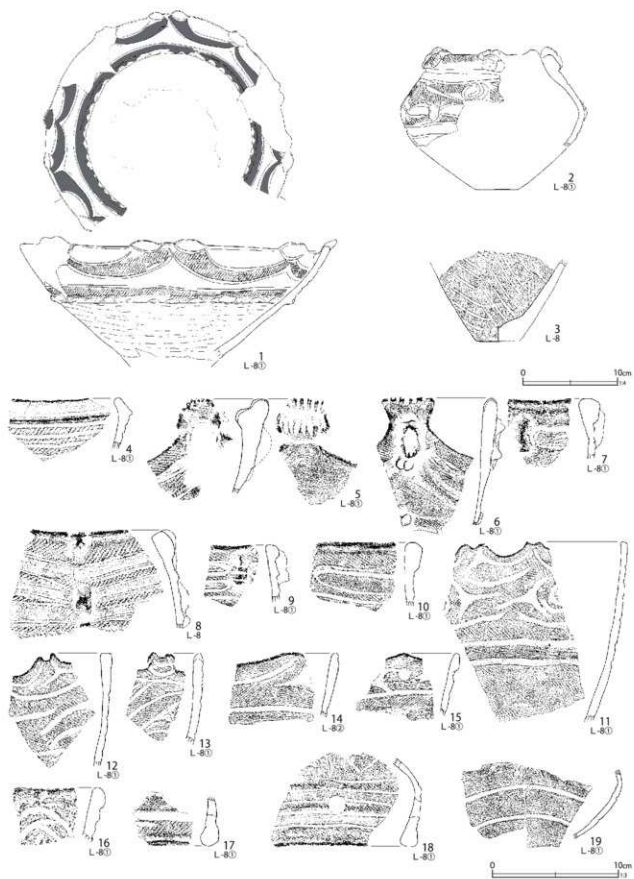
安行 3a・b



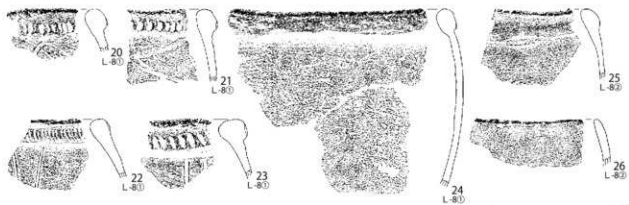
安行 3c・d



第 801 図 L-8 グリッド時期別濃淡図



第802図 L-8グリッド出土遺物(1)



第803図 L-8グリッド出土遺物(2)

第123表 L-8グリッド出土復元土器観察表(第802図)

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類	番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
1	Ⅲ-6	[12.6]	(32.7)	(32.7)	-	ⅤB 2-C2	3	Ⅲ-6	[8.4]	-	(14.5)	4.4	X 3
2	Ⅲ-6	[10.5]	(14.2)	(19.2)	-	ⅤB 1~2-G							

第124表 L-8グリッド出土破片土器観察表(第802図、第803図)

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
4	Ⅲ-6	V 2-C2	10	Ⅲ-6	ⅤB 2-A5	16	Ⅲ-6	ⅤB-A	22	Ⅱ	ⅤB 1~2-A7
5	Ⅲ-6	ⅤB 2-A3	11	Ⅲ-6	ⅤB 1~2-A2	17	-	ⅤB-B	23	Ⅱ	ⅤB 1~2-A7
6	Ⅱ	ⅤB 2-A3	12	Ⅲ-6	ⅤB 1~2-A2	18	-	ⅤB-B	24	Ⅱ	ⅤB-A5
7	Ⅲ-6	ⅤB 1-A5	13	Ⅱ	ⅤB 1~2-A2	19	Ⅲ-6	ⅤB 1~2-A7	25	Ⅱ	ⅤB-A5
8	Ⅲ-6	ⅤB 1-A5	14	Ⅲ-6	ⅤB 1~2-A2	20	Ⅱ	ⅤB 1~2-A7	26	Ⅱ	ⅤB-A5
9	Ⅲ-6	ⅤB 2-A5	15	Ⅲ-6	ⅤB 1-A2	21	Ⅲ-6	ⅤB 1~2-A7			

23 B区(I-8, J-8, K-8グリッド)出土遺物

概要(第804~第806図)

調査B区は調査A区の東側に接しており、南盛土の東の外縁部にあたる。遺構については、既に『長竹遺跡Ⅱ』で報告済であるが、グリッド出土遺物についてA区と合わせて報告する。

出土土器は後期安行式土器を中心として、晩期前葉の土器群も多く出土した。安行1式、2式土器はI-8②からJ-8③④⑤小グリッドにかけてのラインで分布が濃く、安行3a式、3b式土器もJ-8③小グリッドで集中的に出土した。J-8グリッドでは安行1式、2式土器集中地点に、晩期前葉の住居跡S J14と、硬化面を伴う焼土跡2、3が存在し、それらとの関連が考えられる。また、後期末から晩期初葉の大型住居跡の東側に当たる地区でもあり、関連が想起される。

土製円盤は134点出土しており、その分布は後期安行式土器の分布濃淡に比例して出土している。他のグリッドと同様な傾向である。

縄文土器(第807図1~第862図1698)

第815図101~109は第Ⅱ群第1類の花積下層式土器である。101は波状口縁に沿って弧状の隆帯を貼り付け、3本一組の捺糸側面圧痕文が施文される。102は折返状口縁を呈し、103は胴部に捺糸圧痕による渦巻文が描かれ、鋭利な工具の刺切文が施文される。107は羽状縄文上に貝殻背圧痕文が施文される。

110~112は第2類の関山式土器で、110はルーブ文が施文される。113は第3類の黒浜式で、胴部に波状沈線文が垂下する。

114、115、121は第4類の諸磯a式で、114は横位の平行沈線文と小波状文が交互に施文される。

116~120、122、123は第5類の諸磯b式である。116、117は爪形文に沿って篋状工具による斜めの刻みを施す。118は爪形文で渦巻文が施文される諸磯b1式である。123は浮線文が施文される諸磯b2式であろう。

124は中期第Ⅲ群第2類の勝坂式で、半裁竹管状工具の刺突列が施文される。

125～127、132は第5類の加曾利EⅢ式である。125～127は幅広沈線の磨消縄文である。132は浅鉢である。

128～131は第6類の加曾利EⅣ式であり、128～130は2本一組の微隆起線で曲線的なモチーフが描かれ、131は口縁の無文部が微隆起線で区画され、鋸歯状の磨消縄文が施文される。

133は後期第Ⅳ群第1類の称名寺1式で、沈線のモチーフ内に櫛歯状工具の短沈線が施文される。134は第2類の称名寺2式で、非貫通孔を伴う波状口縁の把手である。

135～141は第3類の堀之内1式である。135、136は波状口縁、138、139は平口縁深鉢である。142～149は第4類の堀之内2式土器である。142～146は平口縁のバケツ形深鉢で、口縁部に刻目隆帯が巡っている。148は沈線の内文を有する突起、149は渦巻文を有する把手である。150は沈線文が施文される粗製土器、151は磨消縄文が施文される堀之内2式土器の注口土器の胴部破片である。

1、152～241は後期中葉の第Ⅴ群加曾利B式土器である。152～154は第1類の加曾利B1式の深鉢形土器で、152、153は刻目文帯の内文を有する浅鉢であろう。

155～158、167、168は第2類加曾利B2式から第3類加曾利B3式の3単位把手の深鉢で、159、160は内屈する口縁部に付く扁平な突起であろう。161も突起を伴う深鉢形土器である。167は胴部の弧線文が直線化している。168は同種の深鉢口縁部と考えたが、浅鉢の可能性もある。169は沈線の渦巻文が施文される胴部破片である。170は口縁部が短く内屈する無文の深鉢、171は口縁部に縄文帯を有し、胴部に斜線文が施文される深鉢で、曾谷式の可能性もある。

1、172、173は口縁部が内湾する大森タイプ

の深鉢である。1は胴部がソロバン玉状に張り出す大森タイプの深鉢で、口縁部に大小の突起を重畳させ、弧線文が施文される。胴部には矢羽状沈線文を巡らせている。加曾利B3式から曾谷式であろう。

174、176～178は加曾利B3式の5単位波状口縁土器である、174は斜線文土器で、頸部が無文帯で区画される。176～178は口縁部に刻みが巡り、縄文が施文される。176は波頂部に非貫通孔を伴う小突起が付く。175は瓢形の深鉢であろう。

179～190は斜格子目文が施文される粗製土器で、179、184、189以外は地文縄文上に施文される遠部第四類系土器である。加曾利B2式からB3式であるが、地文縄文のない179、184は曾谷式になる可能性もある。

191～233は加曾利B式の粗製土器である紐線文土器である。口縁部の押圧隆帯と平行沈線、斜線文、地文縄文を有するものがあり、平行沈線上に蛇行沈線文が垂下する191、196、197は加曾利B1式の可能性が有する。地文縄文上に斜沈線文や粗い平行沈線が施文されるものはB2式、192、213、216、217、219、222、223、225など地文縄文が無く、条線状の沈線文が施文されるものはB3式から曾谷式の可能性が有する。233は広口壺形で胴上半部に文様帯を有する遠部第三類であろう。

234～241は加曾利B式の平口縁粗製深鉢形土器である。234、235は地文縄文上に横位の平行沈線文が、236～238は無文地に横位の平行沈線が施文されるもので、239～241は縄文のみの深鉢である。平行沈線の細かいものは新しくなる可能性がある。

2、242～289は曾谷式及び高井東式土器である。242～255は波状口縁深鉢で、242～244は波頂部の突起である。245は波頂部直下に橋梁状の突起が、246は縦位の押圧隆帯が施される。247、248は台形の波頂部で、247は円形の貼瘤を配する。

249～252は山形波状口縁の深鉢である。249は

平行沈線の楕円形区画文が左右に対峙する。251、252は同一個体で、横位の平行沈線と列点文が施文される。253～272は波状口縁深鉢で、254、255、258は胴部に沈線の雷文が垂下する。260～264は各種の突起を配する波底部である。265～272は口縁外面に段を有して、2～4本の凹線を巡らせる。

273～282は胴部が括れて口縁部が開き突起を有する平口縁深鉢である。281は沈線の長方形区画文の接点に縦線を配する土器で、安行1式の可能性もある。286～288は口縁部に平行沈線が施文される深鉢形土器である。

283～285は瓢形の深鉢である。289は釣手土器で、把手の背面と側面に刻目隆帯が貼付される。

2は口縁部が短く内折する鉢で、口縁部に縄文LRが施文される。

3～5、290～449は後期から晩期の第VI、VII群である安行式の大波状口縁深鉢である。3、290～313は波状部に無刻の縦線が縦位に連なる第VI群第1類の安行1式である。297～302は把手に円窓が空く。3は頸部に縦位の沈線文帯を有する。

5、314～350は胴上半部に刻目隆帯の区画文が描かれ、横刻縦線+豚鼻瘤が施文され第2類の安行2式である。314、315は上面に円文を有する双頭状の突起が付く。317は円盤状の突起を配して、中央に同心円文を描いている。5は胴部破片である。

351～355は縄文を施文せず、口縁外面に多段の刻目隆帯を巡らせる土器で、安行1式から2式である。351～353は波状口縁、354、355は平口縁土器である。355は台付鉢の可能性もある。

4、356～449は胴上半部に帯縄文の三角形区画文や三叉文・人組文等が描かれる晩期第VII群第1、2類の安行3a式から3b式の波状口縁深鉢である。356～360は安行3a式であろう。359は突起を中心に対向三叉文が描かれ、360は姥山系の様子が描かれる安行3b式であろう。363～

367は縦刻横線を有する安行3a式か。

4、368～404は、背割沈線を有する舌状2段瘤が施文される安行3b式である。4は波頂部に二叉の突起を配し、前面に扁平な豚鼻瘤を2段に配する。胴部には楕円形の区画帯を巡らせている。394は胴上半部に入組三叉文が描かれる。391は縄文が施文されない入組三叉文を有するもので、第VIII群安行3c式になる可能性がある。

405、406はその他の波頂部で、407～420は波底部である。405は安行3b式であろう。407～409は安行3a式と考えられる。縦線を起点に縦位の鋸歯文を描く410は安行2式か。他は大半が安行3b式である。

6～20、450～721は貼付文を有する安行式の平口縁深鉢形土器である。

450～482、509、510は胴部で括れ、口縁部が開く安行1式の平口縁深鉢形土器である。無刻の縦線を1～2段有し、口縁部に帯縄文、胴部に磨消縄文の弧線文や羽状沈線が施文される。

6～12、483～508、511～527は口縁部が内湾する安行1式の砲弾形深鉢である。無刻の縦線を有する。6、483～495は円形瘤である。494は晩期前葉の可能性もある。8～10、496以下は楕円形の縦線であり、7、9、10、500～508、511～520は瘤と帯縄文が多段化する。11、521～527は押圧を有する縦線、安行2式に降る可能性がある。

20、528～558、617～619、621～623、625～633は胴部で括れ、口縁部が外反ないし直立する深鉢で、刻目隆帯や帯縄文で区画を描き、横刻縦線や豚鼻瘤を有する平口縁深鉢で、安行2式から3a式を主体とする。20は口縁部から底部まで残存する。口縁外面に楕円形の区画文を巡らせて縦長の豚鼻突起を配し、胴中段に弧状の区画文と帯縄文を重畳させ、それぞれ豚鼻瘤を配する。528は帯縄文と押し引き文の区画が巡る。532～536は刻目隆帯の区画を描く土器で、534～536は安行1式の台付鉢の可能性もある。

17、537～544は2個の横刻縦瘤を鱗状の突起で連繫する。545は口縁部に単独の横刻縦瘤、口唇部に縦刻横瘤が付く。555、556は胴上半部に磨消文様が描かれる安行3 a式であろう。

13～16、559～616、620、624は砲弾形深鉢で、刻瘤や豚鼻瘤を配する安行2式から3 a式であろう。13、14は押し延ばされた横刻縦瘤が施文されており、15は帯縄文上に豚鼻瘤が等間隔に配置される。安行2式であろう。16は平口縁の中に波状口縁のモチーフを取り込んでおり、帯縄文で口縁部区画と三角区画文を構成し、モチーフの交点に縦刻横瘤が施文される。安行2式から3 a式であろう。

581、585、586は帯縄文が半円形の区画文に変化し、突起を挟んで対向三叉文を描く588、611等は安行3 a式であろう。594～608は舌状2段瘤を有する安行3 b式と考えられる。

609～615は異形の突起を有するもので、610は刺突文が施される円形突起を有する安行3 b式、611は三叉文を描く安行3 a式であろう。613～615は環状の円形瘤を有する土器で、613は姥山系の区画文を描く安行3 b式であろう。蛇行沈線文が垂下する614、615は安行2式か。

619、624、625は胴上半部に弧線文を巡らせて縄文を施文する。弧線文がステッキ状の沈線へと変化する626は安行3 b式であろう。弧線文を描くが縄文のない627は安行3 b式から3 c式か。地文縄文上に磨消縄文で菱形文を描く628は安行3 b式と考えられる。629～632は浅鉢の可能性があり。629、631は安行3 b式から3 c式であろう。632は胴上半部に菱形の区画文を描く安行3 b式から3 c式であろう。

634～636は内湾口縁土器で、634、635は安行3 b式、636は胴上半部に最大径を有して平行沈線を巡らせる安行3 c式であろう。

637～660は胴部で括れ、口縁部が開き、貼付文の見られない平口縁深鉢形土器で、安行1式を

主体とする。

661～683は口縁部が内湾する深鉢形土器である。661～671は安行1式、672～676、679～681は安行2式、677、678、682、683は安行3 a式から3 b式であろう。

18、19、684～721は瓢形深鉢で、大半が安行1式であろう。18、19、684～687、691、693は胴上半部に襷状の入組文または対向弧線文を描き、688は弧線文が巡る。719～721は胴上半部に文様帯を有し、721は横位の条線が描かれる。

722～743、745～764は胴部で括れ、口縁が開き、胴上半部に磨消文様を描く平口縁深鉢である。安行2式を主体とした土器群であるが、晩期前葉に降るものが若干含まれる。胴部の文様帯は上下を沈線で区画した中に縦位の蛇行沈線文や鋸歯文、半円形などのモチーフを描いて縄文を充填施文するものが多い。727は無文部分に斜位の条線文が施文される。3個1単位の突起を配し、完成された入組文を描く738、741は安行3 a式であろう。762のレンズ状沈線文は西日本系の七宝文に由来する可能性がある。菱形の区画内部に入組文を描く764は安行3 b式である。

21、22、765～889は主に晩期前葉に属する磨消文様の深鉢を一括した。21、22は磨消文様を描く小波状口縁の深鉢で、安行3 a式から3 b式である。21は胴上半部に玉抱三叉文、中段に入組三叉文を描く。22は口縁部には弧線文を巡らせて間隙に三叉文を配し、胴部中段には「K」字状の磨消モチーフを描いて上下を帯縄文で区画する。

765～780は口縁部に玉抱三叉文が描かれる深鉢で、768、772、774～779は平口縁である。多くは安行3 a式であるが、773、777は安行3 b式になる可能性がある。781～788は口縁部に弧線文と組む磨消縄文と三叉文が施文されるもので、小波状を呈する口縁では、波状に沿って弧線文が描かれ、波状部の山形区画内に三叉文が施文される。安行3 a式から3 b式である。

789～802は口縁部に縦位の合わせ弧線文区画された楕円文内に縄文が施文されている。安行3 b式であろう。803～817は入組三叉文や単沈線の入組文、平行沈線間に刺突文等を描く土器で、安行3 b式を主体とする。

818～889は、安行3 a式から3 b式に属するその他の口縁部を一括した。818～837は口縁外面に縄文を施文して胴上半部に文様帯を有する土器である。823は胴部に玉抱三叉文を、824～826は弧線文と三叉文のモチーフが施文される。いずれも安行3 a式であろう。

827～836、849～851等は胴部に入組三叉文を、837～847は弧線文を描く安行3 b式であろう。852～862は口縁部や胴部に縄文帯が施文され、863、864はこれに列点文が加わるもので、863は口端上に押圧が巡る。

860～862、868～872等は内湾気味の口縁で、砲弾形の深鉢とみられる。入組三叉文、円形貼付文、弧線文等が施される安行3 b式であろう。

865～867は胴部が樽形に張り、短い口縁部が外反する器形で、鼓状区画文や弧線文が施文される安行3 b式である。880は注口土器ないし壺の可能性もある。890、891は細密沈線文の土器で、安行3 b式である。

28～44、892～954は台付鉢である。安行1式から安行3 c式の各時期のものが存在する。

892～898は外反口縁に糸線を施文する土器で、安行1式、899～902も安行1式の台付鉢である。903～917は安行2式であろう。918～928は直線的に開く台付鉢の口縁部で、安行3 a式から3 b式である。929は台付鉢に含めたが、浅鉢等の可能性もある。930～934は三叉文を基調とする磨消文様を描く土器で、安行3 a式から3 b式である。28～32は帯状入組文、弧線文、三叉文帯縄文等が施文される安行3 b式である。34も同じ時期であろう。

36～40、935～943は脚台部である。後期安行

式であろう。41、944～946、949は三叉文を描く脚台部で、安行3 a式から3 b式である。944、945は複数の透かし文様を有する。947、948は入組文を描く脚台部で、950、951は体部との境に列点文や押圧隆帯を巡らせる。952は入組文を描き、裾部に列点文を巡らせる。安行3 a式から3 b式であろう。35、42～44、953、954は無文の脚台で、いずれも安行3 c式であろう。

46～61、955～986は鉢類で、安行3 a式から3 b式を主体とする。46～48、955～964、967～970は胴部が屈曲する浅鉢で、胴中央部に貼瘤があり、三叉文や入組文が施文されるものが多い。

49～61、965、971～1015は壺形の鉢である。49、56、61、971～978は口縁部が外反する鉢で、玉抱三叉文、三叉文、入組文、ステッキ状文等が施文される安行3 a式から3 b式であろう。56、61は安行3 c式である。50～55、57、60、965、979～982は口縁部が内湾して開く鉢で、弧線文や入組文が施文されており、965は底面に対弧文が施文されている。983～986は底部である。安行3 a式から3 b式であろう。58、59は皿状を呈する。57～60は安行3 c式である。

982、990、991は五角形の浅鉢とみられ、波頂部に小突起を配して三叉文を描く。

987、988は無文の浅鉢で、双頭の突起の下に一对の貫通孔を穿つ。989、992～994は角底の鉢である。

45は口縁部を欠失する羽釜形の鉢で、胴上半部に最大径を有し、眼鏡状隆帯が巡る。胴中段には平行沈線の弧状文を巡らせて、間隙に蛇行沈線文を配する。胴下半部には平行沈線を巡らせ、底部付近は縄文帯である。底面はやや丸底気味である。安行3 a式から3 b式であろう。

24は龍目土器である。口縁部から胴下半部にかけて残存する。直線的に開く器形で、口縁外面に縄文を施文し、頸部は無文、胴中段以下に編み籠の圧痕を残している。安行3 a式から3 b

式であろう。

62、996～1034は注口土器である。

996～1002は注口部である。996、997は安行2式、1001は安行3 a 式、1002は安行3 c 式から3 d 式、998～1000も晩期の土器であろう。

1003～1014は刻目隆帯で複雑な曲線文を描く安行2式、62、1015～1025、1028は帯縄文の土器で、安行3 a 式から3 b 式である。1026、1027、1029～1033は三叉文や入組文を描く安行3 a 式から3 b 式であろう。1034は北関東系の天神原式に類似する。

63～67は壺である。63～65は長頸の壺で、63は玉抱三叉文が施文され、頸部に刺突列が施される。64は口縁部に背割凹線を有する縦瘤が付き、口縁部と頸部に帯縄文が施文される。安行3 a 式から3 b 式であろう。65は口縁部が短く外反する長頸壺で、口縁と肩部に縄文が施文される。安行3 b 式から3 c 式であろう。66は安行3 c 式の広口壺、67は頸部に隆帯が巡る無文の長胴壺である。晩期中葉以降か。

1035～1167は安行3 c 式である。

1077は平口縁の深鉢である。紡錘形のモチーフを2段に描いて、接点に蛇行沈線文を垂下させ、上を平行沈線、下を連続凹線文で区画する。後期入組文系土器の流れを汲む土器だが、地文縄文のない点、モチーフに崩れがみられる点などからこの時期とした。

1035～1045、1048～1050は肥厚する口縁部が内湾する紐線文系の土器で、1046、1047、1051、1052は口縁部が開く器形である。口縁部を沈線で区画し、胴部に斜線文と弧線文を組み合わせたモチーフが描かれる。1058～1068も同様な土器群で、沈線文のみで区画やモチーフが描かれる。1053～1057は口縁部に楕円文や長方形区画文が描かれる姥山Ⅲ式系土器である。

1069～1133の内、1069～1076、1080、1082、1084、1085、1093、1099、1101、1128は波状

口縁で、1078、1086は内湾口縁である。他は平口縁である。1072、1075、1094、1097、1099、1100、1104、1107～1119、1124、1126は沈線と刺突文が併施文されるものである。波状口縁では波頂部に弧線文を沿わせて区画するものや波頂部から区画線が垂下する文様構成や、波頂部に紡錘文や菱形文を施文するものがある。平口縁では弧線文と三叉文の組み合わせが多い。また、口縁部が緩く外反する深鉢では、沈線で区画された口縁部に、刺突文を施文するものが目立つ。

1128、1129、1133は口縁部が内湾気味に開く鉢で、1128は波状部に入組文、1133は底部に渦巻文が施文される。1130は壺の胴部と思われるが、玉抱三叉文が施文されており、安行3 a 式であろうか。

1131、1132、1134～1141は安行3 d 式である。1131、1132、1134は波状口縁深鉢で、波頂部を中心に文様を展開し、1131は入組文、1134は入組三叉文、1132は対向三叉文を描く。

1135～1137は平口縁の深鉢である。1135、1137は列点文を挟み並行沈線で区画し、対向三叉文を重疊する構成をとる。1139は壺の可能性がある。1140、1141は台付鉢で、1140は体部、1141は屈曲を有する脚台部である。

1142～1162は安行式に伴う異系統土器である。1142～1144は東北系の第VI群第3類の新地式で、1143の壺は赤彩されている。

68、1145～1157は大洞系の土器で、68、1145～1147、1149は大洞B C 式、1148、1150～1156は大洞C 1 式、1157は第IX群第2類の大洞A 式であろう。

1158は西日本系の滋賀里式、1159～1162は東関東系の前浦式である。

69～80、1163～1248は安行式の粗製土器である条線土器である。1163～1186は口唇部への加飾がない条線土器である。胴部が括れ、口縁部が開く器形の土器は後期中葉の曾谷式から安行

1式の条線文土器で、口縁部が内湾するものは安行2式から安行3a式であろう。また、条線文が細かく縦位方向に近いものは安行1式、上半部で横位弧状に施文されるものは安行2式以降、粗い条線文は安行3a式以降となる。器形の変化と施文の変化の対応は、紐線文土器と同様である。

69、74、1187～1207は口縁部への連続刻みを施文するもので、70～72、1210～1248は口縁部を沈線区画し、連続刻みを施すものである。大半は安行1式であるが、内湾する器形のものも新しくなる。

73、75～80、1279～1524は紐線文土器である。73、1279～1435は口縁部に押圧隆帯を巡らすもので、口縁部が開く器形、内湾する器形、口縁部を沈線で区画しないもの、区画するもの、条線文の細かいもの、粗いもので区分される。

75、76、1329～1365は平行沈線文が施文されるもので、沈線間の地文条線文を磨消すものと、しないものがある。また、地文に条線文が施文されないものもある。文様間の条線文を残すものは安行2式から安行3a式に多く、磨消すものは晩期の安行3a式以降であろう。また、地文の条線文が消失するものは安行3a式後半以降であろう。

77、1366～1398は弧線文が描かれるもの、1399～1409は並行沈線間や対弧文内に蛇行沈線を施文するもの、1410～1420は斜線文や直線文と弧線文が組み合わさるモチーフが描かれるもの、1421～1435は隆帯文が文様帯内に貫入してくるものであり、それぞれ地文条線や口縁部区画線との組み合わせがある。

1436～1490は口縁部に押圧隆帯を巡らす代わりに、口縁部の沈線区画と連続刻みを施すものである。地文条線文の有無がある。1249～1278は条線文土器と紐線文土器との中間的な様相を有する。

78～80、1491～1524は地文から条線文が消失し、磨消縄文のモチーフが描かれるものである。安行3a式から3b式が多いが、刺突文を併施文

するものは安行3c式であろう。

83～89、1525～1654は安行式土器の粗製土器である無文土器である。第Ⅷ群から第Ⅸ群の無文土器であるが、第Ⅸ群の晩期中葉の土器群が主体を占めている。

1525～1554は折返状口縁の段帯部を有する土器で、1538～1542、1546は口縁部に指頭圧痕が残されている。口縁部が内湾するものが主体であるが、1550～1552のように立ち気味に開く器形や、1549のように口縁部が外反する器形もある。口唇部は薄く成形されており、輪積成形痕を残すものもある。1555～1563は折返部分が厚く、口唇部が肥厚するものであり、紐線文土器との中間的な形態である。

89、1564～1585は口唇部が肥厚する紐線文土器に系譜する土器で、口縁部が削り出される形態のものが多い。器面にナデ整形が施されており、輪積成形痕を残すものは少ない。

83～86、88、1586～1593、1612～1615、1639、1641は口縁部が内湾気味に開くか、立ち上がる器形で、丁寧なナデ整形が施されるものが多い。83、84は器高の低い鉢状の深鉢と思われる。

1594～1611、1640は口縁部が内湾するもので、1594、1595、1598～1600、1603、1605、1606、1610は口唇部が内側に肥厚する。

1618、1621、1622、1627、1629、1630、1631は頸部で緩く括れ、口縁部全体が内湾する器形である。1621、1622は口唇上に押圧状の刻みが施される。

1619、1620、1623、1626、1632、1633は頸部から胴部が括れて胴部が膨れ、口縁部が開く器形である。1619、1620、1626は頸部の括れが強いもので、1619は鉢になる可能性がある。1620は口唇部に部分的に擴み状の刻みが施される。

1624、1625は頸部の屈曲が強いもので、壺の口縁部と思われる。1625の口唇部に沈線が巡らされる。

1616、1617、1634～1638、1642～1654は鉢形土器である。1634、1636～1638、1648～1650、1652は頸部で括れ、口縁部が外折状に開く鉢である。1637は胴部が膨れる小型壺状となろうか。1642～1646は大形の鉢で、1642、1644の口唇部には2個対の突起が付き、1645、1646には扁平な突起が付いて小波状を呈する。1616、1617、1647、1651、1653は内湾する口縁部が開く鉢で、1635、1654は口縁部が内湾する鉢である。

1676～1696は製塩土器である。良く被熱しており、暗橙褐色を呈し、器壁が薄い深鉢である。小型の鉢状のものもある。

90～100、1655～1675は、各時期、各器種の底部である。1655～1657、1662～1665、1667、1668、1670～1675は網代などの編み物圧痕、1658は編み物圧痕と木葉痕、1659～1661、1669は木葉痕が残る。

弥生土器 (第862図1697、1698)

第862図1697、1698は弥生時代中期の土器である。1697は南東北系の鉢で、カナムグラと思われる植物の茎を回転させた擬縄文を施文している。1698は筒形の深鉢形土器である。

土製品類 (第863図1699～第874図1941)

第863図1703～1712はミニチュア土器である。1703は注口土器で、口縁部と注口部の先端を欠損している。安行2式期の注口土器をやや簡略に表現している。外面は研磨により光沢を有するが、内面は輪積痕を残す。

1704は鉢の口縁部である。内湾口縁で、外面に平行沈線+刻目文の区画を2段に巡らせて刻みを有する縦瘤を配し、胴部には弧線文を巡らせる。表裏に赤彩を施している。後期末葉であろう。

1705は台付き土器の脚台部、1710は脚の接合部である。1075は円錐形のプロポーシオンで、裾部が断面肥厚して外側に突出し、半裁竹管状工具の平行沈線文を多段に巡らせている。晩期であろう。

1706～1709、1711は手捏ね土器である。ほぼ

無文で、表裏に成形時の指頭痕を残している。いずれも後期から晩期の遺物であろう。1706～1709は浅鉢である。1707は平底で、底面がわずかに上げ底状となっている。1711は瓢形の深鉢ないし壺である。丸底で、胴下半部に最大径を有し、胴部中段で括れて、口縁は内湾する。1712はミニチュア土器ないし手捏ね土器の底部である。

1701は手觸形土器である。容器部分の胴下半部から底面にかけて残存する。平面形は円形で、底部の周辺が張り出し、四方に逆「U」字状の突起を配する。晩期前葉であろう。

1702は土製の蓋である。4分の1ほどが残存する。後期から晩期の遺物であろう。

1713は土製勾玉で、上下両端を欠損する。中央側面に貫通孔を有する。

1714は土製腕輪であろう。無文で、断面は内面が扁平な楕円形である。後期から晩期の遺物であろう。

1699は性格不明の土製品である。胴部断面蒲鉾状で片面が扁平になっている。中央に空洞が存在するが、全体を貫通しているかどうかは不明である。一端に四肢を思わせる突起を配し、貫通孔を挟んで一対存在していたものと考えられる。動物形土製品の一つと考えられる。

1700は土版である。平面形は四隅の張り出す隅丸長方形であったものとみられ、右下隅が残存する。表裏に集合沈線文を描き、表面のみ沈線間に刺突を施している。また、側縁部にも沈線を巡らせている。晩期前葉から中葉の遺物であろう。

土製円盤は1715～1848の134点出土した。口縁部破片を素材にしたものは隅丸長方形に近いものが多く、円形のものは胴部破片を素材にしているものが多い。

耳飾りは78点出土した。白形が4点、環状形が62点、台形が12点である。

1849～1852は白形である。

1853～1859は環状無文で断面長方形ないし丸

棒状のタイプである。

1860～1872は環状無文で断面三角形のタイプである。1873～1879は環状有文で断面三角形のタイプである。

1880～1882は環状無文で断面弧状のタイプである。1883～1890は環状有文で断面弧状のタイプである。

1891～1900は環状無文で断面鉤形のタイプである。1901～1914は環状有文で断面鉤形のタイプである。1910～1914貼付文の耳飾りである。

1915、1916は台形無文で上面に透かしのないタイプである。1917は台形有文で透かしのないタイプである。1918～1926は台形で透かし文様を有するタイプである。

1919～1923は三叉文、三角陰刻文、入組文等を基調とした肉彫り文様を描き、鋭利な工具を用いた刺突文や刻目文を施文する。1924、1926は天板中央に橋梁状の透かしを有するもので、環状タイプに後付けしたものと思われる。1924は環状部の上面四方と橋梁部の中央に貼付文を配して三叉文で連繫する。1926は透かしに沿って沈線を巡らせ、橋梁部との接点に巴文を配する。

土偶は、第873図1927～第874図1941の15点が出土した。

1927～1930はいずれもみみずく土偶の頭部である。1927は結髪である。沈線内に赤彩痕跡が残る。後期末葉から晩期前葉の遺物であろう。

1928は結髪を欠く頭部で、赤彩の痕跡を残している。刻みを伴う円形貼付文で眼、口、耳を表現する。鼻は一对の刺突を伴う楕円形の貼付文で表現しており、額部に存在する。後頭部には両端わらび手状となる横位の沈線を描き、両耳背面の「C」字文と入り組んでいる。晩期前葉の土偶であろう。

1929は右顔面である。顔面は断面三角形の隆帯で縁取り、放射状の短沈線が巡る。頬に結節沈線による「U」字状モチーフを配している。顔面

の周囲を扁平な突起で囲み、放射状の沈線を描く。安行2式に伴うものか。1930は左耳の周辺で、刻目隆帯の顔面区画を残す。後期末葉から晩期前葉の土偶であろう。

1931は中空みみずく土偶の左腕である。内面に輪積痕を残し、手先のみ中実で貫通孔を穿つ。晩期前葉の土偶である。1932はみみずく土偶の右腕から肩部で、後期末葉から晩期前葉の土偶であろう。1933は系統不明の土偶の左腕から胸部で、手先を欠失する。ボタン状の突起で乳房を表現している。晩期前葉の土偶であろう。1934は系統不明の土偶の右腕である。後期から晩期の土偶であろう。1935は遮光器系土偶の左腕であろうか。晩期前葉の土偶であろう。

1936は系統不明の土偶で、上半身と左脚を欠損する。胸部は板状の造りで、腹部に入組文を描いて、上半身側に縄文を施文する。腰に眼鏡状隆帯を巡らせ、脚の付け根に沈線を巡らせたパンツ状の表現を有する。膝に刺突を伴う隆帯を巡らせ、大腿部に縄文を施文する。晩期前葉の土偶であろう。

1937はみみずく土偶の下半身である。腰が左右に大きく張り出し、脚は下方に伸びて、爪先が突出する。表裏とも全面に横位の集合沈線を施文する。腹部中央に貼り付けた2本の隆帯が左右に分離して足先に伸び、平行沈線で足指を表現する。後期末葉の土偶であろう。

1938は中空みみずく土偶の左脚である。晩期前葉の土偶であろう。1939はみみずく土偶の左脚である。断面三角形で腰が外側に張り出し、緩やかな内反りのカーブを描く。晩期前葉の土偶であろう。1940は土版状の土偶の右脚から腰部であろう。晩期の土偶であろう。1941は系統不明の土偶の左脚である。後期から晩期の土偶であると思われる。

石器 (第875図1942～第886図2103)

第875図1942は黒曜石製の尖頭器で、旧石器時代の所産である。平面形は木葉形を呈し、断面形

が凸レンズ状を呈する。正面のみに加工が施されており、裏面には主要剥離面が残る。

1943は局部磨製石鏃で、正面と裏面ともに長軸方向の擦痕が確認できる。1944～1950は有茎の石鏃で、1944～1947が完成品である。1948は基部の先端を僅かに欠き、1949が正面左側の逆刺と基部を、1950が上半部と基部を欠く。

1951は石錐のⅠ類で、錐部を欠く。1952～1954は摘まみ部と錐部の境が不明瞭なため、Ⅱ類に分類した。

1955～1960がサイドスクレイパーで、1959と1960は両側面に刃部を有する。1961～1964はエンドスクレイパーである。中でも1961の刃部には擦痕が認められる。また、正面の両側面と裏面左側面にも擦痕を観察することができる。

1979は打製石斧Ⅰ類で、正面左下半から刃部にかけて欠損している。1980、1981は打製石斧Ⅱ類で、1980が両刃、1981が片刃である。1980は刃部と裏面の一部に擦痕が確認できる。1982と1983は打製石斧の完成品、1984～1991が打製石斧の各種破片である。

1992は礫器Ⅲ類である。

1993、1994は磨製石斧Ⅰ類であるが、1994は小型の磨製石斧の可能性が。1995～1997は磨製石斧の各種破片である。1996、1997は小型の磨製石斧であろうか。

1998は環状石斧の破片で、刃部には刃こぼれが認められる。中央の貫通孔は正面及び裏面から穿孔されている。

1999～2005は敲石Ⅰ類で、いずれも下半部を欠く。素材に利用した礫はおそらく長楕円形の礫であろう。2006と2007は敲石Ⅱ類である。2008は打製石斧の刃部片を再利用した敲石である。

2009と2010が凹石Ⅰ類、2011が凹石Ⅲ類で、いずれも正面と裏面の両面に凹痕を有する。

2012～2028は磨石Ⅰ類、2029～2048が磨石Ⅱ類である。このうち、2012は裏面全面に、2015

と2036が裏面の一部に、2024が右側面の一部に赤色顔料が認められる。

2049～2054は石皿Ⅱ類で、いずれも正面または裏面の一方に凹痕を有する。2055～2060は石皿Ⅲ類である。

2061と2062は砥石Ⅰ類で、貝輪や骨角器を製作する際に使用した砥石であろうか。2063～2065は砥石Ⅱ類、2066～2072が砥石Ⅲ類である。

2073、2074は石錘Ⅰ類、2075が石錘Ⅱ類である。2076は凹痕を有する軽石類である。2077は上部に貫通孔を有することから、軽石類の浮子と判断した。2078～2085は擦痕を有する軽石類である。

2086～2090が石棒の破片で、2086と2087は大型石棒の破片であろう。2091は石剣の頭部から基部にかけての破片である。2092、2093は石剣の基部片で、両側面だけでなく、正面裏面の中央にも稜が走る。2094～2098は石棒類の各種破片で、2095、2096が頭部から基部にかけての、2094、2097、2098が基部片である。2095は頭部の正面及び裏面に線刻を有する。人間の眼を模したと思われる印刻文を正面裏面の両面に配し、その上下を平行沈線+刻目文で区画している。

2099、2100は独鈷石の破片である。2099は成形する際の痕跡と思われる剥離を正面と裏面の両面に確認できる。

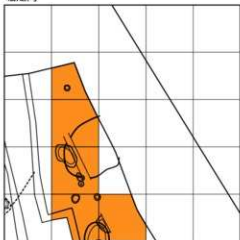
2101～2103は垂飾である。2101は長楕円形を呈し、両側面から貫通孔を穿つ。2102が白形を呈し、2103が不整形円形を呈する。ともに正面裏面の両面から穿孔されている。

その他、1965～1978が二次加工剥片である。

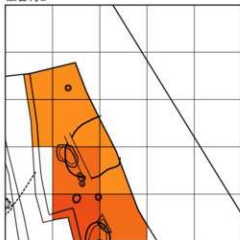
骨製品 (第886図2104)

骨角器は1点出土した。第886図2104は垂飾である。大きく湾曲していることから、鹿角の分岐部を利用していると考えられ、その一端に穿孔がされている。上部では湾曲の内側、下部では外側、そして下部部に口唇状の文様を浮き彫らせている。湾曲の外側は、縦位方向の溝を有する。

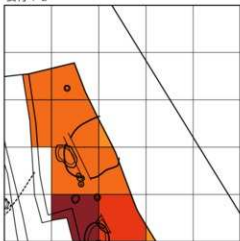
堀之内



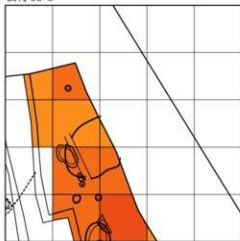
加曾利B



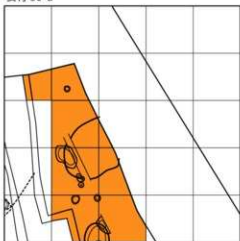
安行 1・2



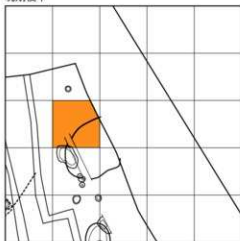
安行 3a・b



安行 3c・d

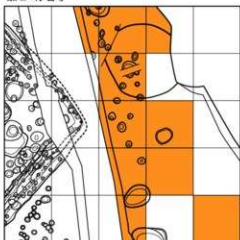


晩期後半

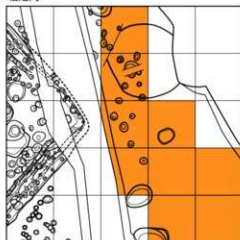


第804図 B区 1-8グリッド時期別濃淡図

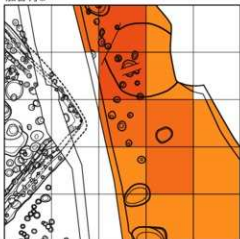
加E・称名寺



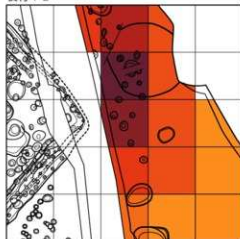
堀之内



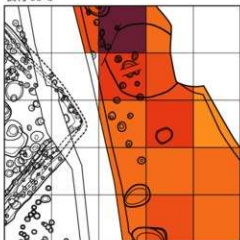
加曾利B



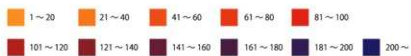
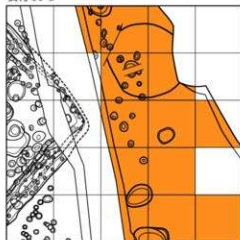
安行 1・2



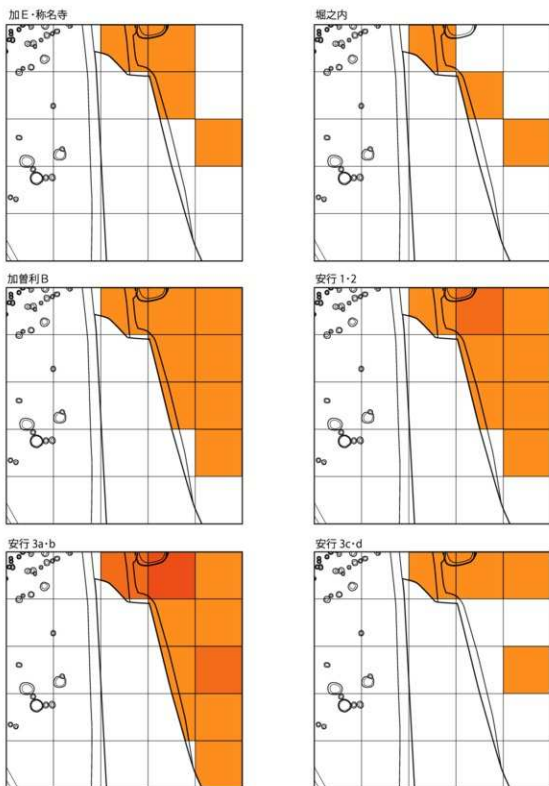
安行 3a・b



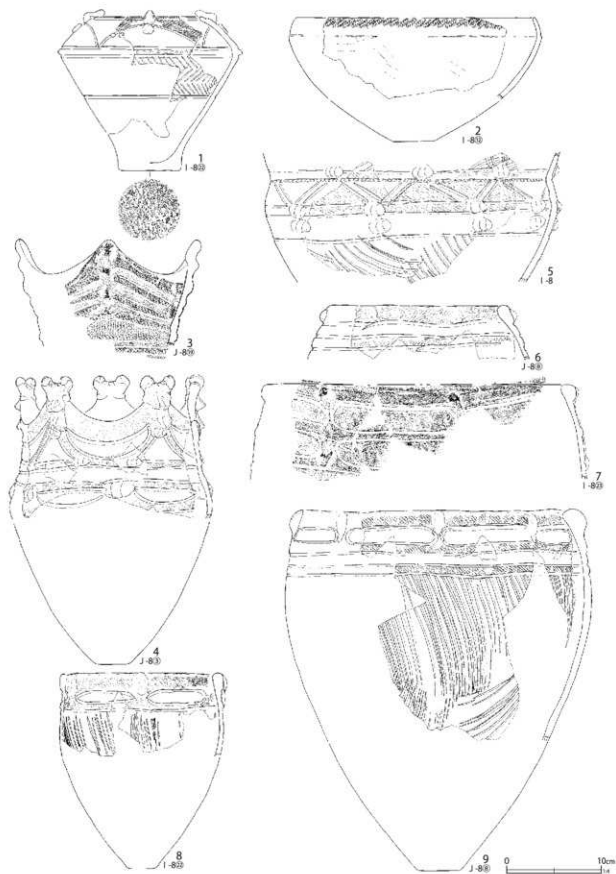
安行 3c・d



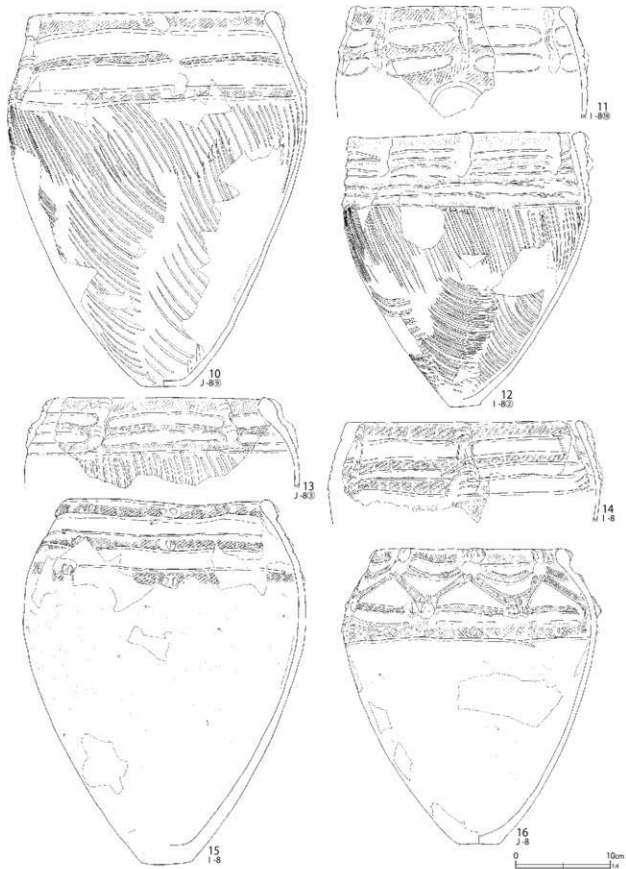
第805図 B区 J-8グリッド時期別濃淡図



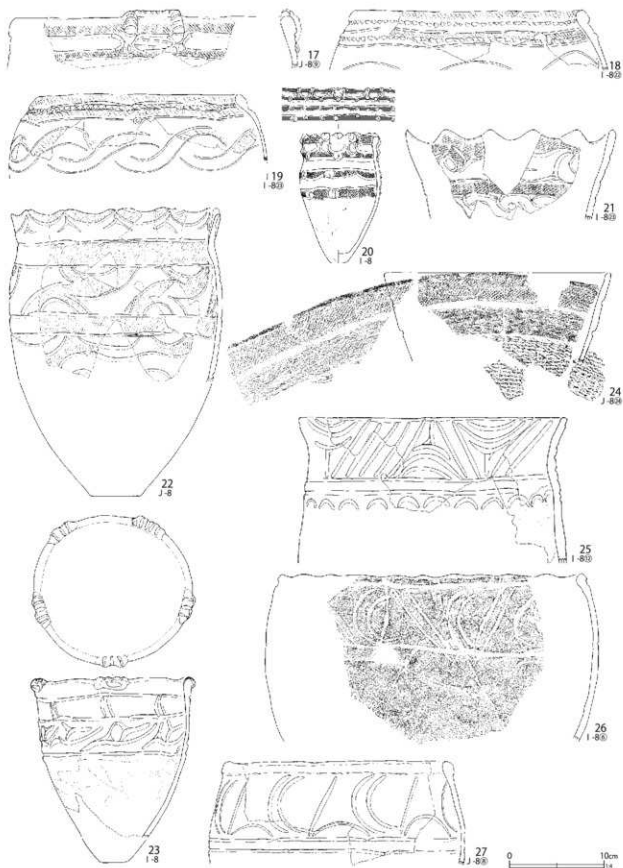
第806図 B区 K-8グリッド時期別濃度図



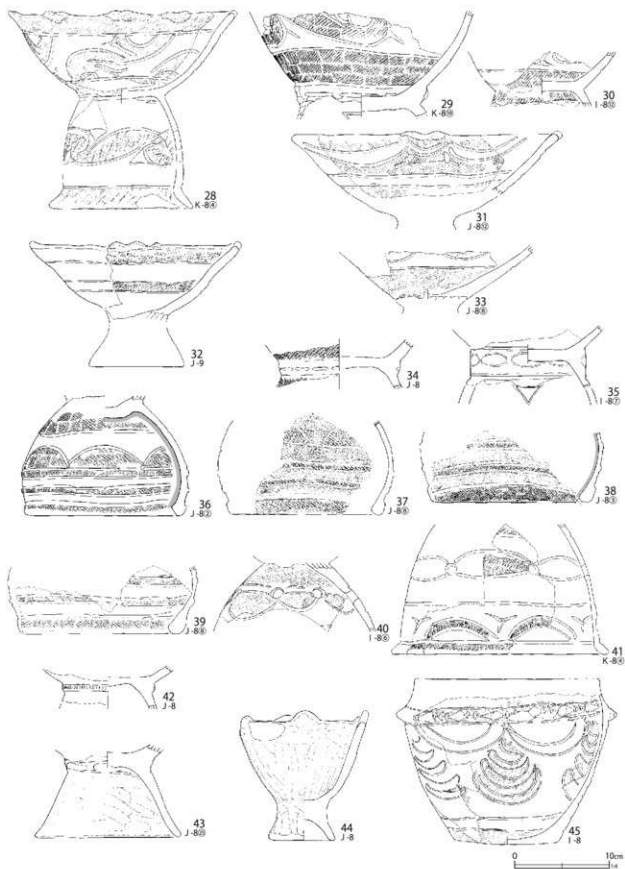
第 807 图 B区出土遗物 (1)



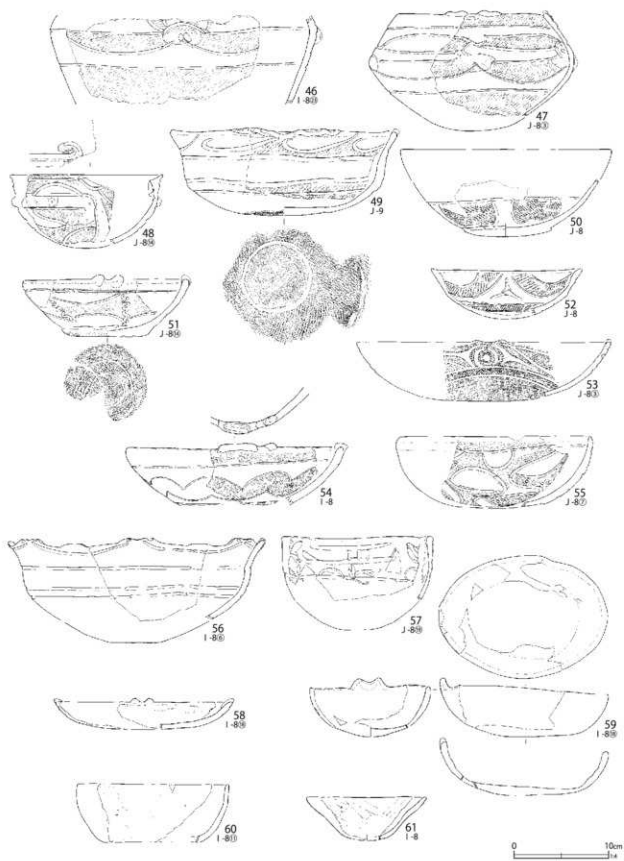
第808图 B区出土遗物(2)



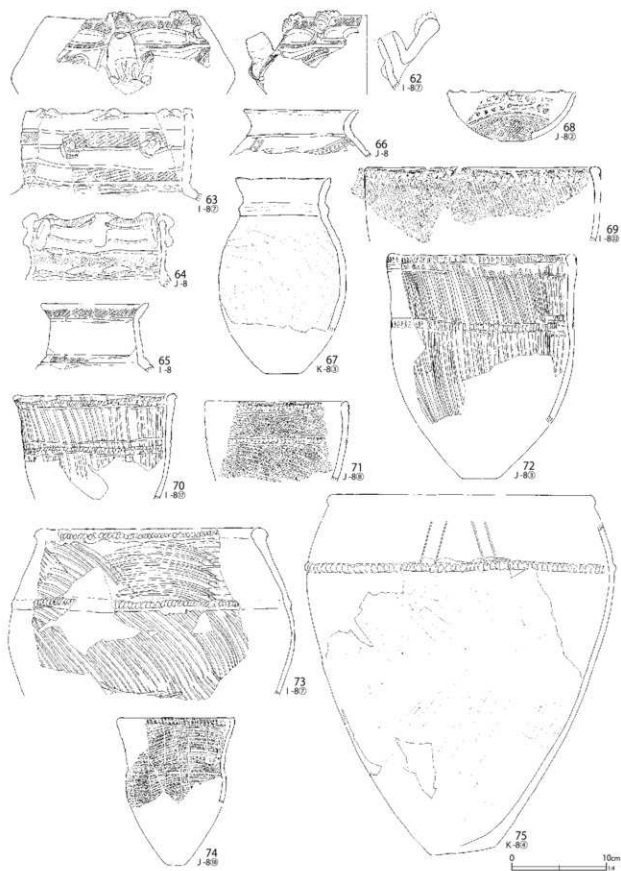
第 809 图 B 区出土遗物 (3)



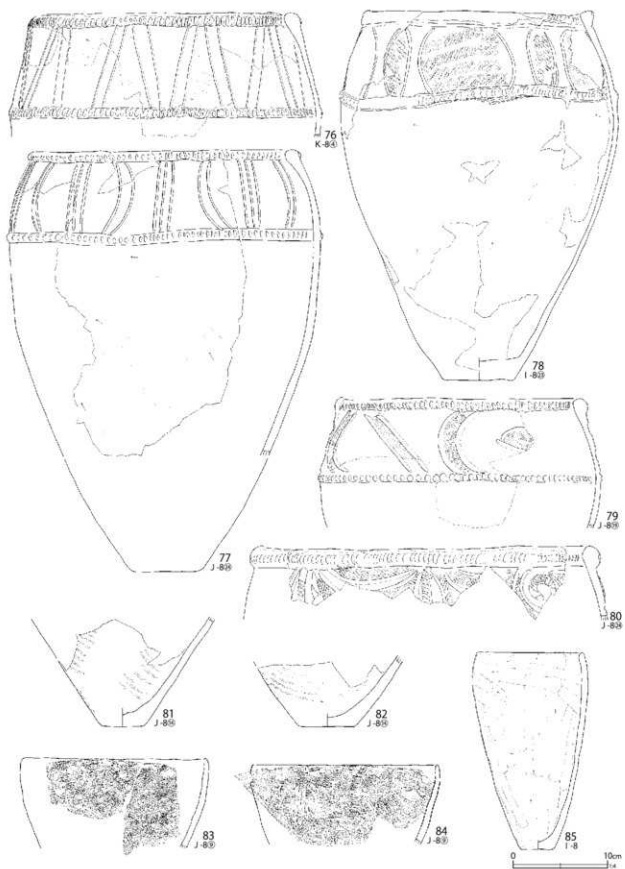
第810图 B区出土遗物(4)



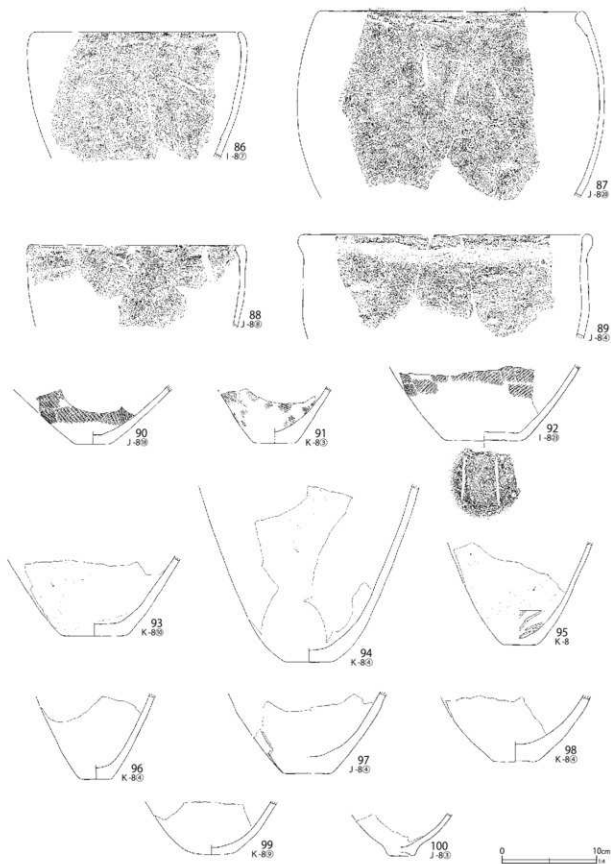
第 811 图 B区出土遗物 (5)



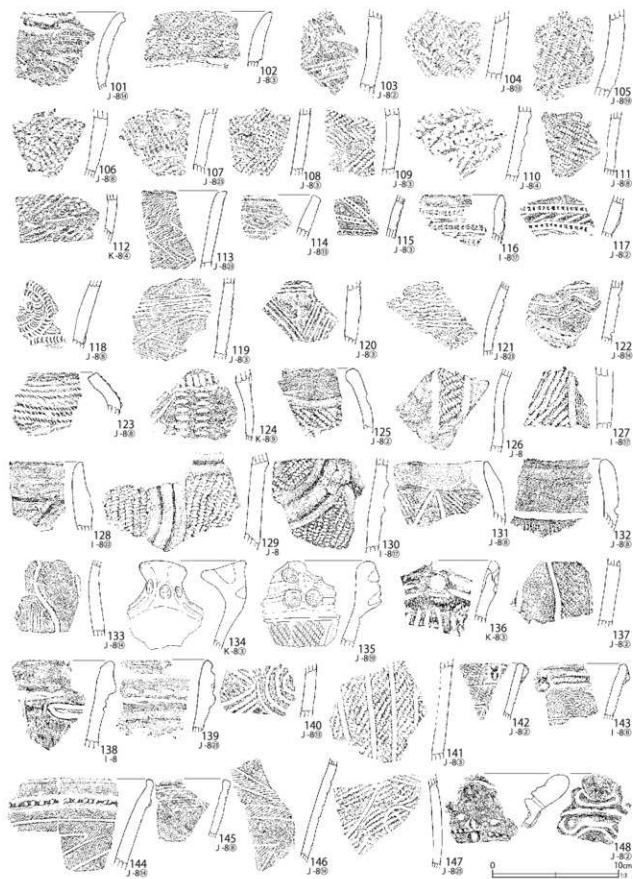
第812图 B区出土遗物(6)



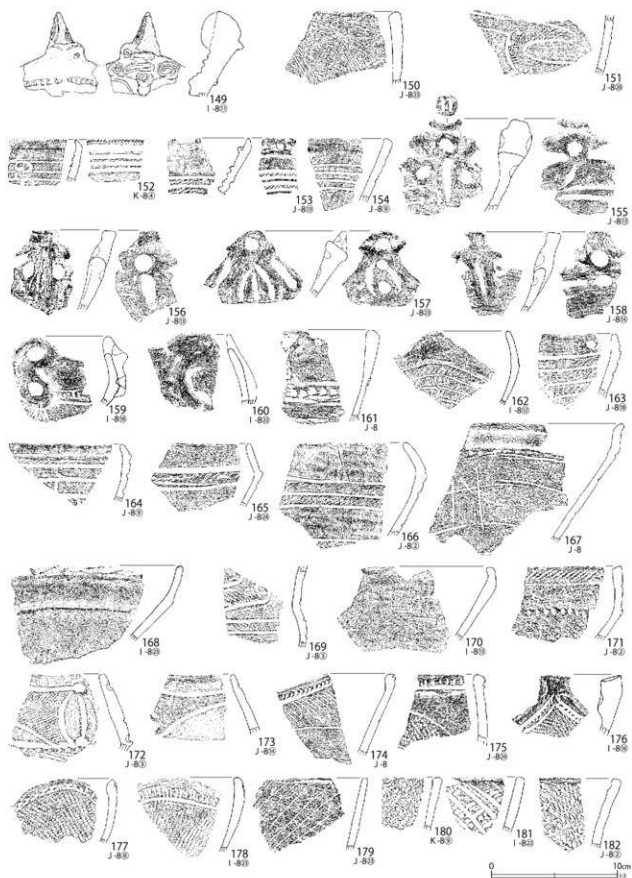
第 813 图 B区出土遗物 (7)



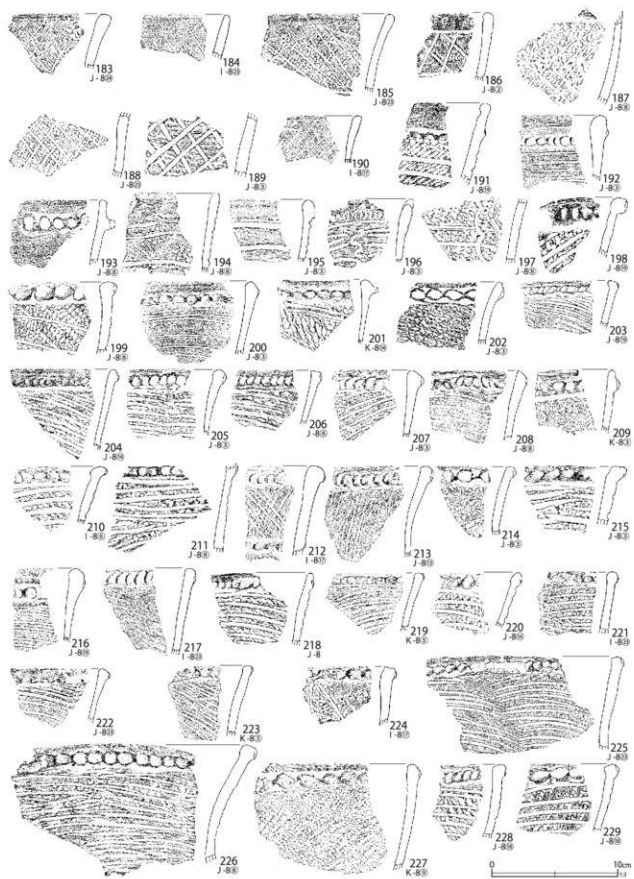
第814图 B区出土遗物(8)



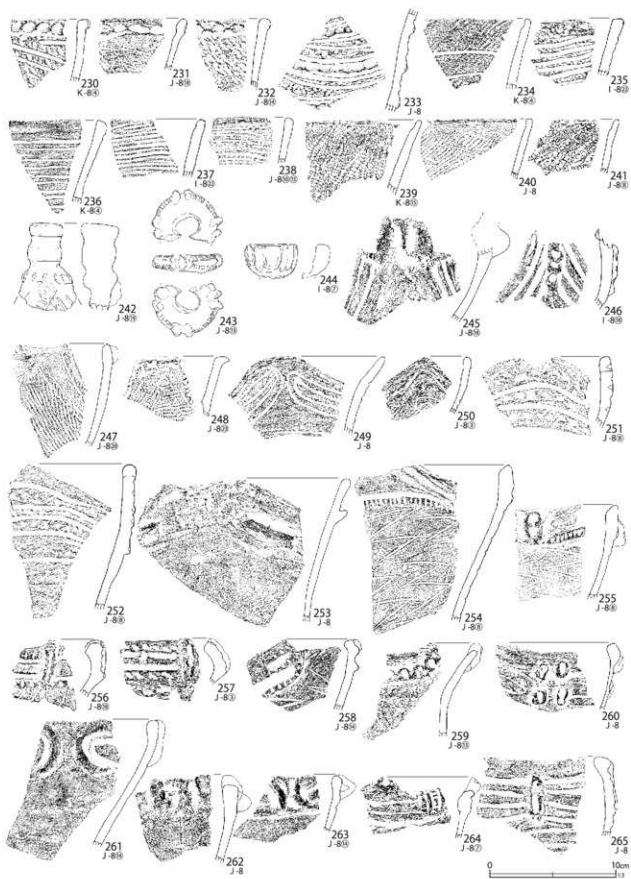
第 815 图 B区出土遗物 (9)



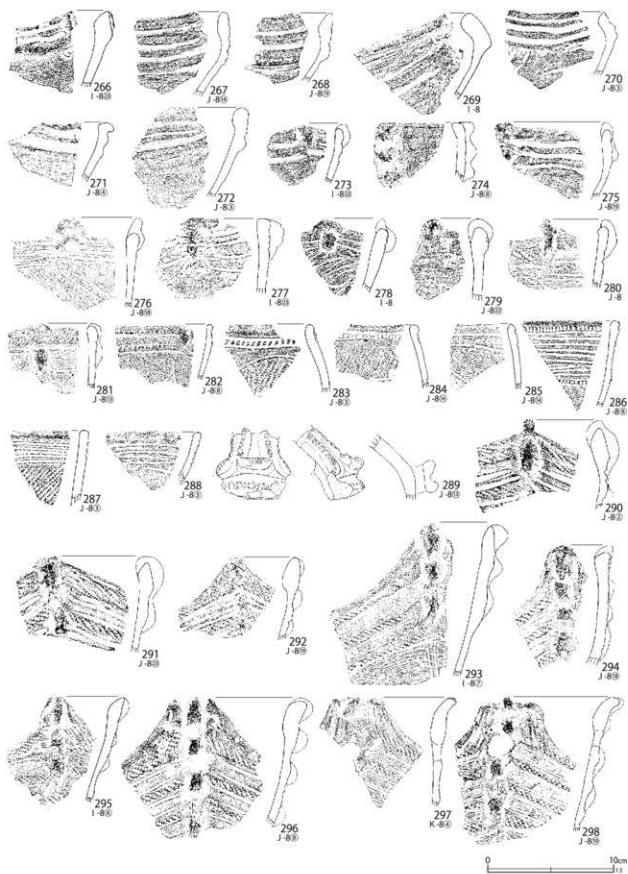
第816图 B区出土遗物(10)



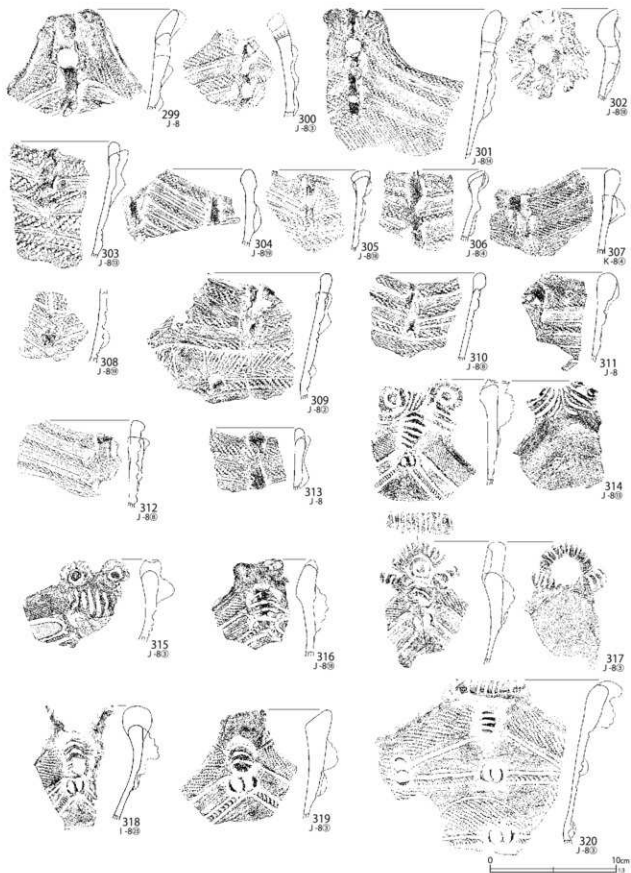
第 817 图 B区出土遗物 (11)



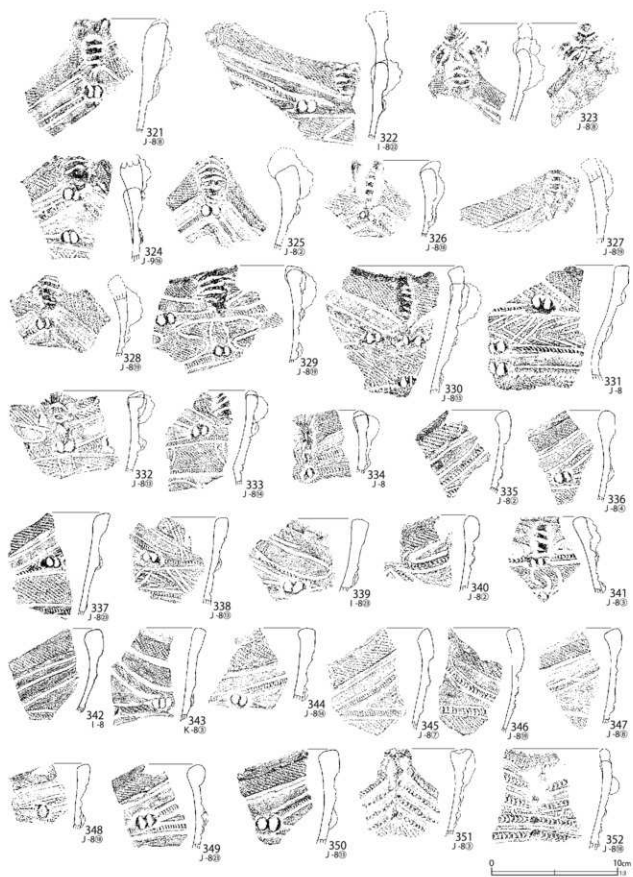
第818图 B区出土文物(12)



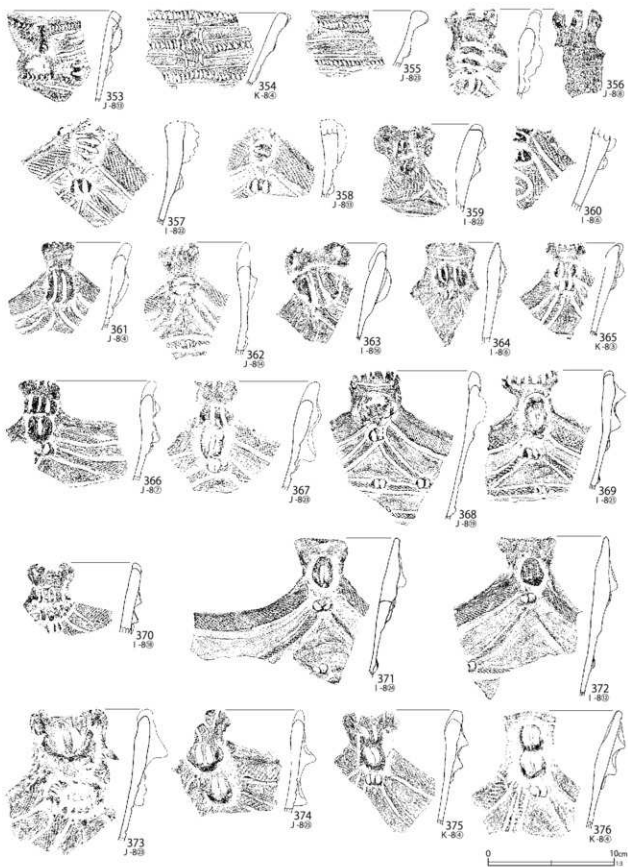
第 819 图 B 区出土遗物 (13)



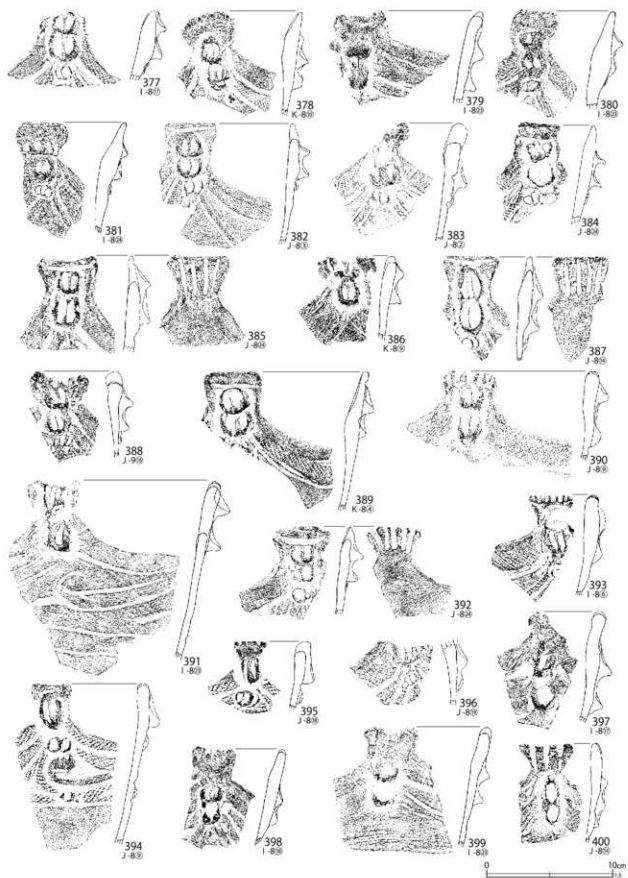
第 820 图 B 区出土遗物 (14)



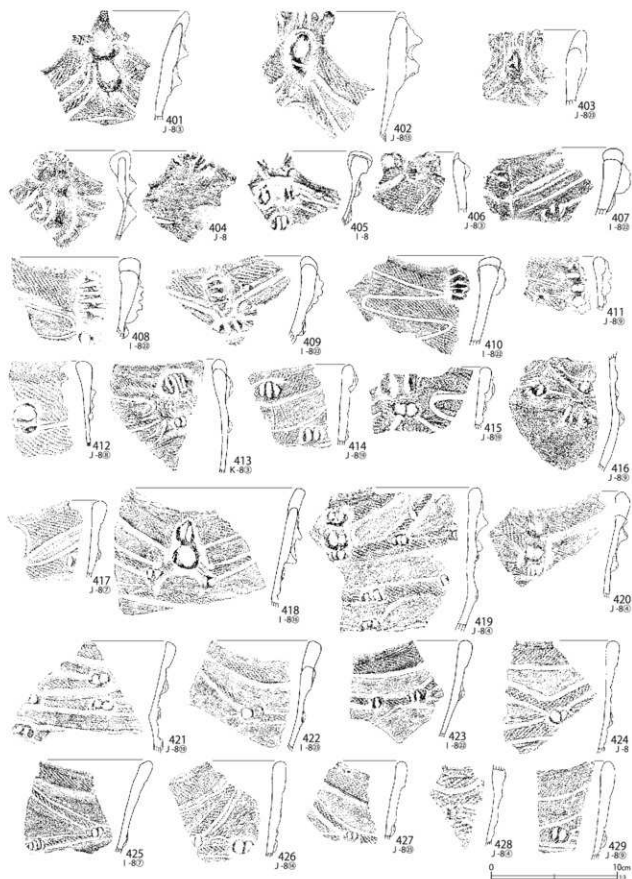
第 821 图 B 区出土遗物 (15)



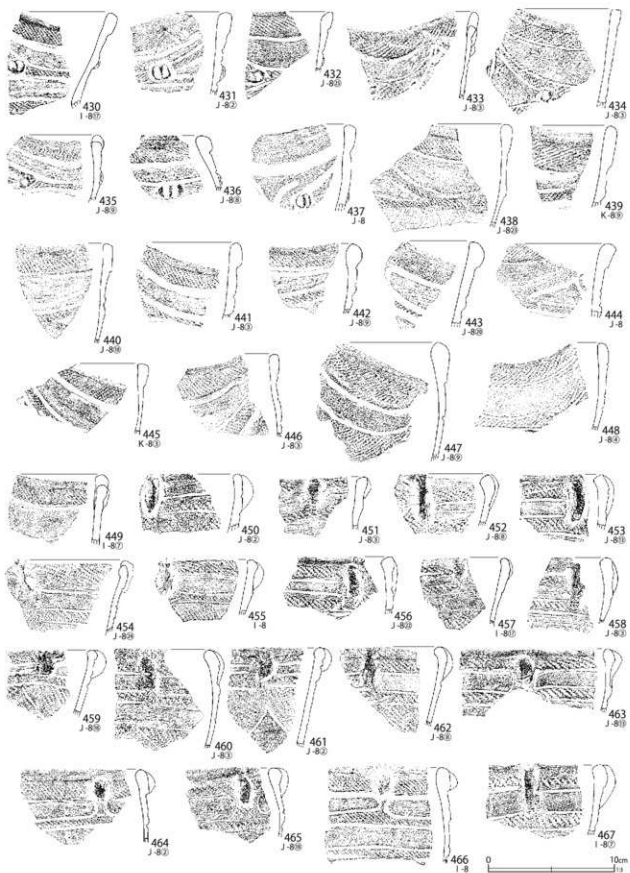
第 822 图 B 区出土遗物 (16)



第 823 图 B 区出土遗物 (17)



第 824 图 B 区出土遗物 (18)



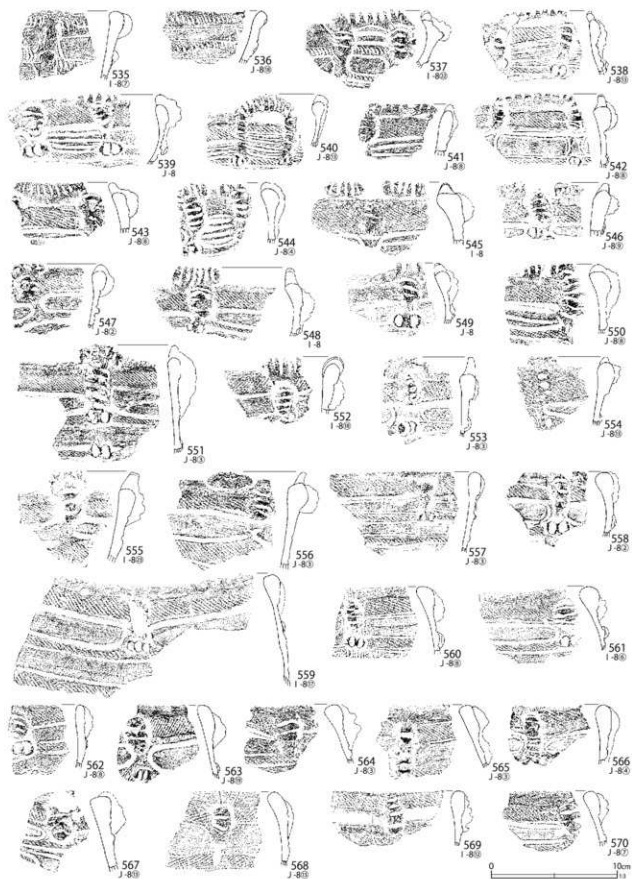
第 825 图 B区出土遗物 (19)



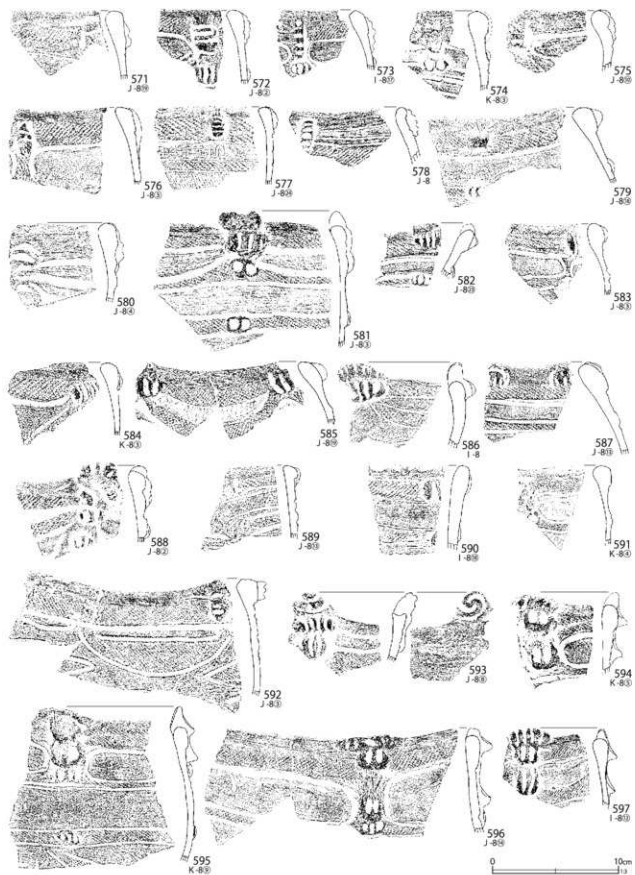
第 826 图 B 区出土物 (20)



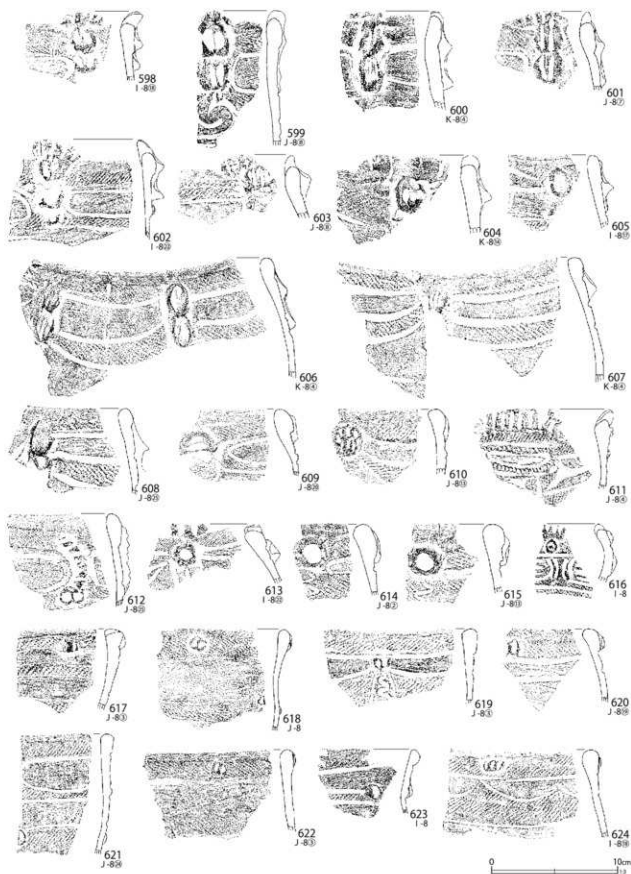
第 827 图 B 区出土遗物 (21)



第 828 图 B 区出土遗物 (22)



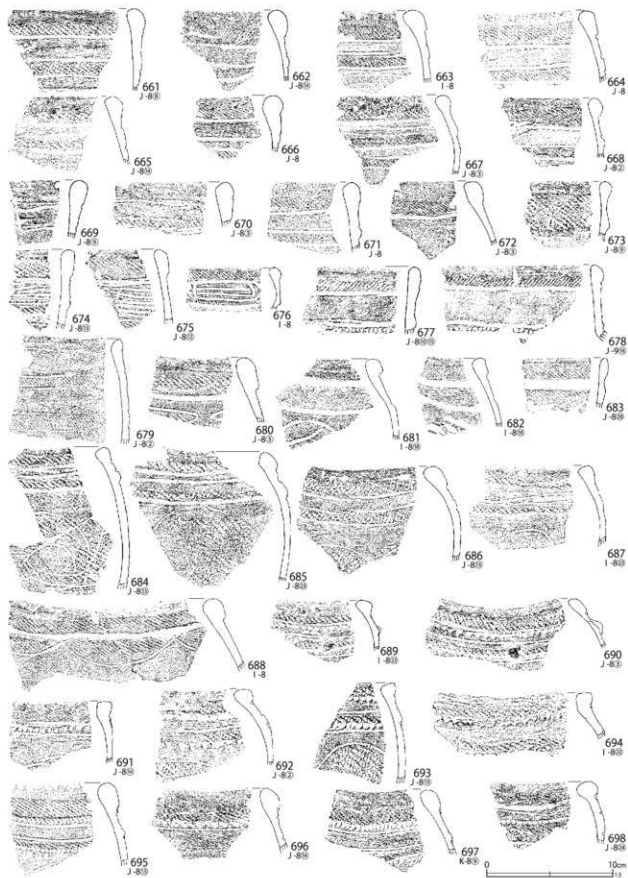
第 829 图 B区出土遗物 (23)



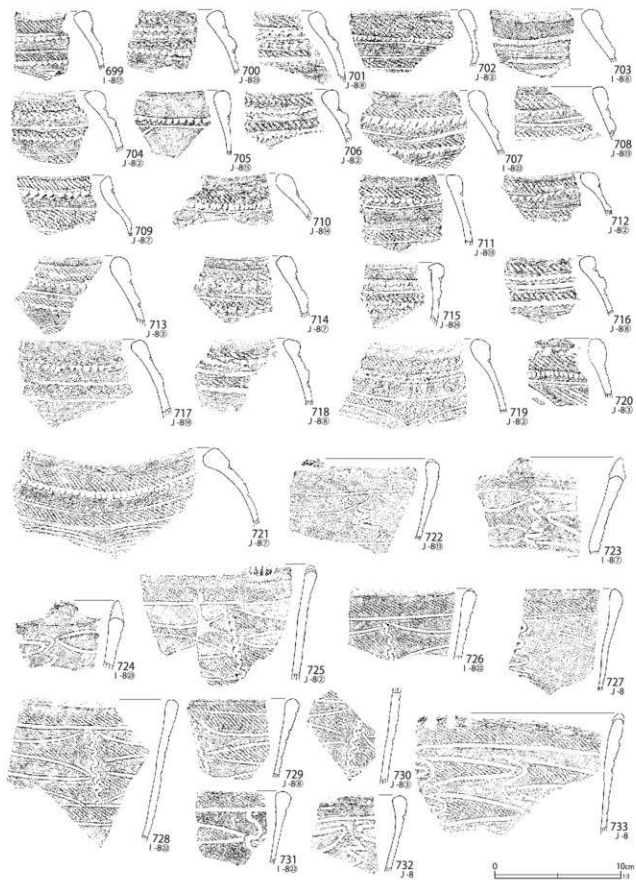
第 830 图 B 区出土遗物 (24)



第 831 图 B区出土遗物 (25)



第 832 图 B 区出土遗物 (26)



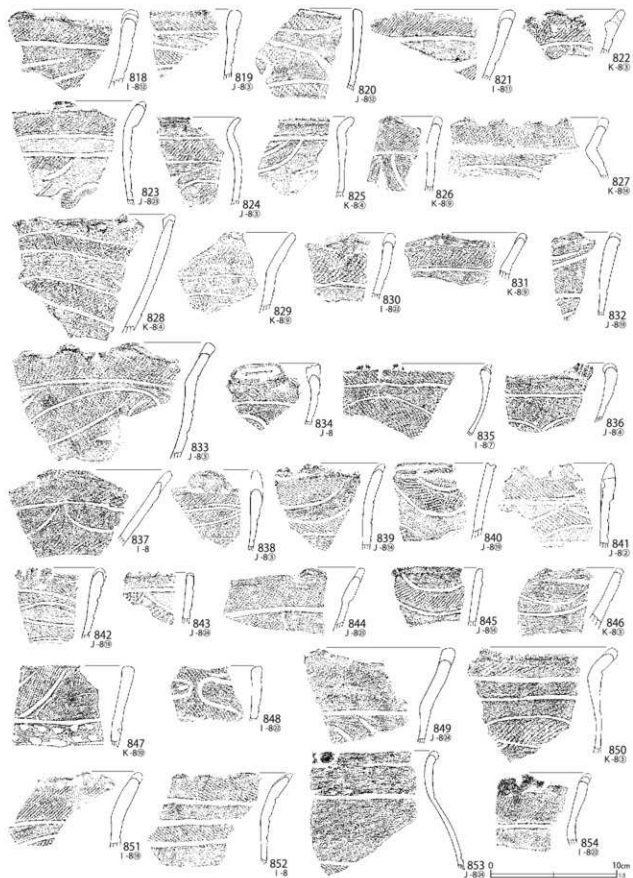
第 833 图 B区出土遗物 (27)



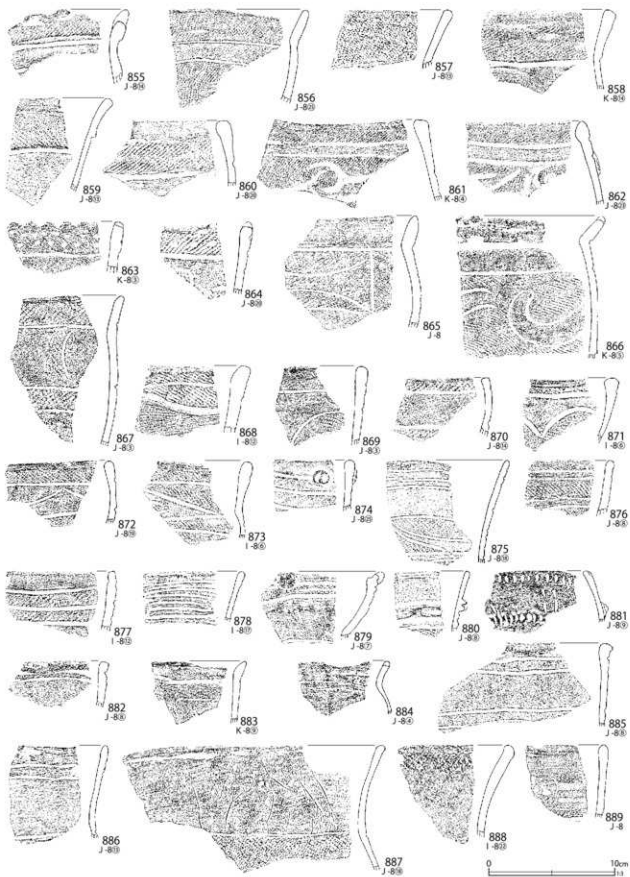
第 834 图 B 区出土文物 (28)



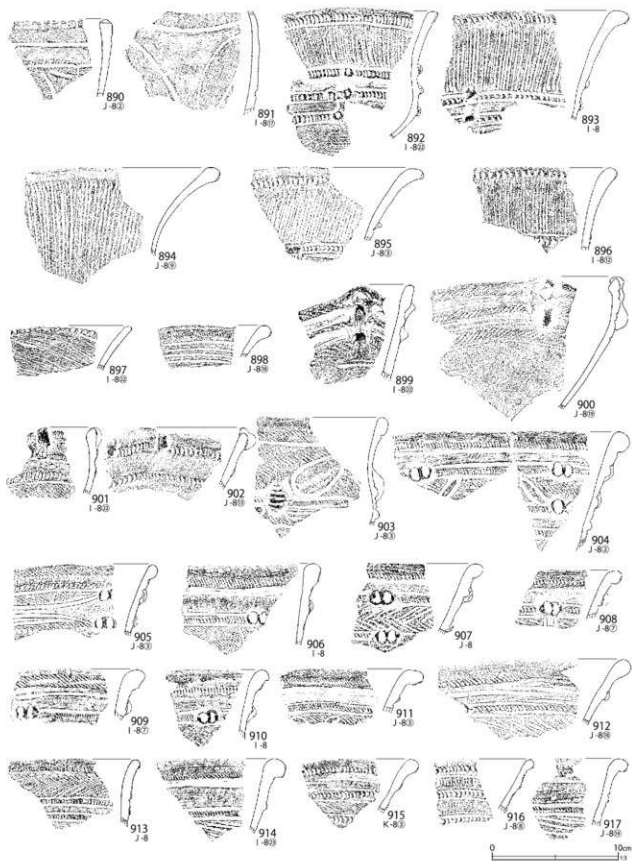
第 835 图 B 区出土遗物 (29)



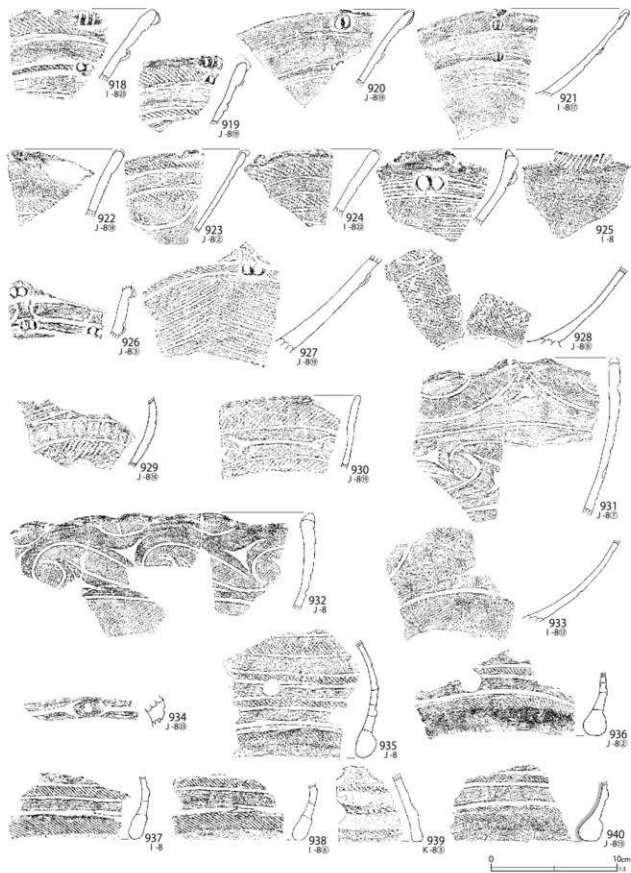
第836图 B区出土遗物(30)



第 837 图 B 区出土遗物 (31)



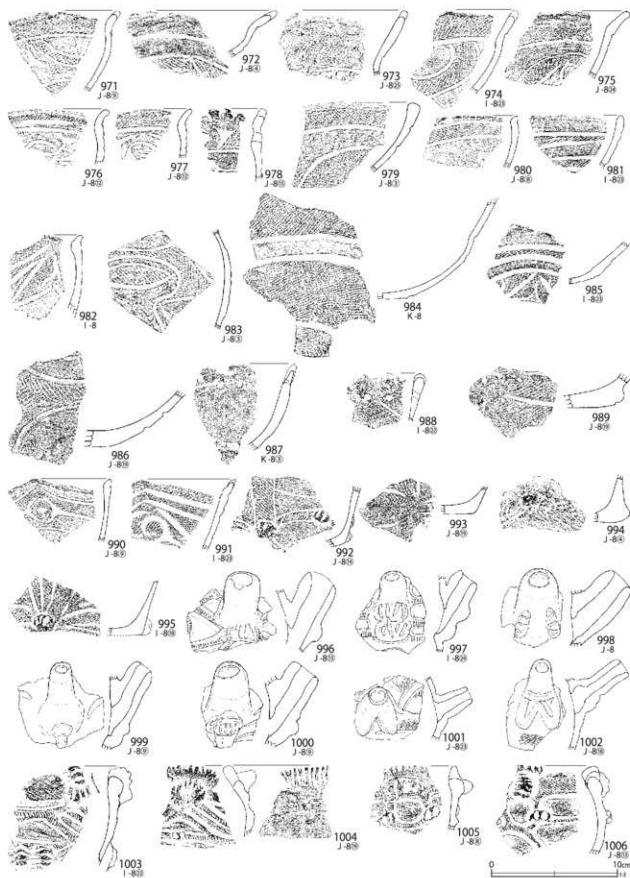
第 838 图 B 区出土遗物 (32)



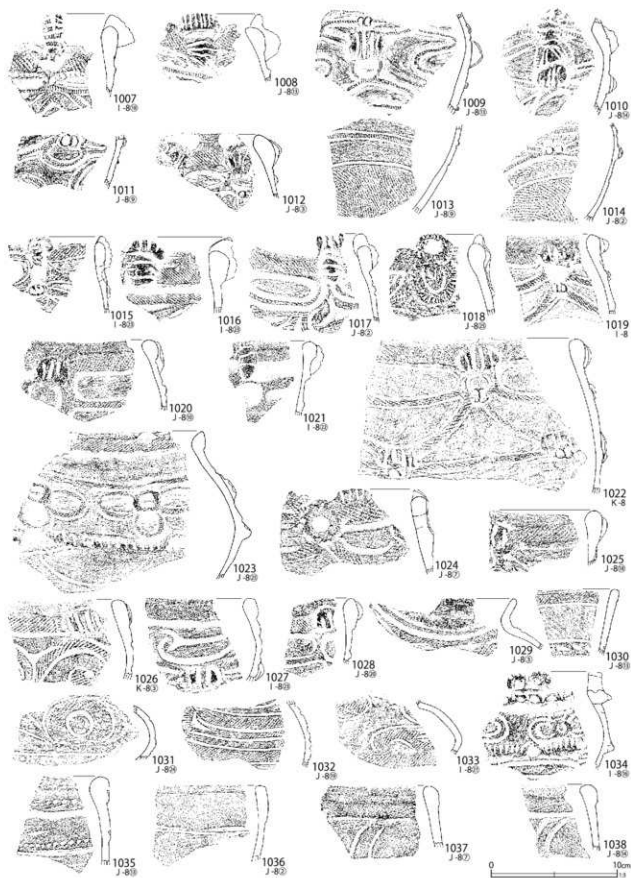
第 839 图 B区出土遗物 (33)



第840图 B区出土文物(34)



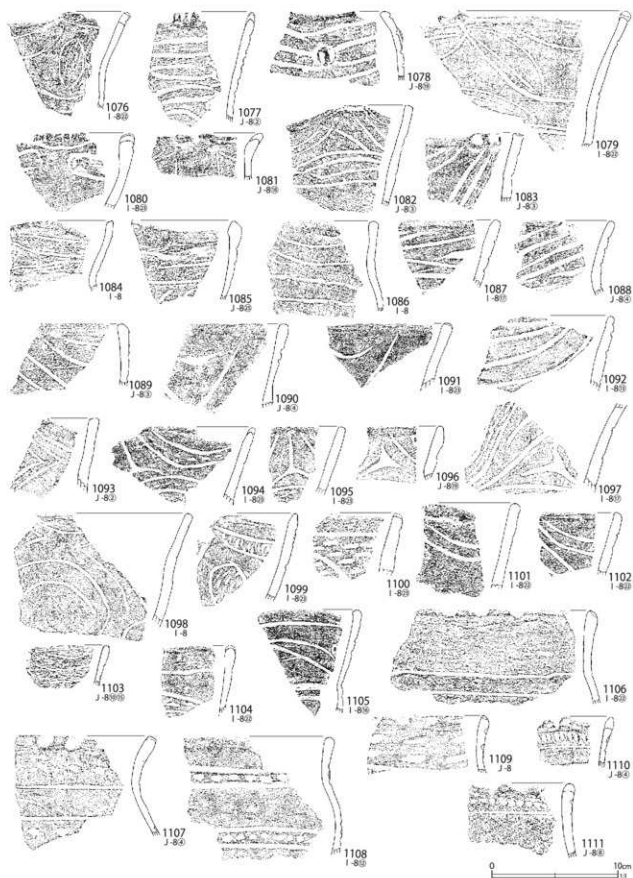
第 841 图 B 区出土遗物 (35)



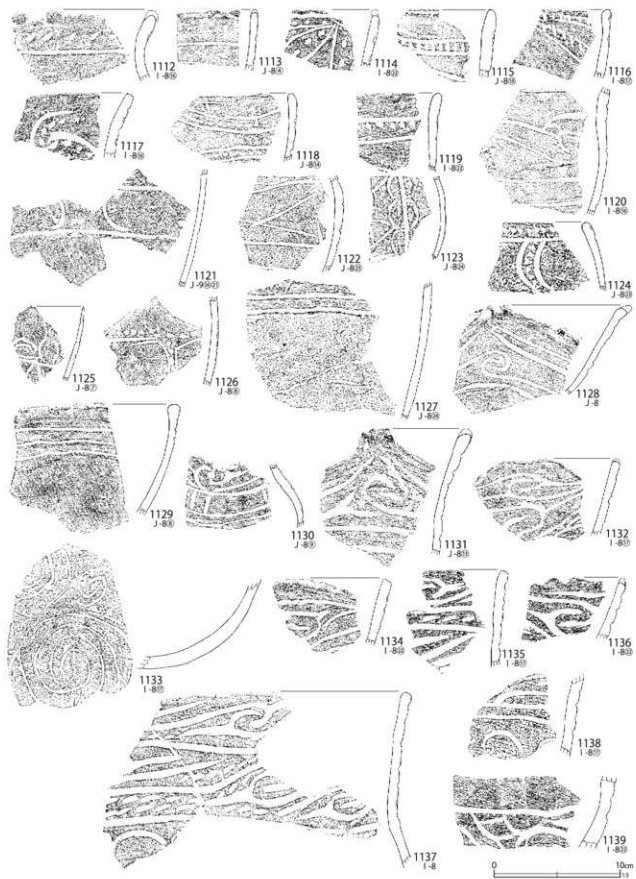
第842图 B区出土文物(36)



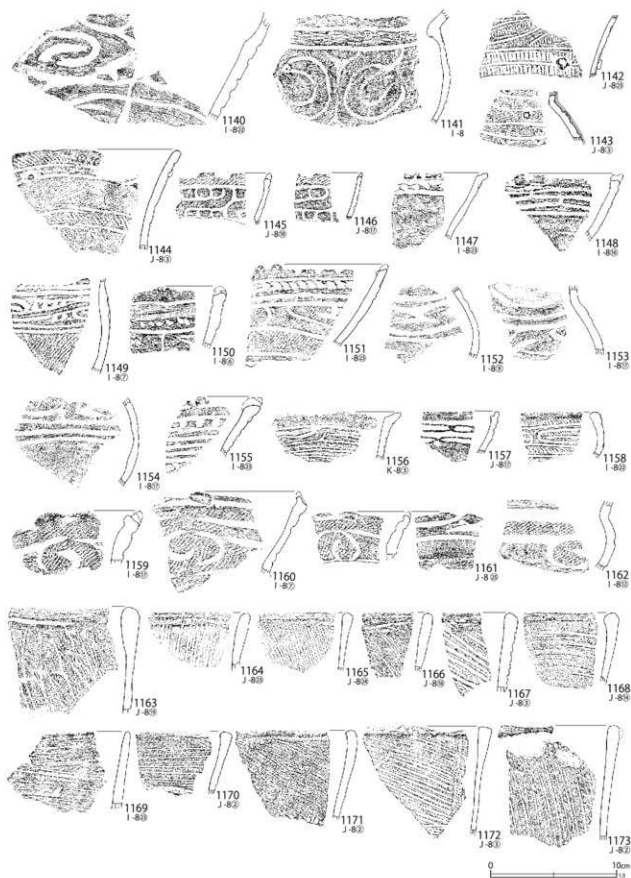
第 843 图 B 区出土遗物 (37)



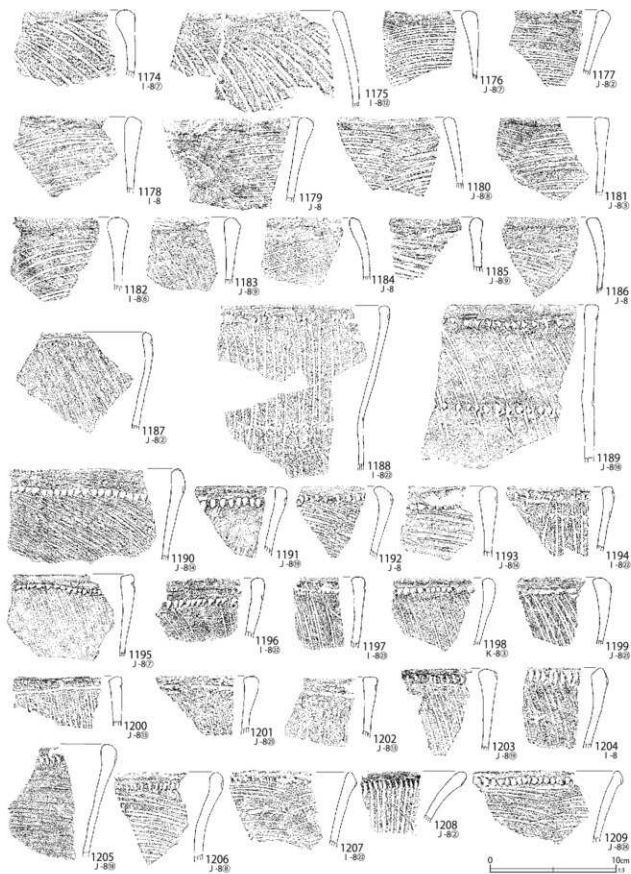
第844图 B区出土遗物(38)



第 845 图 B区出土遗物 (39)



第846图 B区出土文物(40)



第 847 图 B区出土器物 (41)



第848图 B区出土文物(42)



第 849 图 B区出土遗物 (43)



第850图 B区出土遗物(44)



第 851 图 B区出土遗物 (45)



第 852 图 B 区出土遗物 (46)



第 853 图 B区出土遗物 (47)



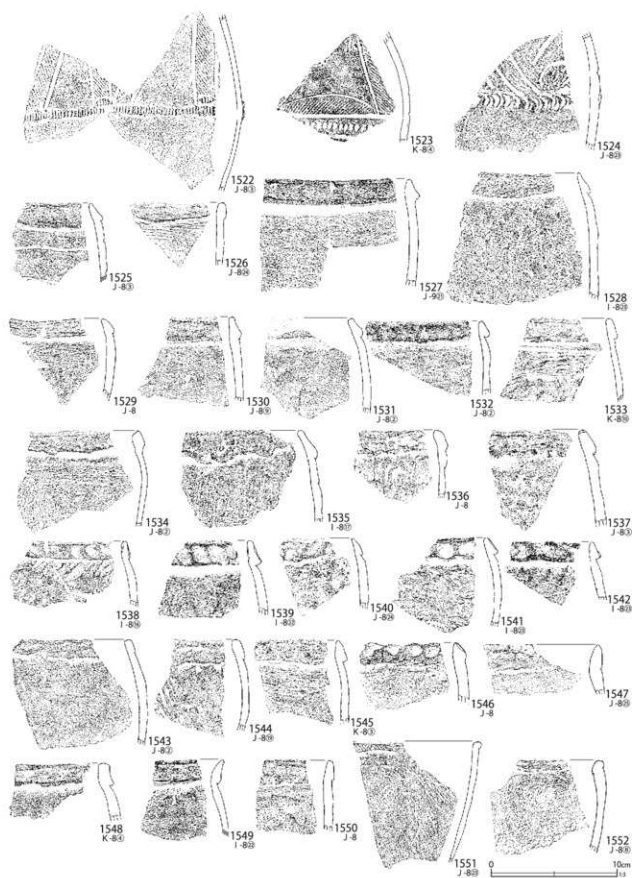
第 854 图 B 区出土文物 (48)



第 855 图 B 区出土遗物 (49)



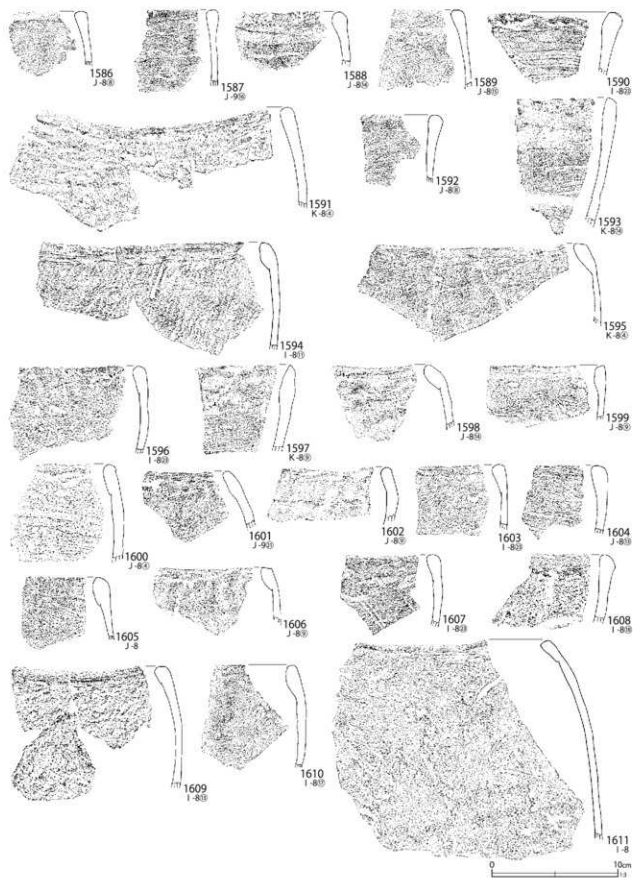
第856图 B区出土物(50)



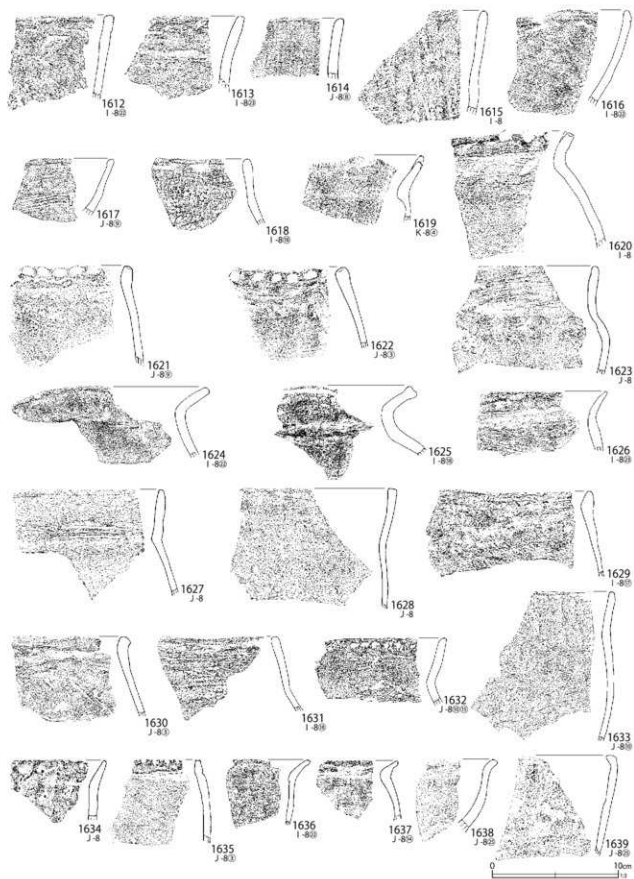
第 857 图 B 区出土遗物 (51)



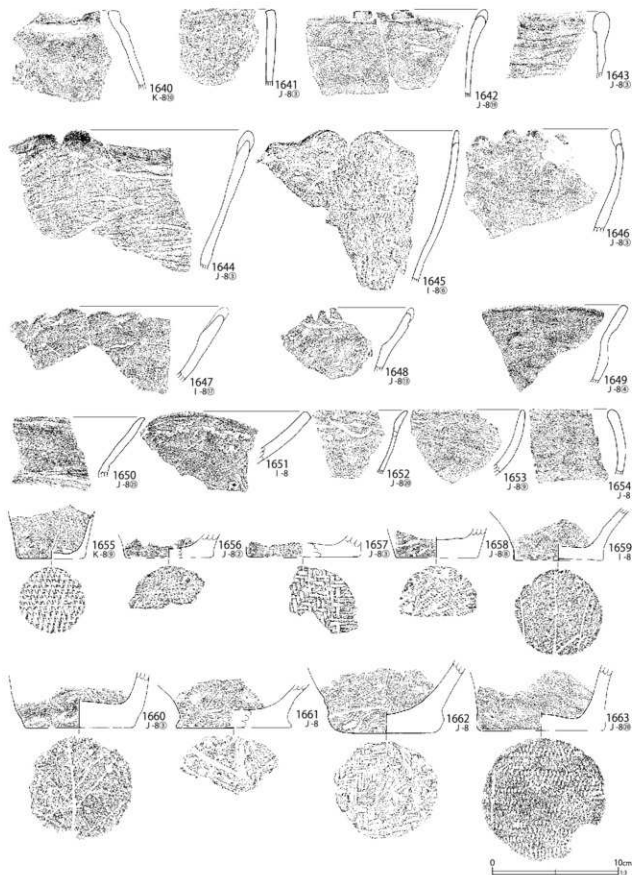
第 858 图 B 区出土遗物 (52)



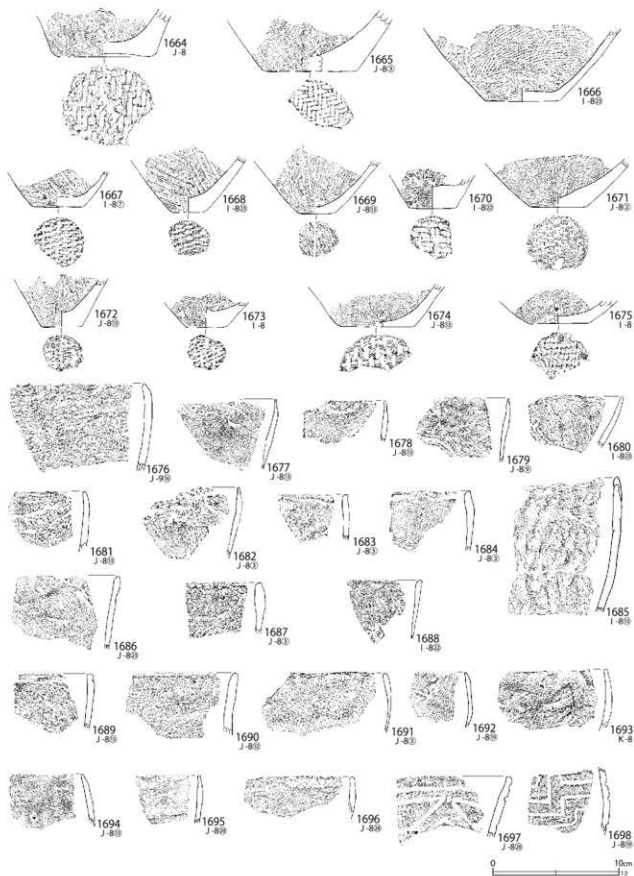
第 859 图 B区出土遗物 (53)



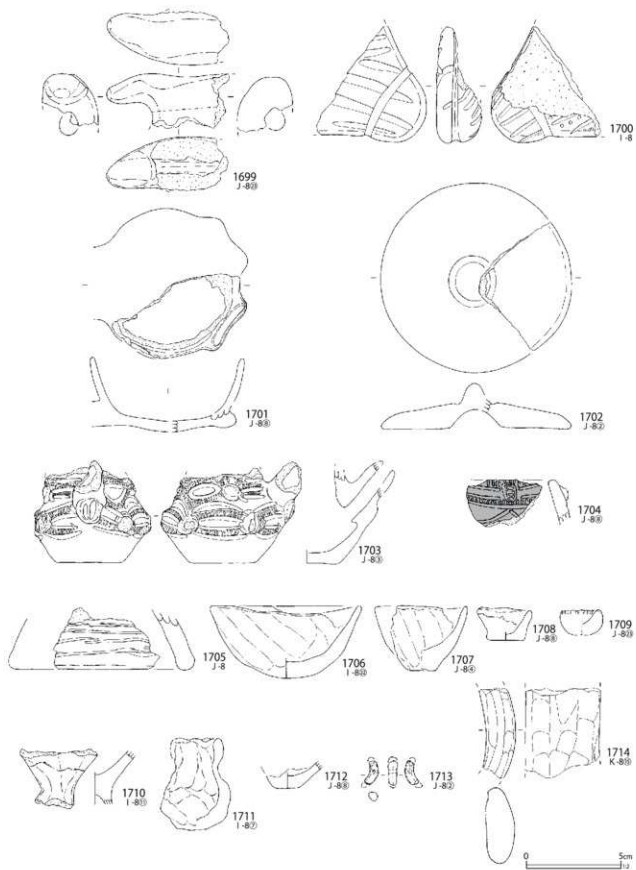
第 860 图 B 区出土遗物 (54)



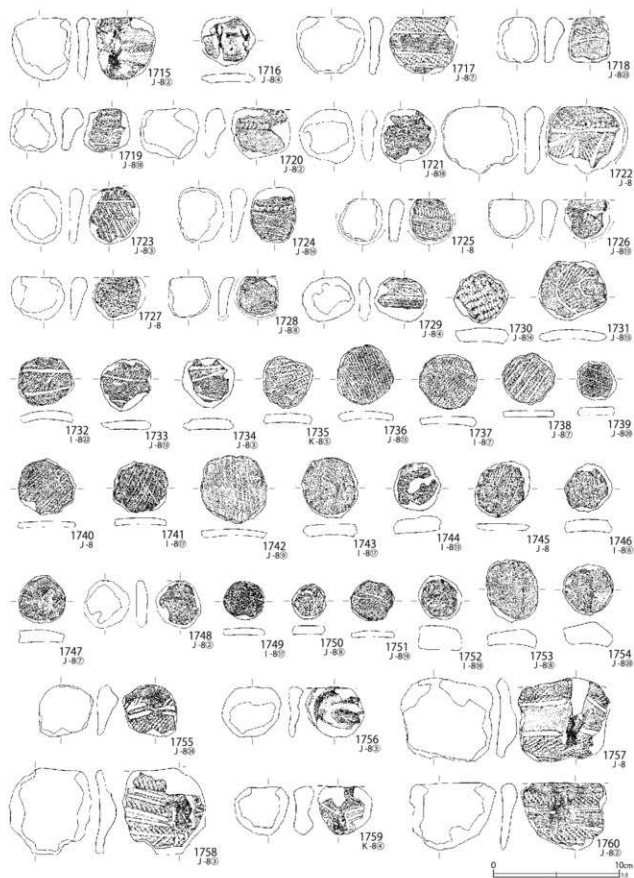
第 861 图 B区出土遗物 (55)



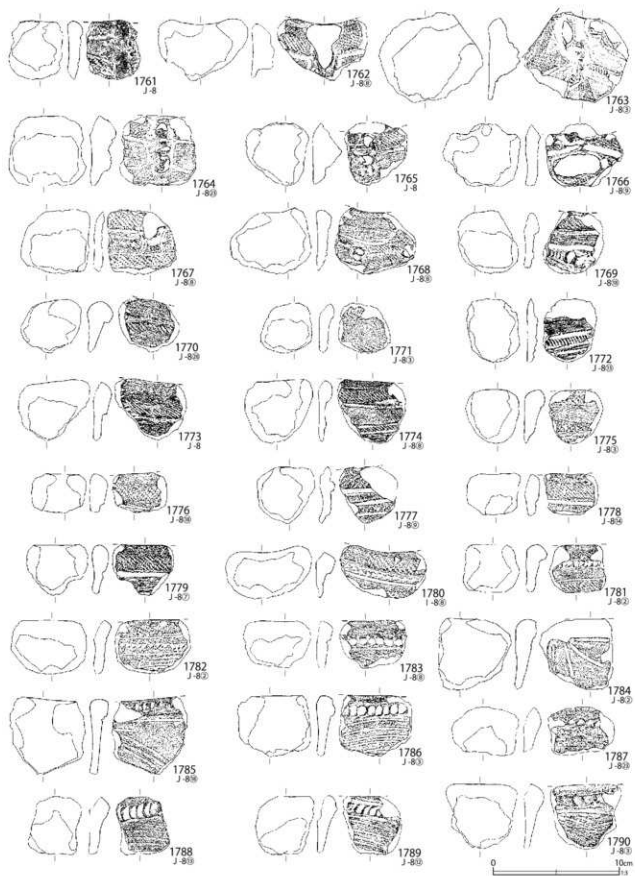
第 862 图 B 区出土遗物 (56)



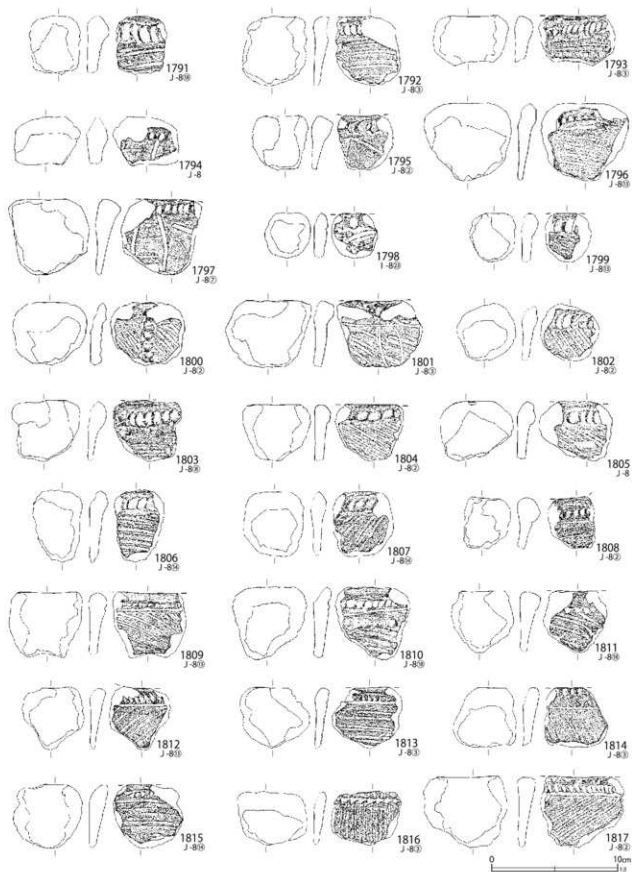
第 863 图 B 区出土遗物 (57)



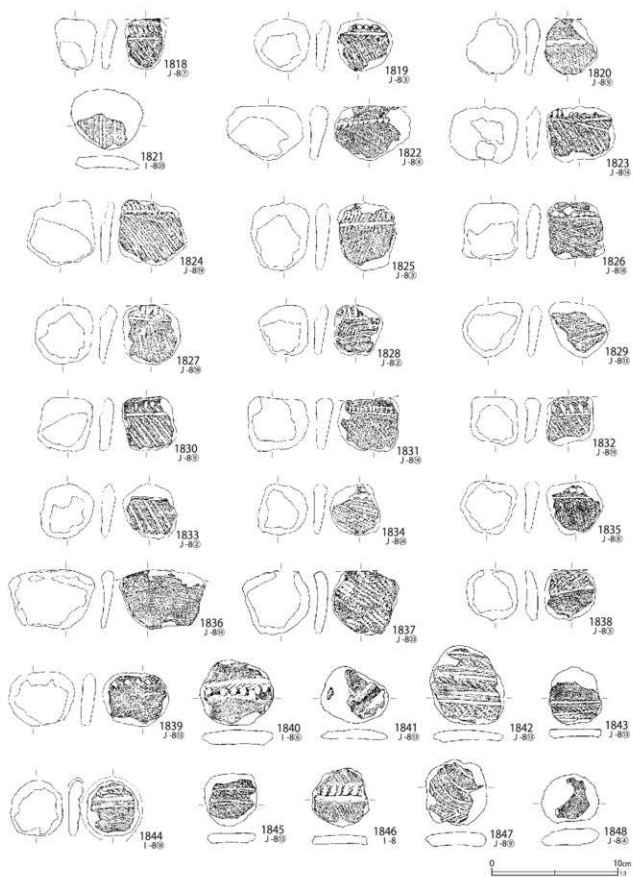
第 864 图 B 区出土文物 (58)



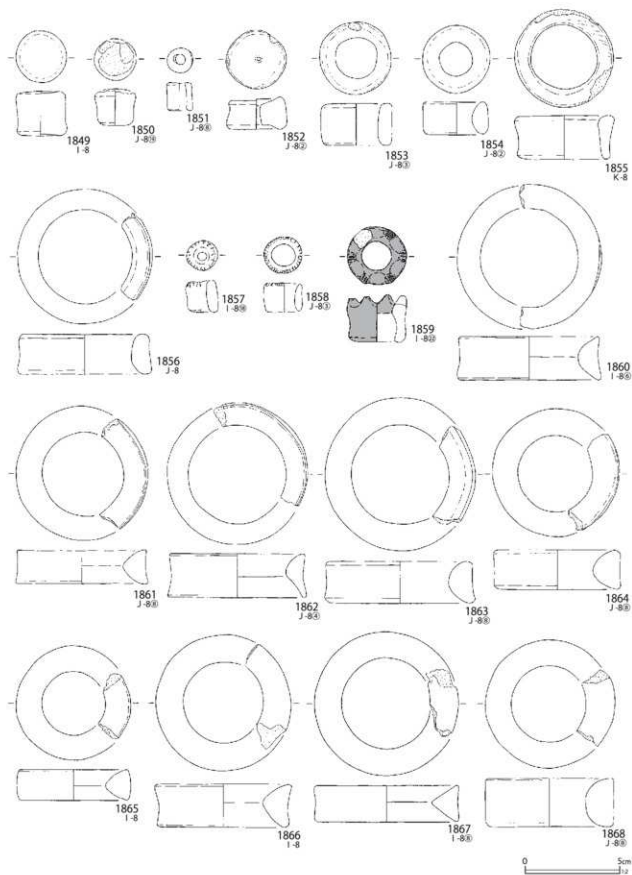
第 865 图 B 区出土遗物 (59)



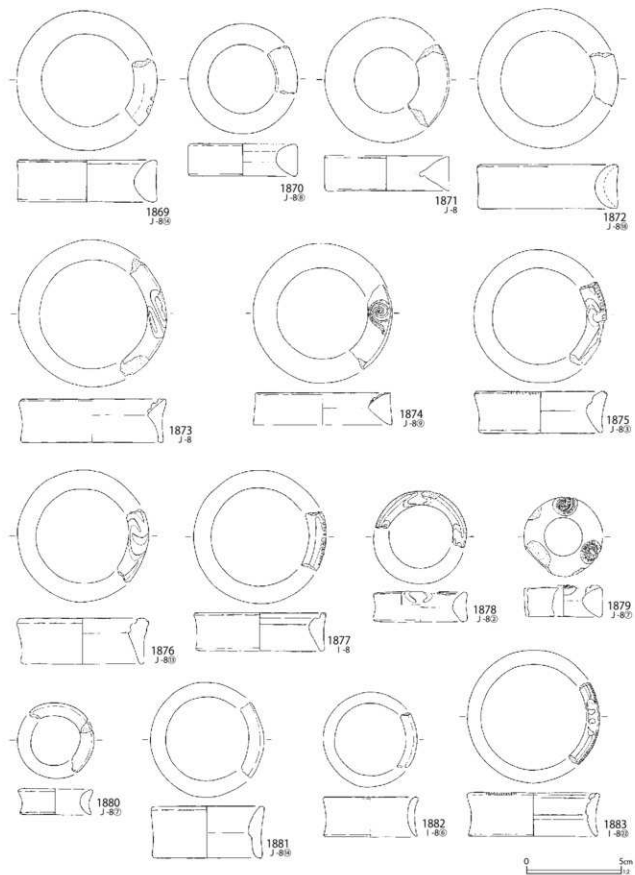
第 866 图 B 区出土遗物 (60)



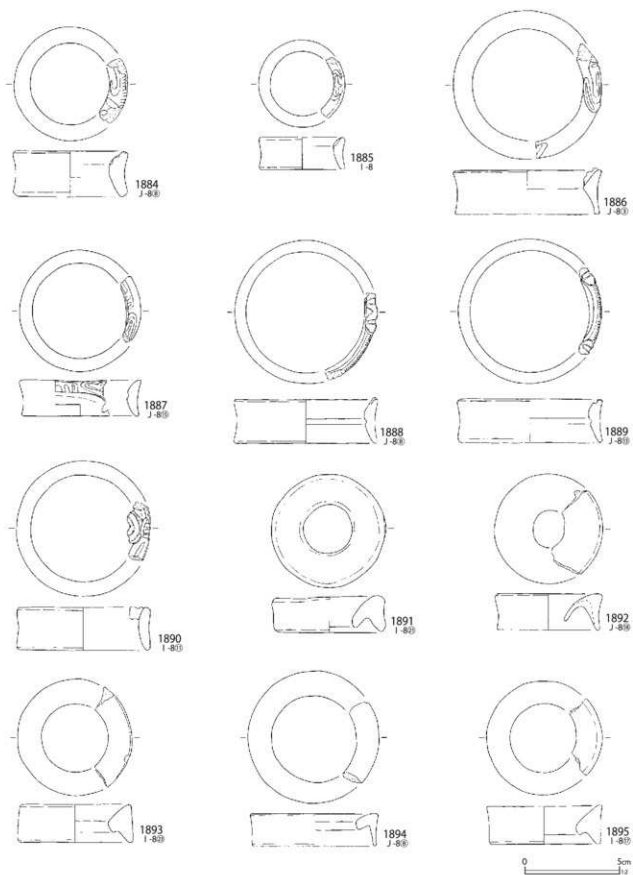
第 867 图 B区出土遗物 (61)



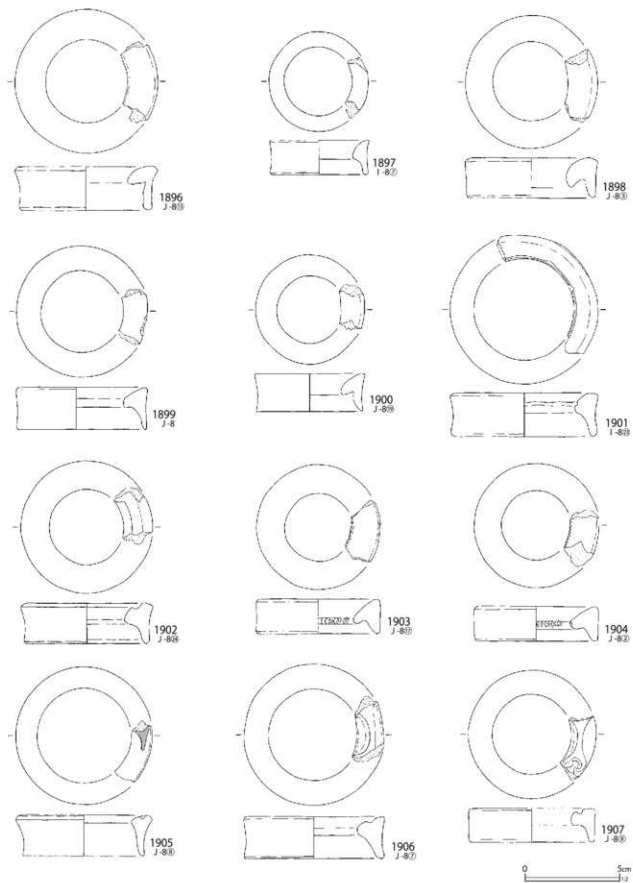
第 868 图 B 区出土遗物 (62)



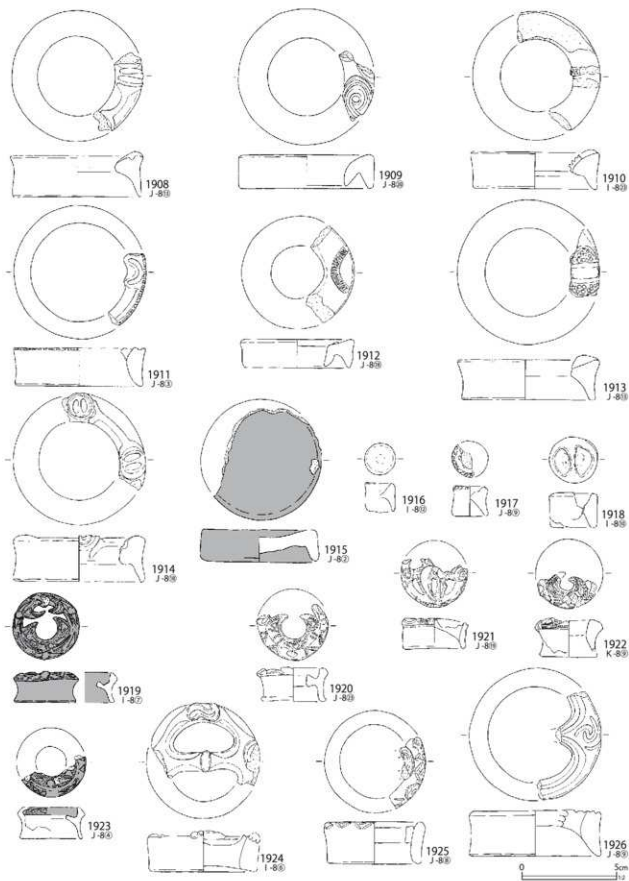
第 869 图 B 区出土遗物 (63)



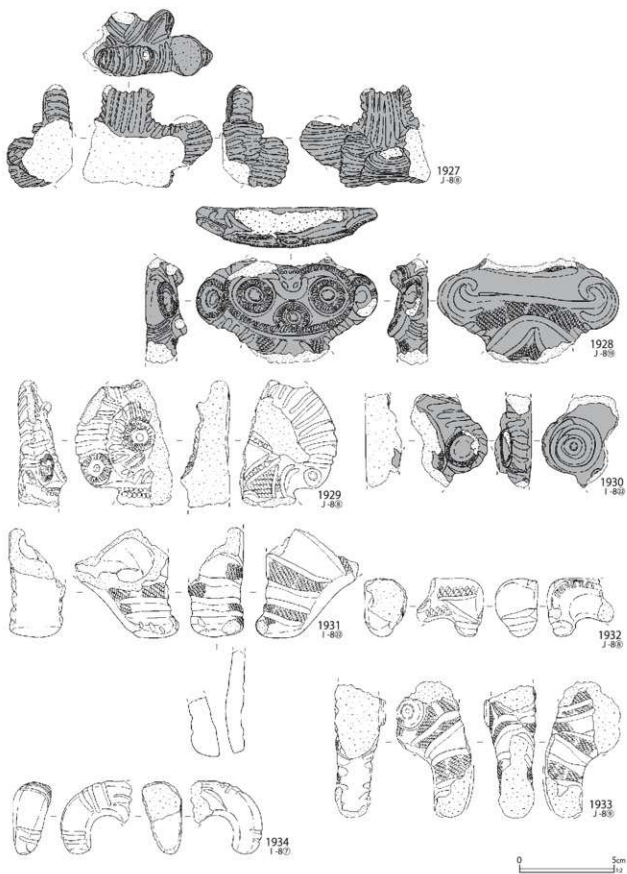
第 870 图 B 区出土遗物 (64)



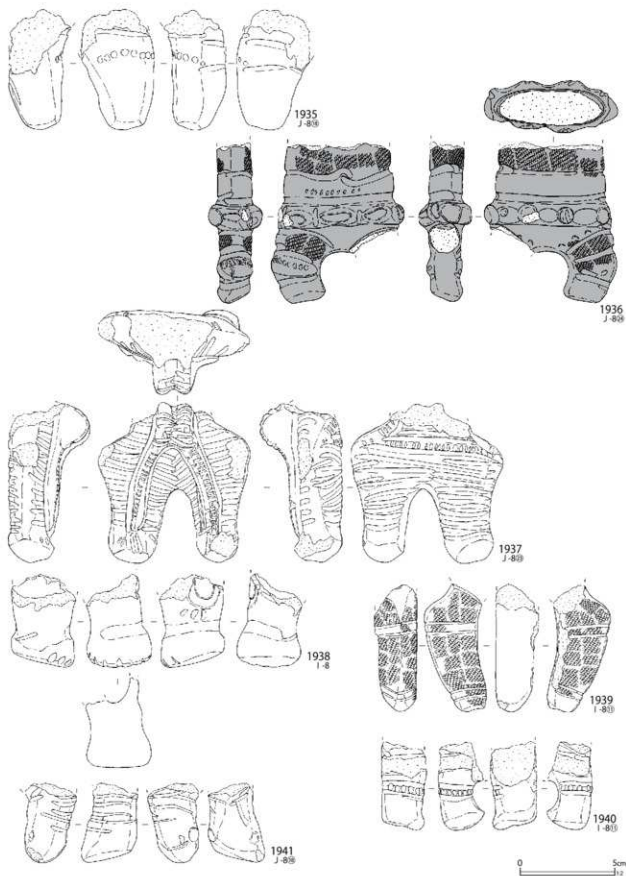
第 871 图 B区出土遗物 (65)



第 872 图 B 区出土遗物 (66)



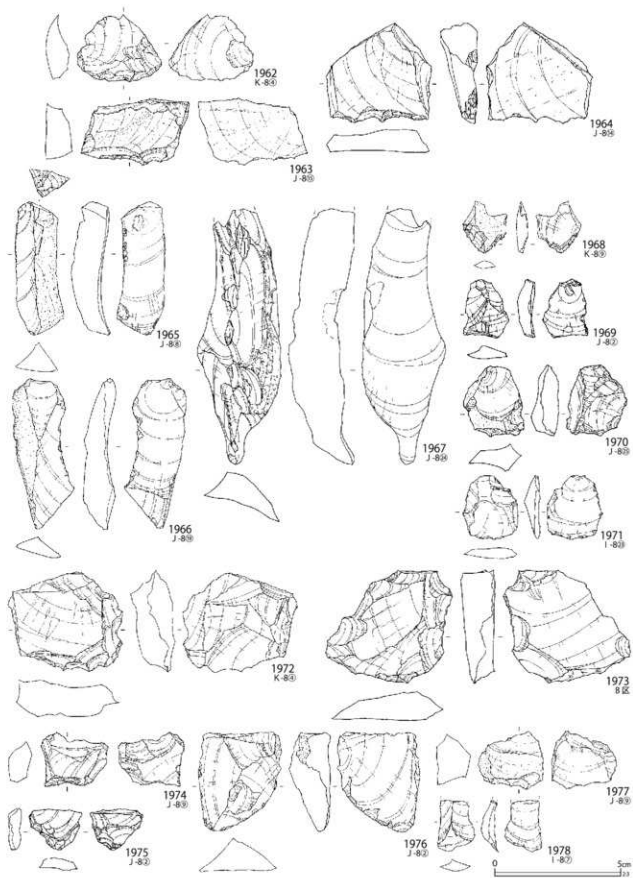
第 873 图 B区出土遗物 (67)



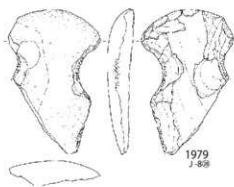
第 874 图 B 区出土遗物 (68)



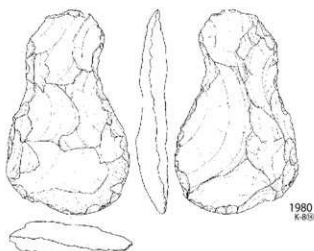
第 875 图 B 区出土遗物 (69)



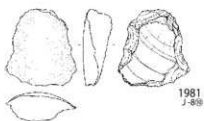
第 876 图 B 区出土遗物 (70)



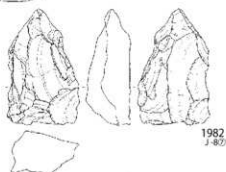
1979
J-809



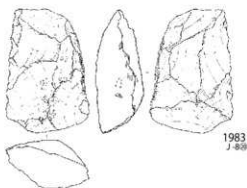
1980
K-810



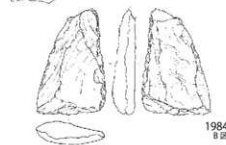
1981
J-811



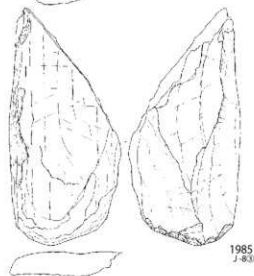
1982
J-812



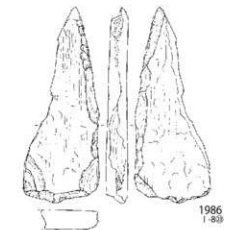
1983
J-813



1984
B-814



1985
J-815



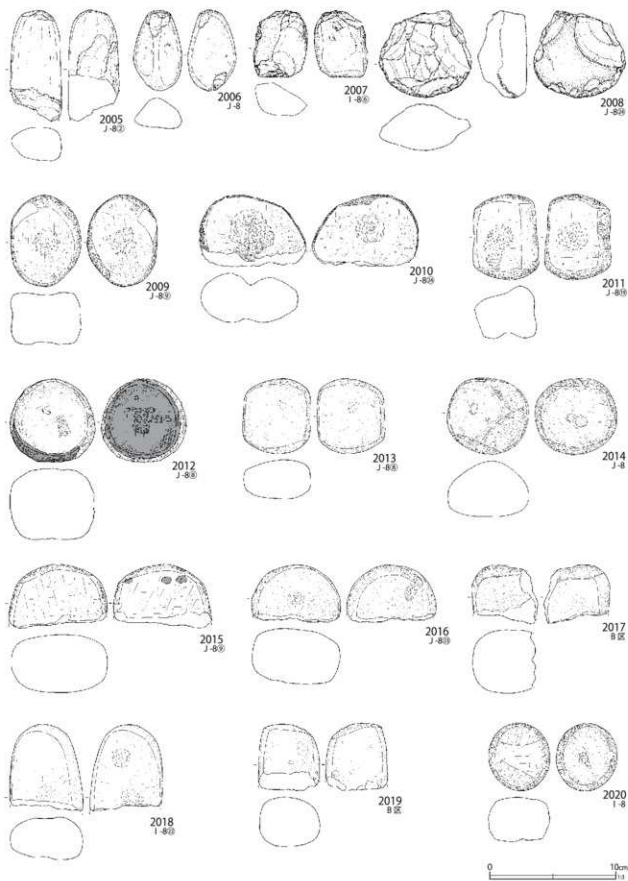
1986
I-816



第 877 图 B区出土遗物 (71)



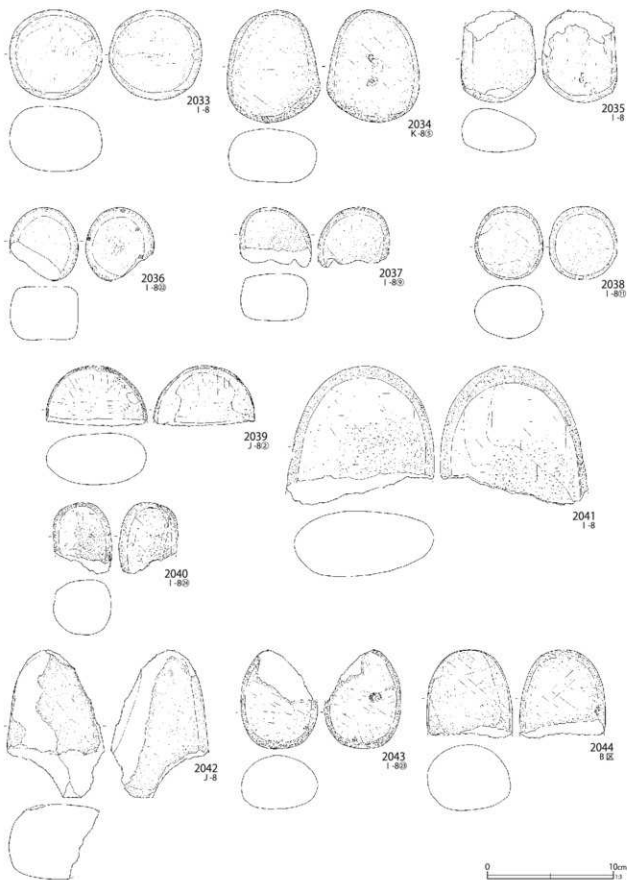
第 878 图 B 区出土遗物 (72)



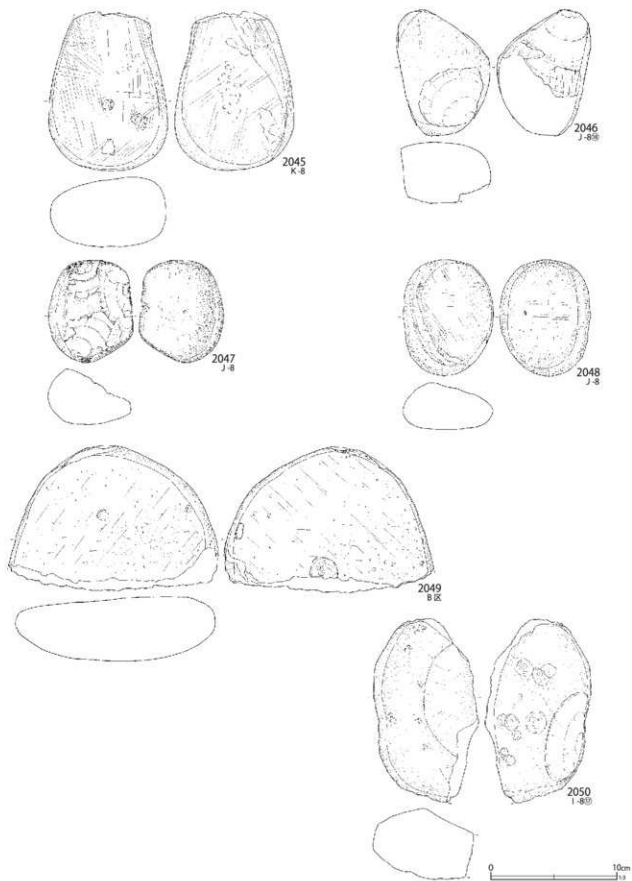
第 879 图 B区出土遗物 (73)



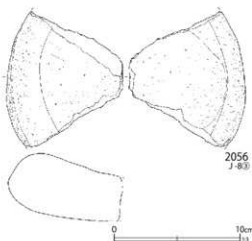
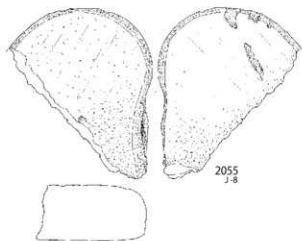
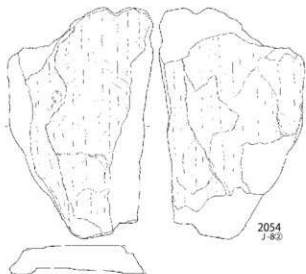
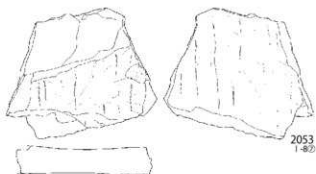
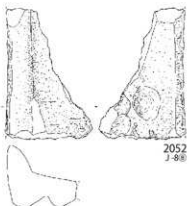
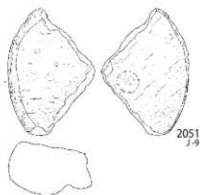
第 880 图 B 区出土遗物 (74)



第 881 图 B 区出土遗物 (75)



第 882 图 B 区出土遺物 (76)



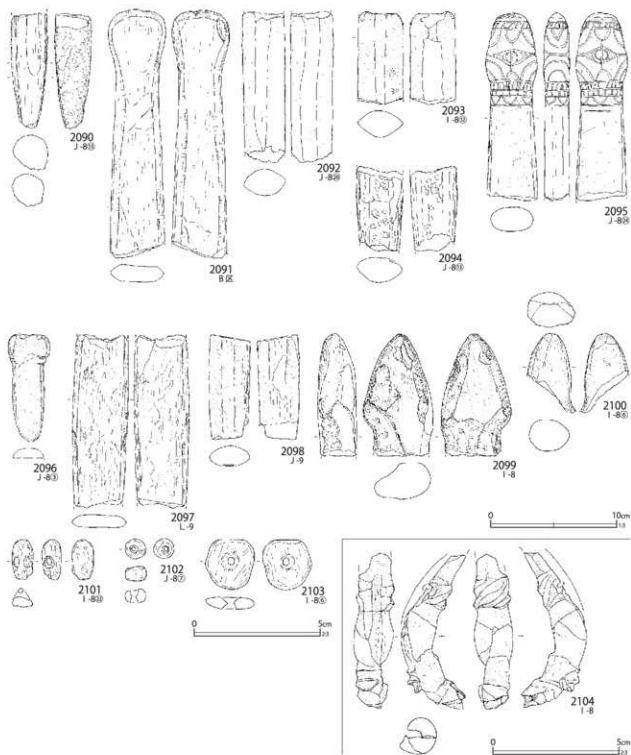
第 883 图 B区出土遺物 (77)



第884图 B区出土遗物(78)



第 885 图 B区出土遺物 (79)



第 886 图 B 区出土遗物 (80)

第125表 B区出土復元土器觀察表 (第807~第814図)

番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類	番号	層位	器高	口径	最大径	底径	分類
1	-	17.1	(11.0)	(19.4)	6.3	V 3 ~ 4-A5	51	-	6.5	(17.2)	(17.2)	7.5	VI 2 ~ VII 1-C2
2	VI	-	(25.3)	(26.7)	-	V 4-C2	52	III ~ VI	-	(16.0)	(16.0)	-	VII 1-C1
3	VI	-	(19.0)	(19.4)	-	VI 1-A3	53	III	-	(25.8)	(26.0)	-	VII 1-C2
4	III	-	(19.0)	(21.4)	-	VI 2-A3	54	III ~ VI	-	(23.0)	(23.5)	-	VI 2 ~ VII 1-C2
5	III ~ VI	-	-	(31.5)	-	VII 1 ~ 2-A3	55	VI	-	(20.0)	(20.8)	-	VII 1 ~ 2-C2
6	VI	-	(19.3)	(23.6)	-	VI 1-A5	56	III -2	-	(27.0)	(27.0)	-	VII 1-C1
7	III	-	(32.8)	(35.4)	-	VI 1-A5	57	VI	-	(16.0)	(16.0)	-	VII 1-C2
8	III	-	(17.3)	(17.4)	-	VI 1-A5	58	IV -1	-	(9.3)	(9.3)	-	VII 1-E
9	VI	-	(31.4)	(32.4)	-	VI 1-A5	59	VI	6.2	(17.8)	(17.8)	-	VII 1-E
10	III	39.6	24.6	31.7	5.0	VI 1-A5	60	III	6.1	(16.1)	(16.1)	(10.3)	VII 1-C1
11	IV -1	-	(23.8)	(26.7)	-	VI 1 ~ 2-A5	61	III -2	4.6	(12.3)	(12.3)	-	VII 1-C2
12	VI	29.0	(25.0)	26.4	3.4	VI 1-A5	62	III	-	(16.4)	(23.6)	-	VII 1-G
13	VI	-	(22.5)	(29.0)	-	VI 2 ~ VII 1-A5	63	IV -1	-	(17.6)	(20.4)	-	VII 1-F2
14	III -2	-	(25.6)	(29.1)	-	VI 2 ~ VII 1-A5	64	III ~ VI	-	(14.4)	(15.5)	-	VII 1 ~ 2-F2
15	VI	38.7	22.2	30.0	5.3	VI 2 ~ VII 1-A5	65	III ~ VI	-	11.5	(12.7)	-	VII 1 ~ 2-F2
16	III ~ VI	31.2	21.3	27.5	4.2	VI 2 ~ VII 1-A5	66	III -2	-	12.2	(14.9)	-	VII 1-F1
17	VI	-	(30.6)	(30.6)	-	VI 2 ~ VII 1-A5	67	III	-	10.1	13.5	-	VII ~ VIII -F
18	III	-	(25.0)	(29.4)	-	VI 1-A5	68	IV -1	-	(13.6)	(13.6)	-	VII 5-C2
19	III	-	22.3	(27.2)	-	VI 1-A5	69	VI	-	(24.9)	(24.9)	-	VI 1-A6
20	III ~ VI	13.7	8.6	9.0	1.4	VI 2 ~ VII 1-A5	70	VI	-	17.4	17.4	-	VI 1-A6
21	III	-	(22.2)	(22.2)	-	VI 1-A3	71	VI	-	(15.0)	(15.4)	-	VI 1-A6
22	III ~ VI	-	(22.1)	(22.5)	-	VI 2-A3	72	-	-	(20.0)	(20.2)	-	VI 1-A6
23	III ~ VI	-	16.8	17.5	-	VI 1-A2	73	VI	-	(24.6)	(20.2)	-	VI 2-A7
24	-	-	(24.0)	(24.0)	-	VII 1 ~ 2-A2	74	VI	-	(12.4)	(12.4)	-	VI -A6
25	III -2	-	(28.3)	(28.3)	-	VII 1-A4	75	-	-	-	(32.9)	6.8	VII 1 ~ 2-A7
26	IV -1	-	(32.6)	(35.0)	-	VII 1-A5	76	-	-	28.9	(33.0)	-	VII 1 ~ 2-A7
27	III	-	(24.6)	(26.8)	-	VII 1-A5	77	VI	-	(29.0)	(33.6)	-	VII 1 ~ 2-A7
28	IV -1	21.0	(24.0)	(24.0)	(14.8)	VII 1 ~ 2-B	78	III	39.0	(24.6)	(29.5)	7.0	VII 1 ~ 2-A7
29	VI	-	-	(23.5)	-	VII 1 ~ 2-B	79	VI	-	(26.6)	(29.4)	-	VII 1 ~ 2-A7
30	IV -1	-	-	(15.6)	-	VII 1 ~ 2-B	80	VI	-	(37.0)	(38.5)	-	VII 1 ~ 2-A7
31	IV -1	-	(28.2)	(29.8)	-	VII 1 ~ 2-B	81	-	-	-	(19.4)	4.2	X 3
32	III -2	-	(24.0)	(24.6)	-	VII 1 ~ 2-B	82	III	-	-	(15.8)	5.8	X 3
33	VI	-	-	(20.5)	-	VII 1 ~ 2-B	83	III	-	(19.4)	(20.0)	-	VII -A2
34	III -2	-	-	(14.8)	-	VII -B	84	III	-	(19.6)	(20.0)	-	VII -A2
35	IV -1	-	-	(15.9)	-	VII 1-B	85	III ~ VI	20.8	11.2	12.3	3.1	VII -A2
36	III	-	-	17.8	16.1	VI -B	86	VI	-	(22.0)	(23.2)	-	VII -A2
37	-	-	-	(18.8)	(15.4)	VI -B	87	VI	-	(28.2)	(32.4)	-	VII -A5
38	VI	-	-	(19.4)	(16.2)	VI -B	88	VI	-	(22.8)	(23.2)	-	VII -A2
39	VI	-	(17.6)	(20.4)	-	VI -B	89	III	-	(31.0)	(31.0)	-	VII -A2
40	III	-	(17.4)	-	-	VI -B	90	-	-	-	(16.8)	3.7	X 3
41	-	-	(23.0)	(23.0)	-	VII 1 ~ 2-B	91	III -2	-	-	(12.0)	4.3	X 3
42	V -1	-	-	(13.8)	-	VII 1-B	92	III	-	-	(22.0)	7.8	X 3
43	VI	-	-	15.0	15.0	VII 1-B	93	VI	-	-	(18.2)	5.9	X 3
44	VI	13.2	13.0	13.6	6.7	VII 1-B	94	IV -1	-	-	(23.2)	5.0	X 3
45	III ~ VI	-	-	(23.3)	10.7	VII 1 ~ 2-A5	95	-	-	-	(15.3)	3.5	X 3
46	III	-	-	(29.7)	-	VII 2-D3	96	-	-	-	(12.6)	3.0	X 3
47	IV -1	-	(16.0)	(22.0)	-	VII 2-D3	97	III	-	-	(16.8)	5.0	X 3
48	-	-	(16.0)	(16.0)	-	VII 2-D1	98	-	-	-	(15.8)	4.0	X 3
49	III -2	-	(24.0)	(24.0)	-	VII 2-C1	99	VI	-	-	(14.0)	-	X 3
50	VI	-	-	(19.6)	9.2	VII 1 ~ 2-C2	100	VI	-	-	(16.4)	2.6	X 3

第126表 B区出土破片土器觀察表 (第815~第862図)

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
101	-	II 1-A2	122	VI	II 5-A4	143	-	IV 4-A2	164	VI	V 2 ~ 3-A4
102	VI	II 1-A2	123	VI	II 5-A4	144	VI	IV 4-A2	165	-	V 2 ~ 3-A4
103	VI	II 1-A2	124	VI	III 2-A	145	VI	IV 4-A2	166	-	V 2 ~ 3-A4
104	VI	II 1-A2	125	III	III 5-A4	146	VI	IV 4-A2	167	III -2	V 2 ~ 3-A4
105	-	II 1-A2	126	-	III 5-A4	147	III	IV 4-A	168	VI	V 2 ~ 3-A4
106	VI	II 1-A2	127	VI	III 5-A4	148	III	IV 4-A2	169	VI	V 2 ~ 3-A4
107	-	II 1-A2	128	III	III 6-A4	149	V -1	IV 4-A2	170	IV -1	V 2 ~ 3-A4
108	VI	II 1-A2	129	VI	III 6-A4	150	-	IV -A	171	VI	V 4-A4
109	VI	II 1-A2	130	VI	III 6-A4	151	IV -1	IV -G	172	VI	V 2 ~ 3-A5
110	VI	II 2-A4	131	VI	III 6-A4	152	-	V 1-0	173	III	V 2 ~ 3-A5
111	VI	II 2-A4	132	VI	III 5-0	153	VI	V 1-0	174	VI	V 3 ~ 4-A4
112	IV -1	II 2-A4	133	VI	IV 1-A4	154	III	V 1-A2	175	III -2	V 3 ~ 4-A4
113	III	II 3-A4	134	III -2	IV 2-A3	155	VI	V 2 ~ 3-A3	176	IV -1	V 3 ~ 4-A4
114	-	II 4-A4	135	III	IV 3-A3	156	VI	V 2 ~ 3-A3	177	VI	V 3 ~ 4-A4
115	VI	II 4-A4	136	III -2	IV 3-A3	157	VI	V 2 ~ 3-A3	178	III	V 3 ~ 4-A4
116	VI	II 5-A4	137	III	IV 3-A	158	III	V 2 ~ 3-A3	179	III	V 2 ~ 4-A4
117	VI	II 5-A4	138	III ~ VI	IV 3-A4	159	III -2	V 2 ~ 3-A5	180	VI	V 2 ~ 4-A4
118	VI	II 5-A4	139	III -2	IV 3-A4	160	VI	V 2 ~ 3-A5	181	VI	V 2 ~ 4-A4
119	-	II 5-A4	140	-	IV 3-A	161	III ~ VI	V 2 ~ 3-A4	182	VI	V 2 ~ 4-A4
120	VI	II 5-A4	141	VI	IV 3-A	162	-	V 2 ~ 3-A3	183	VI	V 2 ~ 4-A4
121	VI	II 4-A4	142	III -2	IV 4-A2	163	IV -1	V 2 ~ 3-A3	184	III	V 2 ~ 4-A4

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
185	IV-1	V 2 ~ 4-A4	255	VI	V 4-A3	325	VI	VI 2-A3	395	III	VI 2-A3
186	III	V 2 ~ 4-A4	256	IV-1	V 4-A3	326	VI	V 4-A3	396	VI	VI 2-A3
187	VI	V 2 ~ 4-A4	257	VI	V 4-A3	327	VI	VI 2-A3	397	III	VI 2-A3
188	III	V 2 ~ 4-A4	258	III	V 4-A3	328	VI	VI 2-A3	398	VI	VI 2-A3
189	-	V 2 ~ 4-A4	259	IV-1	V 4-A3	329	-	VI 2-A3	399	VI	VI 2-A3
190	VI	V 2 ~ 4-A4	260	III~VI	V 4-A3	330	VI	VI 2-A3	400	III	VI 2-A3
191	-	V 2 ~ 4-A7	261	-	V 4-A3	331	-	VI 2-A3	401	III	VI 2-A3
192	VI	V 2 ~ 4-A7	262	-	V 4-A3	332	-	VI 2-A3	402	VI	VI 2-A3
193	III	V 2 ~ 4-A7	263	III	V 4-A3	333	VI	VI 2-A3	403	III	VI 2-A3
194	VI	V 2 ~ 4-A7	264	III	V 4-A3	334	III~VI	VI 2-A3	404	VI	VI~VI-A3
195	VI	V 2 ~ 4-A7	265	VI	V 4-A3	335	VI	VI 2-A3	405	III~VI	VI~VI-A3
196	VI	V 2 ~ 4-A7	266	VI	V 4-A3	336	VI	VI 2-A3	406	III	VI~VI-A3
197	VI	V 2 ~ 4-A7	267	-	V 4-A3	337	III	VI 2-A3	407	III	VI~VI-A3
198	VI	V 2 ~ 4-A7	268	-	V 4-A3	338	VI	VI 2-A3	408	VI	VI~VI-A3
199	III	V 2 ~ 4-A7	269	VI	V 4-A3	339	VI	VI 2-A3	409	III	VI~VI-A3
200	-	V 2 ~ 4-A7	270	III	V 4-A3	340	III	VI 2-A3	410	III	VI~VI-A3
201	VI	V 2 ~ 4-A7	271	VI	V 4-A3	341	VI	VI 2-A3	411	VI	VI~VI-A3
202	VI	V 2 ~ 4-A7	272	VI	V 4-A3	342	VI	VI 2-A3	412	VI	VI~VI-A3
203	III	V 2 ~ 4-A7	273	III	V 4-A4	343	VI	VI 2-A3	413	-	VI~VI-A3
204	VI	V 2 ~ 4-A7	274	VI	V 4-A4	344	-	VI 2-A3	414	IV-1	VI~VI-A3
205	VI	V 2 ~ 4-A7	275	-	V 4-A4	345	III	VI 2-A3	415	VI	VI~VI-A3
206	VI	V 2 ~ 4-A7	276	-	V 4-A4	346	III	VI 2-A3	416	III	VI~VI-A3
207	VI	V 2 ~ 4-A7	277	III-2	V 4-A4	347	VI	VI 2-A3	417	III	VI~VI-A3
208	VI	V 2 ~ 4-A7	278	VI	V 4-A4	348	III	VI 2-A3	418	IV-1	VI~VI-A3
209	-	V 2 ~ 4-A7	279	III-2	V 4-A4	349	VI	VI 2-A3	419	III	VI~VI-A3
210	VI	V 2 ~ 4-A7	280	VI	V 4-A4	350	III	VI 2-A3	420	III	VI~VI-A3
211	-	V 2 ~ 4-A7	281	VI	V 4-A4	351	VI	VI 1 ~ 2-A3	421	III	VI~VI-A3
212	III	V 2 ~ 4-A7	282	VI	V 4-A4	352	-	VI 1 ~ 2-A3	422	III	VI~VI-A3
213	VI	V 2 ~ 4-A7	283	III-2	V 4-A5	353	VI	VI 1 ~ 2-A3	423	III	VI~VI-A3
214	III	V 2 ~ 4-A7	284	VI	V 4-A5	354	IV-1	VI 2-A4	424	III~VI	VI~VI-A3
215	-	V 2 ~ 4-A7	285	V-1	V 4-A5	355	VI	VI 2-A4	425	III	VI~VI-A3
216	VI	V 2 ~ 4-A7	286	VI	V 4-A4	356	VI	III 1 ~ 2-A3	426	III	VI~VI-A3
217	III-2	V 2 ~ 4-A7	287	-	V 4-A4	357	VI	III 1 ~ 2-A3	427	III	VI~VI-A3
218	-	V 2 ~ 4-A7	288	VI	V 4-A4	358	VI	III 1 ~ 2-A3	428	VI	VI~VI-A3
219	IV-1	V 2 ~ 4-A7	289	VI	V-D	359	III	III 1 ~ 2-A3	429	VI	VI~VI-A3
220	-	V 2 ~ 4-A7	290	VI	VI 1-A3	360	IV-1	III 1 ~ 2-A3	430	IV-1	VI~VI-A3
221	VI	V 2 ~ 4-A7	291	-	VI 1-A3	361	III	III 1 ~ 2-A3	431	IV-1	VI~VI-A3
222	-	V 2 ~ 4-A7	292	-	VI 1-A3	362	VI	III 1 ~ 2-A3	432	VI	VI~VI-A3
223	-	V 2 ~ 4-A7	293	VI	VI 1-A3	363	III	III 1 ~ 2-A3	433	III	VI~VI-A3
224	III	V 2 ~ 4-A7	294	VI	VI 1-A3	364	III-2	III 1 ~ 2-A3	434	III	VI~VI-A3
225	VI	V 2 ~ 4-A7	295	III	VI 1-A3	365	VI	III 1 ~ 2-A3	435	IV-1	VI~VI-A3
226	VI	V 2 ~ 4-A7	296	VI	VI 1-A3	366	III-2	III 1 ~ 2-A3	436	VI	VI~VI-A3
227	III-2	V 2 ~ 4-A7	297	-	VI 1-A3	367	VI	III 1 ~ 2-A3	437	III-2	VI~VI-A3
228	VI	V 2 ~ 4-A7	298	VI	VI 1-A3	368	-	III 2-A3	438	III	VI~VI-A3
229	III	V 2 ~ 4-A7	299	VI	VI 1-A3	369	III-2	III 2-A3	439	VI	VI~VI-A3
230	VI	V 2 ~ 4-A7	300	III-2	VI 1-A3	370	IV-1	III 2-A3	440	III	VI~VI-A3
231	III	V 2 ~ 4-A7	301	-	VI 1-A3	371	IV-1	III 2-A3	441	VI	VI~VI-A3
232	III	V 2 ~ 4-A7	302	III	VI 1-A3	372	III	III 2-A3	442	III	VI~VI-A3
233	III~VI	V 2 ~ 4-A7	303	III	VI 1-A3	373	IV-1	III 2-A3	443	VI	VI~VI-A3
234	-	V-A2	304	IV-1	VI 1-A3	374	III	III 2-A3	444	III~VI	VI~VI-A3
235	III	V 2 ~ 3-A4	305	-	VI 1-A3	375	VI	III 2-A3	445	III-2	VI~VI-A3
236	VI	V 2 ~ 3-A4	306	III	VI 1-A3	376	III-2	III 2-A3	446	IV-1	VI~VI-A3
237	III	V 2 ~ 3-A4	307	-	VI 1-A3	377	III-2	III 2-A3	447	III	VI~VI-A3
238	III-2	V 2 ~ 3-A4	308	III	VI 1-A3	378	VI	III 2-A3	448	IV-1	VI~VI-A3
239	VI	V 2 ~ 4-A2	309	-	VI 1-A3	379	VI	III 2-A3	449	III	VI~VI-A3
240	VI	V 2 ~ 4-A2	310	VI	VI 1-A3	380	III	III 2-A3	450	-	VI 1-A4
241	VI	V 2 ~ 4-A2	311	VI	VI 1-A3	381	IV-1	III 2-A3	451	-	VI 1-A4
242	-	V 4-A3	312	VI	VI 1-A3	382	III	III 2-A3	452	III-2	VI 1-A4
243	VI	V 4-A3	313	VI	VI 1-A3	383	III	III 2-A3	453	-	VI 1-A4
244	VI	V 4-A3	314	VI	VI 2-A3	384	-	III 2-A3	454	-	VI 1-A4
245	-	V 4-A3	315	VI	VI 2-A3	385	III-2	III 2-A3	455	VI	VI 1-A4
246	IV-1	V 4-A3	316	-	VI 2-A3	386	VI	III 2-A3	456	III-2	VI 1-A4
247	III	V 4-A3	317	VI	VI 2-A3	387	IV-1	III 2-A3	457	VI	VI 1-A4
248	-	V 4-A3	318	VI	VI 2-A3	388	III-2	III 2-A3	458	III	VI 1-A4
249	III-2	V 4-A3	319	III	VI 2-A3	389	III-2	III 2-A3	459	-	VI 1-A4
250	VI	V 4-A3	320	VI	VI 2-A3	390	VI	III 2-A3	460	-	VI 1-A4
251	VI	V 4-A3	321	VI	VI 2-A3	391	III	III 2-A3	461	-	VI 1-A4
252	VI	V 4-A3	322	III	VI 2-A3	392	-	III 2-A3	462	VI	VI 1-A4
253	VI	V 4-A3	323	VI	VI 2-A3	393	III-2	III 2-A3	463	VI	VI 1-A4
254	VI	V 4-A3	324	III	VI 2-A3	394	III	III 2-A3	464	III	VI 1-A4

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
465	Ⅲ	Ⅵ1-A4	535	Ⅳ-1	Ⅵ2-A4	605	Ⅲ-2	Ⅵ2-A5	675	Ⅳ-1	Ⅵ1~2-A5
466	Ⅵ	Ⅵ1-A4	536	-	Ⅵ2-A4	606	Ⅳ-1	Ⅵ2-A5	676	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
467	Ⅵ	Ⅵ1-A4	537	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	607	Ⅵ	Ⅵ2-A5	677	Ⅲ-2	Ⅵ1~2-A5
468	Ⅵ	Ⅵ1-A4	538	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	608	Ⅲ	Ⅵ2-A5	678	Ⅳ-1	Ⅵ1~2-A5
469	Ⅵ	Ⅵ1-A4	539	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	609	Ⅳ-1	Ⅵ1~2-A5	679	Ⅳ-1	Ⅵ1~2-A5
470	Ⅵ	Ⅵ1-A4	540	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	610	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5	680	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
471	Ⅲ	Ⅵ1-A4	541	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	611	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5	681	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5
472	Ⅵ	Ⅵ1-A4	542	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	612	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5	682	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5
473	-	Ⅵ1-A4	543	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	613	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5	683	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5
474	Ⅲ	Ⅵ1-A4	544	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	614	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	684	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
475	-	Ⅵ1-A4	545	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	615	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	685	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
476	-	Ⅵ1-A4	546	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	616	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	686	-	Ⅵ1~2-A5
477	Ⅳ-1	Ⅵ1-A4	547	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	617	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	687	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
478	Ⅵ	Ⅵ1-A4	548	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	618	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	688	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
479	-	Ⅵ1-A4	549	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	619	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	689	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
480	Ⅲ	Ⅵ1-A4	550	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	620	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	690	-	Ⅵ1~2-A5
481	Ⅵ	Ⅵ1-A4	551	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	621	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	691	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
482	Ⅲ	Ⅵ1-A4	552	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	622	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	692	-	Ⅵ1~2-A5
483	-	Ⅵ1-A5	553	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	623	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	693	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
484	Ⅲ	Ⅵ1-A5	554	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	624	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	694	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5
485	Ⅲ	Ⅵ1-A5	555	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	625	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	695	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
486	-	Ⅵ1-A5	556	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	626	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	696	-	Ⅵ1~2-A5
487	Ⅲ	Ⅵ1-A5	557	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	627	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	697	-	Ⅵ1~2-A5
488	Ⅳ-1	Ⅵ1-A5	558	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	628	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	698	-	Ⅵ1~2-A5
489	Ⅵ	Ⅵ1-A5	559	Ⅳ-1	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	629	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	699	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
490	Ⅲ-2	Ⅵ1-A5	560	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	630	Ⅳ-1	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	700	-	Ⅵ1~2-A5
491	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ1-A5	561	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	631	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	701	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
492	Ⅲ	Ⅵ1-A5	562	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	632	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	702	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
493	Ⅵ	Ⅵ1-A5	563	Ⅳ-1	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	633	Ⅲ-2	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	703	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5
494	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ1-A5	564	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	634	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	704	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5
495	Ⅳ-1	Ⅵ1-A5	565	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	635	Ⅳ-1	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	705	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
496	Ⅲ	Ⅵ1-A5	566	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	636	-	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	706	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5
497	Ⅲ	Ⅵ1-A5	567	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	637	Ⅲ	Ⅵ1~2-A4	707	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5
498	-	Ⅵ1-A5	568	-	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	638	Ⅵ	Ⅵ1~2-A4	708	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
499	Ⅵ	Ⅵ1-A5	569	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	639	Ⅲ	Ⅵ1~2-A4	709	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
500	Ⅵ	Ⅵ1-A5	570	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	640	Ⅲ	Ⅵ1~2-A4	710	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5
501	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ1-A5	571	Ⅳ-1	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	641	Ⅵ	Ⅵ1~2-A4	711	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
502	Ⅵ	Ⅵ1-A5	572	-	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	642	Ⅵ	Ⅵ1~2-A4	712	-	Ⅵ1~2-A5
503	Ⅵ	Ⅵ1-A5	573	Ⅳ-1	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	643	Ⅵ	Ⅵ1~2-A4	713	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
504	Ⅵ	Ⅵ1-A5	574	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	644	Ⅵ	Ⅵ1~2-A4	714	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
505	Ⅵ	Ⅵ1-A5	575	Ⅳ-1	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	645	Ⅳ-1	Ⅵ1~2-A4	715	-	Ⅵ1~2-A5
506	Ⅲ	Ⅵ1-A5	576	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	646	Ⅲ	Ⅵ1~2-A4	716	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
507	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ1-A5	577	-	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	647	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ1~2-A4	717	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
508	-	Ⅵ1-A5	578	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	648	Ⅲ	Ⅵ1~2-A4	718	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
509	Ⅲ	Ⅵ1-A4	579	-	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	649	-	Ⅵ1~2-A4	719	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5
510	Ⅵ	Ⅵ1-A4	580	Ⅳ-1	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	650	-	Ⅵ1~2-A4	720	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
511	Ⅵ	Ⅵ1-A5	581	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	651	Ⅲ	Ⅵ1~2-A4	721	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5
512	Ⅵ	Ⅵ1-A5	582	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	652	-	Ⅵ1~2-A4	722	-	Ⅵ2-A4
513	Ⅵ	Ⅵ1-A5	583	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A5	653	-	Ⅵ1~2-A4	723	Ⅲ	Ⅵ2-A4
514	Ⅳ-1	Ⅵ1-A5	584	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	654	Ⅳ-1	Ⅵ1~2-A4	724	Ⅲ	Ⅵ2-A4
515	Ⅵ	Ⅵ1-A5	585	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	655	Ⅵ	Ⅵ1~2-A4	725	Ⅲ	Ⅵ2-A4
516	Ⅵ	Ⅵ1-A5	586	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	656	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ1~2-A4	726	Ⅲ	Ⅵ2-A4
517	Ⅲ-2	Ⅵ1-A5	587	-	Ⅵ1~2-A5	657	Ⅵ	Ⅵ1~2-A4	727	Ⅲ-2	Ⅵ2-A4
518	Ⅲ	Ⅵ1-A5	588	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	658	Ⅵ	Ⅵ1~2-A4	728	Ⅲ	Ⅵ2-A4
519	Ⅲ	Ⅵ1-A5	589	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	659	-	Ⅵ1~2-A4	729	Ⅵ	Ⅵ2-A4
520	Ⅲ	Ⅵ1-A5	590	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5	660	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ1~2-A4	730	Ⅵ	Ⅵ2-A4
521	-	Ⅵ1~2-A5	591	Ⅲ-2	Ⅵ1~2-A5	661	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	731	Ⅵ	Ⅵ2-A4
522	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	592	Ⅲ-2	Ⅵ1~2-A5	662	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5	732	Ⅵ	Ⅵ2-A4
523	-	Ⅵ1~2-A5	593	-	Ⅵ1~2-A5	663	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	733	Ⅵ	Ⅵ2-A4
524	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5	594	Ⅵ	Ⅵ2-A5	664	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	734	Ⅵ	Ⅵ2-A4
525	-	Ⅵ1~2-A5	595	Ⅵ	Ⅵ2-A5	665	-	Ⅵ1~2-A5	735	Ⅲ	Ⅵ2-A4
526	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	596	Ⅵ	Ⅵ2-A5	666	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	736	Ⅲ	Ⅵ2-A4
527	Ⅳ-1	Ⅵ1~2-A5	597	Ⅵ	Ⅵ2-A5	667	-	Ⅵ1~2-A5	737	Ⅲ	Ⅵ2-A4
528	Ⅲ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	598	Ⅲ	Ⅵ2-A5	668	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	738	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ2-A4
529	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	599	Ⅳ-1	Ⅵ2-A5	669	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5	739	Ⅵ	Ⅵ2-A4
530	Ⅳ-1	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	600	Ⅳ-1	Ⅵ2-A5	670	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5	740	Ⅳ-1	Ⅵ2-A4
531	Ⅳ-1	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	601	Ⅳ-1	Ⅵ2-A5	671	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ2-A5	741	Ⅵ	Ⅵ2-A4
532	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	602	Ⅳ-1	Ⅵ2-A5	672	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5	742	Ⅲ	Ⅵ2-A4
533	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	603	Ⅲ	Ⅵ2-A5	673	Ⅵ	Ⅵ1~2-A5	743	Ⅵ	Ⅵ2-A4
534	Ⅵ	Ⅵ2~Ⅵ1-A4	604	Ⅲ	Ⅵ2-A5	674	Ⅲ	Ⅵ1~2-A5	744	Ⅳ-1	Ⅵ2-A5

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
745	Ⅵ	Ⅵ 2-A4	815	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	885	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	955	Ⅲ	Ⅵ 2-A5
746	Ⅲ	Ⅲ 2-A4	816	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	886	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A4	956	Ⅲ	Ⅵ 2-A5
747	Ⅵ	Ⅵ 2-A4	817	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	887	-	Ⅵ 1 ~ 2-A4	957	Ⅲ	Ⅵ 2-A5
748	Ⅲ	Ⅵ 2-A4	818	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A	888	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	958	Ⅵ	Ⅵ 2-A5
749	Ⅵ	Ⅵ 2-A4	819	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A	889	-	Ⅵ 1 ~ 2-A4	959	Ⅲ	Ⅵ 2-A5
750	-	Ⅵ 2-A4	820	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A	890	Ⅳ-1	Ⅵ 7-A2	960	Ⅲ	Ⅵ 2-A5
751	Ⅲ-2	Ⅵ 2-A4	821	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A	891	Ⅲ-2	Ⅵ 7-A2	961	Ⅲ	Ⅵ 2-A5
752	Ⅲ-2	Ⅵ 2-A4	822	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A	892	Ⅲ	Ⅵ 1-B	962	-	Ⅵ 2-A5
753	Ⅵ	Ⅵ 2-A4	823	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A	893	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ 1-B	963	Ⅲ	Ⅵ 2-A5
754	-	Ⅵ 2-A4	824	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A	894	Ⅲ	Ⅵ 1-B	964	Ⅲ	Ⅵ 2-A5
755	Ⅲ	Ⅵ 2-A4	825	-	Ⅵ 1 ~ 2-A	895	Ⅵ	Ⅵ 1-B	965	Ⅵ	Ⅵ -D1
756	Ⅵ	Ⅵ 2-A4	826	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A	896	Ⅵ	Ⅵ 1-B	966	Ⅲ	Ⅵ -C1
757	Ⅵ	Ⅵ 2-A4	827	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A	897	Ⅵ	Ⅵ 1-B	967	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ 2-A5
758	Ⅵ	Ⅵ 2-A4	828	-	Ⅵ 1 ~ 2-A	898	Ⅵ	Ⅵ 1-B	968	Ⅵ	Ⅵ 2-A5
759	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ 2-A4	829	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A	899	Ⅵ	Ⅵ 1-B	969	Ⅳ-1	Ⅵ 2-A5
760	Ⅵ	Ⅵ 2-A4	830	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A	900	-	Ⅵ 1-B	970	Ⅲ-2	Ⅵ 2-A5
761	Ⅲ-2	Ⅵ 2-A4	831	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A	901	Ⅵ	Ⅵ 1-B	971	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-C1
762	Ⅵ	Ⅵ 2-A4	832	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A	902	Ⅵ	Ⅵ 1-B	972	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-C1
763	Ⅲ	Ⅵ 2-A4	833	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-C	903	Ⅵ	Ⅵ 2-B	973	V-1	Ⅵ 1 ~ 2-C1
764	Ⅵ	Ⅵ 2-A4	834	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-C	904	Ⅵ	Ⅵ 2-B	974	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-C1
765	Ⅲ-2	Ⅵ 1-A3	835	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-C	905	Ⅵ	Ⅵ 2-B	975	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-C1
766	Ⅲ	Ⅵ 1-A3	836	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-C	906	Ⅵ	Ⅵ 2-B	976	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-C1
767	Ⅲ	Ⅵ 1-A3	837	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-C	907	-	Ⅵ 2-B	977	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-C1
768	Ⅲ-2	Ⅵ 1-A2	838	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A	908	Ⅲ	Ⅵ 2-B	978	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-C1
769	Ⅵ	Ⅵ 1-A3	839	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A	909	Ⅵ	Ⅵ 2-B	979	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-C2
770	Ⅲ	Ⅵ 1-A3	840	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A	910	Ⅵ	Ⅵ 2-B	980	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-C2
771	Ⅵ	Ⅵ 1-A3	841	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A	911	Ⅵ	Ⅵ 2-B	981	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-C2
772	Ⅲ-2	Ⅵ 1-A4	842	-	Ⅵ 1 ~ 2-A	912	Ⅲ	Ⅵ 2-B	982	V-1	Ⅵ 1 ~ 2-C2
773	Ⅲ-2	Ⅵ 1-A4	843	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A	913	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ 2-B	983	V-1	Ⅵ 1 ~ 2-C2
774	Ⅲ	Ⅵ 1-A4	844	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A	914	Ⅵ	Ⅵ 2-B	984	-	Ⅵ 1 ~ 2-C2
775	Ⅵ	Ⅵ 1-A4	845	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A	915	Ⅲ	Ⅵ 2-B	985	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-C2
776	Ⅲ	Ⅵ 1-A4	846	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A	916	Ⅵ	Ⅵ 2-B	986	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-C2
777	Ⅵ	Ⅵ 1-A4	847	-	Ⅵ 1 ~ 2-A	917	Ⅵ	Ⅵ 2-B	987	Ⅲ-2	Ⅵ ~Ⅵ -D2
778	-	Ⅵ 1-A4	848	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A	918	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-B	988	Ⅵ	Ⅵ ~Ⅵ -D2
779	Ⅲ-2	Ⅵ 1-A4	849	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A	919	-	Ⅵ 1 ~ 2-B	989	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-C
780	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	850	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A	920	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-B	990	Ⅲ	Ⅵ 1-C2
781	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	851	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A	921	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-B	991	Ⅲ-2	Ⅵ 2-C2
782	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	852	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A	922	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-B	992	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-C
783	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	853	Ⅲ-2	Ⅵ ~A5	923	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-B	993	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-C
784	-	Ⅵ 1 ~ 2-A4	854	-	Ⅵ 1 ~ 2-A	924	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-B	994	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-C
785	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	855	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	925	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-B	995	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A
786	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	856	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	926	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-B	996	Ⅵ	Ⅵ 2-G
787	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A4	857	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	927	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-B	997	Ⅵ	Ⅵ 2-G
788	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	858	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	928	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-B	998	Ⅵ	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
789	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	859	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	929	-	Ⅵ -B	999	Ⅵ	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
790	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A4	860	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A4	930	Ⅲ	Ⅵ -B	1000	V-1	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
791	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A4	861	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	931	Ⅲ	Ⅵ -B	1001	-	Ⅵ 1-G
792	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	862	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	932	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ -B	1002	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-G
793	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	863	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A4	933	Ⅳ-1	Ⅵ -B	1003	Ⅲ	Ⅵ 2-G
794	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	864	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A4	934	Ⅳ-1	Ⅵ -B	1004	Ⅲ	Ⅵ 2-G
795	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	865	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A4	935	Ⅵ	Ⅵ -B	1005	V-1	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
796	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	866	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A4	936	Ⅲ-2	Ⅵ -B	1006	V-1	Ⅵ 2-G
797	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	867	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	937	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ -B	1007	Ⅵ	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
798	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A4	868	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	938	Ⅳ-1	Ⅵ -B	1008	Ⅵ	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
799	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A4	869	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	939	-	Ⅵ -B	1009	Ⅵ	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
800	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A4	870	-	Ⅵ 1 ~ 2-A4	940	Ⅵ	Ⅵ -B	1010	-	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
801	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A4	871	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	941	-	Ⅵ -B	1011	Ⅵ	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
802	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A4	872	-	Ⅵ 1 ~ 2-A4	942	-	Ⅵ -B	1012	Ⅵ	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
803	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A4	873	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A4	943	Ⅳ-1	Ⅵ -B	1013	Ⅵ	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
804	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	874	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	944	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-B	1014	Ⅵ	Ⅵ 2 ~Ⅵ 1-G
805	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A4	875	-	Ⅵ 1 ~ 2-A4	945	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-B	1015	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-G
806	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	876	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	946	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-B	1016	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-G
807	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	877	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A4	947	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-B	1017	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-G
808	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A4	878	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	948	-	Ⅵ 1 ~ 2-B	1018	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-G
809	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-A4	879	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	949	Ⅲ-2	Ⅵ 1 ~ 2-B	1019	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-G
810	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	880	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	950	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-B	1020	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-G
811	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-A4	881	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	951	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-B	1021	Ⅲ	Ⅵ 1-65
812	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	882	-	Ⅵ 1 ~ 2-A4	952	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-B	1022	-	Ⅵ 1 ~ 2-G
813	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	883	Ⅵ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	953	Ⅲ~Ⅵ	Ⅵ 1-B	1023	-	Ⅵ 1 ~ 2-G
814	-	Ⅵ 1 ~ 2-A4	884	Ⅲ	Ⅵ 1 ~ 2-A4	954	Ⅵ	Ⅵ 1-B	1024	Ⅳ-1	Ⅵ 1 ~ 2-G

番号	層位	分類
1025	III	Ⅷ1-C
1026	VI	Ⅷ1 ~ 2-C3
1027	III	Ⅷ1 ~ 2-C3
1028	III	Ⅷ1-C
1029	III-2	Ⅷ1 ~ 2-G
1030	VI	Ⅷ1-C
1031	-	Ⅷ1 ~ 2-G
1032	-	Ⅷ1 ~ 2-G
1033	IV-1	Ⅷ1 ~ 2-G
1034	IV-1	Ⅷ1-C
1035	VI	Ⅷ1-A5
1036	VI	Ⅷ1-A5
1037	III	Ⅷ1-A5
1038	VI	Ⅷ1-A5
1039	III	Ⅷ1-A5
1040	III ~ VI	Ⅷ1-A5
1041	III	Ⅷ1-A5
1042	III	Ⅷ1-A5
1043	III	Ⅷ1-A5
1044	III	Ⅷ1-A5
1045	IV-1	Ⅷ1-A5
1046	IV-1	Ⅷ1-A4
1047	VI	Ⅷ1-A4
1048	III	Ⅷ1-A5
1049	III-2	Ⅷ1-A5
1050	III-2	Ⅷ1-A5
1051	VI	Ⅷ1-A4
1052	III	Ⅷ1-A4
1053	III-2	Ⅷ3-A5
1054	III-2	Ⅷ3-A5
1055	III-2	Ⅷ3-A5
1056	III-2	Ⅷ3-A5
1057	III-2	Ⅷ3-A5
1058	IV-1	Ⅷ1-A4
1059	VI	Ⅷ1-A5
1060	III	Ⅷ1-A5
1061	VI	Ⅷ1-A5
1062	VI	Ⅷ1-C1
1063	VI	Ⅷ1-A5
1064	VI	Ⅷ1-A5
1065	IV-1	Ⅷ1-A4
1066	III-2	Ⅷ1-A4
1067	VI	Ⅷ1-A4
1068	III	Ⅷ1-A4
1069	III ~ VI	Ⅷ1-A3
1070	III-2	Ⅷ1-A3
1071	III	Ⅷ1-A3
1072	III	Ⅷ1-A3
1073	III	Ⅷ1-A3
1074	III-2	Ⅷ1-A3
1075	III ~ VI	Ⅷ1-A3
1076	III-2	Ⅷ1-A3
1077	III	Ⅷ1-A4
1078	VI	Ⅷ1-A5
1079	III-2	Ⅷ1-A4
1080	VI	Ⅷ1-A3
1081	III	Ⅷ1-A4
1082	III-2	Ⅷ1-A3
1083	III-2	Ⅷ1-A4
1084	III ~ VI	Ⅷ1-A3
1085	III	Ⅷ1-A3
1086	III-2	Ⅷ1-A5
1087	III-2	Ⅷ1-A4
1088	III-2	Ⅷ1-A4
1089	III-2	Ⅷ1-A4
1090	IV-1	Ⅷ1-A4
1091	III-2	Ⅷ1-A4
1092	III	Ⅷ1-A4
1093	IV-1	Ⅷ1-A3
1094	III-2	Ⅷ1-A4

番号	層位	分類
1095	III-2	Ⅷ1-A4
1096	IV-1	Ⅷ1-A4
1097	III-2	Ⅷ1-A3
1098	III-2	Ⅷ1-A4
1099	III-2	Ⅷ1-A3
1100	III-2	Ⅷ1-A3
1101	III-2	Ⅷ1-A3
1102	III-2	Ⅷ1-A4
1103	III-2	Ⅷ1-A4
1104	III-2	Ⅷ1-A3
1105	III-2	Ⅷ1-A4
1106	III-2	Ⅷ1-A4
1107	III-2	Ⅷ1-A4
1108	III-2	Ⅷ1-A4
1109	III-2	Ⅷ1-A4
1110	III-2	Ⅷ1-A5
1111	VI	Ⅷ1-A5
1112	III-2	Ⅷ1-A4
1113	III-2	Ⅷ1-A4
1114	III-2	Ⅷ1-A4
1115	-	Ⅷ1-A4
1116	VI	Ⅷ1-A4
1117	III-2	Ⅷ1-A4
1118	IV-1	Ⅷ1-A4
1119	III-2	Ⅷ1-A4
1120	III-2	Ⅷ1-A4
1121	III-2	Ⅷ1-A4
1122	III	Ⅷ1-A4
1123	-	Ⅷ1-A4
1124	III	Ⅷ1-A5
1125	IV-1	Ⅷ1-A4
1126	III-2	Ⅷ1-A4
1127	III	Ⅷ1-A4
1128	III-2	Ⅷ1-C2
1129	-	Ⅷ1-C2
1130	III	Ⅷ1-F
1131	VI	Ⅷ2-A3
1132	III-2	Ⅷ2-A3
1133	III-2	Ⅷ1-C2
1134	III-2	Ⅷ2-A3
1135	III-2	Ⅷ2-A4
1136	III-2	Ⅷ2-A4
1137	-	Ⅷ2-A4
1138	III-2	Ⅷ2-A4
1139	III-2	Ⅷ2-F
1140	III-2	Ⅷ2-B
1141	III-2	Ⅷ2-B
1142	-	Ⅷ3-A4
1143	VI	Ⅷ3-F
1144	-	Ⅷ3-A4
1145	III	Ⅷ5-A4
1146	IV-1	Ⅷ5-A4
1147	III	Ⅷ5-A4
1148	III-2	Ⅷ6-C1
1149	III-2	Ⅷ5-A4
1150	III	Ⅷ6-C1
1151	III-2	Ⅷ6-C1
1152	III-2	Ⅷ6-C1
1153	III-2	Ⅷ6-C1
1154	III-2	Ⅷ6-C1
1155	III-2	Ⅷ6-C1
1156	-	Ⅷ6-C1
1157	IV-1	Ⅸ2-C2
1158	III	Ⅷ6-C2
1159	III-2	Ⅷ5-A4
1160	III-2	Ⅷ5-A4
1161	III-2	Ⅷ5-A4
1162	III-2	Ⅷ5-A4
1163	IV-1	Ⅷ1-A6
1164	-	Ⅷ1-A6

番号	層位	分類
1165	VI	Ⅷ1-A6
1166	VI	Ⅷ1-A6
1167	-	Ⅷ1-A6
1168	III-2	Ⅷ1-A6
1169	III-2	Ⅷ1-A6
1170	III	Ⅷ1-A6
1171	-	Ⅷ1-A6
1172	VI	Ⅷ1-A6
1173	VI	Ⅷ1-A6
1174	III-2	Ⅷ1-A6
1175	III-2	Ⅷ1-A6
1176	IV-1	Ⅷ1-A6
1177	VI	Ⅷ1-A6
1178	III ~ VI	Ⅷ1-A6
1179	-	Ⅷ1-A6
1180	VI	Ⅷ1-A6
1181	VI	Ⅷ1-A6
1182	III	Ⅷ1-A6
1183	VI	Ⅷ1-A6
1184	III ~ VI	Ⅷ1-A6
1185	III	Ⅷ1-A6
1186	III ~ VI	Ⅷ1-A6
1187	VI	Ⅷ1-A6
1188	III	Ⅷ1-A6
1189	VI	Ⅷ1-A6
1190	VI	Ⅷ1-A6
1191	-	Ⅷ1-A6
1192	III ~ VI	Ⅷ1-A6
1193	-	Ⅷ1-A6
1194	III	Ⅷ1-A6
1195	VI	Ⅷ1-A6
1196	III	Ⅷ1-A6
1197	VI	Ⅷ1-A6
1198	-	Ⅷ1-A6
1199	-	Ⅷ1-A6
1200	-	Ⅷ1-A6
1201	VI	Ⅷ1-A6
1202	VI	Ⅷ1-A6
1203	-	Ⅷ1-A6
1204	VI	Ⅷ1-A6
1205	-	Ⅷ1-A6
1206	-	Ⅷ1-A6
1207	III	Ⅷ1-A6
1208	III	Ⅷ1-B
1209	-	V 4-A7
1210	VI	Ⅷ1-B
1211	-	Ⅷ1-A6
1212	VI	Ⅷ1-A6
1213	VI	Ⅷ1-A6
1214	VI	Ⅷ1-A6
1215	III	Ⅷ1-A6
1216	VI	Ⅷ1-A6
1217	VI	Ⅷ1-A6
1218	VI	Ⅷ1-A6
1219	VI	Ⅷ1-A6
1220	VI	Ⅷ1-A6
1221	VI	Ⅷ1-A6
1222	VI	Ⅷ1-A6
1223	VI	Ⅷ1-A6
1224	VI	Ⅷ1-A6
1225	VI	Ⅷ1-A6
1226	VI	Ⅷ1-A6
1227	III	Ⅷ1-A6
1228	III	Ⅷ1-A6
1229	-	Ⅷ1-A6
1230	-	Ⅷ1-A6
1231	VI	Ⅷ1-A6
1232	III	Ⅷ1-A6
1233	VI	Ⅷ1-A6
1234	VI	Ⅷ1-A6

番号	層位	分類
1235	III	Ⅷ1-A6
1236	III	Ⅷ1-A6
1237	III	Ⅷ1-A6
1238	VI	Ⅷ1-A6
1239	VI	Ⅷ1-A6
1240	VI	Ⅷ1-A6
1241	VI	Ⅷ1-A6
1242	VI	Ⅷ1-A6
1243	VI	Ⅷ1-A6
1244	-	Ⅷ1-A6
1245	VI	Ⅷ1-A6
1246	III ~ VI	Ⅷ1-A6
1247	III	Ⅷ1-A6
1248	VI	Ⅷ1-A6
1249	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1250	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1251	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1252	III	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1253	III	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1254	-	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1255	III	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1256	-	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1257	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1258	III	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1259	III-2	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1260	III	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1261	III	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1262	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1263	-	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1264	III	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1265	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1266	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1267	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1268	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1269	III-2	Ⅷ1 ~ 2-A7
1270	III-2	Ⅷ1 ~ 2-A7
1271	III	Ⅷ1 ~ 2-A7
1272	IV-1	Ⅷ1 ~ 2-A7
1273	III	Ⅷ1 ~ 2-A7
1274	VI	Ⅷ1 ~ 2-A7
1275	VI	Ⅷ1 ~ 2-A7
1276	VI	Ⅷ1 ~ 2-A7
1277	VI	Ⅷ1 ~ 2-A7
1278	III	Ⅷ1 ~ 2-A7
1279	VI	Ⅷ1-A7
1280	IV-1	Ⅷ1-A7
1281	III	Ⅷ1-A7
1282	III	Ⅷ1-A7
1283	III	Ⅷ1-A7
1284	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1285	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1286	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1287	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1288	IV-1	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1289	III	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1290	-	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1291	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1292	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1293	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1294	-	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1295	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1296	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1297	IV-1	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1298	III	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1299	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1300	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1301	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1302	VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1303	III ~ VI	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7
1304	III	Ⅷ2 ~ Ⅷ1-A7

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
1305	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1375	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1445	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1515	VI	VII 1 ~ 2-A7
1306	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1376	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1446	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1516	III	VII 1 ~ 2-A7
1307	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1377	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1447	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1517	IV -1	VII 1 ~ 2-A7
1308	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1378	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1448	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1518	-	VII 1 ~ 2-A7
1309	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1379	III -2	VI 2 ~ VII 1-A7	1449	IV -1	VI 2 ~ VII 1-A7	1519	-	VII 1 ~ 2-A7
1310	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1380	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1450	IV -1	VI 2 ~ VII 1-A7	1520	III	VII 1 ~ 2-A7
1311	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1381	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1451	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1521	VI	VII 1 ~ 2-A7
1312	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1382	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1452	IV -1	VI 2 ~ VII 1-A7	1522	IV -1	VII 1 ~ 2-A7
1313	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1383	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1453	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1523	VI	VII 1 ~ 2-A7
1314	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1384	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1454	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1524	III	VII 1 ~ 2-A7
1315	IV	VI 2 ~ VII 1-A7	1385	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1455	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1525	III -2	VII -A5
1316	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1386	IV -1	VI 1 ~ 2-A7	1456	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1526	III	VII -A5
1317	III -2	VI 2 ~ VII 1-A7	1387	-	VI 1 ~ 2-A7	1457	-	VII 2 ~ VII 1-A7	1527	IV -1	VII -A5
1318	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1388	III	VI 1 ~ 2-A7	1458	III	VII 2 ~ VII 1-A7	1528	III -2	VII -A5
1319	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1389	-	VI 1 ~ 2-A7	1459	VI	VII 2 ~ VII 1-A7	1529	III -2	VII -A5
1320	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1390	III	VI 1 ~ 2-A7	1460	IV -1	VII 2 ~ VII 1-A7	1530	III	VII -A5
1321	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1391	III -2	VI 1 ~ 2-A7	1461	VI	VII 2 ~ VII 1-A7	1531	IV -1	VII -A5
1322	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1392	VI	VI 1 ~ 2-A7	1462	III	VII 2 ~ VII 1-A7	1532	III	VII -A5
1323	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1393	III	VI 1 ~ 2-A7	1463	VI	VII 2 ~ VII 1-A7	1533	VI	VII -A5
1324	IV -1	VI 2 ~ VII 1-A7	1394	III	VI 1 ~ 2-A7	1464	VI	VII 2 ~ VII 1-A7	1534	IV -1	VII -A5
1325	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1395	III	VI 1 ~ 2-A7	1465	III	VII 2 ~ VII 1-A7	1535	III -2	VII -A5
1326	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1396	VI	VI 1 ~ 2-A7	1466	III	VII 2 ~ VII 1-A7	1536	III -2	VII -A5
1327	VI	VI 1-A6	1397	VI	VI 1 ~ 2-A7	1467	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1537	IV -1	VII -A5
1328	VI	VI 1-A6	1398	III	VI 1 ~ 2-A7	1468	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1538	III -2	VII -A5
1329	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1399	-	VI 1 ~ 2-A7	1469	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1539	III -2	VII -A5
1330	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1400	III	VI 1 ~ 2-A7	1470	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1540	III -2	VII -A5
1331	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1401	-	VI 1 ~ 2-A7	1471	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1541	III -2	VII -A5
1332	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1402	III	VI 1 ~ 2-A7	1472	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1542	III -2	VII -A5
1333	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1403	VI	VI 1 ~ 2-A7	1473	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1543	IV -1	VII -A5
1334	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1404	VI	VI 1 ~ 2-A7	1474	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1544	VI	VII -A5
1335	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1405	III	VI 1 ~ 2-A7	1475	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1545	III -2	VII -A5
1336	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1406	III ~ VI	VI 1 ~ 2-A7	1476	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1546	III -2	VII -A5
1337	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1407	III	VI 1 ~ 2-A7	1477	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1547	IV -1	VII -A5
1338	IV -1	VI 2 ~ VII 1-A7	1408	III	VI 1 ~ 2-A7	1478	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1548	III -2	VII -A5
1339	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1409	VI	VI 1 ~ 2-A7	1479	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1549	VI	VII -A5
1340	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1410	VI	VI 1 ~ 2-A7	1480	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1550	VI	VII -A5
1341	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1411	-	VI 1 ~ 2-A7	1481	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1551	VI	VII -A5
1342	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1412	VI	VI 1 ~ 2-A7	1482	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1552	VI	VII -A5
1343	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1413	VI	VI 1 ~ 2-A7	1483	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1553	VI	VII -A5
1344	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1414	VI	VI 1 ~ 2-A7	1484	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1554	III	VII -A5
1345	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1415	IV -1	VI 1 ~ 2-A7	1485	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1555	IV -1	VII -A5
1346	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1416	III	VI 1 ~ 2-A7	1486	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1556	III	VII -A5
1347	-	VI 2 ~ VII 1-A7	1417	III	VI 1 ~ 2-A7	1487	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1557	III	VII -A5
1348	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1418	III	VI 1 ~ 2-A7	1488	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1558	III	VII -A5
1349	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1419	IV -1	VI 1 ~ 2-A7	1489	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1559	VI	VII -A5
1350	IV -1	VI 2 ~ VII 1-A7	1420	VI	VI 1 ~ 2-A7	1490	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1560	VI	VII -A5
1351	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1421	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1491	IV -1	VI 1 ~ 2-A7	1561	-	VII -A5
1352	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1422	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1492	III	VI 1 ~ 2-A7	1562	III -2	VII -A5
1353	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1423	III -2	VI 2 ~ VII 1-A7	1493	VI	VI 1 ~ 2-A7	1563	IV -1	VII -A5
1354	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1424	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1494	III	VI 1 ~ 2-A7	1564	III	VII -A5
1355	IV -1	VI 2 ~ VII 1-A7	1425	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1495	IV -1	VI 1 ~ 2-A7	1565	IV -1	VII -A5
1356	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1426	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1496	IV -1	VI 1 ~ 2-A7	1566	-	VII -A5
1357	III	VII 1 ~ 2-A7	1427	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1497	IV -1	VII 1 ~ 2-A7	1567	VI	VII -A5
1358	VI	VII 1 ~ 2-A7	1428	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1498	VI	VII 1 ~ 2-A7	1568	VI	VII -A5
1359	III	VII 1 ~ 2-A7	1429	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1499	IV -1	VII 1 ~ 2-A7	1569	III ~ VI	VII -A5
1360	-	VII 1 ~ 2-A7	1430	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1500	VI	VII 1 ~ 2-A7	1570	VI	VII -A5
1361	VI	VII 1 ~ 2-A7	1431	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1501	VI	VII 1 ~ 2-A7	1571	III -2	VII -A5
1362	-	VII 1 ~ 2-A7	1432	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1502	VI	VII 1 ~ 2-A7	1572	VI	VII -A5
1363	VI	VII 1 ~ 2-A7	1433	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1503	III	VII 1 ~ 2-A7	1573	III -2	VII -A5
1364	IV -1	VII 1 ~ 2-A7	1434	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1504	VI	VII 1 ~ 2-A7	1574	III	VII -A5
1365	III	VII 1 ~ 2-A7	1435	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1505	IV -1	VII 1 ~ 2-A7	1575	III	VII -A5
1366	-	VII 2 ~ VII 1-A7	1436	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1506	III ~ VI	VII 1 ~ 2-A7	1576	IV -1	VII -A5
1367	III ~ VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1437	IV -1	VI 2 ~ VII 1-A7	1507	-	VII 1 ~ 2-A7	1577	III	VII -A5
1368	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1438	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1508	IV -1	VI 1 ~ 2-A7	1578	III	VII -A5
1369	IV -1	VI 2 ~ VII 1-A7	1439	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1509	III	VII 1 ~ 2-A7	1579	III ~ VI	VII -A5
1370	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1440	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1510	III	VII 1 ~ 2-A7	1580	III -2	VII -A5
1371	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1441	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1511	VI	VI 1 ~ 2-A7	1581	IV -1	VII -A5
1372	III	VI 2 ~ VII 1-A7	1442	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1512	VI	VII 1 ~ 2-A7	1582	III ~ VI	VII -A5
1373	IV -1	VI 2 ~ VII 1-A7	1443	V -1	VI 2 ~ VII 1-A7	1513	III	VII 1 ~ 2-A7	1583	III	VII -A5
1374	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1444	VI	VI 2 ~ VII 1-A7	1514	IV -1	VII 1 ~ 2-A7	1584	IV -1	VII -A5

番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類	番号	層位	分類
1585	VI	Ⅷ-A5	1614	VI	Ⅷ-A2	1643	Ⅲ	Ⅷ-C2	1672	-	X 3
1586	VI	Ⅷ-A6	1615	Ⅲ-2	Ⅷ-A2	1644	VI	Ⅷ-C2	1673	Ⅲ~VI	X 3
1587	Ⅲ-2	Ⅷ-A6	1616	-	Ⅷ-C2	1645	Ⅲ-2	Ⅷ-C2	1674	-	X 3
1588	Ⅲ	Ⅷ-A6	1617	Ⅲ	Ⅷ-C2	1646	Ⅲ	Ⅷ-C2	1675	-	X 3
1589	Ⅲ	Ⅷ-A6	1618	Ⅲ-2	Ⅷ-A5	1647	Ⅲ	Ⅷ-C2	1676	Ⅲ-2	Ⅷ-A2
1590	VI	Ⅷ-A6	1619	VI	Ⅷ-A4	1648	IV-1	Ⅷ-C1	1677	-	Ⅷ-A2
1591	-	Ⅷ-A6	1620	Ⅲ-2	Ⅷ-A4	1649	Ⅲ-2	Ⅷ-C1	1678	VI	Ⅷ-A2
1592	VI	Ⅷ-A6	1621	Ⅲ-2	Ⅷ-A5	1650	VI	Ⅷ-C1	1679	Ⅲ	Ⅷ-A2
1593	VI	Ⅷ-A6	1622	Ⅲ-2	Ⅷ-A5	1651	VI	Ⅷ-C2	1680	Ⅲ	Ⅷ-A2
1594	IV-1	Ⅷ-A6	1623	Ⅲ-2	Ⅷ-A4	1652	Ⅲ	Ⅷ-C1	1681	-	Ⅷ-A2
1595	VI	Ⅷ-A6	1624	Ⅲ-2	Ⅷ-F	1653	Ⅲ	Ⅷ-C2	1682	Ⅲ	Ⅷ-A2
1596	IV-1	Ⅷ-A6	1625	Ⅲ-2	Ⅷ-F	1654	Ⅲ-2	Ⅷ-C2	1683	Ⅲ	Ⅷ-A2
1597	Ⅲ-2	Ⅷ-A6	1626	Ⅲ-2	Ⅷ-A4	1655	VI	X 3	1684	Ⅲ	Ⅷ-A2
1598	VI	Ⅷ-A6	1627	Ⅲ-2	Ⅷ-A5	1656	VI	X 3	1685	Ⅲ-2	Ⅷ-A2
1599	Ⅲ	Ⅷ-A6	1628	Ⅲ-2	Ⅷ-A4	1657	VI	X 3	1686	VI	Ⅷ-A2
1600	IV-1	Ⅷ-A6	1629	Ⅲ-2	Ⅷ-A5	1658	VI	X 3	1687	VI	Ⅷ-A2
1601	Ⅲ	Ⅷ-A6	1630	Ⅲ-2	Ⅷ-A5	1659	Ⅲ-2	X 3	1688	VI	Ⅷ-A2
1602	Ⅲ	Ⅷ-A6	1631	Ⅲ-2	Ⅷ-A5	1660	Ⅲ-2	X 3	1689	VI	Ⅷ-A2
1603	IV-1	Ⅷ-A6	1632	Ⅲ-2	Ⅷ-A4	1661	Ⅲ-2	X 3	1690	Ⅲ	Ⅷ-A2
1604	Ⅲ	Ⅷ-A6	1633	IV-1	Ⅷ-A4	1662	Ⅲ-2	X 3	1691	VI	Ⅷ-A2
1605	VI	Ⅷ-A6	1634	Ⅲ-2	Ⅷ-C1	1663	VI	X 3	1692	Ⅲ	Ⅷ-A2
1606	Ⅲ	Ⅷ-A6	1635	Ⅲ-2	Ⅷ-C2	1664	VI	X 3	1693	-	Ⅷ-A2
1607	Ⅲ	Ⅷ-A6	1636	Ⅲ-2	Ⅷ-C1	1665	Ⅲ	X 3	1694	VI	Ⅷ-A2
1608	IV-1	Ⅷ-A6	1637	Ⅲ	Ⅷ-C1	1666	VI	X 3	1695	Ⅲ	Ⅷ-A2
1609	VI	Ⅷ-A6	1638	VI	Ⅷ-C1	1667	IV-1	X 3	1696	VI	Ⅷ-A2
1610	IV-1	Ⅷ-A6	1639	VI	Ⅷ-A2	1668	VI	X 3	1697	Ⅲ-2	弥生
1611	Ⅲ-2	Ⅷ-A6	1640	VI	Ⅷ-A6	1669	-	X 3	1698	Ⅲ-2	弥生
1612	Ⅲ	Ⅷ-A2	1641	Ⅲ-2	Ⅷ-A2	1670	VI	X 3			
1613	VI	Ⅷ-A2	1642	-	Ⅷ-C2	1671	VI	X 3			

第127表 B区出土土製品観察表 (第863図、第873図、第874図)

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ
1699	Ⅲ-1	土製品	[2.3]	[6.5]	-	1927	VI	土俵	[5.4]	[7.0]	[3.5]
1700	Ⅲ-1	土版	[6.1]	[5.9]	2.4	1928	VI	土俵	[5.7]	[9.6]	[2.2]
1701	VI	土製品	[4.0]	[8.2]	-	1929	Ⅲ~VI	土俵	[6.7]	[5.2]	[2.6]
1702	-	土製品	(10.0)	(10.1)	-	1930	Ⅲ	土俵	[5.0]	[4.1]	[2.0]
1703	VI	ミニチュア	5.4	7.5	-	1931	Ⅲ	土俵	[5.8]	[5.5]	[2.9]
1704	VI	ミニチュア	2.5	4.0	-	1932	VI	土俵	[3.1]	[3.5]	[2.3]
1705	VI	ミニチュア	[3.3]	[5.6]	-	1933	Ⅲ	土俵	[7.2]	[4.0]	[2.8]
1706	Ⅲ	ミニチュア	3.8	8.0	-	1934	V	土俵	[3.9]	[3.8]	[2.2]
1707	VI	ミニチュア	3.4	4.9	-	1935	-	土俵	[6.4]	[4.0]	[3.4]
1708	VI	ミニチュア	1.8	2.3	-	1936	-	土俵	[8.5]	[7.1]	2.4
1709	VI	ミニチュア	1.3	2.4	-	1937	VI	土俵	[8.5]	[8.1]	4.3
1710	IV	ミニチュア	[3.2]	[4.2]	-	1938	Ⅲ	土俵	[4.9]	[3.4]	[3.5]
1711	VI	ミニチュア	4.9	3.7	-	1939	Ⅲ	土俵	[6.8]	[3.3]	[2.3]
1712	VI	ミニチュア	1.4	3.3	-	1940	IV	土俵	[4.7]	[2.3]	[2.5]
1713	-	土製均玉	[1.3]	[0.5]	-	1941	Ⅲ	土俵	[4.2]	[3.1]	[2.2]
1714	-	土製陶輪	[11.0]	[1.5]	-						

第128表 B区出土土製円盤観察表 (第864図~第867図)

番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類
1715	VI	4.8	25.9	Ⅱ-Aア	1738	VI	4.0	12.6	I-Bウ	1761	VI	4.6	28.9	Ⅱ-Aア
1716	Ⅲ-2	4.8	13.5	I-Bイ	1739	VI	3.0	8.9	I-Bウ	1762	VI	7.0	53.8	Ⅱ-Aア
1717	VI	5.1	27.4	Ⅱ-Aイ	1740	VI	4.6	13.8	I-Bウ	1763	VI	8.2	78.4	Ⅱ-Aア
1718	VI	3.6	19.1	Ⅱ-Aイ	1741	VI	4.0	13.7	I-Bウ	1764	Ⅲ	6.6	47.3	Ⅱ-Aア
1719	Ⅲ	3.4	19.6	Ⅱ-Aイ	1742	VI	5.4	21.3	I-Bウ	1765	VI	5.0	35.0	Ⅱ-Aア
1720	Ⅲ	4.6	20.8	Ⅱ-Aイ	1743	Ⅲ-2	4.6	26.5	I-Bウ	1766	Ⅲ	6.2	41.3	Ⅱ-Aア
1721	-	4.4	21.9	Ⅱ-Bイ	1744	VI	3.8	22.2	I-Bウ	1767	VI	5.6	32.7	Ⅱ-Aア
1722	-	6.4	51.7	Ⅱ-Aイ	1745	-	5.0	13.9	I-Bウ	1768	VI	6.4	39.7	Ⅱ-Aア
1723	VI	4.6	22.0	Ⅱ-Aウ	1746	IV-1	3.8	16.4	I-Bウ	1769	-	5.0	27.3	Ⅱ-Aア
1724	Ⅲ	4.4	22.1	Ⅱ-Aウ	1747	Ⅲ	3.6	17.1	I-Bウ	1770	VI	5.0	32.7	Ⅱ-Aア
1725	VI	3.5	16.2	Ⅱ-Aウ	1748	VI	3.8	13.9	I-Bウ	1771	VI	4.6	19.8	Ⅱ-Aイ
1726	Ⅲ	3.6	17.6	Ⅱ-Aア	1749	Ⅲ-2	3.0	8.5	I-Bウ	1772	Ⅲ	5.0	21.2	Ⅱ-Aイ
1727	-	4.2	19.8	Ⅱ-Aウ	1750	VI	2.8	6.7	I-Bウ	1773	V-1	5.4	35.5	Ⅱ-Aイ
1728	VI	3.4	14.3	Ⅱ-Aエ	1751	Ⅲ-2	3.4	7.6	I-Bウ	1774	VI	5.6	29.0	Ⅱ-Aイ
1729	Ⅲ	4.2	14.3	Ⅱ-Bイ	1752	Ⅲ-2	3.8	26.0	I-Bウ	1775	Ⅲ	4.2	26.4	Ⅱ-Aイ
1730	Ⅲ	4.2	21.0	I-Bウ	1753	IV-1	5.0	34.4	I-Bウ	1776	VI	4.2	23.7	Ⅱ-Aイ
1731	VI	5.4	23.4	I-Bウ	1754	IV-1	3.8	33.7	I-Bウ	1777	VI	4.8	19.7	Ⅱ-Aイ
1732	Ⅲ-2	4.4	18.2	I-Bウ	1755	-	5.0	21.7	Ⅱ-Aア	1778	-	4.6	18.3	Ⅱ-Aイ
1733	-	4.0	15.1	I-Bウ	1756	-	4.6	19.4	Ⅱ-Aイ	1779	VI	4.8	26.3	Ⅱ-Aイ
1734	VI	4.0	15.1	I-Bウ	1757	VI	8.0	57.0	Ⅱ-Aア	1780	VI	6.8	35.6	Ⅱ-Aイ
1735	VI	4.2	15.3	I-Bウ	1758	Ⅲ-2	7.0	51.5	Ⅱ-Aア	1781	Ⅲ	4.2	24.2	Ⅱ-Aイ
1736	VI	4.0	20.0	I-Bウ	1759	-	4.2	28.1	Ⅱ-Aア	1782	VI	6.0	35.9	Ⅱ-Aイ
1737	Ⅲ	4.4	18.6	I-Bウ	1760	-	7.2	47.9	Ⅱ-Aア	1783	VI	6.4	28.0	Ⅱ-Aイ

番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類	番号	層位	最大径	重量	分類
1784	Ⅲ	6.8	54.3	Ⅱ-ア-イ	1806	Ⅲ	6.8	29.7	Ⅱ-ア-イ	1828	Ⅲ	4.2	18.2	Ⅱ-ア-ウ
1785	-	6.0	43.4	Ⅱ-ア-イ	1807	-	5.6	32.5	Ⅱ-ア-イ	1829	-	5.0	23.0	Ⅱ-ア-ウ
1786	Ⅵ	5.6	42.3	Ⅱ-ア-イ	1808	Ⅲ	4.0	27.5	Ⅱ-ア-イ	1830	Ⅵ	5.0	23.4	Ⅱ-ア-エ
1787	-	5.2	27.6	Ⅱ-ア-イ	1809	Ⅲ	6.6	47.4	Ⅱ-ア-イ	1831	Ⅵ	5.2	31.4	Ⅱ-ア-ウ
1788	Ⅵ	5.0	26.3	Ⅱ-ア-イ	1810	-	6.0	45.3	Ⅱ-ア-イ	1832	-	4.8	19.0	Ⅱ-ア-ウ
1789	Ⅲ	5.4	26.5	Ⅱ-ア-イ	1811	Ⅵ	5.0	32.7	Ⅱ-ア-イ	1833	Ⅵ	4.8	21.2	Ⅱ-ア-ウ
1790	Ⅲ	5.8	44.0	Ⅱ-ア-イ	1812	Ⅵ	5.0	27.2	Ⅱ-ア-ウ	1834	-	4.4	18.2	Ⅱ-ア-イ
1791	Ⅵ	4.8	32.6	Ⅱ-ア-イ	1813	Ⅵ	5.8	26.6	Ⅱ-ア-ウ	1835	Ⅵ	4.4	20.3	Ⅱ-ア-ウ
1792	Ⅵ	6.0	39.2	Ⅱ-ア-イ	1814	Ⅵ	5.6	31.1	Ⅱ-ア-ウ	1836	Ⅵ	6.8	32.6	Ⅱ-ア-エ
1793	Ⅵ	6.0	38.0	Ⅱ-ア-イ	1815	-	5.4	35.3	Ⅱ-ア-イ	1837	-	5.4	29.1	Ⅱ-ア-エ
1794	-	5.2	33.0	Ⅱ-ア-イ	1816	-	5.8	23.9	Ⅱ-ア-ウ	1838	Ⅵ	4.2	19.0	Ⅱ-ア-エ
1795	Ⅲ	5.0	28.3	Ⅱ-ア-イ	1817	Ⅲ	6.8	52.3	Ⅱ-ア-ウ	1839	Ⅲ	5.2	27.5	Ⅱ-ア-ウ
1796	Ⅵ	7.0	48.1	Ⅱ-ア-イ	1818	Ⅲ	4.0	15.6	Ⅱ-ア-イ	1840	Ⅳ-1	5.8	35.0	Ⅰ-ア-イ
1797	Ⅲ	7.2	61.3	Ⅱ-ア-イ	1819	-	4.4	20.3	Ⅱ-ア-ウ	1841	Ⅵ	5.4	22.7	Ⅰ-ア-イ
1798	Ⅵ	4.0	16.4	Ⅱ-ア-イ	1820	Ⅲ	4.2	20.5	Ⅰ-ア-ウ	1842	-	6.6	40.1	Ⅰ-ア-イ
1799	Ⅵ	4.0	18.2	Ⅱ-ア-イ	1821	Ⅵ	5.8	29.6	Ⅱ-ア-ウ	1843	-	4.4	18.5	Ⅰ-ア-イ
1800	Ⅲ	6.0	35.0	Ⅱ-ア-イ	1822	Ⅲ	6.0	35.3	Ⅱ-ア-ウ	1844	Ⅵ	4.4	22.1	Ⅱ-ア-イ
1801	Ⅵ	7.2	49.1	Ⅱ-ア-イ	1823	-	5.6	29.2	Ⅱ-ア-ウ	1845	Ⅲ	4.6	17.3	Ⅰ-ア-イ
1802	Ⅲ	4.8	24.6	Ⅱ-ア-イ	1824	-	5.8	29.5	Ⅱ-ア-ウ	1846	Ⅲ-Ⅵ	4.8	22.6	Ⅰ-ア-イ
1803	Ⅵ	5.4	35.3	Ⅱ-ア-イ	1825	Ⅵ	5.6	29.5	Ⅱ-ア-ウ	1847	Ⅵ	5.4	28.6	Ⅰ-ア-ウ
1804	Ⅲ	5.2	32.6	Ⅱ-ア-イ	1826	-	5.8	29.0	Ⅱ-ア-ウ	1848	Ⅲ	4.4	24.8	Ⅰ-ア-ウ
1805	Ⅵ	5.6	34.9	Ⅱ-ア-イ	1827	Ⅲ	4.8	27.9	Ⅱ-ア-ウ					

第129表 B区出土土師器観察表(第868～第872区)

番号	層位	径 1	径 2	高さ	重量	分類	番号	層位	径 1	径 2	高さ	重量	分類
1849	Ⅵ	2.7	2.5	(2.3)	21.1	Ⅰ-ア-ア	1888	Ⅵ	(7.6)	(7.4)	2.3	10.3	Ⅲ-ア-イ
1850	-	2.2	1.9	(1.8)	9.9	Ⅰ-ア-ア	1889	Ⅵ	(7.6)	(7.4)	2.3	7.9	Ⅲ-ア-イ
1851	Ⅵ	3.2	-	1.5	2.7	Ⅰ-ア-ア	1890	Ⅵ	(7.0)	(6.8)	2.3	7.3	Ⅲ-ア-ア
1852	Ⅳ-1	3.2	3.0	1.6	19.0	Ⅰ-ア-ア	1891	Ⅵ	6.0	5.8	1.9	52.6	Ⅲ-ア-ア
1853	Ⅵ	3.8	3.7	2.2	29.0	Ⅲ-ア-ア	1892	Ⅲ	(5.8)	(5.5)	(2.0)	5.2	Ⅲ-ア-ア
1854	Ⅲ	3.5	-	1.7	18.9	Ⅲ-ア-ア	1893	Ⅵ	(6.1)	(5.9)	2.0	15.8	Ⅲ-ア-ア
1855	-	(5.2)	(4.8)	2.3	36.2	Ⅲ-ア-ア	1894	Ⅵ	(6.8)	(6.6)	1.8	7.8	Ⅲ-ア-ア
1856	Ⅵ	(7.1)	(6.9)	2.1	14.5	Ⅲ-ア-ア	1895	Ⅲ	(6.1)	(5.9)	2.0	10.7	Ⅲ-ア-ア
1857	Ⅵ	1.7	1.6	1.6	4.1	Ⅲ-ア-イ	1896	-	(7.6)	(7.0)	2.3	12.4	Ⅲ-ア-ア
1858	Ⅵ	2.1	1.9	1.5	4.5	Ⅲ-ア-イ	1897	Ⅳ-1	(5.3)	(5.0)	1.8	5.9	Ⅲ-ア-ア
1859	Ⅵ	3.2	2.9	2.5	17.2	Ⅲ-ア-イ	1898	Ⅵ	(7.0)	(6.8)	2.1	12.3	Ⅲ-ア-ア
1860	Ⅵ	7.6	7.3	2.3	42.9	Ⅲ-ア-ア	1899	Ⅵ	(7.0)	(6.8)	2.2	6.6	Ⅲ-ア-ア
1861	Ⅵ	(7.0)	(6.8)	1.7	17.2	Ⅲ-ア-ア	1900	-	(5.8)	(5.5)	(2.0)	5.2	Ⅲ-ア-ア
1862	Ⅲ	(7.4)	(7.0)	2.3	24.9	Ⅲ-ア-ア	1901	-	(7.9)	(7.5)	2.3	27.8	Ⅲ-ア-イ
1863	Ⅵ	(8.0)	(7.7)	2.2	22.9	Ⅲ-ア-ア	1902	-	(7.0)	(6.5)	2.1	7.1	Ⅲ-ア-イ
1864	Ⅵ	(6.8)	(6.7)	2.1	23.0	Ⅲ-ア-ア	1903	Ⅵ	(6.6)	-	1.8	8.4	Ⅲ-ア-イ
1865	Ⅵ	(6.0)	(5.8)	1.6	8.3	Ⅲ-ア-ア	1904	Ⅵ	(7.6)	(7.5)	1.8	7.6	Ⅲ-ア-イ
1866	Ⅲ-Ⅵ	(5.6)	(5.3)	1.9	17.8	Ⅲ-ア-ア	1905	Ⅵ	(7.2)	(6.3)	2.1	6.3	Ⅲ-ア-イ
1867	Ⅵ	7.6	7.4	1.9	7.5	Ⅲ-ア-ア	1906	Ⅵ	(7.4)	(7.2)	2.2	9.4	Ⅲ-ア-イ
1868	Ⅵ	6.8	-	2.5	17.9	Ⅲ-ア-ア	1907	Ⅵ	(6.8)	(6.7)	1.8	8.1	Ⅲ-ア-イ
1869	Ⅵ	(7.4)	(7.1)	2.2	12.2	Ⅲ-ア-ア	1908	Ⅵ	(7.0)	(6.6)	2.1	12.2	Ⅲ-ア-イ
1870	Ⅵ	(5.8)	-	1.7	6.2	Ⅲ-ア-ア	1909	Ⅵ	(7.2)	(7.1)	1.7	7.3	Ⅲ-ア-イ
1871	Ⅵ	(6.6)	-	1.8	13.2	Ⅲ-ア-ア	1910	Ⅲ	(6.8)	(6.5)	1.9	22.8	Ⅲ-ア-イ
1872	-	(7.8)	(7.3)	2.3	10.8	Ⅲ-ア-ア	1911	Ⅵ	(7.0)	(6.6)	2.0	9.3	Ⅲ-ア-イ
1873	Ⅵ	(7.8)	(7.4)	2.3	14.7	Ⅲ-ア-イ	1912	Ⅵ	(6.0)	(5.6)	1.5	15.2	Ⅲ-ア-イ
1874	Ⅵ	(7.4)	6.4	1.7	11.2	Ⅲ-ア-イ	1913	Ⅵ	(7.5)	(6.9)	2.0	9.3	Ⅲ-ア-イ
1875	Ⅵ	(7.0)	(6.4)	2.2	12.0	Ⅲ-ア-イ	1914	Ⅳ-1	(7.0)	(6.7)	2.4	20.8	Ⅲ-ア-イ
1876	Ⅵ	(7.0)	(6.5)	2.4	10.2	Ⅲ-ア-イ	1915	Ⅵ	6.4	6.1	1.8	38.1	Ⅳ-A
1877	Ⅵ	(7.0)	(6.7)	2.0	6.5	Ⅲ-ア-イ	1916	Ⅵ	1.6	-	1.5	4.4	Ⅳ-A
1878	-	(5.0)	(4.8)	1.6	10.6	Ⅲ-ア-イ	1917	Ⅲ	1.9	1.7	1.6	2.4	Ⅳ-A
1879	Ⅵ	(4.1)	-	1.5	22.9	Ⅲ-ア-イ	1918	Ⅵ	2.6	2.5	1.8	12.7	Ⅳ-B
1880	Ⅲ	(4.0)	(3.5)	1.3	7.0	Ⅲ-ア-ア	1919	Ⅵ	3.5	2.9	1.6	9.0	Ⅳ-B
1881	Ⅵ	(6.0)	(5.7)	2.7	7.5	Ⅲ-ア-ア	1920	Ⅲ	3.8	3.2	1.8	8.4	Ⅳ-B
1882	Ⅵ	(5.0)	(4.7)	2.1	4.0	Ⅲ-ア-ア	1921	-	3.6	3.3	1.6	6.5	Ⅳ-B
1883	Ⅲ	(7.0)	(6.5)	2.3	8.1	Ⅲ-ア-イ	1922	-	(3.6)	(2.8)	(1.6)	5.9	Ⅳ-B
1884	Ⅵ	(6.1)	(5.8)	2.4	9.1	Ⅲ-ア-イ	1923	Ⅲ-2	(3.6)	(3.0)	1.6	3.9	Ⅳ-B
1885	Ⅵ	(4.6)	(4.3)	1.7	3.7	Ⅲ-ア-イ	1924	Ⅲ	(6.0)	(5.8)	2.2	33.7	Ⅳ-B
1886	Ⅵ	(7.8)	(7.4)	2.3	16.2	Ⅲ-ア-イ	1925	Ⅵ	(5.4)	(5.0)	2.2	9.5	Ⅳ-B
1887	Ⅲ	(6.4)	(6.0)	1.9	4.9	Ⅲ-ア-イ	1926	Ⅵ	(7.0)	(6.8)	2.4	28.6	Ⅳ-B

第130表 B区出土石器観察表(第875～第886区)

番号	層位	器種	石材	長さ	幅	厚さ	重量	
1942	-	尖頭器	Ⅰ	那曜石	[3.8]	2.0	0.6	3.4
1943	-	石鏃	Ⅰ	チャート	2.4	1.7	0.4	1.3
1944	-	石鏃	Ⅱ	那曜石	2.2	1.1	0.4	0.5
1945	-	石鏃	Ⅱ	チャート	3.6	1.9	0.6	2.4
1946	-	石鏃	Ⅱ	チャート	3.9	2.1	0.5	2.0
1947	Ⅲ-2	石鏃	Ⅱ	チャート	4.3	1.6	0.5	2.7
1948	-	石鏃	Ⅱ	頁岩	[2.5]	1.4	0.6	1.2

番号	層位	器種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
1949	-	石鏝	II	チャート	[3.7]	[1.7]	0.5	2.7
1950	III	石鏝	II	チャート	[1.4]	1.6	0.4	0.8
1951	-	石鏝	I	チャート	[2.5]	1.9	0.9	2.7
1952	VI	石鏝	II	チャート	3.9	1.6	1.0	4.0
1953	III	石鏝	II	チャート	3.1	1.4	0.8	3.6
1954	-	石鏝	II	チャート	1.6	0.8	0.3	0.4
1955	-	スクレイパー	I	黒曜石	1.9	1.7	0.5	1.0
1956	VI	スクレイパー	I	チャート	6.4	3.1	2.0	32.4
1957	-	スクレイパー	I	チャート	3.4	1.7	1.3	6.2
1958	III-2	スクレイパー	I	チャート	[6.4]	6.8	2.0	66.6
1959	III	スクレイパー	I	頁岩	3.8	[4.3]	1.1	19.8
1960	VI	スクレイパー	I	チャート	[3.2]	[2.4]	1.2	8.1
1961	-	スクレイパー	II	頁岩	3.6	6.7	0.9	18.6
1962	-	スクレイパー	II	チャート	2.7	3.3	0.9	7.1
1963	VI	スクレイパー	II	チャート	2.7	4.3	1.0	15.2
1964	IV-1	スクレイパー	II	チャート	4.0	4.2	1.5	20.7
1965	-	二次加工刮片	-	黒曜石	5.3	1.9	1.5	11.0
1966	VI	二次加工刮片	-	チャート	6.0	2.5	1.3	11.3
1967	-	二次加工刮片	-	頁岩	[10.1]	3.3	2.6	50.9
1968	-	二次加工刮片	-	黒曜石	2.0	1.8	0.5	1.0
1969	V-1	二次加工刮片	-	黒曜石	2.3	1.8	0.7	1.9
1970	VI	二次加工刮片	-	黒曜石	2.8	2.4	1.1	5.6
1971	-	二次加工刮片	-	チャート	2.5	2.2	0.6	2.7
1972	-	二次加工刮片	-	頁岩	4.0	4.6	1.8	32.1
1973	-	二次加工刮片	-	チャート	4.5	5.1	1.4	30.8
1974	III	二次加工刮片	-	チャート	2.1	2.7	0.9	5.4
1975	VI	二次加工刮片	-	頁岩	1.6	2.1	0.5	1.7
1976	VI	二次加工刮片	-	チャート	3.9	3.3	1.6	18.4
1977	III	二次加工刮片	-	チャート	2.3	2.6	1.5	9.2
1978	III	二次加工刮片	-	チャート	[2.0]	1.5	0.6	1.1
1979	III	打製石斧	I	砂岩	[11.4]	[7.4]	2.1	164.0
1980	III-2	打製石斧	II	頁岩	16.3	9.8	2.6	371.2
1981	-	打製石斧	II	頁岩	6.1	5.6	2.3	81.9
1982	IV-1	打製石斧	II	頁岩	9.2	5.8	3.6	193.8
1983	III-2	打製石斧	-	頁岩	9.8	6.6	3.8	264.3
1984	-	打製石斧	-	緑泥片岩	[8.4]	5.5	1.8	98.4
1985	III	打製石斧	-	緑泥片岩	[18.8]	[8.9]	2.0	458.4
1986	III	打製石斧	-	緑泥片岩	[15.5]	[6.0]	1.8	210.0
1987	III	打製石斧	-	頁岩	[10.4]	6.2	2.7	212.1
1988	III-2	打製石斧	-	緑色岩	[7.5]	5.0	2.1	120.7
1989	III~VI	打製石斧	-	砂岩	[6.0]	[6.2]	1.4	51.1
1990	III~VI	打製石斧	-	ホルンフェルス	[5.5]	[5.6]	2.7	92.8
1991	III~VI	打製石斧	-	砂岩	[9.2]	8.4	3.3	324.9
1992	III-2	礮器	III	頁岩	4.9	6.4	2.5	110.2
1993	VI	磨製石斧	I	安山岩	[6.7]	[5.3]	3.2	108.9
1994	III	磨製石斧	I	蛇紋岩	[2.4]	3.0	1.3	11.2
1995	III	磨製石斧	-	頁岩	[2.7]	4.2	1.1	15.0
1996	IV-1	磨製石斧	-	頁岩	[4.3]	[3.3]	[1.2]	12.6
1997	-	磨製石斧	-	蛇紋岩	[3.4]	[1.8]	1.1	8.8
1998	III	礮状石斧	-	砂岩	外径 [10.2]	内径 [3.2]	1.8	22.0
1999	III-2	礮石	I	緑色岩	[6.8]	6.3	3.2	190.3
2000	VI	礮石	I	緑色岩	[5.5]	5.4	4.2	166.5
2001	-	礮石	I	安山岩	[4.6]	[4.4]	3.9	92.4
2002	-	礮石	I	安山岩	[5.9]	4.1	3.3	120.8
2003	-	礮石	I	安山岩	[5.3]	4.4	[2.7]	56.9
2004	III-2	礮石	I	緑色岩	[5.0]	2.8	[2.3]	52.9
2005	III-2	礮石	I	砂岩	[8.8]	4.0	2.8	130.3
2006	III-2	礮石	II	安山岩	6.4	3.8	2.4	81.9
2007	III-2	礮石	II	チャート	5.3	4.3	2.8	83.4
2008	VI	礮石	-	頁岩	6.9	7.2	3.9	221.0
2009	III	回石	I	安山岩	7.3	5.6	4.2	257.4
2010	-	回石	I	安山岩	[5.7]	8.4	4.5	286.7
2011	-	回石	III	砂岩	6.7	5.2	4.3	181.2
2012	III	磨石	I	安山岩	6.6	6.7	5.7	363.2
2013	VI	磨石	I	安山岩	5.9	5.4	3.1	150.0
2014	III~VI	磨石	I	安山岩	6.1	6.5	4.4	227.9
2015	III	磨石	I	安山岩	[5.1]	7.8	4.8	274.1
2016	III	磨石	I	安山岩	[4.5]	7.0	4.7	186.7
2017	-	磨石	I	安山岩	[4.6]	[5.3]	5.1	182.4
2018	III	磨石	I	安山岩	[6.8]	5.8	3.5	213.3

番号	届位	器種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
2019	-	磨石	I	閃緑岩	[5.3]	[4.8]	3.9	161.4
2020	III~VI	磨石	I	安山岩	5.4	4.8	3.6	125.6
2021	III	磨石	I	閃緑岩	15.0	7.8	5.7	917.4
2022	IV-1	磨石	I	安山岩	[8.0]	6.7	3.2	226.0
2023	III~VI	磨石	I	砂岩	[8.8]	6.5	3.4	232.3
2024	III~VI	磨石	I	安山岩	4.8	4.5	3.6	29.0
2025	-	磨石	I	安山岩	[13.8]	7.6	7.2	657.3
2026	VI	磨石	I	安山岩	7.9	5.5	4.5	131.4
2027	III-2	磨石	I	安山岩	6.4	6.7	3.2	101.2
2028	IV-1	磨石	I	安山岩	[6.9]	6.0	4.5	119.9
2029	-	磨石	II	安山岩	7.1	6.3	3.9	284.9
2030	III~VI	磨石	II	安山岩	7.7	7.3	3.3	299.8
2031	III	磨石	II	安山岩	6.3	5.0	3.3	162.0
2032	III-2	磨石	II	安山岩	6.7	6.7	4.3	277.3
2033	III~VI	磨石	II	安山岩	7.1	7.4	5.2	444.6
2034	III	磨石	II	安山岩	8.9	7.4	4.5	394.6
2035	III-2	磨石	II	閃緑岩	[7.2]	5.9	3.6	243.7
2036	III	磨石	II	安山岩	[5.8]	5.5	4.2	182.9
2037	III	磨石	II	砂岩	[4.8]	5.7	3.9	137.4
2038	III	磨石	II	安山岩	5.8	5.4	4.2	191.0
2039	III	磨石	II	砂岩	[4.8]	8.0	4.2	261.8
2040	III	磨石	II	安山岩	[5.6]	4.7	4.4	151.5
2041	III-2	磨石	II	安山岩	[11.1]	[11.7]	5.3	783.6
2042	III~VI	磨石	II	安山岩	[11.7]	[7.7]	6.0	527.1
2043	III-2	磨石	II	安山岩	[7.8]	6.1	4.5	229.6
2044	-	磨石	II	閃緑岩	[7.0]	6.8	5.7	381.1
2045	-	磨石	II	安山岩	[12.7]	9.5	5.6	1074.6
2046	-	磨石	II	頁岩	[10.0]	[7.4]	5.1	430.0
2047	III~VI	磨石	II	安山岩	8.1	6.7	4.4	286.7
2048	III-2	磨石	II	安山岩	9.3	7.2	3.8	164.8
2049	-	石皿	II	安山岩	[11.5]	16.7	5.1	1191.8
2050	-	石皿	II	安山岩	[14.5]	[8.4]	5.7	679.5
2051	-	石皿	II	安山岩	[10.1]	[6.9]	4.2	281.2
2052	VI	石皿	II	安山岩	[10.4]	[6.9]	5.0	206.4
2053	III	石皿	II	緑泥片岩	[10.4]	[11.9]	2.4	344.2
2054	III	石皿	II	緑泥片岩	[18.4]	[11.5]	2.5	701.3
2055	III	石皿	III	安山岩	[13.5]	[11.3]	4.6	818.9
2056	III	石皿	III	安山岩	[10.8]	[9.2]	5.5	598.4
2057	III-2	石皿	III	安山岩	[11.4]	[10.0]	5.5	508.0
2058	-	石皿	III	安山岩	[7.3]	[9.8]	4.2	253.3
2059	III	石皿	III	安山岩	[10.6]	[7.1]	6.2	691.3
2060	VI	石皿	III	緑泥片岩	[20.5]	[11.2]	[1.5]	467.2
2061	III~VI	砥石	I	砂岩	4.0	5.8	3.0	71.1
2062	IV	砥石	I	砂岩	5.3	4.5	2.4	62.0
2063	VI	砥石	II	砂岩	[6.7]	4.9	0.7	27.8
2064	III-2	砥石	II	砂岩	[4.7]	4.7	1.5	34.5
2065	-	砥石	II	砂岩	[5.3]	4.9	1.2	36.9
2066	IV-1	砥石	II	安山岩	[7.7]	[5.4]	1.6	73.6
2067	-	砥石	III	砂岩	[5.7]	[4.8]	1.2	47.9
2068	-	砥石	III	砂岩	[1.7]	2.2	1.7	8.3
2069	III	砥石	III	砂岩	[4.1]	3.7	1.1	20.6
2070	-	砥石	III	砂岩	[4.2]	[2.8]	0.7	10.2
2071	IV-1	砥石	III	安山岩	[6.2]	[6.4]	3.4	110.1
2072	VI	砥石	III	砂岩	[2.2]	3.0	1.3	12.3
2073	III-2	石鏝	I	緑泥片岩	5.4	2.7	0.9	21.8
2074	VI	石鏝	I	軽石	3.6	2.2	2.1	12.9
2075	VI	石鏝	I	安山岩	6.1	5.1	1.0	37.5
2076	III-2	軽石類	II	軽石	5.1	4.6	3.7	24.8
2077	VI	軽石類	II	軽石	[5.2]	3.2	1.2	8.6
2078	III-2	軽石類	III	軽石	[3.8]	[3.3]	[2.0]	8.7
2079	-	軽石類	III	軽石	6.1	5.1	2.6	35.9
2080	-	軽石類	III	軽石	[5.9]	5.5	4.1	55.2
2081	-	軽石類	III	軽石	[6.5]	5.2	4.1	45.6
2082	III-2	軽石類	III	軽石	[8.4]	[4.1]	3.7	71.6
2083	-	軽石類	III	軽石	[8.0]	[6.2]	4.4	58.3
2084	-	軽石類	III	軽石	[4.7]	[6.4]	3.5	54.8
2085	-	軽石類	III	軽石	[4.8]	4.2	1.5	15.1
2086	-	石棒類	I	緑泥片岩	[13.9]	[8.5]	4.5	580.2
2087	IV-1	石棒類	I	絹雲母片岩	[16.5]	[7.0]	3.4	671.8
2088	III	石棒類	I	緑泥片岩	[6.8]	[4.1]	[2.9]	120.1

番号	層位	器種	分類	石材	長さ	幅	厚さ	重量
2089	Ⅲ	石椀類	I	シルト岩	[10.9]	[2.6]	2.0	70.7
2090	Ⅵ	石椀類	I	シルト岩	[9.1]	[3.0]	[2.9]	56.0
2091	Ⅲ～Ⅵ	石椀類	Ⅱ	緑泥片岩	[19.6]	4.5	1.9	279.1
2092	Ⅳ-1	石椀類	Ⅱ	緑泥片岩	[12.0]	3.4	2.3	159.1
2093	Ⅲ-2	石椀類	Ⅱ	緑泥片岩	[7.3]	3.6	2.1	93.6
2094	Ⅳ-1	石椀類	-	緑泥片岩	[6.7]	[3.8]	2.1	74.7
2095	Ⅳ-1	石椀類	-	緑泥片岩	[14.8]	4.1	2.1	225.1
2096	Ⅳ-1	石椀類	-	シルト岩	[8.6]	[3.3]	[1.0]	26.2
2097	-	石椀類	-	緑泥片岩	[13.7]	[4.4]	1.2	143.5
2098	-	石椀類	-	緑泥片岩	[8.3]	[3.3]	1.6	72.8
2099	Ⅲ～Ⅵ	独結石	-	砂岩	[9.7]	5.6	3.1	220.7
2100	Ⅲ	独結石	-	砂岩	[6.4]	[3.7]	[2.7]	56.0
2101	Ⅵ	垂飾	-	滑石	1.6	0.8	0.8	1.4
2102	-	垂飾	-	ヒスイ	0.8	0.8	0.6	0.4
2103	-	垂飾	-	砂岩	2.0	1.9	0.4	2.3

第131表 B区出土骨製品観察表(第886図)

番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量	番号	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量
2104	Ⅵ	垂飾	[6.2]	[2.5]	[1.6]	10.6							

VI 調査のまとめ

1 環状盛土遺構と出土土器について

本報告の加須市長竹遺跡の環状盛土遺構は、現利根川の上流側から調査D区、A区、B区の一部に亘って検出されている（第4図）。調査区の北側で検出された盛土は通称「北盛土」と呼ばれD区に形成され、南側で検出された盛土は通称「南盛土」と呼ばれA区からB区の北部にかけて形成されている。両盛土遺構は、全体の規模及び形状は不確定であるが、中央の低地部を取り囲んで両者が環状に並ぶことが想定されることから、環状盛土遺構と呼称されている。

本報告その中でも、住居跡などの遺構に属さない南盛土内出土の遺物についての報告であり、土器類16,257点、石器類1,173点、骨角器類12点、土偶105点、耳飾り269点、土製品178点、土製円盤1,071点について報告している。今後、北盛土内出土の遺物についても順次報告される予定である。

南盛土の土器群に関しては早期から晩期までが出土しており、早期では条痕文土器が数点、前期では花積下層式が目立ち、関山式、諸磯a・b式、浮島式が少量、中期では阿玉台・勝坂式が若干、加曾利EⅢ式が少量、後期では称名寺式と堀之内1式が若干、堀之内2式が少量出土している。出土量が多くなるのは住居跡等の遺構が構築される加曾利B式以降で、B1式は少量、B2式以降から土器量が増加し、後期安行1式、2式、晩期安行3a式、3b式、3c式、3d式で最大値となる。晩期中葉以降では、終末の浮線文系土器が若干出土する程の急激な減少が見られ、その後やや間隔を空けて弥生中期の土器群が数点出土するような状況となる。その他、在地系以外の異系統の土器群として、後期から晩期にかけては東関東系の遠部類型の土器群、南東北地方の新地式瘤付系土器群、晩期では大洞B式、BC式、C1式、C2式、A式の大洞系土器群、東関東系の蛇山Ⅱ

式、Ⅲ式の蛇山系土器群、細密沈線文系土器群、前浦式系土器、北関東では天神原式系土器群、中部北陸地方の佐野式系土器群、畿内地方の橿原文様をもつ滋賀里式系土器群が量の多寡はあるものの出土しており、広域的な交流があったことを示している。また、異系統の土器群が大なり小なりに在地系土器群に影響を与えている実態も明らかになってきた。長竹遺跡は地理的な位置関係から、大宮台地の同時期の遺跡よりも東関東や北関東地域との影響関係が強く現れている様子が窺える。

長竹遺跡の南盛土は、事実上安行3d式期で盛土形成の終焉を迎える。当該期の遺物は多量に出土するものの、上層部から検出されるはずの安行3c式、3d式の遺構が殆ど検出されていない。これは、盛土中における住居跡等の生活面検出の困難性に起因するものと思われるが、この時期に深い掘り込みを伴う遺構が少ないということも要因の一つになっていると考えられる。安行3c式、3d式が多量に分布する地区では、盛土下のローム面に多数の性格不明なビットが検出されており、それらが掘り込みのない当該期の掘立柱建物の柱穴である可能性も十分考慮する必要がある。

この安行3c式、3d式が多く分布する南盛土の北西端であるF～G-4～6区では、盛土形成の順序が把握される遺物出土状況が観察された。全点のドットマップを作成していないため、小グリッド毎の層的な出土傾向からの観察ではあるが、まず、最上層であるⅢ層で安行3c式、3d式が主体的に分布し、その下層であるⅣ層では安行3c式、3d式土器が殆ど出土せず、後期安行式及びそれ以前の土器群が出土していた。さらに下層のⅤ層では再び安行3c式、3d式土器が出土するという層序の逆転現象が把握された。

この層序の逆転現象を復元すると、南盛土に

において安行3c式、3d式期に整地等を含めた地表面の大幅な改変が行われ、安行3b式以前の土器群が盛土の堆積土とともに他所に移動された。その後、しばらくの間安行3c式、3d式期の堆積層が形成されて土器群も堆積していく。さらに、その後何らかの理由で他所に移動していた安行3b式以前の土器群を含む土が戻され、安行3c式、3d式の堆積層を覆う形で堆積する。ここで層の逆転現象が起こり、最後には、また安行3c式、3d式期の遺物廃棄場所になるという工程が復元できる。盛土内において、整地等により土の移動が行われていたことを示す事例で、盛土形成システムの一要因を示唆する好事例と言えよう。

また、II層とした堆積層はロームブロックを主体とする土で、そのロームの由来は不明である

が、恐らく中央窪地を供給源とするものと思われる、おおよそ南盛土全体を覆うように堆積している。しかし、北盛土では近世の攪乱のため、最上層における明瞭なローム土の堆積は確認されていない。

このローム土を堆積させる行為は、盛土の廃棄時に行われた行為で、盛土全体をローム土で覆うことにより盛土の機能を停止させることを目的とした行為であることを示唆する。中央窪地の様相が明らかではない状況下では推測にしか過ぎないが、生活場所としての機能を全うした後に、盛土全体をローム土またはその他の土で覆い隠すことによって、「ムラじまい」のための儀礼的行為を行った、という視点からの分析も必要となろう。今後、他の盛土遺構等で同様の行為が見られるかどうか注視しながら、仮説の検証を行っていきたい。

2 安行式土器の貼付文(瘤)の変遷について

長竹遺跡の南北盛土からは、後期中葉以降晩期中葉にかけての土器群が連続ししかも多量に出土した。土器群の総括については、北盛土出土土器群の報告が完了となり全貌が明らかになった段階で行うこととした。本報告では『長竹遺跡III』（渡辺2018b）での時期区分に従って、安行式土器の波状口縁深鉢形土器を中心にして貼付文や瘤について、南盛土内出土土器でその変遷を辿ってみることにする。およそその変遷については、時期区分を加味しながら第887図、第888図に示した。

安行式土器の貼付瘤については、6期とした曾谷式にその祖形を求めることができよう。曾谷式の瘤は加曾利B式の無文口縁部に口唇上から垂下する隆帯状の貼付文からの変化と推定されるが、定かなところは不明である。本遺跡でも、曾谷式の波状口縁深鉢（1～3）や口縁部の開く平口縁土器（4）、鉢（5）などに、円形（1）もしくは縦長の貼付文（3）が見られる。1の円形貼付文は円形の窪みが見られ、4、5の瘤はやや耳状の捻りが施され、安行1式とは区別される。波状

口縁土器の口縁部文様帯は、2が3帯の縄文帯、3が波状の左側で4帯、右側で8帯の縄文帯に沈線区画されており、この縄文帯が安行1式6の3本の帯縄文や7の4本の帯縄文に変遷するものと思われる。安行1式の古い段階から、口縁部の4本帯縄文が系統的に成立していた可能性がある。3の波頂部や波底部に垂下する縦長の貼付文には横刻が見られるが、この刻み手法は安行1式の貼付文には変遷しないようである。

口縁部が開く平口縁の4、5は時期区分の難しい土器であるが、4は口縁部が刻目帯で、8は帯縄文で区画されている点に型式学的な差異を求めた。口縁部の貼付文は安行1式の古段階では口縁部文様帯幅に納まっている（8、11）が、新段階ではやや細長く中央部に押圧を伴う強い押し引きを施した貼付文が口縁部文様帯幅を貫通して施文されるようになる（13）。これは平口縁土器に多く見られる貼付文への加飾手法で、14のような平口縁深鉢形土器の口縁部幅の拡張に伴う貼付文手法の変化である。同様な手法が波状口縁土器にも

見られる。波頂部から垂下する縦長の棒状貼付文に押圧を加えて瘤を作出していた6、7の貼付文は、強く押し引いて瘤の間隔を伸ばす9へと変化するものと思われる。平口縁及び波状口縁の縦長貼付文の作出における共通の変化の方向性である。

また、安行1式後半段階では波状口縁土器(9)の胴上半部に、大塚達朗の指摘(大塚1986)のように台付鉢(12)の胴部文様帯との影響関係で羽状沈線文帯の頸部文様帯が成立する。以降、この文様帯構成が継承されていく。

その後、多段の帯縄文を口縁部に施文する砲弾形の深鉢では縦長貼付文が継承されるが、波状口縁土器では口縁部に2帯の帯縄文による三角形区画文が成立して、頸部に文様帯を構成する安行2式が成立する。安行2式の波状口縁の波頂部には、安行1式の9、10に見られた円形の貼付文と、縦長の貼付文が融合して変形した、横刻を施す縦瘤と豚鼻状の貼付文が成立する。横刻み手法の出は不明瞭であるが、曾谷式口縁部の刻み手法等からの系譜関係が推察される。また、豚鼻状の刻みは、安行1式終末の台付鉢の貼付文に見られる単独の押圧状截痕に系譜するものと思われる。縦刻を施す横瘤と、3箇所截痕がある豚鼻状の貼付文の関係は判別が難しいが、強い押圧截痕を加えられたものを豚鼻状の貼付文と解釈する。

長竹遺跡では安行1式9から安行2式15への変遷は比較的安定的な変遷と捉えられるが、口縁部三角区画文下に幅狭の無文帯を設定する土器が最古段階として捉えられており(大塚1986、鈴木1986、新屋2015)、長竹遺跡ではこれらの土器群は殆ど存在していない。長竹遺跡で安行2式最古段階が極めて少ないのか、最古段階の土器群が安定的ではないのか、または土器群の地域性による相違なのか判然としにくいところである。安行2式は頸部文様帯に羽状沈線や直線的な沈線の鋸歯状文を描くもの(15~17)が古く、沈線の曲線文や地文に縄文を施文するもの(20~22)が新しくな

るという鈴木加津子の指摘がある(鈴木1987)。

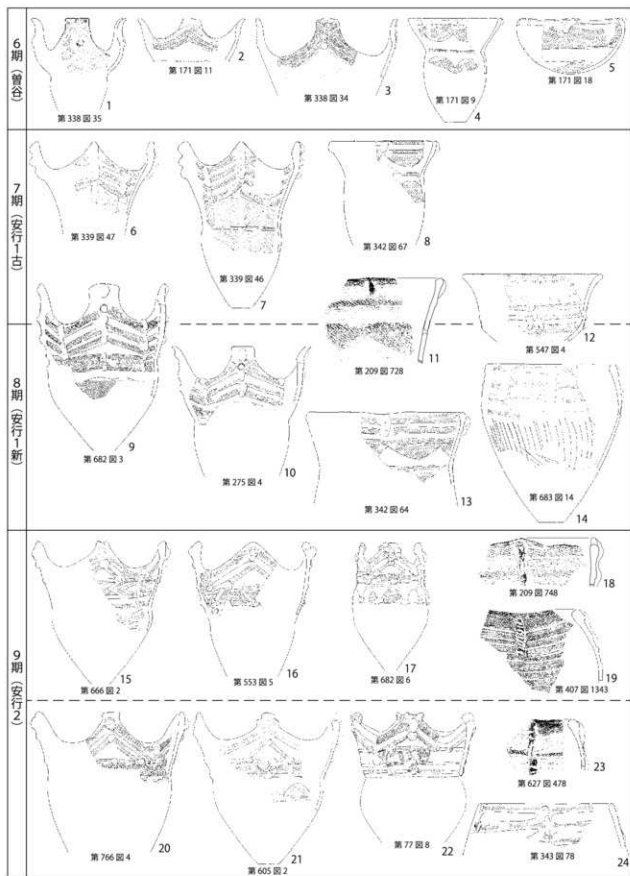
平口縁の砲弾形の深鉢では中央部に強い押圧を伴う押し引きを施した縦長貼付文が継承されるが、上下の瘤部分に横刻を施し、押し引き部分に背割状の縦位の凹線もしくは沈線状の截痕を施すもの(18、23)が現れる。以降、縦長貼付文は、中央部の凹線や截痕部分に多少の変化が見られるが、大きな変化は見られないようである(24)。

ここで、貼付文について瘤と呼称し分類を行うと、①無刻縦瘤、②横刻縦瘤、③縦刻横瘤、④舌状瘤、⑤2段舌状瘤に大きく分けられる。いわゆる豚鼻状の貼付文については、縦刻横瘤の仲間、⑥豚鼻瘤と呼称する。また、各瘤への加飾については縦横の刻みに他に、縦長瘤の中央に施される凹線や沈線について背割凹線、背割沈線と呼び、豚鼻瘤に見られる刻みについては押圧截痕と呼ぶこととする。

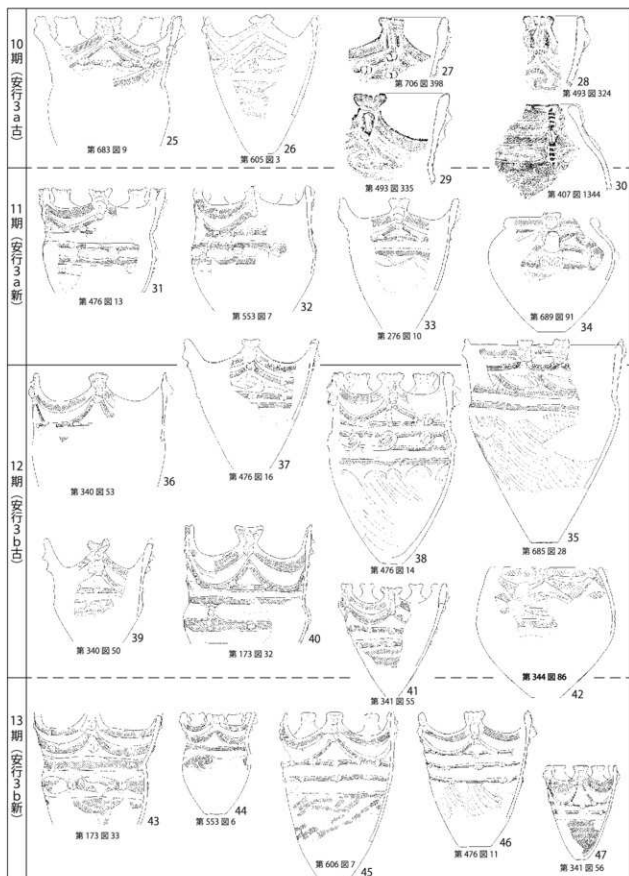
安行2式段階で安行式の貼付文(瘤)の基本的なものは出来上がり、後はその変形と組み合わせの変化で理解される。基本的には①から⑤へと変遷するが、各種の瘤はそれぞれ継承されている。

安行2式から安行3a式への移行期では縄文帯で三角区画文を描くものが一般的となり、区分を難しくしている。傾向としては、安行3a式になると単節縄文LRが多用されるようである。

安行3a式の大きな指標は、口縁部の帯縄文が頸部区画線と分離することを一つの特徴として挙げられるが、口縁部への縦刻横瘤の進出も有効な指標となろう。27、28は波頂部の縦瘤が幅広い円形状となり、縦位2本の背割沈線が施文される。28の豚鼻瘤に相当する部分には、小さい縦刻横瘤が施文されている。また、25は安行2式以来の横刻縦瘤+豚鼻瘤の構成が維持され、頸部に入組文や三叉文が施文されている。波頂部は扁平な鱗状を成し、縦位の刻みが施される。29は波頂部の貼付文が背割凹線を有する縦瘤となり、縦瘤の上下に横刻が施されている。また、26は



第887図 安行式土器貼付文の変遷図(1)



第888図 安行式土器貼付文の変遷図(2)

小グリッド区割り図

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔	㉕

G-6 計17 (不明2)

1				
		2		
2	2	1	2	
		3		2

I-6 計133 (不明5)

	3	9	10	5
1	3	11	5	4
1	10	5	10	3
	4	3	6	9
	2	7	10	7

J-7 計62 (不明6)

		1	8	1
6	4	7	3	
5		2	4	2
7	1	2	2	1

L-7 計3

				2
		1		

F-4 計2

				1
				1

H-5 計11 (不明3)

		1		
				1
			2	3
			1	

I-7 計115 (不明11)

5	16	12	2	3
14	8	8	2	3
	1	2	3	4
	3			2
4	2		5	5

J-8 計29 (不明6)

2		1		
		2		
9	9			

B区 I-8 計15 (不明2)

2	1	1		
		2		
	3	1		
1	2			

F-5 計3 (不明1)

			1	
				1

H-6 計112

1	5	3	7	7
3	3	5	7	20
4		2	11	8
	1		3	3
5	3	5	3	3

I-8 計7

4				
2				
1				

K-7 計130 (不明11)

7	1	2	3	2
	8	12	5	7
	4	10	20	6
		2	8	8
1	1		3	9

B区 J-8 計117 (不明10)

	15	18	4	
	6	11	6	
	1	15	9	
		10	3	3
		4	2	

G-5 計7

	1		2	
	1		2	1

H-7 計133 (不明40)

7				
27	2			
13	3			
13	18	1		
1	5	3		

J-6 計83 (不明25)

		5	8	2
		4	12	13
1			5	7
				1

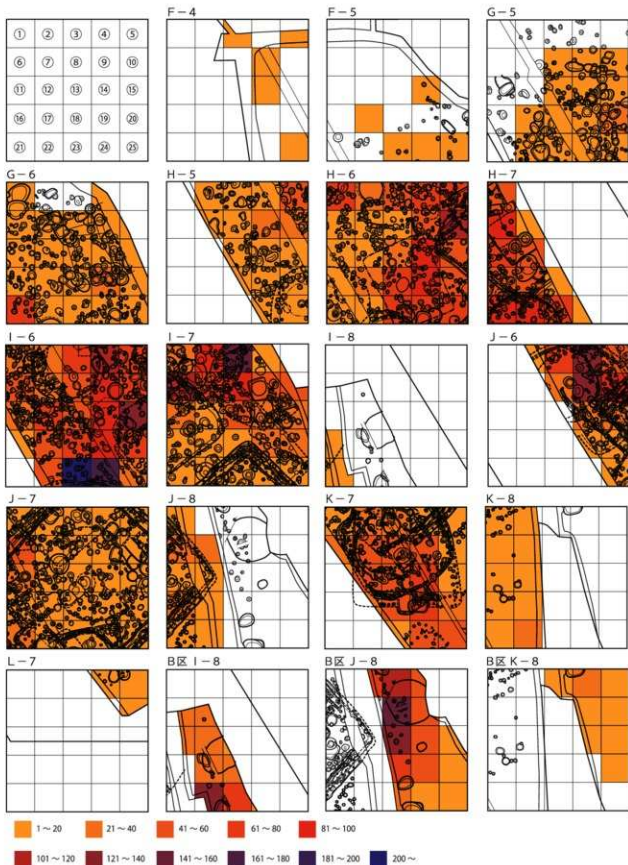
K-8 計82 (不明1)

23	9			
10	2	3	1	
17	5			
4	4		1	1
1				

B区 K-8 計2

			1	1

第 889 図 土製円盤小グリッド別分布図



第 890 図 安行 1 式、2 式土器小グリッド別分布濃淡図

胴部上半に、29は口縁部の三角区画文内に入組文や三叉文が施文されている。縦長瘤を有する30では中央部に2本の押圧状背割沈線が施文されている。また、注口土器等の胴部が大きく膨れる器形では、口縁部に幅広の縦刻横瘤が施文されるようになる。このように、安行3a式の段階は瘤自体の変化と組み合わせの変化が見られ、変種の増加がみられることを指摘できよう。

これらの変種はその後継承されながら、安行3b式へと受け継がれていく。29の縦瘤の構成は、安行3b式への移行期の31から41へと変遷し、口縁部文様帯に三角区画文を構成しなくなる安行3b式まで継承されている。32の縦瘤に見られる細長い背割凹線や30の2本の背割沈線、また27の幅広瘤に施される2本沈線などの構成が融合して、安行3b式37の口縁部の舌状瘤へと変化したものと推測される。

安行3b式期に至っても縦瘤+豚鼻瘤という基本構成を維持しつつも、各種の変形が行われて

いる。36の縦刻横瘤+横刻縦瘤+豚鼻瘤を重層させる構成は、37の舌状瘤を上下に重ねる38の2段舌状瘤を生成する。その系譜上に40のような安行3b式を代表する背割2本沈線を有する2段舌状瘤が成立し、さらに豚鼻瘤も39、45~47のように2段舌状瘤の下に付随する構成が維持されている。

安行3b式については、器形、口縁部の三角区画文の崩れ、胴部文様帯の区画文の変化などを勘案して細分したが、胴部に括れのない器形の増加や43、44、47のような口縁部区画線の弧線文化などは、安行3c式への変遷や天神原式との融合を進める伏線にでもなっているようである。

貼付文(瘤)の変化と型式区分の関係に必ずしも整合性があるとは言えないものの、ある種の判断基準のもとになるであろうことを指摘してきた。紙幅の都合で他遺跡事例との比較検討が行えなかったが、長竹遺跡の全資料が報告された段階で、改めて検討したい。

3 土器片利用の土製円盤について

南盛土の包含層からは1,071点の土製円盤が検出された。また、同じく南盛土内の住居跡等の遺構からは308点出土しており、南盛土全体としては1,379点が出土したことになる。遺構出土の土製円盤については『長竹遺跡II』(渡辺2018a)で詳細な分析が加えられている。ここでは盛土内で出土した土製円盤について分析する。

南盛土包含層出土の1,071点の内訳は、研磨を施すⅠ類が303点、調整剥離を施すⅡ類が768点であり、比率はⅠ類が28%、Ⅱ類が72%となる。約3割が研磨を伴うものである。

素材の部位で内訳をみると、Ⅰ類の303点の内、口縁部が6点、胴部が297点で、胴部破片が圧倒的に多い。Ⅱ類では口縁部が573点、胴部が188点、底部が2点、不明が5点であり、口縁部破片の比率が胴部破片の約3倍となっている。Ⅱ類で

胴部破片としたものは、正確には口辺部破片が多いことから、Ⅱ類は口縁部を中心とした破片を素材としていると理解される。

ここで問題となるのは、素材と形状の違いである。第891図、第892図にそれぞれの長幅比をグラフにして示した。全体的にⅠ類は大きさにはばらつきがあるものの、長幅比が1:1に近いものが多く、Ⅱ類はⅠ類より長副比差の大きくなるものが多いことが分かる。実測図で確認されるように、Ⅱ類には長方形、方形に近いものが多く、Ⅰ類は円形もしくは楕円形に近いものが多い。

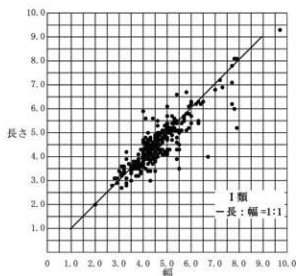
Ⅱ類の長方形もしくは方形の破片が、Ⅰ類の円形状円盤の素材となるかについては、Ⅰ類がほぼ胴部破片のみを素材としていることから、なりえないことは明らかである。従って、Ⅰ類とⅡ類は別種の土製円盤で、用途が異なっていたこと

が類推される。

そこで、土製円盤と安行1式、2式土器の出土状況を見ると、本文中でも触れたが、安行1式、2式土器の多出する小グリッド(第890図)と、土製円盤の集中する小グリッド(第889図)が重なることは一目瞭然である。

この現象を如何に捉えるかであるが、常に廃棄された土器群と共に出土している点に注目する必要がある。可能性として様々な意味付けが考えられるが、①土器群の一般的な廃棄と同時に、何らかの目的で使用された土製円盤も機能が終了したために廃棄された、また、②土器群の廃棄に何らかの意味があり、それに伴って土製円盤が機能を果たして共に廃棄された、と考えることもできる。②の場合、土器群の廃棄時に何らかの機能を果たす目的で土製円盤が作成された可能性が生じてくる。また、この現象が安行1式、2式の限定された時期のみに見られるものである点も重要な要素である。

時期は晩期中葉になるが、南盛土と北盛土の中間地点に造られた墓地では、その直上に安行3c式、3d式土器が多量に、敷き詰められたような状態で出土している。あたかも墓壇を覆い隠すかのような出土状況であった。祖先から続く墓所



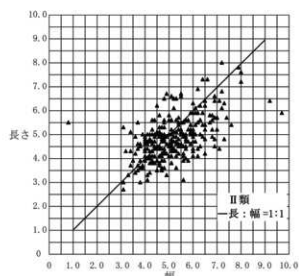
第891図 土製円盤Ⅰ類の長幅比 (n=303)

を土器の廃棄場所にすることも考え難いので、やはり何らかの意味を持って、土器片で墓を覆い隠した儀礼的な行為であったと推測される。

時期を遡って、後期後葉の安行1式、2式の時期にも同様な行為が行われていた可能性は否定しきれない。想像を逞くすれば、居住地であった家や土壇などの遺構が機能を停止した際に、土器片などで覆い隠す「しまい」や「おくり」の行為が行われていたことが想起される。さらに、土器片の上に土製円盤を撤いて、各種機能が停止した遺構を鎮魂する儀礼的な行為が行われていたのではなからうか。土製円盤は、その道具として造られたと考えておきたい。

そして、土製円盤のⅠ類とⅡ類の違いは、明らかに作り分けられていることから、使用される状況もしくは対象の違いによって使い分けられていた可能性が高い。土製円盤のような用途不明な遺物に対しては、様々な角度からのさらなる検討が必要である。

盛土全体は先住者の痕跡の上に、累々と土が積み重ねられて形成されたものである。その都度取り壊されるもの、埋められてゆくものに対してアニミズム的な儀礼的行為が行われていたであろうことを想定しておきたい。



第892図 土製円盤Ⅱ類の長幅比 (n=768)

4 長竹遺跡の南盛土における出土石器について

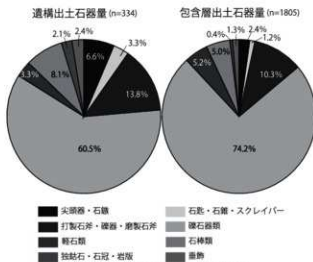
(1) 包含層と遺構出土の石器比較

第IV章で述べたように、本遺跡のうち、南盛土の包含層から出土した石器は、総計2,710点である。そのうち、二次加工剥片や石核を除いた点数が1,805点である。これに対し、遺構から出土した石器は、344点で、二次加工剥片や石核などを除いた点数が334点である。

両者の器種組成を比較したのが第893図である。なお、器種が多岐に及ぶため、推定される機能・用途が類似する器種を纏めて組成を算出している。礫石器類には敲石、凹石、磨石、石皿、砥石、石錘が含まれている。

出土石器から長竹遺跡が後期中葉から晩期前葉を主体とした遺跡であるため、本来ならば出土した石器を時期ごとに区別して器種組成を算出、比較するべきである。しかし、石器では時期の判別が困難である点、出土グリッドによっては層位の逆転が窺える点の二点から、出土した石器の帰属時期を区別せず器種の組成を算出している。

両者の器種組成を比較した結果、包含層出土の石器と遺構出土の石器とでは、各器種群の割合に差が認められるものの、礫石器類が半数以上を占め、打製石斧・礫器・磨製石斧がそれに続くという傾向に変わりはない。



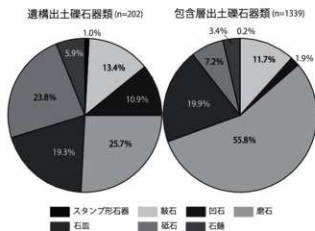
第893図 出土地別器種群組成比

これは、本遺跡が集落遺跡であることに起因すると思われる。後・晩期の集落遺跡では採集した堅果類を集落内で加工していることが知られている。

次に最も出土量の多い礫石器類のみの組成を比較する(第894図)。遺構から出土した礫石器類は、磨石が最も多く、砥石が次に多い。そして、敲石、凹石、磨石、石皿といった脱殻・粉碎に関わる器種が約7割を占める。一方、包含層から出土した礫石器類は、その半数以上を磨石が占めている。脱殻・粉碎に関わる器種にいたっては約9割にも及んでいる。

これに対し、石皿の比率は遺構出土と包含層出土ではその差がほとんど認められない。

遺構出土と比較して包含層出土の磨石が多いのは、住居内だけでなく、住居外でも堅果類の加工をしていた、もしくは磨石の廃棄場が存在していた可能性を示唆している。ただし、本遺跡では貯蔵穴群や水さらし場遺構といった堅果類の加工場と思われる遺構が確認できていない。また、後述するように南盛土の範囲から満遍なく礫石器類が出土している。以上の点から、遺構出土に比べ包含層出土の磨石が多いからといって特定の範囲に堅果類の加工場ないし磨石の廃棄場が存在していた可能性について言及するのは難しい。



第894図 出土地別礫石器類組成比

(2) 南盛土における器種別の空間分布

大別した器種群ごとに包含層内での区間分布を概観してみると、いずれの器種群も南盛土の調査範囲内から満遍なく出土している(第895図)。

石棒類や垂飾といったいわゆる『第二の道具』と呼ばれる器種群は、屋内共同祭祀・儀礼空間の場の可能性が指摘されている第43号住居跡の周囲から纏まって出土してもよいものである。それにも関わらず、こうした器種群もG-5グリッドやH-6グリッドなど、南盛土全体に点在している。

最も出土量の多い礫石器類についても南盛土全体で出土している。さらに、礫石器類が11点以上出土したグリッドも南盛土内に遍在しており、集中的なまとまりは認められない。

以上のような現象の要因として考えられるのは、本章の1節でも指摘されている整地等による土の移動であろう。本来特定の場所に廃棄されていた器種が整地に伴う土の移動により、南盛土内に散在されることとなったのではないだろうか。

今後、北盛土における石器の分布状況や他の盛土遺構等との比較を踏まえ、仮設の検証を行ってきたい。

(3) 包含層出土の石器について

包含層から出土した石器のうち、代表的な石器を第896図、第897図に示す。そのうち、特徴的な石器について概観する。

石鏃

出土した無茎石鏃のうち、局部磨製石鏃は4点(第896図8~10)で、いずれも両面の基部に擦痕を有する。大工原豊は、局部磨製石鏃の研磨範囲と漁撈用と推測されている石鏃に付着するアスファルトの付着範囲とが共通すること、装着部を研磨することによる膠着効果の上昇から、後・晩期における局部磨製石鏃の機能・用途として、漁撈用の弓矢または鏃の先端を想定している(大工原2008)。南盛土からは土鏃や石鏃が出土し、

近隣には現利根川も流れており、本遺跡出土の局部磨製石鏃についても漁撈用として利用されていた可能性がある。

打製石斧・磨製石斧

第896図75の打製石斧には基部の両面に斜位方向の擦痕が認められる。また、第896図87の磨製石斧は上部3分の1を境に器面の様相が異なる。下部は敲打の痕跡が観察できないほど丁寧に縦位方向の研磨が施されているが、上部は研磨が粗く敲打の痕跡を観察することができる。こうした痕跡は着柄による擦痕(75)や膠着効果の上昇を期待したもの(87)と思われる、いずれも柄の着装に関わるものと考えられる。

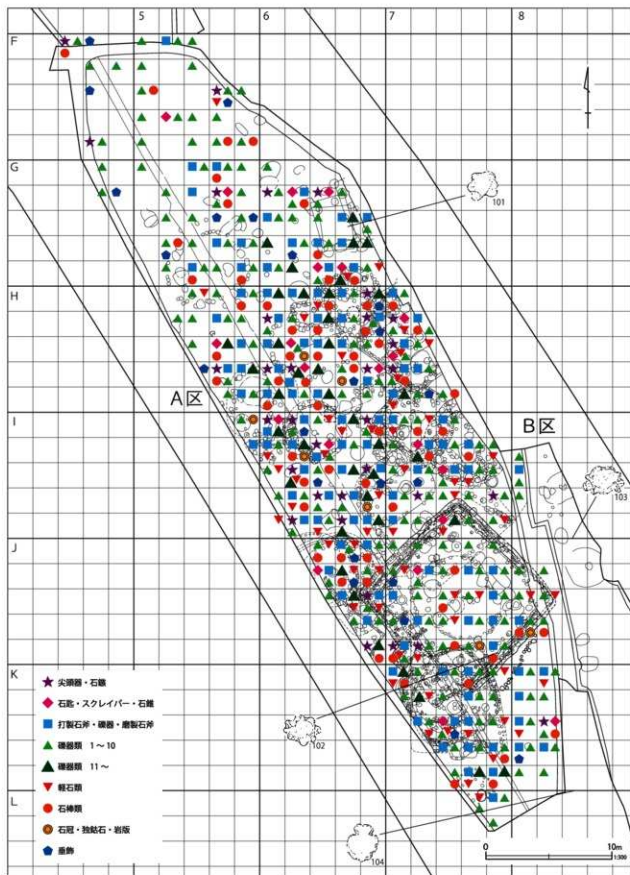
砥石

砥石のⅠ類として分類した中には、平面形がアメーバ状を呈する特殊な砥石(第895図、第897図101~104)が出土した。これらの砥石については、貝輪の製作時に整形用の研磨具として使用されていたという指摘がある(忍澤2006)。

次に砥石のⅡ類、いわゆる有溝砥石は、古くからその用途のひとつとして骨角器の製作が挙げられている(宮下1987)。本遺跡から出土した有溝砥石に残る溝状の砥ぎ面の断面形は、弧状ないし「V」字状を呈している。また、砥ぎ面の幅は2~15mmほど、深さが3~5mm程度である。一方、本遺跡から出土した骨角器のうち、鏃や斧と思われる遺物は、幅が6~12mmほど、厚さ4~10mm程度である。骨角器に比べて有溝砥石の砥ぎ面が一回りから二回りほど大きいことになる。動作時の手ぶれを考慮すると、本遺跡においても有溝砥石が骨角器の製作に関連していた可能性が指摘できよう。

(4) 特殊砥石について(第898図)

本項では前項で挙げた器種の中でも、平面形がアメーバ状を呈する特殊な形状の砥石(以降、特殊砥石と仮称する)についてより詳細に見ていく。



第 895 図 包含層出土石器の器種群分布図

尖頭器



石鏃

(I類 局部磨製)

(I類)



石錐

(I類)



(II類)



石匙



スクレイパー

(I類)

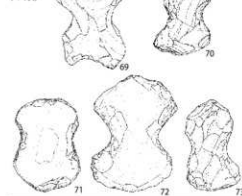


(II類)

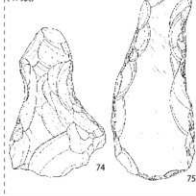


打製石斧

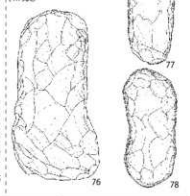
(I類)



(II類)

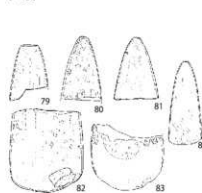


(III類)

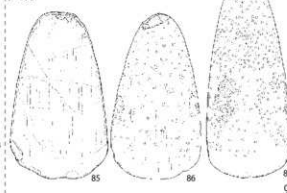


磨製石斧

(I類)



(II類)

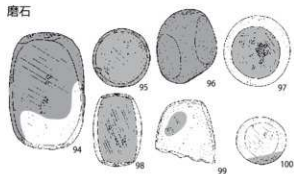


(III類)

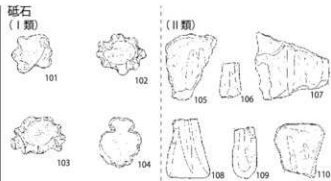


第 896 図 包含層出土石器概要 (1)

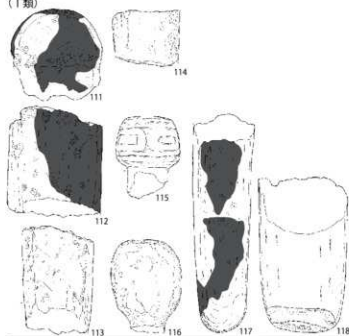
磨石



砥石



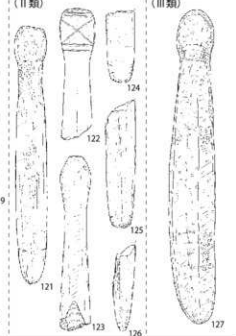
石棒類
(I類)



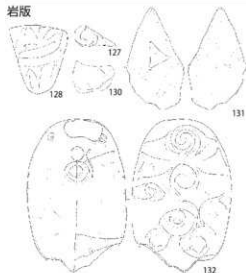
(II類)



(III類)



岩版



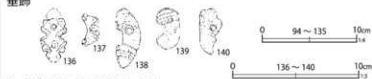
石冠



独钻石



垂飾



第897图 包含層出土石器概要(2)

小型の砂岩礫を素材に、全面を使用面とした結果、周縁部に不規則な砥ぎ面が生じ、このような形状を呈するようになったと思われる。

長竹遺跡から出土した資料(8~11)の砥ぎ面は、幅10mm前後、深さ3~5mm程度である。全体の大きさは4~6cmほどで、Ⅱ類とした板状の有溝砥石に比べ、握りやすい形状をしている。

この形状の砥石は、忍澤が貝輪の製作工程を復元していく過程で着目されるようになり、論文の中でいくつかの例を写真で挙げている(忍澤同)。研究対象が貝輪のため、例として挙げられている遺跡も千葉県余山貝塚や秋田県柏子所貝塚など、貝塚遺跡ばかりである。

その他、Ⅱ章2節の歴史的環境で列挙した遺跡のうち、栃木県寺野東遺跡でも同様な形状を呈する砥石が出土している(12~14)。

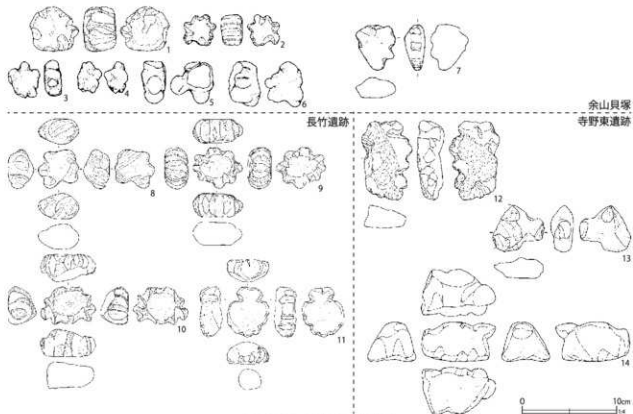
出土遺跡についてみると、先に挙げた余山貝塚や柏子所貝塚では出土しているが、市原市祇園原貝塚・同西広貝塚、千葉市加曾利貝塚、船橋市

古作貝塚では出土していない。出土していない遺跡については非掲載資料に含まれているかもしれないが、必ずしも貝塚遺跡や貝輪に伴って出土するわけではないようである。また、沿岸に立地する遺跡で出土する一方で、長竹遺跡や寺野東遺跡といった内陸の遺跡からも出土している。

特殊砥石が貝輪用の砥石ならば、長竹遺跡や寺野東遺跡からは貝輪が出土していないため、遺跡内で使用されたとは考えにくい。交易品や流通品として持ち込まれたのであろうか。

あるいは、貝輪だけでなく、他器種における仕上げ用の研磨具としても利用された可能性も考えられる。長竹遺跡からは骨角器が出土している。素材として利用する骨の部位によっては湾曲しているものもあり、曲面を研磨するのに特殊砥石は適していると思われる。こうした点から、骨角器の整形時に使用された可能性もあろう。

今後、資料を収集し、出土遺跡の立地や他遺物との共伴関係に注視していきたい。



第898図 特殊砥石集成図

引用・参考文献

- 秋田かひ子 2008 「加曾利B式土器」『総覧縄文土器』 アム・プロモーション
- 安孫子昭二 1988 「加曾利B様式土器の変遷と年代(上)」『東京考古』第6号
- 安孫子昭二 1989 「加曾利B様式土器の変遷と年代(下)」『東京考古』第7号
- 阿部芳郎 2007 「内陸における貝輪生産とその意味—貝輪づくりと縄文後期の地域社会—」『考古学集刊』第3号
明治大学考古学研究室
- 新屋雅明 2015 『縄文時代後・晩期土器編年の研究—加曾利B式～安行式土器群の変遷—』六一書房
- 井上肇他 1984 「寿能泥炭層遺跡発掘調査報告書—人工遺物・総括編—」埼玉県立博物館
- 猪瀬美奈子 2004 「北関東における晩期中葉の様相」『第17回縄文セミナー 晩期中葉の再検討』縄文セミナーの会
- 大塚達朗 1983 「縄文時代後期加曾利B式土器の研究(Ⅰ)—最近の成果と新たな分析—」『東京大学文学部考古学研究室研究紀要』第2号
- 大塚達朗 1986 「安行1式土器型式構造論基礎考」『東京大学文学部考古学研究室研究紀要』第5号
- 忍澤成規 2006 「縄文時代におけるベンケイガイ製貝輪生産—現生打ち上げ貝調査を基礎とした成果—」『動物考古学』第23号 動物考古学研究会
- 上條信彦 2015 『縄文時代における脱殻・粉砕技術の研究』六一書房
- さいたま市遺跡調査会 2015 『馬場小室山遺跡』さいたま市遺跡調査会報告書第163集
- 埼玉県遺跡調査会 1974 『高井東遺跡調査報告書』埼玉県遺跡調査会報告第25集
- 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2007 『久台遺跡Ⅲ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第339集
- 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2014 『長竹遺跡Ⅰ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第413集
- 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2018a 『長竹遺跡Ⅱ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第440集
- 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2018b 『長竹遺跡Ⅲ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第441集
- 菅谷通保 2008 『曾谷式・後期安行式土器』『総覧縄文土器』アム・プロモーション
- 鈴木加津子 1987 「安行3a式の形成過程の一考察」『埼玉の考古学』柳田敏司先生還暦記念論文集刊行委員会
- 鈴木加津子 1992 「晩期安行式土器の諸問題—南関東—」『第5回縄文セミナー 晩期中葉の再検討』縄文セミナーの会
- 鈴木正博 1979 『取手と先史文化—中妻貝塚の研究—』上巻 取手市教育委員会
- 鈴木正博 1981 『取手と先史文化—中妻貝塚の研究—』下巻 取手市教育委員会
- 鈴木正博・鈴木加津子 1983 「安行式遺跡解題(Ⅰ)—埼玉県岩槻市裏慈恵寺遺跡の分析—」『土曜考古』第7号
- 大工原豊 2008 『縄文石器研究序論』六一書房
- 鷹野光行 2008 「前浦式土器」『総覧縄文土器』アム・プロモーション
- 千葉県教育委員会 2017 『史跡 加曾利貝塚 総括報告書』
- 千葉県文化財センター 1991 『銚子市余山貝塚』千葉県文化財センター調査報告第197集
- 栃木県文化振興事業団 1997 『寺野東遺跡V』栃木県文化財調査報告第200集
- 中沢道彦 2004 「佐野式土器研究の現状と課題」『第17回縄文セミナー 晩期中葉の再検討』縄文セミナーの会
- 林 克彦 2008 「天神原式土器」『総覧縄文土器』アム・プロモーション
- 古谷 渉 2004 「南関東頭部における精製・組成構造の崩壊過程」『第17回縄文セミナー 晩期中葉の再検討—記録集—』縄文セミナーの会
- 宮下健司 1983 「有溝砥石」『縄文文化の研究7』雄山閣
- 吉岡卓真 2013 「加曾利B1式土器の細別と文様構成の成り立ち—鉢形土器・浅鉢形土器の分析を中心に—」『戦台史学』第148号
- 渡辺清志 2018a 「VI-5土製円盤について」『長竹遺跡Ⅱ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第440集
- 渡辺清志 2018b 「VI-1縄文土器について」『長竹遺跡Ⅲ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第441集

報 告 書 抄 録

ふりがな	ながたけいせき							
書名	長竹遺跡Ⅳ							
副書名	首都圏氾濫区域堤防強化対策における埋蔵文化財発掘調査報告							
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書							
シリーズ番号	第 461 集							
編者名	金子直行 大江直毅							
編集機関	公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒 369-0108 埼玉県熊谷市船木台 4 丁目 4 番地 1 TEL 0493-39-3955							
発行年月日	西暦 2020 (令和 2) 年 3 月 23 日							
所取遺跡	所在地	コード		北緯 °' "	東経 °' "	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
長竹遺跡 (第 1・3 次)	埼玉県加須市 大字大越字樋ノ口 702-1 他	11210	039	36° 11' 14"	139° 36' 50"	20100501 ～ 20110331 20120406 ～ 20130331	3.321	堤防建設 記録保存 調査
所取遺跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
長竹遺跡 (第 1・3 次)	集落跡	縄文時代	住居跡 29 軒 掘立柱建物跡 3 棟 土壇 68 基 柱穴列 3 基 埋裏 3 基 焼土跡 25 基 粘土塊 3 箇所 ピット 1293 基 遺物集中 6 箇所	土器 土製品 石器 石製品 骨製品	縄文時代後・晩期に形成された環状盛土遺構の南側を調査した。盛土遺構の遺存状態は極めて良好であった。盛土の厚は 190 m に及び、関東地方有数の規模である。			
要 約								
<p>長竹遺跡は利根川沿いの埋没台地上に立地する、縄文時代から近世にわたる複合遺跡である。本書は縄文時代後期から晩期にかけて形成された南北環状盛土遺構のうち、南盛土内から出土した遺構に属さない遺物に関しての報告である。</p> <p>南盛土では後期から晩期にかけての住居跡 29 軒、掘立柱建物跡 3 棟、柱穴列 3 基、土壇 68 基の他に、埋裏 3 基、焼土跡 25 基、遺物集中 6 箇所と 1293 基という夥しい数のピットが検出されている。これらの遺構や遺構に伴う遺物に関しては既報告（「長竹遺跡Ⅱ」）であるが、それ以外の帰属遺構の判明しない遺物や、いわゆる包含層からの遺物が大量に出土している。多数の焼土跡や遺物集中箇所、ピット群が存在することから、調査時に把握しきれなかった住居跡等の遺構が相当数存在することが想定される。今回の報告では、それらを補うことも目的とし、遺物の出土位置（小グリッド単位）と数量、層位についても考慮して資料化した。</p> <p>遺物は日常生活で使用されていた膨大な量の土器類、石器類、骨角器類、祭祀的な遺物である土偶・石棒や、装飾品としての耳飾りなどが出土している。また、土製円盤として分類した加工痕のある土製品は、用途不明であるが多量に出土しており、本遺跡の特徴的な遺物の一つとなっている。土器群では、特に遺構の検出が困難であった時期の晩期中葉安行 3 c 式から 3 d 式の良好な土器群と共に、並行期である東北地方大洞 C 1 式、C 2 式、北関東地方の天神原式、東関東地方の前浦式、関西地方の滋賀里式などが出土しており、広域的な交流関係が把握された。石器では特殊な形の砥石や大型磨製石斧、局部磨製石鏃の出土等が特筆されよう。</p>								

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第461集

長竹遺跡Ⅳ

首都圏氾濫区域堤防強化対策における

埋蔵文化財発掘調査報告

(第3分冊)

令和2年3月13日 印刷

令和2年3月23日 発行

発行／公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 熊谷市船木台4丁目4番地1

0493 (39) 3955

<http://www.saimaibun.or.jp>

印刷／山進社印刷株式会社